机上配布資料1

本資料のうち，枠囲みの内容は営業秘密
又は防護上の観点から公開できません。

敦賀発電所2号炉
「敷地の地形，地質・地質構造について」
に関する審査資料の記載の不備について
（補足説明資料1　個々の記載の不備の具体的内容・類型化）
印刷の誤り　第758回審査会合（令和元年8月23日）

令和元年10月11日

日本原子力発電株式会社

目　次

1. リスト　・・・

1．リスト

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
1	5	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片の作成方向を示すためには十分でなかったため，表現を追記したもの。
2	5	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	N20° W	N27° W	D	薄片作成位置を模式的に表したもの。走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
3	5	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	70° E	69° E	D	薄片作成位置を模式的に表したもの。走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
4	5	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	N20° W70° E	N27° W69° E	D	薄片作成位置を模式的に表したもの。走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
5	5	本編資料 薄片観察資料	－	箱書き	トレンチ	Bトレンチ	E	表題に記載の通りBトレンチで採取した薄片観察結果を示したもの。箱書きについても表題と同じくBトレンチと記載すべきところ脱字が生じた。
6	7	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片の作成方向を示すためには十分でなかったため，表現を追記したもの。
7	7	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
8	7	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	N20° W	N27° W	D	薄片作成位置を模式的に表したもの。走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
9	7	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	70° E	69° E	D	薄片作成位置を模式的に表したもの。走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
10	7	本編資料 薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	N20° W70° E	N27° W69° E	D	薄片作成位置を模式的に表したもの。走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
11	9	本編資料 薄片観察資料	－	最新活動面の条線観察結果	底盤測定データの位置の修正		B	条線観察結果を視覚的に示したもの。作図する際の入力データを間違えた。
12	11	薄片観察資料	－	箱書き	深度10.90m	深度10.91m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
13	11	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
14	13	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
15	13	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
16	13	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
17	13	薄片観察資料	－	薄片写真	(N)	X(N)	F	方位と薄片作成方向(X, Y, Z)を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。
18	13	薄片観察資料	－	ブロックサンプル写真	(N)	X(N)	F	方位と薄片作成方向(X, Y, Z)を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。
19	15	薄片観察資料	－	箱書き	深度87.05m	深度87.03m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
20	15	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
21	15	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
22	15	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
23	17	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	記載なし	※H20-No.②-1はボアホールカメラ未実施のため，走向・傾斜を仮定している	E	走向・傾斜を仮定して薄片を作成しているものであるが，走向・傾斜のデータが取得できていない理由を明記したもの。
24	17	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
25	17	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	西傾斜	西傾斜（仮定）	E	走向・傾斜を仮定して薄片を作成しているものであるが，走向・傾斜のデータが仮定であることを明記したもの。
26	17	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
27	17	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
28	19	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	記載なし	※H20-No.②-1はボアホールカメラ未実施のため，走向・傾斜を仮定している	E	走向・傾斜を仮定して薄片を作成しているものであるが，走向・傾斜のデータが取得できていない理由を明記したもの。
29	19	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
30	19	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
31	19	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
32	21	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
33	21	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
34	21	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
35	23	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
36	23	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
37	23	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
38	25	薄片観察資料	－	箱書き	深度60.11m	深度60.12m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
39	25	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
40	25	薄片観察資料	－	最新活動面の条線観察結果	記載なし	シュミットネット（下半球投影）	F	図のタイトルのつけ忘れ。
41	27	薄片観察資料	－	箱書き	深度59.84m	深度59.85m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
42	27	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
43	27	薄片観察資料	－	右下の凡例	R1面，P面	（削除）	E	変位センスを示す複合面の凡例を重複して表示していたため削除した。
44	27	薄片観察資料	－	最新活動面の条線観察結果	記載なし	シュミットネット（下半球投影）	F	図のタイトルのつけ忘れ。
45	29	薄片観察資料	－	ブロックサンプル写真	X(78° L)	X(78° R)	A	条線方向を示したものであるが，性状一覧表からの転記ミスによるもの。
46	29	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
47	31	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
48	31	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
49	31	薄片観察資料	－	薄片写真／ブロックサンプル写真	X（下）	Y（下）	E	掲載した写真における方位を示したものであるが，書式を転用した際に正しい記号への修正を失念した。
50	33	薄片観察資料	－	走向・傾斜データなし	条線データなし	走向・傾斜データなし	E	書式を転用した際に正しい文言への修正を失念した。
51	35	薄片観察資料	－	箱書き	H24	H27	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
52	37	薄片観察資料	－	資料タイトル	深度88.92m	深度88.94m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
53	37	薄片観察資料	－	箱書き	深度88.92m	深度88.94m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
54	39	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
55	41	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
56	43	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
57	45	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
58	47	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
59	49	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
60	51	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
61	53	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
62	55	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
63	57	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
64	59	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
65	61	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
66	63	薄片観察資料	－	箱書き	H27	H24	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
67	63	薄片観察資料	－	最新活動面の条線観察結果	26°	20°	A	条線方向を示したものであるが，性状一覧表からの転記ミスによるもの。
68	63	薄片観察資料	－	薄片写真／ブロックサンプル写真	X(26° L)	X(20° L)	A	条線方向を示したものであるが，性状一覧表からの転記ミスによるもの。
69	63	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	26°	20°	A	条線方向を示したものであるが，性状一覧表からの転記ミスによるもの。
70	65	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
71	65	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
72	65	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
73	67	薄片観察資料	－	薄片写真	(N)	X(N)	F	方位と薄片作成方向(X, Y, Z)を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。
74	67	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
75	67	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
76	69	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
77	69	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
78	69	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
79	71	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
80	71	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
81	71	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
82	73	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
83	73	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
84	73	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
85	75	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
86	75	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
87	75	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
88	77	薄片観察資料	－	薄片写真，ブロックサンプル写真	(N)	X(N)	F	方位と薄片作成方向（X, Y, Z）を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。
89	77	薄片観察資料	－	薄片写真，ブロックサンプル写真	(N)	X(N)	F	方位と薄片作成方向（X, Y, Z）を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。
90	77	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
91	77	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	X:走向方向（北向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
92	77	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
93	79	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向	薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
94	79	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	X:条線方向（下向きを正とする）	Y:傾斜方向（下向きを正とする）	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
95	79	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
96	81	薄片観察資料	－	箱書き	H24-B11-1	H27-D5-1	E	書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。
97	81	薄片観察資料	－	箱書き	深度88.93m	深度25.76m	E	書式を転用した際に正しい深度への修正を失念した。
98	81	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	z上盤側を正とする	上盤側を正とする	E	断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。
99	83	薄片観察資料	－	最新活動面の条線観察結果	N26° E78° W	N16° E81° W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向・傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。
100	83	薄片観察資料	－	ブロックサンプル写真	写真と矢印の角度		F	ブロックサンプルの写真を他の資料と体裁を合わせて回転させた。
101	83	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	N26° E	N16° E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本図に反映していなかった。
102	83	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	78° W	81° W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。
103	83	薄片観察資料	－	薄片作成位置の模式図	N26° E78° W	N16° E81° W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向・傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。
104	85	薄片観察資料	－	資料タイトル	深度22.90m	深度22.91m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
105	85	薄片観察資料	－	箱書き	深度22.90m	深度22.91m	A	最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。
106	87	薄片観察資料	－	拡大薄片写真のカラーバー	断層ガウジのみ	カタクレーサイト追加	E	拡大写真にカタクレーサイトの分布位置を表示し忘れた。
107	89	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表：変位センス	H24-B11-1，④，変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
108	89	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表：連続性検討結果	H24-B11-1，④，連続性検討結果	（空欄）	×	D	変位センスを正しい記載にしたことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
109	89	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H24-B11-1, ④, 連続性検討結果に関する備考	(空欄)	※3	D	変位センスを正しい記載にしたことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
110	91	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-B14-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
111	91	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-1, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
112	91	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-B14-1, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
113	91	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-1, ⑤, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
114	91	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
115	91	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2, ③, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
116	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	平面図:連続性 検討範囲	平面図	破砕帯の連続性検討範囲の幅の修正		D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，±20°範囲が変わったもの。
117	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	断面図:連続性 検討範囲	断面図	破砕帯の連続性検討範囲の角度の修正		D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，±20°範囲が変わったもの。
118	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の色	右上図, H24-D1-1, ⑤, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
119	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:破砕帯範囲	ふげん道路ピット底盤, ⑪, 破砕帯範囲	EL+14.0m	EL+14.8m	A	破砕帯範囲，走向・傾斜について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
120	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:走向	ふげん道路ピット底盤, ⑪, 走向	N17E	N5W	A	破砕帯範囲，走向・傾斜について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
121	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	ふげん道路ピット底盤, ⑪, 傾斜	78W	67W	A	破砕帯範囲，走向・傾斜について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
122	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ①, 比較対象との走向の差	16	6	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
123	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ①, 比較対象との傾斜の差	20	9	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
124	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-D1-1①, 変位センス	LL	N,LL	D	変位センスについて，転記元の柱状図から転記したが，転記元の記載が誤っていたため正しい記載に修正したもの。
125	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ②, 比較対象との走向の差	26	4	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
126	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ②, 比較対象との傾斜の差	28	39	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
127	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ③, 比較対象との走向の差	3	25	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
128	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ③, 比較対象との傾斜の差	25	36	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
129	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ④, 比較対象との走向の差	9	13	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
130	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ④, 比較対象との傾斜の差	0	11	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
131	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:条線方向	H24-D1-1, ④, 条線方向	85R	－	A	条線方向について，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
132	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H24-D1-1, ⑤, 走向～条線方向	表の色の修正		D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わり，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため、表の該当箇所の着色が変わったもの。
133	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑤, 比較対象との走向の差	8	14	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
134	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑤, 比較対象との傾斜の差	10	21	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
135	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑥, 比較対象との走向の差	48	26	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
136	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑥, 比較対象との傾斜の差	30	41	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
137	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-D1-1, ⑥, 変位センス	N	R	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
138	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑦, 比較対象との走向の差	13	9	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
139	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑦, 比較対象との傾斜の差	24	35	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
140	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-D1-1, ⑦, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
141	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-D1-1, ⑦, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
142	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-D1-1, ⑦, 変位センス	－	R,RL	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
143	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑧, 比較対象との走向の差	46	24	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
144	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑧, 比較対象との傾斜の差	1	12	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
145	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑨, 比較対象との走向の差	39	17	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
146	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑨, 比較対象との傾斜の差	22	33	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
147	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑩, 比較対象との走向の差	70	48	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
148	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑩, 比較対象との傾斜の差	22	33	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
149	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑪, 比較対象との走向の差	14	36	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
150	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑪, 比較対象との傾斜の差	19	30	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
151	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H24-D1-1, ⑫, 比較対象との走向の差	6	16	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
152	93	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H24-D1-1, ⑫, 比較対象との傾斜の差	19	30	D	転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。
153	95	本編資料 連続性評価結果	－	f-14-1	伴わない	伴う	A	断層ガウジ又は断層角礫が伴うかどうかについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
154	95	本編資料 連続性評価結果	－	H-3b	伴わない	伴う	A	断層ガウジ又は断層角礫が伴うかどうかについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
155	97	本編資料 性状一覧表	断層ガウジ・ 断層角礫の幅	f-④-2-1, H20-④-2, 断層ガウジ・断層角礫の幅	12.0	10.0	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
156	99	本編資料 性状一覧表	断層ガウジ・ 断層角礫の幅	f-⑥-4-1, H20-⑥-5, 断層ガウジ・断層角礫の幅	－	フィルム状	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
157	101	本編資料	－	H24-B8-15, 拡大範囲断面図	角度修正		B	岩盤上面の高まりと，破砕帯の位置関係を示したものであり，参考として周辺のボーリングの位置を示したもの。断面図の水平・垂直比を1:2から1:1に変換した際にボーリングの角度を変更し忘れたもの。
158	101	本編資料	－	H24-B8-17, 拡大範囲断面図	角度修正		B	岩盤上面の高まりと，破砕帯の位置関係を示したものであり，参考として周辺のボーリングの位置を示したもの。断面図の水平・垂直比を1:2から1:1に変換した際にボーリングの角度を変更し忘れたもの。
159	101	本編資料	－	H24-B8-21, 拡大範囲断面図	角度修正		B	岩盤上面の高まりと，破砕帯の位置関係を示したものであり，参考として周辺のボーリングの位置を示したもの。断面図の水平・垂直比を1:2から1:1に変換した際にボーリングの角度を変更し忘れたもの。
160	103	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H20-③-1, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
161	105	連続性評価の 具体的プロセス	－	凡例	起点破砕部に記号の追加		E	他のページで使用している凡例を転用したものであるが，コピーする際に一部の記号が選択されていなかった。
162	105	連続性評価の 具体的プロセス	－	方位記号	方位記号の追加		E	方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが，貼り付けを忘れたもの。
163	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-B14-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
164	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-1, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
165	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-B14-1, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
166	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-1, ⑤, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
167	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
168	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2, ③, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
169	109	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H20-③-1, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
170	111	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜	H19-No.19, ①, 破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
171	111	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜	H19-No.19, ②, 破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
172	111	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜	H19-No.19, ③, 破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
173	111	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜	H19-No.19, ④, 破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
174	111	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜	H19-No.19, ⑤, 破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
175	111	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19，⑥，破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
176	111	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19，⑦，破砕帯深度変更	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
177	111	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.19，⑦，破砕帯深度変更	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
178	113	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H27-B-2，①～⑧，⑩，性状一覧表	2-194	参考2-194	E	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，記載元の性状一覧表から転記したが，「参考」を付け忘れたもの。
179	113	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H27-B-2，⑪，⑫，⑮，⑯，⑲，性状一覧表	2-195	参考2-195	E	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，記載元の性状一覧表から転記したが，「参考」を付け忘れたもの。
180	113	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2，⑧，変位センス	R	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
181	113	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2，⑫，変位センス	N	N,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
182	113	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2，⑮，変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
183	113	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2，⑯，変位センス	LL	R,LL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
184	113	連続性評価の具体的プロセス	表:条線方向	H27-B-2，⑩，条線方向	90	－	A	条線方向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
185	113	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.19，⑦，連続性検討結果	（空欄）	×	D	表の着色の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
186	113	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.19，⑦，連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※2	D	表の着色の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
187	113	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.19，⑦，性状	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。
188	115	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2，③，変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
189	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，③，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
190	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，④，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
191	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑤，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
192	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑥，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
193	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑦，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
194	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑧，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
195	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑨，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
196	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.15，③，破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
197	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，②，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
198	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，③，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
199	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，④，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
200	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑤，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
201	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑥，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
202	117	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑦，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
203	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，①，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
204	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
205	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，⑧，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
206	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16, ⑫, 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
207	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.17, ⑧, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
208	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.15, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
209	119	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.15, ③, 性状(条線方向を除く)	表の色の修正		D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
210	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
211	119	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ③, 性状(条線方向を除く)	表の色の修正		D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
212	119	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ⑩, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
213	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
214	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
215	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16, ⑧, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
216	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16, ⑫, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	有	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
217	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.17, ⑧, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
218	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.15, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
219	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
220	119	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑥, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無，変位センス	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。
221	119	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ⑩, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
222	119	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑤, 断面図上の番号～比較対象との傾斜の差	表の色の修正		D	断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより連続性検討範囲内の破砕部となったため，表の該当箇所の着色が変わったもの。
223	119	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2, ⑧, 走向	N2W	N1E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
224	119	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2, ⑧, 比較対象との走向の差	13	10	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
225	119	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2, ⑨, 走向	N15E	N21E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
226	119	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	4	10	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
227	119	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.2, ⑨, 傾斜	61W	70W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
228	119	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との傾斜の差	14	5	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
229	119	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H20-④-3, ①, 走向	N5W	N5E	A	走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
230	119	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-④-3, ①, 比較対象との走向の差	16	6	D	当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
231	119	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-②-1, ④, 連続性検討結果	×	（空欄）	E	連続性検討結果について，記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。
232	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ①, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
233	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ②, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
234	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ③, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
235	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ④, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
236	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ⑤, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
237	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ⑥, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
238	121	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.19, ⑦, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
239	123	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2, ⑧, 変位センス	R	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
240	123	連続性評価の具体的プロセス	表:条線方向	H27-B-2, ⑩, 条線方向	90	－	A	条線方向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
241	123	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2, ⑫, 変位センス	N	N,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
242	123	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2, ⑮, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
243	123	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H27-B-2, ⑯, 変位センス	LL	R,LL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
244	125	連続性評価の具体的プロセス	表:条線方向	H19-No.12, ①, 条線方向	－	57L	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
245	127	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B14-2, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
246	129	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B14-2, ①, 走向～明瞭なせん断構造・変形構造の有無，変位センス	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。
247	129	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2, ③, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
248	131	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.12, ①, 破砕部記号	破砕部記号の傾斜情報あり	破砕部記号の傾斜情報なし	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，破砕部記号の傾斜を示す線を削除したもの。
249	131	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.12, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，破砕部記号の着色が変わったもの。
250	133	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.12, ①, 走向	N3E	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
251	133	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.12, ①, 傾斜	53W	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
252	133	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.12, ①, 比較対象との走向差	13	－	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
253	133	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.12, ①, 比較対象との傾斜差	27	－	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
254	133	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.12, ①, 走向～変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の走向・傾斜の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
255	133	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.12, ①, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	当該破砕部の走向・傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
256	135	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2, ③, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
257	137	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2, ③, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
258	139	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B14-2, ⑦, 破砕部記号	破砕部の色の修正		A	破砕部の位置を視覚的に示したもの。連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，着色を誤った。
259	139	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B14-1, ⑧, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
260	139	連続性評価の具体的プロセス	－	方位	方位記号追加		E	方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが，貼り付けを忘れたもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
261	141	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-B14-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
262	141	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-1, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
263	141	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B14-1, ⑧, 走向～明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。
264	141	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B14-2, ③, 変位センス	RL	R,RL	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
265	143	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜 破砕部の色	H20-①-1, ③, 破砕部記号	破砕部の位置と色の修正		A	連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，破砕部の位置と着色を取り違えた。
266	143	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-2, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		A	連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，破砕部の着色を取り違えた。
267	143	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の 位置，傾斜 破砕部の色	H20-①-2, ③, 破砕部記号	破砕部の位置と色の修正		A	連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，破砕部の位置と着色を取り違えた。
268	145	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H20-④-1, ②, 変位センス	－	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
269	145	連続性評価の 具体的プロセス	表:条線方向	H19-No.14, ④, 条線方向	－	不明	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
270	147	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.12, ⑥, 変位センス	－	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
271	149	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H19-No.2, ⑦, 連続性検討結果に関する備考	※3	(空欄)	E	連続性検討結果について，記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。
272	149	連続性評価の 具体的プロセス	ー	H19-No.2, ⑬, 行高さ	行高さ修正		E	表の行の高さが足りず，文字が見切れていたもの。
273	149	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.4, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
274	151	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:連続性 検討範囲	「起点破砕部H19-No7,① から±20° の範囲」記載位置変更	文字の位置の修正		F	連続性検討範囲を示す説明書きの位置がずれていたもの。
275	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-8, ①, 傾斜	77SW	87W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
276	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-8, ①, 比較対象との傾斜の差	10	0	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
277	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-8, ②, 傾斜	78SW	56W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
278	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-8, ②, 比較対象との傾斜の差	9	31	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
279	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-9, ①, 傾斜	79SW	63NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
280	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-9, ①, 比較対象との傾斜の差	8	24	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
281	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-9, ②, 傾斜	80SW	77NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
282	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-9, ②, 比較対象との傾斜の差	7	10	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
283	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ①, 傾斜	81SW	85W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
284	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-12, ①, 比較対象との傾斜の差	6	2	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
285	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ②, 傾斜	82SW	85W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
286	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-12, ②, 比較対象との傾斜の差	5	2	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
287	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	27-Br-12, ③, 傾斜	83SW	78NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
288	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-12, ③, 比較対象との傾斜の差	4	9	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
289	155	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-②-1, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		A	破砕部の位置を視覚的に示したもの。連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，着色を誤った。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
290	157	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2, ⑨, 走向	N15E	N21E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
291	157	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	5	1	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
292	157	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.2, ⑨, 傾斜	61W	70W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
293	157	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との傾斜の差	20	11	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
294	157	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.4, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
295	159	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H20-①-1, ①～④, H20-①-2, ①～④	丸数字の位置修正		F	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部の番号を分かり易い位置に変更したもの。
296	161	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-6, ②, 性状一覧表	参考2-143	参考2-144	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
297	163	連続性評価の具体的プロセス	表:条線方向	H20-①-3, ⑥, 条線方向	-	10R	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
298	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-1, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
299	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-1, ④, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
300	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:連続性検討範囲	文字色「起点破砕部H20-①-9, ①から±20°の範囲」	文字の色の修正		F	連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。
301	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-4, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
302	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-4, ⑤, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
303	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-3, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
304	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-3, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
305	167	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H20-①-9, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
306	167	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H20-①-9, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
307	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ①, 性状(条線方向を除く)	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
308	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ④, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
309	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-1, ④, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
310	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-①-3, ②, 連続性検討結果	×	(空欄)	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
311	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H20-①-3, ②, 連続性検討結果に関する備考	※1	(空欄)	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
312	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ②, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
313	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
314	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-①-3, ③, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
315	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
316	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
317	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
318	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-①-4, ③, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
319	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
320	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ⑤, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
321	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-①-4, ⑤, 連続性検討結果	×	（空欄）	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
322	167	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H20-①-4, ⑤, 連続性検討結果に関する備考	※1	（空欄）	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
323	167	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ⑥, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
324	169	連続性評価の具体的プロセス	断面図:連続性検討範囲	「起点破砕部H20-④-5, ③から±20°の範囲」	重なった文字の削除		E	連続性検討範囲を示す説明書きの文字が重なっていたため削除
325	171	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-5, ③, 性状一覧表	参考2-141	参考2-144	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
326	173	連続性評価の具体的プロセス	断面図:連続性検討範囲	文字色「起点破砕部H20-①-8, ①から±20°の範囲」	文字の色の修正		F	連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。
327	175	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H20-①-8, ①, 下端深度	25.54	26.15	A	下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
328	177	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H27-Br-1, ①, 走向	16E	N16E	A	走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
329	179	連続性評価の具体的プロセス	表:条線方向	H19-№14, ④, 条線方向	-	不明	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
330	179	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑪, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
331	181	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
332	183	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑧, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
333	183	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑨, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
334	183	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑪, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
335	183	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.4, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
336	183	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.4, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
337	185	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ③, 傾斜	78W	78NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
338	187	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.16, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
339	187	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.16, ④, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
340	187	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.16, ⑥, 破砕帯部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
341	189	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H20-④-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
342	189	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H20-④-1, ① 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
343	189	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
344	189	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
345	189	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
346	189	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16, ③, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
347	189	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.16, ③, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
348	189	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ④, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
349	189	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16, ④, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
350	189	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.16, ④, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
351	189	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
352	189	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ⑥, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
353	189	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16⑥, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
354	189	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.16, ⑥, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
355	191	連続性評価の具体的プロセス	－	孔名	H24-①-3	H20-①-3	E	孔名を誤って記載したもの。
356	191	連続性評価の具体的プロセス	－	孔名	H24-①-4	H20-①-4	E	孔名を誤って記載したもの。
357	193	連続性評価の具体的プロセス	断面図:連続性検討範囲	文字色「起点破砕部H20-①-10, ②」	文字の色の修正		F	連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。
358	195	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑧, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
359	195	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑨, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
360	195	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑪, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
361	197	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H20-③-1, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
362	199	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.2, ⑧, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
363	199	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.2, ⑫, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
364	199	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-②-1, ④, 破砕部き記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
365	199	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.3, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
366	199	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.3, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
367	201	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H20-③-1, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
368	201	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H20-③-1, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
369	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑥, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
370	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑧, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
371	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.2, ⑧, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
372	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑨, 断層ガウジ・断層角礫の有無，条線方向	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
373	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑩, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
374	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑫, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
375	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.2, ⑫, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
376	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.2, ⑫, 連続性検討結果に関する備考	(空欄)	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
377	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-②-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
378	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-②-1, ④, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
379	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-②-1, ④, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
380	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.3, ②, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
381	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.3, ②, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
382	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.3, ②, 連続性検討結果に関する備考	(空欄)	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
383	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.3, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
384	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.3, ③, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
385	201	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.3, ③, 連続性検討結果に関する備考	(空欄)	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
386	201	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.4, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
387	201	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.4, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
388	201	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.4, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，表の当該箇所の着色が変わったもの。
389	201	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.4, ②, 連続性検討範囲～下端深度	表の色の修正		E	断面図の連続性検討範囲内にある破砕部の着色を忘れたもの。
390	203	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.16, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
391	205	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H20-④-2, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
392	205	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H20-④-2, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
393	205	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
394	205	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
395	205	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16, ③, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
396	205	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H19-No.16, ③, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
397	207	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.4, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
398	209	連続性評価の 具体的プロセス	表:破砕帯名	H20-④-4, ①, 破砕帯名	f-④-4-1	非モデル化	A	破砕帯名について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
399	209	連続性評価の 具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-4, ①, 性状一覧表	（空欄）	参考2-188	D	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，破砕帯名を修正したため，参照先を記載した。
400	211	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の番号	H20-①-2, ②	破砕部番号の位置の修正		F	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部の番号を分かり易い位置に変更したもの。
401	211	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の番号	H20-①-1, ③	破砕部番号の位置の修正		F	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部の番号を分かり易い位置に変更したもの。
402	213	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-5, ②, 走向との差	120	60	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
403	213	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-6, ②, 走向との差	112	68	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
404	213	連続性評価の 具体的プロセス	表:破砕帯名	H20-①-5, ②, 破砕帯名	f-①-5-2	非モデル化	E	破砕帯名について，仮名称を変更し忘れたもの。
405	213	連続性評価の 具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-①-5, ②, 性状一覧表	参考2-150	参考2-188	D	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，破砕帯名を修正したため，参照先を記載した。
406	215	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
407	215	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ③, 傾斜	78W	78NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
408	217	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:連続性 検討範囲	起点破砕部から ±20°の範囲テキストの色	文字の色の修正		F	連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。
409	219	連続性評価の 具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-1, ①, 性状一覧表	参考2-143	参考2-142	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
410	219	連続性評価の 具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-5, ③, 性状一覧表	参考2-143	参考2-144	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
411	221	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H27-Br-2, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
412	221	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H27-Br-2, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
413	221	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H27-Br-3, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
414	221	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H27-Br-3, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
415	223	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	2号炉原子炉建屋南側道路, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
416	223	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	2号炉原子炉建屋南側道路, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
417	223	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	2号炉原子炉建屋南側道路, 性状一覧表	参考2-167	参考2-168	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
418	223	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.14, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
419	223	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.15, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
420	223	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.15, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
421	223	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.15, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
422	225	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑨, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
423	227	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-2, ①, 連続性検討結果	(空欄)	×	E	連続性検討結果について，記載の必要な箇所に記載を忘れたもの。
424	227	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H27-Br-3, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	有	無	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
425	227	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って違う色を着色したもの。
426	227	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ⑦, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って違う色を着色したもの。
427	229	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.3, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
428	229	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.3, ④, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
429	231	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-1, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
430	231	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-3, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
431	233	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.4, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
432	233	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.4, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
433	233	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
434	233	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ①, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
435	233	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
436	233	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ③, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
437	233	連続性評価の具体的プロセス	ー	凡例7行目	右端テキスト非表示修正		E	凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。
438	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-8, ①, 傾斜	77SW	87W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
439	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-8, ①, 比較対象との傾斜の差	2	12	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
440	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-8, ②, 傾斜	78SW	56W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
441	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-8, ②, 比較対象との傾斜の差	3	19	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
442	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-9, ①, 傾斜	79SW	63NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
443	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-9, ①, 比較対象との傾斜の差	4	12	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
444	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-9, ②, 傾斜	80SW	77NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
445	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-9, ②, 比較対象との傾斜の差	5	2	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
446	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ①, 傾斜	81SW	85W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
447	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-12, ①, 比較対象との傾斜の差	6	10	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
448	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ②, 傾斜	82SW	85W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
449	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-12, ②, 比較対象との傾斜の差	7	10	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
450	235	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ③, 傾斜	83SW	78NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
451	235	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-12, ③, 比較対象との傾斜の差	8	3	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
452	237	連続性評価の具体的プロセス	表:条線方向	H20-①-3, ⑧, 条線方向	2	85R	A	条線方向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
453	239	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.14, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
454	239	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.14, ⑤, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
455	241	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
456	241	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
457	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.13, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
458	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.13, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
459	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.13, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
460	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.14, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
461	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.14, ②, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
462	241	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.14, ②, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
463	241	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.14, ②, 連続性検討結果に関する備考備考	(空欄)	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
464	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.14, ⑤, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
465	241	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.14, ⑤, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
466	241	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.14, ⑥, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
467	243	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.2, ⑪, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
468	243	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ①, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
469	245	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
470	247	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-1, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
471	247	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-3, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
472	249	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ⑩, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
473	249	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ⑩, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
474	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ①, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
475	249	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-1, ①, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
476	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
477	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
478	249	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-①-3, ③, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
479	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
480	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
481	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
482	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
483	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
484	249	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
485	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ③, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
486	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ④, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
487	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑤, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
488	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑥, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
489	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑦，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
490	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑧，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
491	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2，⑨，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
492	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，②，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
493	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，③，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
494	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，④，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
495	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑤，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
496	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑥，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
497	251	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑦，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
498	253	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H20-④-6，③，変位センス	－	N,LL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
499	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，①，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
500	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，①，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
501	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
502	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，③，明瞭なせん断構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
503	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，⑧，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
504	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，⑧，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
505	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，⑫，断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
506	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，⑫，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	有	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
507	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.17，⑧，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
508	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.17，⑧，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
509	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.15，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
510	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.15，③，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
511	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
512	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2，③，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
513	253	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2，⑧，走向	N2W	N1E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
514	253	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2，⑧，比較対象との走向の差	57	54	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
515	253	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2，⑨，走向	N15E	N21E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
516	253	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	40	34	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
517	253	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.2, ⑨, 傾斜	61W	70W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
518	253	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との傾斜の差	50	41	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
519	253	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ⑩, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
520	253	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ⑩, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
521	253	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H20-④-3, ①, 走向	N5W	N5E	A	走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
522	253	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-④-3, ①, 比較対象との走向の差	5	50	D	当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
523	255	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H20-④-1, ③, 変位センス	－	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
524	255	連続性評価の具体的プロセス	ー	凡例7行目	右端テキスト非表示修正		E	凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。
525	257	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H20-④-3, ②, 変位センス	－	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
526	259	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.13, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	断層ガウジ・断層角礫の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
527	259	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.13, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
528	259	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-③-1, ①, 比較対象との走向の差	97	83	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
529	259	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H20-③-1, ③, 走向	N2E	N1E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
530	259	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-③-1, ③, 比較対象との走向の差	16	17	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
531	261	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.15, ④, 変位センス	N,LL or R,RL	N,LL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
532	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ③, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
533	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ④, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
534	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑤, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
535	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑥, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
536	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑦, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
537	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
538	263	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑨, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
539	265	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.15, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
540	265	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.15, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
541	265	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
542	265	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
543	265	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2, ⑧, 走向	N2W	N1E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
544	265	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2, ⑧, 比較対象との走向の差	61	58	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
545	265	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2, ⑨, 走向	N15E	N21E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
546	265	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	44	38	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
547	265	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.2, ⑨, 傾斜	61W	70W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
548	265	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との傾斜の差	0	9	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
549	265	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2, ⑩, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
550	265	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2, ⑩, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
551	265	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H20-④-3, ①, 走向	N5W	N5E	A	走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
552	265	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-④-3, ①, 比較対象との走向の差	64	54	D	当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
553	265	連続性評価の具体的プロセス	ー	凡例7行目	右端テキスト非表示修正		E	凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。
554	267	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.15, ④, 変位センス	－	N,LL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
555	267	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-1, ①, 性状一覧表	参考2-143	参考2-142	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
556	267	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H20-④-1, ②, 変位センス	－	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
557	267	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H20-④-1, ③, 変位センス	－	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
558	267	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-5, ③, 性状一覧表	参考2-143	参考2-144	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
559	269	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-1, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
560	271	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.3, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
561	271	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.3, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
562	271	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ①, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
563	271	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H27-Br-1, ①, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
564	271	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-4, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
565	271	連続性評価の具体的プロセス	ー	凡例7行目	右端テキスト非表示修正		E	凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。
566	273	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-8, ①, 傾斜	77SW	87W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
567	273	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-8, ①, 比較対象との傾斜の差	17	27	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
568	273	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-8, ②, 傾斜	78SW	56W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
569	273	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-8, ②, 比較対象との傾斜の差	18	4	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
570	273	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-9, ①, 傾斜	79SW	63NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
571	273	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H27-Br-9, ①, 比較対象との傾斜の差	19	3	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
572	273	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-9, ②, 傾斜	80SW	77NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
573	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-9, ②, 比較対象との傾斜の差	20	17	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
574	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ①, 傾斜	81SW	85W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
575	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-12, ①, 比較対象との傾斜の差	21	25	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
576	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ②, 傾斜	82SW	85W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
577	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-12, ②, 比較対象との傾斜の差	22	25	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
578	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H27-Br-12, ③, 傾斜	83SW	78NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
579	273	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H27-Br-12, ③, 比較対象との傾斜の差	23	18	D	転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。
580	275	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H19-No.16, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
581	275	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.16, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
582	275	連続性評価の 具体的プロセス	－	凡例7行目	テキスト右端非表示修正		E	凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。
583	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H20-①-10, ⑤, 変位センス	－	LL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
584	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ③, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
585	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ④, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
586	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-1, ⑤, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
587	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-1, ③, 連続性検討結果	×	(空欄)	D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
588	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-1, ④, 連続性検討結果	×	(空欄)	D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
589	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-1, ⑤, 連続性検討結果	×	(空欄)	D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
590	277	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H27-Br-1, ⑤, 連続性検討結果に関する備考	※4	(空欄)	D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
591	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H19-No.14, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
592	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.14, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
593	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
594	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
595	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
596	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.2, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
597	279	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.4, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	有	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
598	281	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:連続性 検討範囲	起点破砕部H19-No.15, ③ から±20° の範囲テキストの色	文字の色の修正		F	連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。
599	283	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H19-No.15, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
600	283	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.15, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
601	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-1, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
602	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-1, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
603	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-1, ⑥, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
604	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-2, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
605	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-2, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
606	283	連続性評価の具体的プロセス	－	H20-④-5, ①, 条線方向	40L	40L(不明瞭)	E	表の行の高さが足りず，文字が見切れていたもの。
607	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-5, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
608	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-5, ③, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
609	283	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H20-④-6, ④, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
610	283	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-1, ①, 性状一覧表	参考2-143	参考2-142	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
611	283	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H20-④-5, ③, 性状一覧表	参考2-143	参考2-144	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
612	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ③, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
613	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ④, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
614	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑤, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
615	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑥, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
616	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑦, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
617	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
618	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.2, ⑨, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
619	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.16, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
620	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.16, ⑧, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
621	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17, ②, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
622	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17, ③, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
623	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17, ④, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
624	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17, ⑤, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
625	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17, ⑥, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
626	285	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置，傾斜	H19-No.17，⑦，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
627	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，①，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
628	287	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16，①，断層ガウジ・断層角礫の有無，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
629	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，①，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
630	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
631	287	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16，③，性状	表の色の修正		D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
632	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，③，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
633	287	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16，③，連続性検討結果	×	（空欄）	D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
634	287	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.16，③，連続性検討結果に関する備考	※1	（空欄）	D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
635	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，⑧，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
636	287	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16，⑧，性状	表の色の修正		D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
637	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，⑧，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
638	287	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16，⑧，連続性検討結果	×	（空欄）	D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
639	287	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.16，⑧，連続性検討結果に関する備考	※1	（空欄）	D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
640	287	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16，⑩，連続性検討結果	×	（空欄）	E	連続性検討結果について，記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。
641	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.16，⑫，断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
642	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.16，⑫，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	有	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
643	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.17，⑧，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
644	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.17，⑧，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
645	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.15，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
646	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.15，③，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
647	287	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.2，③，断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
648	287	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.2，③，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
649	287	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.2，⑧，走向	N2W	N1E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
650	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H19-No.2, ⑧, 比較対象との走向の差	77	80	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
651	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:走向	H19-No.2, ⑨, 走向	N15E	N21E	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
652	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	86	80	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
653	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.2, ⑨, 傾斜	61W	70W	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
654	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との傾斜の差	12	3	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
655	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H19-No.2, ⑩, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
656	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H19-No.2, ⑩, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
657	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:走向	H20-④-3, ①, 走向	N5W	N5E	A	走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
658	287	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-④-3, ①, 比較対象との走向の差	74	84	D	当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
659	287	連続性評価の 具体的プロセス	－	凡例7行目	テキスト右端非表示修正		E	凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。
660	289	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
661	291	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
662	291	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ④, 変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
663	291	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H24-B11-1, ④, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
664	291	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H24-B11-1, ④, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
665	293	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
666	295	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H24-B8-15, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
667	295	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B8-15, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
668	295	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
669	297	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B8-21, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
670	299	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
671	299	連続性評価の 具体的プロセス	表:性状一覧表	H24-B11-1, ④, 性状一覧表	参考2-192	参考2-191	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
672	299	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B8-21, ①, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の変位センスの誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
673	301	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H27-Br-3, ②, 断層ｶﾞｳｼﾞ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
674	301	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H27-Br-3, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
675	301	連続性評価の 具体的プロセス	表:断層ガウジ・ 断層角礫の有無	H27-Br-8, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
676	301	連続性評価の 具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H27-Br-8, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
677	303	連続性評価の 具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
678	303	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
679	305	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
680	307	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
681	307	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
682	309	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
683	309	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
684	309	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.6, ①, 変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
685	311	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H24-B8-21, ②, 傾斜	81W	81NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
686	313	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
687	313	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
688	315	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
689	315	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
690	315	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.6, ①, 変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
691	317	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B11-1, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
692	319	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ②, 性状	表の色の修正		D	当該破砕部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
693	319	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H24-B11-1, ②, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	有	無	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
694	319	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H24-B11-1, ②, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	当該破砕部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
695	319	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H24-B11-1, ②, 連続性検討結果に関する備考	(空欄)	※4	D	当該破砕部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
696	319	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
697	319	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
698	321	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
699	321	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
700	323	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
701	323	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
702	325	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.12, ①, 走向	N3E	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
703	325	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.12, ①, 比較対象との走向の差	5	－	D	当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
704	325	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.12, ①, 傾斜	53W	－	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
705	325	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.12, ①, 比較対象との傾斜の差	31	－	D	当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
706	325	連続性評価の具体的プロセス	表:走向	H19-No.12, ③, 走向	－	N12E	A	走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
707	325	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.12, ③, 比較対象との走向の差	－	4	D	当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
708	325	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H19-No.12, ③, 傾斜	-	89W	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
709	325	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.12, ③, 比較対象との傾斜の差	-	5	D	当該破砕部の傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
710	325	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.12, ⑭, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
711	325	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.12, ⑭, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
712	325	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.12, ⑭, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
713	327	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B8-21, ⑦, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
714	329	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B8-21, ⑦, 変位センス	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。
715	331	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
716	333	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
717	333	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
718	335	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
719	337	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
720	339	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
721	341	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B11-1, ④, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
722	343	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
723	343	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ④, 変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の変位センスの誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
724	345	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
725	345	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
726	347	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.3, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	湯	有	E	断層ガウジ・断層角礫の有無を入力した際にタイプミスしたもの。
727	347	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
728	349	連続性評価の具体的プロセス	ー	方位	方位記号の追加		E	方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが，貼り付けを忘れたもの。
729	351	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
730	353	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
731	355	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
732	355	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
733	357	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
734	359	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
735	359	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-2, ①, 条線方向	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。
736	359	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H24-B11-2, ①, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	当該破砕部の条線方向の着色の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
737	359	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
738	361	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B11-1, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
739	363	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.12, ⑥, 変位センス	-	N,RL	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
740	363	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ①, 変位センス	表の色の修正		D	起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
741	363	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
742	365	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
743	365	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
744	367	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
745	367	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	-	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
746	369	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
747	371	連続性評価の具体的プロセス	表:性状一覧表	H24-B11-1, ⑤, 性状一覧表	参考2-192	参考2-191	A	性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
748	373	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B11-1, ③, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
749	375	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H24-B8-34, ② 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
750	375	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H24-B8-34, ② 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
751	375	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
752	375	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ②, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
753	375	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ③, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
754	375	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H24-B11-1, ③, 連続性検討結果	(空欄)	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
755	375	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
756	375	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ⑤, 断層ガウジ・断層角礫の有無, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
757	377	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.8, ⑪ 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
758	377	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.8, ⑪ 明瞭なせん断構造，変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
759	379	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-12, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
760	379	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H27-Br-12, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
761	381	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H19-No.8, ⑪ 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
762	381	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H19-No.8, ⑪ 明瞭なせん断構造，変形構造の有無	-	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
763	381	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-12, ①, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
764	381	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-12, ②, 性状	表の色の修正		D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
765	381	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-12, ①, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
766	381	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果	H27-Br-12, ②, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
767	381	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H27-Br-12, ①, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
768	381	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H27-Br-12, ②, 連続性検討結果に関する備考	（空欄）	※3	D	起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
769	383	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.6, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
770	385	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
771	385	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
772	385	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.6, ①, 変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
773	387	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
774	387	連続性評価の具体的プロセス	ー	枠の右下部分	枠が消えている		E	表の下端の一部にテキストボックスが干渉し，枠線が消えていたもの。
775	389	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
776	389	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
777	391	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ①, 変位センス	－	LL	A	変位センスについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
778	391	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ①, 変位センス	表の色の修正		D	当該破砕部の変位センスの誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
779	391	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ②, 変位センス	－	N,LL	A	変位センスについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
780	391	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
781	393	連続性評価の具体的プロセス	表:傾斜	H24-B8-21, ②, 傾斜	81W	81NW	A	傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
782	395	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
783	397	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
784	397	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
785	399	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H24-B11-2, ②, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
786	401	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
787	401	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-2, ②, 走向～比較対象との傾斜の差	表の色の修正		E	起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。
788	401	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
789	403	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
790	405	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
791	407	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
792	409	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
793	409	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
794	409	連続性評価の具体的プロセス	表:断層ガウジ・断層角礫の有無	H24-B11-2, ①, 断層ガウジ・断層角礫の有無	無	有	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
795	409	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H24-B11-2, ①, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	－	無	A	H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
796	411	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
797	413	連続性評価の具体的プロセス	断面図:連続性検討範囲	連続性検討範囲	連続性検討範囲の位置の修正		B	連続性検討範囲の作図位置を誤ったもの。
798	413	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H19-No.18, ①, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったことに伴い断面図の当該破砕部の着色が変わったもの。
799	415	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討範囲	H19-No.18, ①, 連続性検討範囲	範囲外	範囲内	D	断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより，連続性検討範囲外であったものが，連続性検討範囲内に変わったもの。
800	415	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.18, ①, 連続性検討範囲～下端深度	表の色の修正		D	断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
801	417	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
802	417	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H19-No.6, ①, 変位センス	－	N	A	連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
803	419	連続性評価の具体的プロセス	表:変位センス	H24-B11-1, ④, 変位センス	N,LL	N	D	変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
804	421	性状一覧表	－	目次のページ番号	参考2-53	参考2-54	A	性状一覧表の目次のページ番号について，転記元の性状一覧表の当該ページから転記したが，転記を誤ったもの。
805	423	性状一覧表	走向・傾斜	浦底断層Bトレンチ走向傾斜	N20W,70E	N27W,69E	A	走向・傾斜について，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
806	423	性状一覧表	条線方向	浦底断層Bトレンチ条線方向	27L	28L	A	条線方向について，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
807	425	性状一覧表	－	D-1, 2号炉試掘坑B坑スケッチ	テキストボックスのずれを修正		E	記載のテキストボックスの幅が不足していたため，体裁が崩れていたもの。
808	427	性状一覧表	－	D-1, 2号炉試掘坑A坑スケッチ	テキストボックスのずれを修正		E	記載のテキストボックスの幅が不足していたため，体裁が崩れていたもの。
809	429	性状一覧表	変位センス(鉛直/水平)	K, H24-B'-1変位センス	－,－	逆,左	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
810	431	性状一覧表	－	断層ガウジ・断層角礫の幅	黄色枠消し忘れ修正		E	審査資料の変更箇所を示す黄枠を消し忘れたもの。
811	431	性状一覧表	－	凡例	黄色枠消し忘れ修正		E	審査資料の変更箇所を示す黄枠を消し忘れたもの。
812	433	性状一覧表	－	調査位置図	スケール消し忘れ修正		E	調査位置図の不要なスケールを消し忘れたもの。
813	435	性状一覧表	－	調査位置図	文字の色の修正		F	調査位置図の破砕帯名の文字の色が統一されていないもの。
814	437	性状一覧表	－	調査位置図	消し忘れ修正		E	調査位置図の不要な破線を消し忘れたもの。
815	439	性状一覧表	－	調査位置図	消し忘れ修正		E	調査位置図の不要な破線を消し忘れたもの。
816	439	性状一覧表	－	凡例	2号炉原子炉建屋削除		E	凡例の不要な記載を消し忘れたもの。
817	441	性状一覧表	変位センス(鉛直/水平)	f-④-12, H21-No.④, 変位センス	右	－	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
818	443	性状一覧表	－	破砕帯名	H-3b(s)	H-3b	E	破砕帯名について，仮名称を変更し忘れたもの。
819	445	性状一覧表	－	破砕帯名	H-3c(s)	H-3c	E	破砕帯名について，仮名称を変更し忘れたもの。
820	447	性状一覧表	－	②確認箇所	H19-No.2	H19-No.2(傾斜42°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A：転記の誤り
分類B：作図の誤り
分類C：表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D：転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E：誤字・脱字・記載漏れ
分類F：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
821	447	性状一覧表	－	④確認箇所	H19-No.2	H19-No.2(傾斜42°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
822	447	性状一覧表	－	⑨確認箇所	H19-No.4	H19-No.4(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
823	447	性状一覧表	－	①確認箇所	H19-No.5	H19-No.5(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
824	447	性状一覧表	－	②確認箇所	H19-No.5	H19-No.5(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
825	447	性状一覧表	－	③確認箇所	H19-No.5	H19-No.5(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
826	447	性状一覧表	－	①確認箇所	H19-No.10	H19-No.10(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
827	447	性状一覧表	－	②確認箇所	H19-No.10	H19-No.10(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
828	447	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
829	449	性状一覧表	－	③確認箇所	H19-No.10	H19-No.10(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
830	449	性状一覧表	－	①確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
831	449	性状一覧表	－	⑦確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
832	449	性状一覧表	－	⑨確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
833	449	性状一覧表	－	⑩確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
834	449	性状一覧表	－	⑪確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
835	449	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
836	451	性状一覧表	－	⑬確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
837	451	性状一覧表	－	⑭確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
838	451	性状一覧表	－	⑱確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
839	451	性状一覧表	－	⑲確認箇所	H19-No.16	H19-No.16(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
840	451	性状一覧表	－	③確認箇所	H19-No.17	H19-No.17(傾斜65°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
841	451	性状一覧表	－	④確認箇所	H19-No.17	H19-No.17(傾斜65°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
842	451	性状一覧表	－	⑬確認箇所	H19-No.17	H19-No.17(傾斜65°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
843	451	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
844	453	性状一覧表	－	④確認箇所	H19-No.18	H19-No.18(傾斜60°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
845	453	性状一覧表	－	⑤確認箇所	H19-No.18	H19-No.18(傾斜60°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
846	453	性状一覧表	－	⑥確認箇所	H19-No.18	H19-No.18(傾斜60°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
847	453	性状一覧表	－	③確認箇所	H19-No.19	H19-No.19(傾斜70°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
848	453	性状一覧表	－	⑦確認箇所	H19-No.19	H19-No.19(傾斜70°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
849	453	性状一覧表	－	①確認箇所	H20-①-1	H20-①-1(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
850	453	性状一覧表	－	①確認箇所	H20-①-2	H20-①-2(傾斜54°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
851	453	性状一覧表	－	①確認箇所	H20-①-3	H20-①-3(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
852	453	性状一覧表	－	②確認箇所	H20-①-3	H20-①-3(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
853	453	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
854	455	性状一覧表	－	②確認箇所	H20-①-5	H20-①-5(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
855	455	性状一覧表	－	②確認箇所	H20-①-6	H20-①-6(傾斜50°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
856	455	性状一覧表	－	①確認箇所	H20-④-4	H20-④-4(鉛直)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
857	455	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
858	457	性状一覧表	－	①確認箇所	H24-B8-15	H24-B8-15(傾斜65°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
859	457	性状一覧表	－	④確認箇所	H24-B8-21	H24-B8-21(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
860	457	性状一覧表	－	⑤確認箇所	H24-B8-21	H24-B8-21(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
861	457	性状一覧表	－	⑥確認箇所	H24-B8-21	H24-B8-21(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
862	457	性状一覧表	－	⑦確認箇所	H24-B8-21	H24-B8-21(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
863	457	性状一覧表	－	②確認箇所	H24-B8-23	H24-B8-23(傾斜65°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
864	457	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
865	459	性状一覧表	－	③確認箇所	H24-B8-27	H24-B8-27(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
866	459	性状一覧表	－	②確認箇所	H24-B8-29	H24-B8-29(傾斜60°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
867	459	性状一覧表	－	③確認箇所	H24-B8-29	H24-B8-29(傾斜60°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
868	459	性状一覧表	－	①確認箇所	H24-B8-30	H24-B8-30(傾斜65°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
869	459	性状一覧表	－	①確認箇所	H24-B8-34	H24-B8-34(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
870	459	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
871	461	性状一覧表	－	②確認箇所	H24-B8-35	H24-B8-35(傾斜50°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
872	461	性状一覧表	－	③確認箇所	H24-B8-35	H24-B8-35(傾斜50°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
873	461	性状一覧表	－	①確認箇所	H24-B8-36	H24-B8-36(傾斜70°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
874	461	性状一覧表	－	④確認箇所	H24-B11-1	H24-B11-1(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
875	461	性状一覧表	－	⑤確認箇所	H24-B11-1	H24-B11-1(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
876	461	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
877	461	性状一覧表	変位センス（鉛直/水平）	H24-B11-1，④，変位センス	左	－	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
878	463	性状一覧表	－	⑥確認箇所	H24-B14-1	H24-B14-1(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
879	463	性状一覧表	－	⑦確認箇所	H24-B14-1	H24-B14-1(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
880	463	性状一覧表	－	⑧確認箇所	H24-B14-1	H24-B14-1(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
881	463	性状一覧表	－	⑨確認箇所	H24-B14-1	H24-B14-1(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
882	463	性状一覧表	－	③確認箇所	H24-B14-2	H24-B14-2(傾斜45°)	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
883	463	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
884	463	性状一覧表	変位センス（鉛直/水平）	H24-B14-2，③，変位センス	－	逆	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
885	465	性状一覧表	－	①確認箇所	H27-Br-3	H27-Br-3（鉛直）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
886	465	性状一覧表	－	①確認箇所	H27-Br-4	H27-Br-4（鉛直）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
887	465	性状一覧表	－	②確認箇所	H27-Br-8	H27-Br-8（鉛直）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
888	465	性状一覧表	－	①確認箇所	H27-Br-9	H27-Br-9（鉛直）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
889	465	性状一覧表	－	②確認箇所	H27-Br-9	H27-Br-9（鉛直）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
890	465	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
891	467	性状一覧表	－	断面図上の番号	破砕帯名	断面図上の番号	E	書式を転用した際に正しい項目名への修正を失念した。
892	467	性状一覧表	－	①確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
893	467	性状一覧表	－	②確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
894	467	性状一覧表	－	③確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
895	467	性状一覧表	－	④確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
896	467	性状一覧表	－	⑤確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
897	467	性状一覧表	－	⑥確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
898	467	性状一覧表	－	⑦確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
899	467	性状一覧表	－	⑧確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
900	467	性状一覧表	変位センス（鉛直/水平）	H27-B-2，⑧，変位センス	－	右	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
901	467	性状一覧表	－	⑩確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
902	467	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
903	469	性状一覧表	－	断面図上の番号	破砕帯名	断面図上の番号	E	書式を転用した際に正しい項目名への修正を失念した。
904	469	性状一覧表	－	⑪確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
905	469	性状一覧表	－	⑫確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
906	469	性状一覧表	変位センス（鉛直/水平）	H27-B-2，⑫，変位センス	－	右	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
907	469	性状一覧表	－	⑮確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
908	469	性状一覧表	変位センス（鉛直/水平）	H27-B-2，⑮，変位センス	－	逆	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
909	469	性状一覧表	－	⑯確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
910	469	性状一覧表	変位センス（鉛直/水平）	H27-B-2，⑯，変位センス	－	逆	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
911	469	性状一覧表	－	⑲確認箇所	H27-B-2	H27-B-2（傾斜45°）	E	ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。
912	469	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	明瞭なせん断構造・変形構造	せん断構造変形構造	明瞭なせん断構造変形構造	E	項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。
913	471	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事56.69～56.72m	右ずれセンス	右ずれ正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
914	473	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事47.37～47.40m	右ずれセンス	右ずれ逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
915	475	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事45.91～48.28m	左ずれセンス	左ずれ正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
916	475	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事49.20～49.91m	西上がりセンス	正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
917	477	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事68.84～69.00m	西上がり及び西下がりセンス	逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
918	479	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事34.54～34.59m	左ずれセンス	左ずれ逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
919	479	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事44.53～44.83m	左ずれセンス	左ずれ逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
920	481	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事49.17～49.22m	右ずれセンス	右ずれ正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
921	483	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事78.72～78.87m	右ずれセンス	右ずれ正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
922	485	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事113.51～113.60m	右ずれセンス	右ずれ正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
923	487	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事60.26～60.69m	逆断層センス	右ずれ逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
924	489	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事85.58～85.76m	正断層センス	右ずれ正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
925	489	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事91.69～91.76m	右ずれセンス	右ずれ逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
926	491	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事120.63～120.65m	左ずれセンス	左ずれ逆断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
927	493	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事97.87～99.00m	左ずれ正断層センス	正断層センス	A	変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
928	495	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事33.27～35.90m	正断層センスがある。	正断層センスである。	E	適切な助詞ではなかった。
929	497	ボーリング柱状図・コア写真	記事(破砕部)	記事6.00～6.12m	・破砕部である。 ・淡赤褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN86° W42° Sである。 幅100mmの粘土を狭在する。 ・下端境界の傾斜は11°である。	・破砕部である。 ・走向・傾斜はN86° W42° Sである。 ・幅100mmの粘土を狭在する。 ・下端境界の傾斜は11°である。	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を柱状図の記事に反映していなかった。
930	499	ボーリング柱状図・コア写真	コア写真	テキスト	コア写真(20.00m～30.00m)	コア写真(21.00m～30.00m)	E	ノンコア区間を勘違いしたもの。
931	499	ボーリング柱状図・コア写真	コア写真	テキスト	0～20mまで	0～21mまで	E	ノンコア区間を勘違いしたもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

余白

2. 個々の記載の不備の具体的内容・類型化

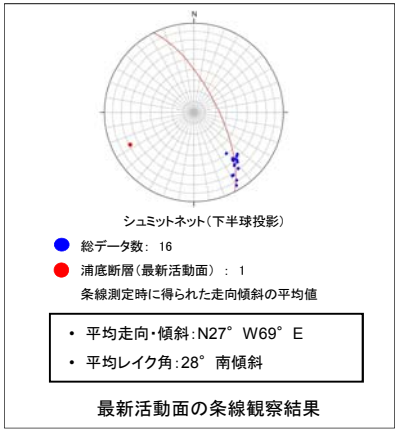
資料名			該当ページ（資料の右下）	正誤比較ページ（資料の右上）
平成29年12月22日 第536回 審査会合資料	本編資料	5.敷地の地質構造	106,107,179	4～9
	参考資料（1/3）	2.敷地の地質構造	参考1-201,207～210,223～226,280,292,297,298,302,308～320,333,334, 355,356,384,385,395,396,402,437,438,442	10～87
平成30年11月30日 第657回 審査会合資料	本編資料	―	27,31,33,47,78,82,103	88～101
	参考資料1	2.原子炉建屋及びその周辺の重要施設	参考1-13,16,17,21,24,25,29,32,33,36,37,41,44,45,52,53,57,61,64,65	102～141
		4.原子炉補機冷却海水取水路、貯留堰等	参考1-92,97,109,117,124,125,136,137,152,161,165,168,169,172,173,184,185, 189,193,201,205,209,212,213,220,224,229,237,244,245,248,249,265,277,280, 281,285,288,289,297,301,305,309,317,320,321,325,333,340,341,345,361,368, 369,372,373,381,385,389,397,400,401,409,412,413,417,421,425,429,432,433, 436,437	142～287
		5.防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設	参考1-445,449,457,469,472,473,481,485,489,493,497,505,509,513,516,517, 525,529,533,536,537,541,545,553,557,565,568,569,573,577,579,581,593,609, 613,617,620,621,633,641,645,649,652,653,657,660,661,668,669,673,677,681, 693,701,705,708,709,713,717,721,725,733,736,737,741,745	288～419
	参考資料2	目次	参考2-3	420,421
		1.浦底断層	参考2-10	422,423
		2.D-1破砕帯	参考2-35,36	424～427
		3.K断層	参考2-45	428,429
		5.D-14	参考2-64	430,431
		6.D-5破砕帯	参考2-69	432,433
		7.H-3a破砕帯	参考2-77	434,435
		9.D-17～D-28破砕帯	参考2-96	436,437
		10.D-29～D-47破砕帯	参考2-109	438,439
		12.f-①-1-3～f-④-13破砕帯	参考2-154	440,441
		14.H-1～f-b-4-6	参考2-167,168	442～445
		15.非モデル化破砕帯	参考2-184～195	446～469
	参考資料3	D-1（H27-B-3）	参考3-40	470,471
		D-1（H24-B14-2）	参考3-126	472,473
		D-1（H24-D1-1）	参考3-142,143	474～477
		D-1（H27-B-1）	参考3-154～157	478～485
		D-1（H27-B-2）	参考3-170,172,173	486～491
		D-5（H24-B11-1）	参考3-295	492,493
		D-3（H27-Br-1）	参考3-539	494,495
		D-20（H20-④-2）	参考3-597	496,497
		D-36（H24-B8-29）	参考3-650	498,499

□：修正箇所

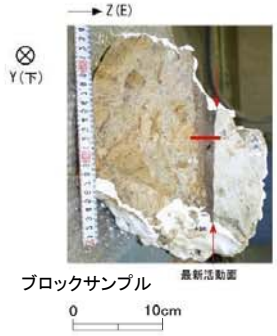
5.2.1 浦底断層

活動性評価(Bトレンチ　薄片試料観察)(1/2)

- 浦底断層の最新活動時の変位センスを把握するため，薄片試料観察を行った。
- トレンチから採取した薄片試料観察の結果，最新活動面からは左ずれを伴う逆断層センスが判読される。



最新活動面の条線観察結果

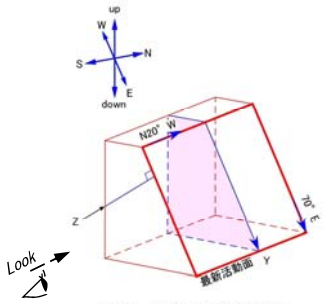


ブロックサンプル

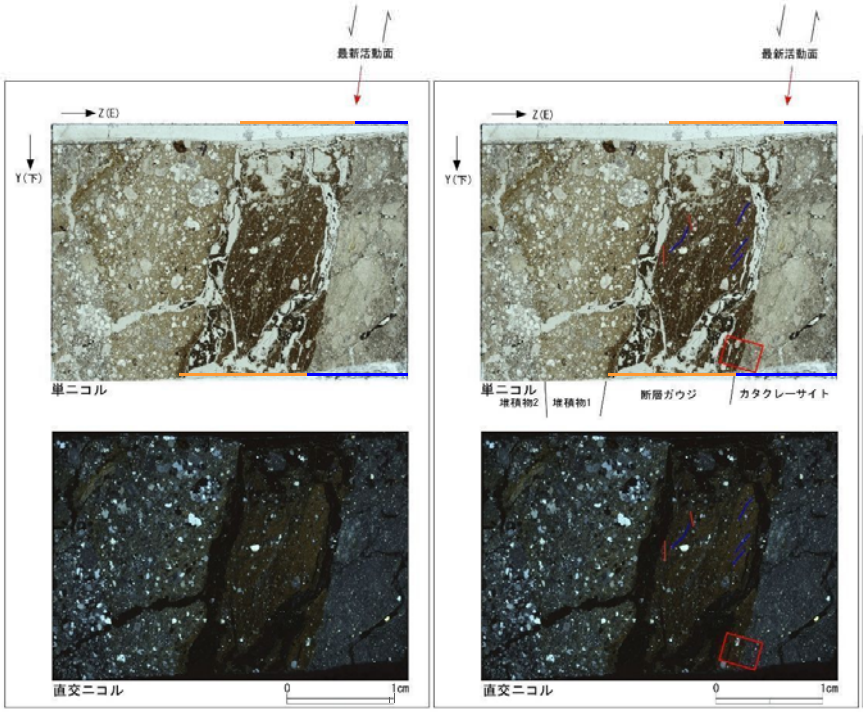
薄片の作成方向は最新活動面に直交方向

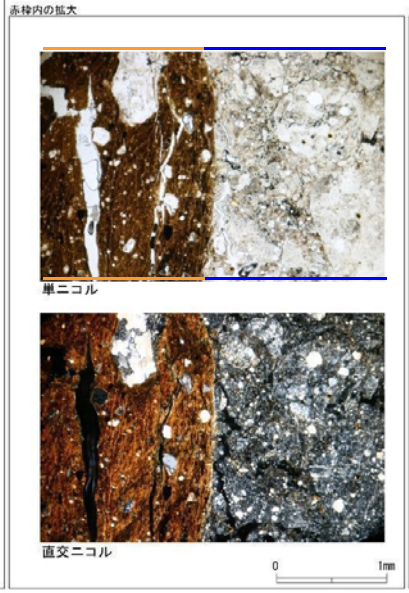
Y:傾斜方向(下向きを正とする)

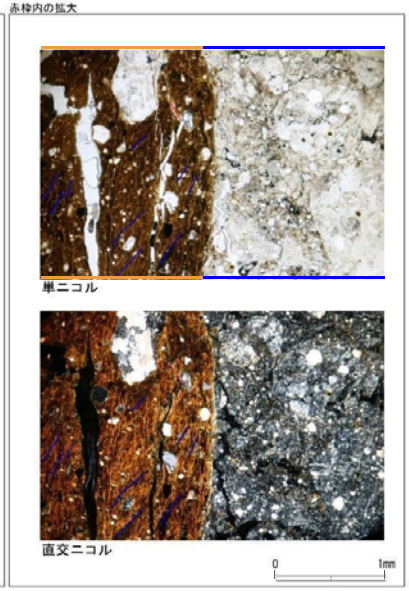
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)



走向・傾斜 N20° W70° E







鉛直断面:最新活動面の変位センスは，逆断層センスを示す。

5.2.1 浦底断層

活動性評価（Bトレンチ　薄片試料観察）（1/2）

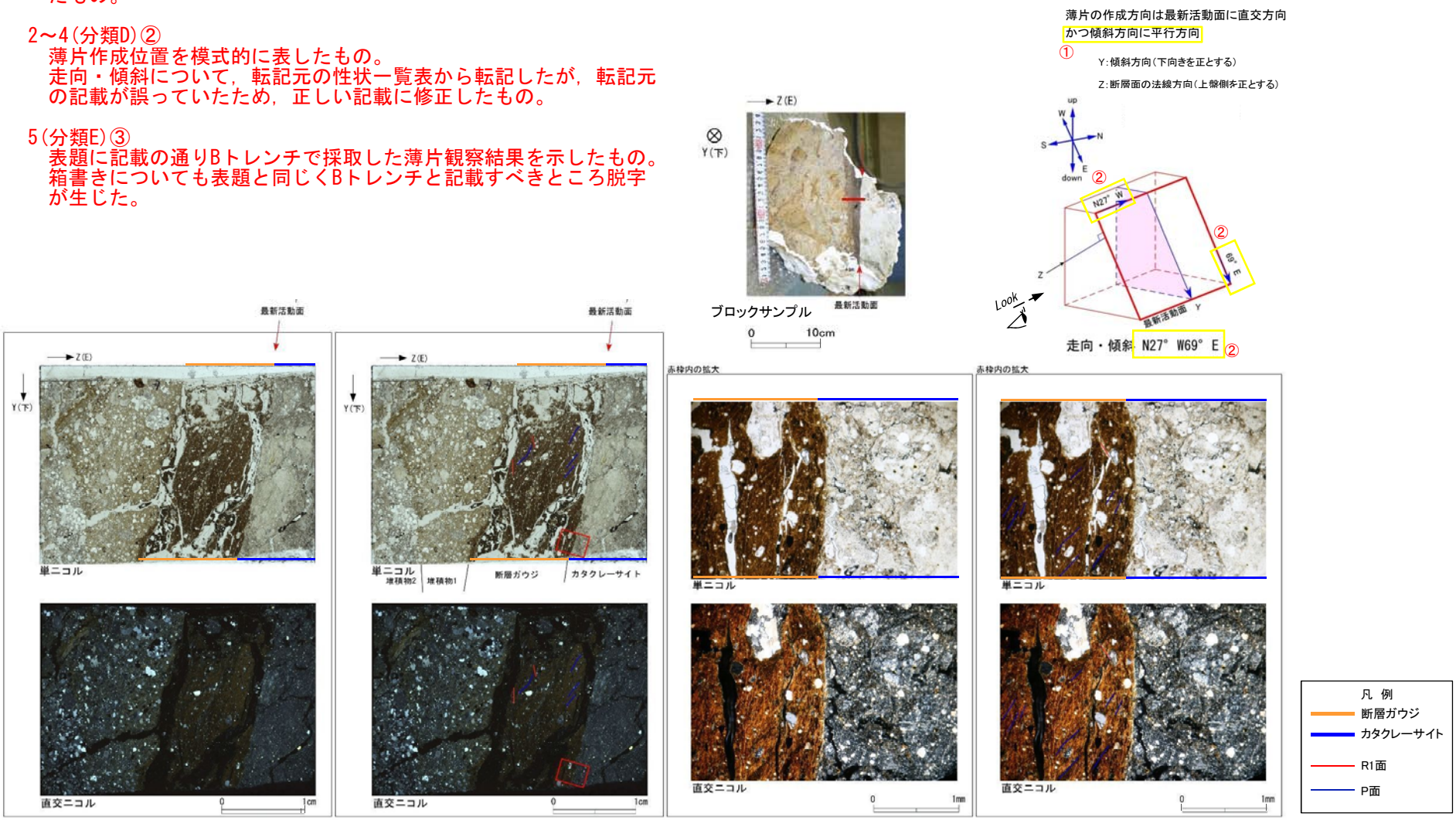
第536回審査会合
資料2 修正後

・浦底断層の最新活動時の変位センスを把握するため，薄片試料観察を行った。
・③ Bトレンチから採取した薄片試料観察の結果，最新活動面からは左ずれを伴う逆断層センスが判読される。

1（分類E）①
薄片の作成方向を示すためには十分でなかったため，表現を追記したもの。

2～4（分類D）②
薄片作成位置を模式的に表したもの。
走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

5（分類E）③
表題に記載の通りBトレンチで採取した薄片観察結果を示したもの。
箱書きについても表題と同じくBトレンチと記載すべきところ脱字が生じた。

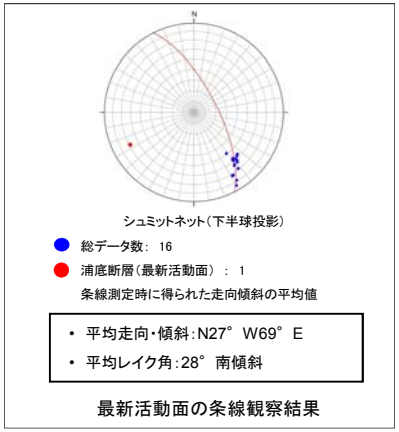


鉛直断面：最新活動面の変位センスは，逆断層センスを示す。

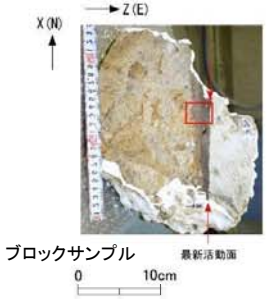
5.2.1 浦底断層

活動性評価（Bトレンチ　薄片試料観察）（2/2）

- 浦底断層の最新活動時の変位センスを把握するため，薄片試料観察を行った。
- Bトレンチから採取した薄片試料観察の結果によれば，最新活動面の変位センスは左ずれを伴う逆断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果

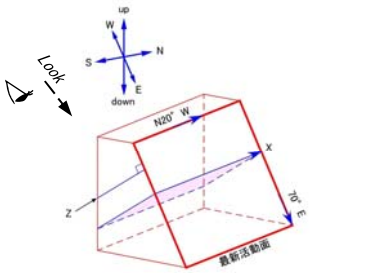


ブロックサンプル

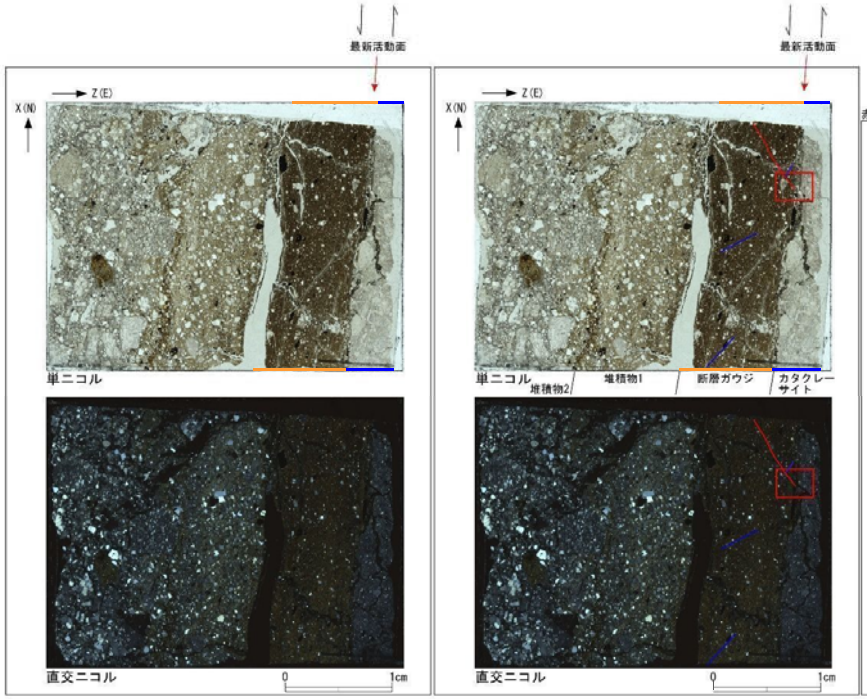
薄片の作成方向は最新活動面に直交方向

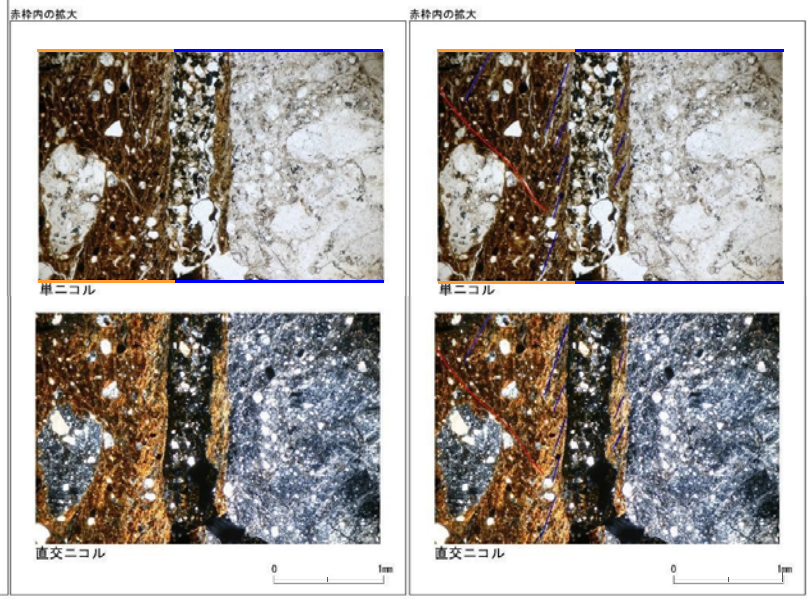
Y：傾斜方向（下向きを正とする）

Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）



走向・傾斜 N20° W70° E





凡 例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

水平断面：最新活動面の変位センスは，左ずれセンスを示す。

5.2.1 浦底断層

活動性評価(Bトレンチ　薄片試料観察)(2/2)

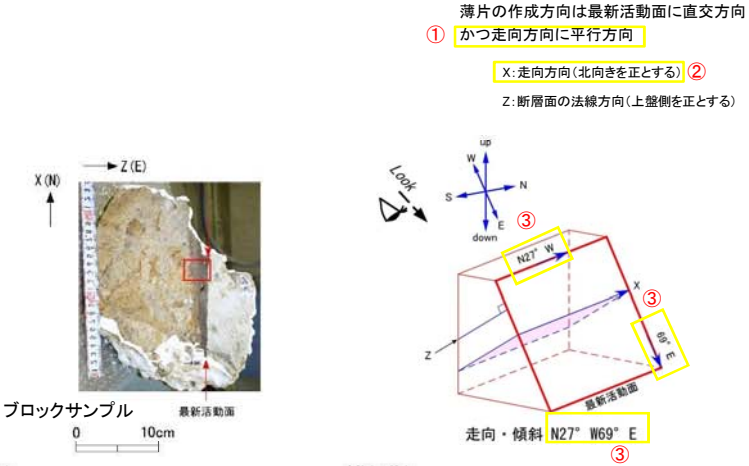
第536回審査会合
資料2 修正後

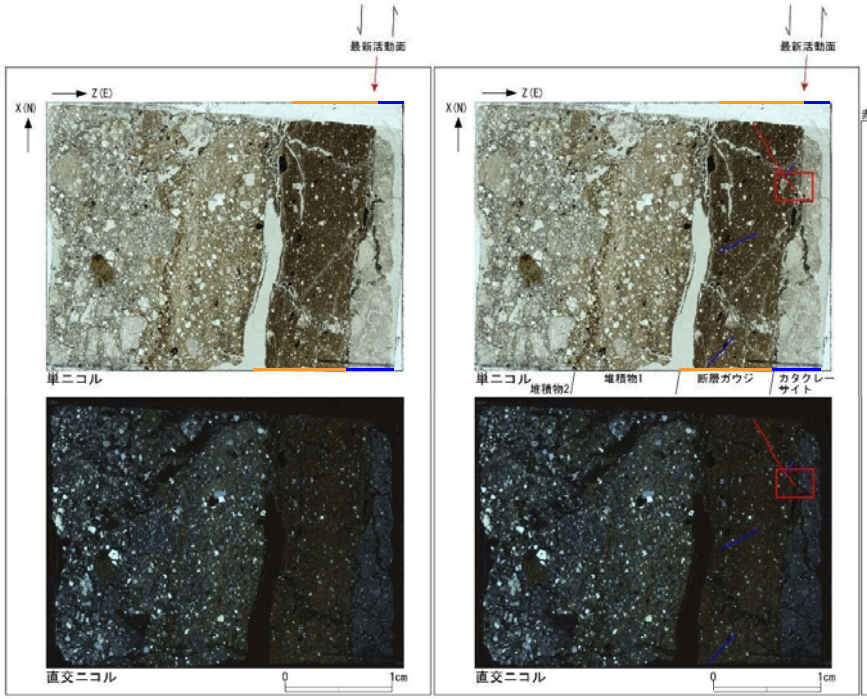
- 浦底断層の最新活動時の変位センスを把握するため，薄片試料観察を行った。
- Bトレンチから採取した薄片試料観察の結果によれば，最新活動面の変位センスは左ずれを伴う逆断層成分が卓越する。

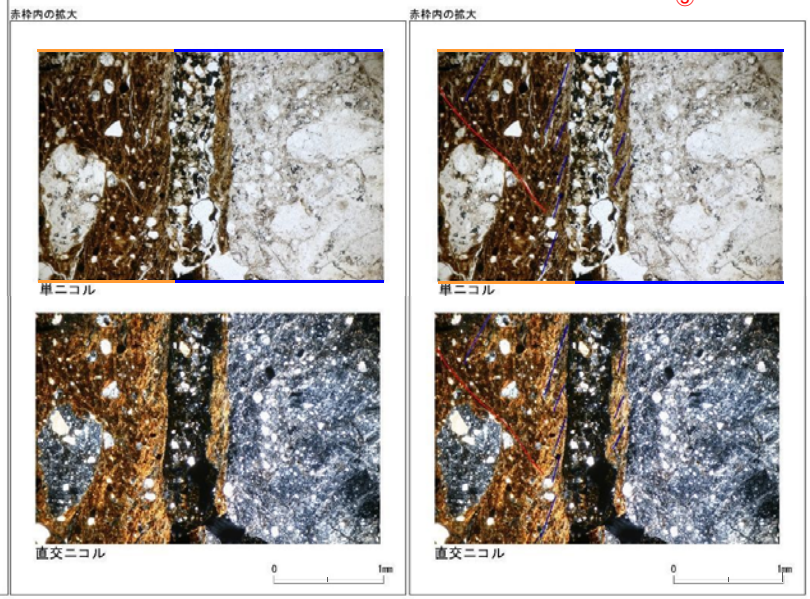
6(分類E)①
薄片の作成方向を示すためには十分でなかったため，表現を追記したもの。

7(分類E)②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

8～10(分類D)③
薄片作成位置を模式的に表したもの。
走向・傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。







凡 例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

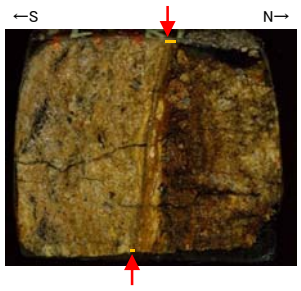
水平断面:最新活動面の変位センスは，左ずれセンスを示す。

5.2.2.2 (2)K断層

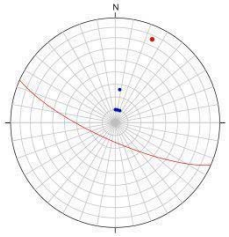
連続性評価(K断層　1－1ピット　薄片試料観察)

第536回審査会合
資料2 修正前

1－1ピットで採取した薄片試料の観察結果によれば，最新活動面の変位センスは，逆断層成分が卓越する。



ブロックサンプル画像

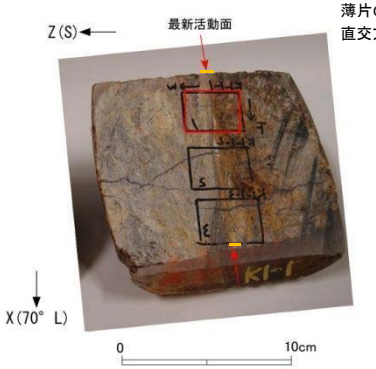


● 底盤測定データ数：5
● 底盤におけるK断層(最新活動面)：1
条線測定時に得られた走向傾斜の平均値

- 平均走向・傾斜(底盤)：N66° W76° S
- 平均レイク角(底盤)：70° 西傾斜

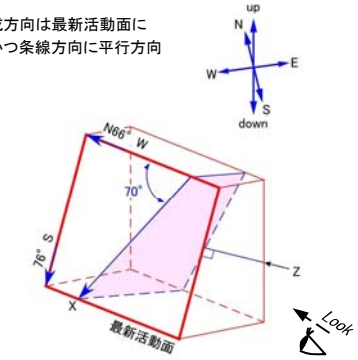
最新活動面の条線観察結果

【全景】
・断層ガウジ：不明
【拡大】
・粒子の配列，色調の縞及び粘土鉱物の配列からなるP面が認められるとともに引きずり 構造から逆断層センスが判読される。

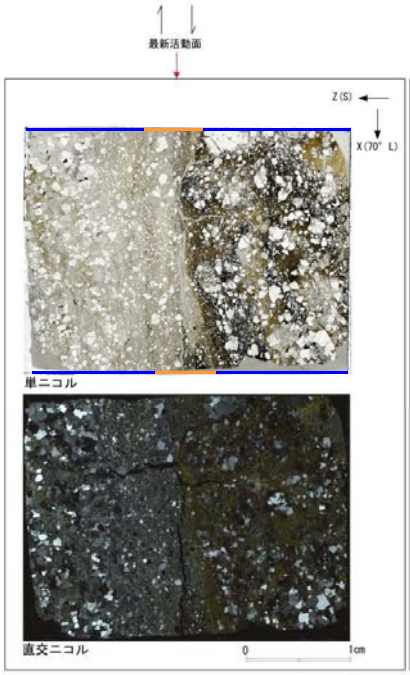


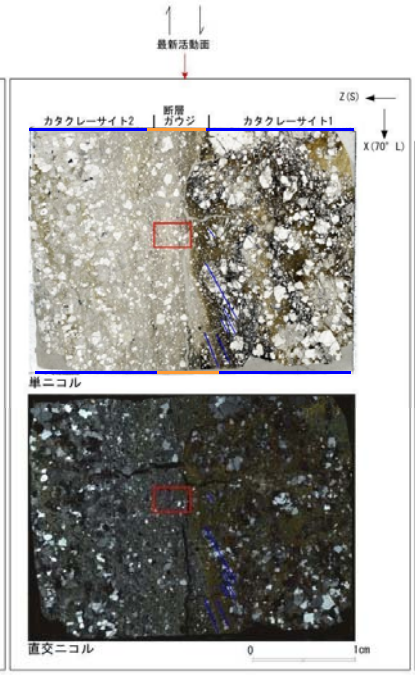
ブロックサンプル

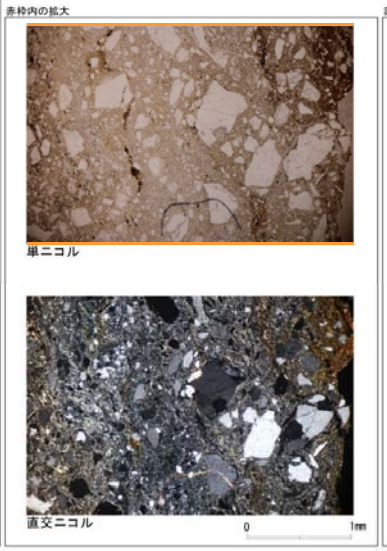
薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向

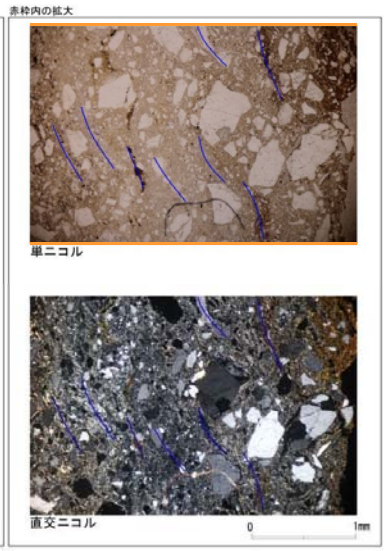


走向・傾斜 N66° W76° S
X：条線方向(下向きを正とする)
Z：断層面の法線方向(上盤側を正とする)









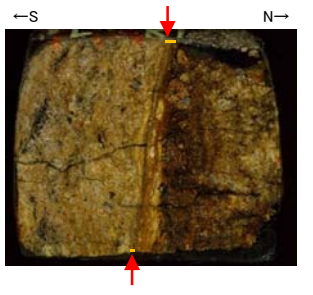
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

5.2.2.2 (2)K断層

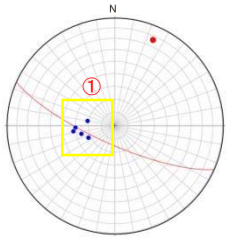
連続性評価(K断層　1－1ピット　薄片試料観察)

第536回審査会合
資料2 修正後

1－1ピットで採取した薄片試料の観察結果によれば，最新活動面の変位センスは，逆断層成分が卓越する。



ブロックサンプル画像



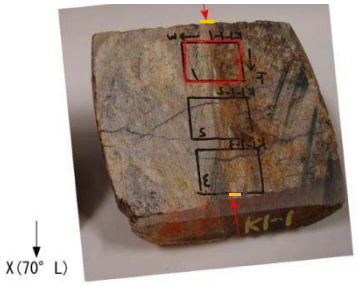
● 底盤測定データ数：5
● 底盤におけるK断層(最新活動面)：1
条線測定時に得られた走向傾斜の平均値

- 平均走向・傾斜(底盤)：N66° W76° S
- 平均レイク角(底盤)：70° 西傾斜

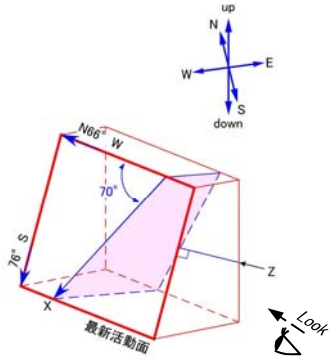
最新活動面の条線観察結果

【全景】
・断層ガウジ：不明
【拡大】
・粒子の配列，色調の縞及び粘土鉱物の配列からなるP面が認められるとともに引きずり構造から逆断層センスが判読される。

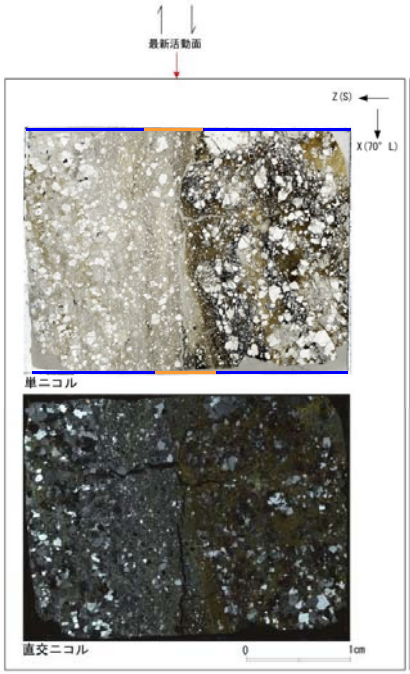
11(分類B)①
条線観察結果を視覚的に示したもの。
作図する際の入力データを間違えた。

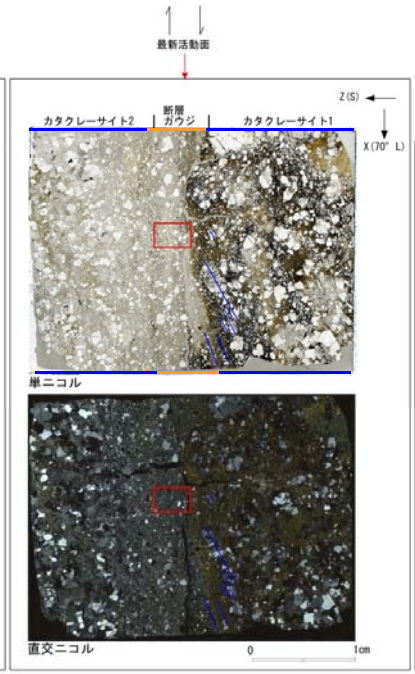


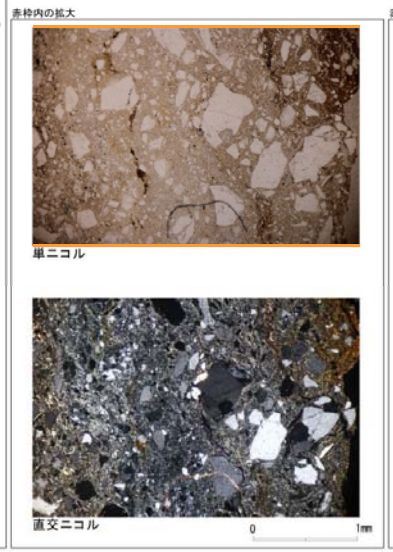
ブロックサンプル

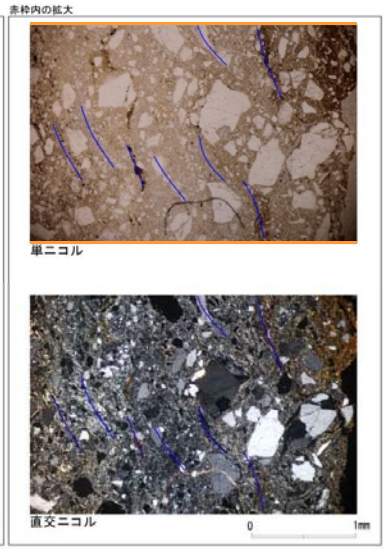


走向・傾斜 N66° W76° S
X：条線方向(下向きを正とする)
Z：断層面の法線方向(上盤側を正とする)









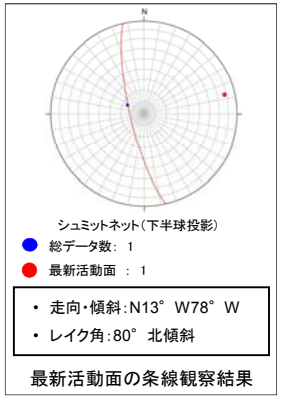
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (1)D－1破砕帯

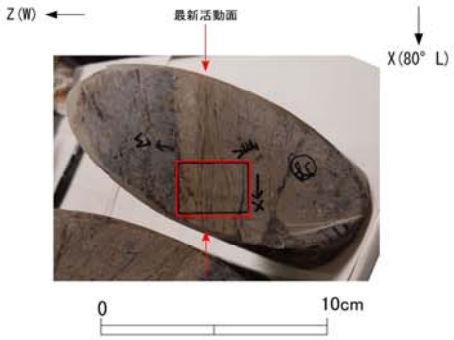
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋付近)(H24-D1-4孔)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

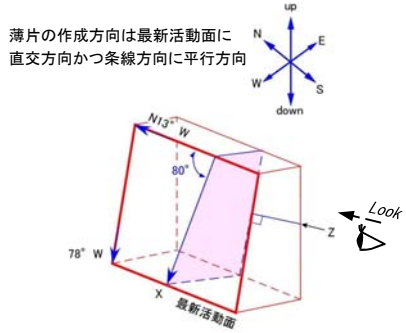
H24-D1-4のボーリングコア(深度10.90m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



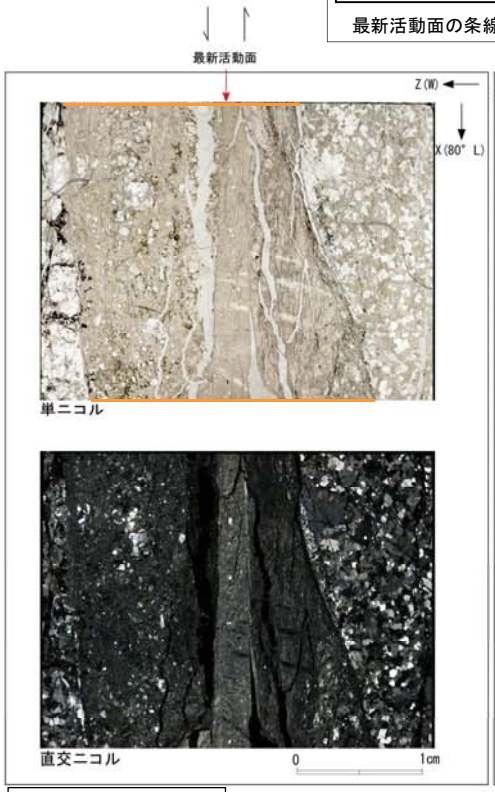
ブロックサンプル

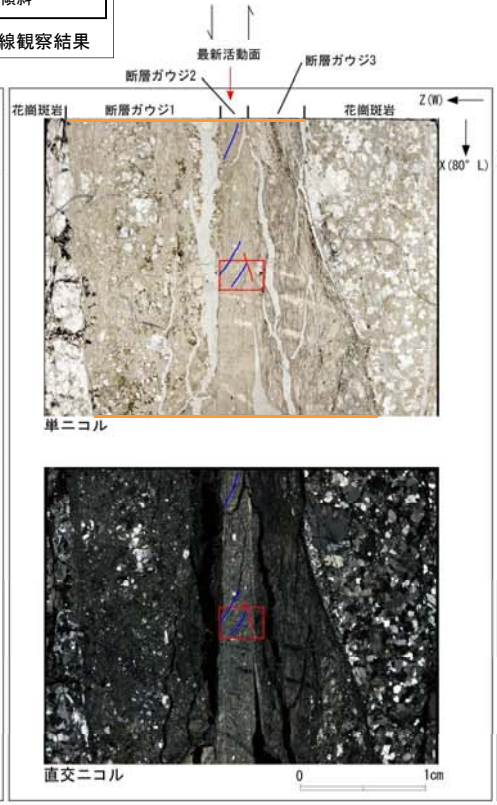


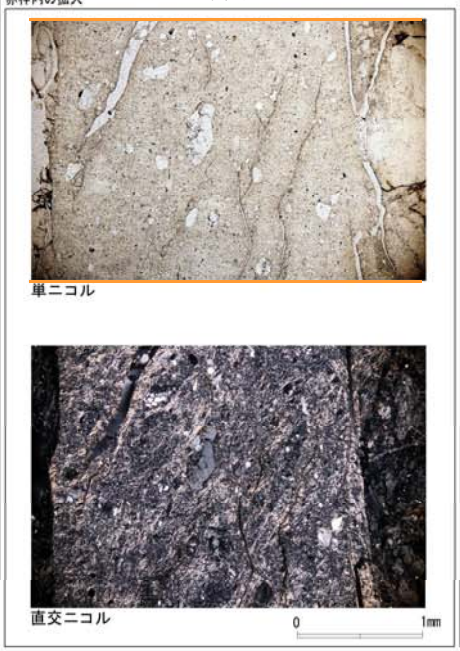
走向・傾斜 N13° W78° W

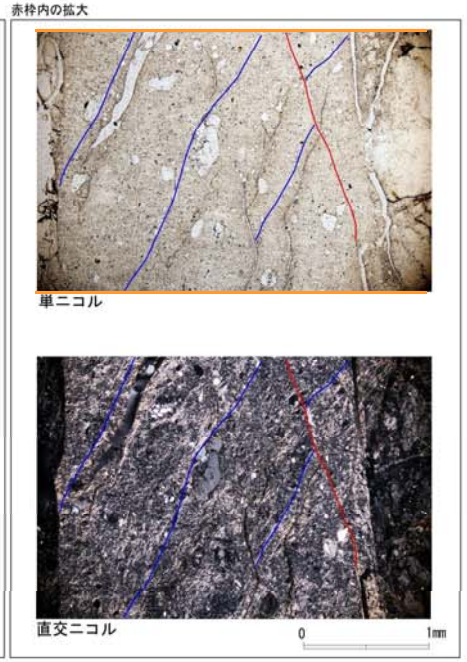
X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (1)D－1破砕帯

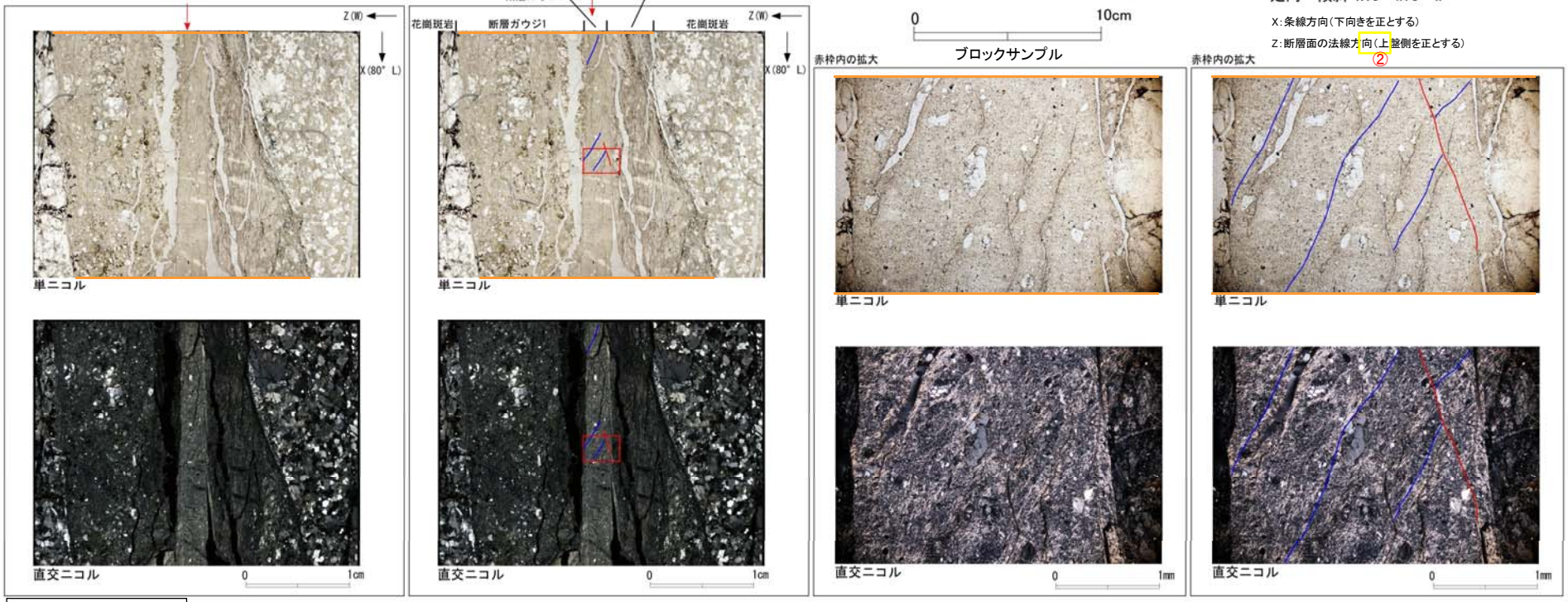
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋付近)(H24-D1-4孔)

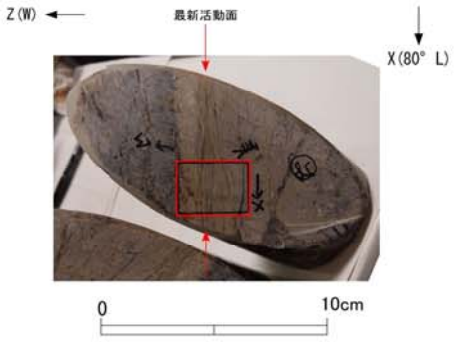
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

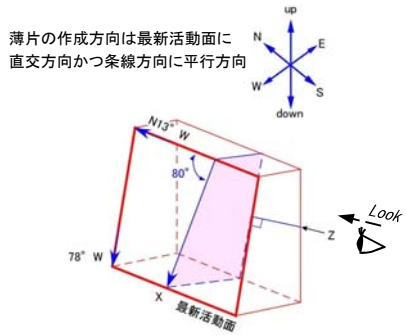
H24-D1-4のボーリングコア(深度10.91m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

12(分類A)①
最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

13(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。







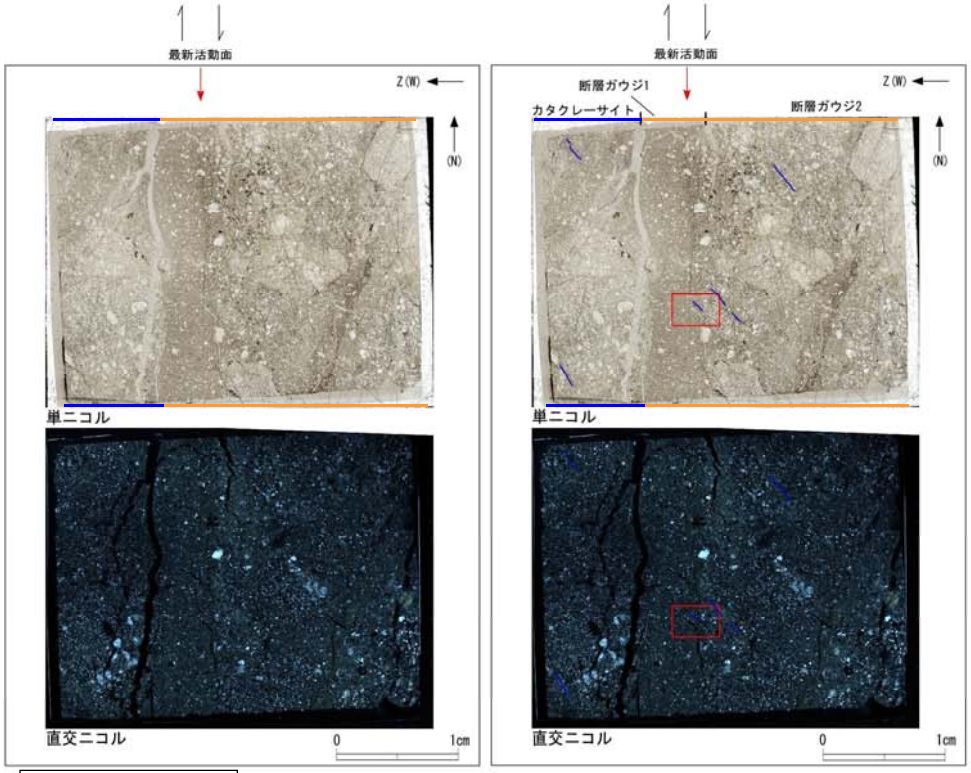
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

2.2 (1)D－1破砕帯

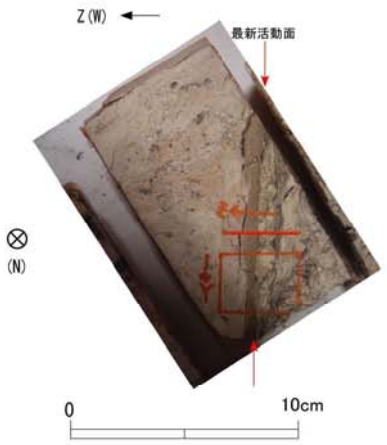
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H19-No.14孔)(その1)

H19-No.14のボーリングコア(深度87.05m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

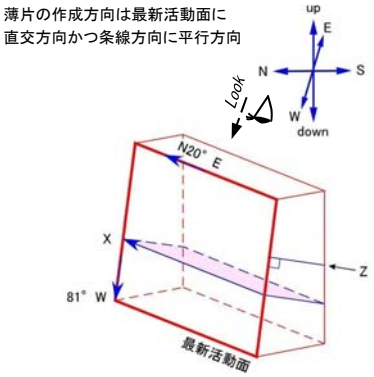
条線データなし



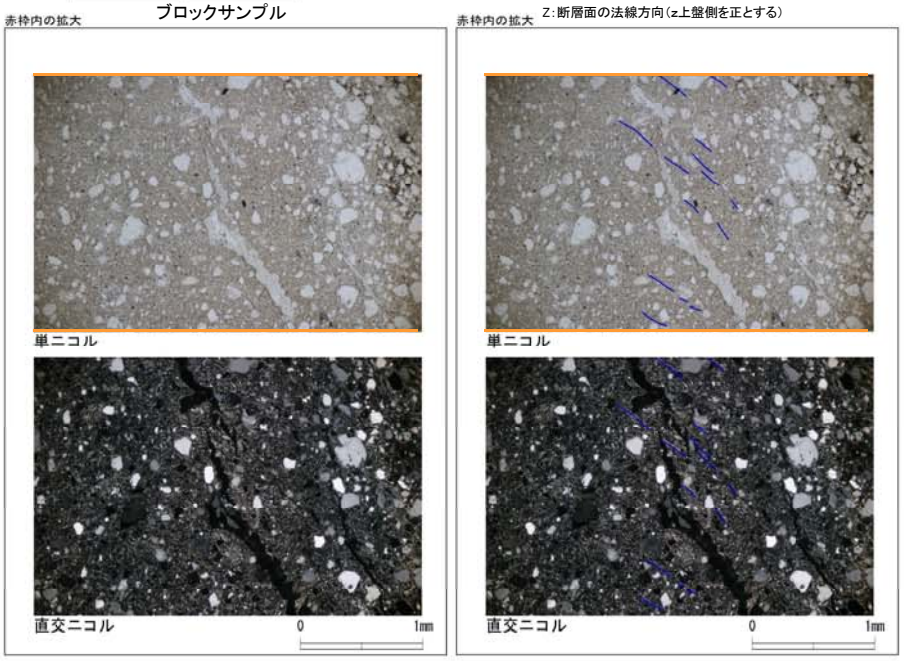
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



ブロックサンプル



走向・傾斜 N20° E81° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)



水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H19-No.14孔)(その1)

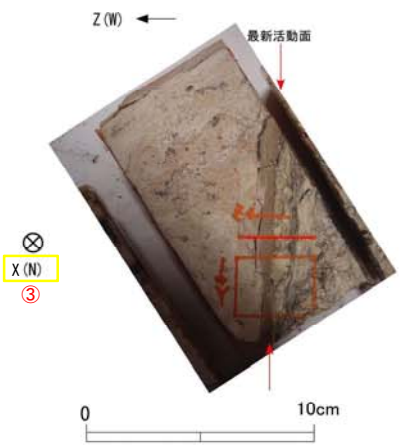
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H19-No.14のボーリングコア(深度87.05m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

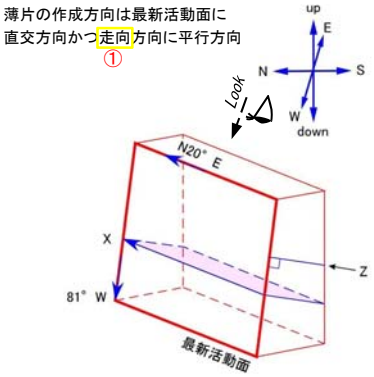
14，15(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

16(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

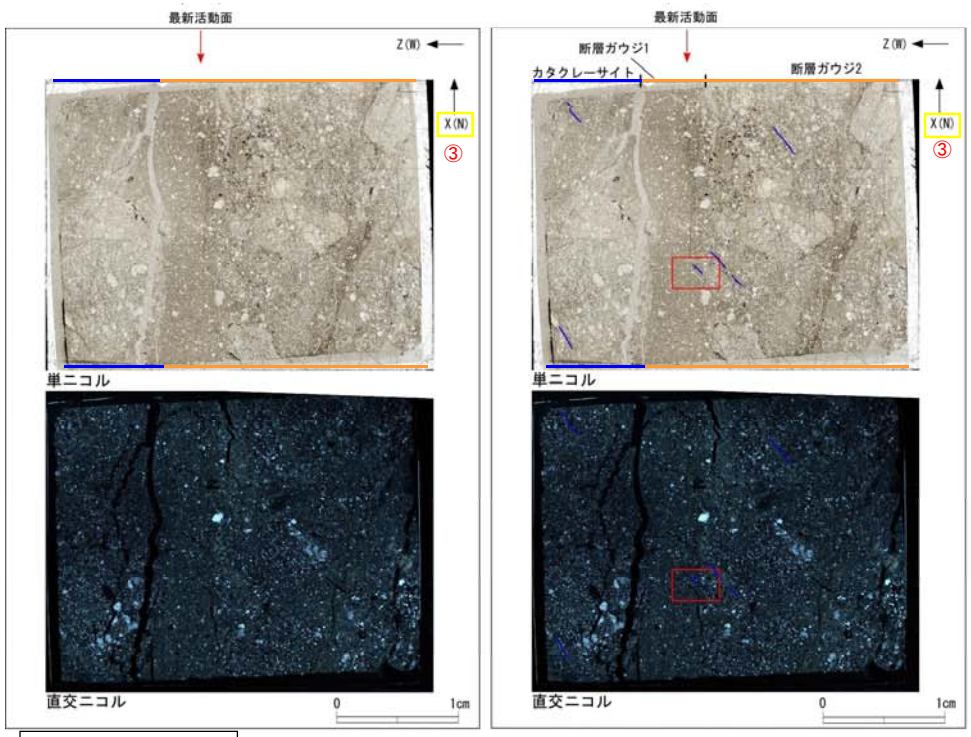
17，18(分類F)③
方位と薄片作成方向(X，Y，Z)を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。



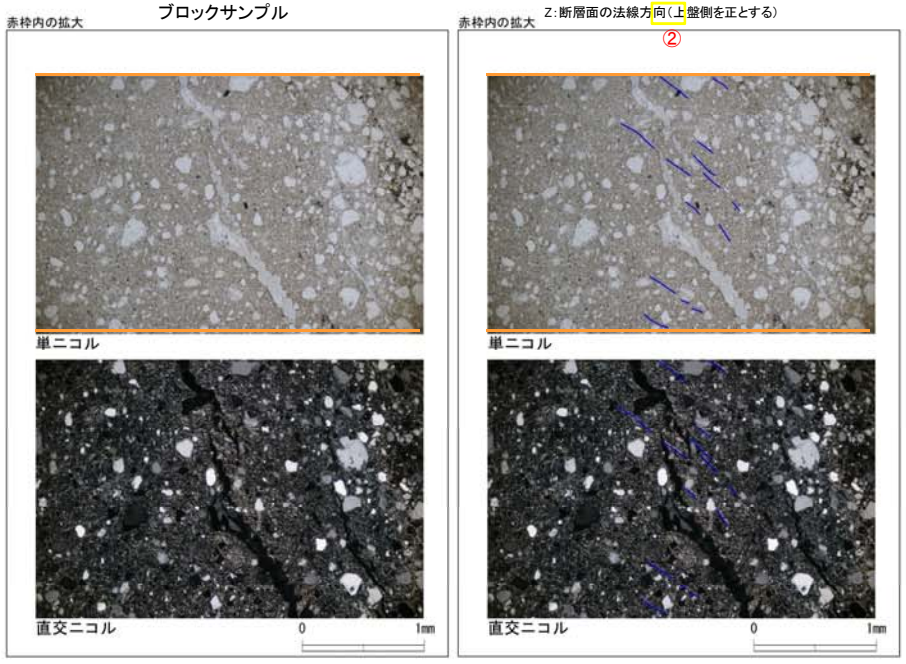
ブロックサンプル



走向・傾斜 N20° E81° W
① X:走向方向(北向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
②



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

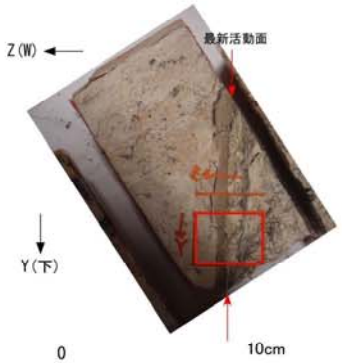
2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H19-No.14孔)(その2)

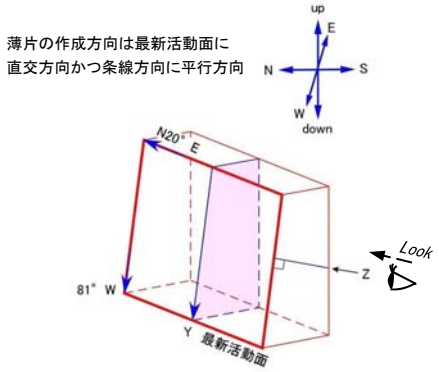
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H19-No.14のボーリングコア(深度87.05m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし



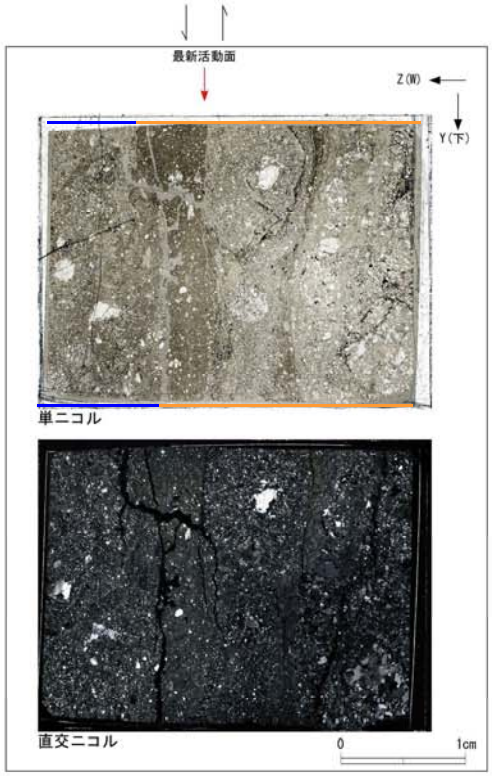
ブロックサンプル

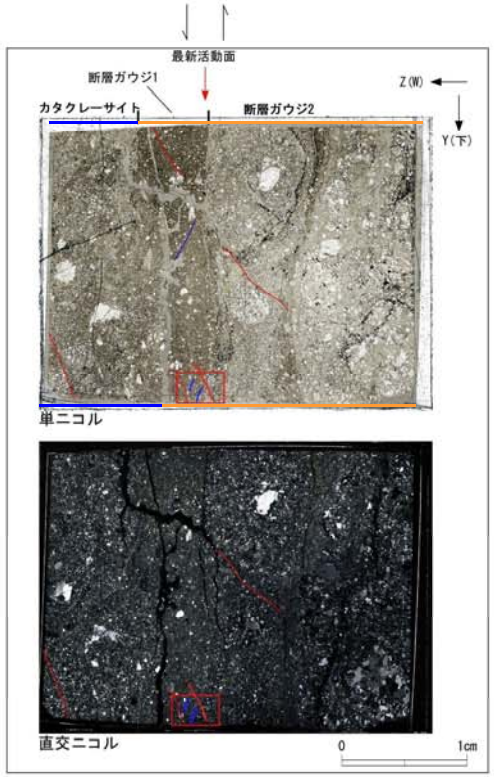


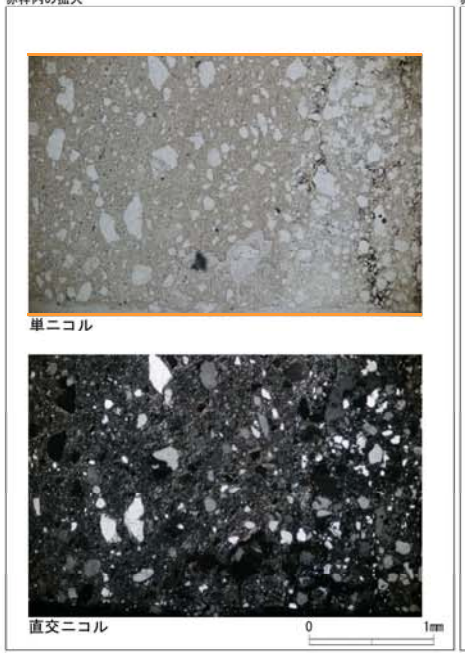
走向・傾斜 N20° E81° W

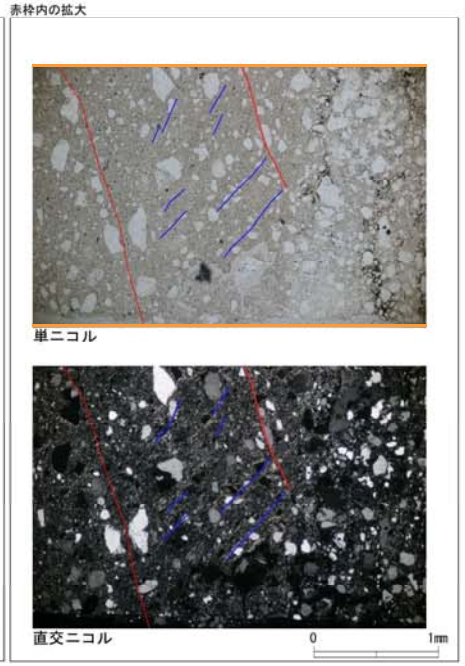
X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H19-No.14孔)(その2)

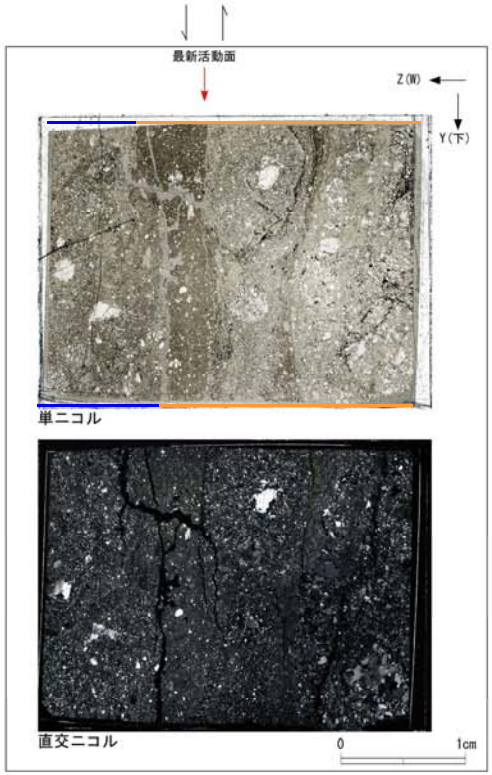
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

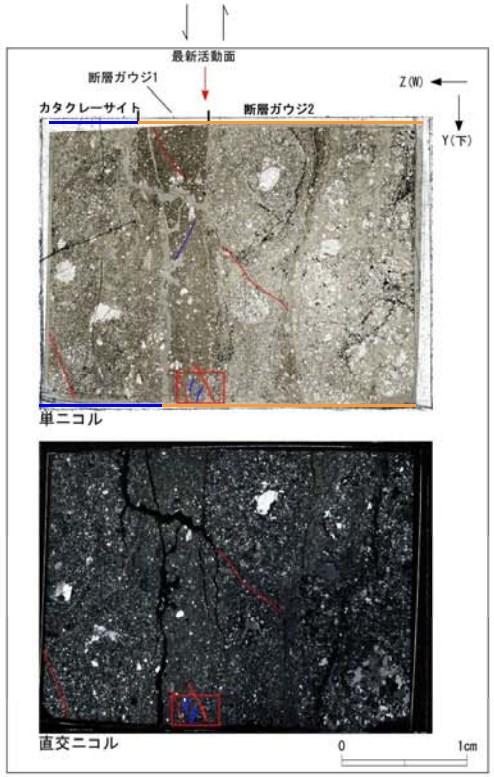
H19-No.14のボーリングコア①(深度87.03m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

19(分類A)①
最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

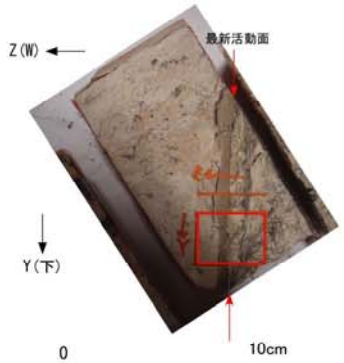
20，21(分類E)②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

22(分類E)③
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

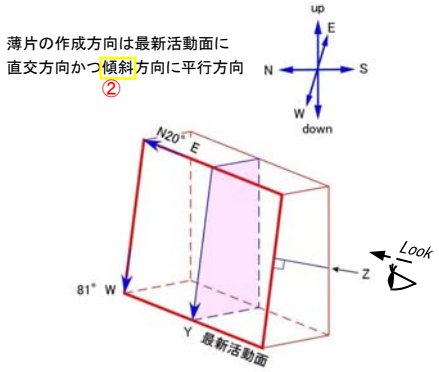




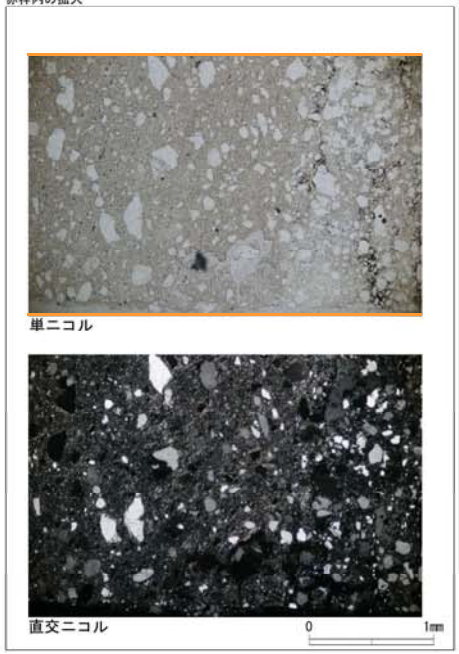
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

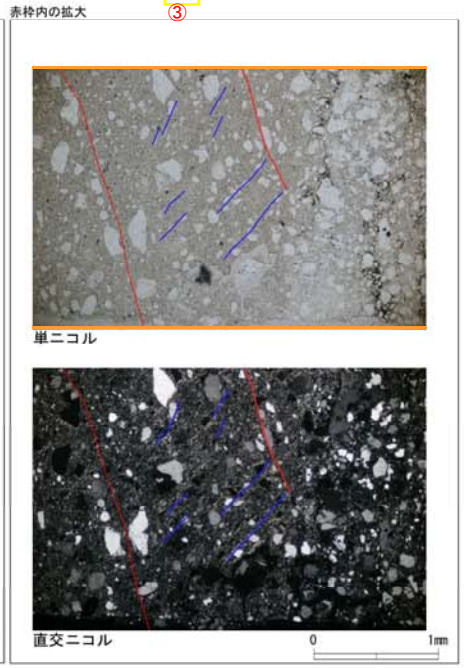


ブロックサンプル



走向・傾斜 N20° E81° W
② Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
③





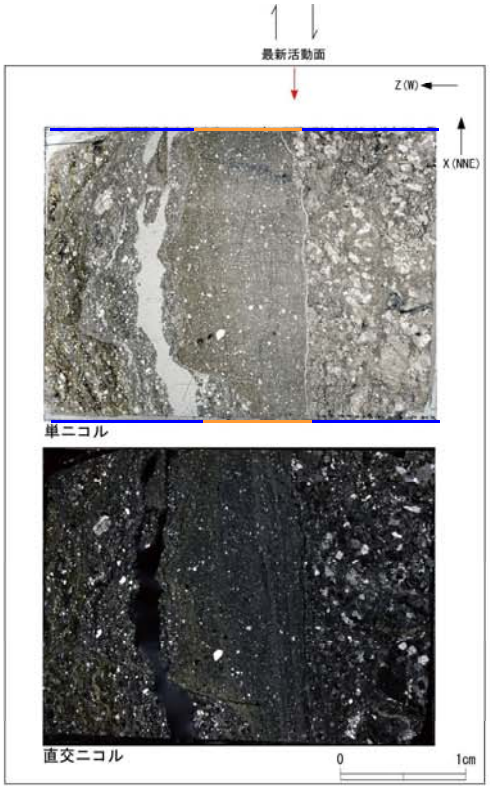
鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

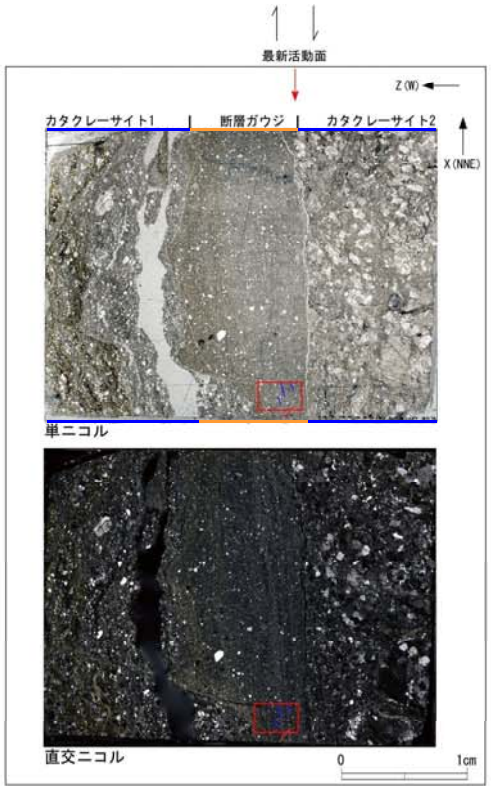
2.2 (1)D－1破砕帯

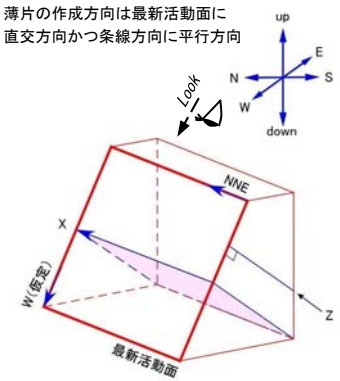
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H20-No.②-1孔)(その1)

H20-No.②-1のボーリングコア(深度50.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

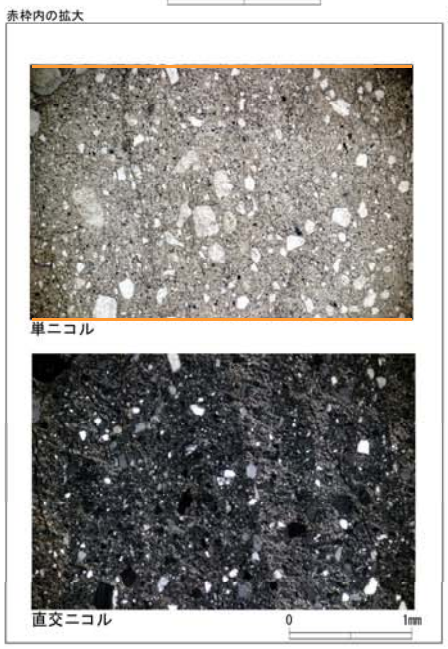
走向・傾斜及び条線データなし

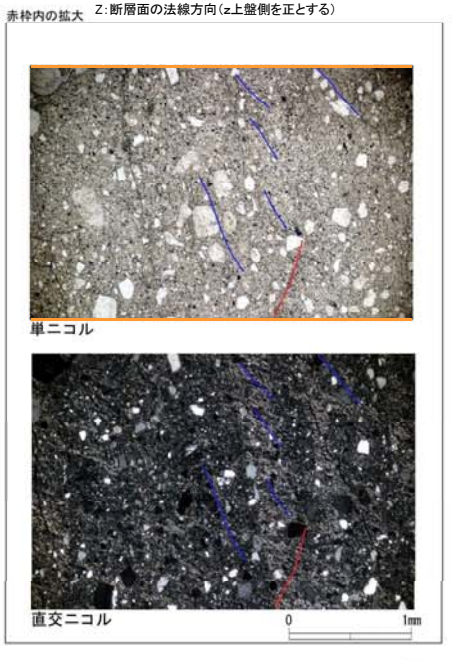






走向・傾斜 NNE-SSW走向　西傾斜
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)





水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H20-No.②-1孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H20-No.②-1のボーリングコア(深度50.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

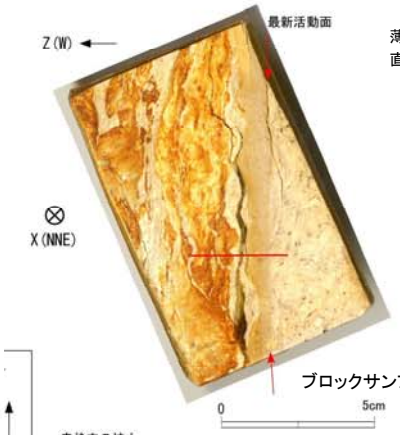
23(分類E)①
走向・傾斜を仮定して薄片を作成しているものであるが，走向・傾斜のデータが取得できていない理由を明記したもの。

24，26(分類E)②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

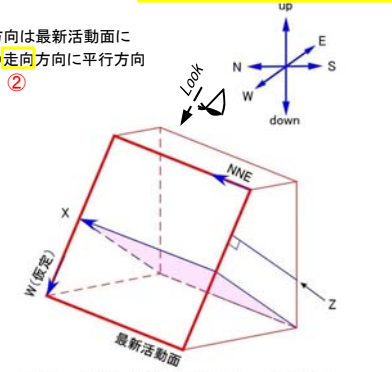
25(分類E)③
走向・傾斜を仮定して薄片を作成しているものであるが，走向・傾斜のデータが仮定であることを明記したもの。

27(分類E)④
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

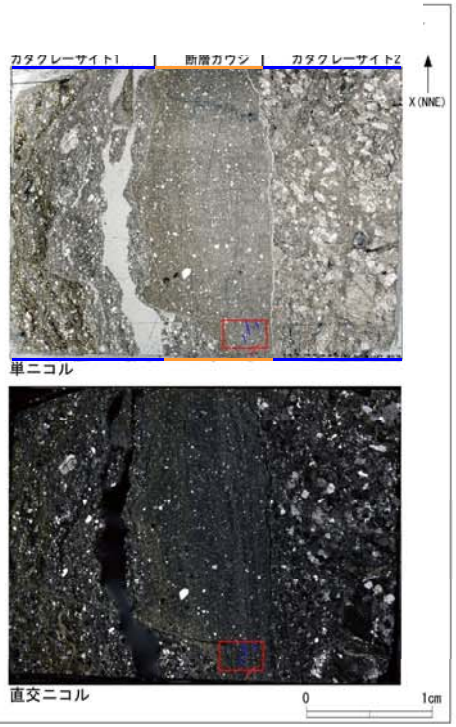
※H20-No.②-1はボアホールカメラ未実施のため、走向・傾斜を仮定している ①

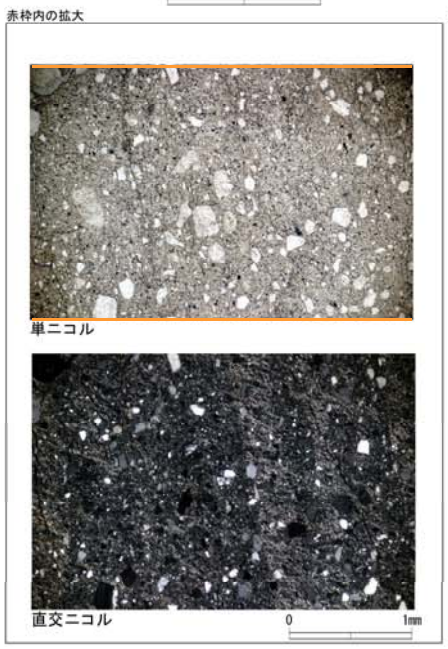


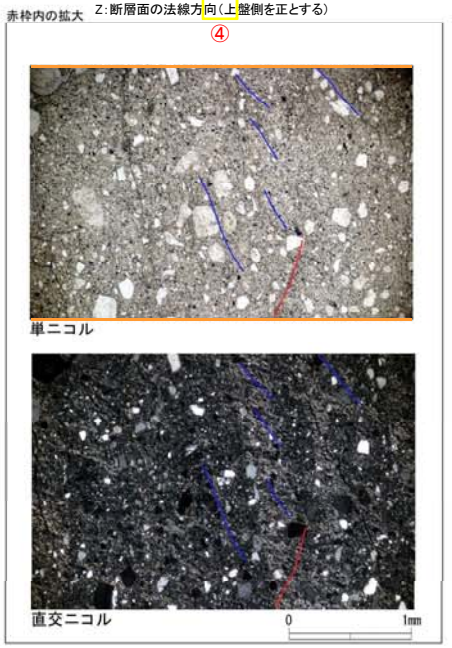
薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向 ②



走向・傾斜 NNE-SSW走向　西傾斜(仮定)
② X:走向方向(北向きを正とする) ③
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする) ④







凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

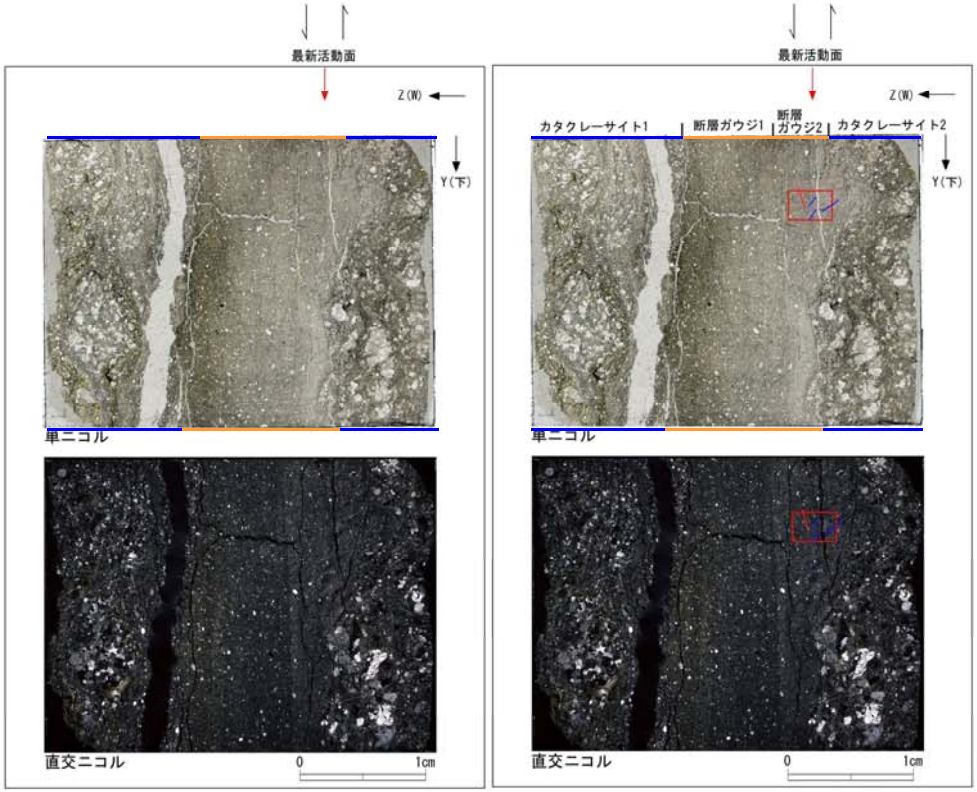
水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

2.2 (1)D－1破砕帯

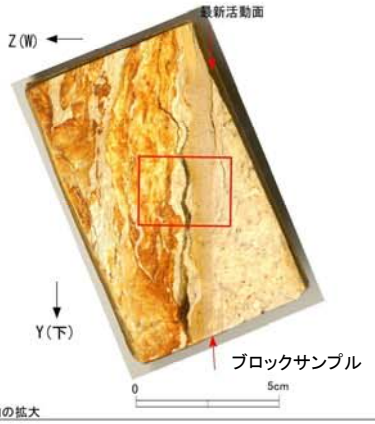
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H20-No.②-1孔)(その2)

H20-No.②-1のボーリングコア(深度50.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

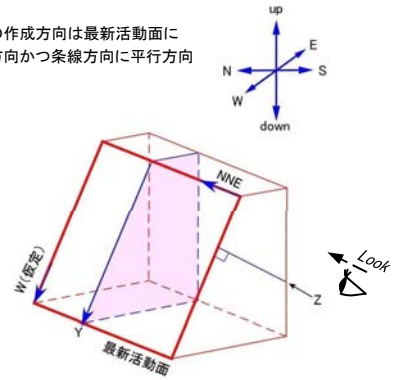
走向・傾斜及び条線データなし



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



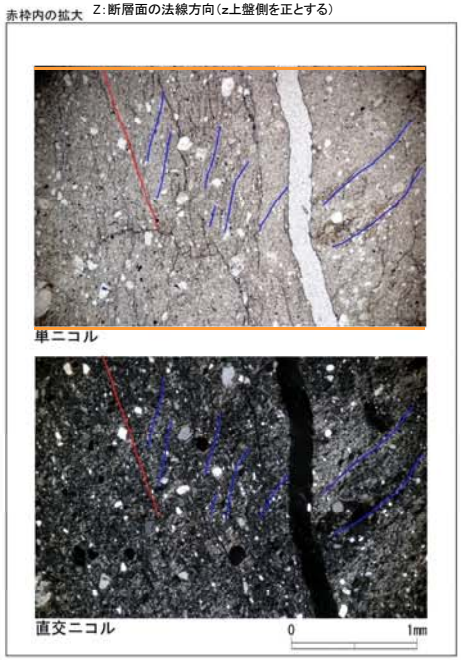
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 NNE-SSW走向　西傾斜（仮定）

X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)



鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察(2号炉原子炉建屋南方)(H20-No.②-1孔)(その2)

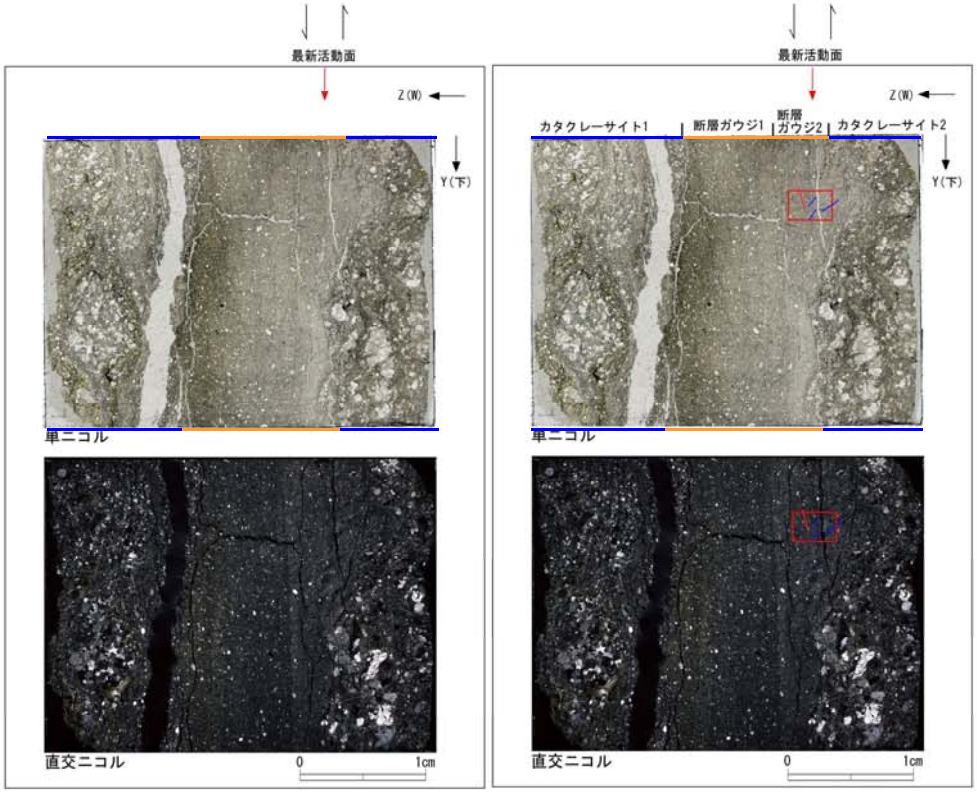
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H20-No.②-1のボーリングコア(深度50.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

28(分類E)①
走向・傾斜を仮定して薄片を作成しているものであるが，走向・傾斜のデータが取得できていない理由を明記したもの。

29，30(分類E)②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

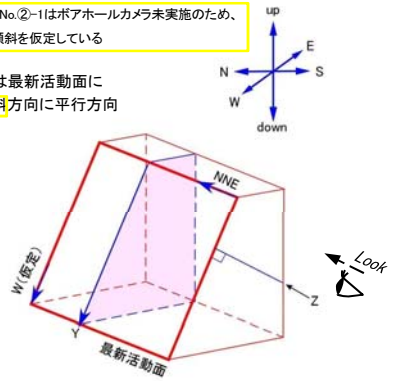
31(分類E)③
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。



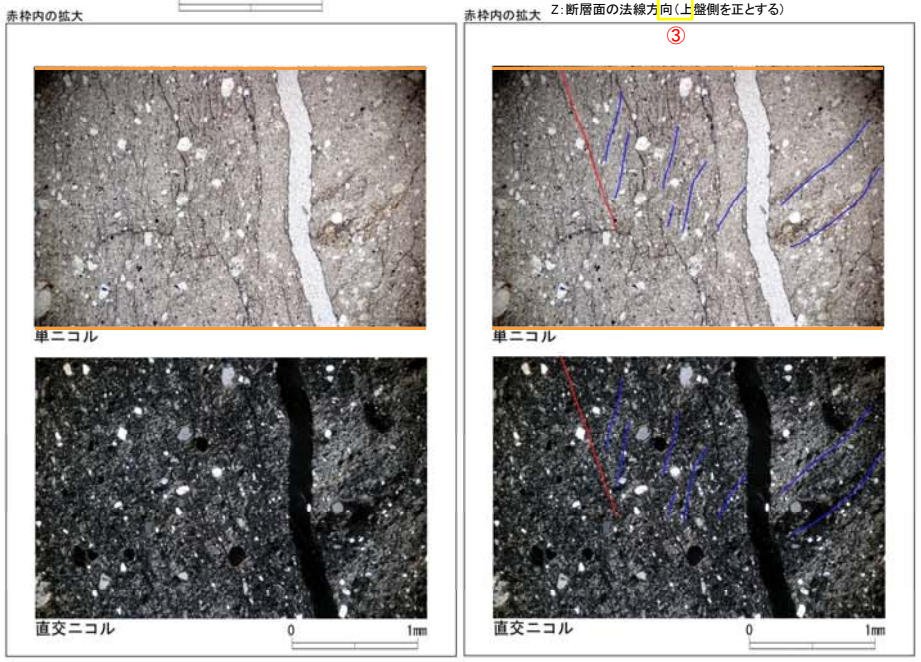
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

① ※H20-No.②-1はボアホールカメラ未実施のため、走向・傾斜を仮定している

薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ傾斜方向に平行方向
②



走向・傾斜 NNE-SSW走向　西傾斜（仮定）
② Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
③



鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

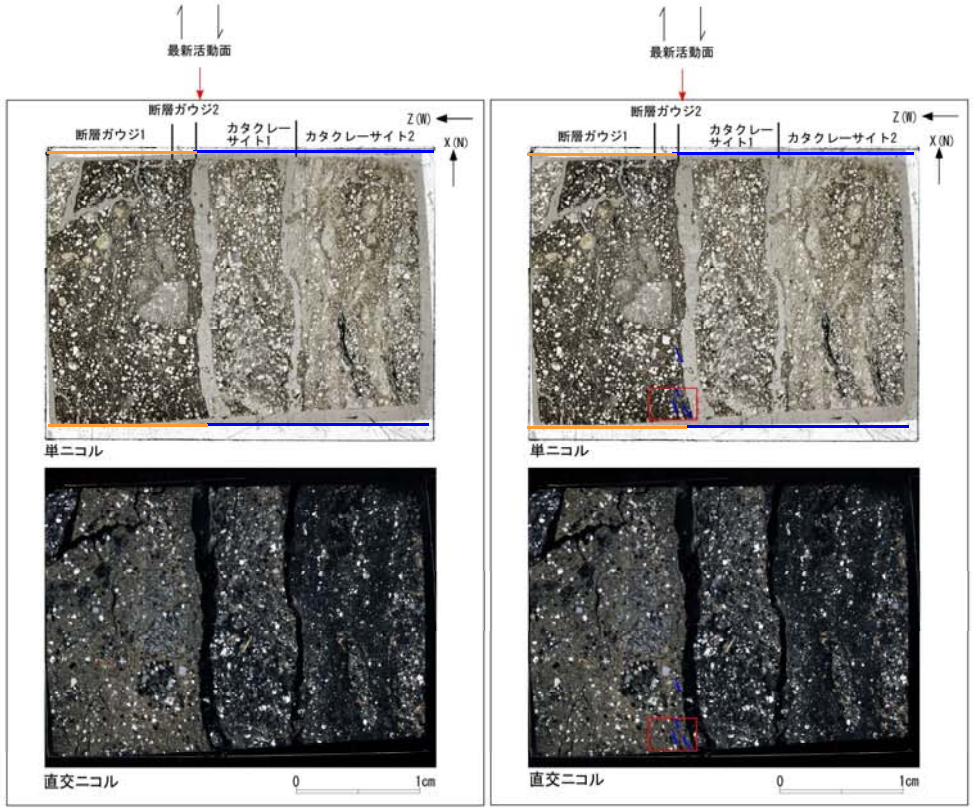
2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察（2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間）（H24-B14-2孔）（その1）

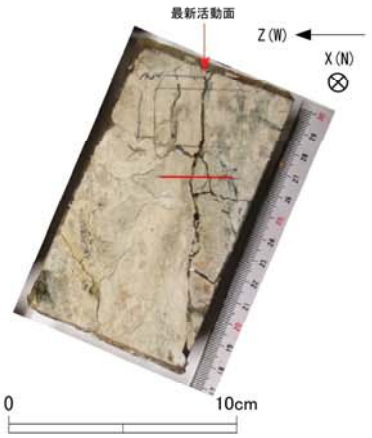
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B14-2のボーリングコア（深度109.16m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし

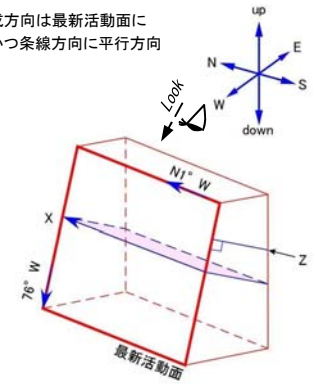


凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

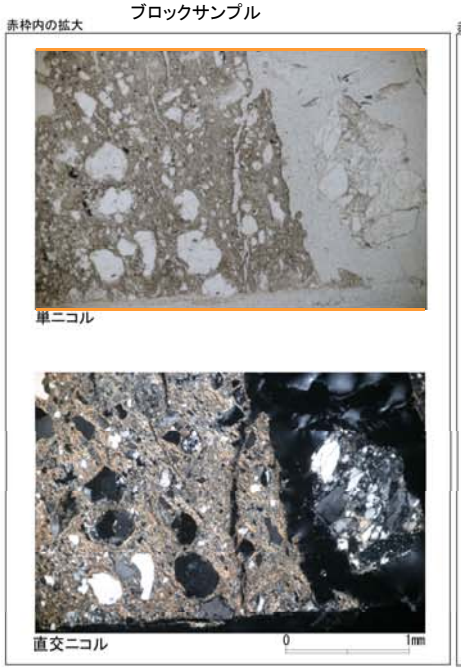


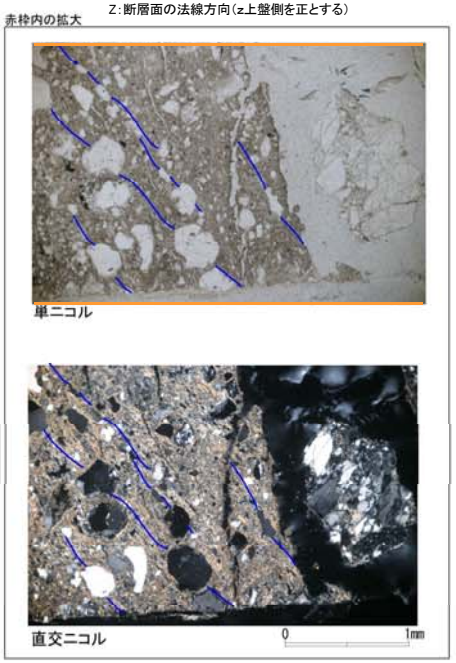
ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N1° W76° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）





水平断面：最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

2.2 (1)D－1破砕帯

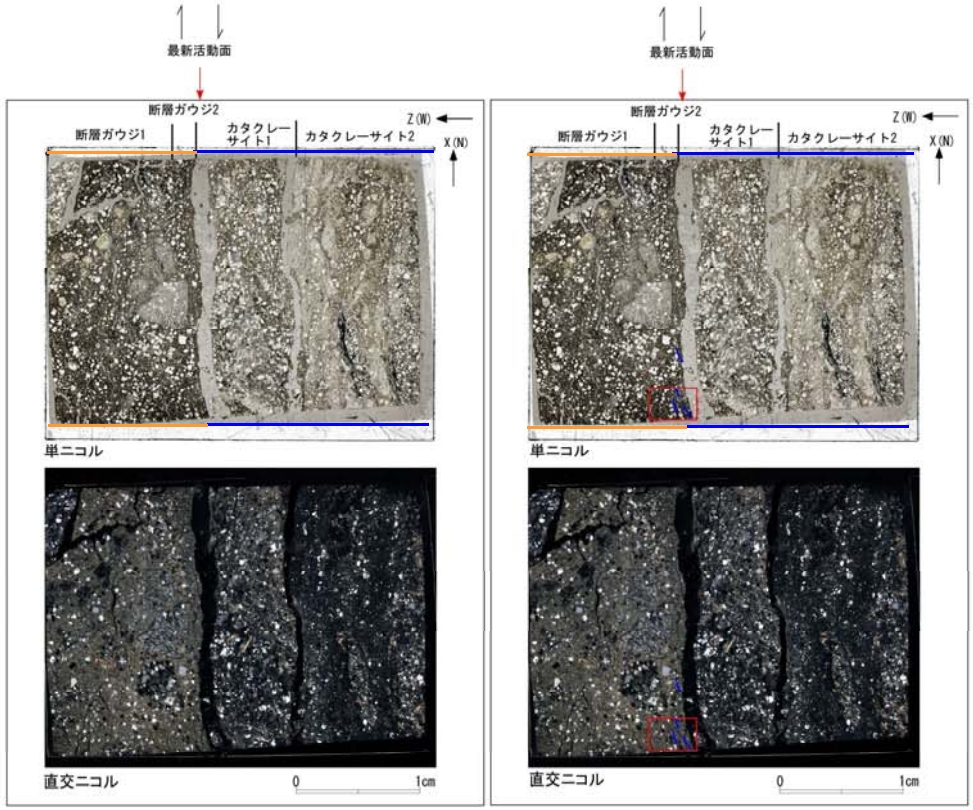
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間)(H24-B14-2孔)(その1)

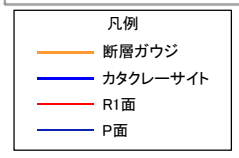
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

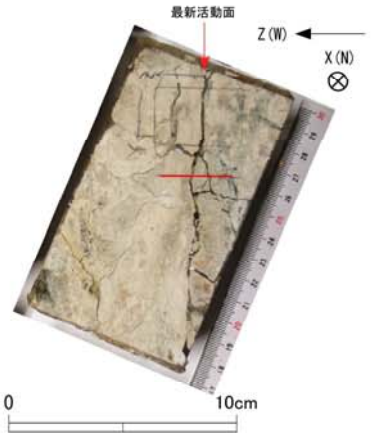
H24-B14-2のボーリングコア(深度109.16m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

32，33(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

34(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

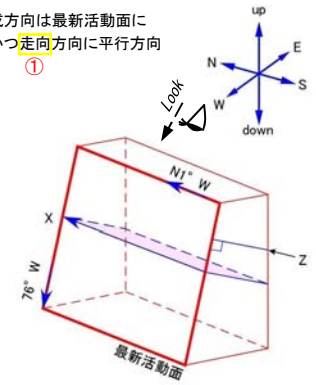




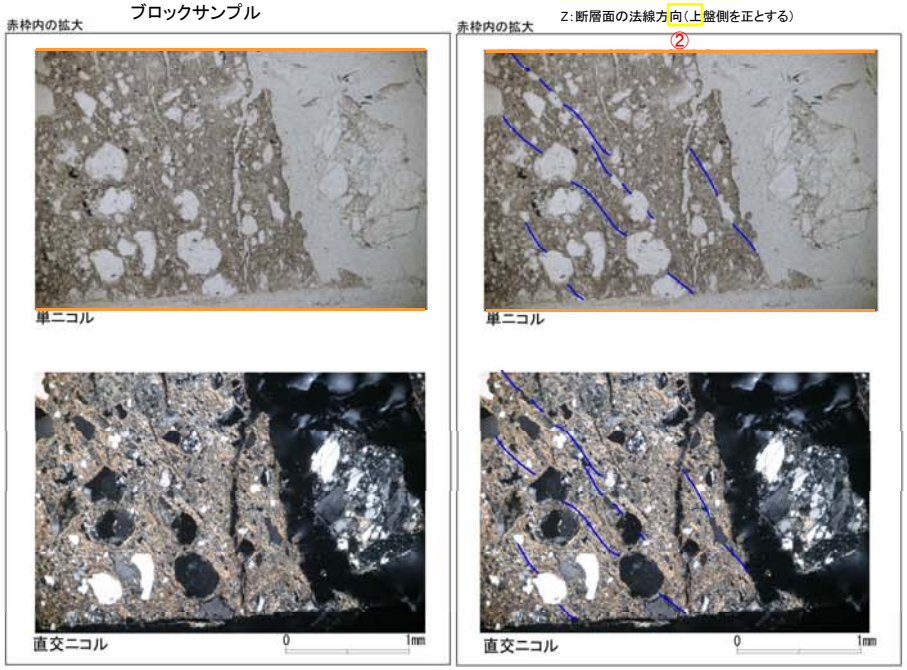


ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向
①



走向・傾斜 N1° W76° W
① X:走向方向(北向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
②



水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

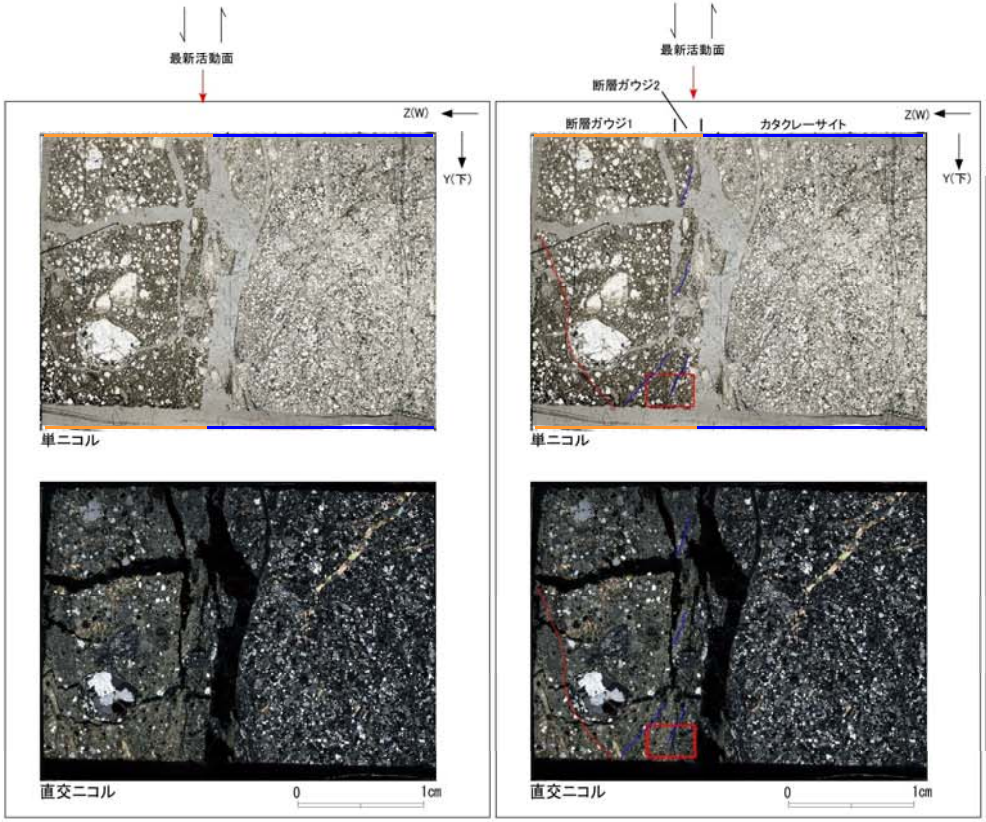
2.2 (1)D－1破砕帯

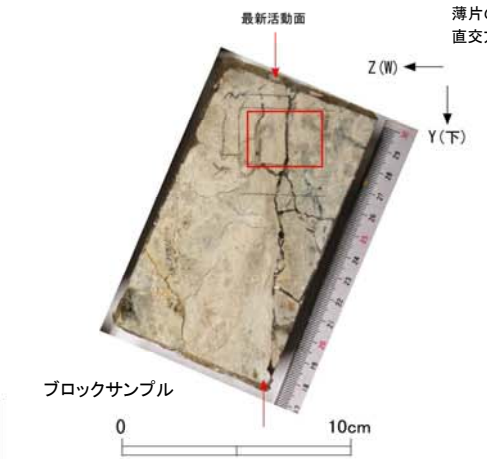
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間)(H24-B14-2孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

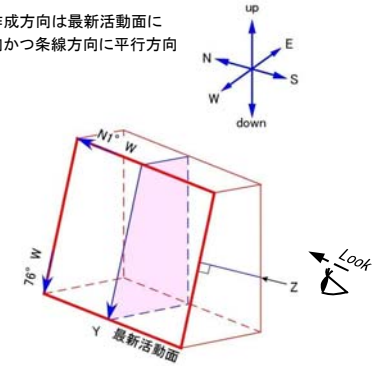
H24-B14-2のボーリングコア(深度109.16m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし



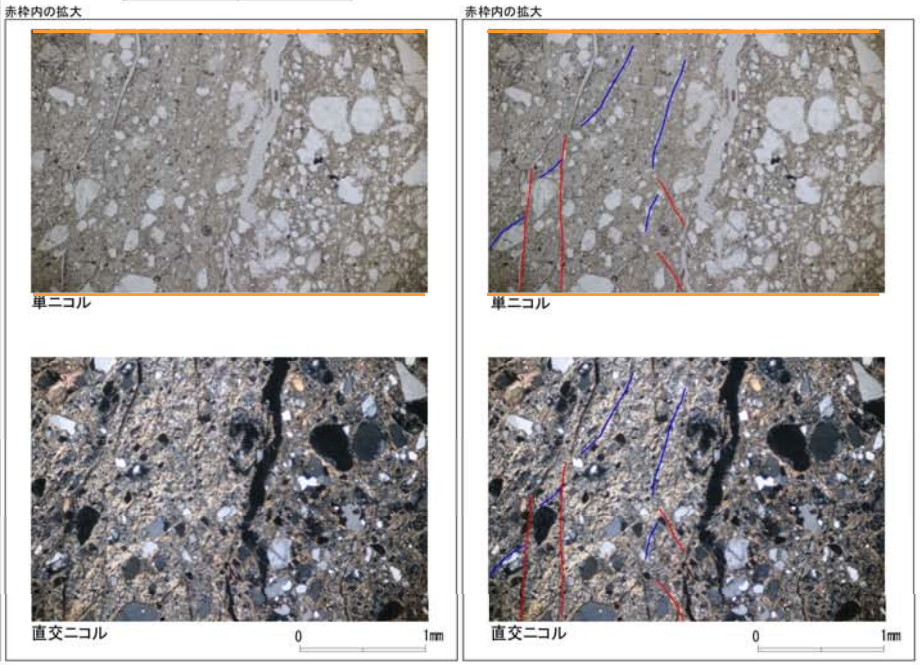


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N1° W76° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

2.2 (1)D－1破砕帯

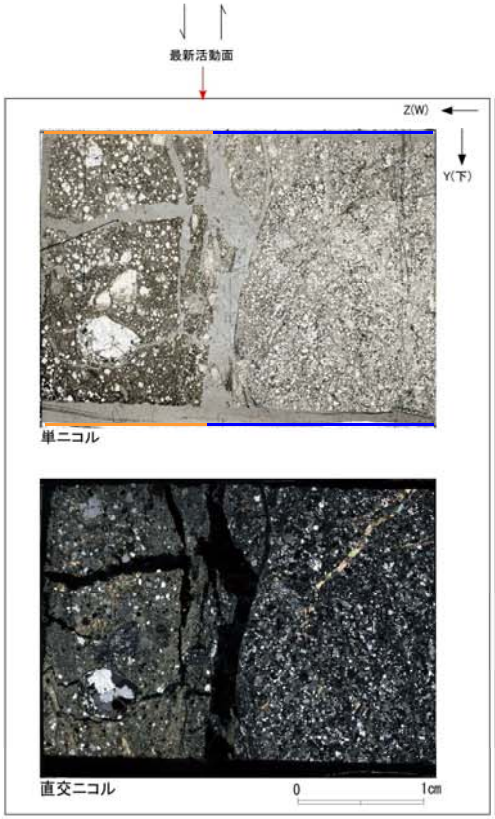
薄片試料観察(2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間)(H24-B14-2孔)(その2)

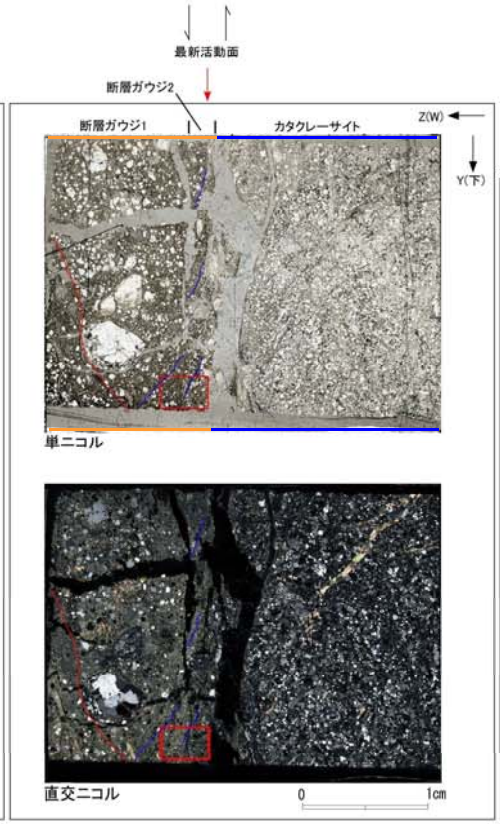
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

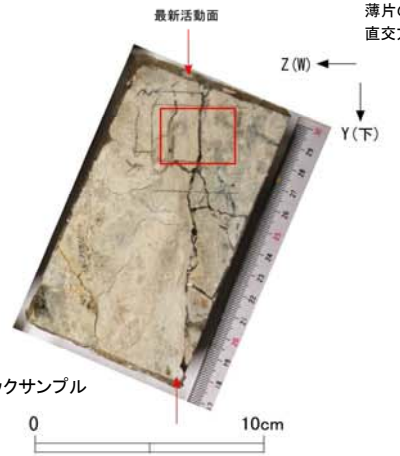
H24-B14-2のボーリングコア(深度109.16m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

35，36(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

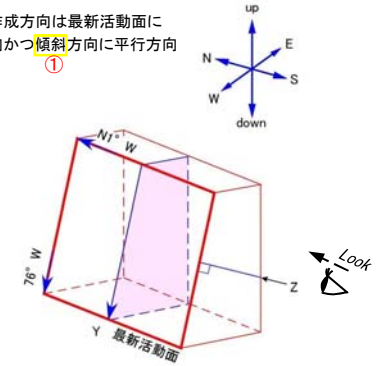
37(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が
残っていたため削除した。





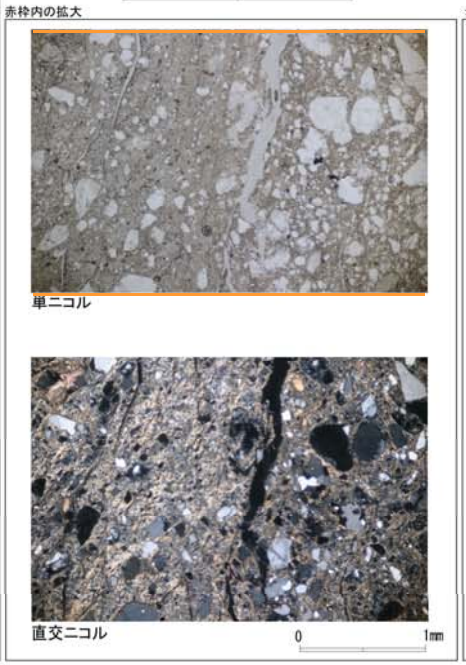


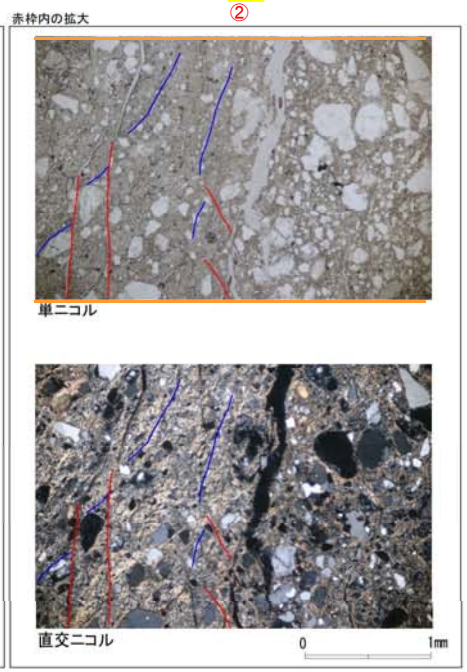
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ傾斜方向に平行方向
①



走向・傾斜 N1° W76° W

① Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
②





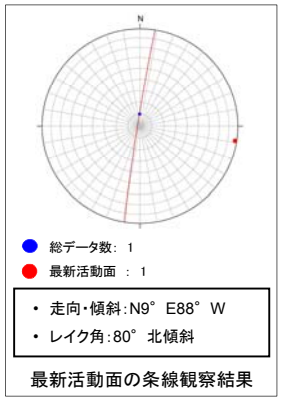
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

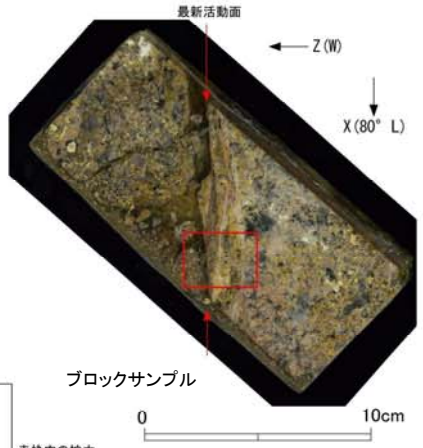
2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察（2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間）（H24-D1-1孔）

H24-D1-1のボーリングコア（深度60.11m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

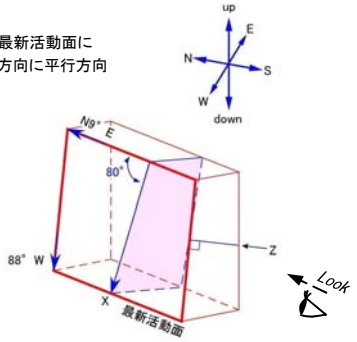


最新活動面の条線観察結果



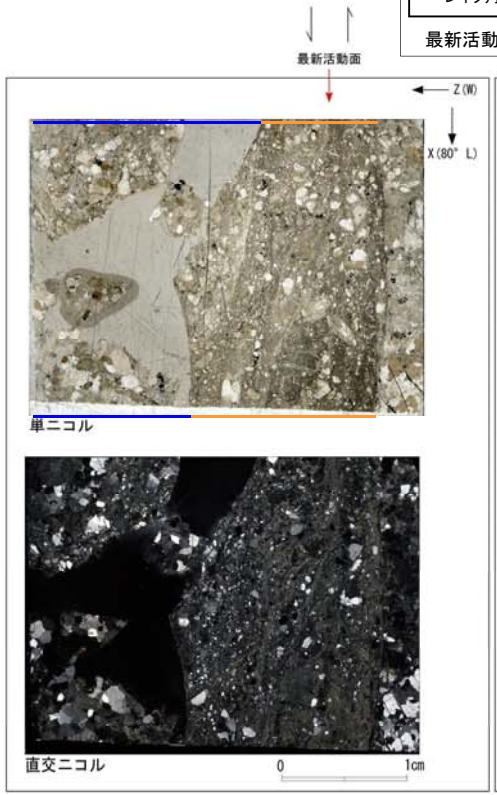
ブロックサンプル

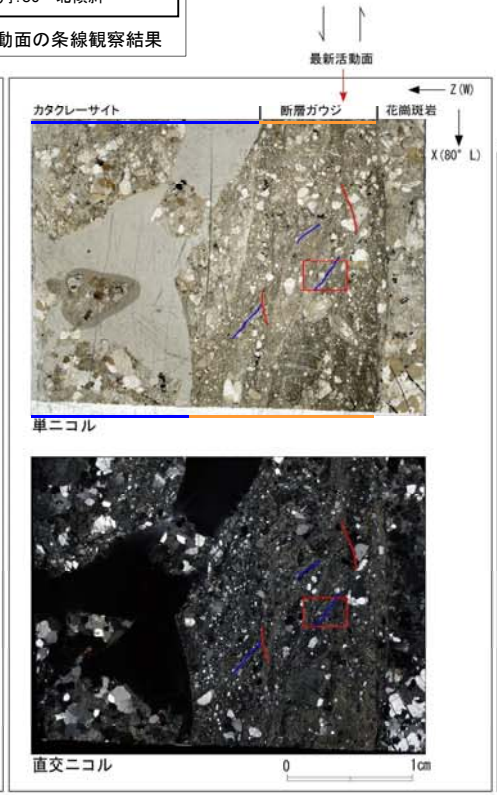
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

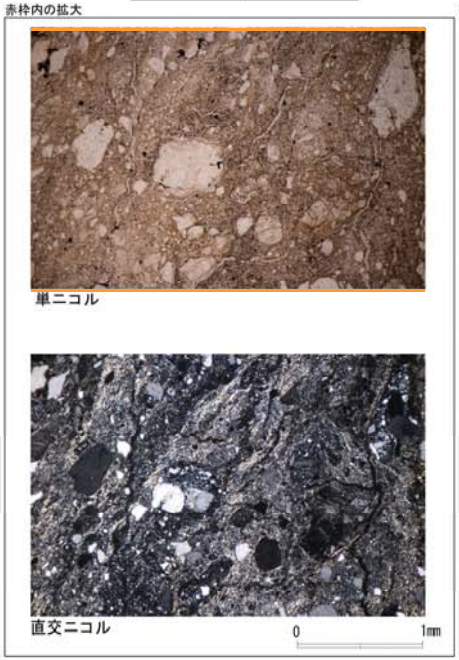


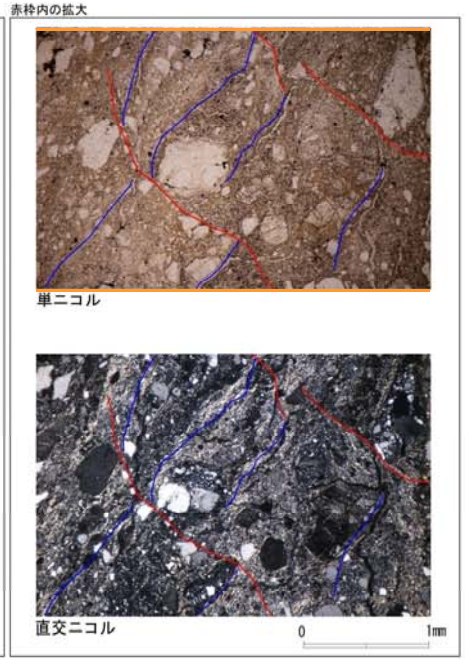
走向・傾斜 N9° E88° W

X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）









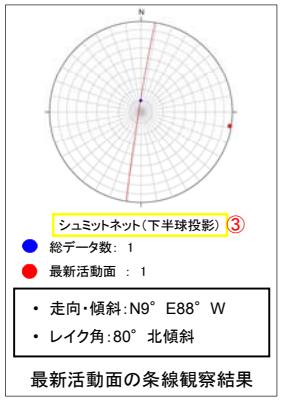
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

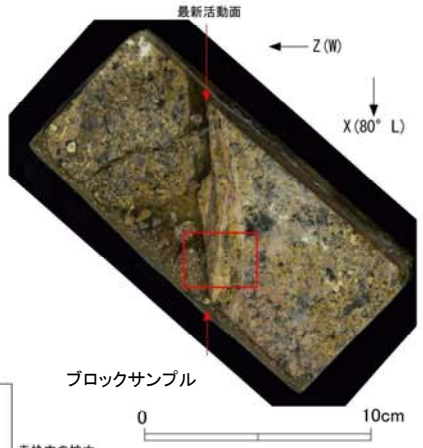
2.2 (1)D－1破砕帯

薄片試料観察（2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間）（H24-D1-1孔）

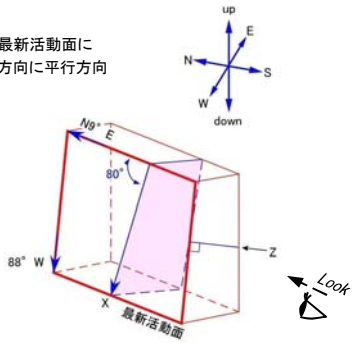
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H24-D1-1のボーリングコア（深度60.12m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



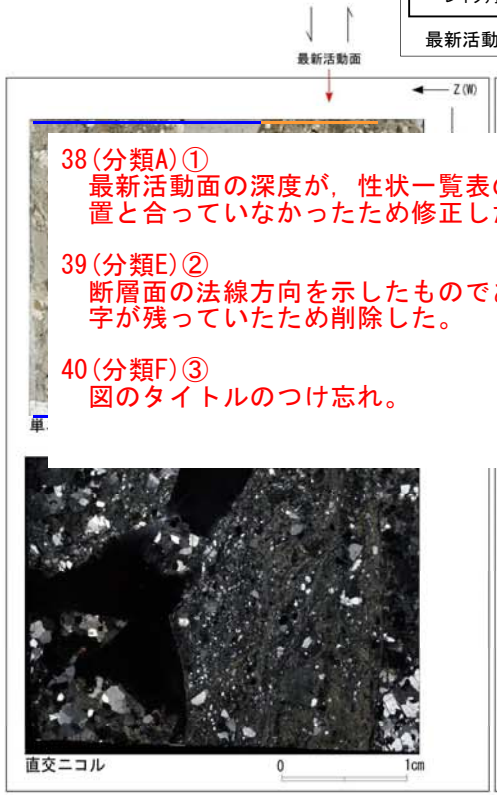


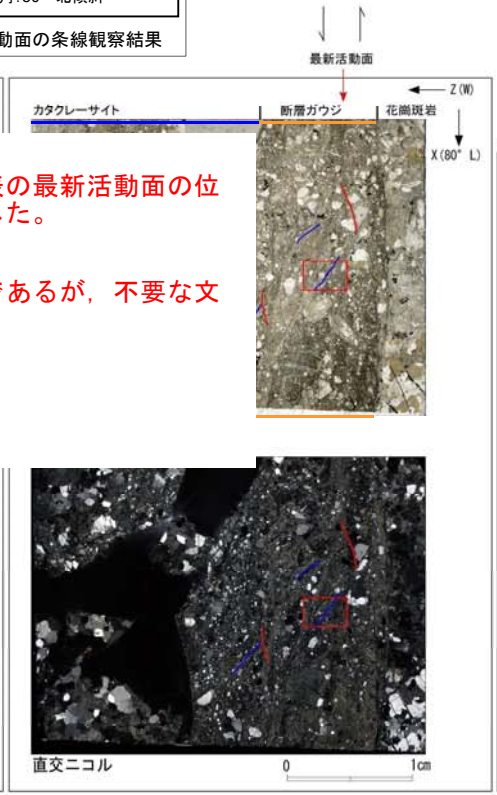
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N9° E88° W

X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）②

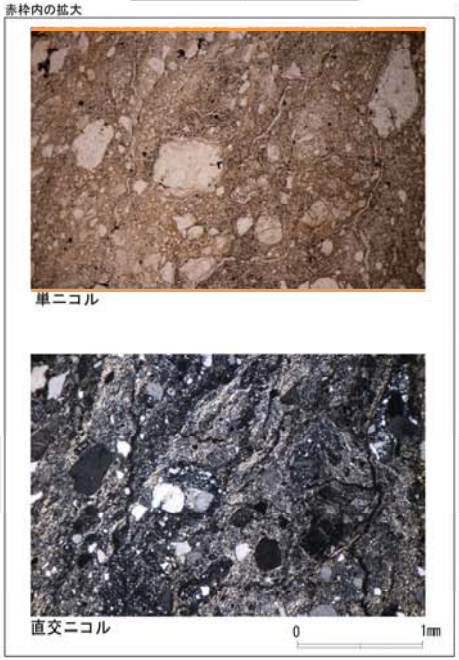


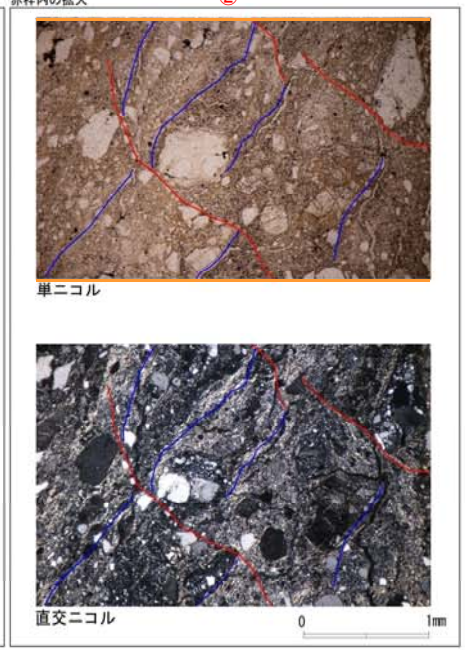


38（分類A）①
最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

39（分類E）②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

40（分類F）③
図のタイトルのつけ忘れ。





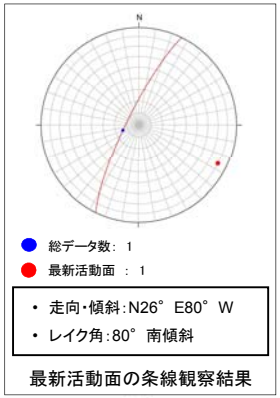
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (1)D－1破砕帯

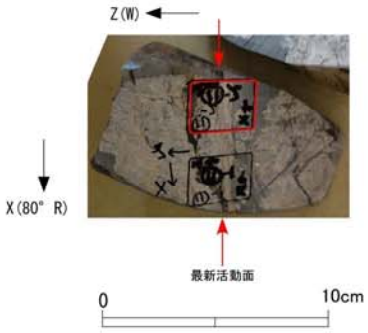
薄片試料観察（2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間）（H27-B-1孔）

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-B-1のボーリングコア（深度59.84m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

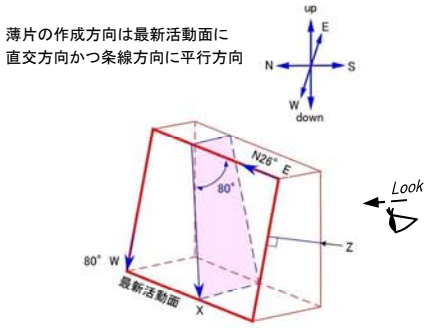


最新活動面の条線観察結果

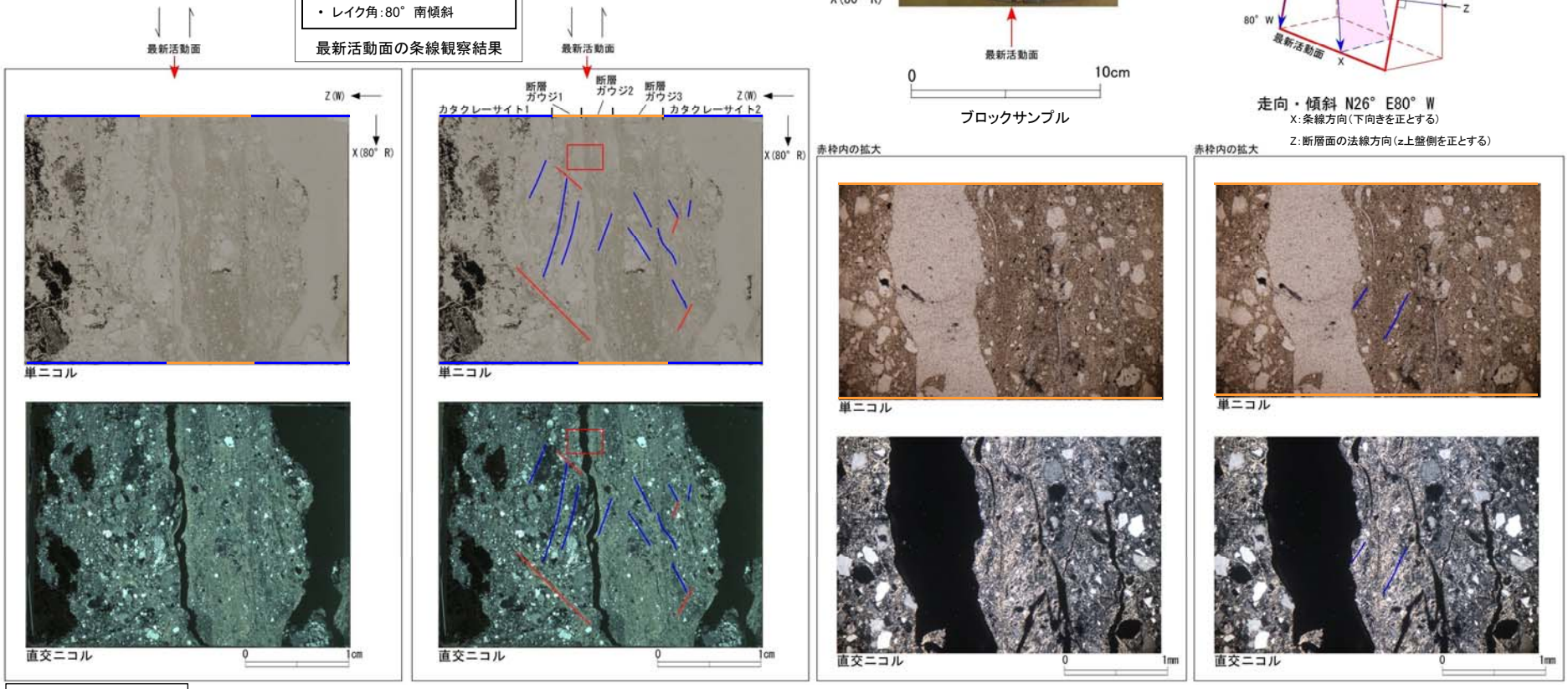


ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N26° E80° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）

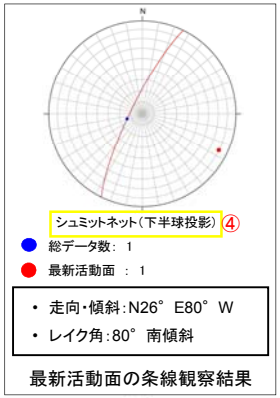


2.2 (1)D－1破砕帯

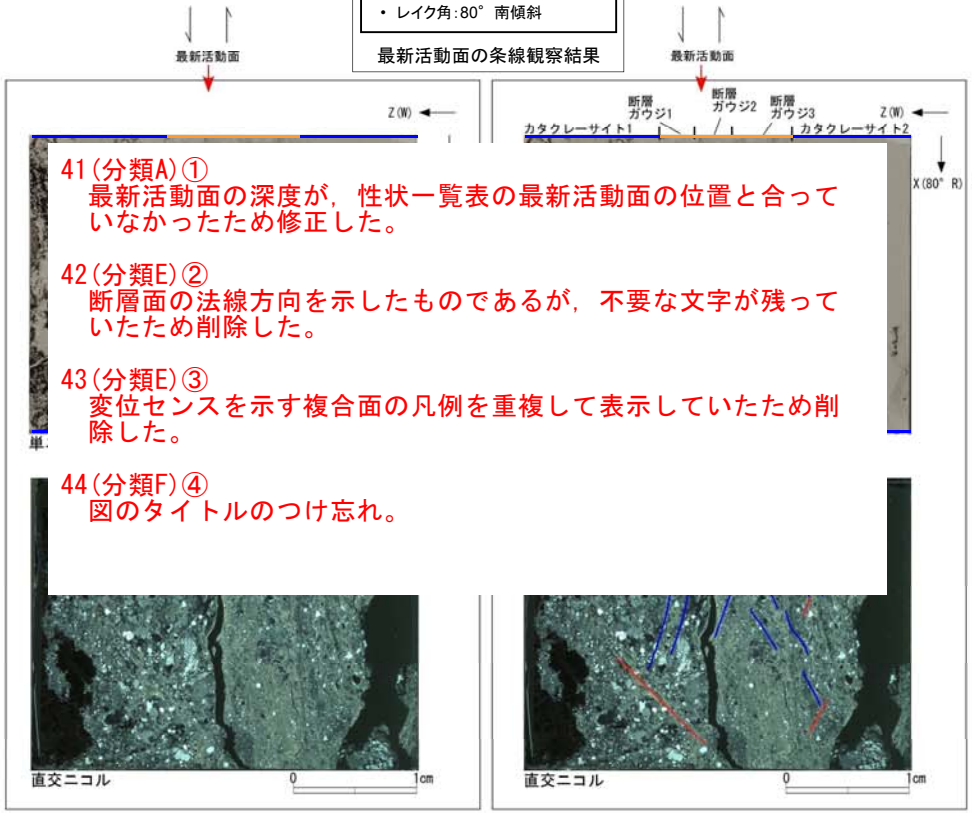
薄片試料観察（2号炉原子炉建屋とD－1トレンチの間）（H27-B-1孔）

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H27-B-1のボーリングコア（深度59.85m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果

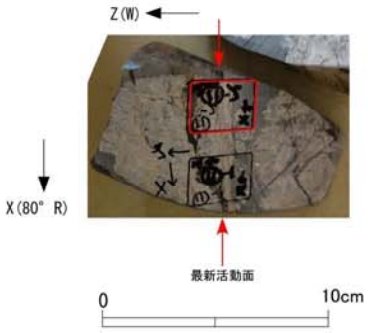


41（分類A）①
最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

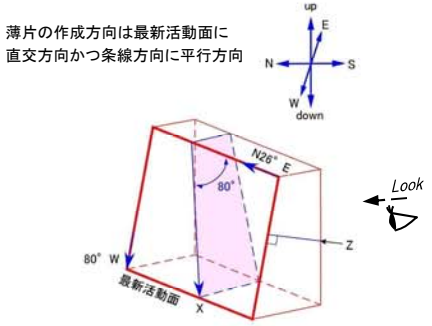
42（分類E）②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

43（分類E）③
変位センスを示す複合面の凡例を重複して表示していたため削除した。

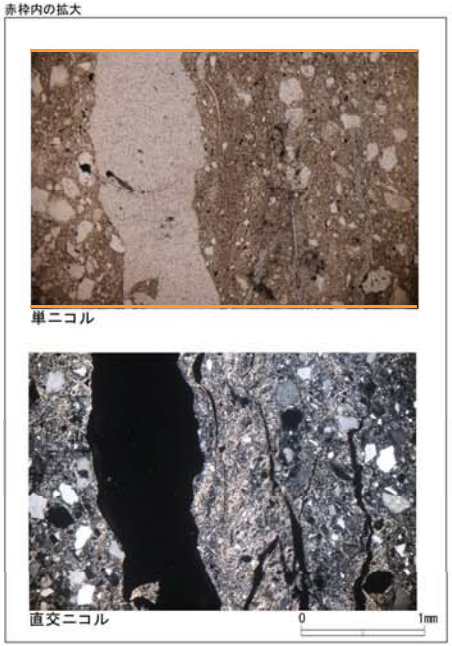
44（分類F）④
図のタイトルのつけ忘れ。

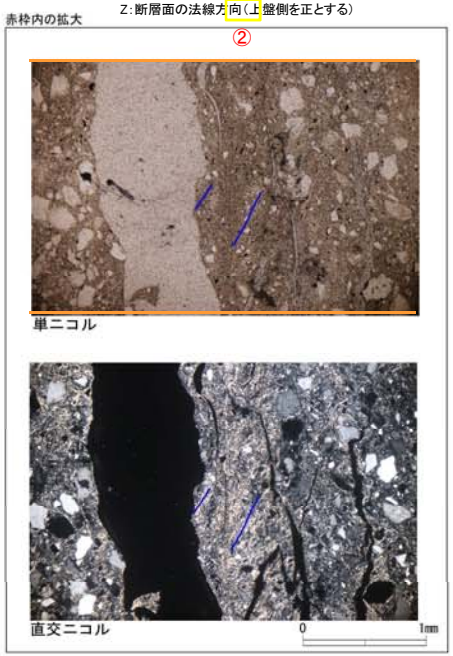


ブロックサンプル

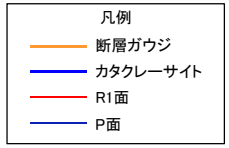


走向・傾斜 N26° E80° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）





②



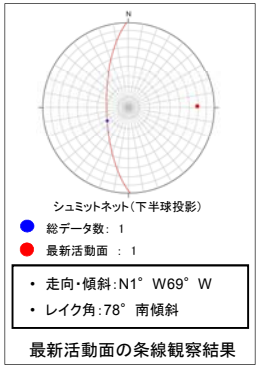
③

2.2 (2)K断層

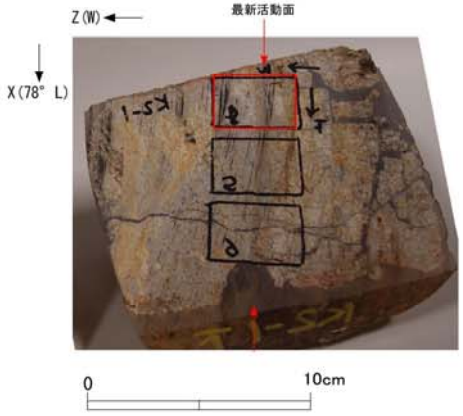
薄片試料観察(2－1ピット)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

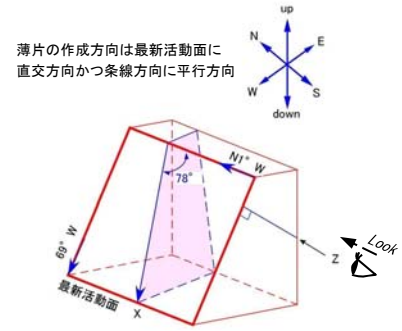
2-1ピットから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，逆断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



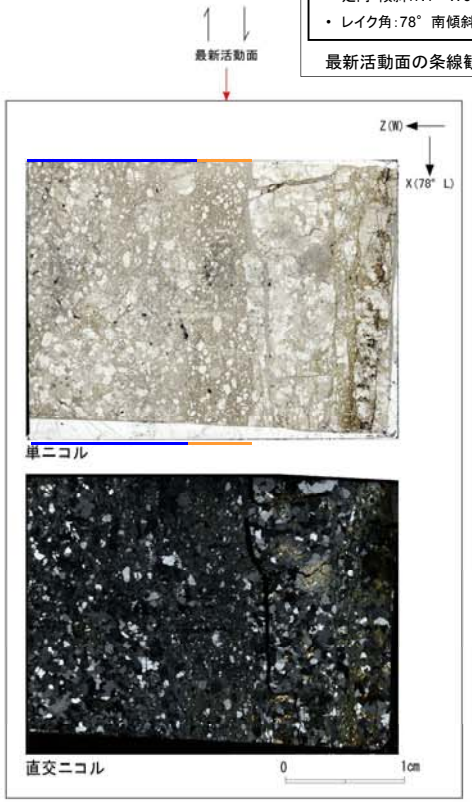
ブロックサンプル

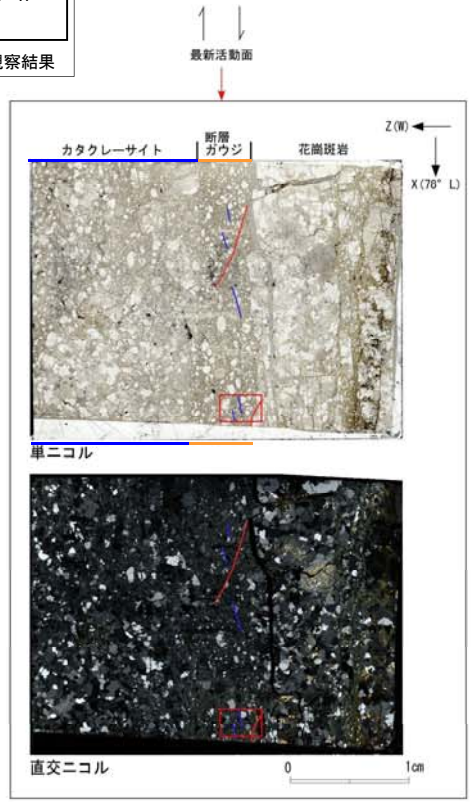


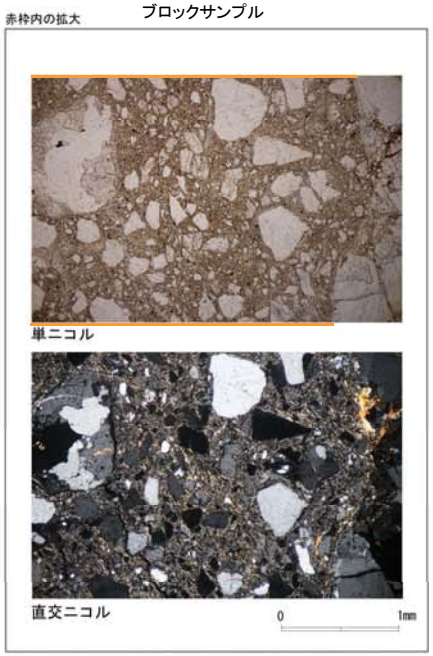
走向・傾斜 N1° W69° W

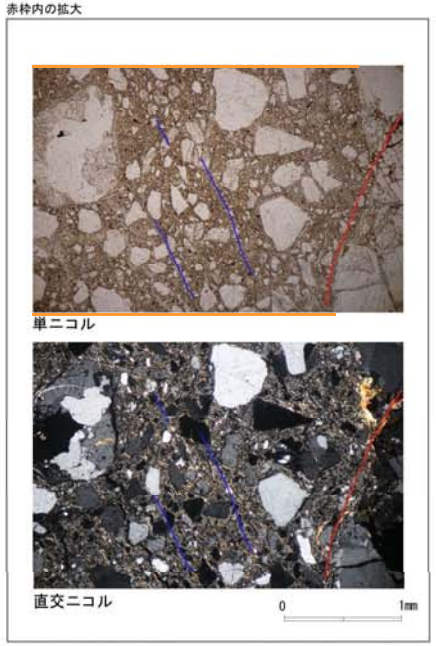
X:条線方向(下向きを正とする)

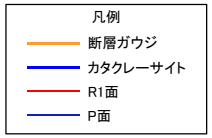
Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)











2.2 (2)K断層

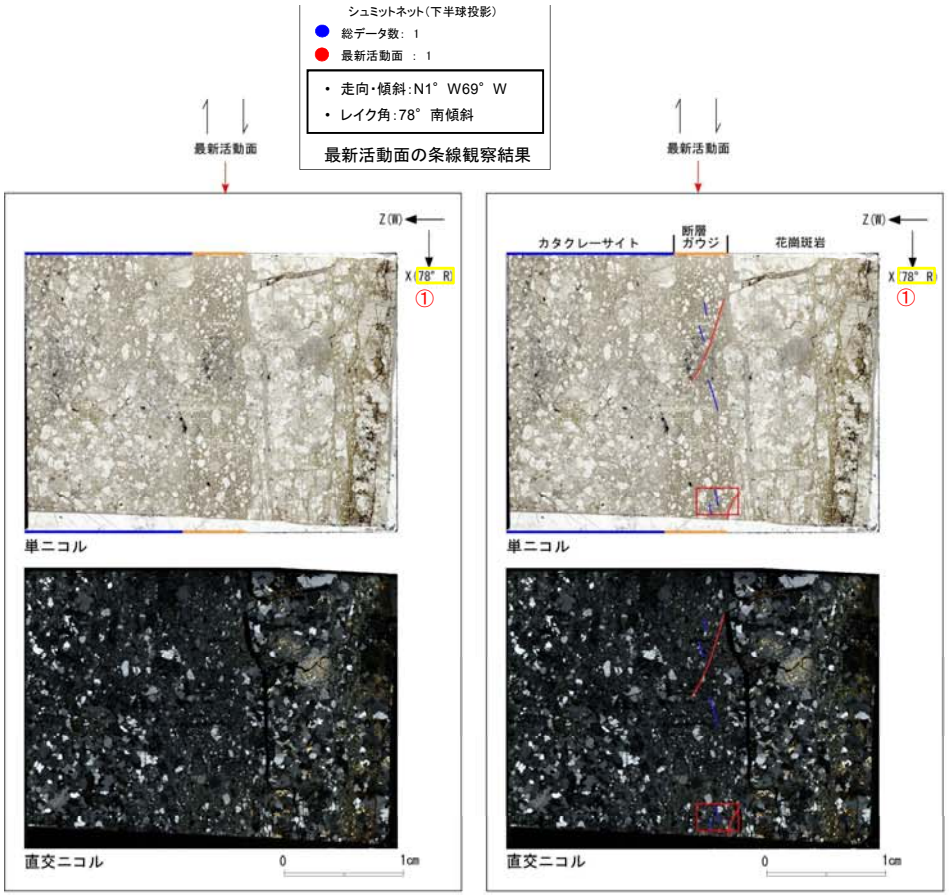
薄片試料観察(2－1ピット)

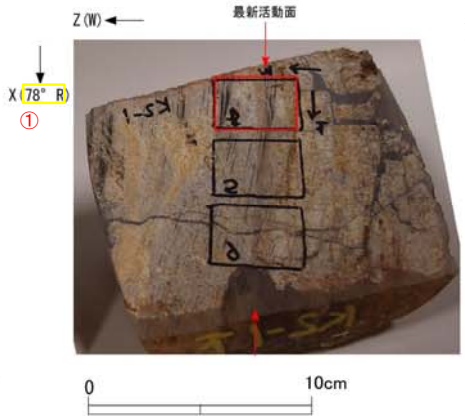
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

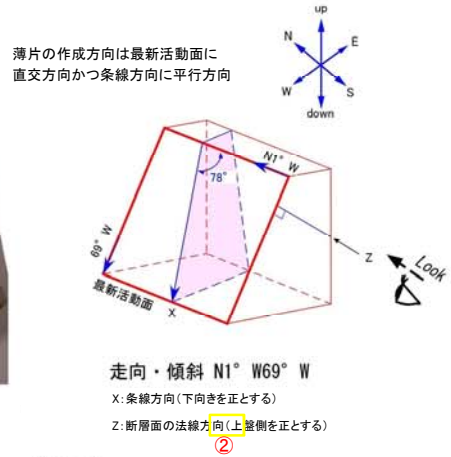
2-1ピットから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，逆断層成分が卓越する。

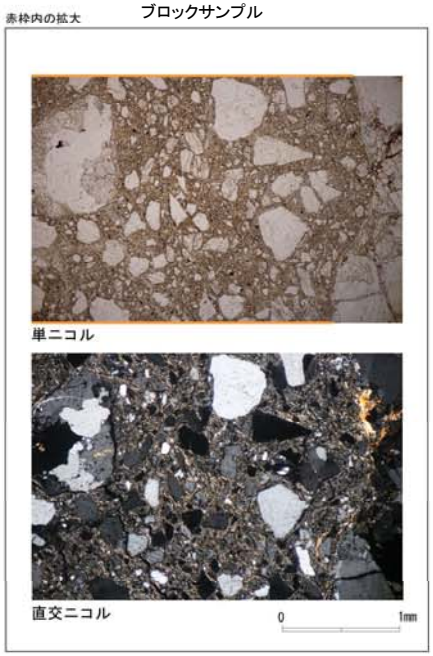
45(分類A)①
条線方向を示したものであるが，性状一覧表からの転記ミスによるもの。

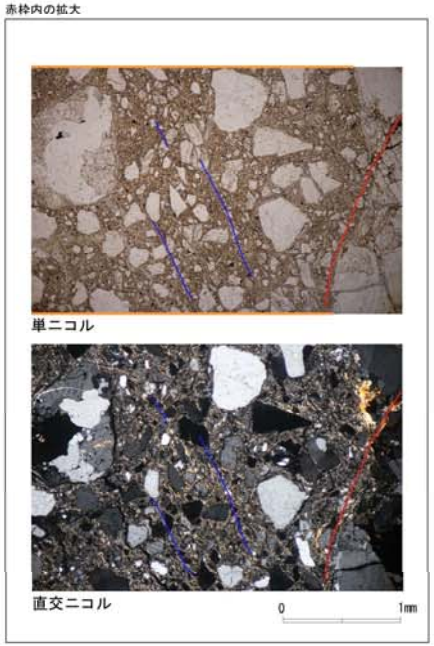
46(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。











凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

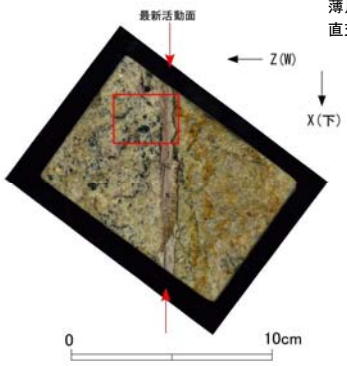
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-1　深度59.16m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

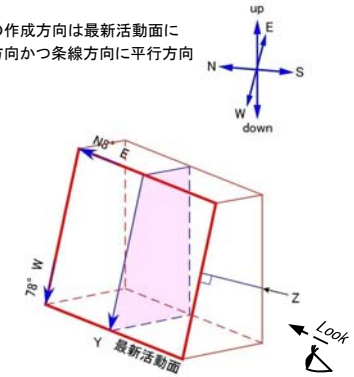
H24-D1-1のボーリングコア(深度59.16m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，鉛直方向では正断層成分が卓越する。

条線データなし



ブロックサンプル

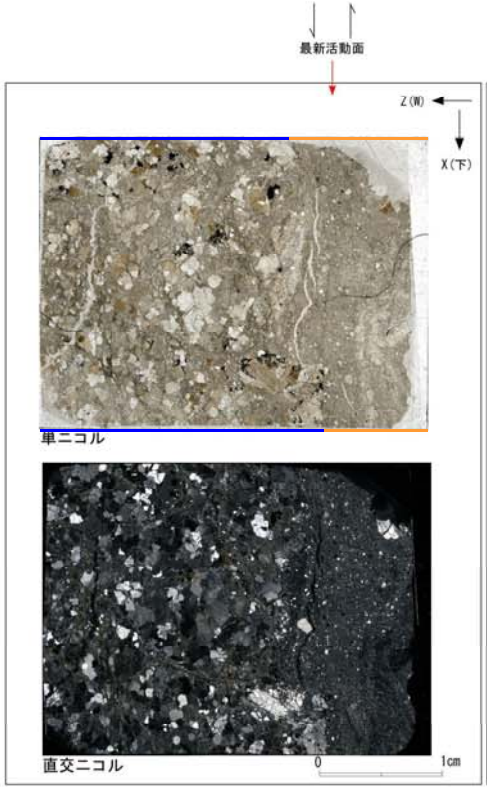
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

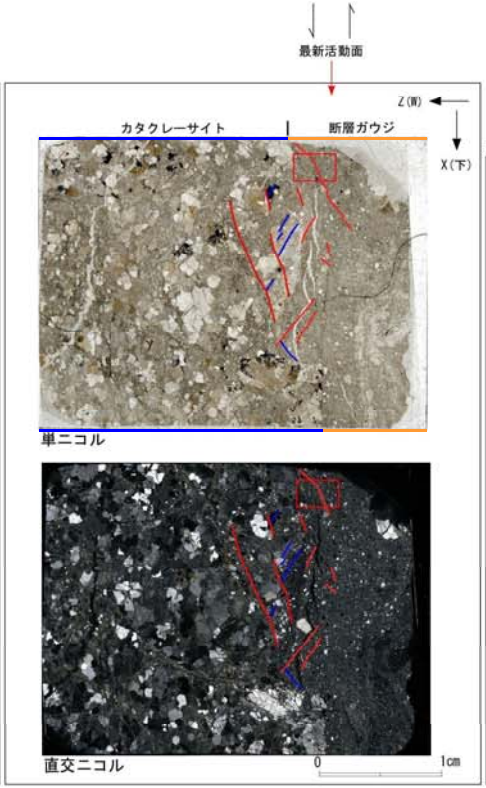


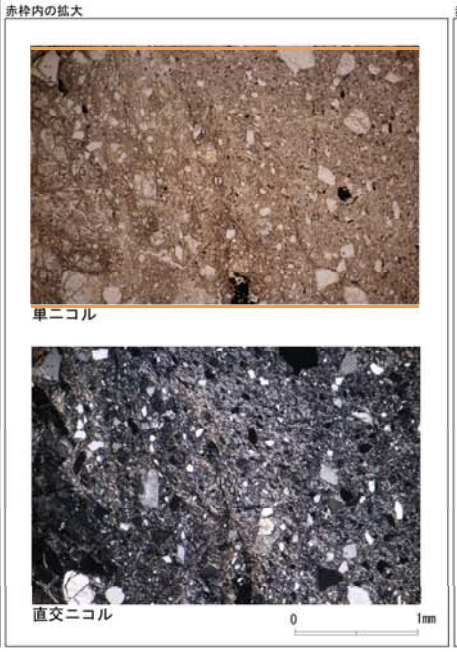
走向・傾斜 N8° E78° W

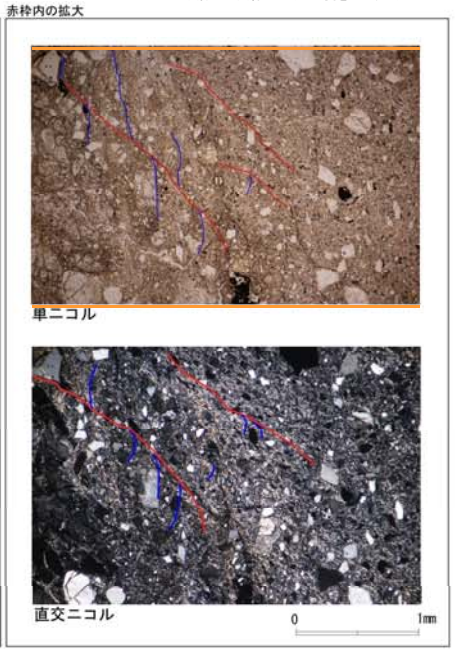
X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

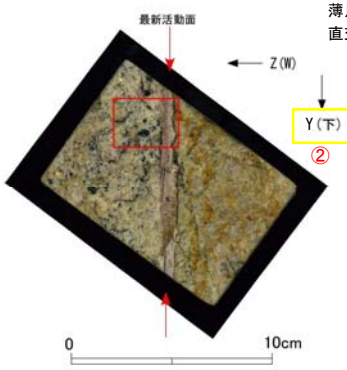
薄片試料観察(H24-D1-1　深度59.16m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

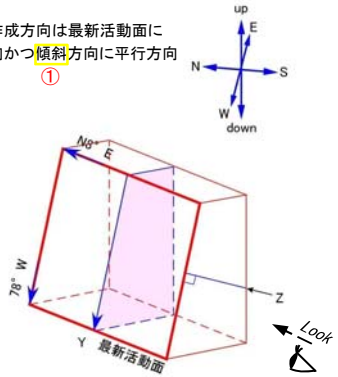
H24-D1-1のボーリングコア(深度59.16m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，鉛直方向では正断層成分が卓越する。

47，48(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

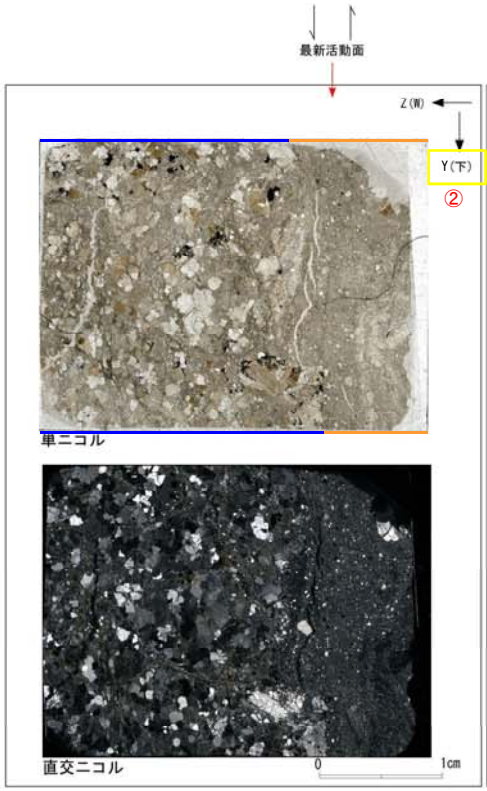
49(分類E)②
掲載した写真における方位を示したものであるが，
書式を転用した際に正しい記号への修正を失念した。

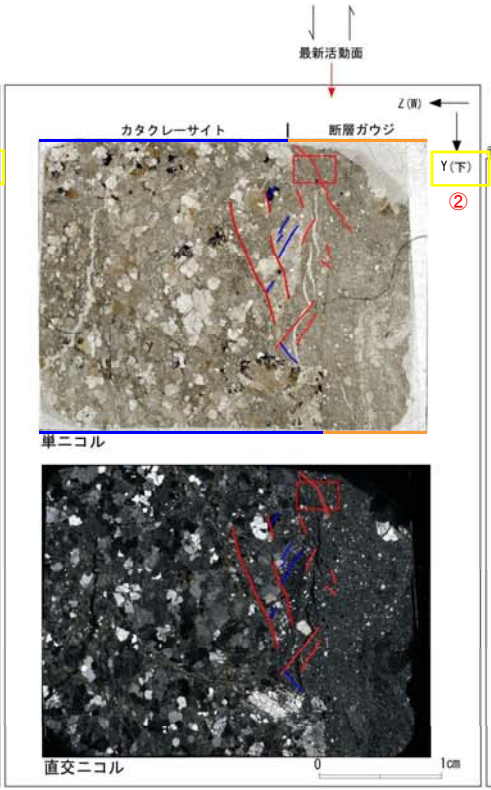


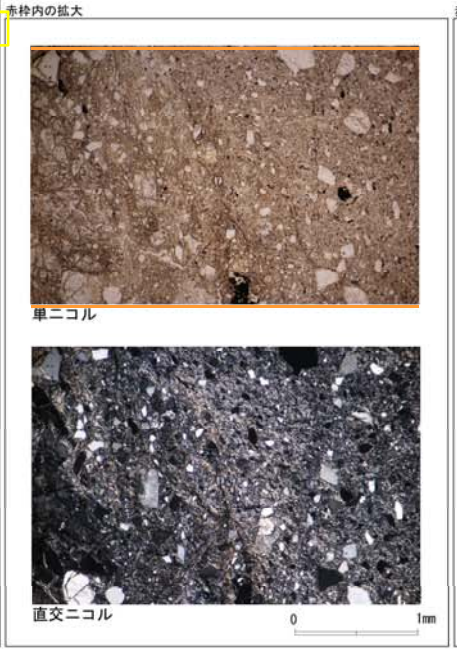
ブロックサンプル

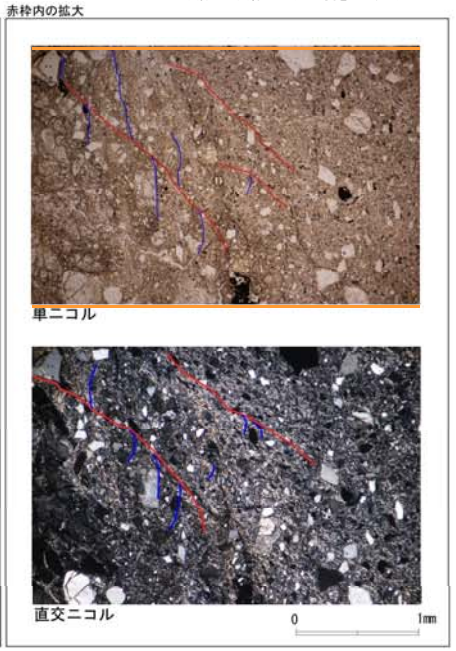


走向・傾斜 N8° E78° W
① Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

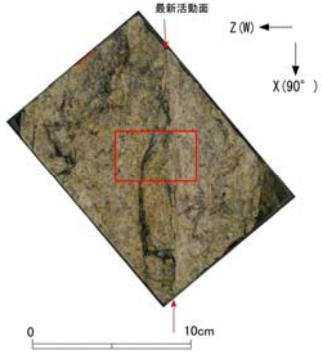
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-1　深度99.70m)

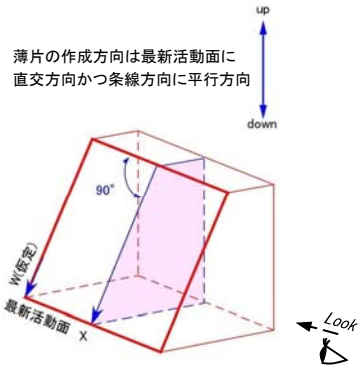
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-D1-1のボーリングコア(深度99.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

条線データなし

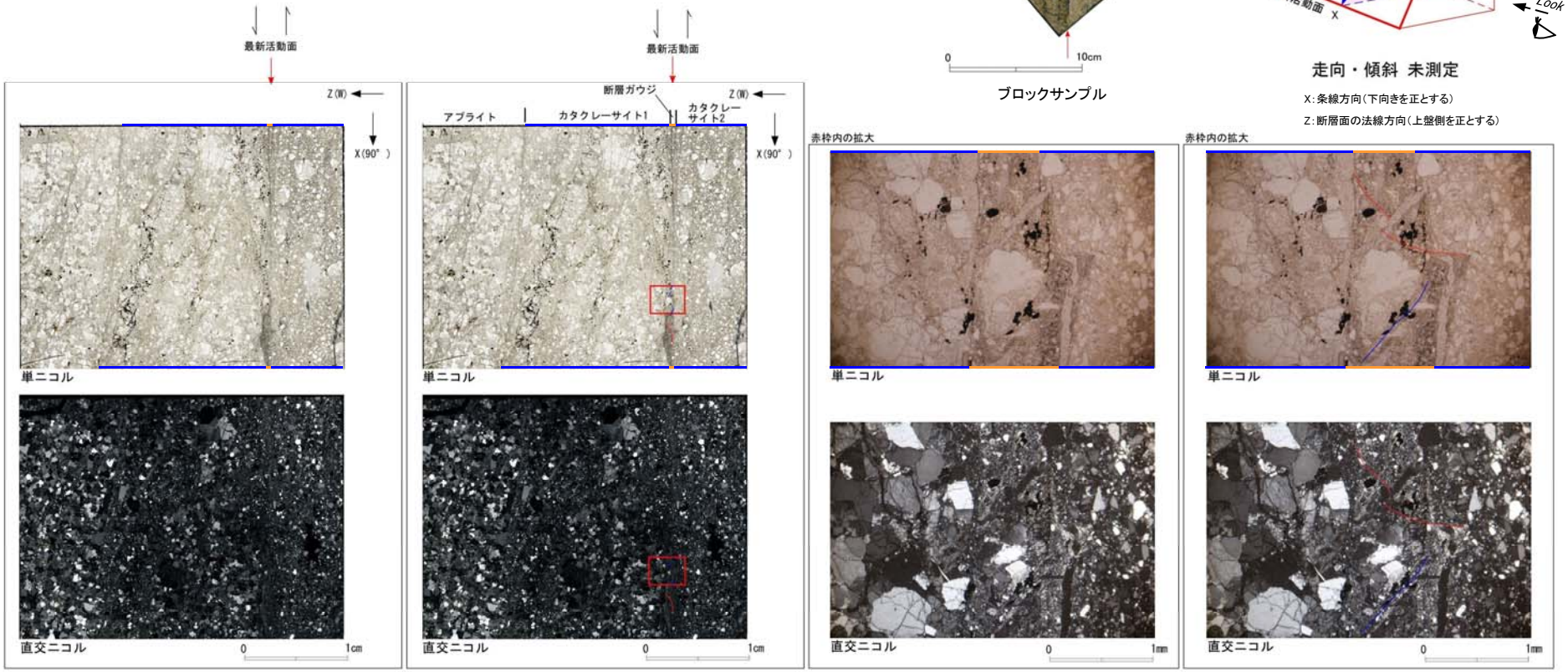


ブロックサンプル



走向・傾斜　未測定

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

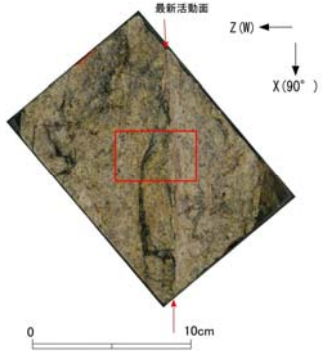
薄片試料観察(H24-D1-1　深度99.70m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

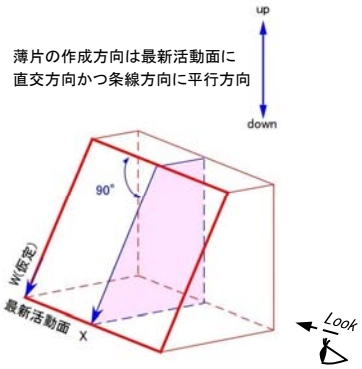
H24-D1-1のボーリングコア(深度99.70m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

50(分類E)①
書式を転用した際に正しい文言への修正を失念した。

走向・傾斜データなし
①

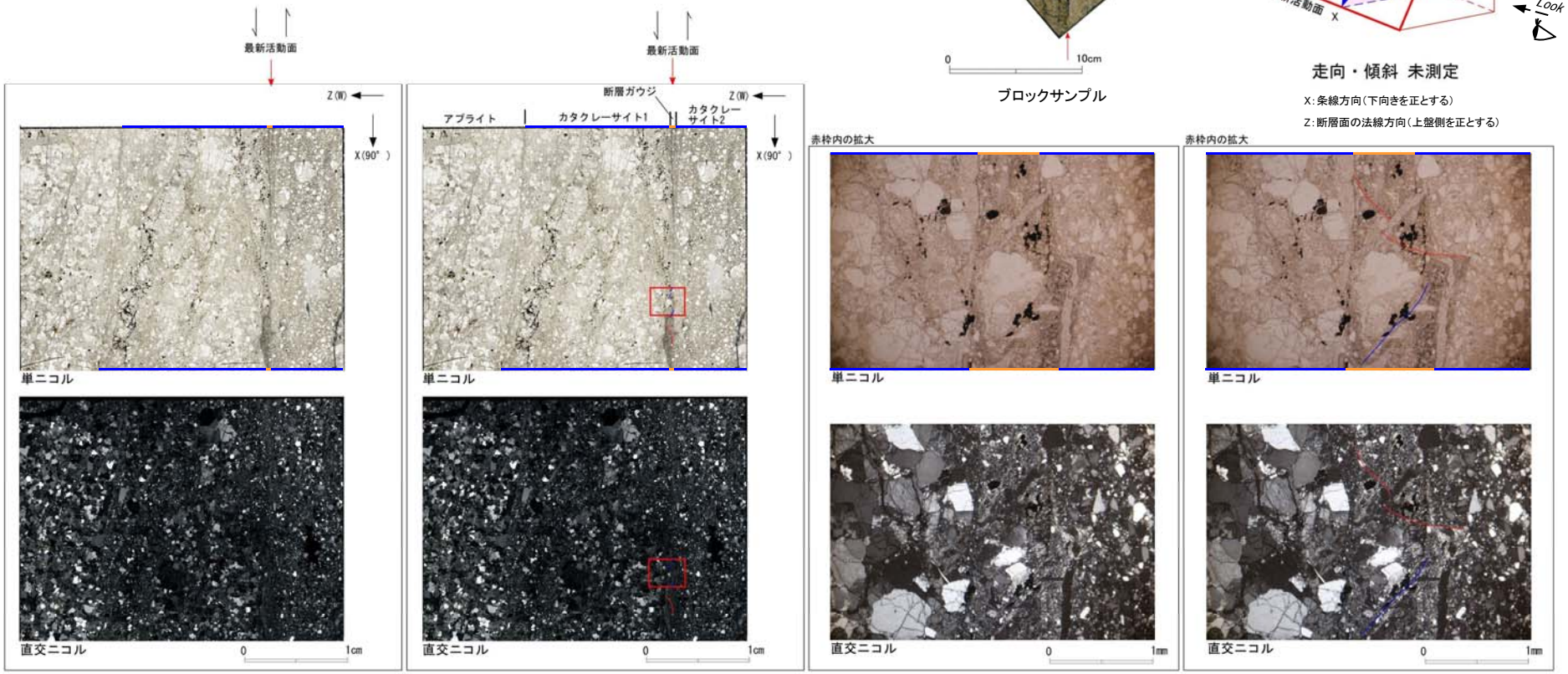


ブロックサンプル



走向・傾斜 未測定

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)



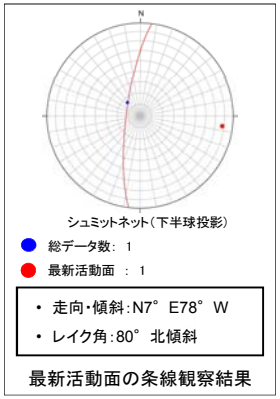
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

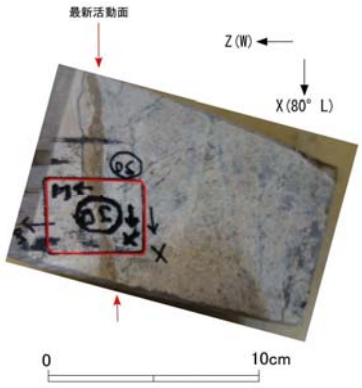
2.2 (2)K断層

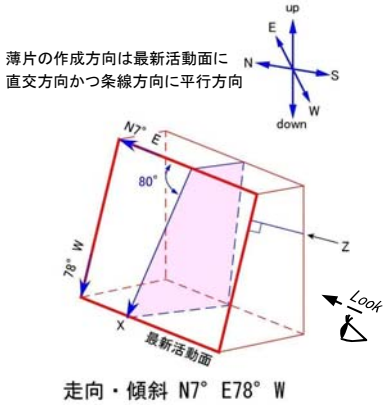
薄片試料観察(H27-B-2　深度31.29m)

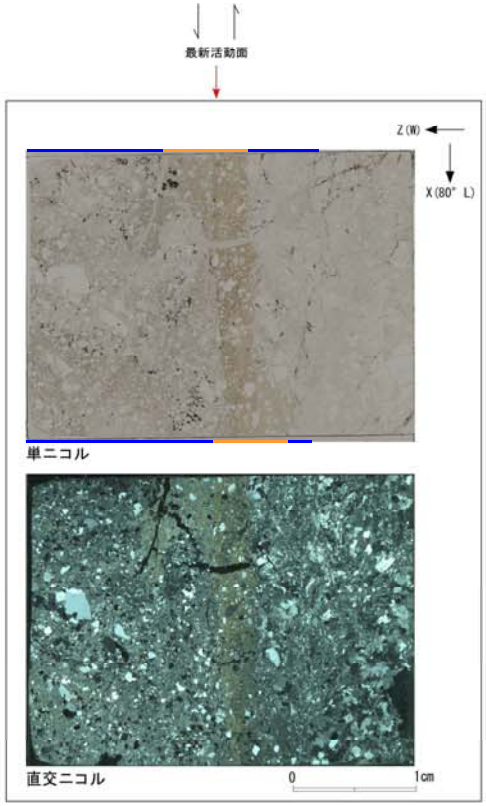
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

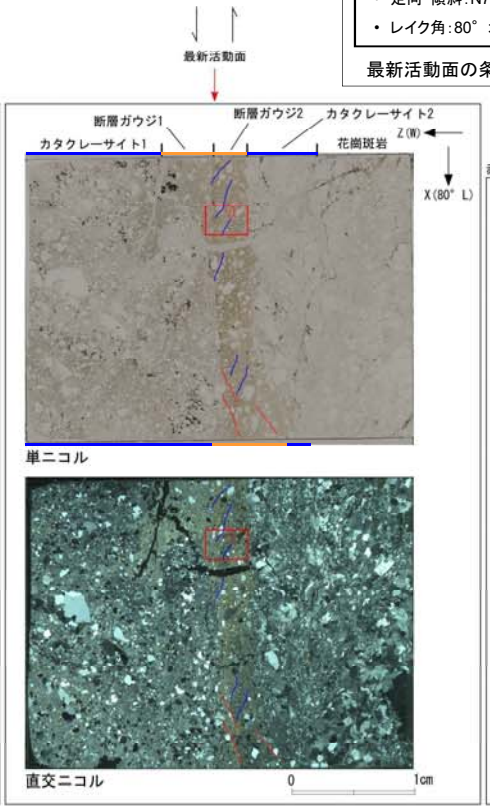
H24-B-2のボーリングコア(深度31.29m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

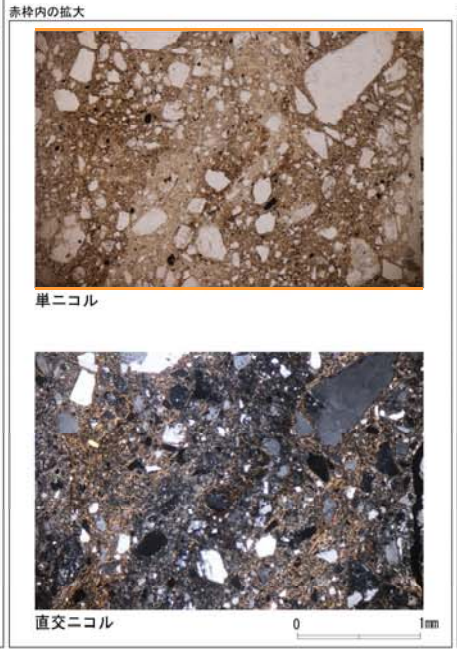


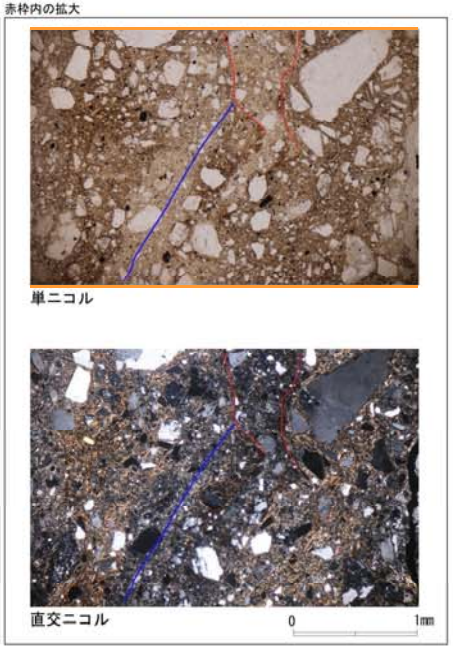


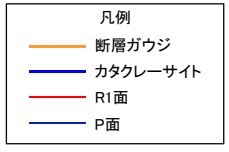












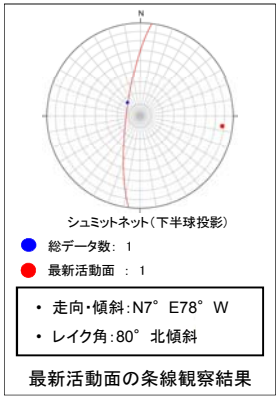
2.2 (2)K断層

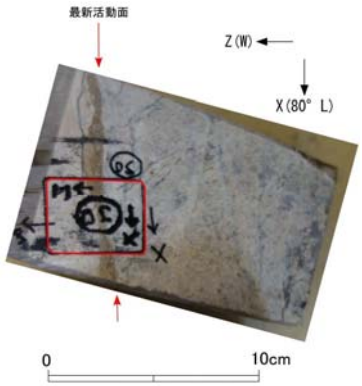
薄片試料観察(H27-B-2　深度31.29m)

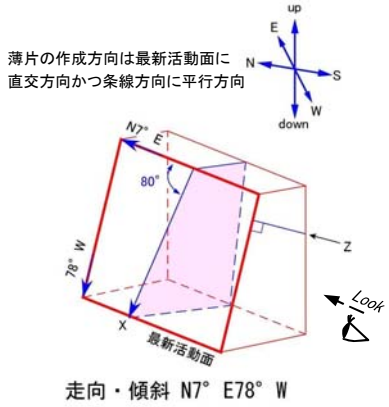
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

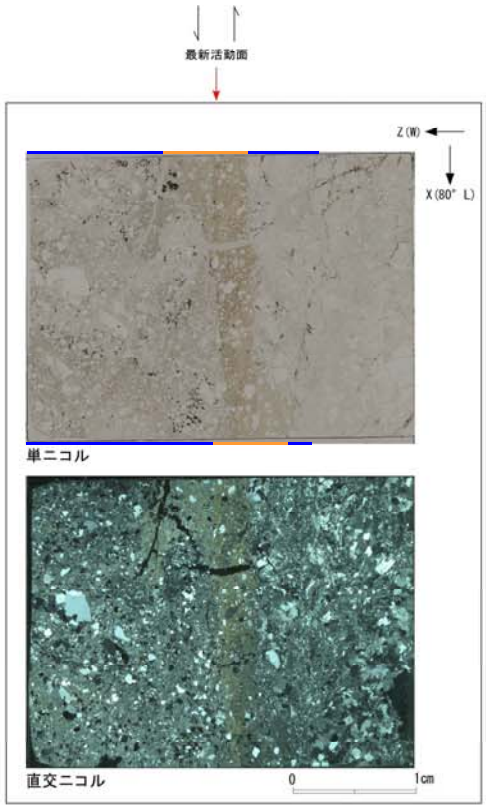
① H27-B-2のボーリングコア(深度31.29m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

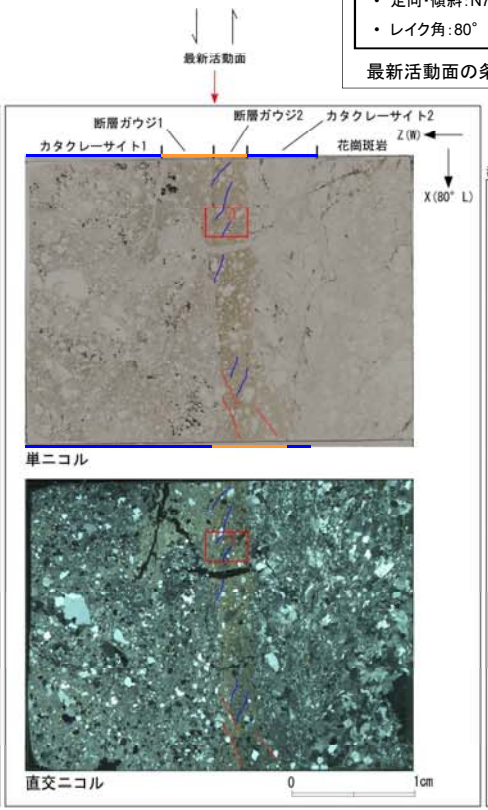
51(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

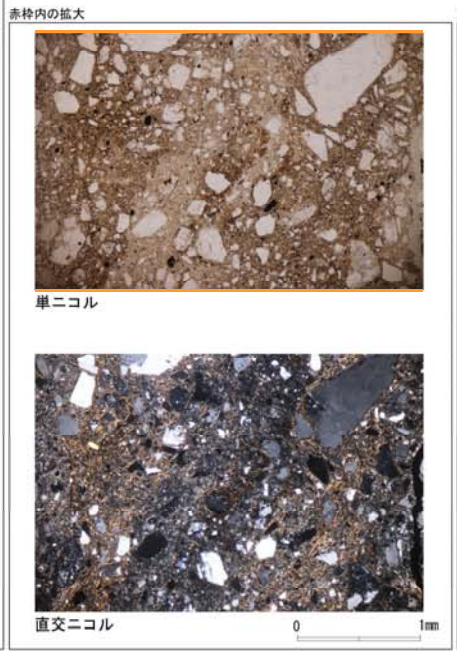


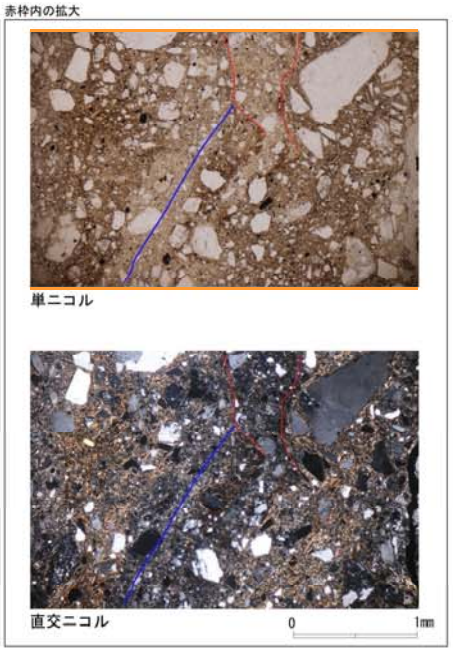










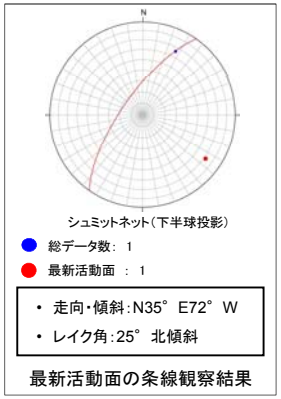


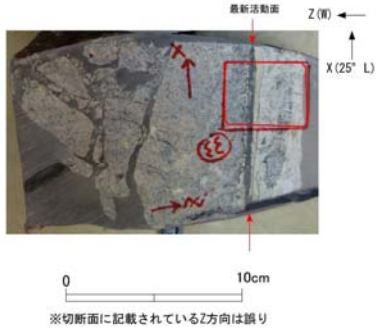
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

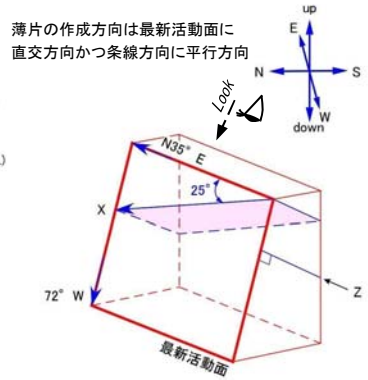
2.2 (2)K断層

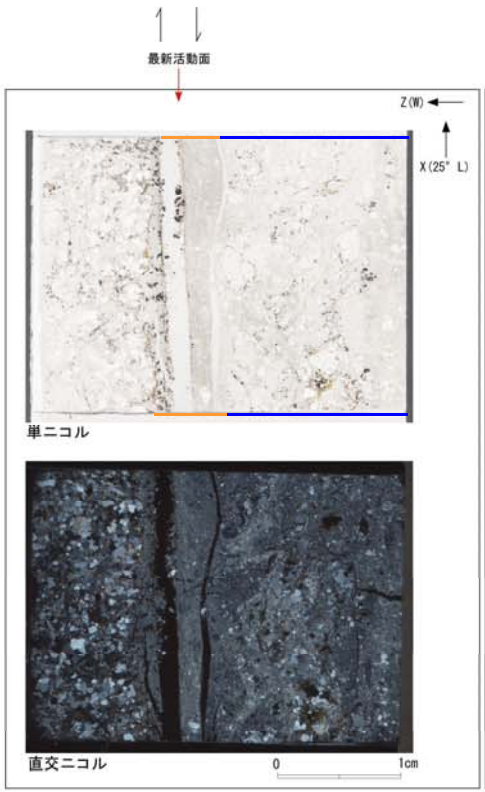
薄片試料観察(H27-B-2　深度88.92m)

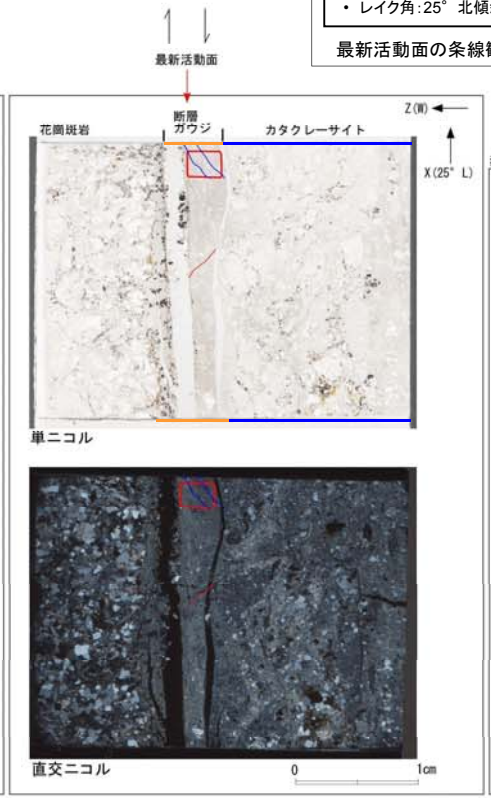
H27-B-2のボーリングコア(深度88.92m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

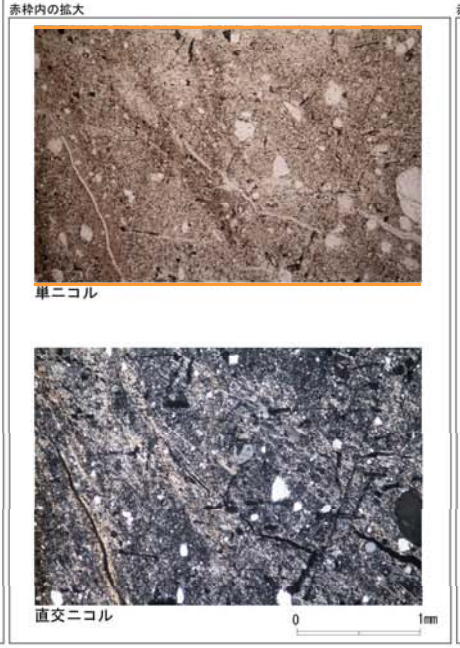


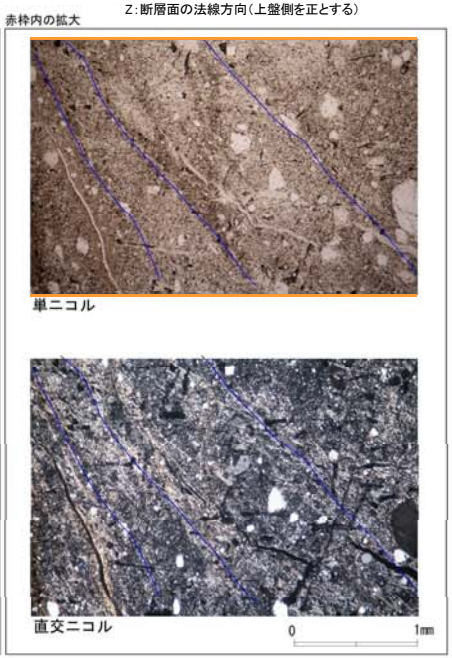












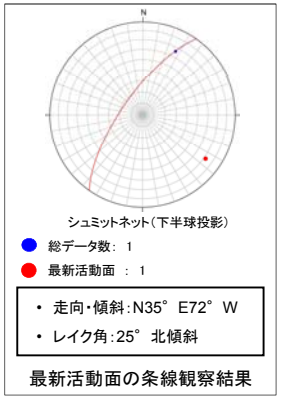
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

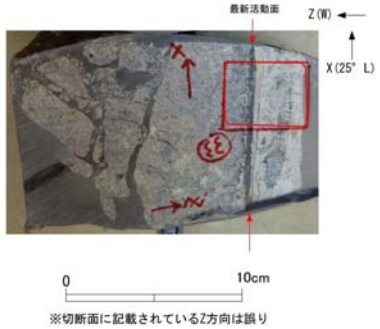
薄片試料観察(H27-B-2　深度①88.94m①)

H27-B-2のボーリングコア(深度①88.94m①)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

52，53(分類A)①
最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

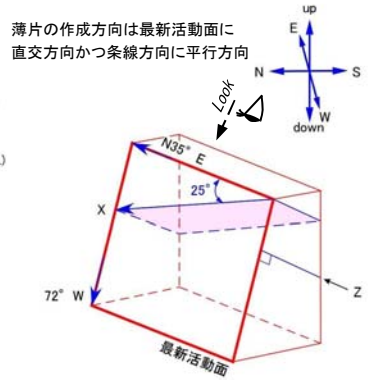


最新活動面の条線観察結果

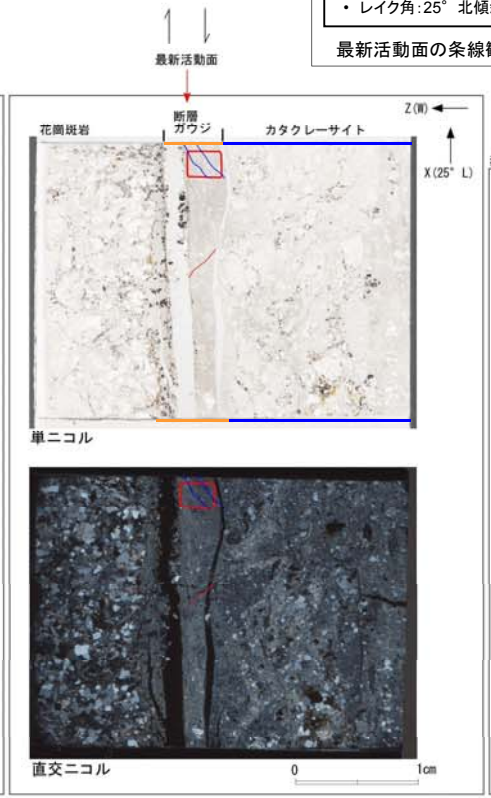


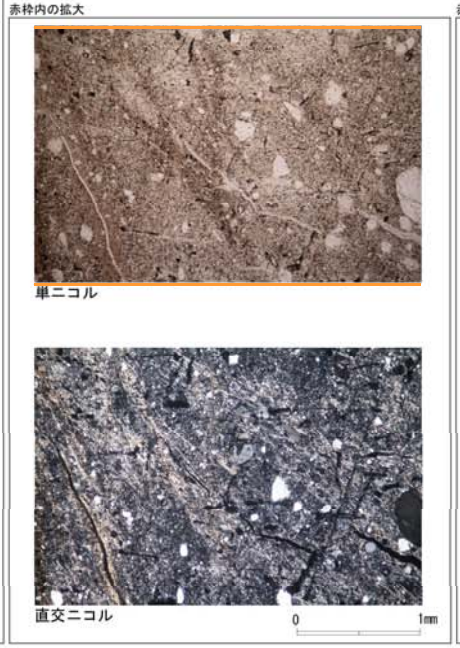
※切断面に記載されているZ方向は誤り

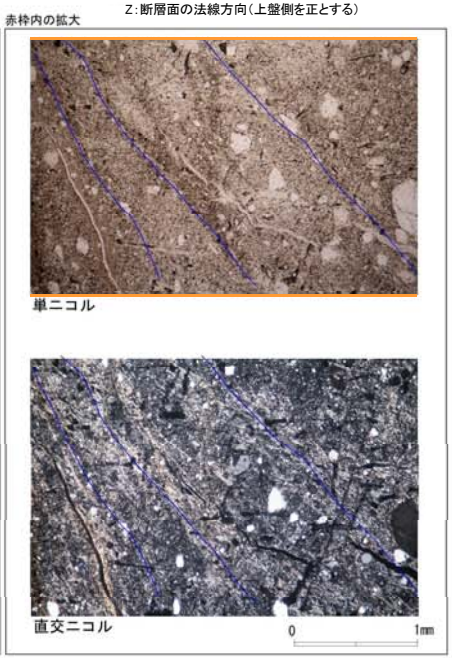
ブロックサンプル



走向・傾斜 N35° E72° W
X：条線方向(下向きを正とする)
Z：断層面の法線方向(上盤側を正とする)







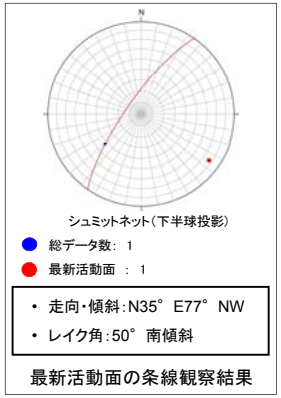
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

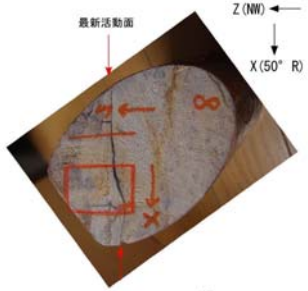
薄片試料観察(H24-B14-2　深度28.50m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

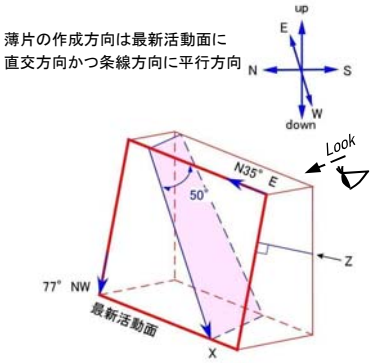
H27-B14-2のボーリングコア(深度28.50m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれを伴う正断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



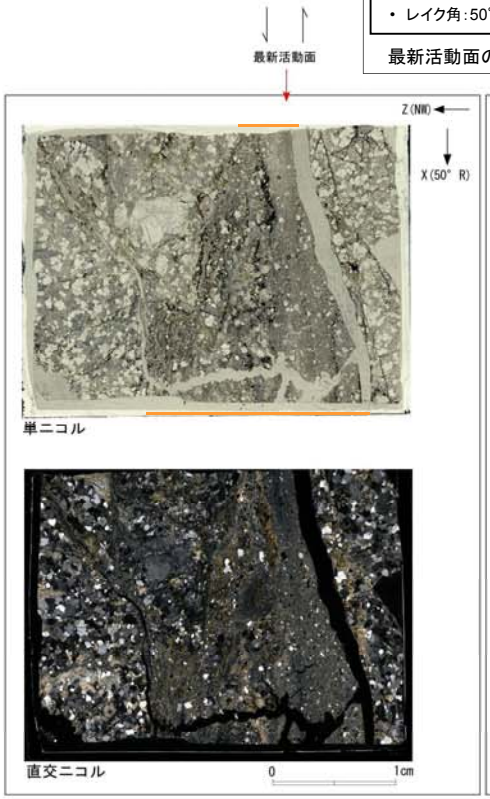
ブロックサンプル

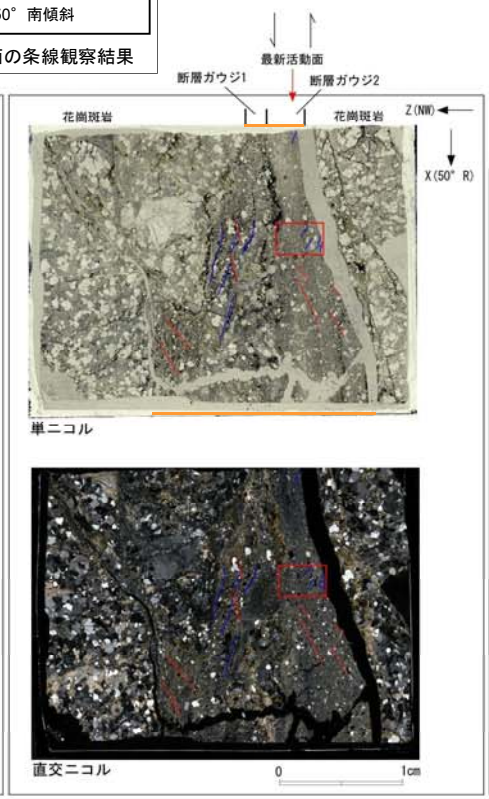


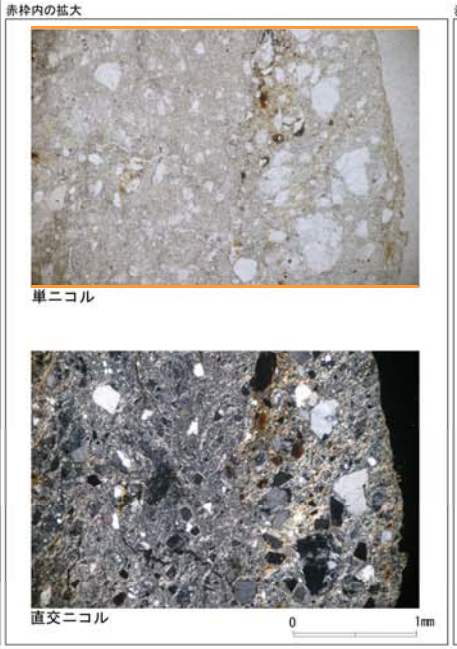
走向・傾斜 N35° E77° NW

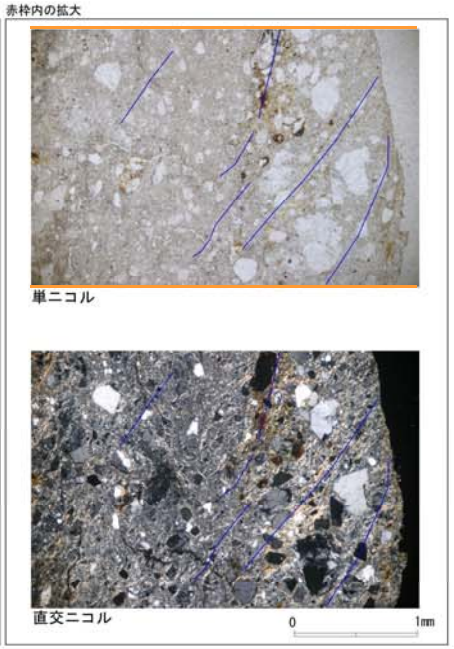
X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

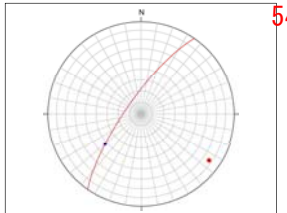
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-B14-2　深度28.50m)

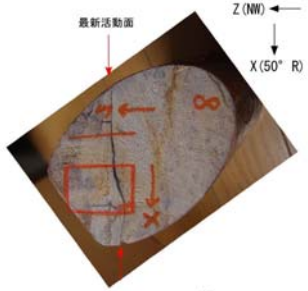
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-B14-2のボーリングコア(深度28.50m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれを伴う正断層成分が卓越する。

54(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

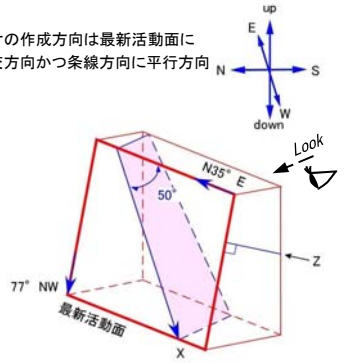


最新活動面の条線観察結果

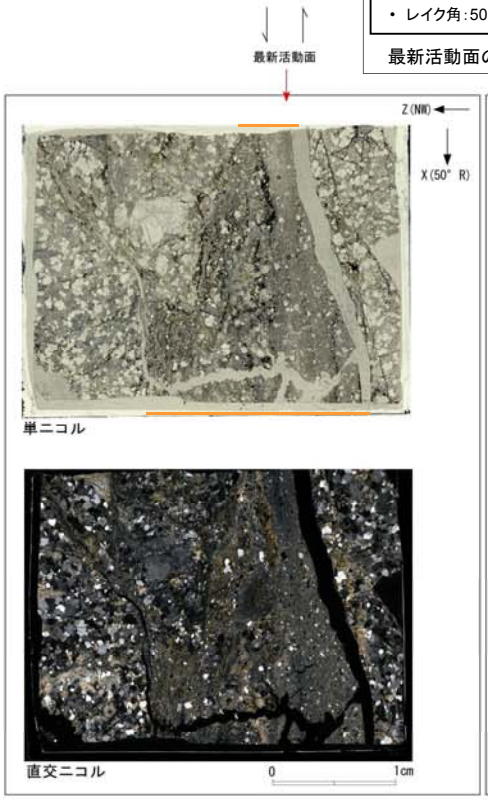


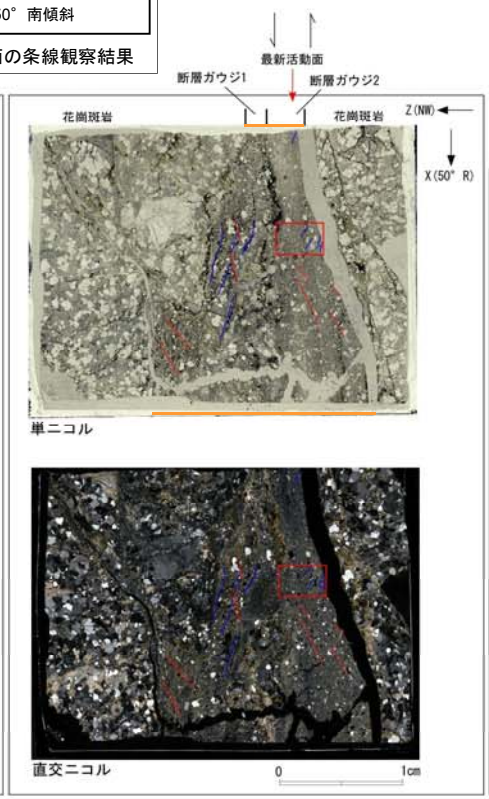
ブロックサンプル

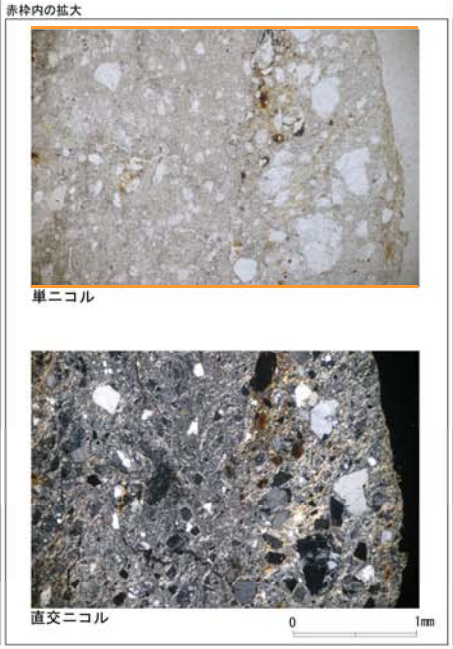
薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向

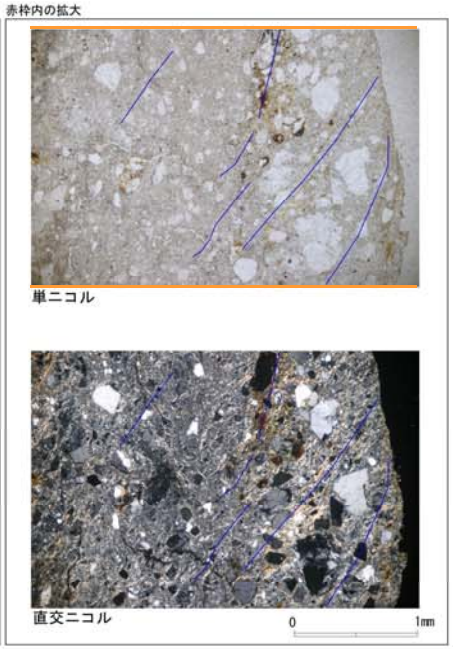


走向・傾斜 N35° E77° NW
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









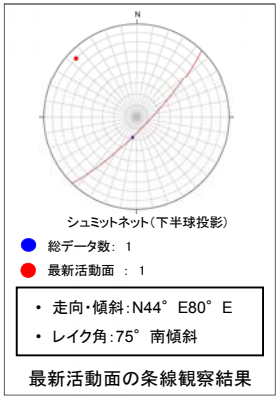
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

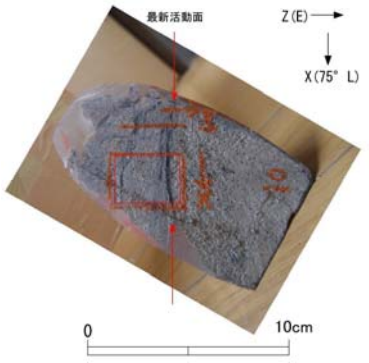
薄片試料観察(H24-B14-2　深度49.26m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

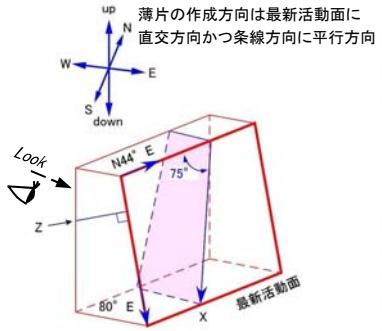
H27-B14-2のボーリングコア(深度49.26m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



ブロックサンプル

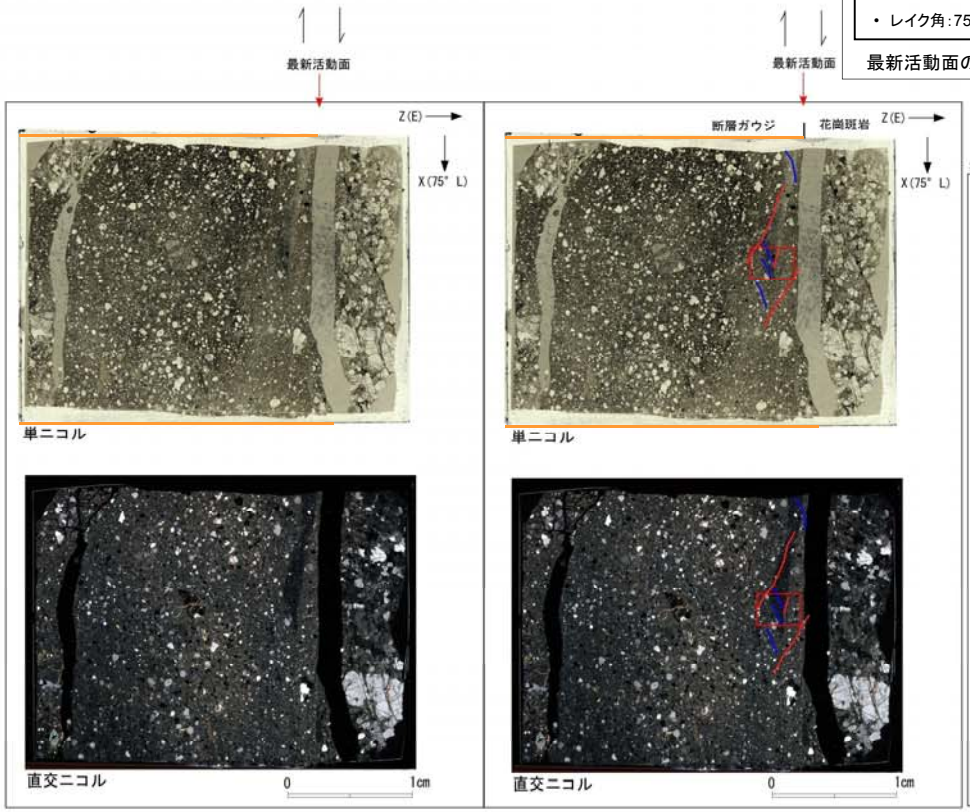


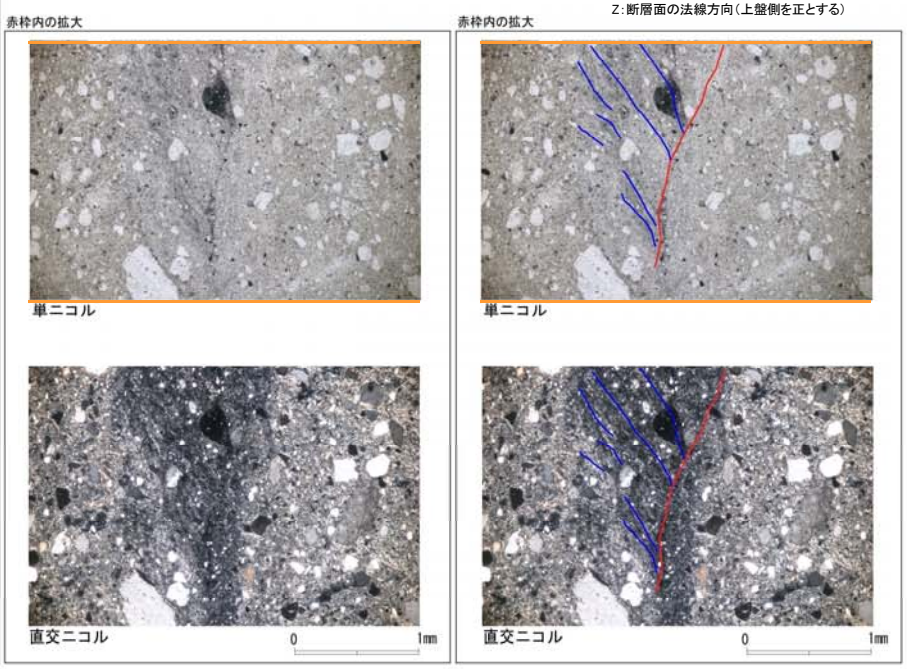
薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向

走向・傾斜 N44° E80° E

X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)





凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

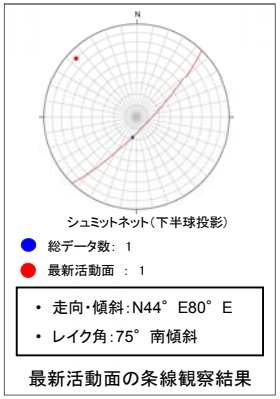
2.2 (2)K断層

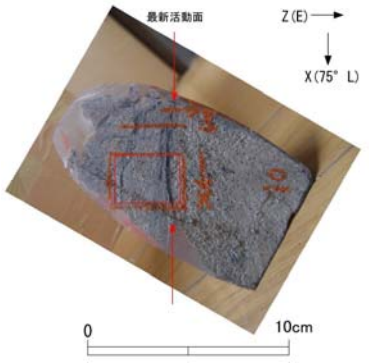
薄片試料観察(H24-B14-2　深度49.26m)

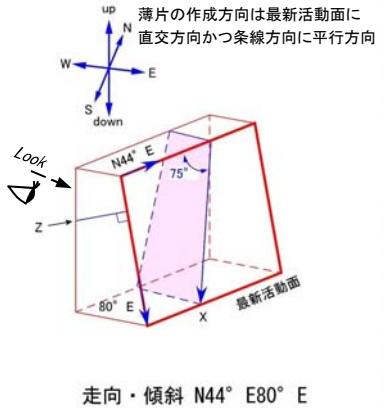
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

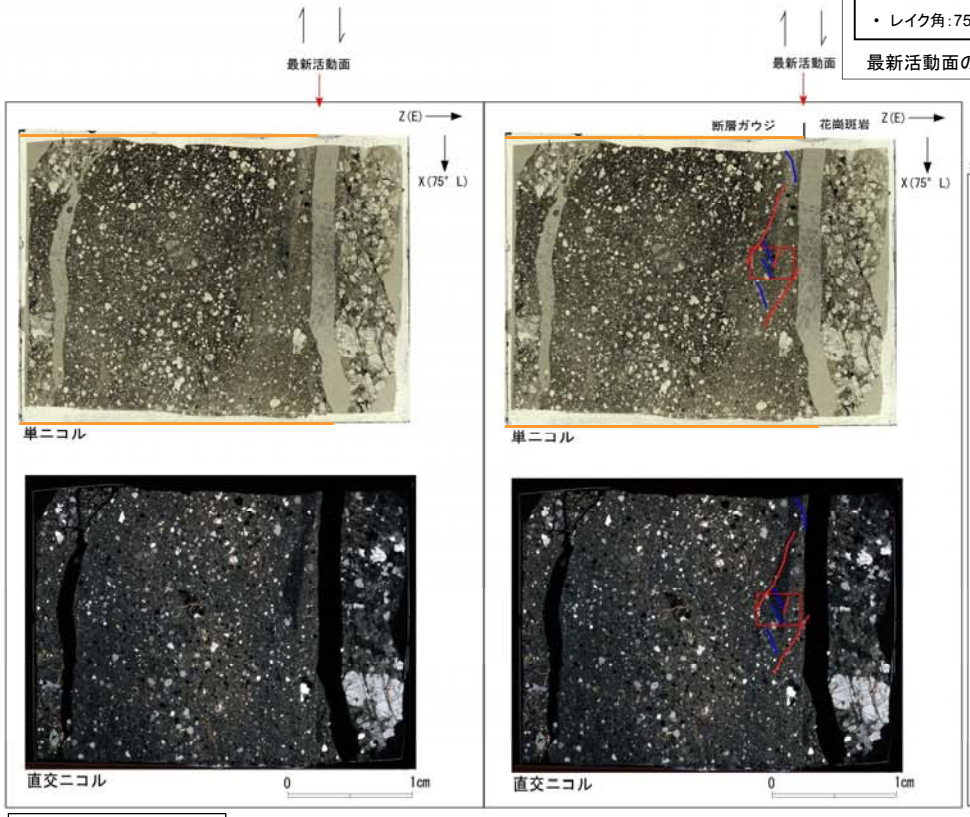
① H24-B14-2のボーリングコア(深度49.26m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

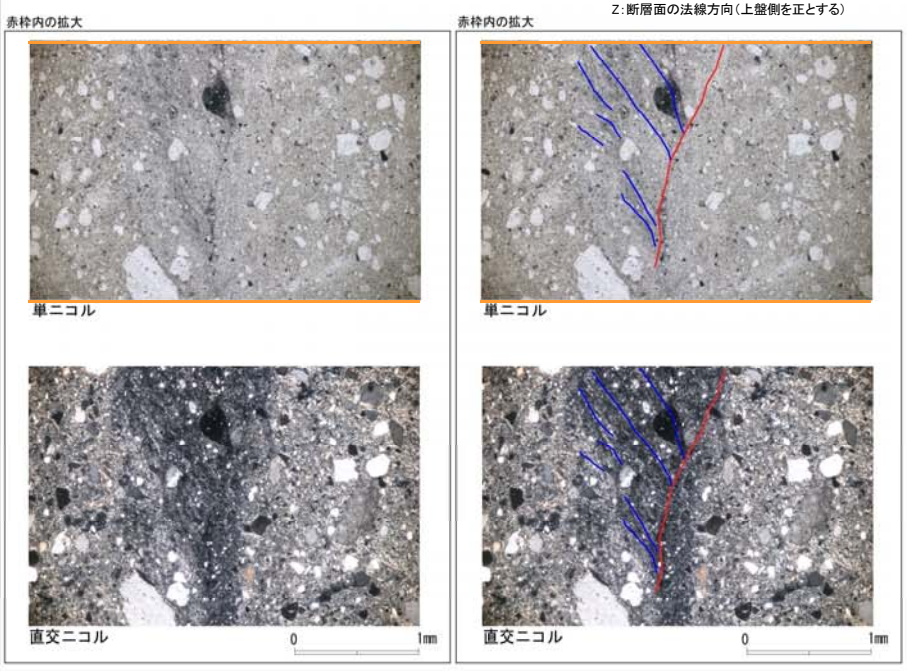
55(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。











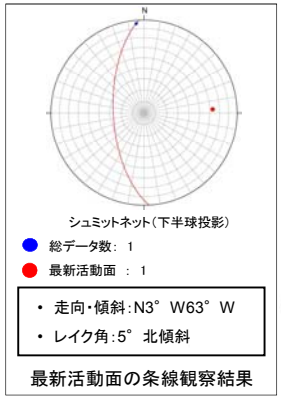
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

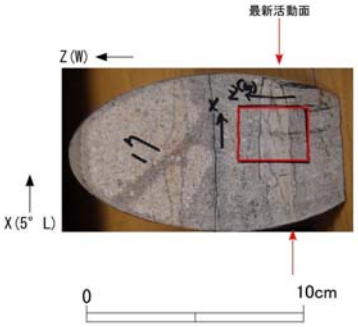
2.2 (2)K断層

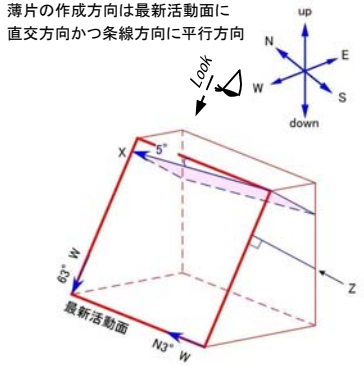
薄片試料観察(H24-D1-2　深度31.46m)

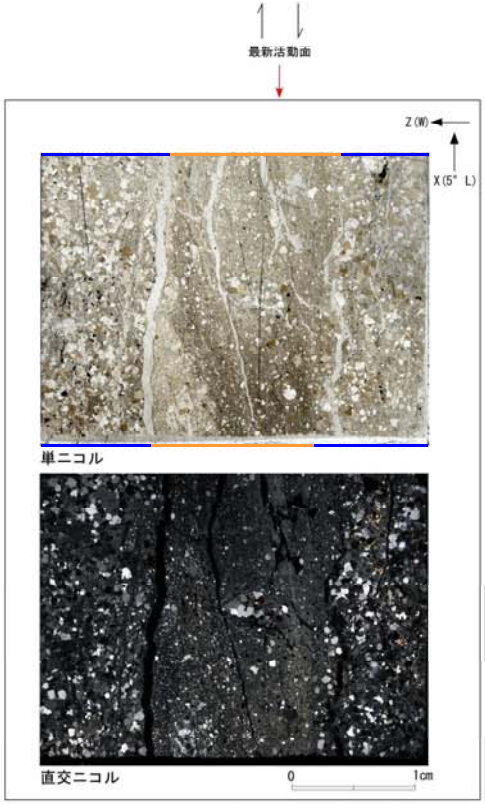
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

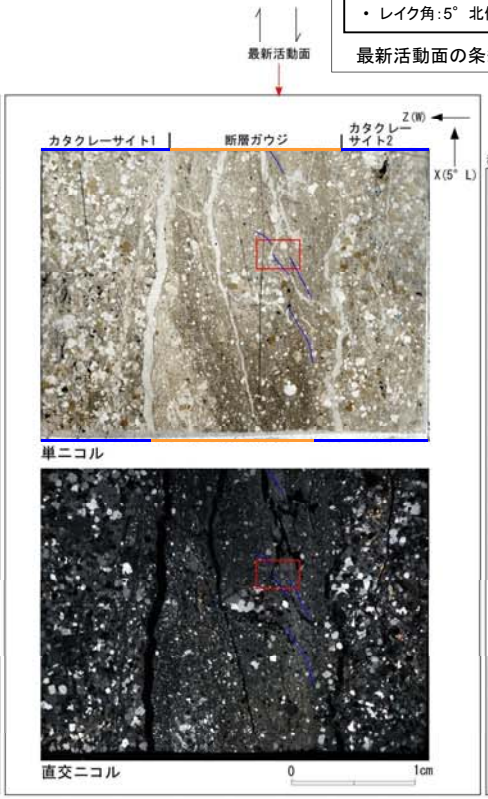
H27-D1-2のボーリングコア(深度31.46m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ層成分が卓越する。

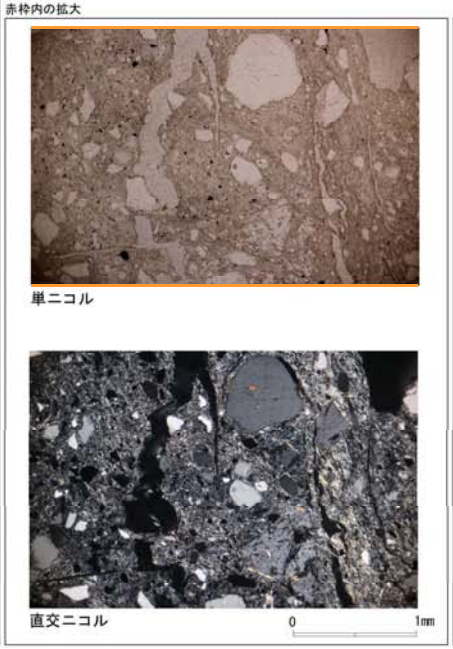


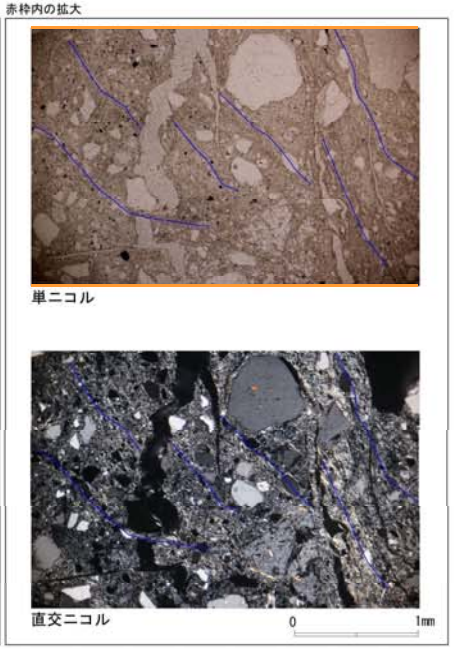












凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

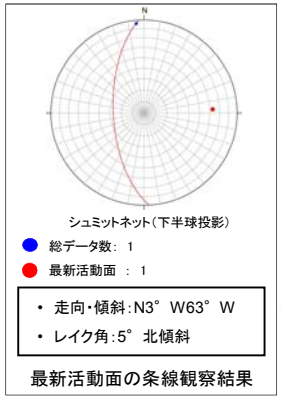
2.2 (2)K断層

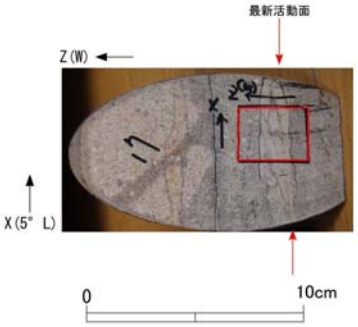
薄片試料観察(H24-D1-2　深度31.46m)

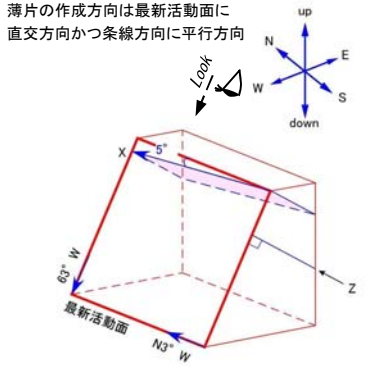
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

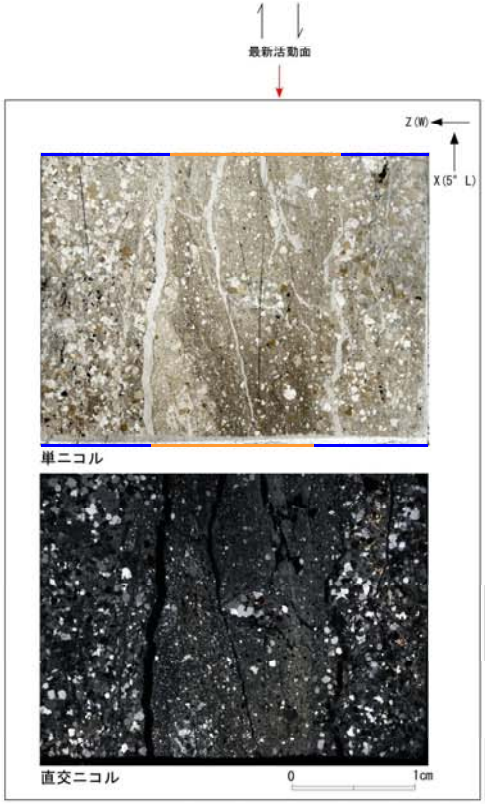
① H24-D1-2のボーリングコア(深度31.46m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ層成分が卓越する。

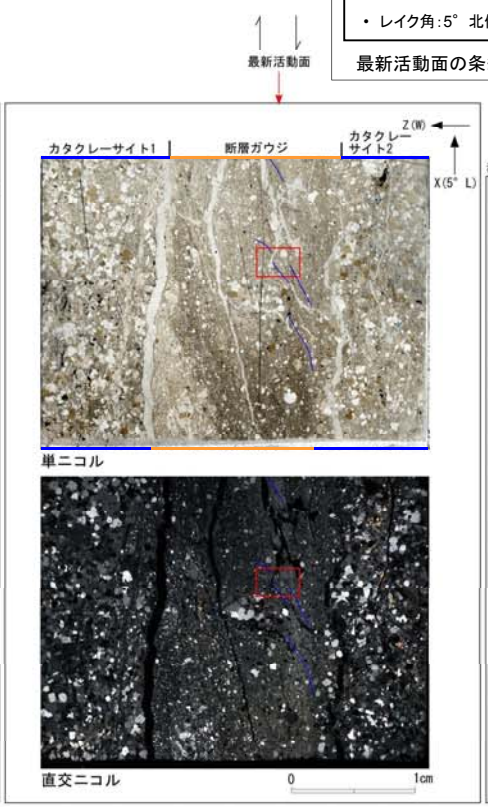
56(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

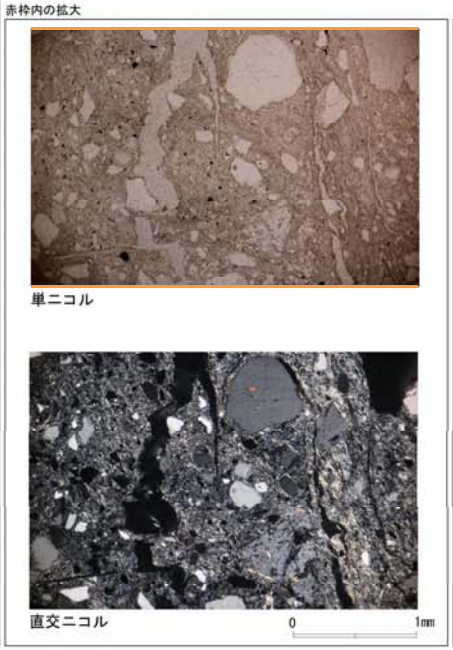


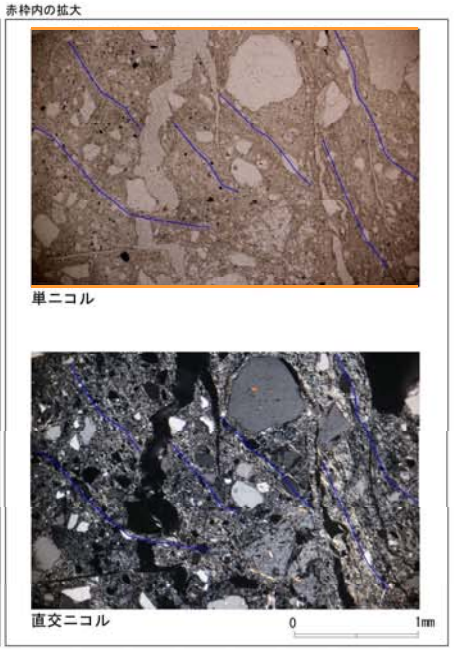










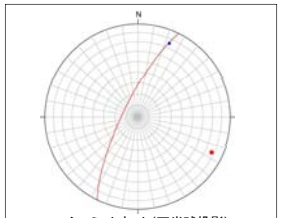


凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

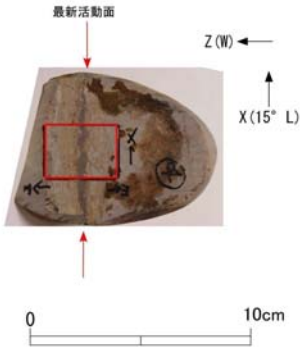
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-3　深度14.06m)

H27-D1-3のボーリングコア(深度14.06m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

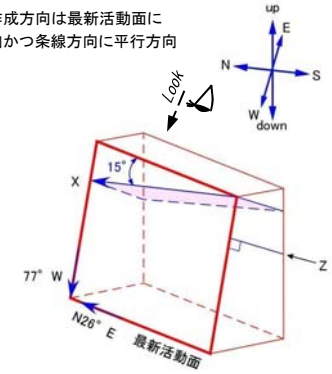


最新活動面の条線観察結果



ブロックサンプル

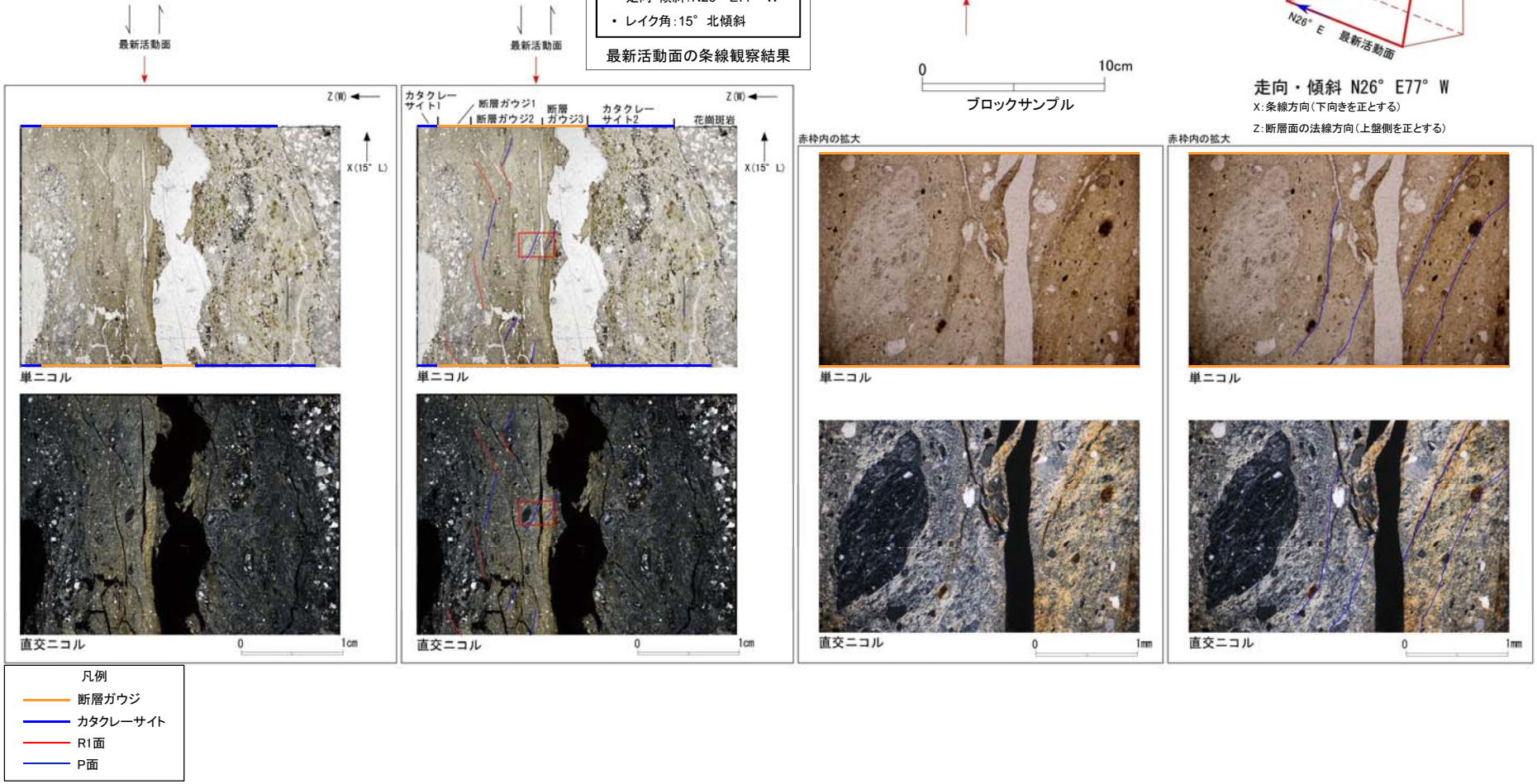
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N26° E77° W

X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)



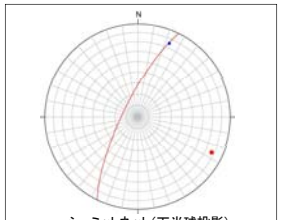
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-3　深度14.06m)

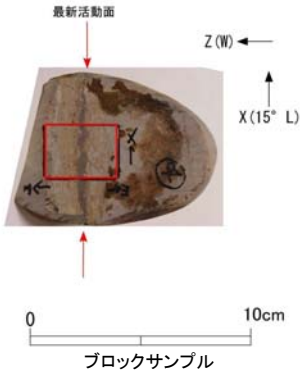
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-3のボーリングコア(深度14.06m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

57(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

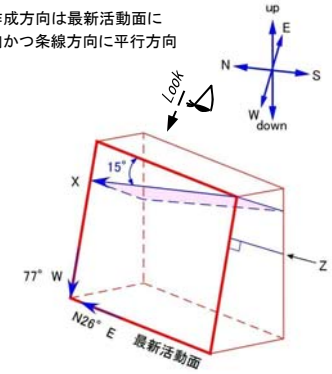


最新活動面の条線観察結果

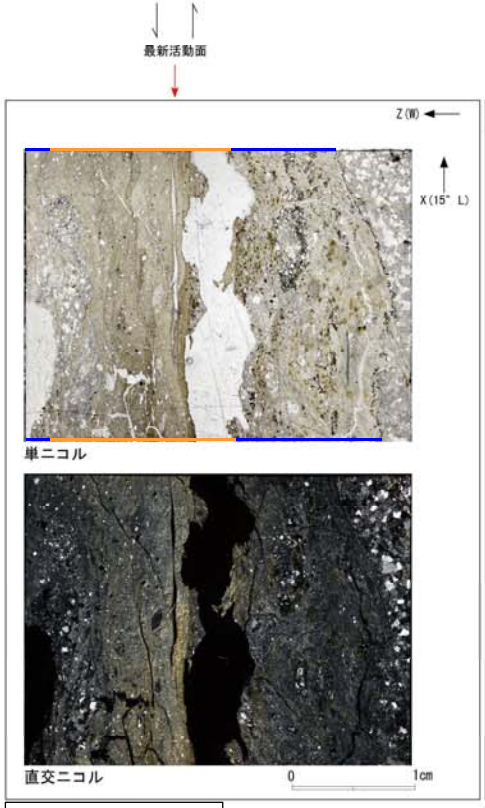


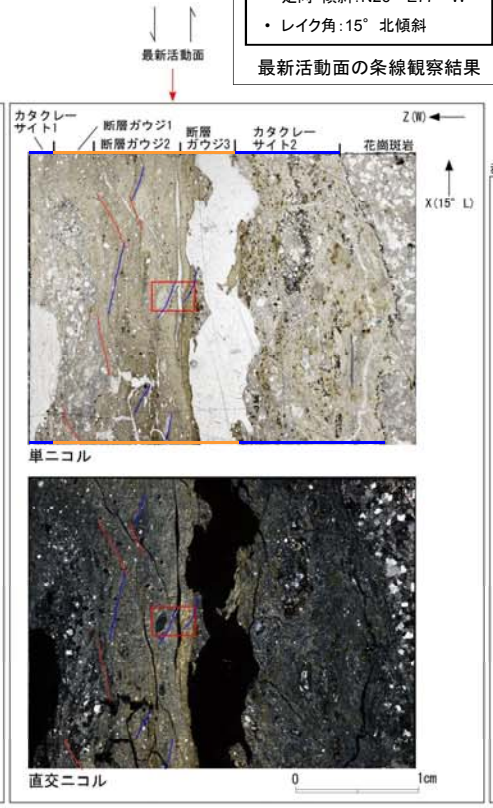
ブロックサンプル

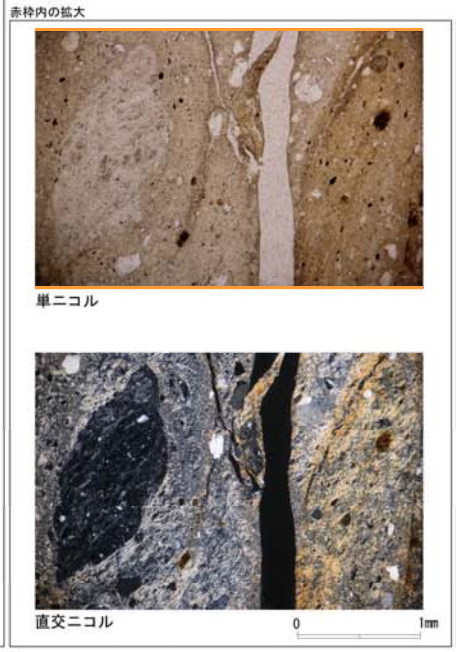
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

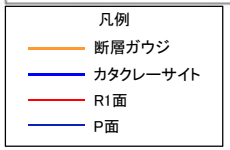


走向・傾斜 N26° E77° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)







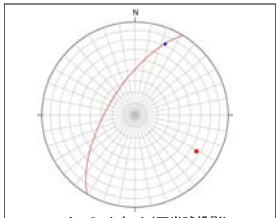


2.2 (2)K断層

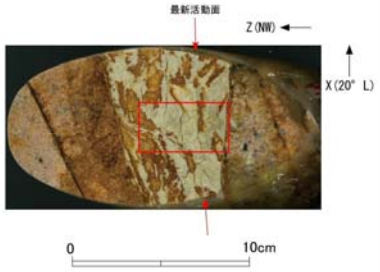
薄片試料観察(H24-D1-3　深度14.47m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-3のボーリングコア(深度14.47m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

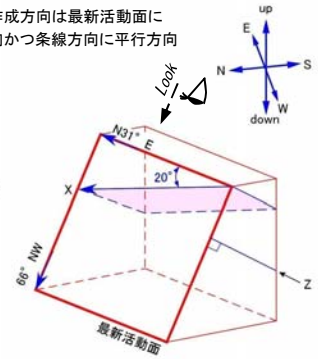


最新活動面の条線観察結果



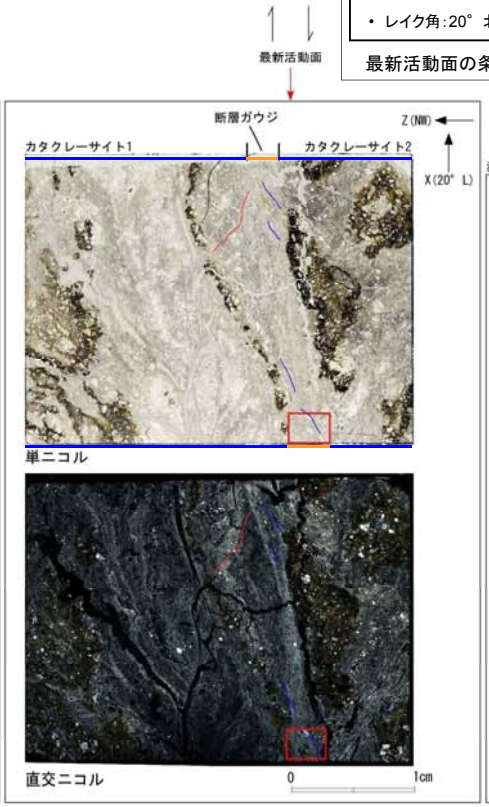
ブロックサンプル

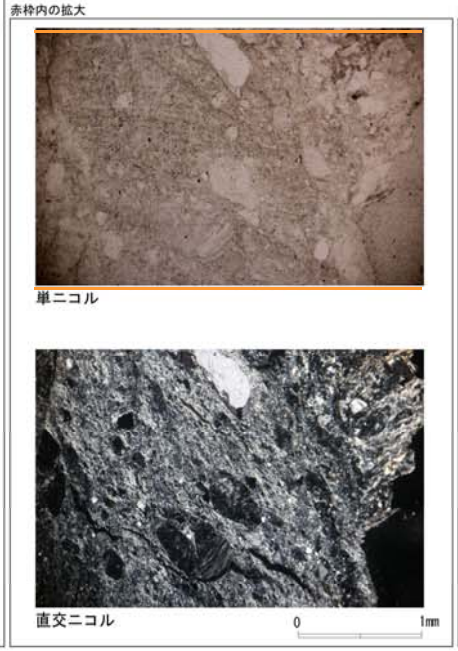
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

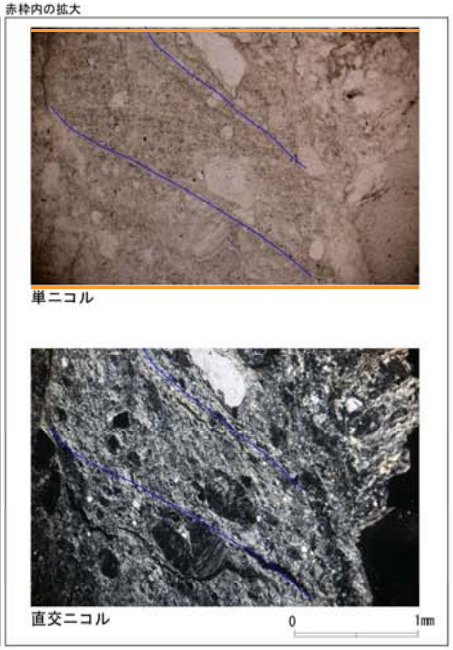


走向・傾斜 N31° E66° NW

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)







凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

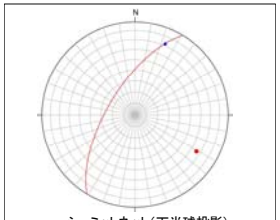
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-3　深度14.47m)

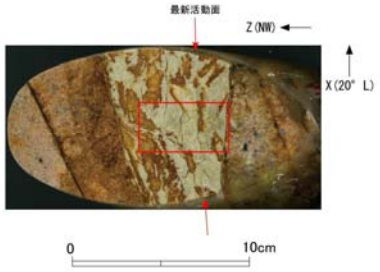
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-3のボーリングコア(深度14.47m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

58(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

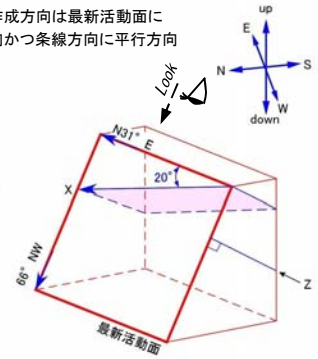


最新活動面の条線観察結果



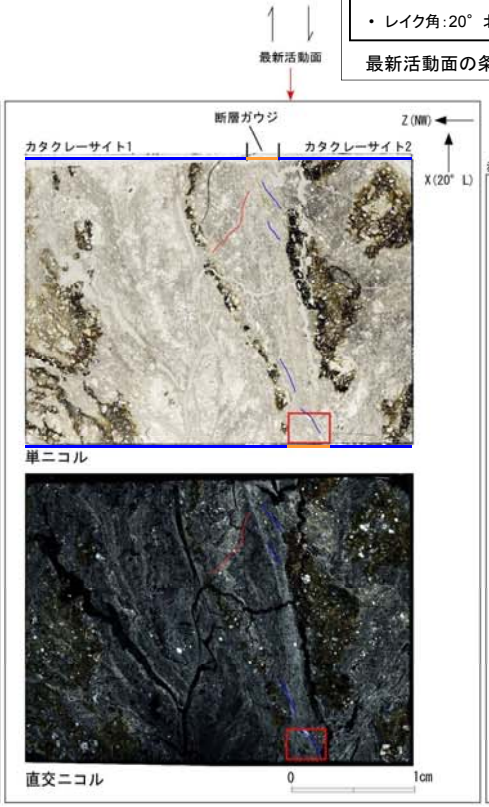
ブロックサンプル

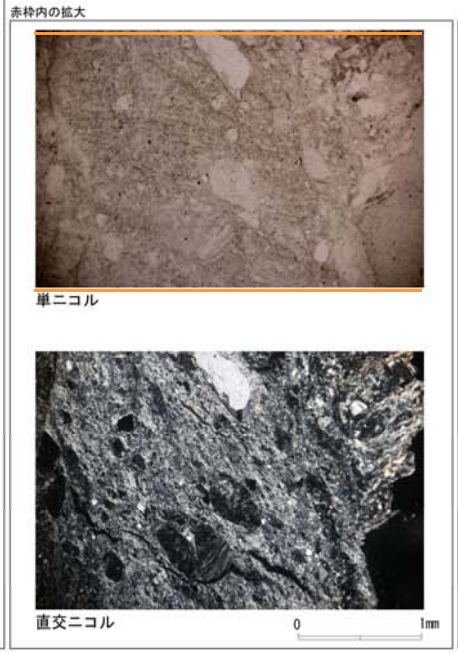
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

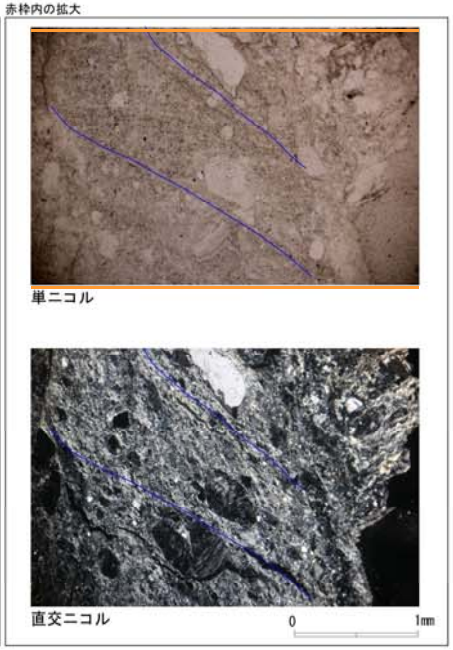


走向・傾斜 N31° E66° NW

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)







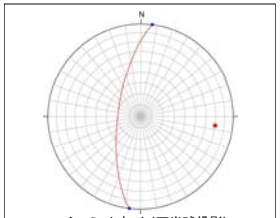
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

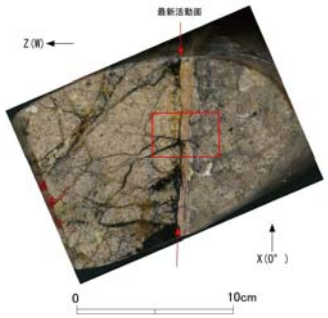
薄片試料観察(H24-D1-3　深度52.13m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

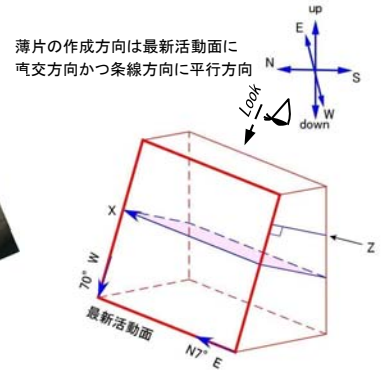
H27-D1-3のボーリングコア(深度52.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果

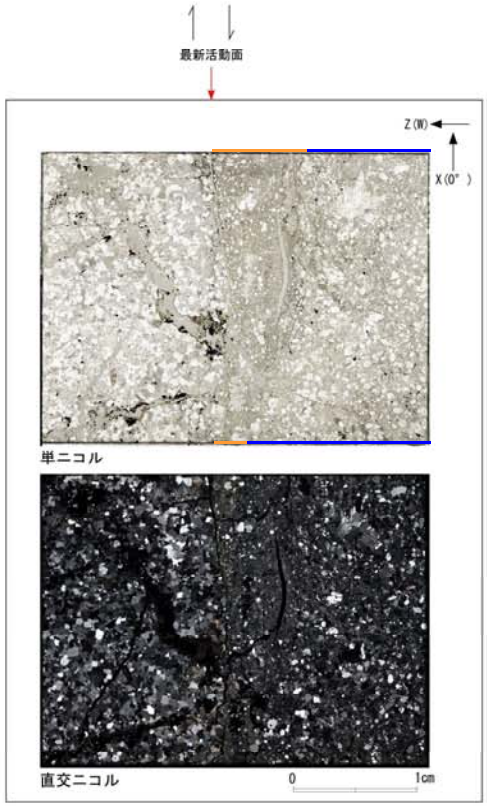


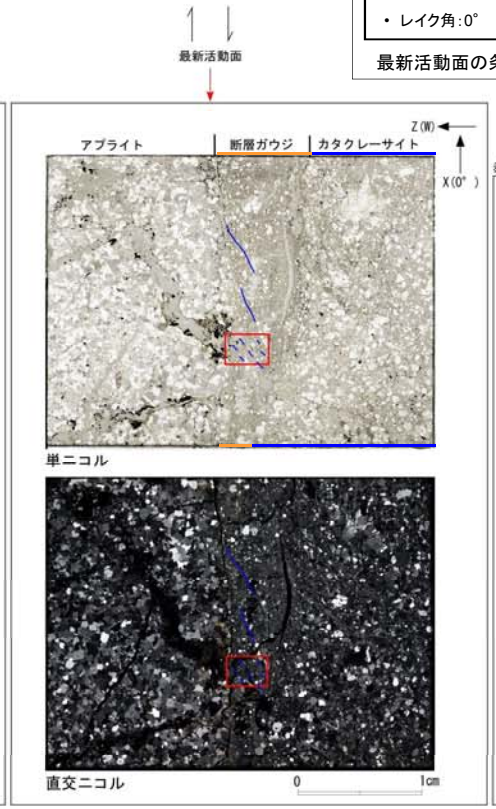
ブロックサンプル

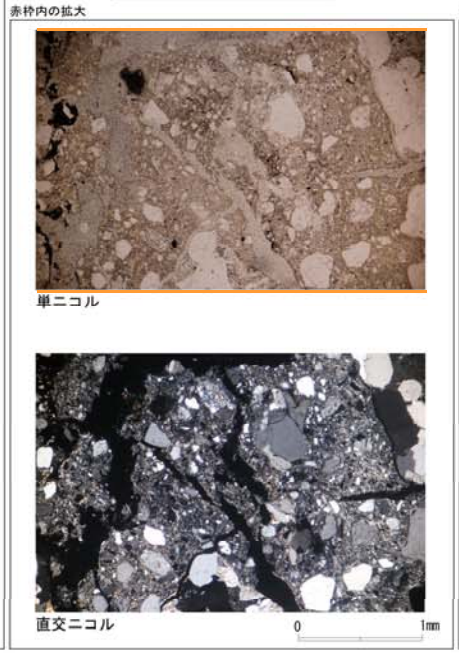


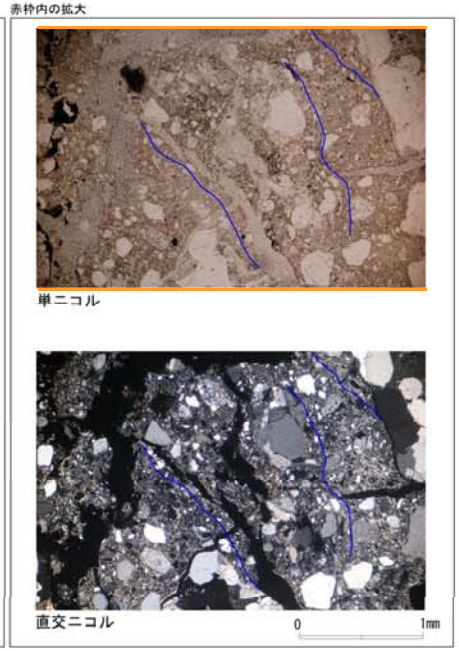
走向・傾斜 N7° E70° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

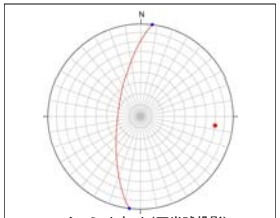
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-3　深度52.13m)

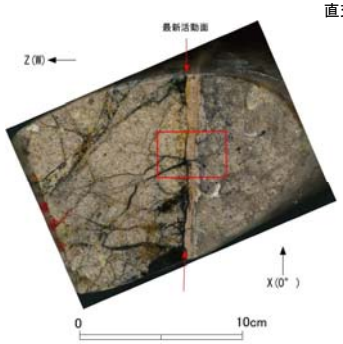
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-3のボーリングコア(深度52.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

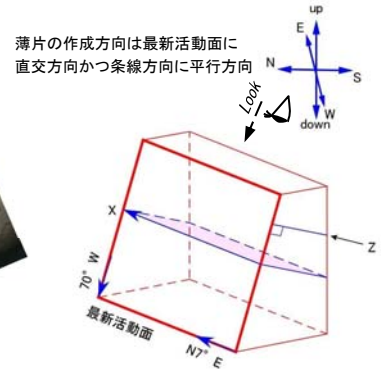
59(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



最新活動面の条線観察結果

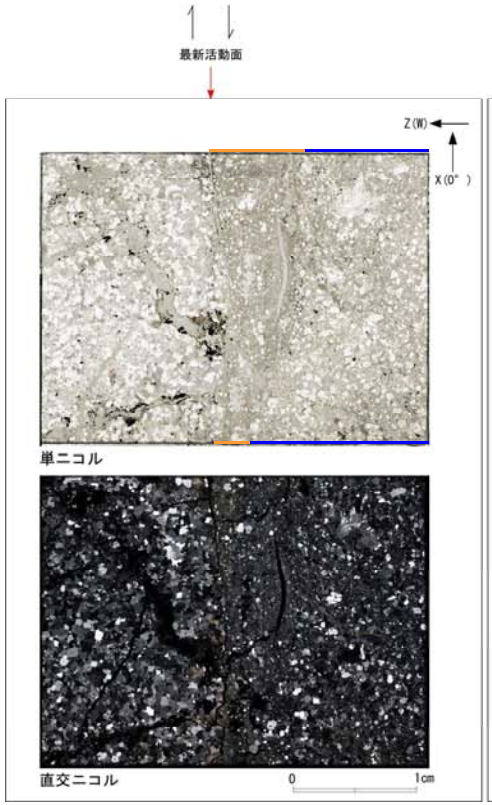


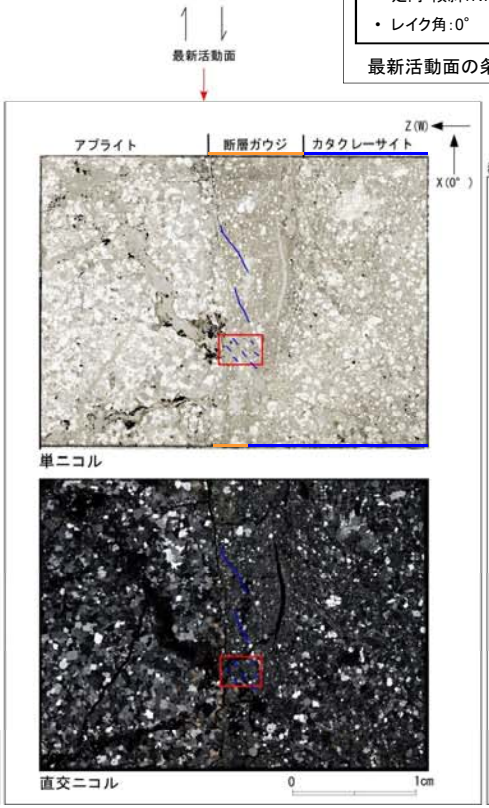
ブロックサンプル

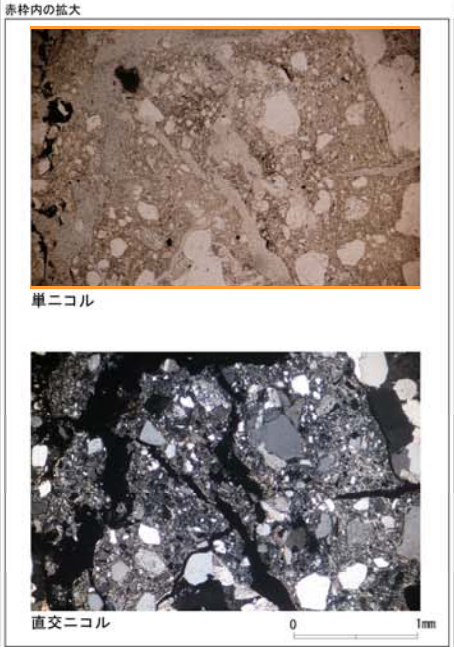


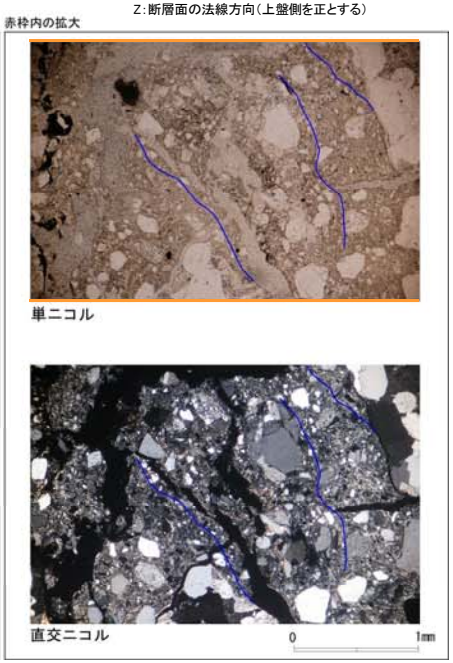
走向・傾斜 N7° E70° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









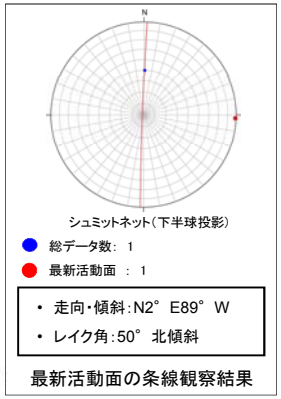
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

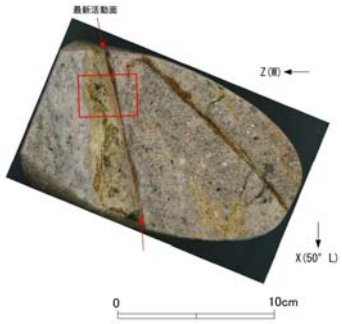
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-3　深度57.20m)

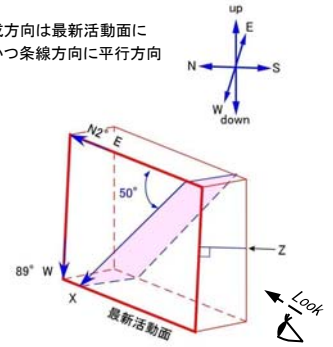
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-3のボーリングコア(深度57.20m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

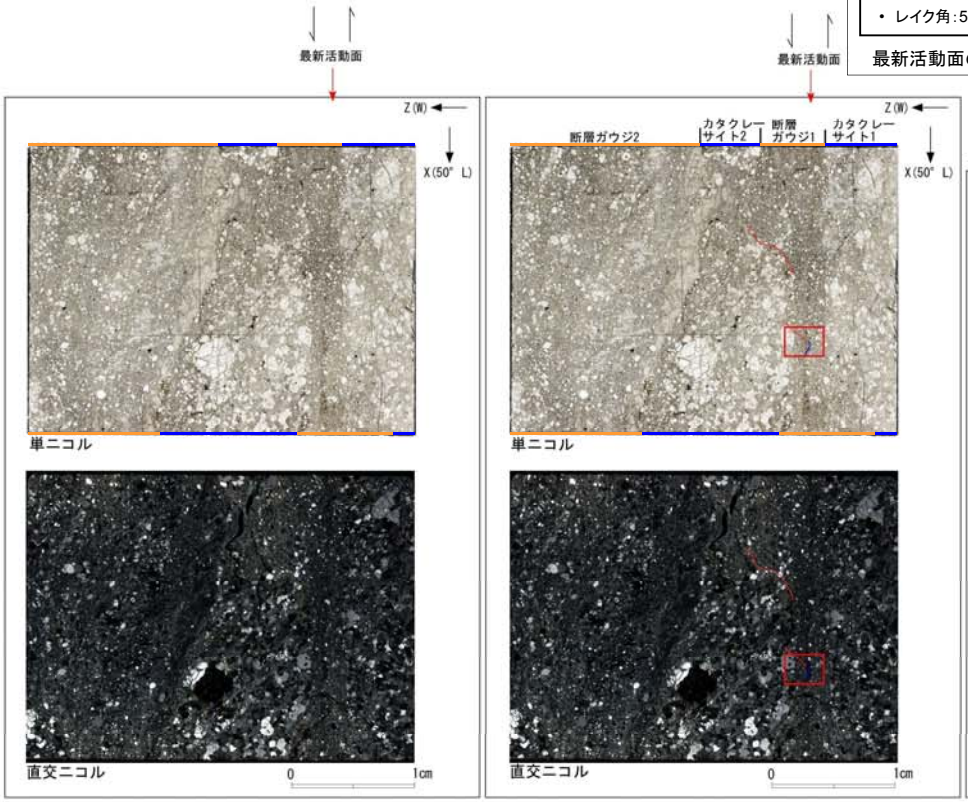


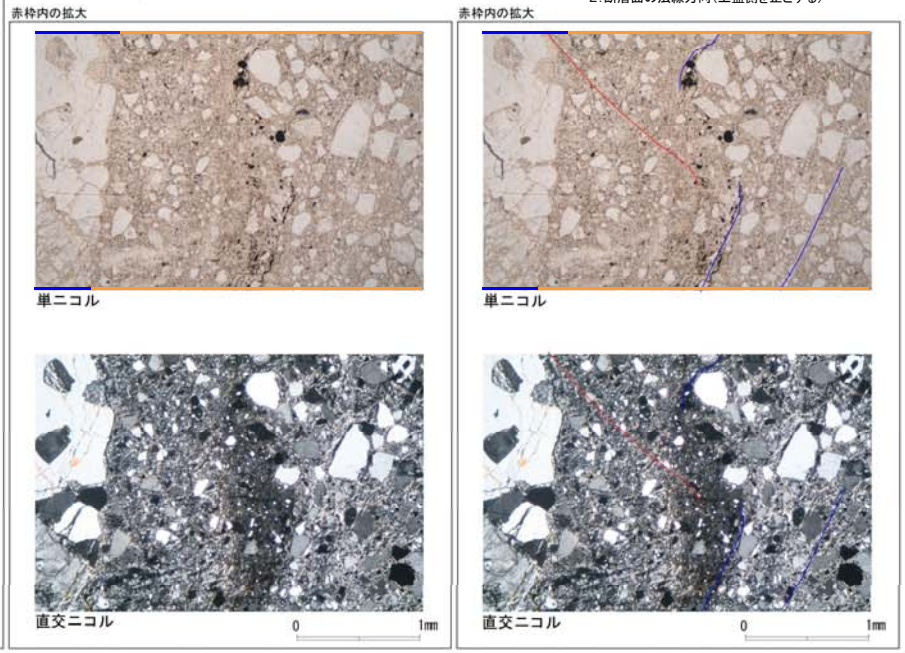


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N2° E89° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)





凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

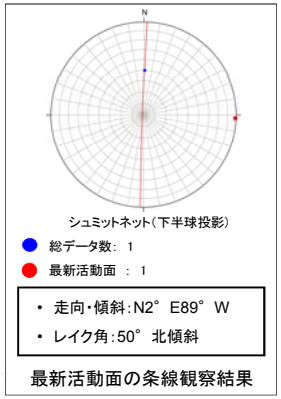
2.2 (2)K断層

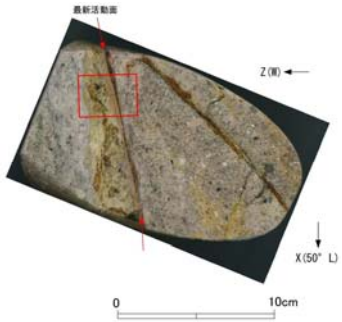
薄片試料観察(H24-D1-3　深度57.20m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

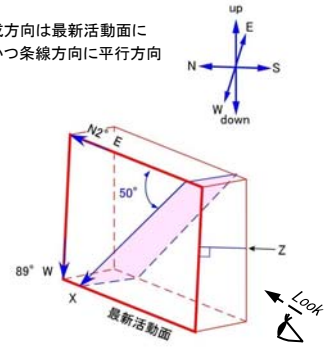
① H24-D1-3のボーリングコア(深度57.20m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

60(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

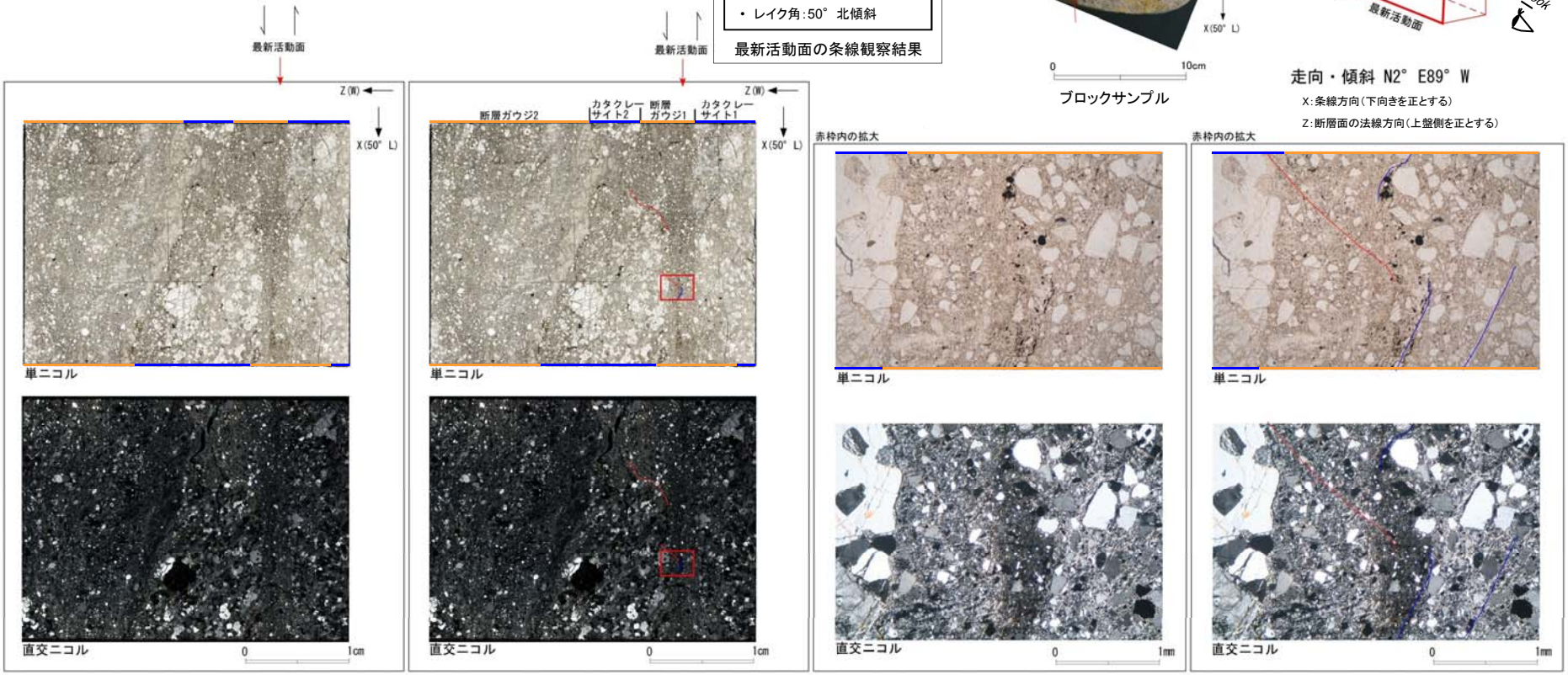




薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N2° E89° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)



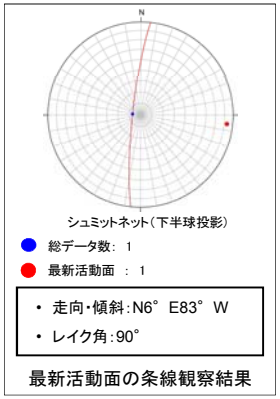
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

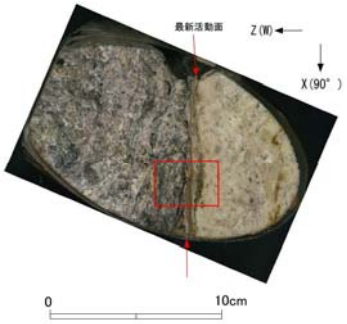
2.2 (2)K断層

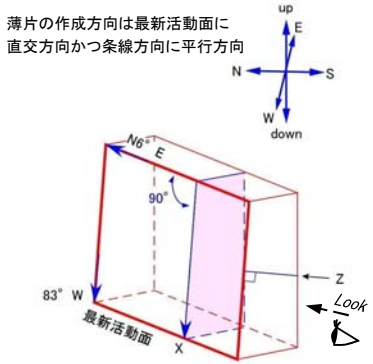
薄片試料観察(H24-D1-4　深度28.33m)

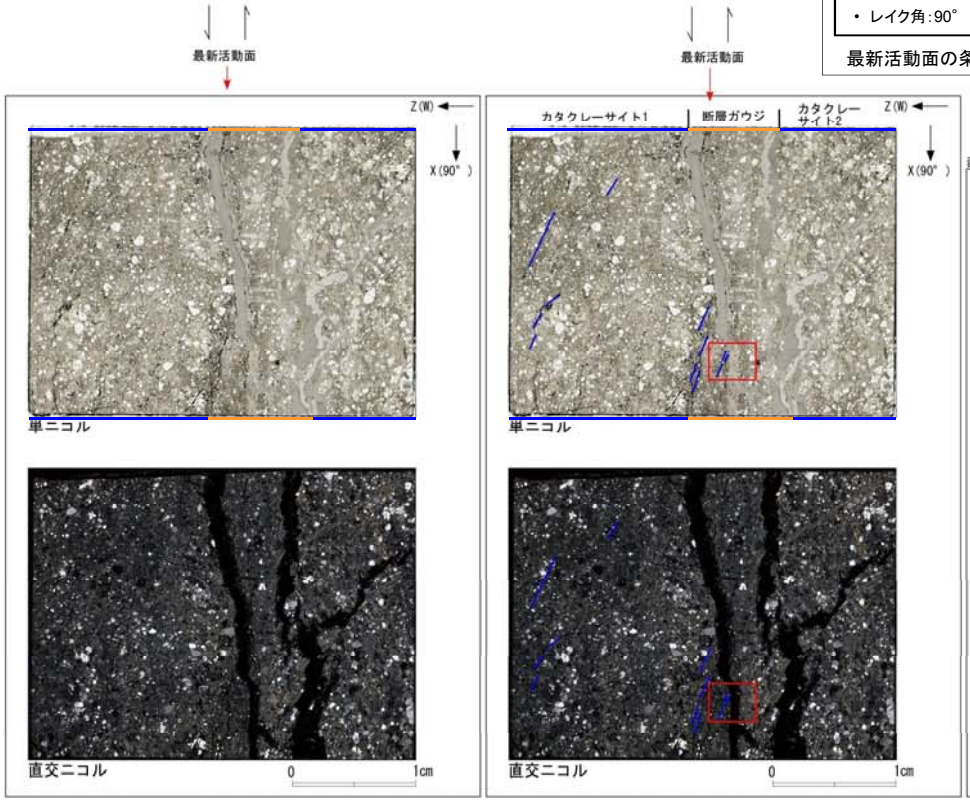
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度28.33m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

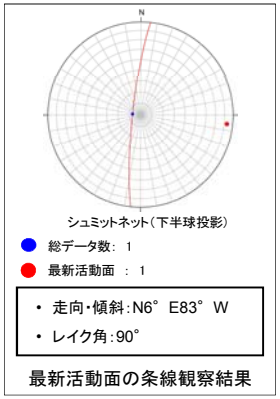
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-4　深度28.33m)

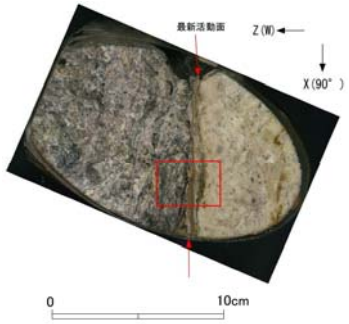
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度28.33m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

61(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

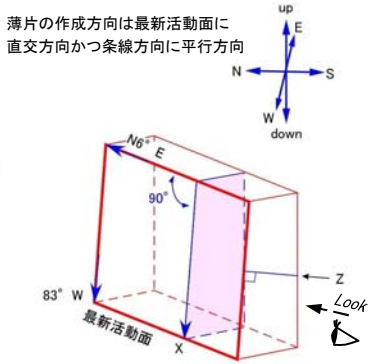


最新活動面の条線観察結果

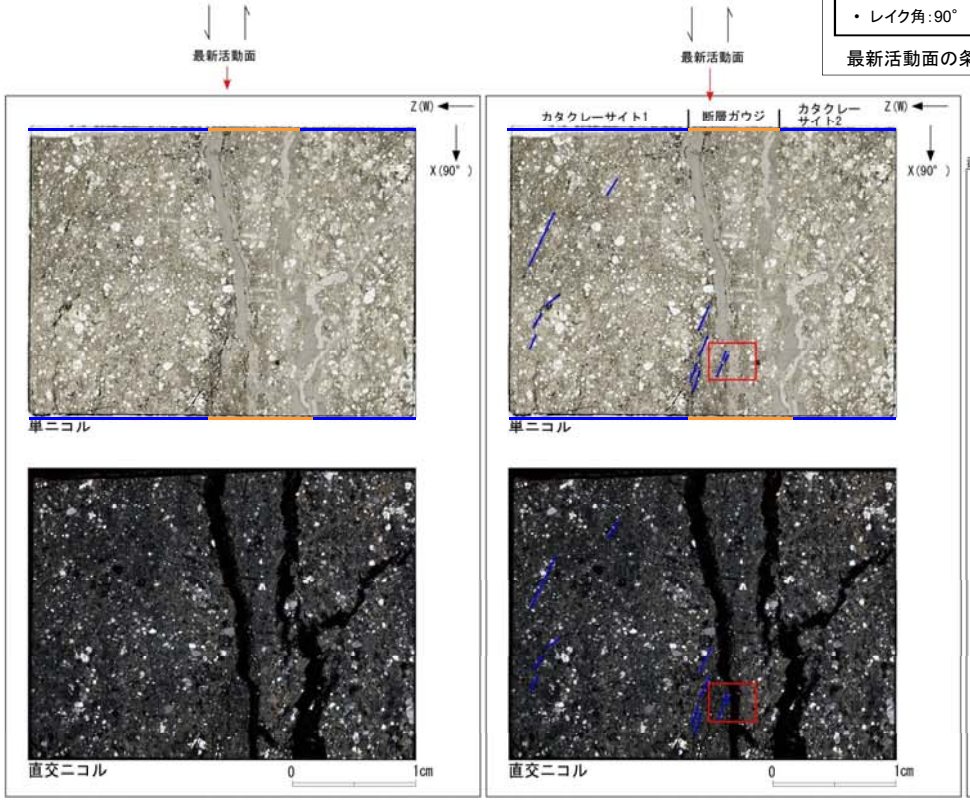


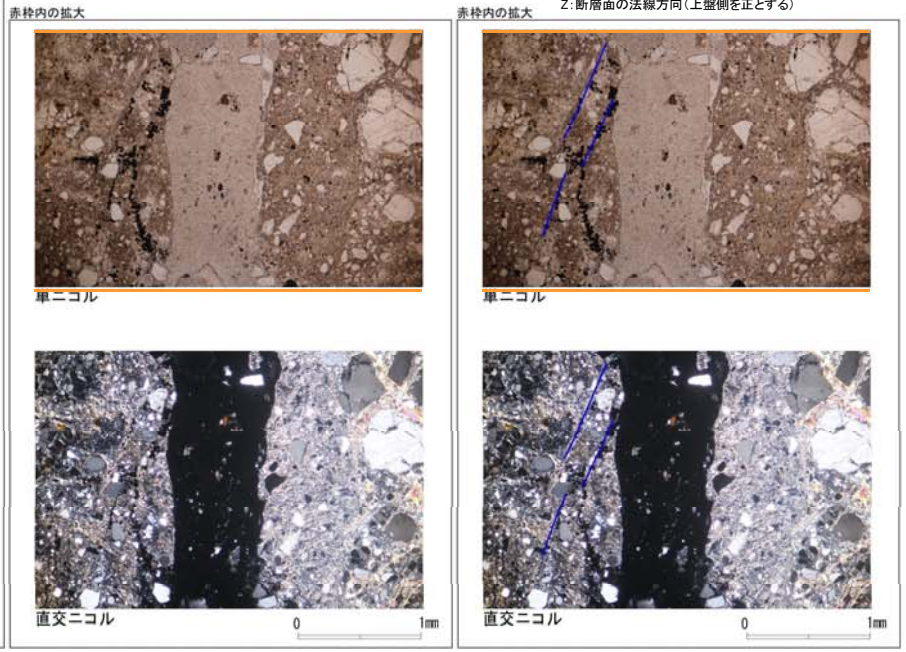
ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N6° E83° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)



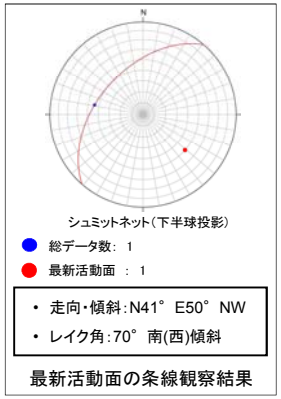


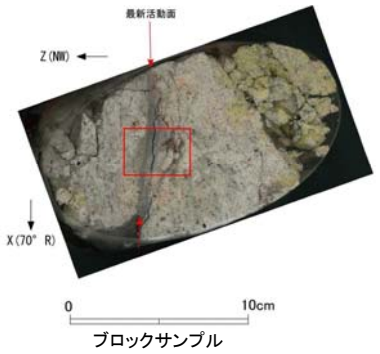
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

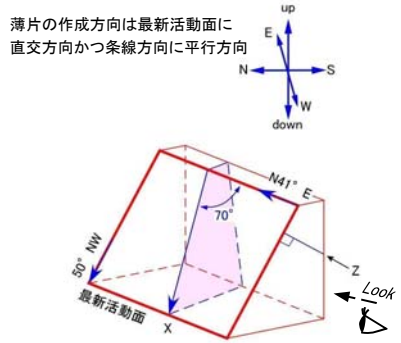
薄片試料観察(H24-D1-4　深度53.05m)

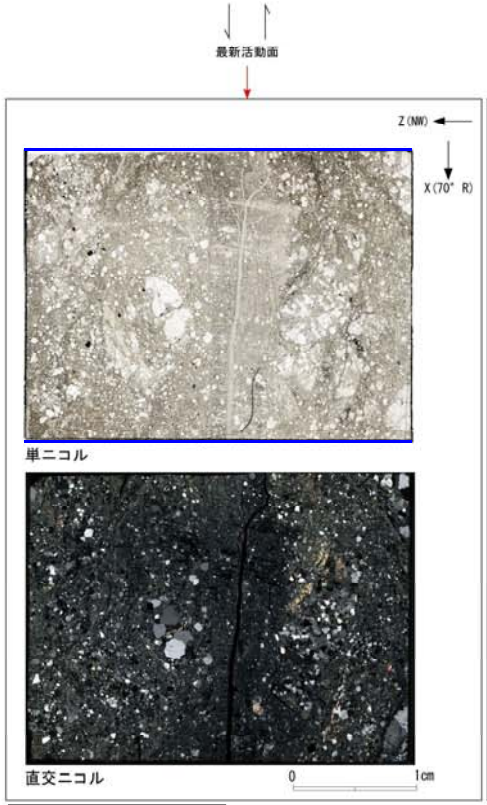
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

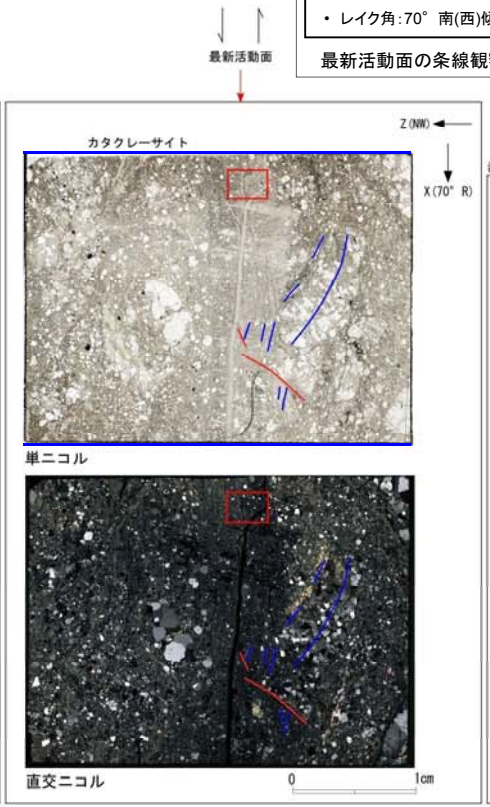
H27-D1-4のボーリングコア(深度53.05m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

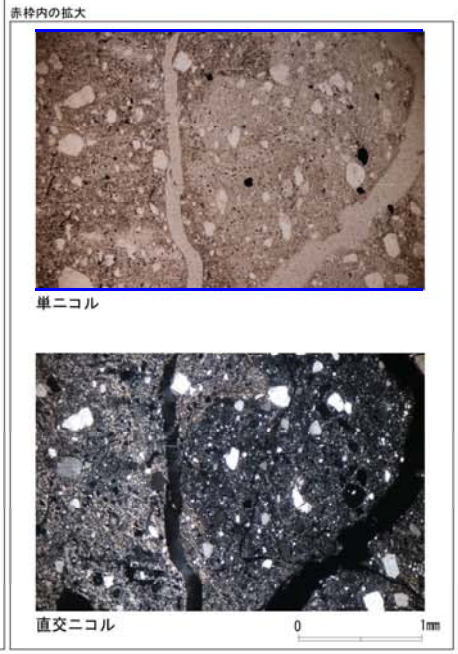


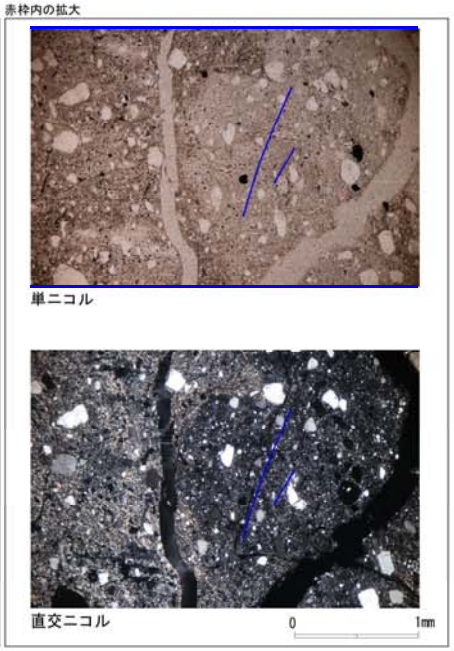












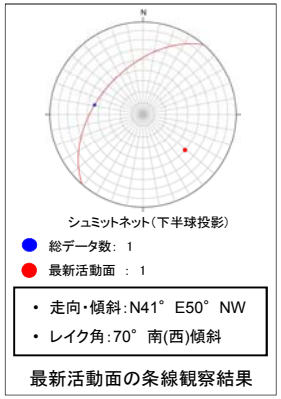
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-4　深度53.05m)

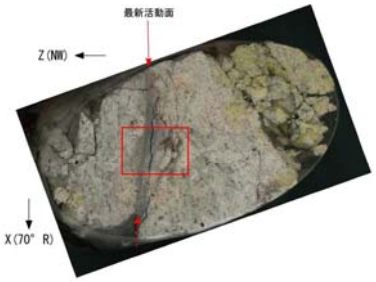
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度53.05m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

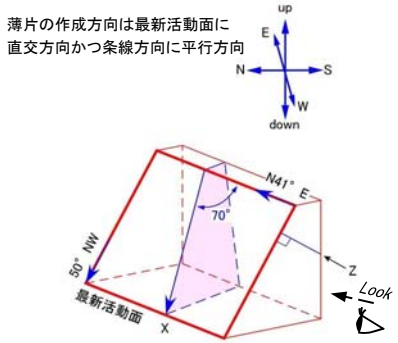
62(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



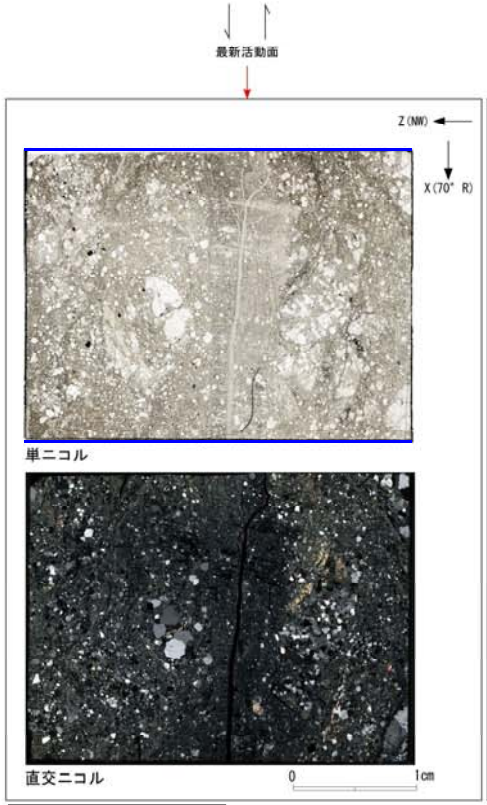
最新活動面の条線観察結果

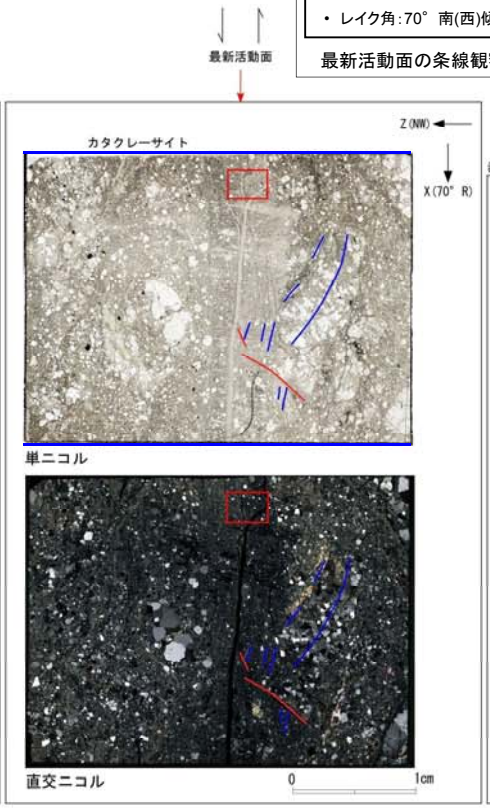


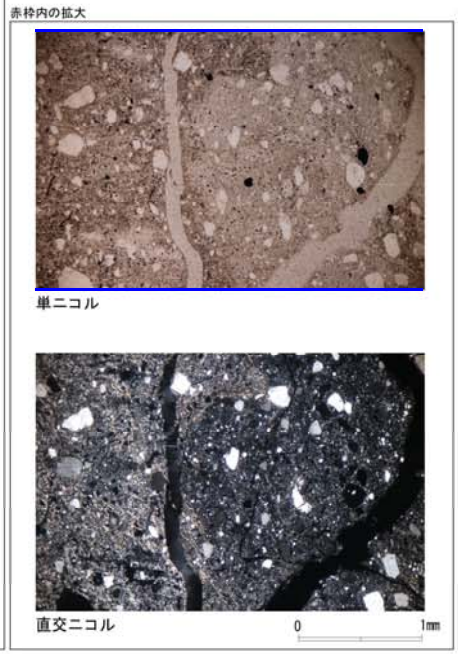
ブロックサンプル

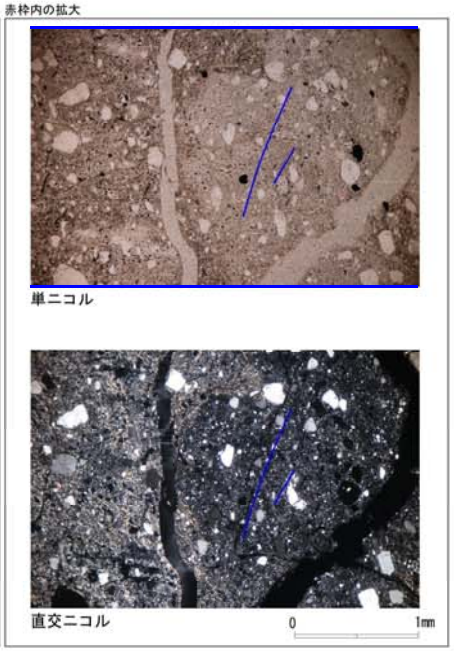


走向・傾斜 N41° E50° NW
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









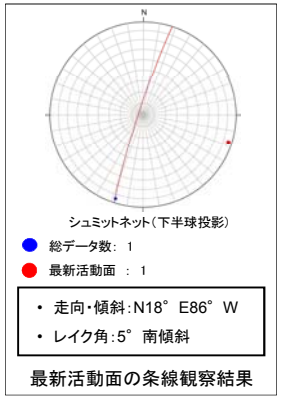
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

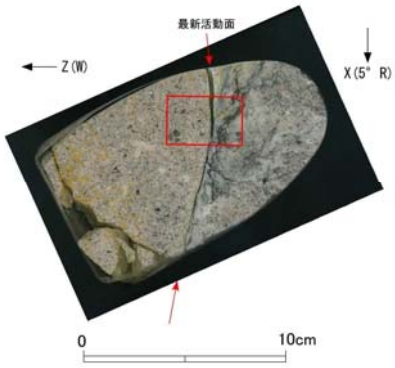
薄片試料観察(H24-D1-4　深度60.06m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

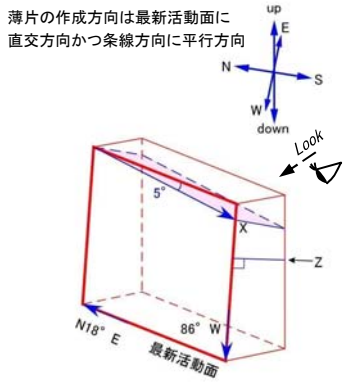
H27-D1-4のボーリングコア(深度60.06m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



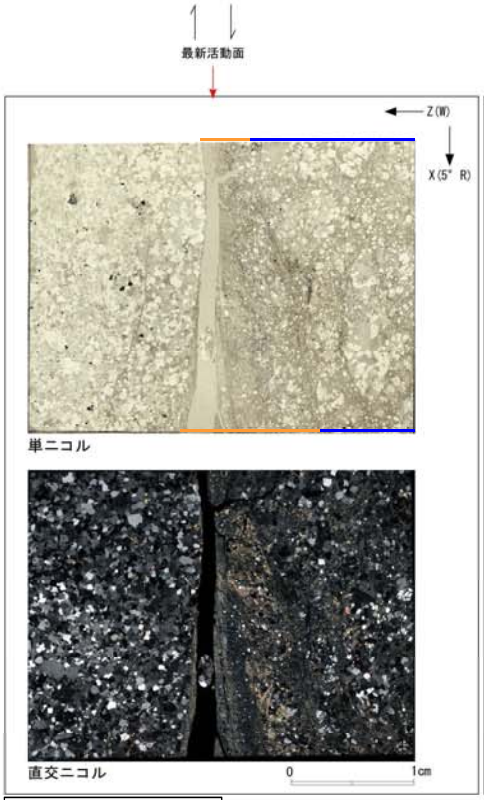
ブロックサンプル

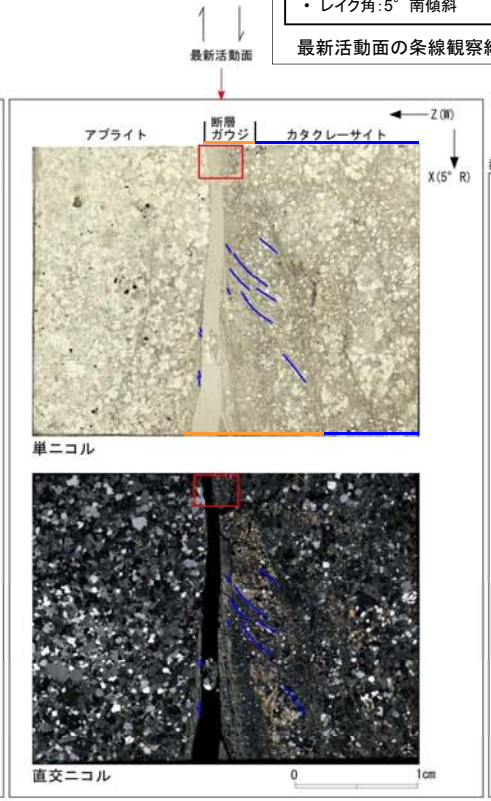


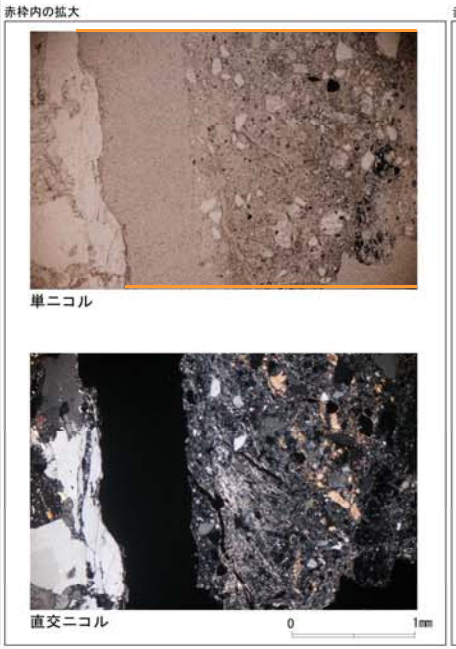
走向・傾斜 N18° E86° W

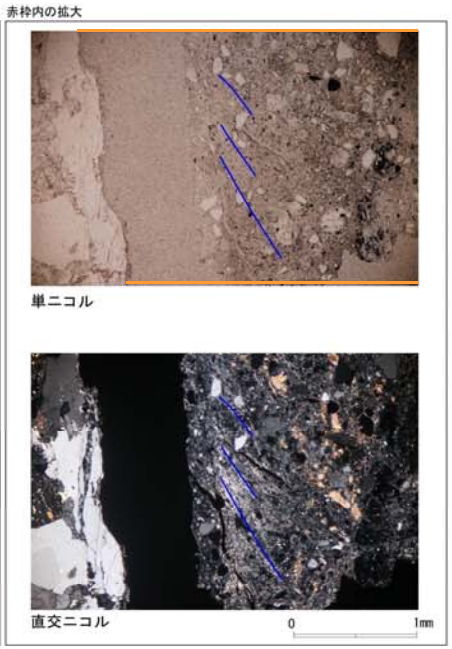
X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

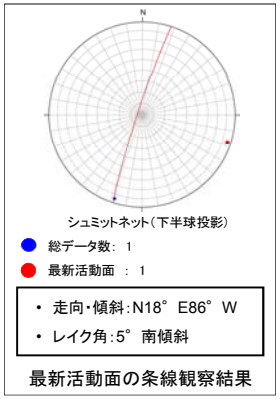
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-4　深度60.06m)

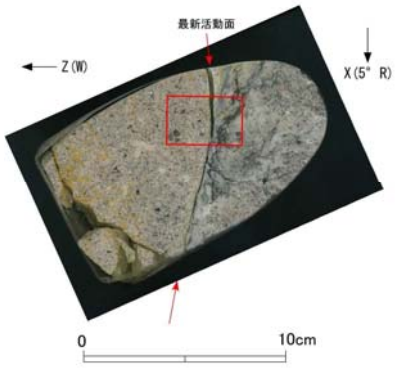
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度60.06m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

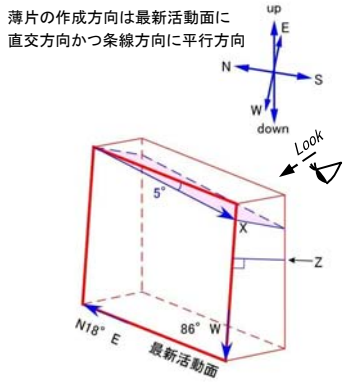
63(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



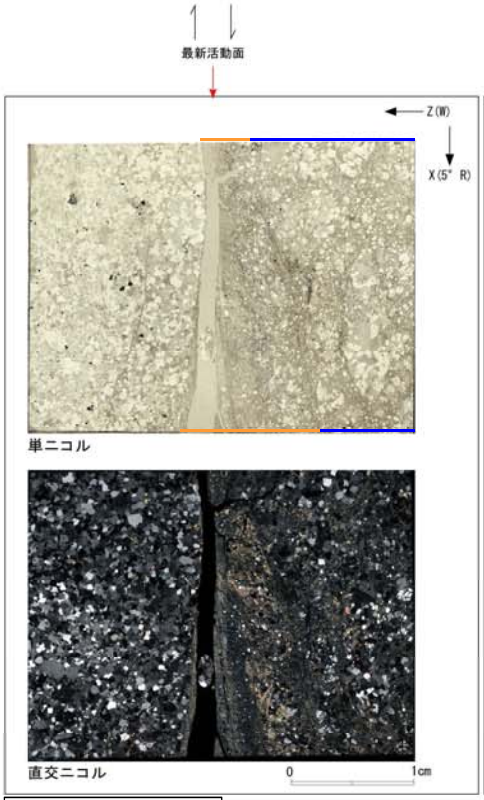
最新活動面の条線観察結果

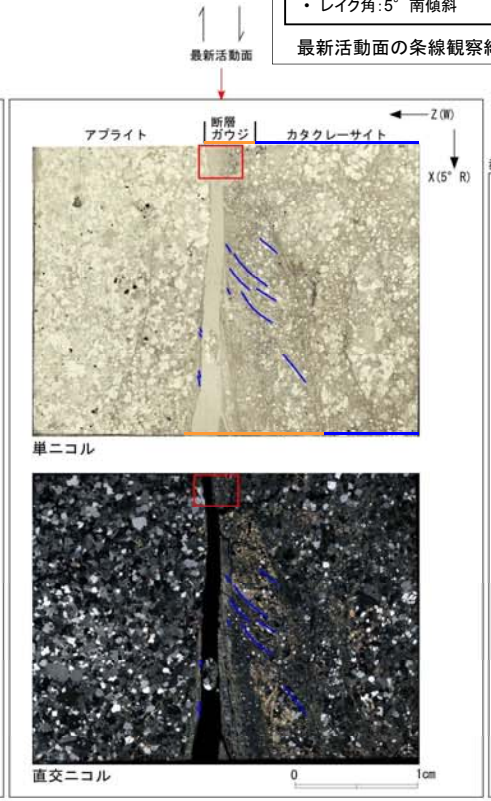


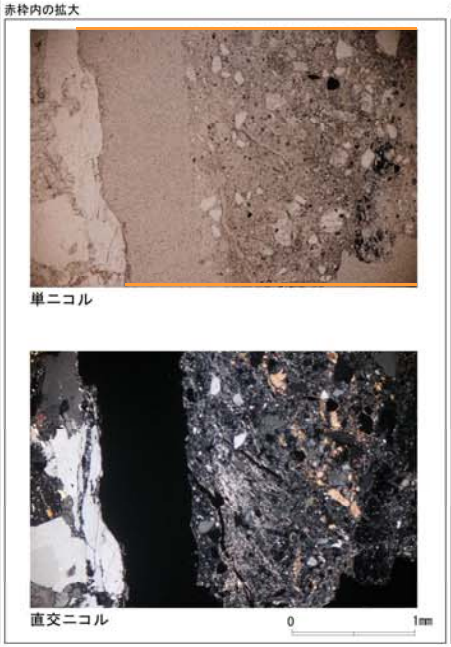
ブロックサンプル

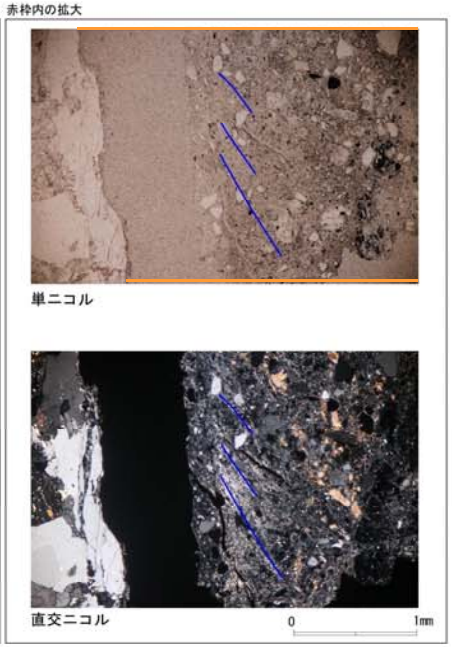


走向・傾斜 N18° E86° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









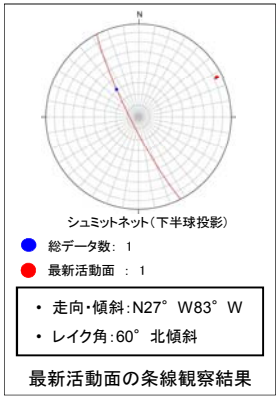
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

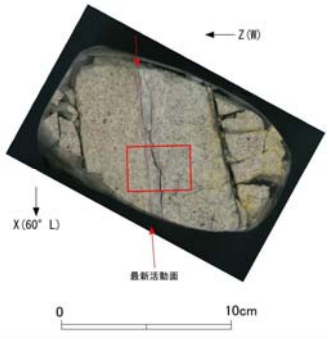
薄片試料観察(H24-D1-4　深度61.52m)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

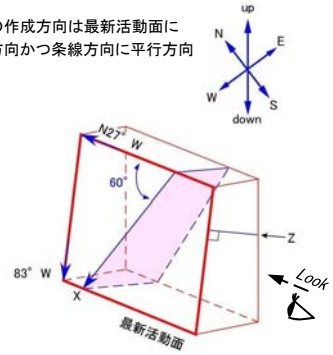


最新活動面の条線観察結果



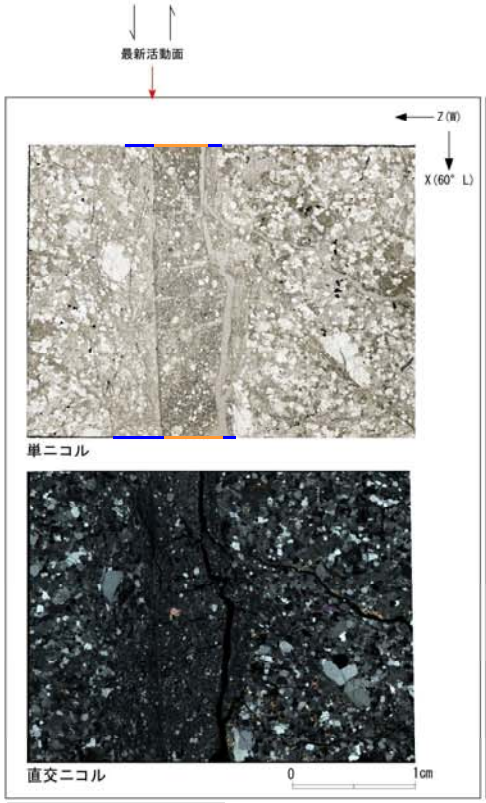
ブロックサンプル

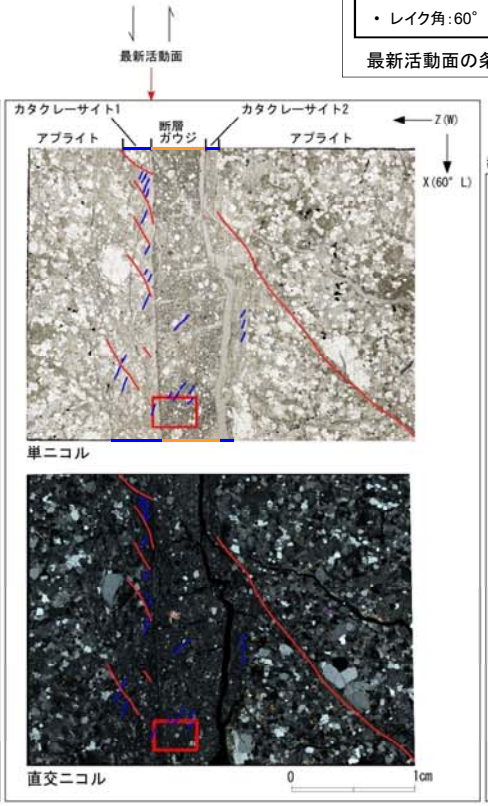
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

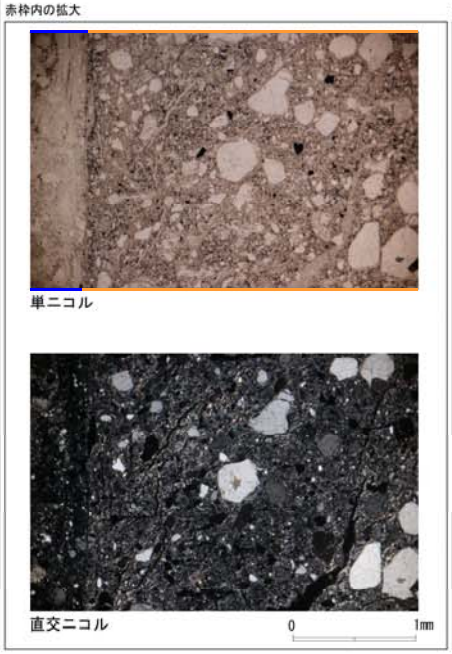


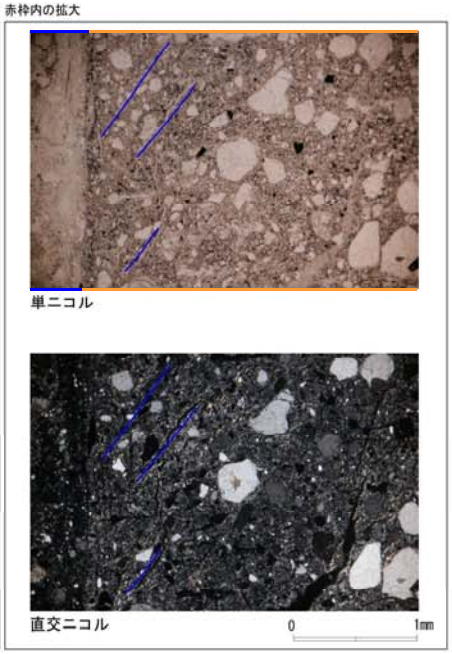
走向・傾斜 N27° W83° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

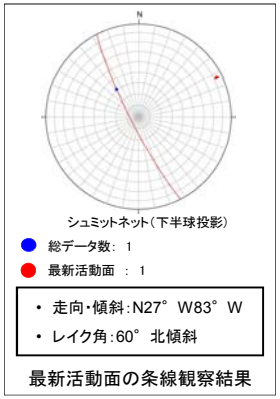
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-4　深度61.52m)(その1)

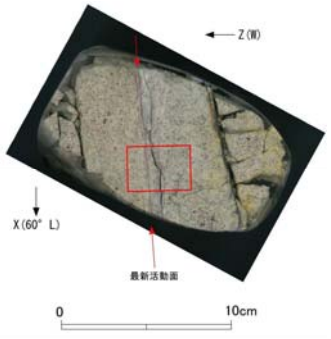
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

64(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

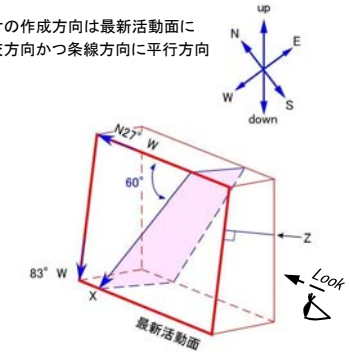


最新活動面の条線観察結果



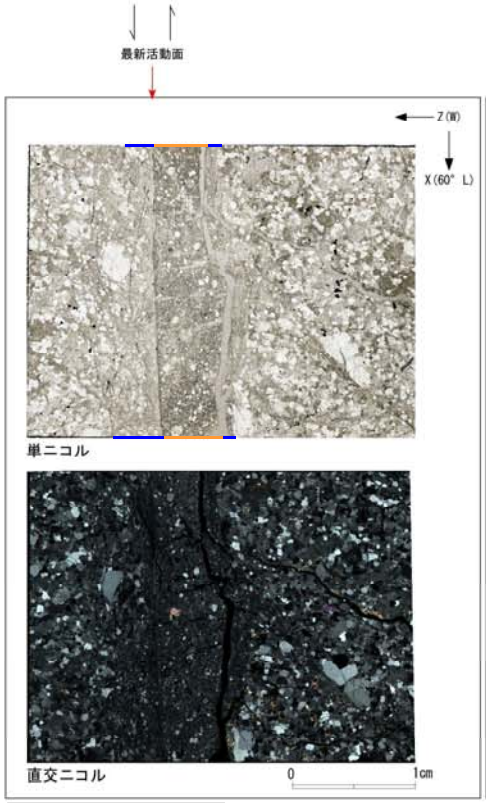
ブロックサンプル

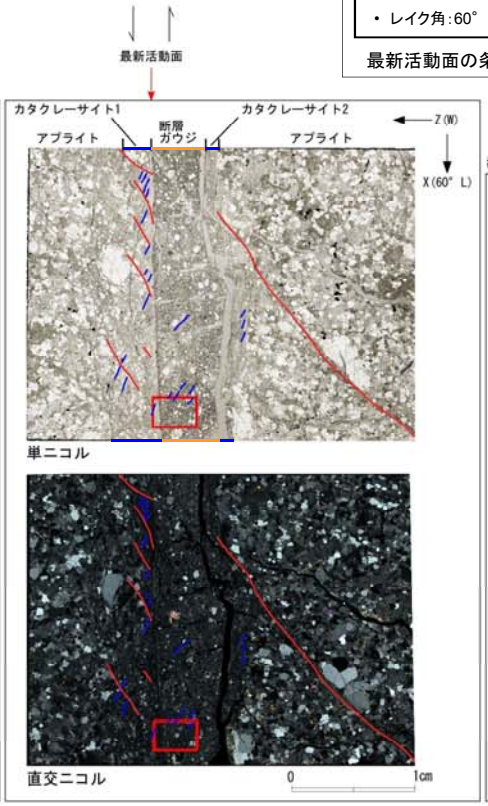
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

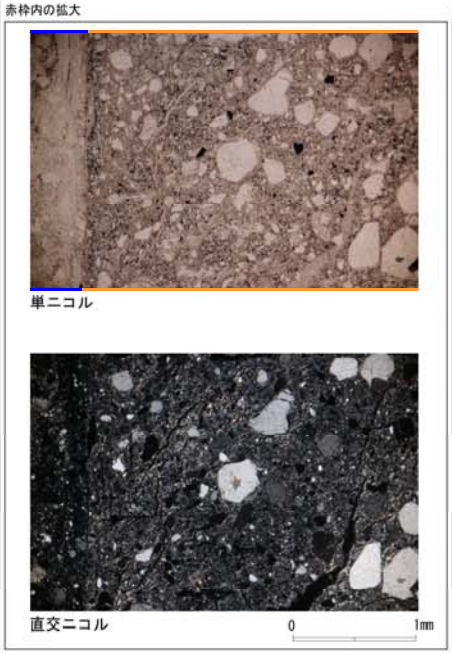


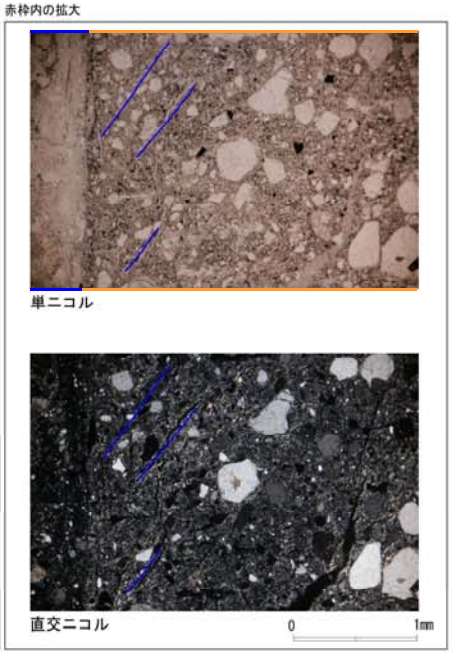
走向・傾斜 N27° W83° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









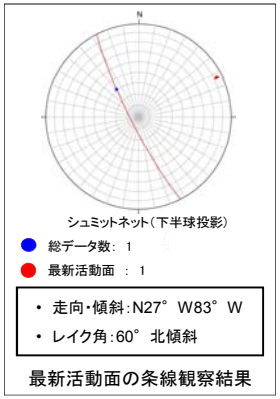
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (2)K断層

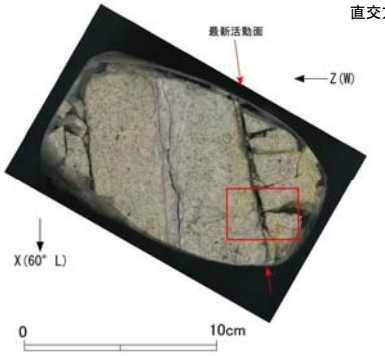
薄片試料観察(H24-D1-4　深度61.52m)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H27-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

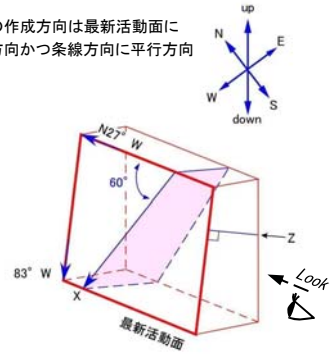


最新活動面の条線観察結果



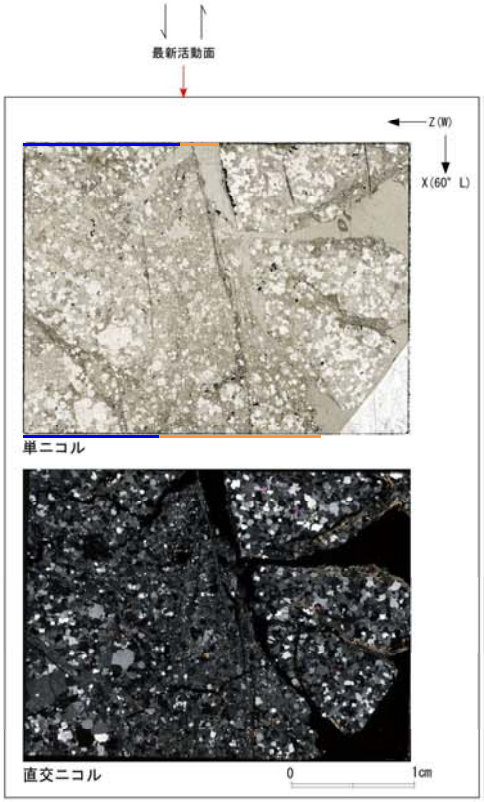
ブロックサンプル

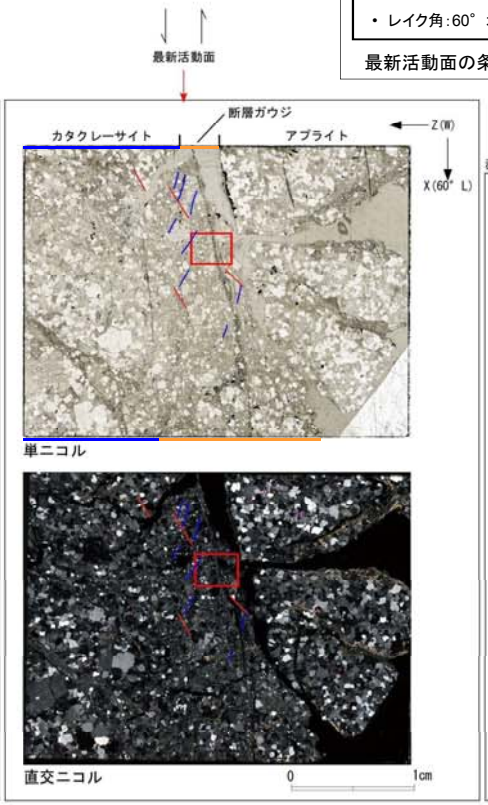
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

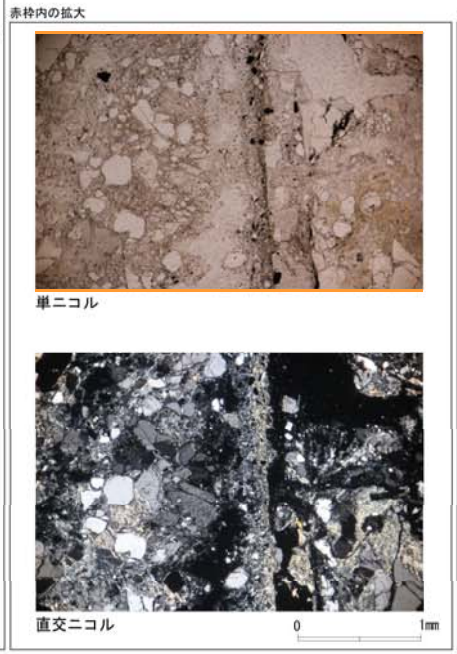


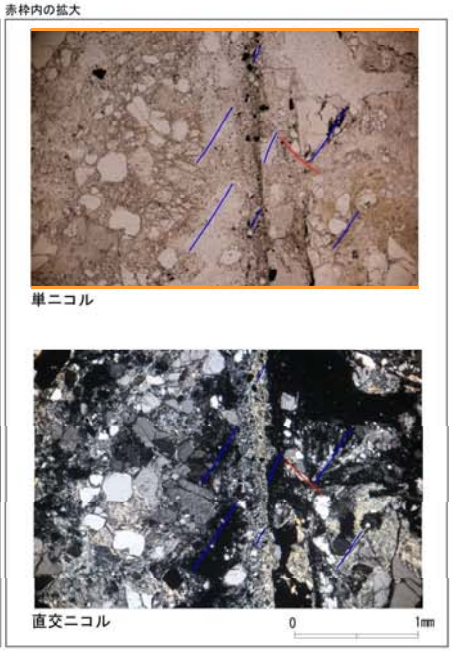
走向・傾斜 N27° W83° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

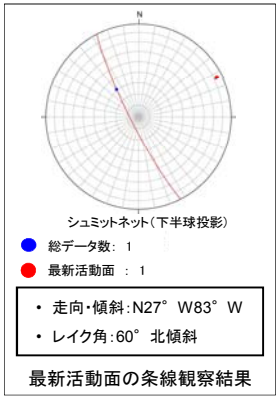
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-4　深度61.52m)(その2)

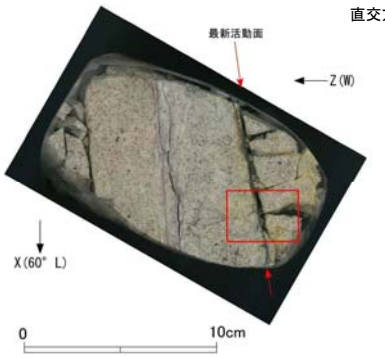
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-4のボーリングコア(深度61.52m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

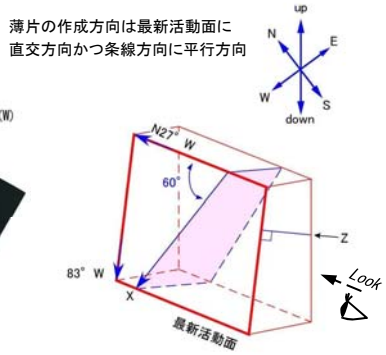
65(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。



最新活動面の条線観察結果

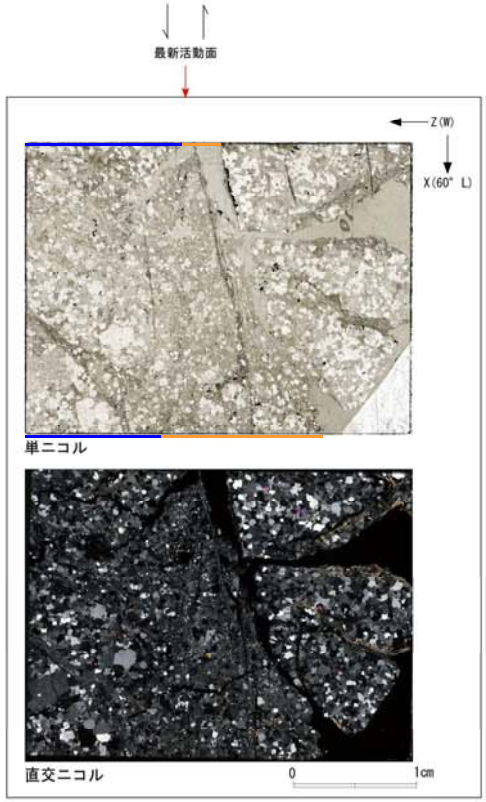


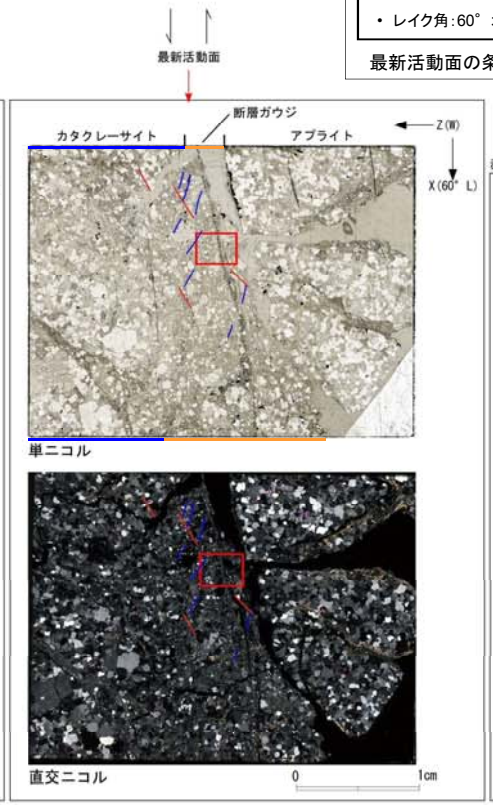
ブロックサンプル

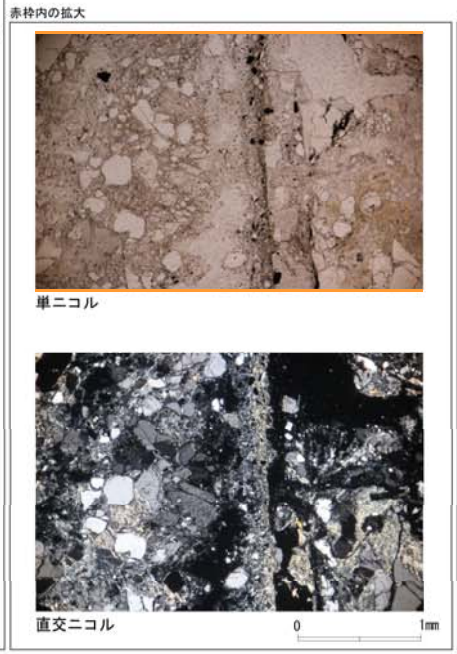


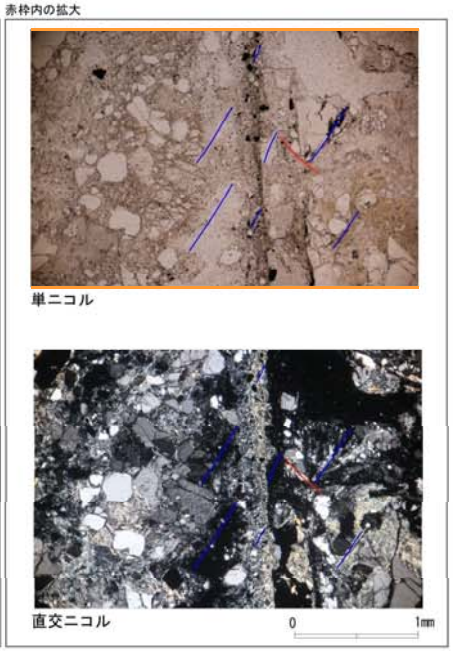
走向・傾斜 N27° W83° W

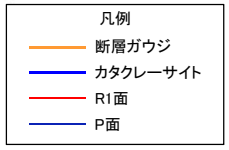
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)







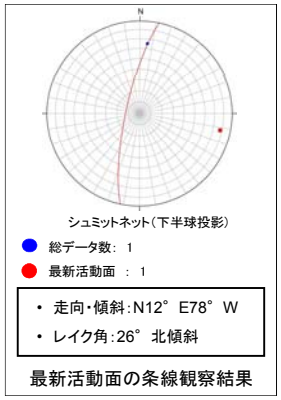




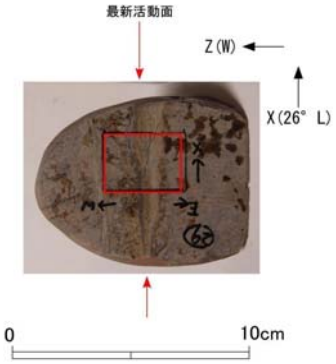
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-5　深度10.21m)

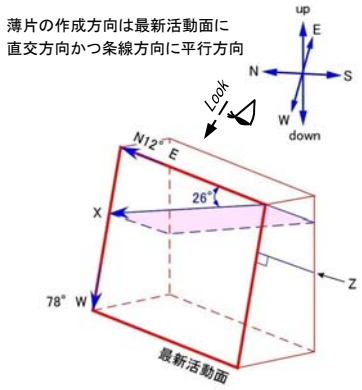
H27-D1-5のボーリングコア(深度10.21m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



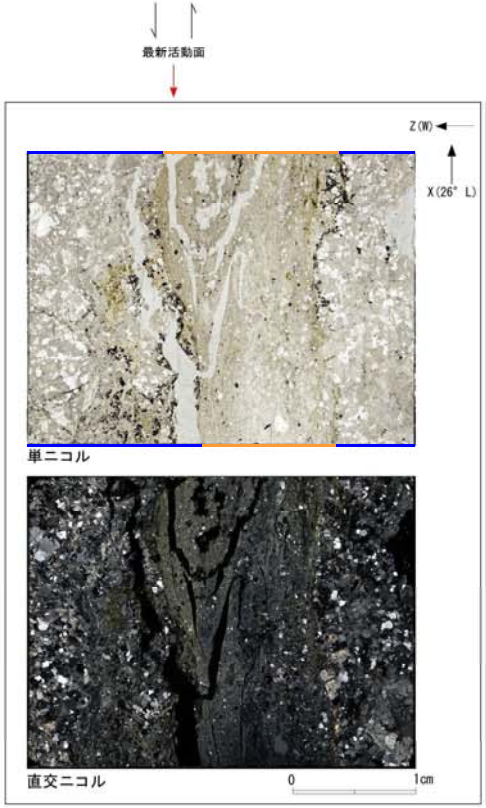
ブロックサンプル

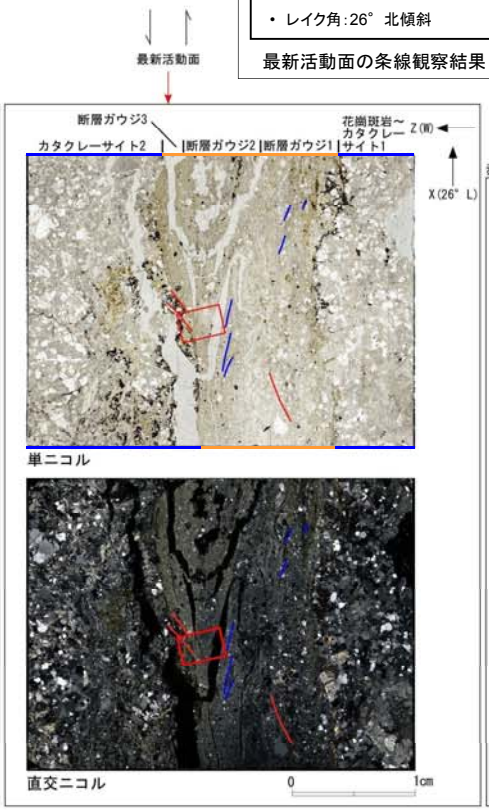


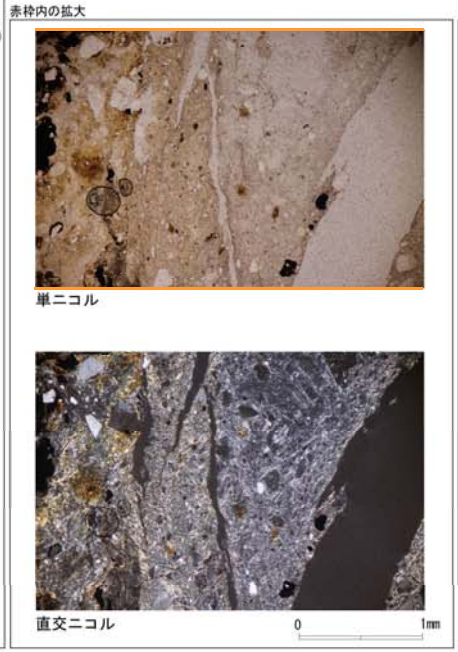
走向・傾斜 N12° E78° W

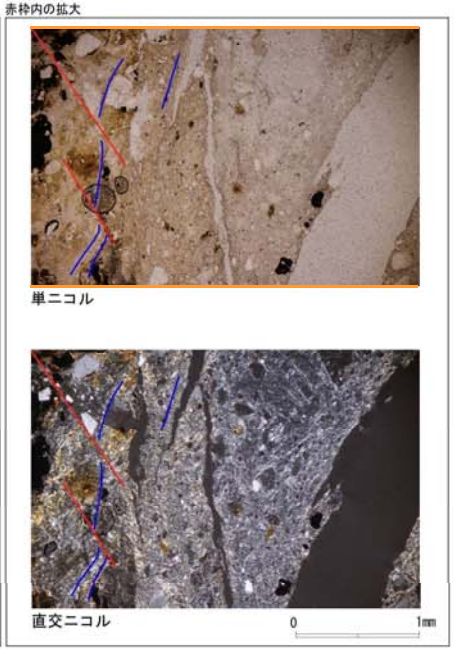
X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









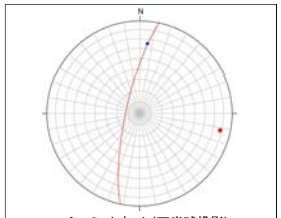
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

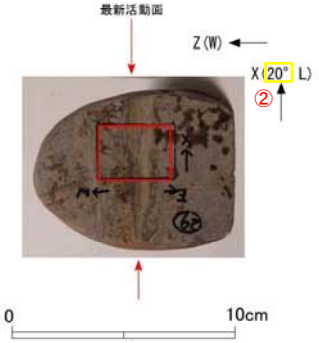
2.2 (2)K断層

薄片試料観察(H24-D1-5　深度10.21m)

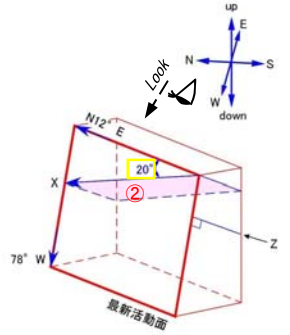
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

① H24-D1-5のボーリングコア(深度10.21m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

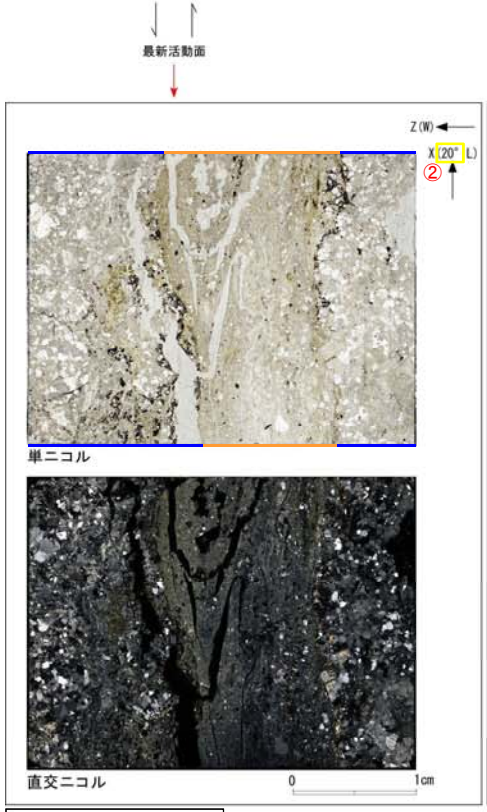


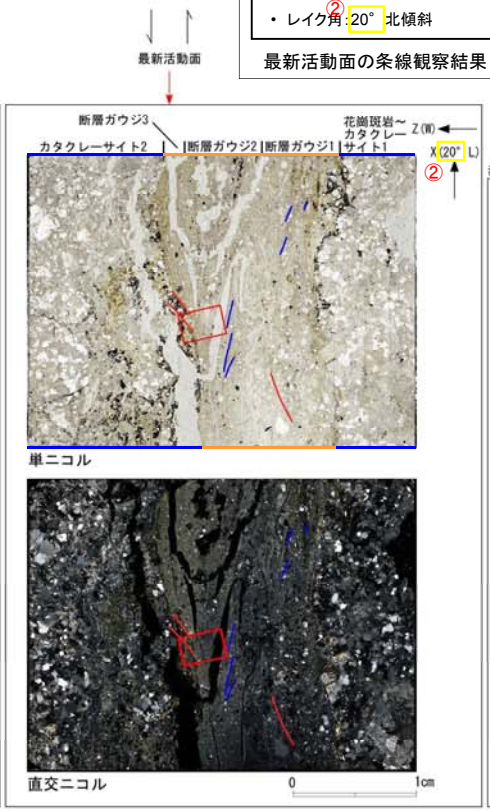


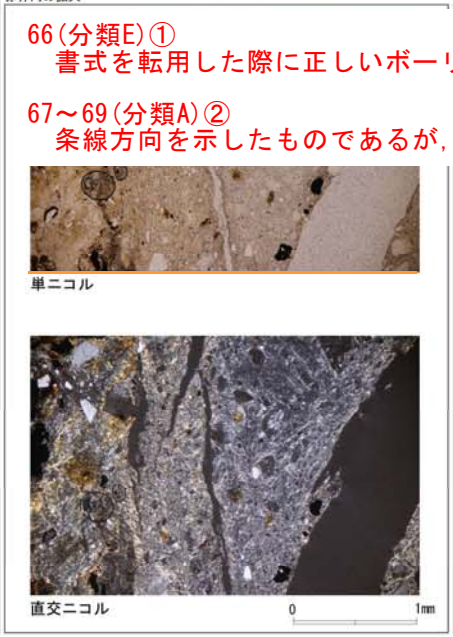
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

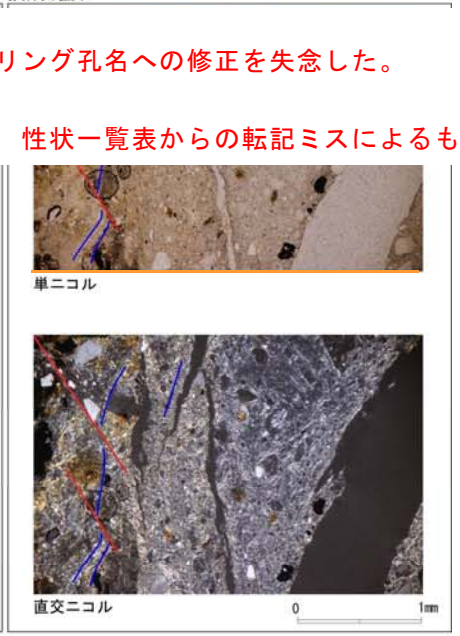


走向・傾斜 N12° E78° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)









66(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

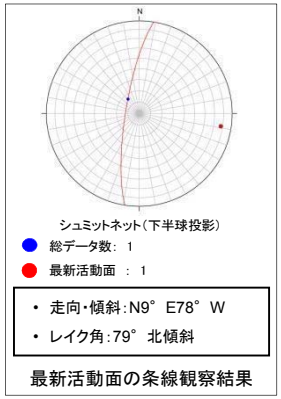
67～69(分類A)②
条線方向を示したものであるが，性状一覧表からの転記ミスによるもの。

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

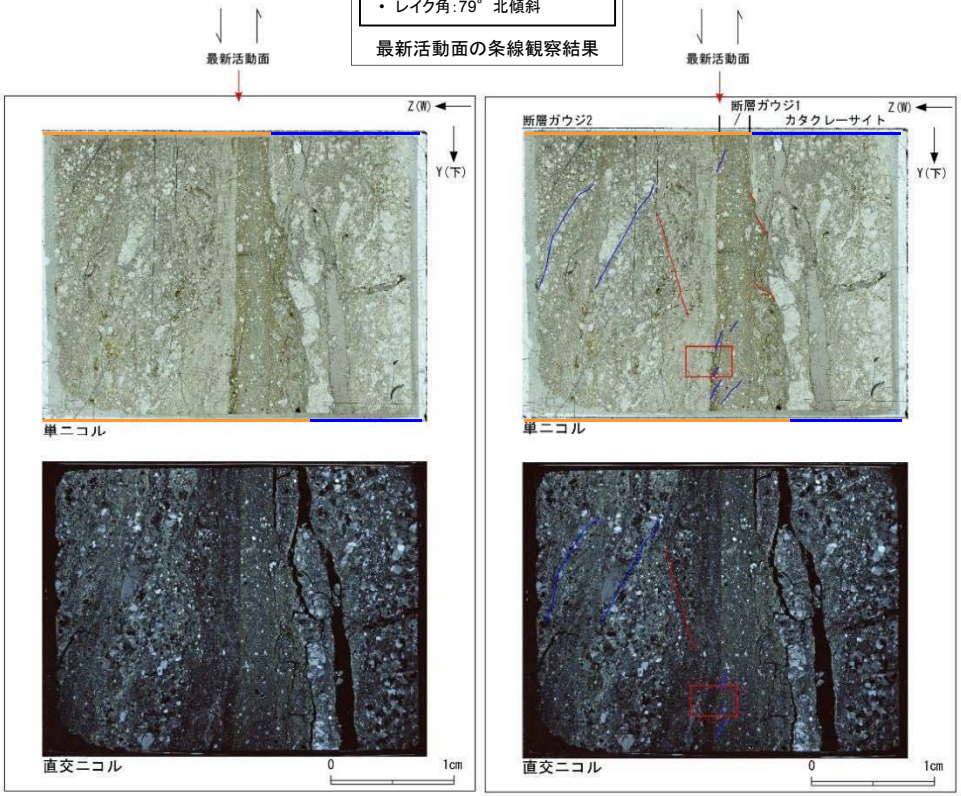
薄片試料観察結果（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その1）

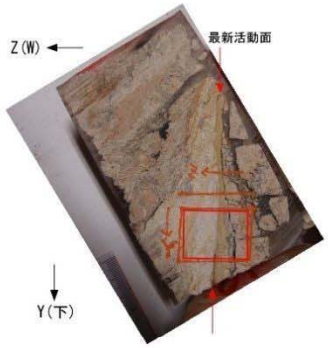
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H19-No.4のボーリングコア（深度171.70m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

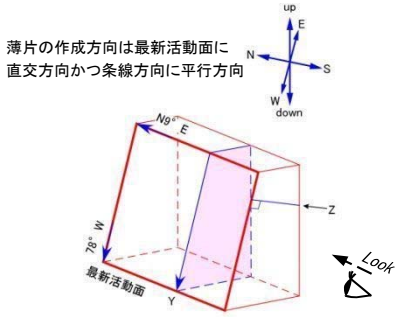


最新活動面の条線観察結果





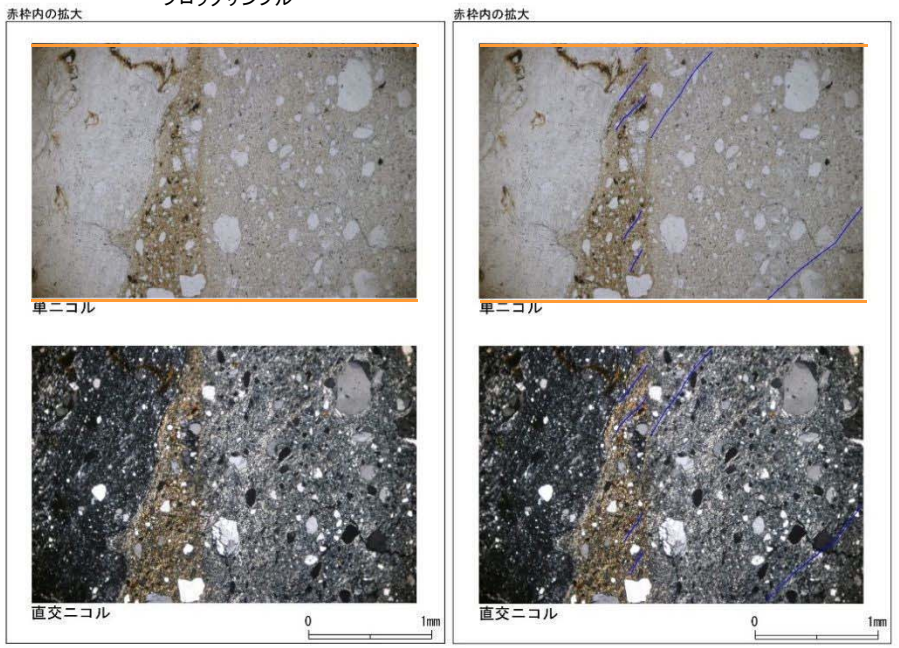
ブロックサンプル



走向・傾斜 N9° E78° W

X：条線方向（下向きを正とする）

Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面：最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

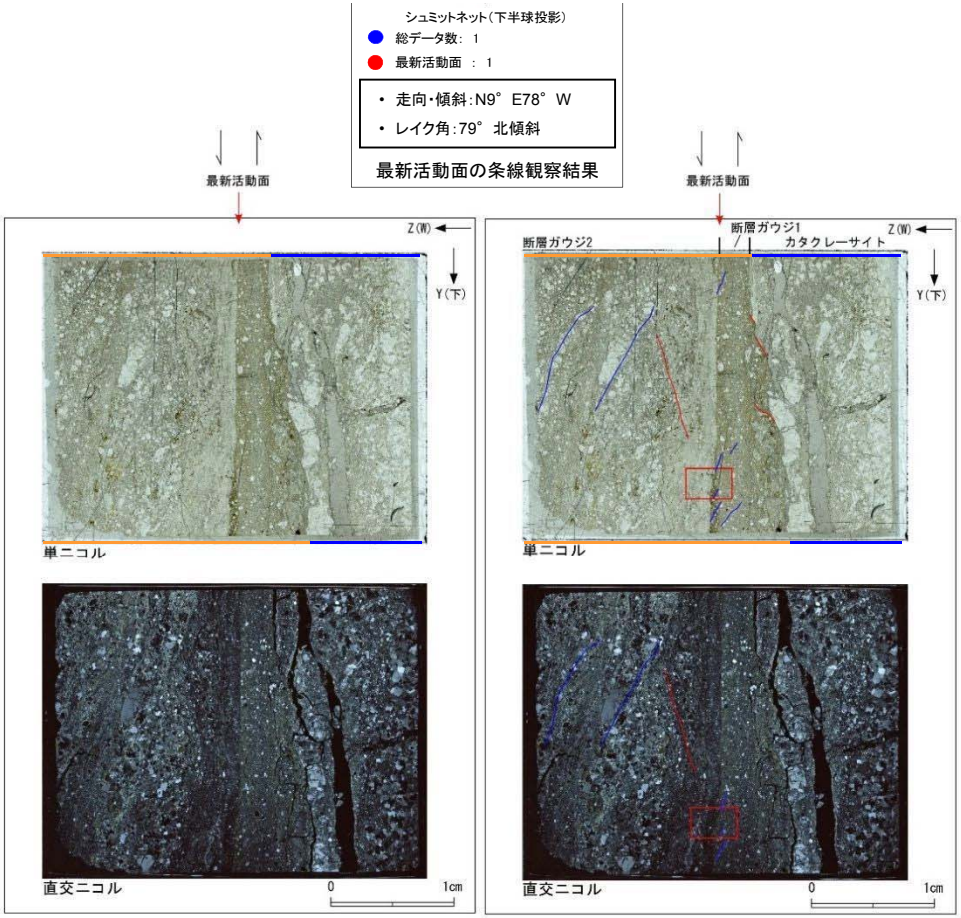
薄片試料観察結果（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その1）

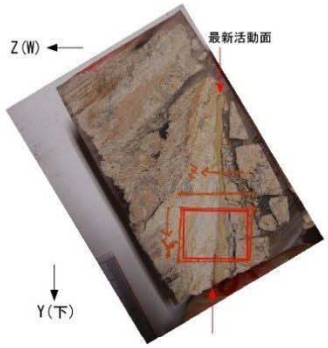
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H19-No.4のボーリングコア（深度171.70m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

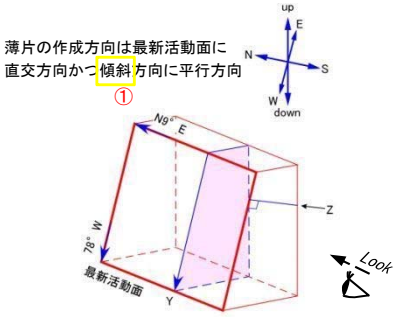
70，71（分類E）①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

72（分類E）②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

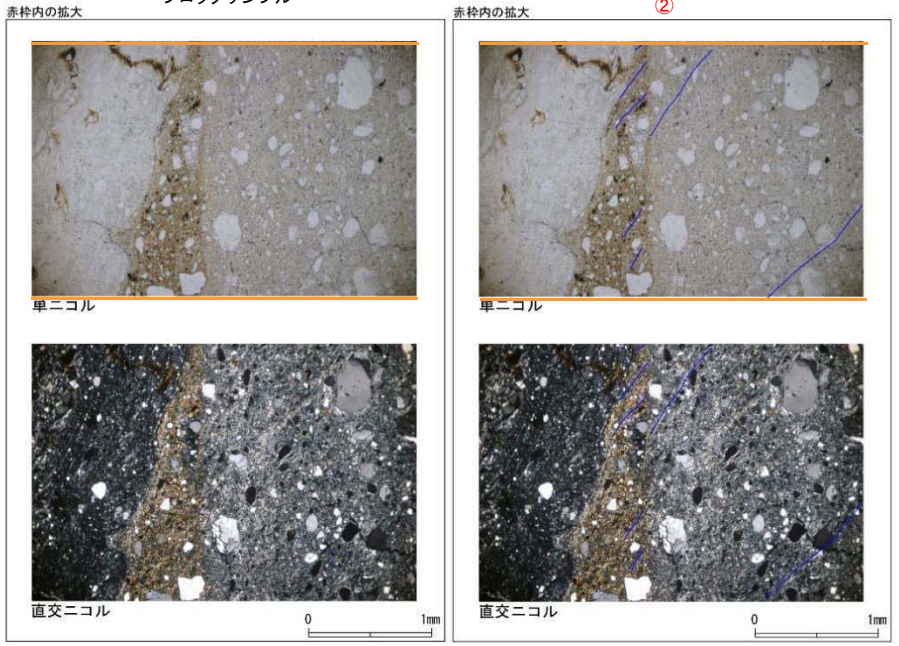




ブロックサンプル



走向・傾斜 N9° E78° W
① Y：傾斜方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）
②

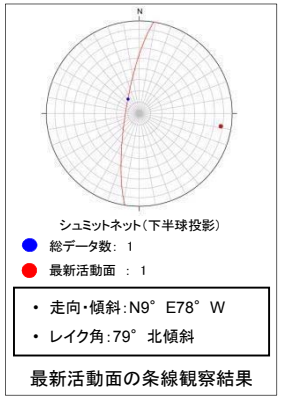


鉛直断面：最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

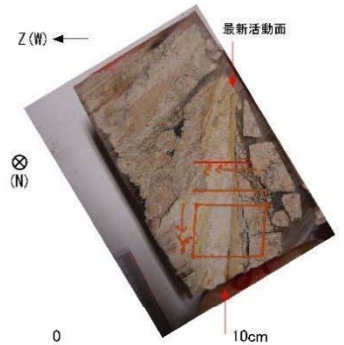
2.2 (3)D－6破砕帯

薄片試料観察結果（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その2）

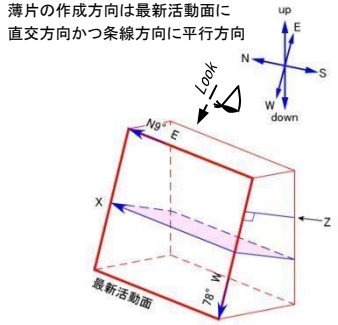
H19-No.4のボーリングコア（深度171.70m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



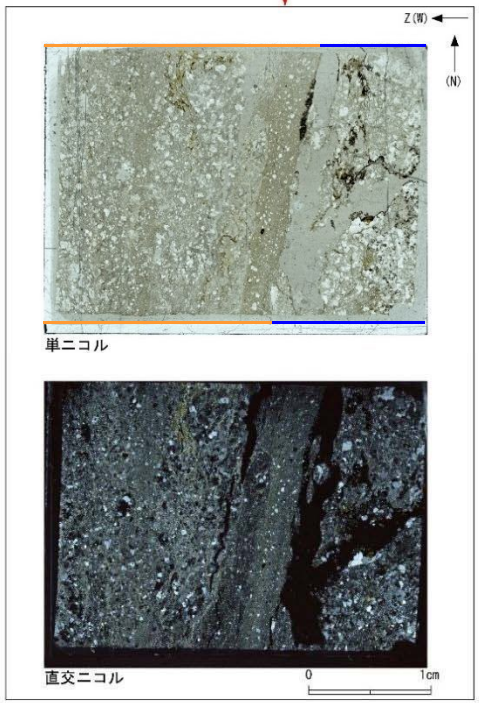
最新活動面の条線観察結果

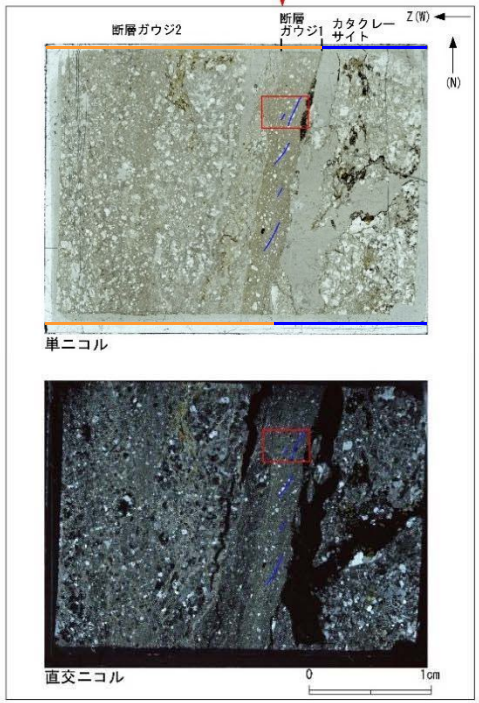


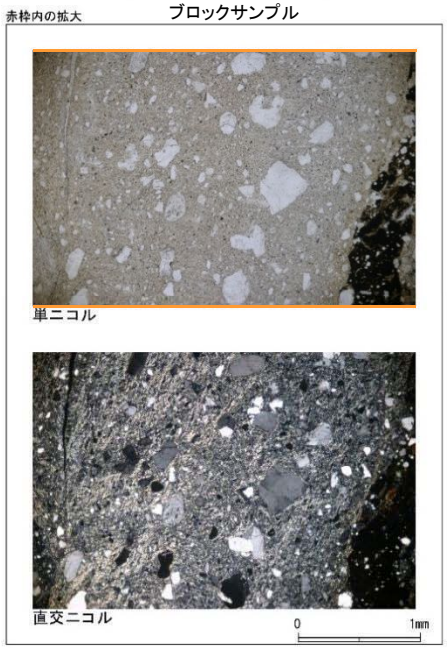
ブロックサンプル

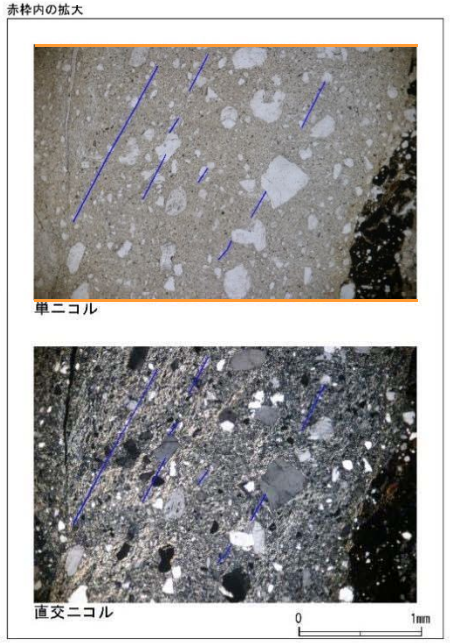


走向・傾斜 N9° E78° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

水平断面：最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

薄片試料観察結果（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その2）

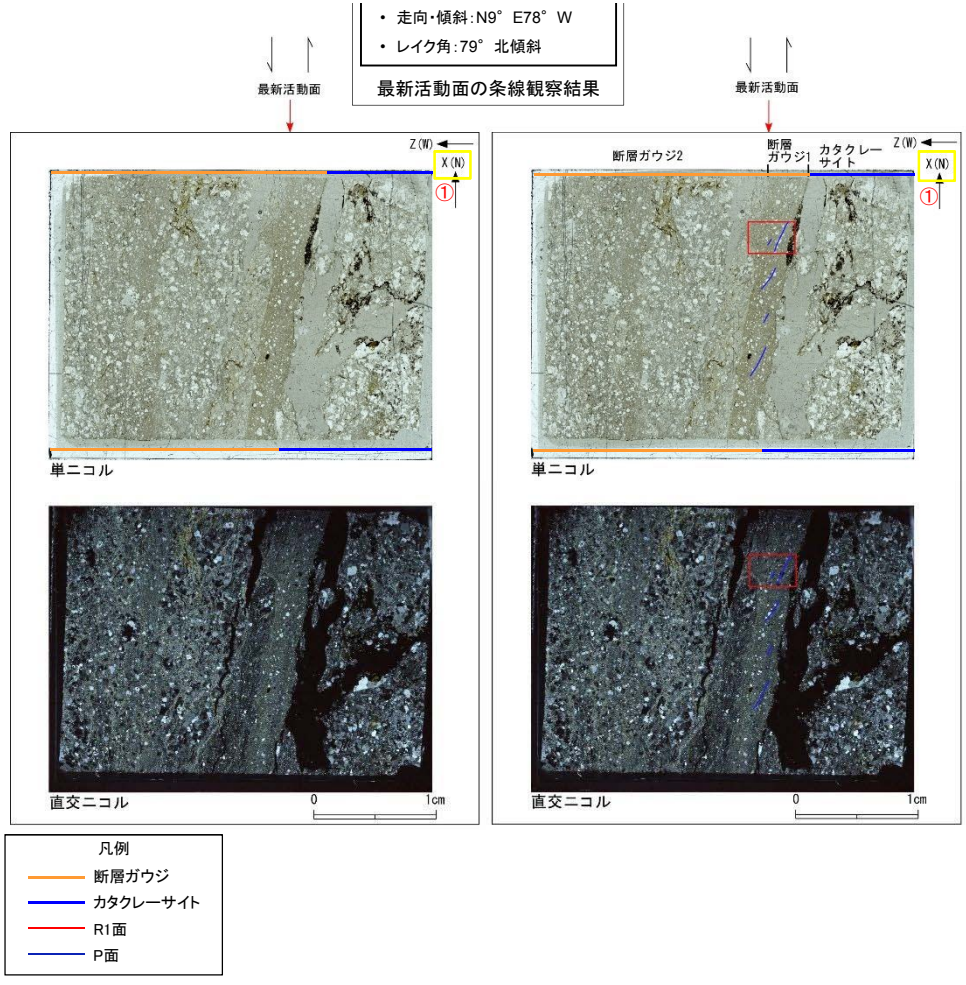
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

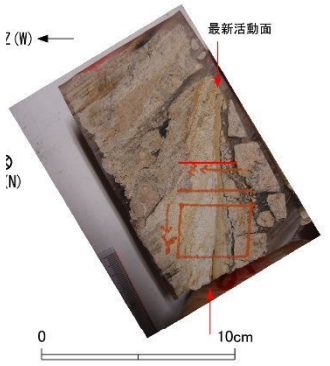
H19-No.4のボーリングコア（深度171.70m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

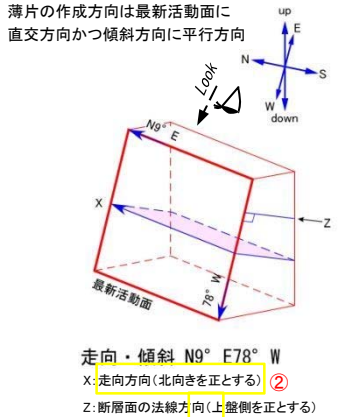
73（分類F）①
方位と薄片作成方向（X，Y，Z）を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。

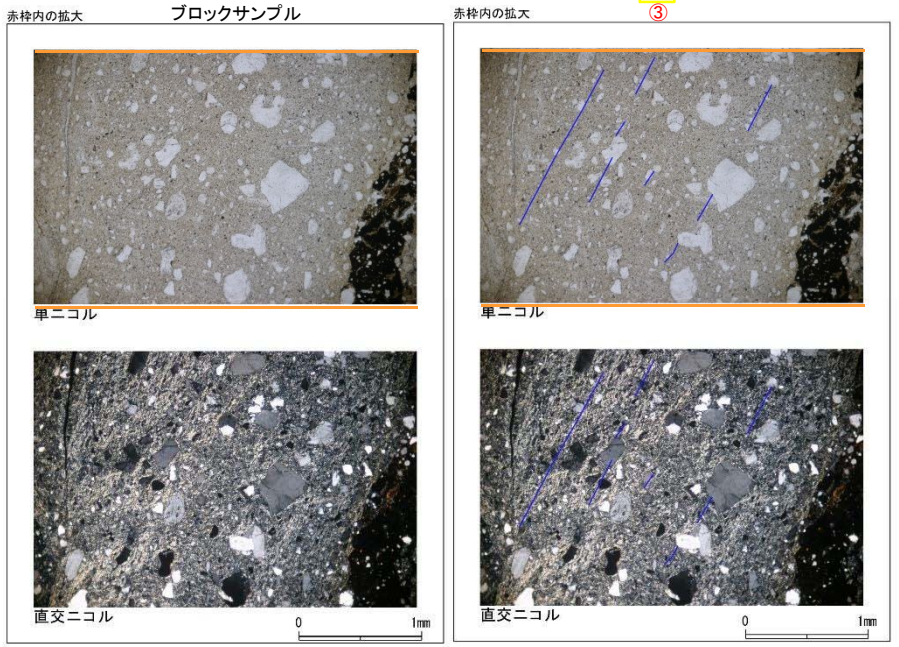
74（分類E）②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

75（分類E）③
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。









水平断面：最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

2.2 (3)D－6破砕帯

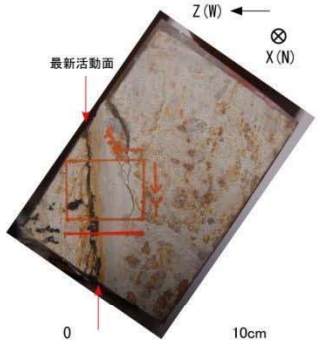
薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

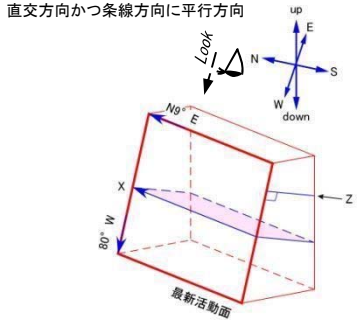
条線データなし

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



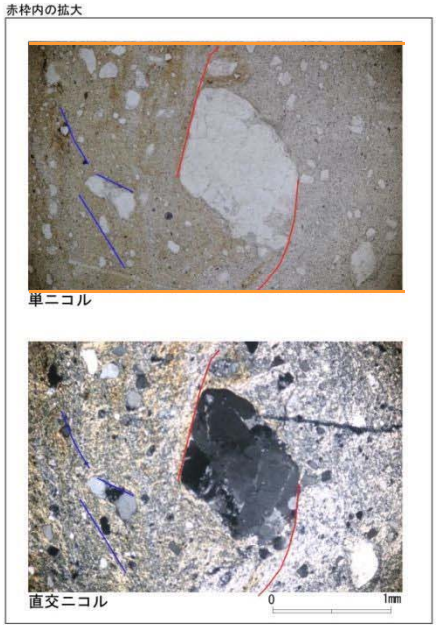
ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N9° E80° W

X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)



水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

2.2 (3)D－6破砕帯

薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その1)

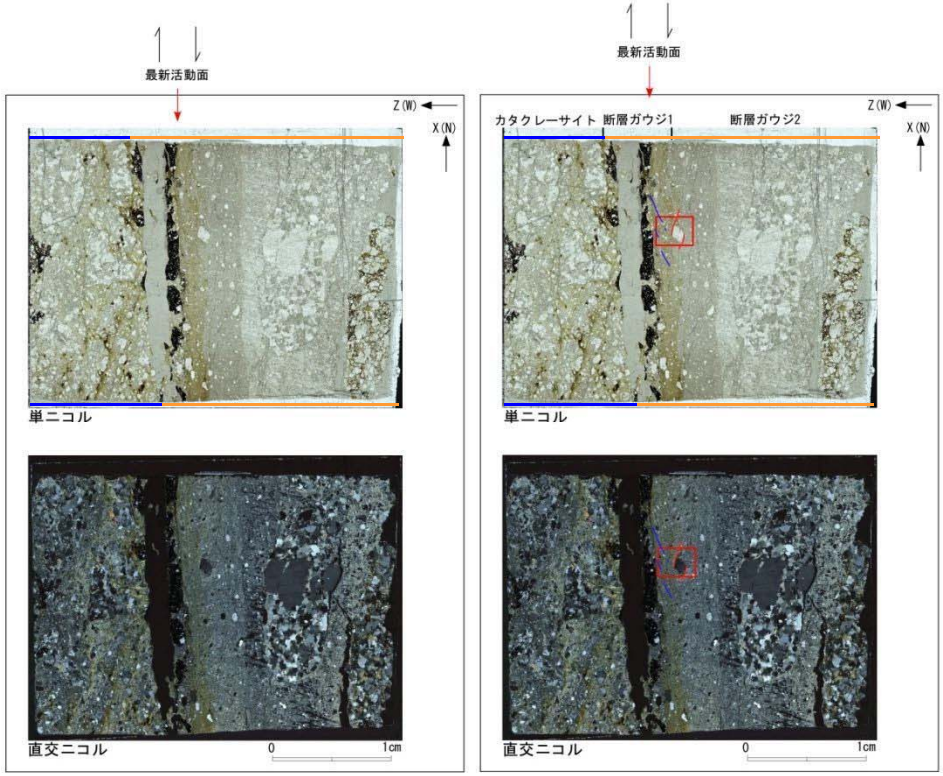
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

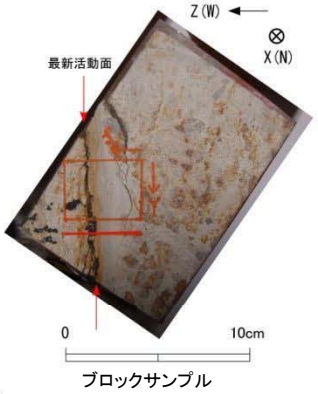
H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

76，77(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

78(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

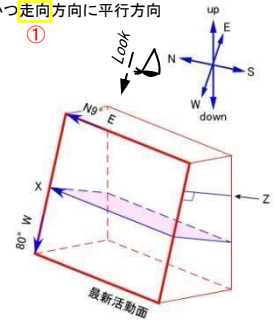
条線データなし





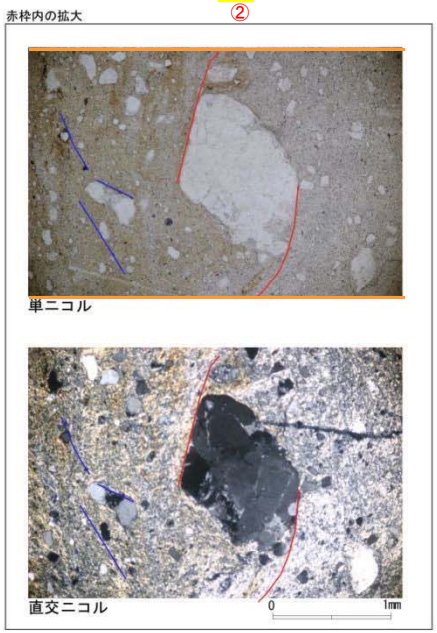
ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ走向方向に平行方向
①



走向・傾斜 N9° E80° W

① X:走向方向(北向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
②



水平断面:最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

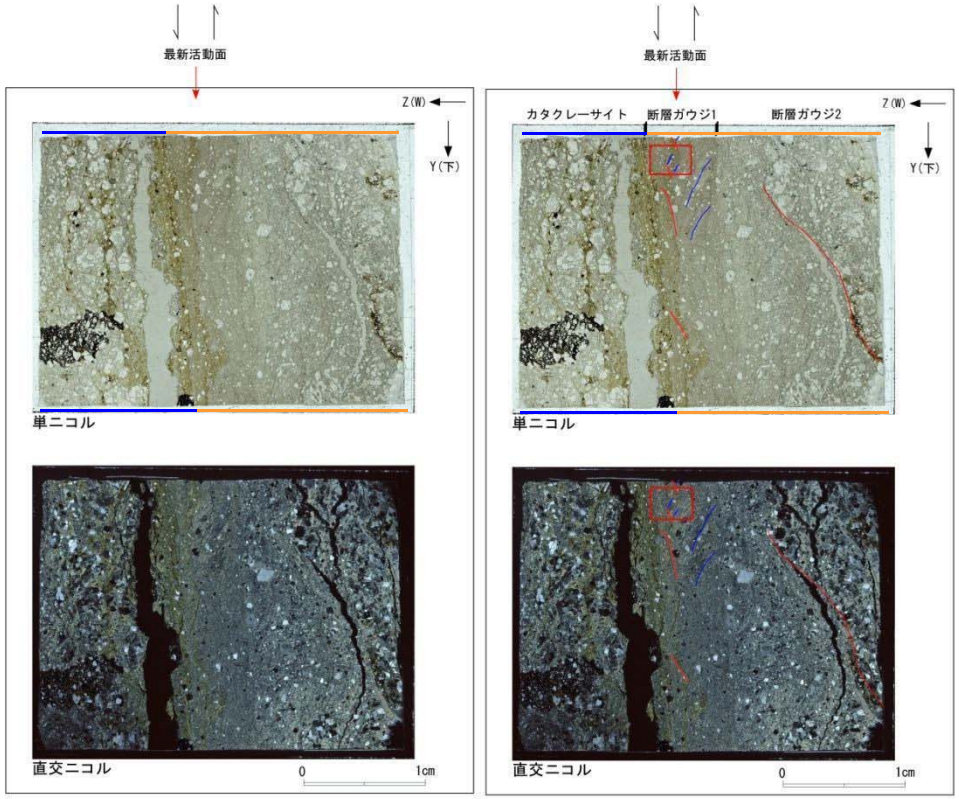
2.2 (3)D－6破砕帯

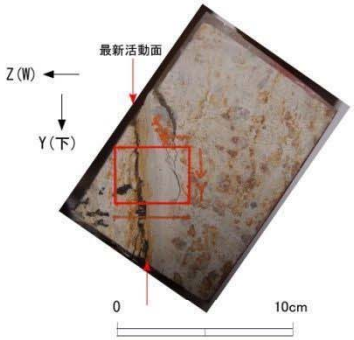
薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その2)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

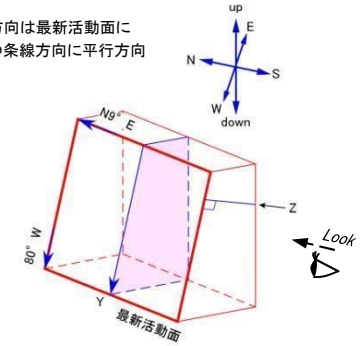
条線データなし





ブロックサンプル

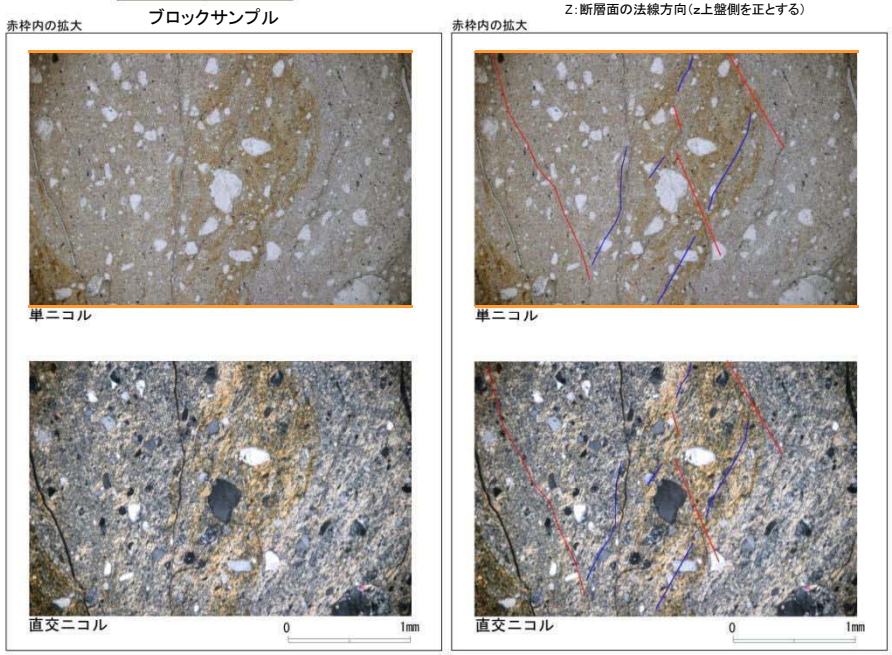
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N9° E80° W

X:条線方向(下向きを正とする)

Z:断層面の法線方向(z上盤側を正とする)



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

2.2 (3)D－6破砕帯

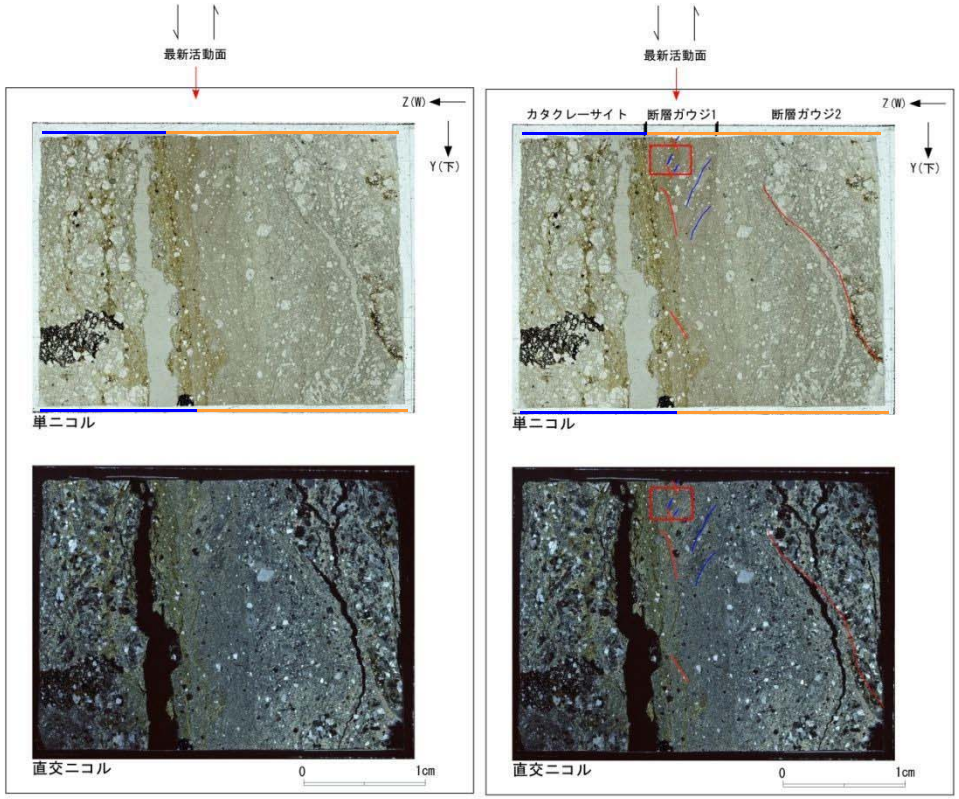
薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B11-2孔)(その2)

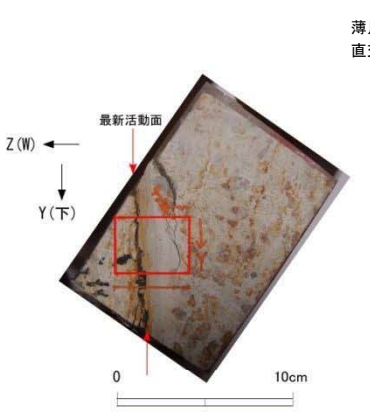
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H24-B11-2のボーリングコア(深度83.79m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

79，80(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

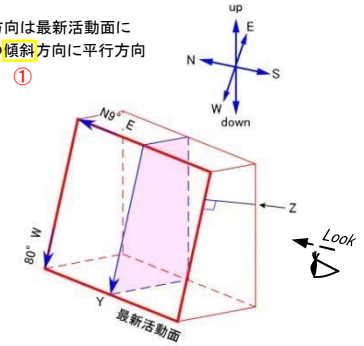
81(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。



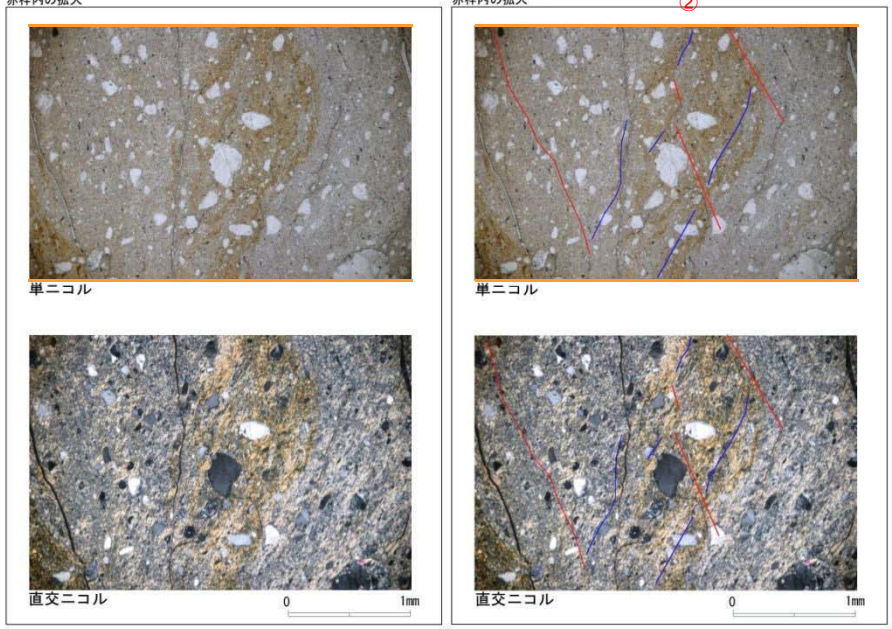


ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ傾斜方向に平行方向
①



走向・傾斜 N9° E80° W
① Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
②



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

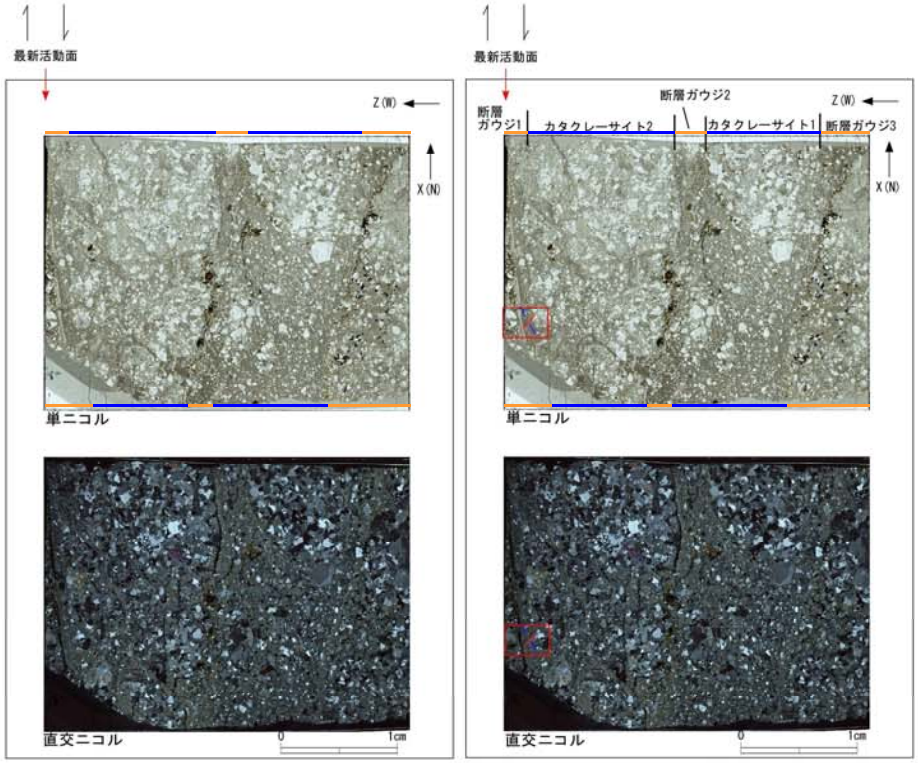
2.2 (5)その他破砕帯

D－5破砕帯　薄片試料観察（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その1）

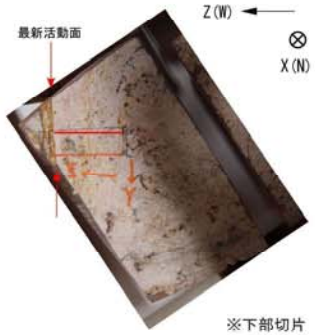
第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

H19-No.4のボーリングコア（深度107.55m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

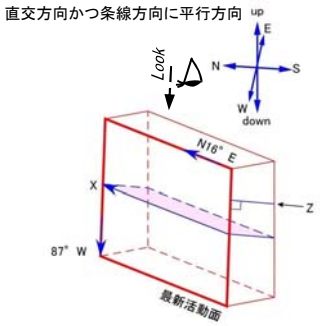
条線データなし



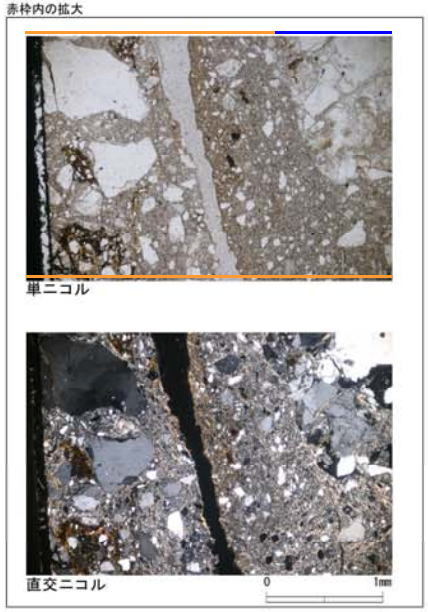
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

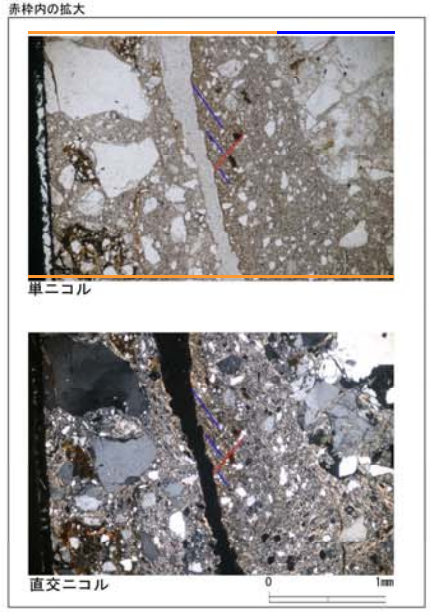


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N16° E87° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）





水平断面：最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

2.2 (5)その他破砕帯

D－5破砕帯　薄片試料観察（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その1）

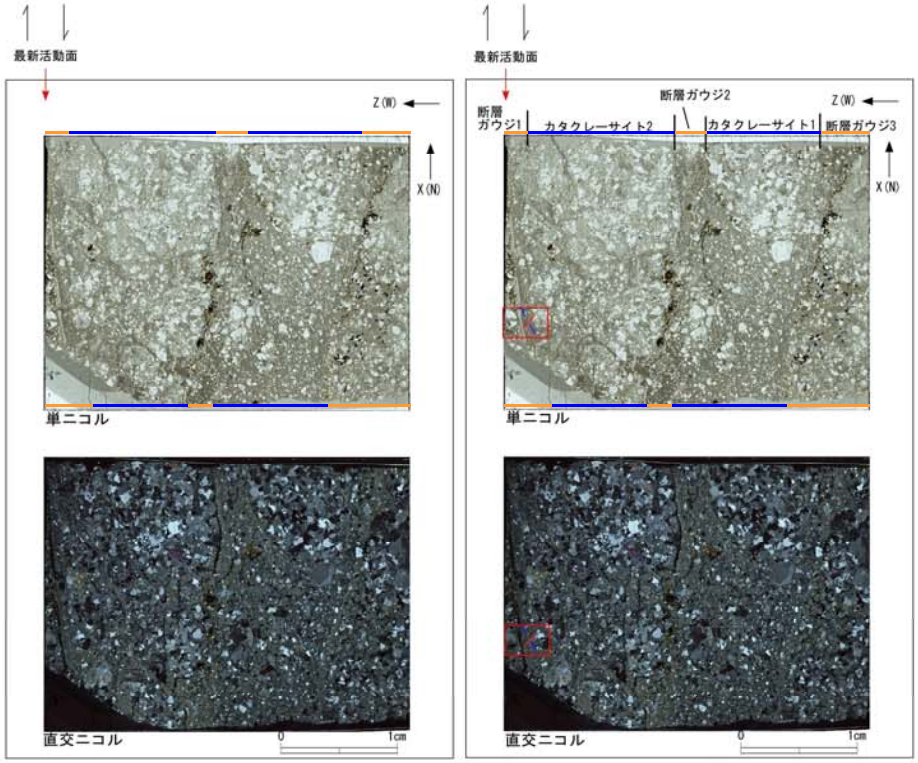
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H19-No.4のボーリングコア（深度107.55m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

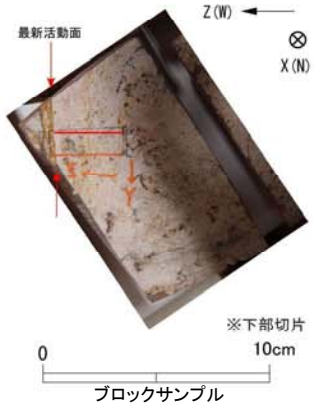
82，83（分類E）①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

84（分類E）②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

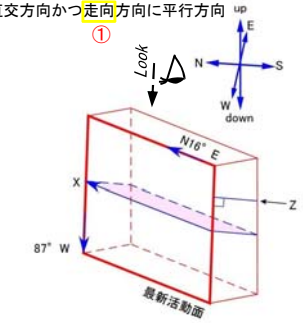
条線データなし



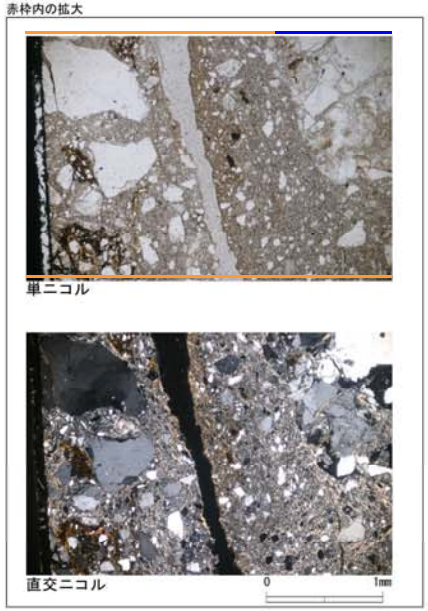
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

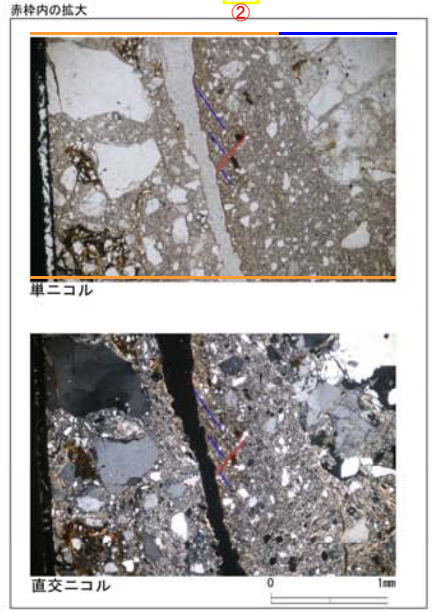


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ走向方向に平行方向
①



走向・傾斜 N16° E87° W
① X：走向方向（北向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）
②





水平断面：最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

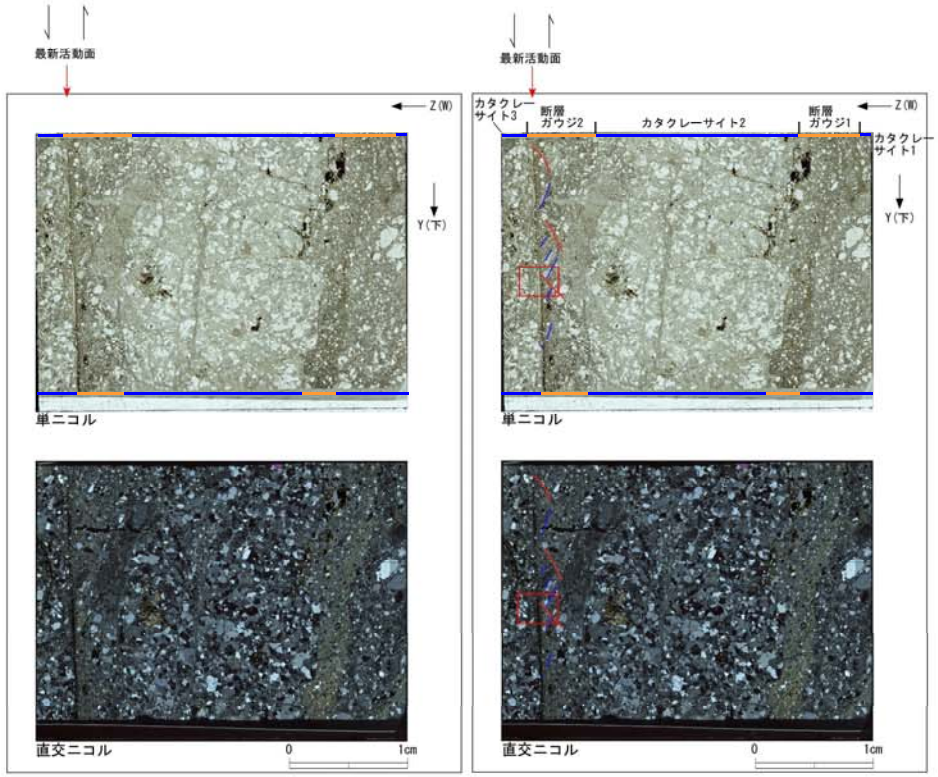
2.2 (5)その他破砕帯

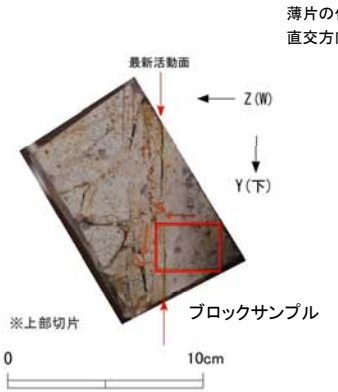
D－5破砕帯　薄片試料観察（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その2）

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

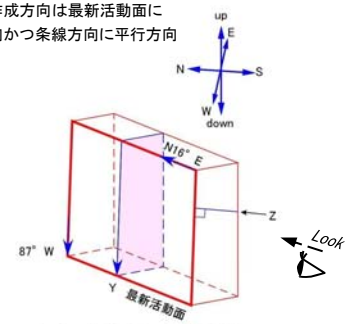
H19-No.4のボーリングコア（深度107.55m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし

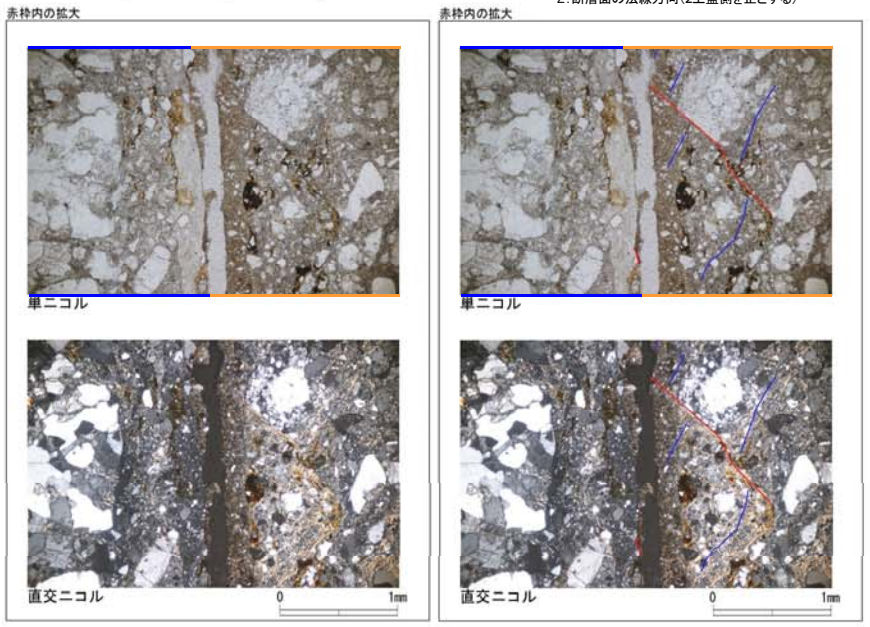




薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N16° E87° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）



鉛直断面：最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (5)その他破砕帯

D－5破砕帯　薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H19-No.4孔)(その2)

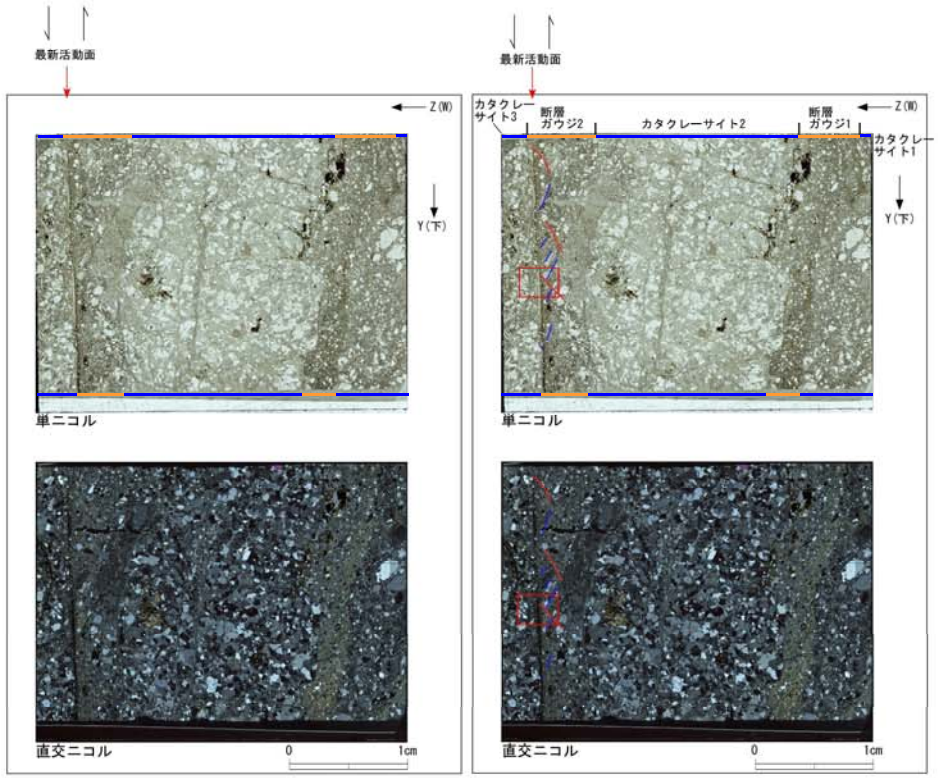
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H19-No.4のボーリングコア(深度107.55m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

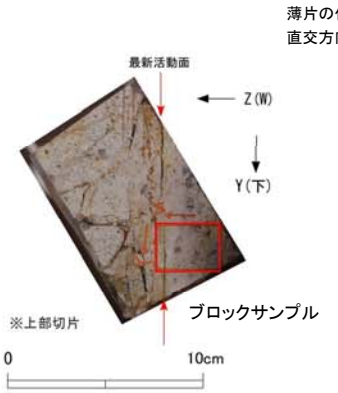
85，86(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

87(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

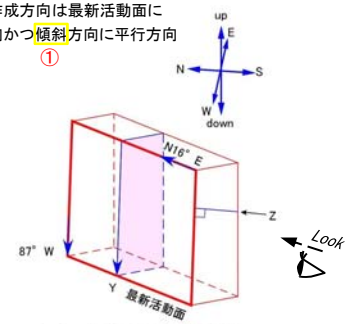
条線データなし



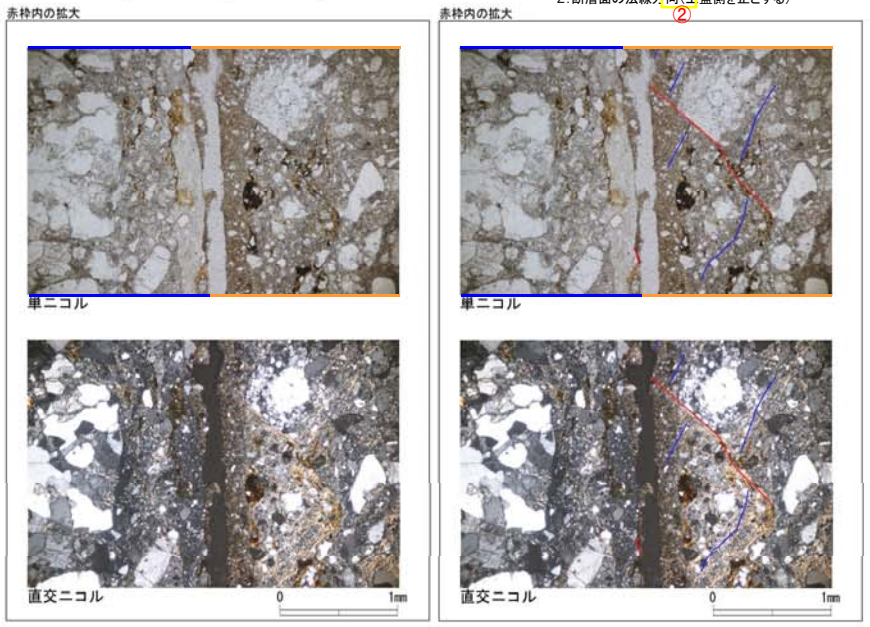
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ傾斜方向に平行方向
①



走向・傾斜 N16° E87° W
① Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする) ②



鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

2.2 (5)その他破砕帯

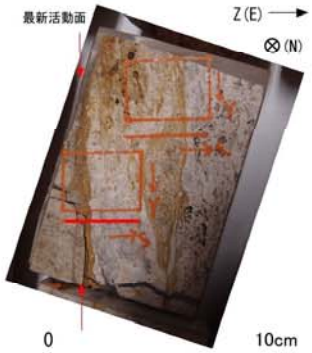
D－5破砕帯　薄片試料観察（1号炉原子炉建屋北方）（H24-B8-21孔）（その1）

第536回審査会合
机上配付資料1 修正前

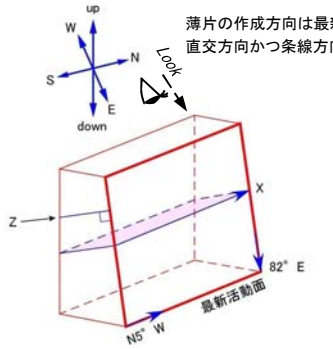
H24-B8-21のボーリングコア（深度93.53m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

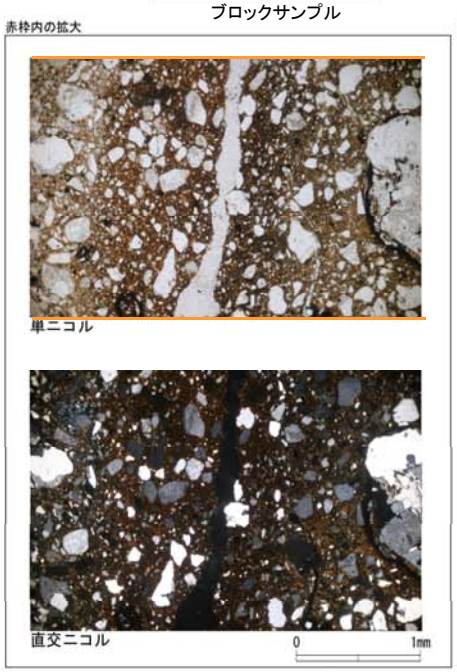


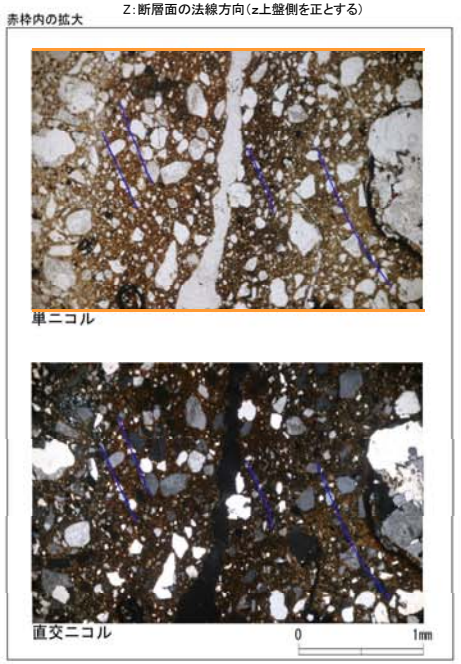
ブロックサンプル



薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ条線方向に平行方向

走向・傾斜 N5° W82° E
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）





水平断面：最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

2.2 (5)その他破砕帯

D－5破砕帯　薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B8-21孔)(その1)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

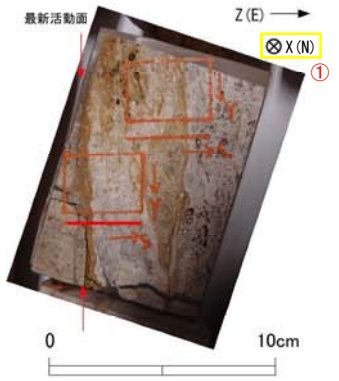
H24-B8-21のボーリングコア(深度93.53m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

88，89(分類F)①
方位と薄片作成方向（X，Y，Z）を併記することとしていたが，方位のみ記載しており，他の資料と統一が図られていなかった。

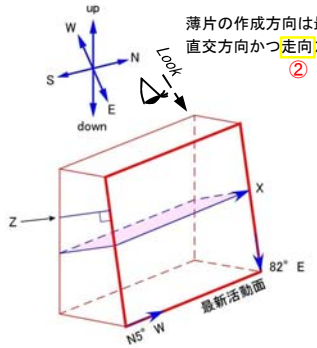
90，91(分類E)②
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

92(分類E)③
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

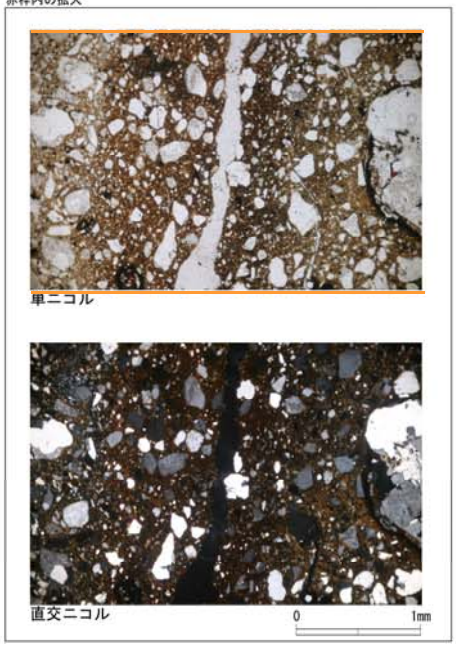


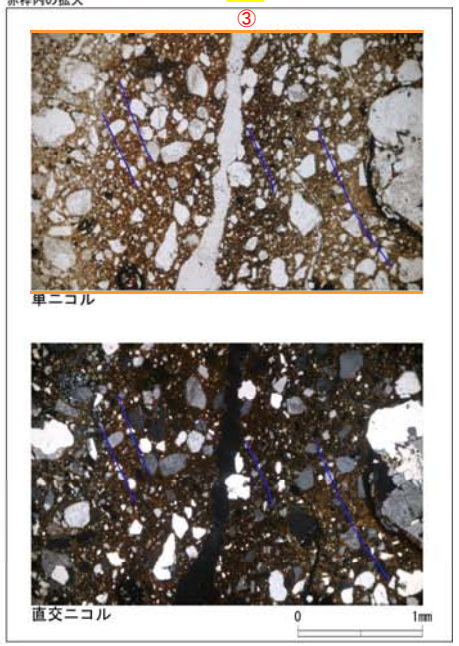
ブロックサンプル



薄片の作成方向は最新活動面に直交方向かつ走向方向に平行方向
②

走向・傾斜 N5° W82° E
② X:走向方向(北向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
③





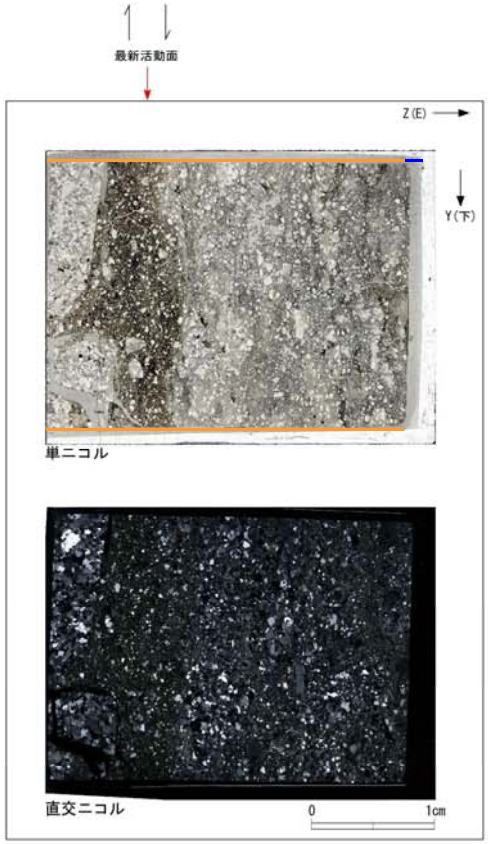
水平断面：最新活動面の変位センスは，右ずれ成分が卓越する。

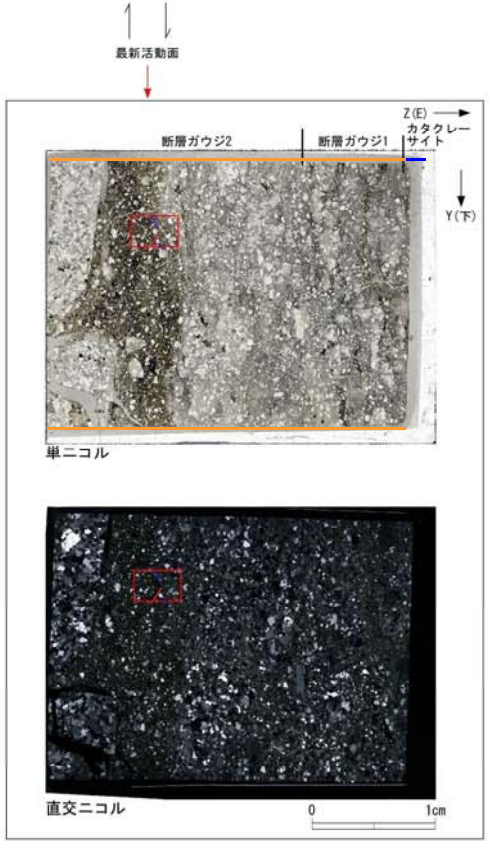
2.2 (5)その他破砕帯

D－5破砕帯　薄片試料観察（1号炉原子炉建屋北方）（H24-B8-21孔）（その2）

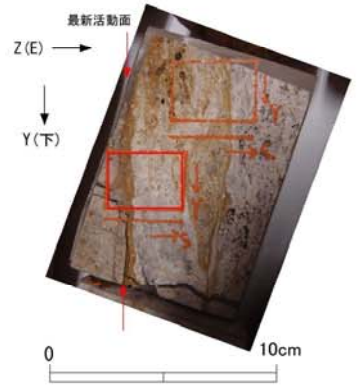
H24-B8-21のボーリングコア（深度93.53m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

条線データなし

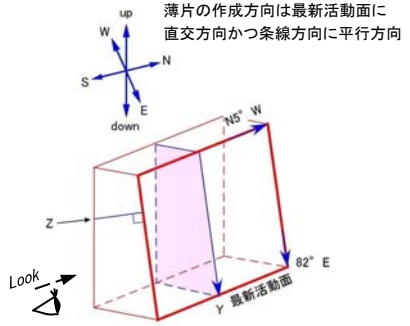




凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

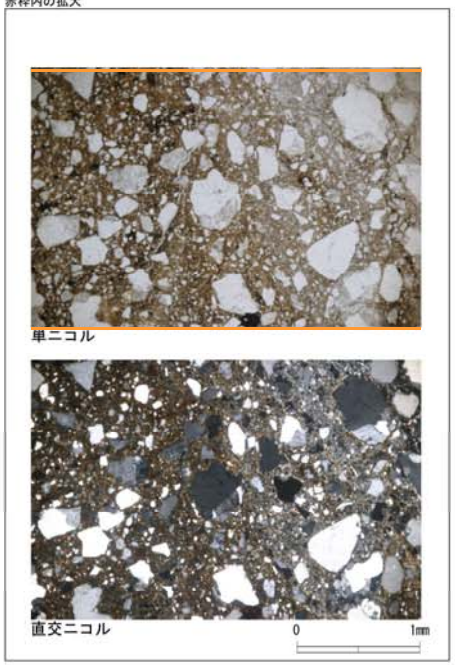


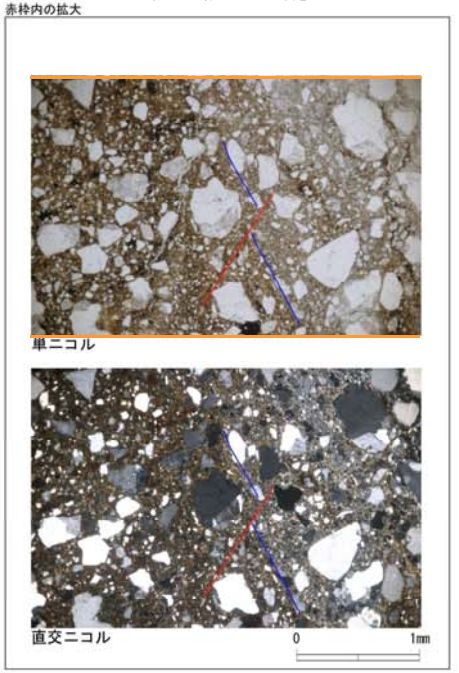
ブロックサンプル



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

走向・傾斜 N5° W82° E
X:条線方向（下向きを正とする）
Z:断層面の法線方向（z上盤側を正とする）





鉛直断面：最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

2.2 (5)その他破砕帯

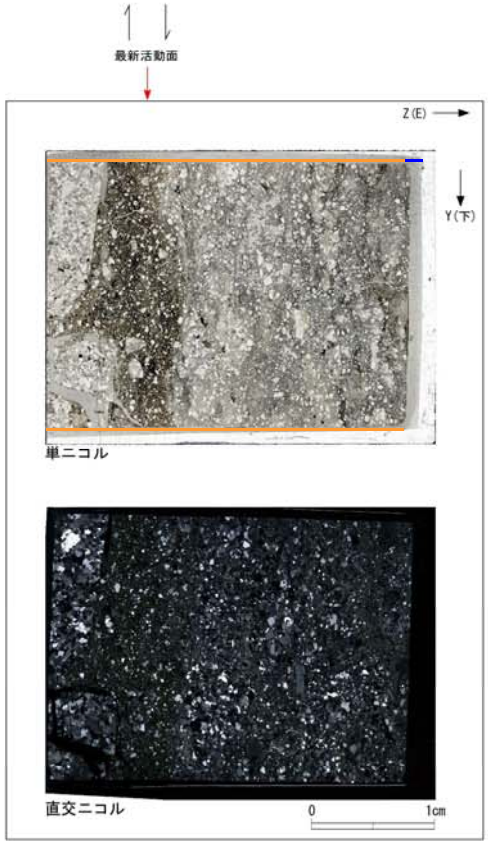
D－5破砕帯　薄片試料観察(1号炉原子炉建屋北方)(H24-B8-21孔)(その2)

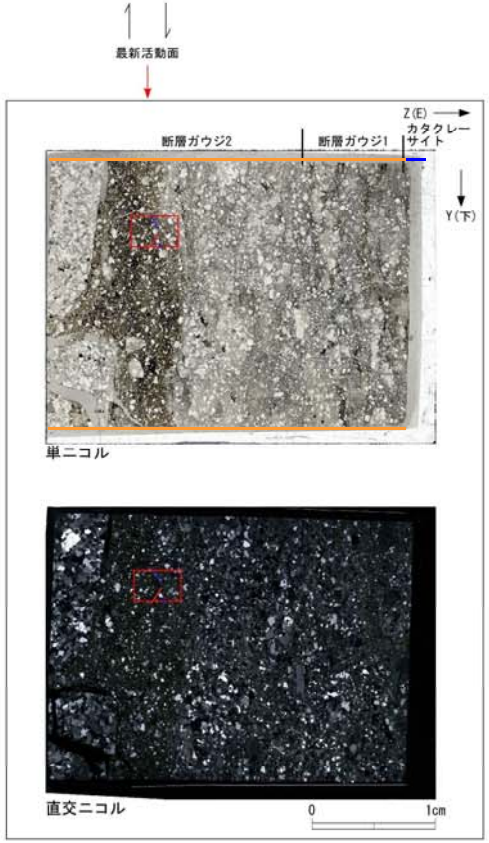
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H24-B8-21のボーリングコア(深度93.53m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

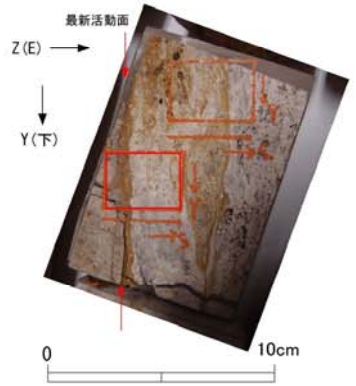
93，94(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。

95(分類E)②
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。

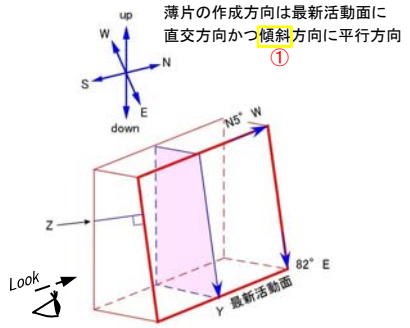




凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

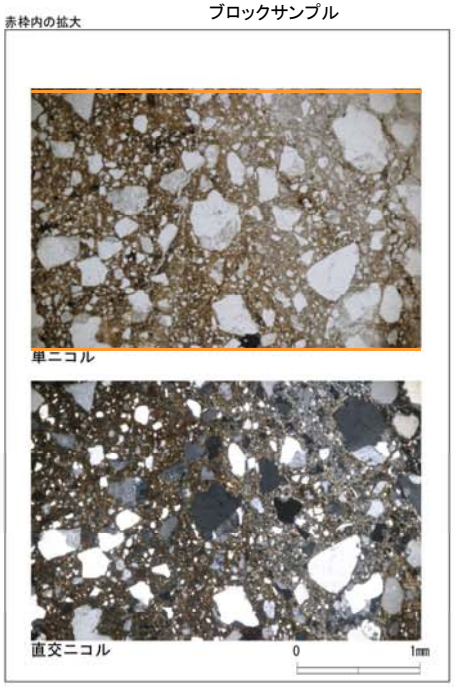


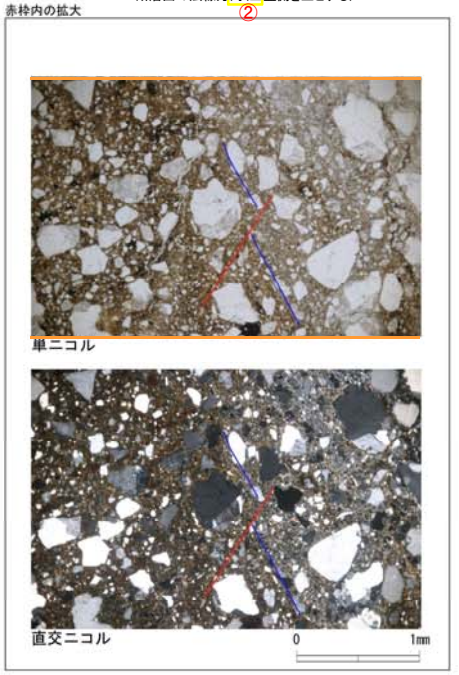
ブロックサンプル



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ傾斜方向に平行方向
①

走向・傾斜 N5° W82° E
① Y:傾斜方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)
②

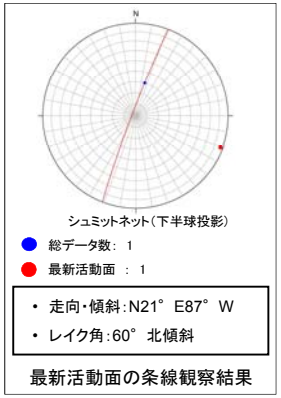




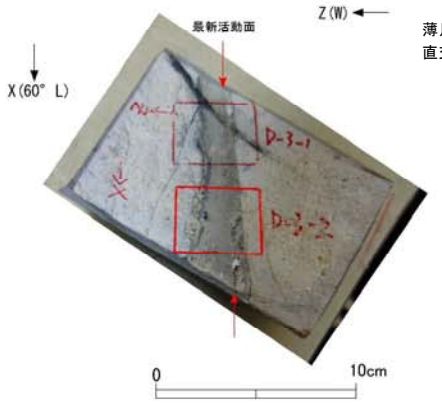
鉛直断面:最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

D－5破砕帯　薄片試料観察（1号炉原子炉建屋付近）（H27-D5-1）

H24-B11-1のボーリングコア（深度88.93m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

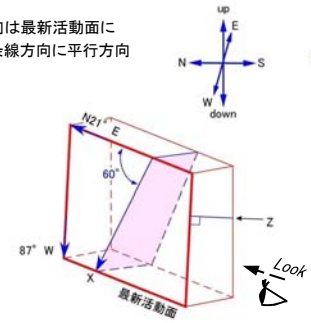


最新活動面の条線観察結果



ブロックサンプル

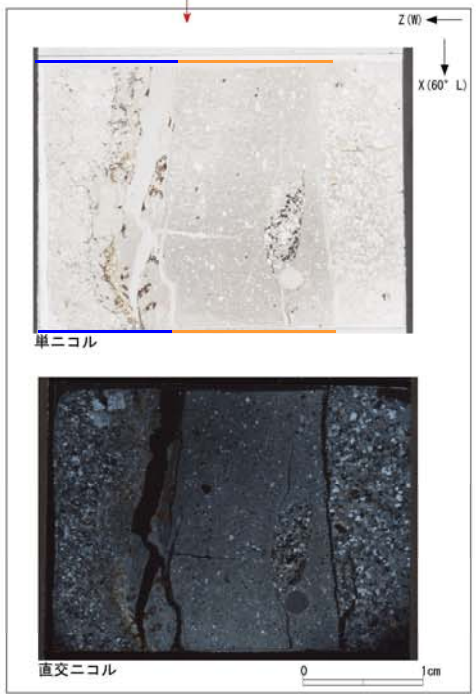
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

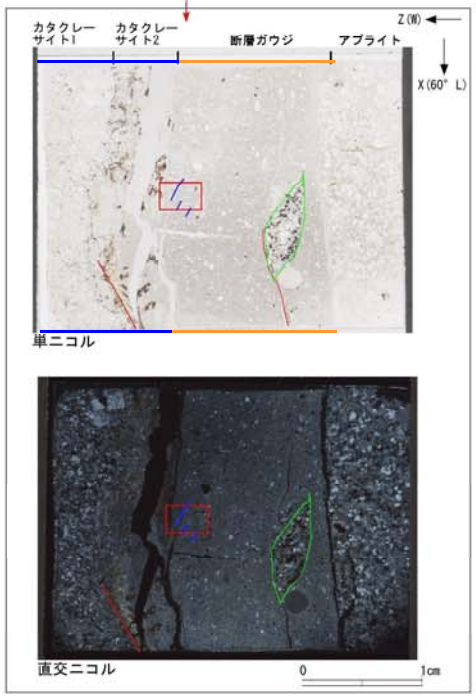


走向・傾斜 N21° E87° W

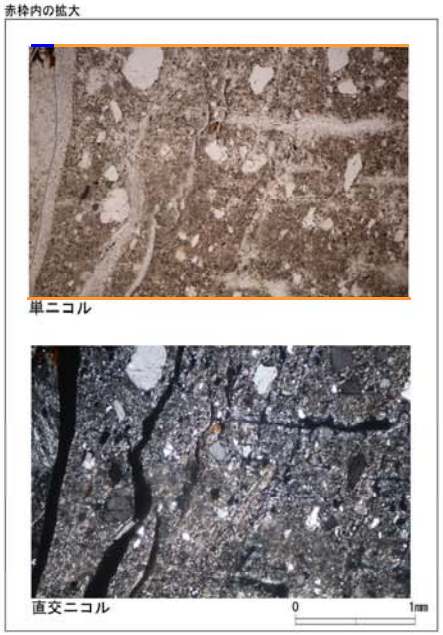
X：条線方向（下向きを正とする）

Z：断層面の法線方向（z上盤側を正とする）

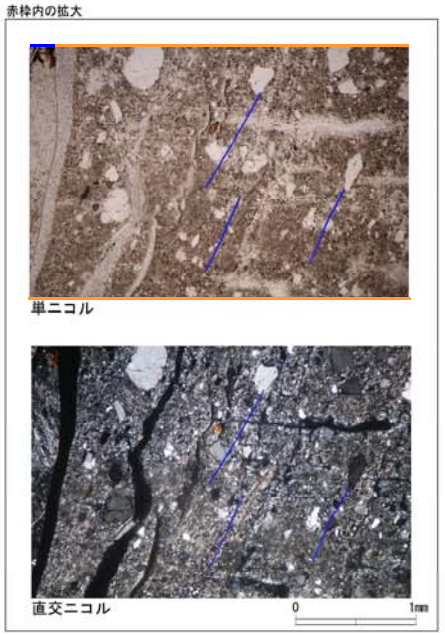




赤枠内の拡大



赤枠内の拡大



凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2 (5)その他破砕帯

D－5破砕帯　薄片試料観察(1号炉原子炉建屋付近)(H27-D5-1)

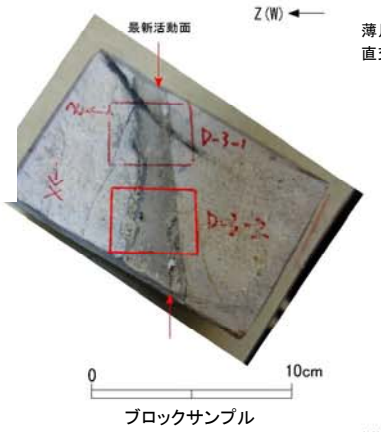
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

①H27-D5-1のボーリングコア(深度②25.76m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，右ずれを伴う正断層成分が卓越する。

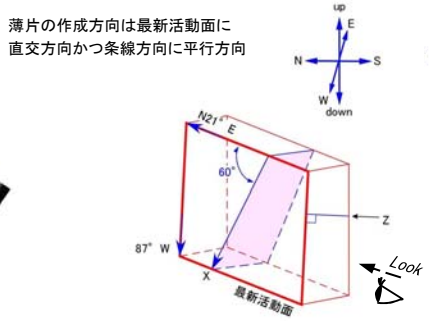
96(分類E)①
書式を転用した際に正しいボーリング孔名への修正を失念した。

97(分類E)②
書式を転用した際に正しい深度への修正を失念した。

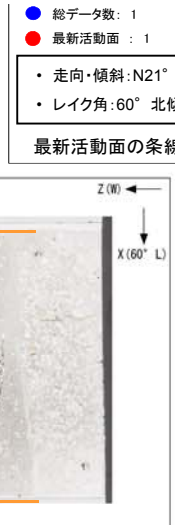
98(分類E)③
断層面の法線方向を示したものであるが，不要な文字が残っていたため削除した。



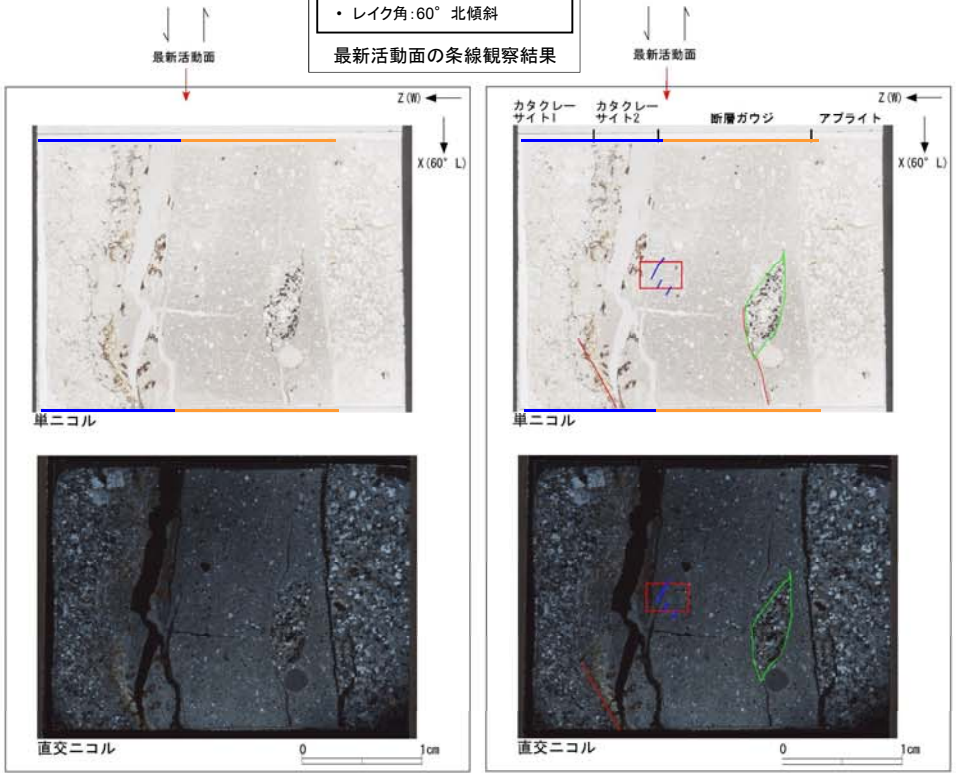
ブロックサンプル

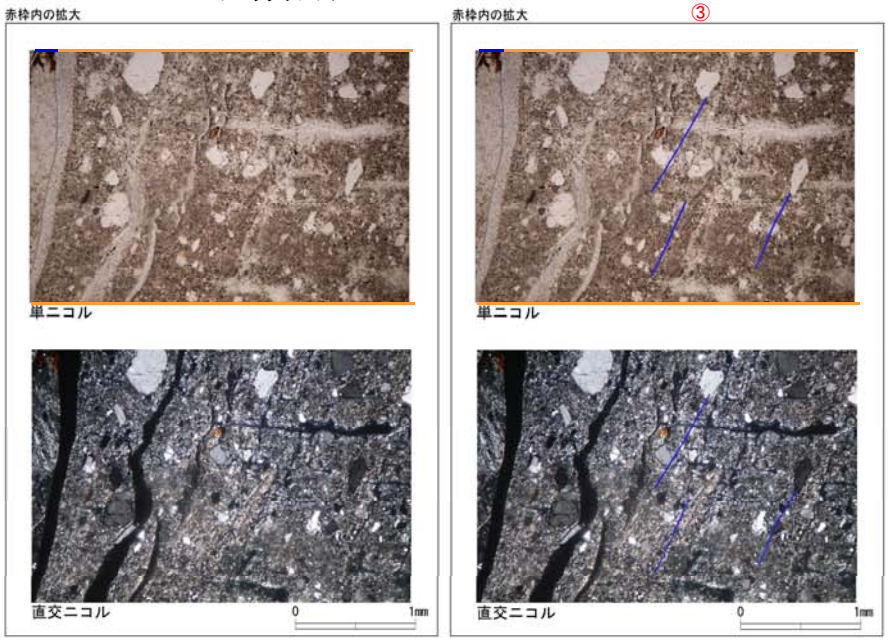


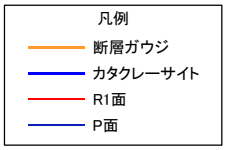
走向・傾斜 N21° E87° W
X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(③上盤側を正とする)



最新活動面の条線観察結果



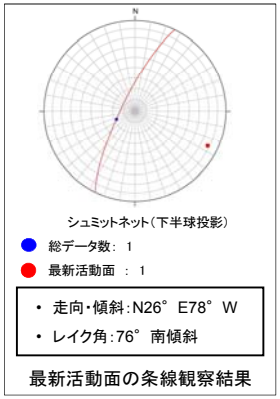




2.2(5)その他破砕帯

D－3破砕帯　薄片試料観察（H27-Br-1　深度35.85m）

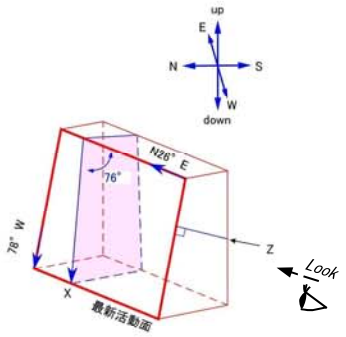
H27-Br-1のボーリングコア（深度35.85m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果

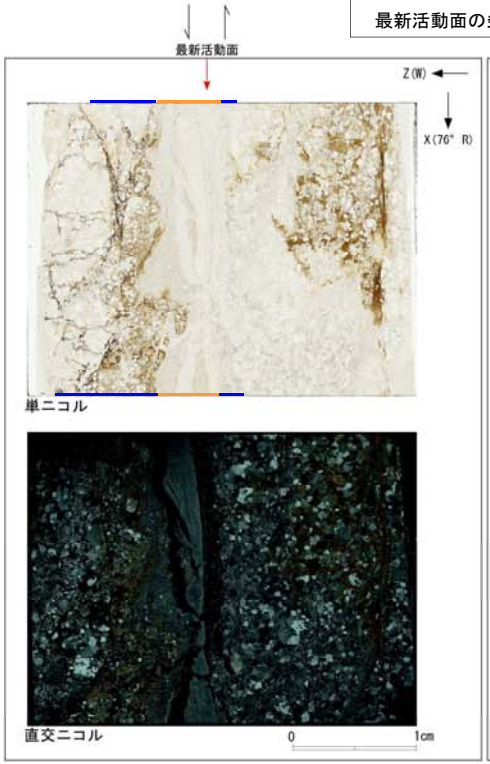
ブロックサンプル　0　5cm

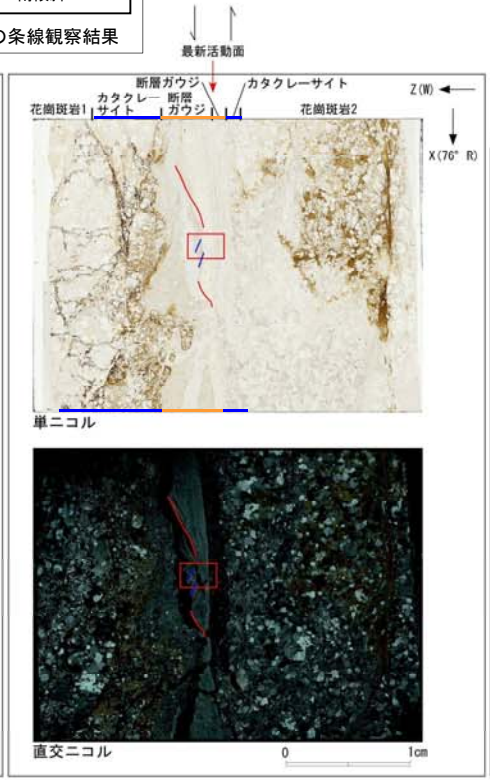
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

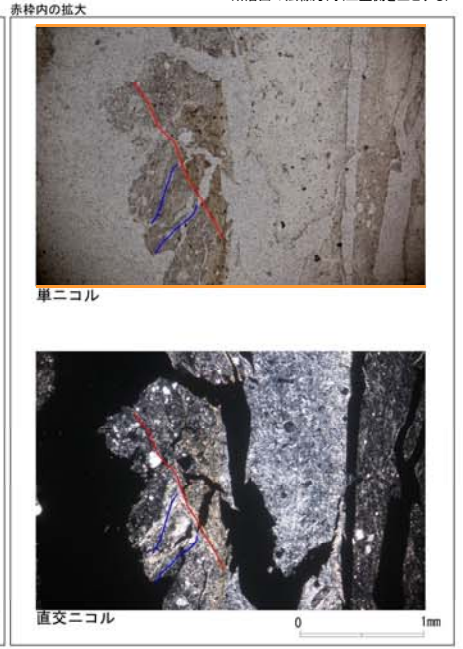


走向・傾斜 N26° E 78° W

X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）







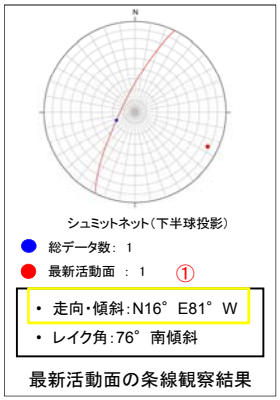
凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2(5)その他破砕帯

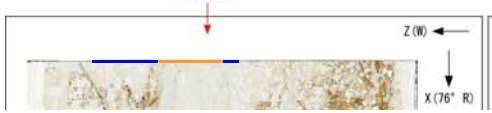
D－3破砕帯　薄片試料観察（H27-Br-1　深度35.85m）

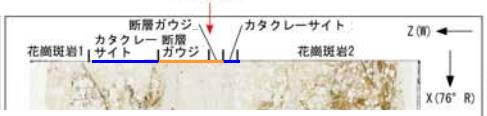
第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

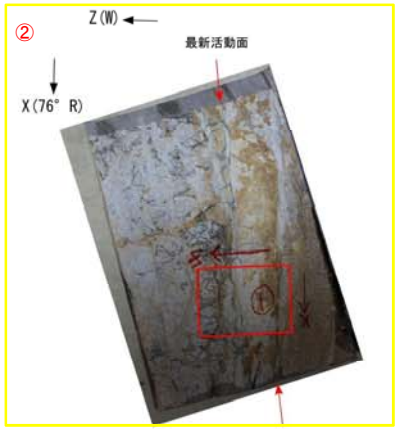
H27-Br-1のボーリングコア（深度35.85m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果

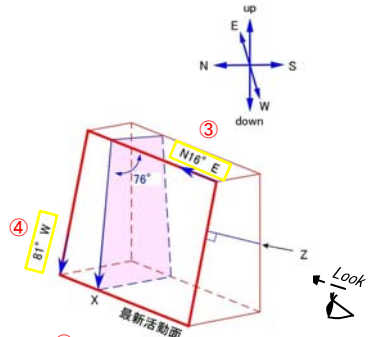






ブロックサンプル　0　5cm

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N16° E 81° W

X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）

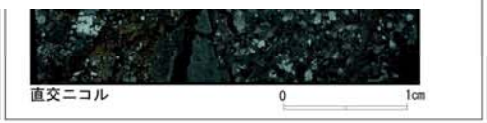
99（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向・傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。

100（分類F）②
ブロックサンプルの写真を他の資料と体裁を合わせて回転させた。

101（分類A）③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本図に反映していなかった。

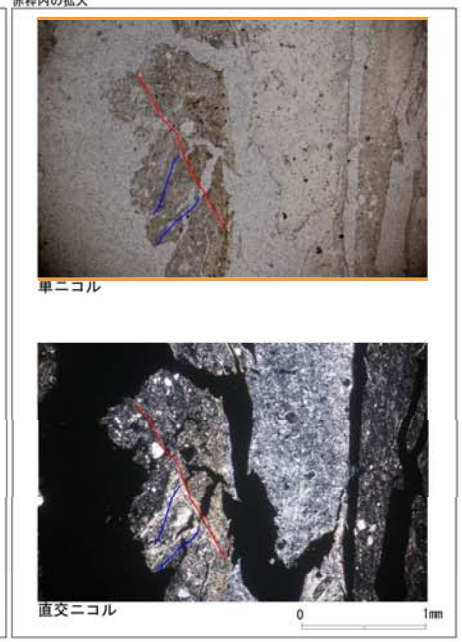
102（分類A）④
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。

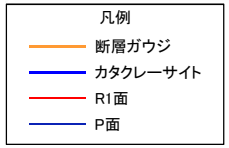
103（分類A）⑤
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向・傾斜を修正した結果を本図に反映していなかった。



赤枠内の拡大

赤枠内の拡大

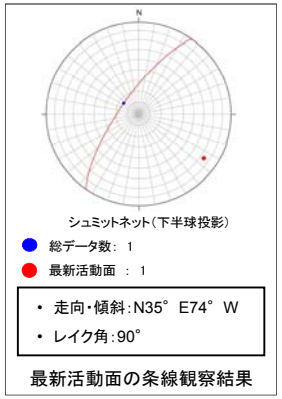




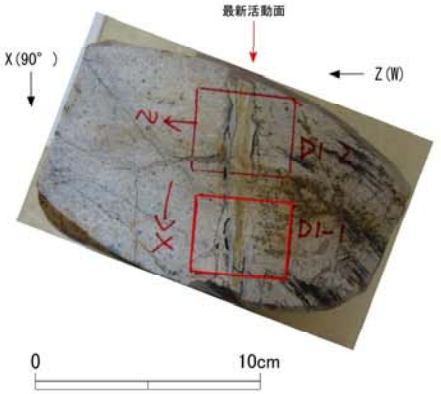
2.2(5)その他破砕帯

D－4破砕帯　薄片試料観察（H27-D5-1　深度22.90m）

H27-D5-1のボーリングコア（深度22.90m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

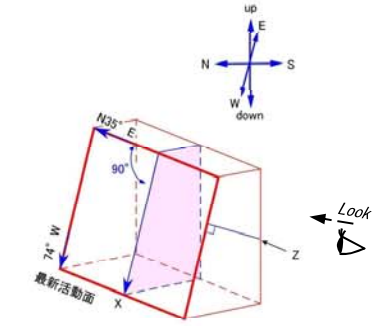


最新活動面の条線観察結果



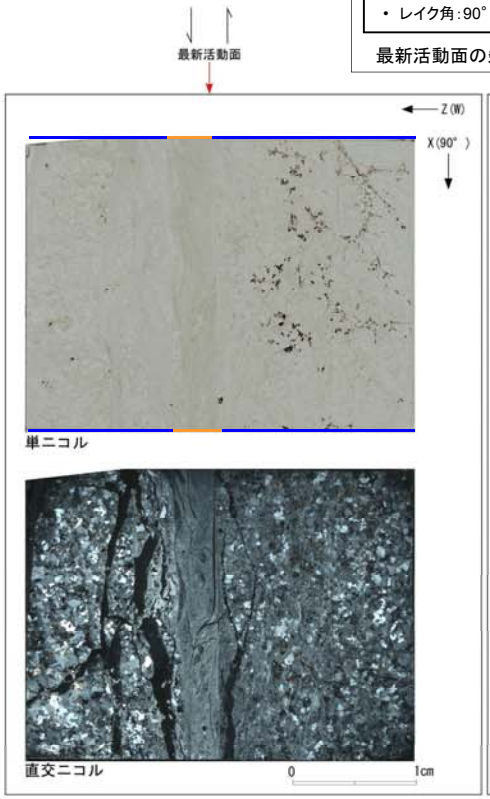
ブロックサンプル

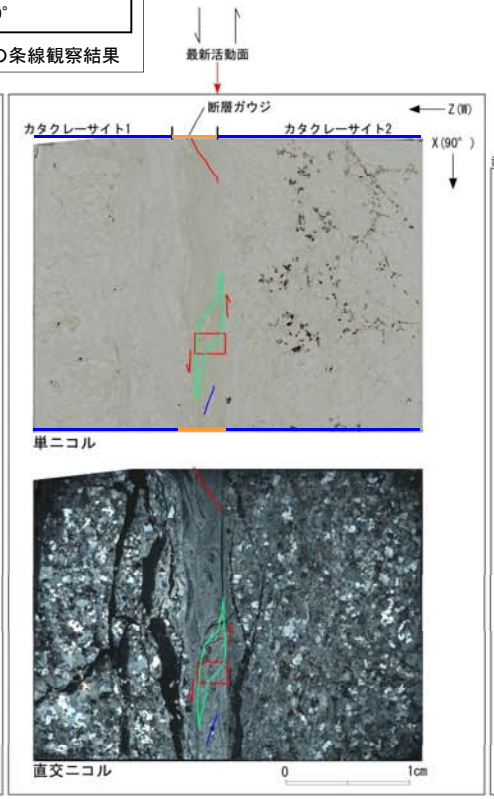
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

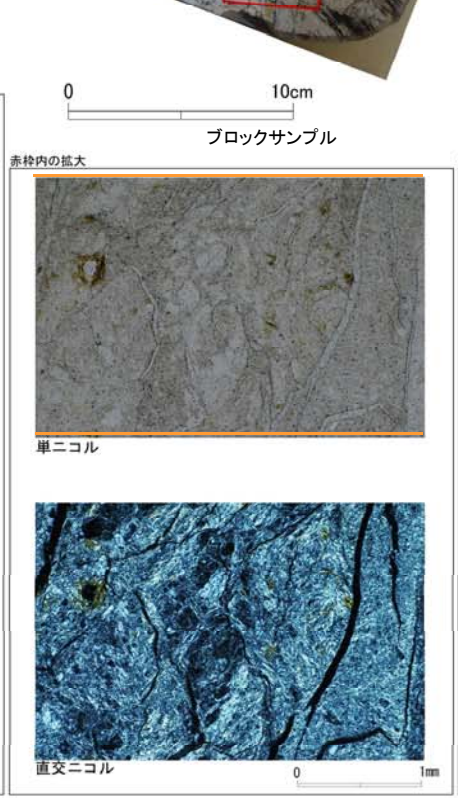


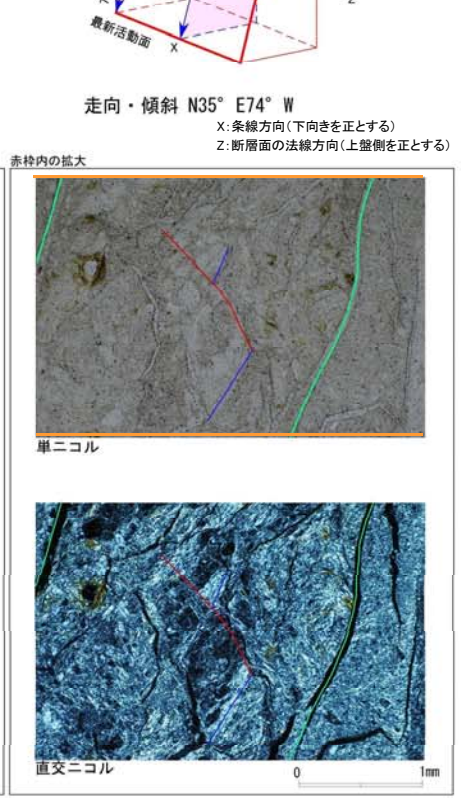
走向・傾斜 N35° E74° W

X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2(5)その他破砕帯

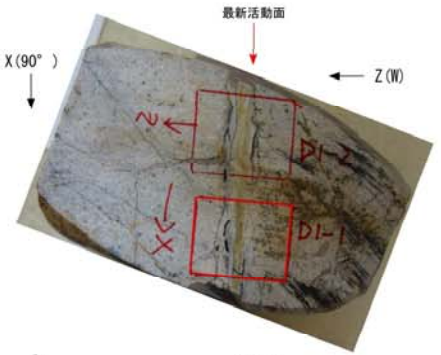
D－4破砕帯　薄片試料観察（H27-D5-1　深度22.91m）

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

H27-D5-1のボーリングコア（深度22.91m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

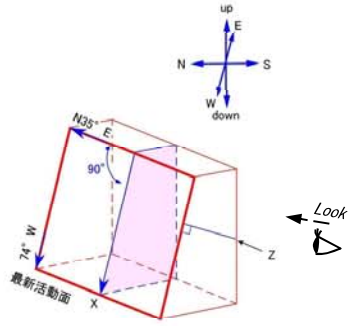
104，105（分類A）①
最新活動面の深度が，性状一覧表の最新活動面の位置と合っていなかったため修正した。

最新活動面の条線観察結果

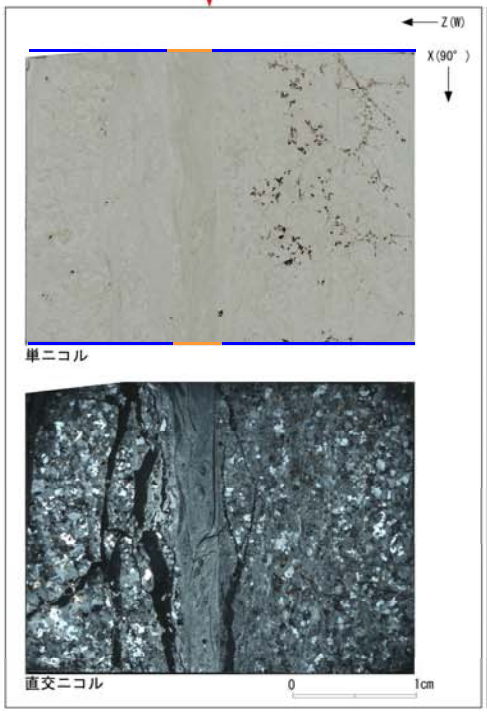


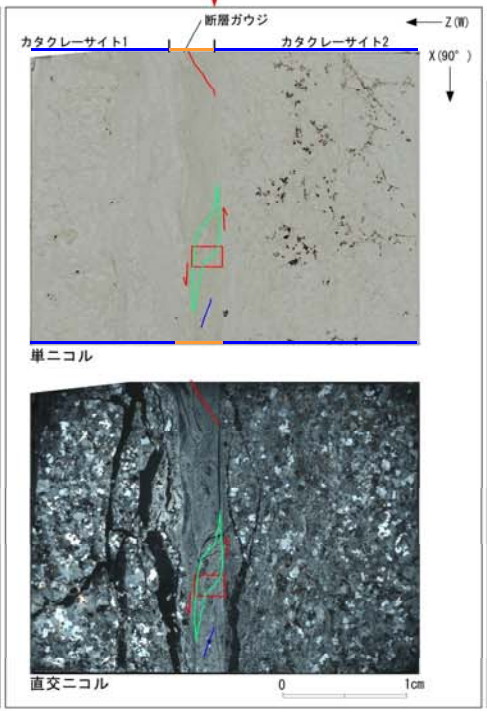
ブロックサンプル

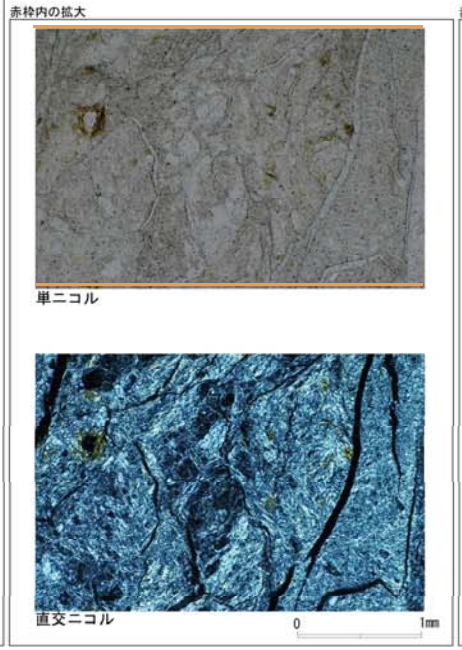
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

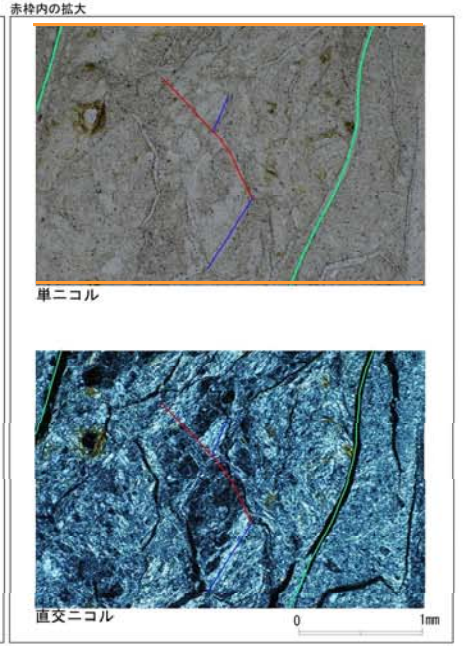


走向・傾斜 N35° E74° W
X：条線方向（下向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）







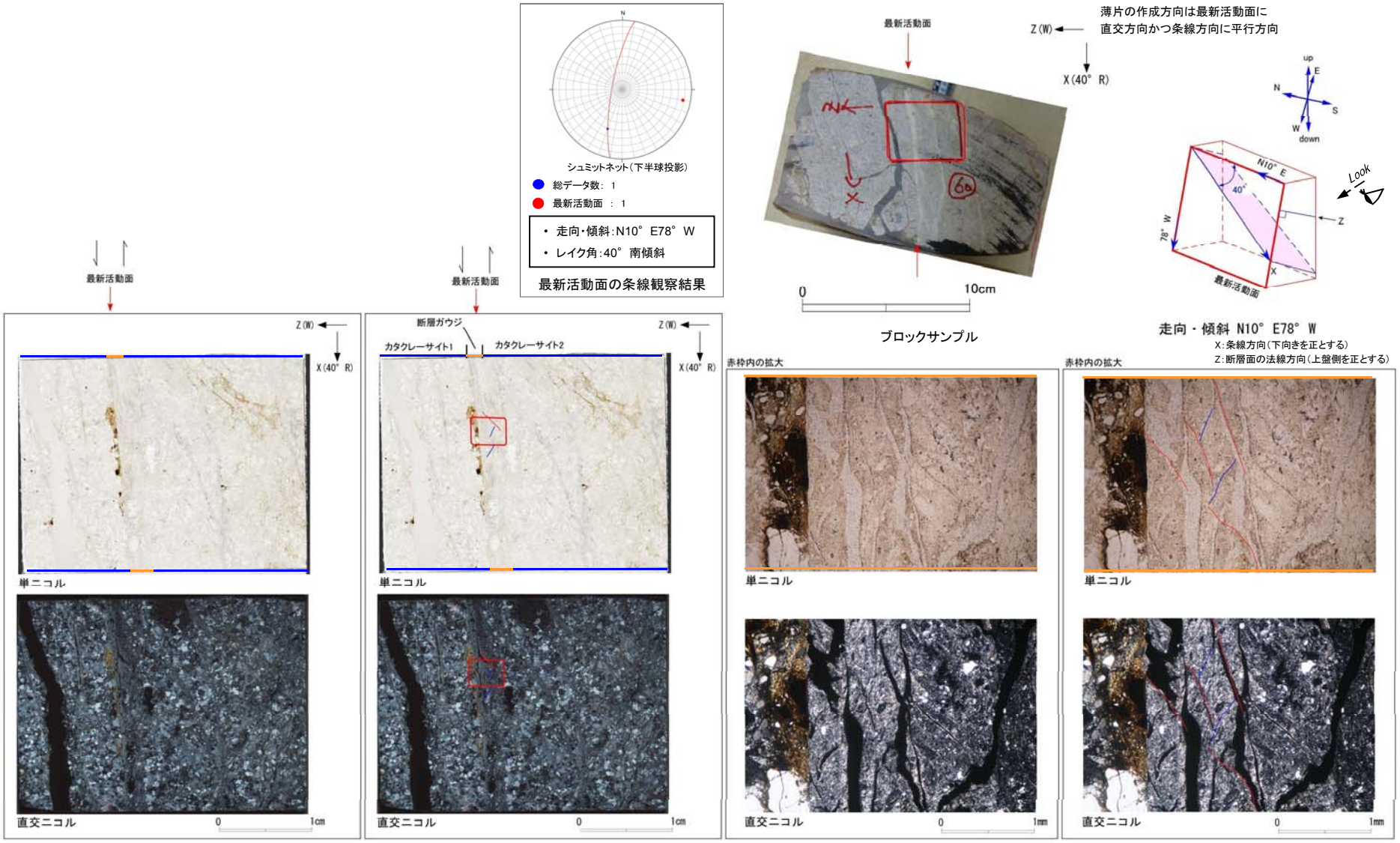


凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

2.2(5)その他破砕帯

H－7破砕帯　薄片試料観察(H27-B-4　深度93.13m)

H27-B-4のボーリングコア(深度93.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれを伴う正断層成分が卓越する。



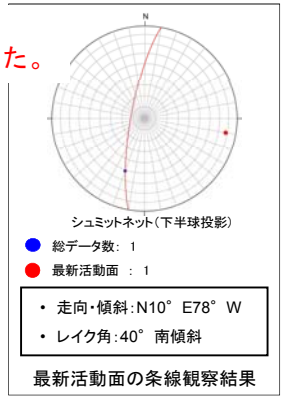
2.2(5)その他破砕帯

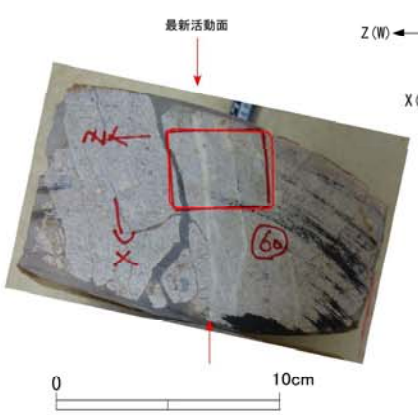
H－7破砕帯　薄片試料観察(H27-B-4　深度93.13m)

第536回審査会合
机上配付資料1 修正後

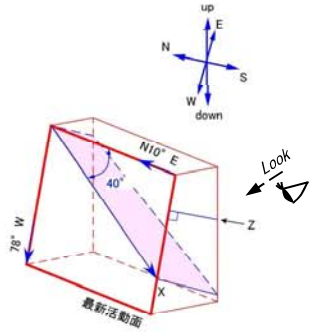
H27-B-4のボーリングコア(深度93.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，左ずれを伴う正断層成分が卓越する。

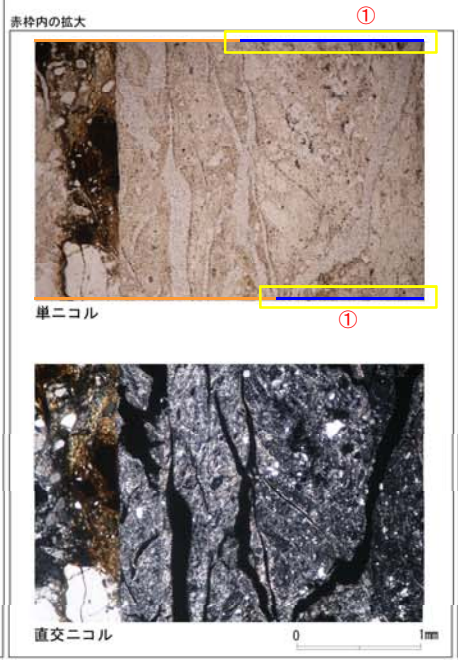
106(分類E)①
拡大写真にカタクレーサイトの分布位置を表示し忘れた。

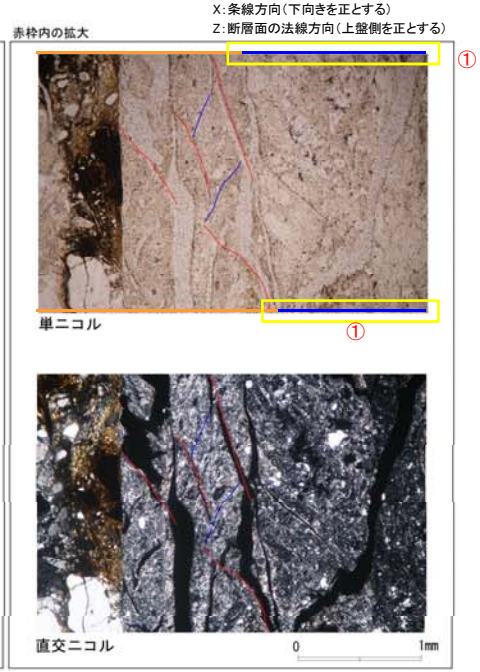




薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向







凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

第657回審査会合
資料1 修正前

破砕帯の連続性評価について

②－1　具体的プロセスの提示方法（連続性評価結果の具体的提示方法）

連続性検討においては，他の破砕帯が横断しているか否か（※1）や下記の特徴を考慮している。

破砕幅（※2），破砕部の構造的特徴（カタクレーサイト中の構造の特徴）や周辺岩盤の破砕の影響の程度（※3），熱水変質等の規模や特徴（※4）
（次頁参照）

○：起点破砕部と連続すると判断した破砕部
×：起点破砕部と連続しないと判断した破砕部

連続性評価結果（例）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

連続性評価がなされている破砕帯とは連続しないものと判断（グレーハッチ）。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

「断層ガウジ・断層角礫の有無」，「明瞭なせん断・変形構造の有無」の類似性の判断

	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無
起点破砕部	無	－	有	無	有	有
候補とする破砕部	無	－	無	－	無	－
候補とする破砕部	有	無	有	無	有	無
候補とする破砕部	有	有	有	有	有	有

※　「カタクレーサイトからなる破砕部」と「断層ガウジ又は断層角礫を伴い，明瞭なせん断構造・変形構造が認められる破砕部」の組み合わせ（グレーハッチ）以外については，連続する可能性があるものとする（ブルーハッチ又はブルー枠）。
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い，明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」には，
－『「カタクレーサイトからなる破砕部」が熱水変質作用等によって軟質化した場合』
－『「断層ガウジ又は断層角礫を伴う破砕部」が場所的変化によって明瞭なせん断構造・変形構造を呈していない場合』
のいずれかの可能性があることから，
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い，明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」はいずれの性状の破砕部とも連続する可能性があると判断する。

条線方向及び変位センスの類似性の判断

（類似していると判断する場合）
- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以内※，かつ鉛直方向又は水平方向のセンスが同じ場合
- 条線方向が得られておらず，かつ8等分した変位センスが起点と当該破砕部とで隣り合う場合

N：正断層　N,RL：正断層右ずれ　N,LL：正断層左ずれ
RL：右ずれ　LL：左ずれ
R：逆断層　R,RL：逆断層右ずれ　R,LL：逆断層左ずれ

8等分した変位センス

（類似していないと判断する場合）
- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以上の場合
- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以内であるが，鉛直方向及び水平方向のセンスが逆の場合

※ 破砕部の走向・傾斜の変動（平均的な走向・傾斜±20°の範囲）及び過去の広域応力場の方向の変動（第536回審査会合，資料2，p.61参照）を踏まえて求めた理論的な条線方向の変動幅に基づき設定

破砕帯の連続性評価について

②－1　具体的プロセスの提示方法（連続性評価結果の具体的提示方法）

第657回審査会合
資料1 修正後

連続性検討においては，他の破砕帯が横断しているか否か（※1）や下記の特徴を考慮している。

破砕幅（※2），破砕部の構造的特徴（カタクレーサイト中の構造の特徴）や周辺岩盤の破砕の影響の程度（※3），熱水変質等の規模や特徴（※4）
（次頁参照）

○：起点破砕部と連続すると判断した破砕部
×：起点破砕部と連続しないと判断した破砕部

連続性評価結果（例）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	① N	② ×	非モデル化	参考2-191	※3 ②
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

連続性評価がなされている破砕帯とは連続しないものと判断（グレーハッチ）。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内

107（分類D）①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

108，109（分類D）②
変位センスを正しい記載にしたことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

「断層ガウジ・断層角礫の有無」，「明瞭なせん断・変形

	断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	断層ガウジ・断層角礫の有無			
起点破砕部	無	―	有	無	有	有
候補とする破砕部	無	―	無	―	無	―
候補とする破砕部	有	無	有	無	有	無
候補とする破砕部	有	有	有	有	有	有

※　「カタクレーサイトからなる破砕部」と「断層ガウジ又は断層角礫を伴い，明瞭なせん断構造・変形構造が認められる破砕部」の組み合わせ（グレーハッチ）以外については，連続する可能性があるものとする（ブルーハッチ又はブルー枠）。
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い，明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」には，
― 『「カタクレーサイトからなる破砕部」が熱水変質作用等によって軟質化した場合』
― 『「断層ガウジ又は断層角礫を伴う破砕部」が場所的変化によって明瞭なせん断構造・変形構造を呈していない場合』
のいずれかの可能性があることから，
「断層ガウジ又は断層角礫を伴い，明瞭なせん断構造・変形構造が認められない破砕部」はいずれの性状の破砕部とも連続する可能性があると判断する。

- 条線方向が得られておらず，かつ8等分した変位センスが起点と当該破砕部とで隣り合う場合

N：正断層　N,RL：正断層右ずれ　N,LL：正断層左ずれ
RL：右ずれ　LL：左ずれ
R：逆断層　R,RL：逆断層右ずれ　R,LL：逆断層左ずれ

8等分した変位センス

（類似していないと判断する場合）
- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以上の場合
- 起点と当該破砕部の条線方向の差が±45°以内であるが，鉛直方向及び水平方向のセンスが逆の場合

※ 破砕部の走向・傾斜の変動（平均的な走向・傾斜±20°の範囲）及び過去の広域応力場の方向の変動（第536回審査会合，資料2，p.61参照）を踏まえて求めた理論的な条線方向の変動幅に基づき設定

破砕帯の連続性評価について

②－２－１－１　具体的プロセスの例示（連続性評価結果）

第657回審査会合
資料1 修正前

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	該当破砕帯なし															
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	無	-	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	無	-	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	無	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

破砕帯の連続性評価について

②－２－１－１　具体的プロセスの例示（連続性評価結果）

第657回審査会合
資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	該当破砕帯なし															
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	① 有	② 無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	① 有	② 無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	③ 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	④ R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

110，112（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

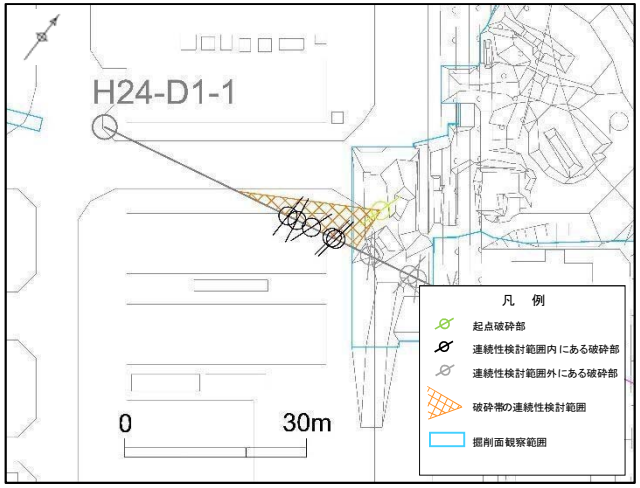
111，113（分類A）②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

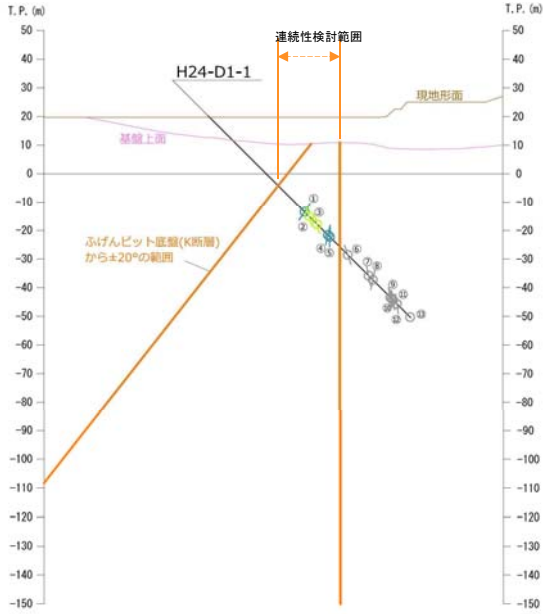
114（分類A）③
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

115（分類D）④
変位センスについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

②－2－1－1　具体的プロセスの例示（事例：K断層）（K断層のふげん道路ピット南方への連続性評価）

ふげん道路ピット南方への連続性評価の結果，H24-D1-1孔には，連続する破砕部は認められない。



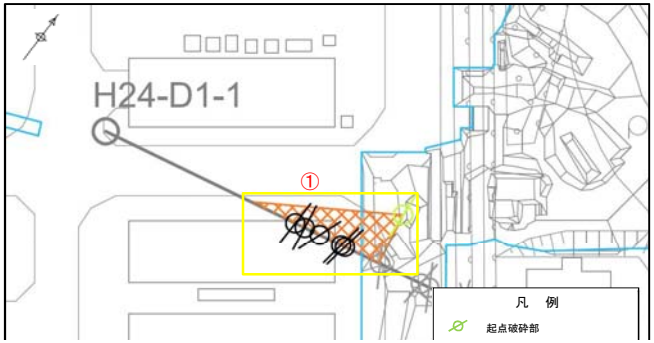


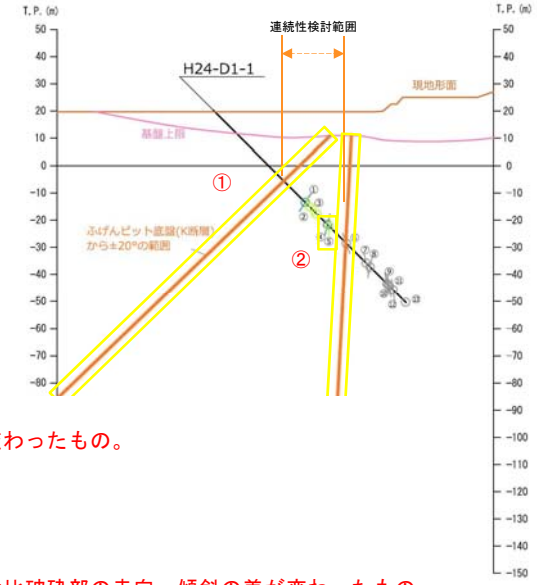
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	連続性検討結果に関する備考
ふげん道路ピット底盤	-	-	⑪	EL+14.0m		N17E		78W		有	有	-	R		K断層	
-	H24-D1-1	範囲内	①	45.91	48.28	N1E	16	58W	20	有	無	30R	LL		非モデル化	
			②	49.20	49.91	N9W	26	74E	28	有	無	90	N		非モデル化	
			③	53.77	54.54	N20E	3	77E	25	有	無	75R	N		非モデル化	
			④	58.96	59.30	N8E	9	78W	0	有	無	85R	N		非モデル化	
			⑤	60.12	60.15	N9E	8	88W	10	有	有	80L	N		D-1	
		範囲外	⑥	68.84	69.00	N31W	48	72NE	30	無	-	85L	N		非モデル化	
			⑦	78.77	79.19	N4E	13	78E	24	無	-	45R	-		非モデル化	
			⑧	81.20	81.42	N29W	46	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	
			⑨	89.91	89.95	N22W	39	80E	22	有	無	35L	N,RL		D-33	
			⑩	90.26	90.84	N53W	70	80NE	22	有	有	75L	N		f-d1-1-10	
			⑪	91.26	91.52	N31E	14	83SE	19	有	無	75L	N		f-d1-1-11	
			⑫	93.12	93.24	N11E	6	83E	19	有	無	85L	N		非モデル化	
			⑬	99.68	99.71	-	-	-	-	有	無	90	N		非モデル化	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

②－２－１－１ 具体的プロセスの例示（事例：K断層）（K断層のふげん道路ピット南方への連続性評価）

ふげん道路ピット南方への連続性評価の結果，H24-D1-1孔には，連続する破砕部は認められない。





116，117(分類D)①
転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，±20°範囲が変わったもの。
118(分類D)②
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
119～121(分類A)③
破砕帯範囲，走向・傾斜について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
122，123，125～130，133～136，138，139，143～152(分類D)④
転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	連続性検討結果に関する備考
ふげん道路ピット底盤	-	-	⑪	③ EL+14.8m		③N5W		③67W		有	有	-	R		K断層	
-	H24-D1-1	範囲内	①	45.91	48.28	N1E	④ 6	58W	④ 9	有	無	30R	⑤ N, LL		非モデル化	
			②	49.20	49.91	N9W	④ 4	74E	④ 39	有	無	90	N		非モデル化	
			③	53.77	54.54	N20E	④ 25	77E	④ 36	有	無	75R	N		非モデル化	
			④	58.96	59.30	N8E	④ 13	78W	④ 11	有	無	⑥ -	N		非モデル化	
			⑤	60.12	60.15	⑦N9E	④ 14	88W	④ 21	有	有	80L	N		D-1	
		範囲外	⑥	68.84	69.00	N31W	④ 26	72NE	④ 41	無	-	85L	⑧ R		非モデル化	
			⑦	78.77	79.19	N4E	④ 9	78E	④ 35	⑨ 有	⑩ 無	45R	⑧ R,RL		非モデル化	
			⑧	81.20	81.42	N29W	④ 24	79W	④ 12	有	無	0	LL		非モデル化	
			⑨	89.91	89.95	N22W	④ 17	80E	④ 33	有	無	35L	N,RL		D-33	
			⑩	90.26	90.84	N53W	④ 48	80NE	④ 33	有	有	75L	N		f-d1-1-10	
			⑪	91.26	91.52	N31E	④ 36	83SE	④ 30	有	無	75L	N		f-d1-1-11	
			⑫	93.12	93.24	N11E	④ 16	83E	④ 30	有	無	85L	N		非モデル化	
			⑬	99.68	99.71	-	-	-	-	有	無	90	N		非モデル化	

124(分類D)⑤
変位センスについて，転記元の柱状図から転記したが，転記元の記載が誤っていたため正しい記載に修正したもの。
131(分類A)⑥
条線方向について，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
132(分類D)⑦
転記ミスによって発生した起点破砕部の走向・傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向・傾斜の差が変わり，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，表の該当箇所の着色が変わったもの。

137，142(分類A)⑧
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
140(分類A)⑨
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
141(分類A)⑩
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

破砕帯の連続性評価について

③ 連続性評価結果

第657回審査会合
資料1 修正前

【3条対象破砕帯】

No.	破砕帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	D-1	伴う
2	D-2	伴う
3	D-3	伴う
4	D-4	伴う
5	D-5	伴う
6	D-6	伴う
7	D-7	伴う
8	D-19	伴う
9	D-20	伴う
10	D-24	伴う
11	D-38	伴う
12	D-39	伴う
13	D-43	伴う
14	D-46	伴う
15	f-2-7	伴う
16	f-2-8	伴う
17	f-4-12	伴う
18	f-6-2	伴う
19	f-12-10	伴う
20	f-14-1	伴わない
21	f-14-2	伴う
22	f-15-2	伴う
23	f-15-3	伴う
24	f-①-1-3	伴う
25	f-①-10-2	伴わない
26	f-②-1-1	伴う
27	f-④-2-1	伴う
28	f-④-3-1	伴う
29	f-④-6-3	伴う
30	f-④-6-4	伴う

No.	破砕帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
31	f-b8-34-2	伴う
32	f-b11-1-1	伴う
33	f-b11-2-2	伴う
34	H-2	伴う
35	H-2'	伴う
36	H-3a	伴う
37	H-3b	伴わない
38	H-3c	伴う
39	H-3d	伴う
40	H-3e	伴う
41	H-4	伴う
42	H-4'	伴う
43	H-5	伴う
44	H-6c	伴う
45	H-7	伴う
46	f-br-1-2	伴う
47	f-br-6-1	伴う
48	f-br-12-1	伴う
49	f-br-12-2	伴う
50	f-br-12-3	伴う
51	f-d5-1-4	伴う
52	H24-B11-1,④※	伴う
53	H24-B11-1,⑤※	伴わない

※非モデル化

【3条対象破砕帯となり得る可能性のある破砕帯】

No.	破砕帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	f-18-2	伴う
2	f-15-1	伴う
3	f-2-3	伴う
4	f-14-5	伴う
5	f-2-12	伴う
6	f-br-1-3	伴う
7	f-8-11	伴う
8	f-br-5-1	伴う
9	f-④-5-3	伴う
10	H20-①-5,②※	伴わない
11	H20-①-6,②※	伴わない
12	H27-Br-4,①※	伴わない
13	H27-Br-8,②※	伴わない
14	H27-Br-9,①※	伴う

※非モデル化

破砕帯の連続性評価について

③ 連続性評価結果

第657回審査会合
資料1 修正後

【3条対象破砕帯】

No.	破砕帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	D-1	伴う
2	D-2	伴う
3	D-3	伴う
4	D-4	伴う
5	D-5	伴う
6	D-6	伴う
7	D-7	伴う
8	D-19	伴う
9	D-20	伴う
10	D-24	伴う
11	D-38	伴う
12	D-39	伴う
13	D-43	伴う
14	D-46	伴う
15	f-2-7	伴う
16	f-2-8	伴う
17	f-4-12	伴う
18	f-6-2	伴う
19	f-12-10	伴う
20	f-14-1	① 伴う
21	f-14-2	伴う
22	f-15-2	伴う
23	f-15-3	伴う
24	f-①-1-3	伴う
25	f-①-10-2	伴わない
26	f-②-1-1	伴う
27	f-④-2-1	伴う
28	f-④-3-1	伴う
29	f-④-6-3	伴う
30	f-④-6-4	伴う

No.	破砕帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
31	f-b8-34-2	伴う
32	f-b11-1-1	伴う
33	f-b11-2-2	伴う
34	H-2	伴う
35	H-2'	伴う
36	H-3a	伴う
37	H-3b	① 伴う
38	H-3c	伴う
39	H-3d	伴う
40	H-3e	伴う
41	H-4	伴う
42	H-4'	伴う
43	H-5	伴う
44	H-6c	伴う
45	H-7	伴う
46	f-br-1-2	伴う
47	f-br-6-1	伴う
48	f-br-12-1	伴う
49	f-br-12-2	伴う
50	f-br-12-3	伴う
51	f-d5-1-4	伴う
52	H24-B11-1,④※	伴う
53	H24-B11-1,⑤※	伴わない

※非モデル化

153，154(分類A)①
断層ガウジ又は断層角礫が伴うかどうかについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

【3条対象破砕帯となり得る可能性のある破砕帯】

No.	破砕帯名 又は起点名	断層ガウジ 又は断層角礫
1	f-18-2	伴う
2	f-15-1	伴う
3	f-2-3	伴う
4	f-14-5	伴う
5	f-2-12	伴う
6	f-br-1-3	伴う
7	f-8-11	伴う
8	f-br-5-1	伴う
9	f-④-5-3	伴う
10	H20-①-5,②※	伴わない
11	H20-①-6,②※	伴わない
12	H27-Br-4,①※	伴わない
13	H27-Br-8,②※	伴わない
14	H27-Br-9,①※	伴う

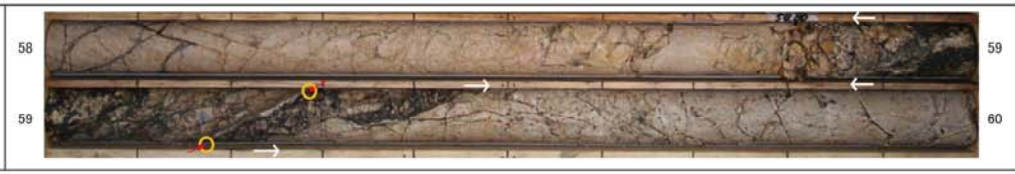
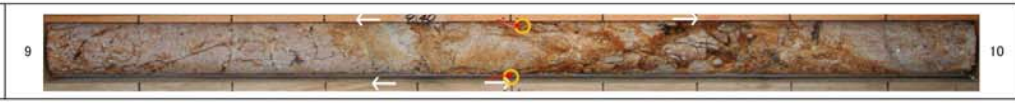
※非モデル化

第657回審査会合
資料1 修正前

カタクレーサイトからなる破砕帯の評価について

断層ガウジである可能性がある破砕部*の断層岩区分について（20）

＊ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破砕部

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真	評価
f-④-1-4	H20-④-9（鉛直）	23.95	24.33	N5E	78W	8.0	-	-	-	15L	-	-		カタクレーサイト
	H20-④-10（鉛直）	39.12	39.43	N18E	68W	24.0	-	-	-	25L	-	-		カタクレーサイト
	H20-④-1（鉛直）	58.87	59.39	N17E	70W	22.0	フィルム状	無	-	45R	-	-		断層ガウジ
f-④-2-1	H20-④-2（傾斜45°）	6.00	6.12	N86W	42S	10.0	12.0	無	-	-	-	-		断層ガウジ
	H20-④-1（鉛直）	9.33	9.61	N82W	45S	14.0	フィルム状	無	-	-	-	-		断層ガウジ
f-④-2-3	H20-④-9（鉛直）	20.72	20.85	N12E	67W	4.4	-	-	-	10L	-	-		カタクレーサイト
	H20-④-2（傾斜45°）	82.34	82.41	N4W	67W	2.5	-	-	-	5L	-	-		カタクレーサイト
f-④-3-1	H19-No.15（傾斜45°）	46.92	46.93	N20E	74W	1.0	フィルム状	無	-	73L	-	-		断層ガウジ

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所

第657回審査会合
資料1 修正後

カタクレーサイトからなる破砕帯の評価について

断層ガウジである可能性がある破砕部*の断層岩区分について(20)

＊ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破砕部

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真	評価
f-④-1-4	H20-④-9(鉛直)	23.95	24.33	N5E	78W	8.0	-	-	-	15L	-	-	23 24	カタクレーサイト
	H20-④-10(鉛直)	39.12	39.43	N18E	68W	24.0	-	-	-	25L	-	-	39 40	カタクレーサイト
	H20-④-1(鉛直)	58.87	59.39	N17E	70W	22.0	フィルム状	無	-	45R	-	-	58 59 59 60	断層ガウジ
f-④-2-1	H20-④-2(傾斜45°)	6.00	6.12	N86W	42S	10.0	10.0 ①	無	-	-	-	-	6 7	断層ガウジ
	H20-④-1(鉛直)	9.33	9.61	N82W	45S	14.0	フィルム状	無	-	-	-	-	9 10	断層ガウジ
f-④-2-3	H20-④-9(鉛直)	20.72	20.85	N12E	67W	4.4	-	-	-	10L	-	-	20 21	カタクレーサイト
	H20-④-2(傾斜45°)	82.34	82.41	N4W	67W	2.5	-	-	-	5L	-	-	82 83	カタクレーサイト
f-④-3-1	H19-No.15(傾斜45°)	46.92	46.93	N20E	74W	1.0	フィルム状	無	-	73L	-	-	46 47	断層ガウジ

155(分類A)①
断層ガウジ・断層角礫の幅について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所

第657回審査会合
資料1 修正前

カタクレーサイトからなる破砕帯の評価について

断層ガウジである可能性がある破砕部*の断層岩区分について（24）

＊ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破砕部

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真	評価
f-⑥-3-9	H20-⑥-1（鉛直）	36.61	36.69	N6W	74W	3.0	-	-	-	-	-	-	36 37	カタクレーサイト
	H20-⑥-3（鉛直）	57.72	58.02	N6E	62W	13.0	フィルム状	無	-	70R	-	-	57 58 58 59	断層ガウジ
f-⑥-4-1	H20-⑥-6（鉛直）	22.00	22.35	N23E	61W	19.0	1.0	無	-	65L	-	-	22 23	断層ガウジ
	H20-⑥-5（鉛直）	55.58	55.65	N27E	64W	2.8	-	無	-	75L	-	-	55 56	断層ガウジ
	H20-⑥-4（鉛直）	13.05	13.43	N3E	51W	26.0	フィルム状	無	-	20L	-	-	13 14	断層ガウジ
	H20-⑥-7（鉛直）	64.25	64.43	N14W	31W	15.0	1.5	無	-	80L	-	-	64 65	断層ガウジ
	H20-⑥-2（鉛直）	25.00	26.35	N40E	30NW	82.0	-	-	-	30R	-	-	25 26 26 27	カタクレーサイト
f-⑥-4-2	H20-⑥-2（鉛直）	35.47	35.55	N17E	47W	5.0	-	-	-	30R	-	-	35 36	カタクレーサイト

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所

第657回審査会合
資料1 修正後

カタクレーサイトからなる破砕帯の評価について

断層ガウジである可能性がある破砕部*の断層岩区分について（24）

＊ボーリングコアにおいてフィルム状の細粒部が認められる破砕部

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真	評価
f-⑥-3-9	H20-⑥-1（鉛直）	36.61	36.69	N6W	74W	3.0	-	-	-	-	-	-	36 → 37	カタクレーサイト
	H20-⑥-3（鉛直）	57.72	58.02	N6E	62W	13.0	フィルム状	無	-	70R	-	-	57 → 58 / 58 → 59	断層ガウジ
f-⑥-4-1	H20-⑥-6（鉛直）	22.00	22.35	N23E	61W	19.0	1.0	無	-	65L	-	-	22 → 23	断層ガウジ
	H20-⑥-5（鉛直）	55.58	55.65	N27E	64W	2.8	① フィルム状	無	-	75L	-	-	55 → 56	断層ガウジ
	H20-⑥-4（鉛直）	13.05	13.43	N3E	51W	26.0	フィルム状	無	-	20L	-	-	13 → 14	断層ガウジ
	H20-⑥-7（鉛直）	64.25	64.43	N14W	31W	15.0	1.5	無	-	80L	-	-	64 → 65	断層ガウジ
	H20-⑥-2（鉛直）	25.00	26.35	N40E	30NW	82.0	-	-	-	30R	-	-	25 → 26 / 26 → 27	カタクレーサイト
f-⑥-4-2	H20-⑥-2（鉛直）	35.47	35.55	N17E	47W	5.0	-	-	-	30R	-	-	35 → 36	カタクレーサイト

156（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

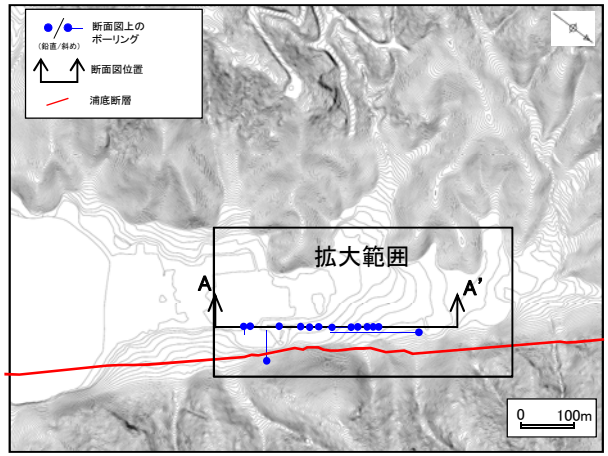
凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所

奥壺低地の第四系に含まれるテフラが上流側と下流側で分布標高が異なる成因について

テフラの分布標高差の成因

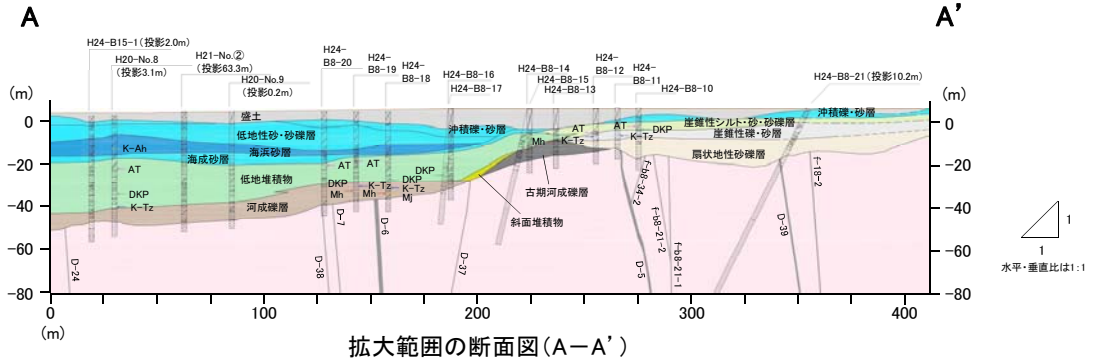
第657回審査会合
資料1 修正前

- 断面図の中央付近で岩盤の上面の標高が変化し，テフラの分布標高が異なることと破砕帯の活動性との関連性について検討した結果，以下に示す通り，少なくとも破砕帯の活動を示唆する形跡は認められない。
  - ✓ 当該断面付近に分布する破砕帯の延長位置の山地内には対応するリニアメントは認められない（文献による指摘もない）。
  - ✓ 岩盤の上面に破砕帯に対応するような系統的な標高差等の構造運動を示唆する形状は認められない。

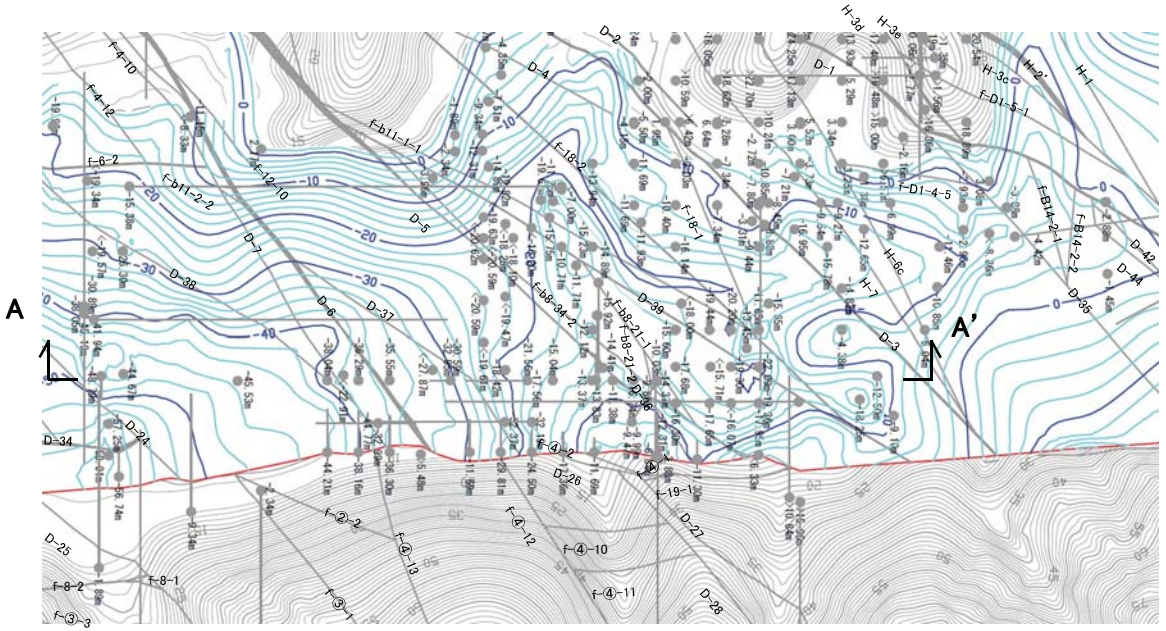


※浦底断層及び破砕帯はT.P.−15mの分布

断面位置図



拡大範囲の断面図（A－A’）



※浦底断層及び破砕帯は基盤上面の分布

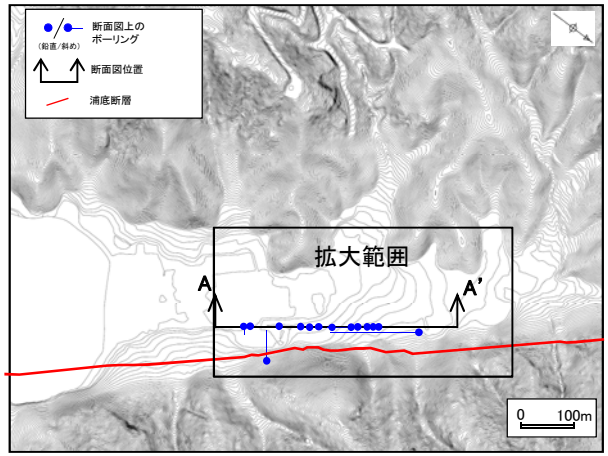
拡大範囲の平面図（岩盤の上面形状と破砕帯の関係）

奥壺低地の第四系に含まれるテフラが上流側と下流側で分布標高が異なる成因について

テフラの分布標高差の成因

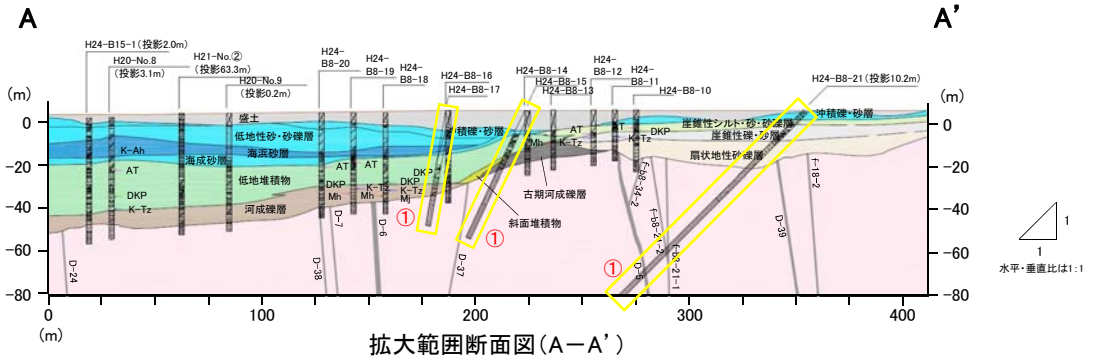
第657回審査会合
資料1 修正後

- 断面図の中央付近で岩盤の上面の標高が変化し，テフラの分布標高が異なることと破砕帯の活動性との関連性について検討した結果，以下に示す通り，少なくとも破砕帯の活動を示唆する形跡は認められない。
  - ✓ 当該断面付近に分布する破砕帯の延長位置の山地内には対応するリニアメントは認められない（文献による指摘もない）。
  - ✓ 岩盤の上面に破砕帯に対応するような系統的な標高差等の構造運動を示唆する形状は認められない。



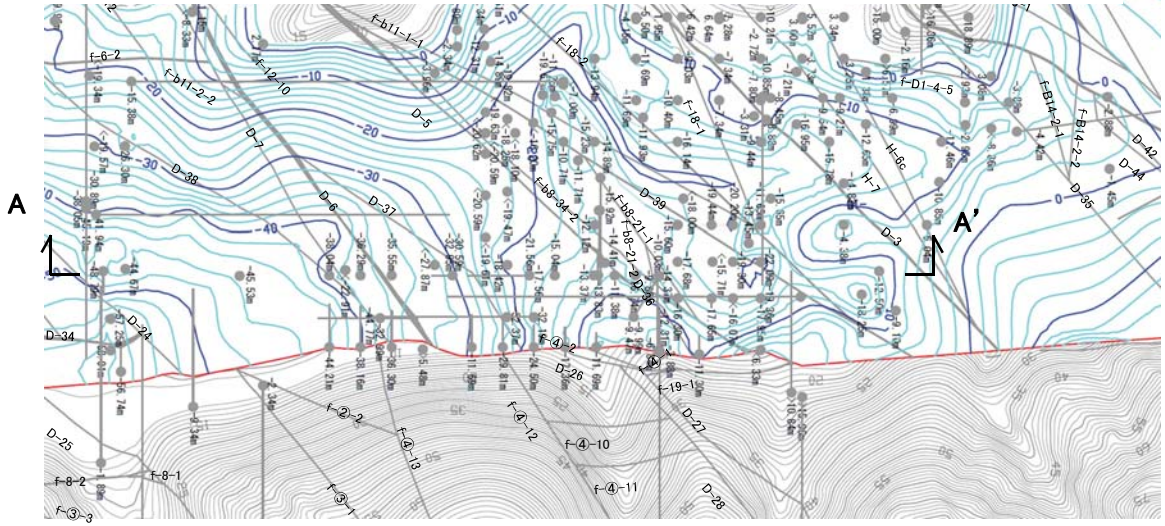
※浦底断層及び破砕帯はT.P.−15mの分布

断面位置図



拡大範囲断面図（A－A’）

157～159（分類Ｂ）①
岩盤上面の高まりと，破砕帯の位置関係を示したものであり，参考として周辺のボーリングの位置を示したもの。断面図の水平・垂直比を１：２から１：１に変換した際にボーリングの角度を変更し忘れたもの。



※浦底断層及び破砕帯は基盤上面の分布

拡大範囲の平面図（岩盤の上面形状と破砕帯の関係）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11.2m)		N21E		61W		有	有	68L	N		D-1		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	20	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	21	84W	23	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	11	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	17	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	10	77W	16	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	3	83W	22	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	11	79W	18	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	38	61N	58	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	20	80W	19	有	無	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

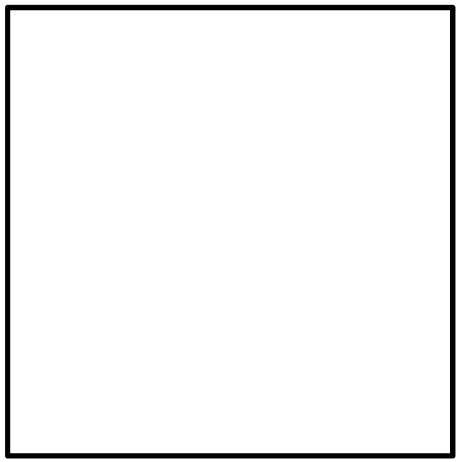
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11.2m)		N21E		61W		有	有	68L	N		D-1		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	20	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	21	84W	23	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	11	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	17	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	10	77W	16	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	3	83W	22	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	11	79W	18	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	38	61N	58	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	20	80W	19	有	① 有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

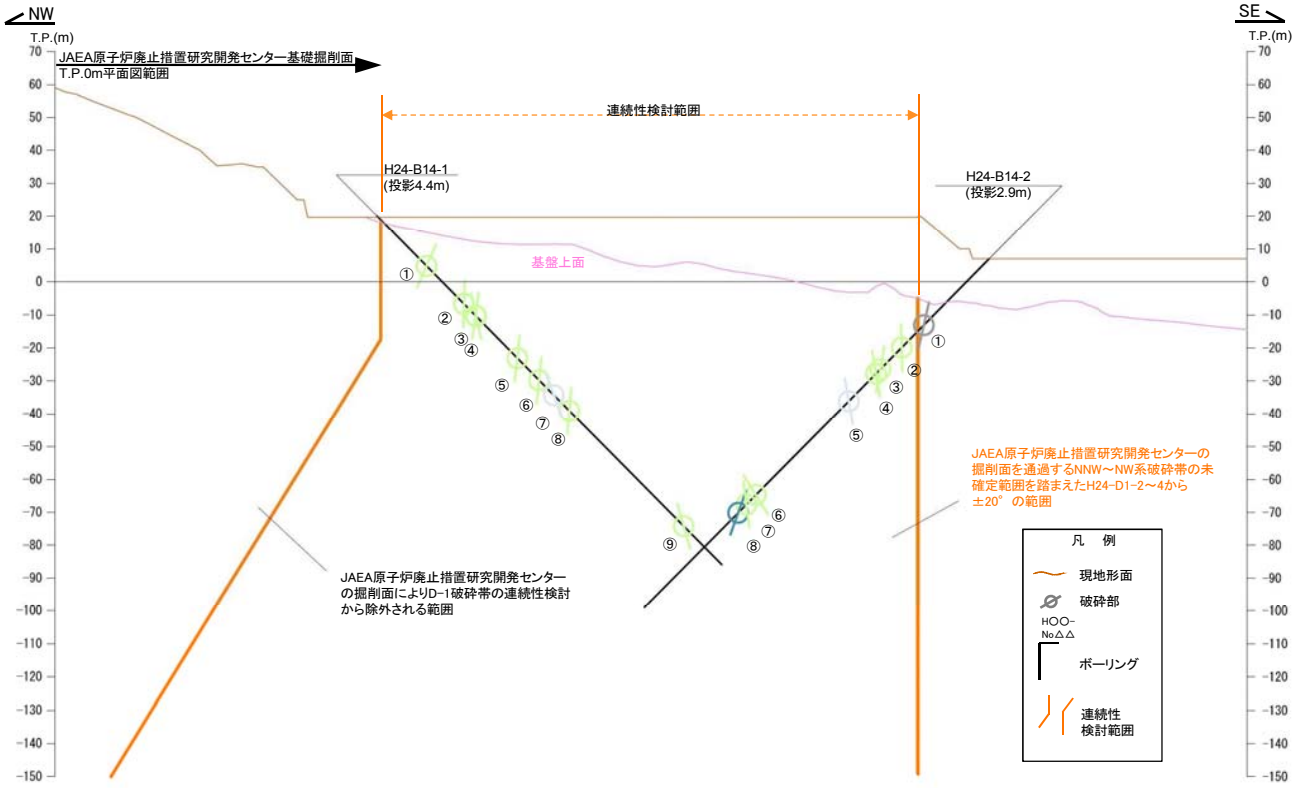
160（分類A）①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，
転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-2，①）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 検討断面位置
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 掘削面観察範囲
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-2，①）

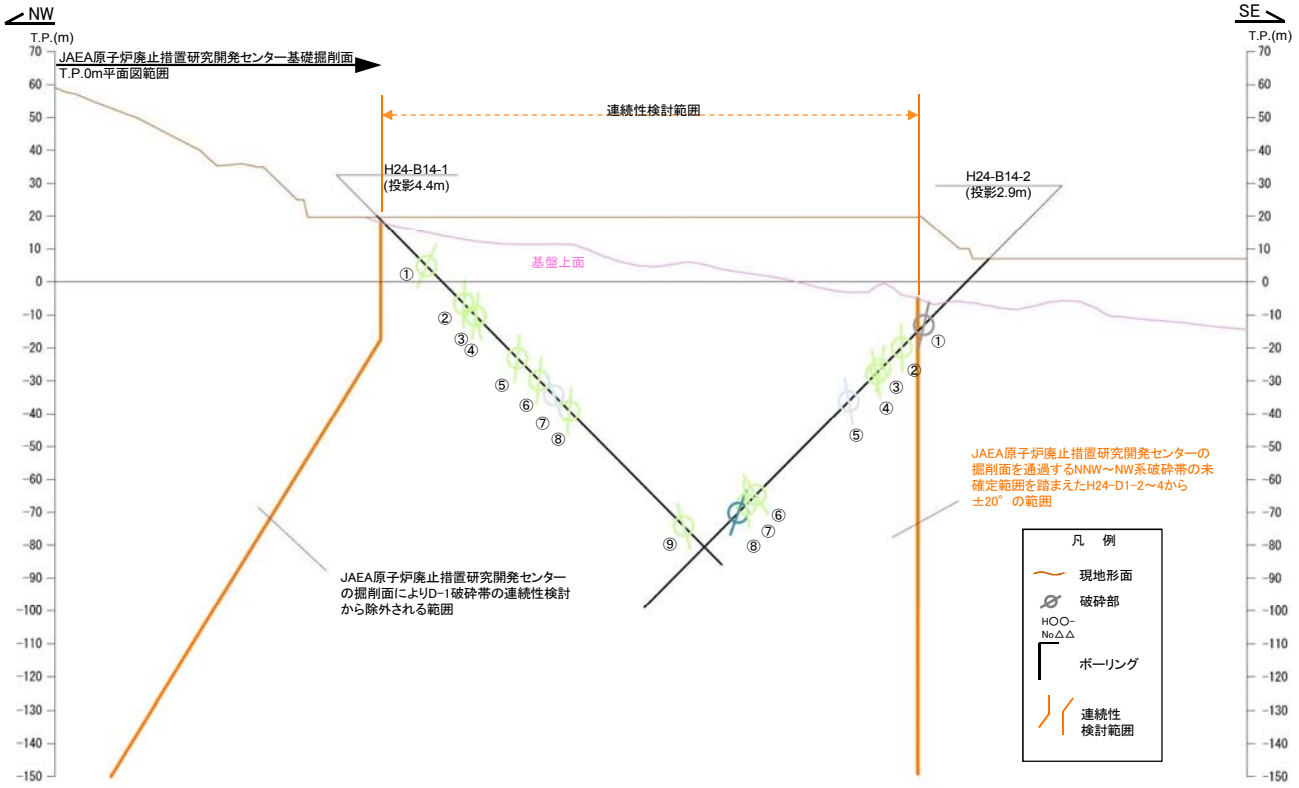
第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

②

161（分類E）①
他のページで使用している凡例を転用したものであるが，コピーする際に一部の記号が選択されていなかった。

162（分類E）②
方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが，貼り付けを忘れたもの。

拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

①

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-2，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	該当破砕帯なし															
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	無	-	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	無	-	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	無	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-2，①）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	該当破砕帯なし															
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	① 有	② 無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	① 有	② 無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	③ 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	④ R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

163，165（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

164，166（分類A）②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

167（分類A）③
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

168（分類D）④
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，②）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E		77W		有	有	6L	LL		H-7	参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	0	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	54	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	3	有	無	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，②）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

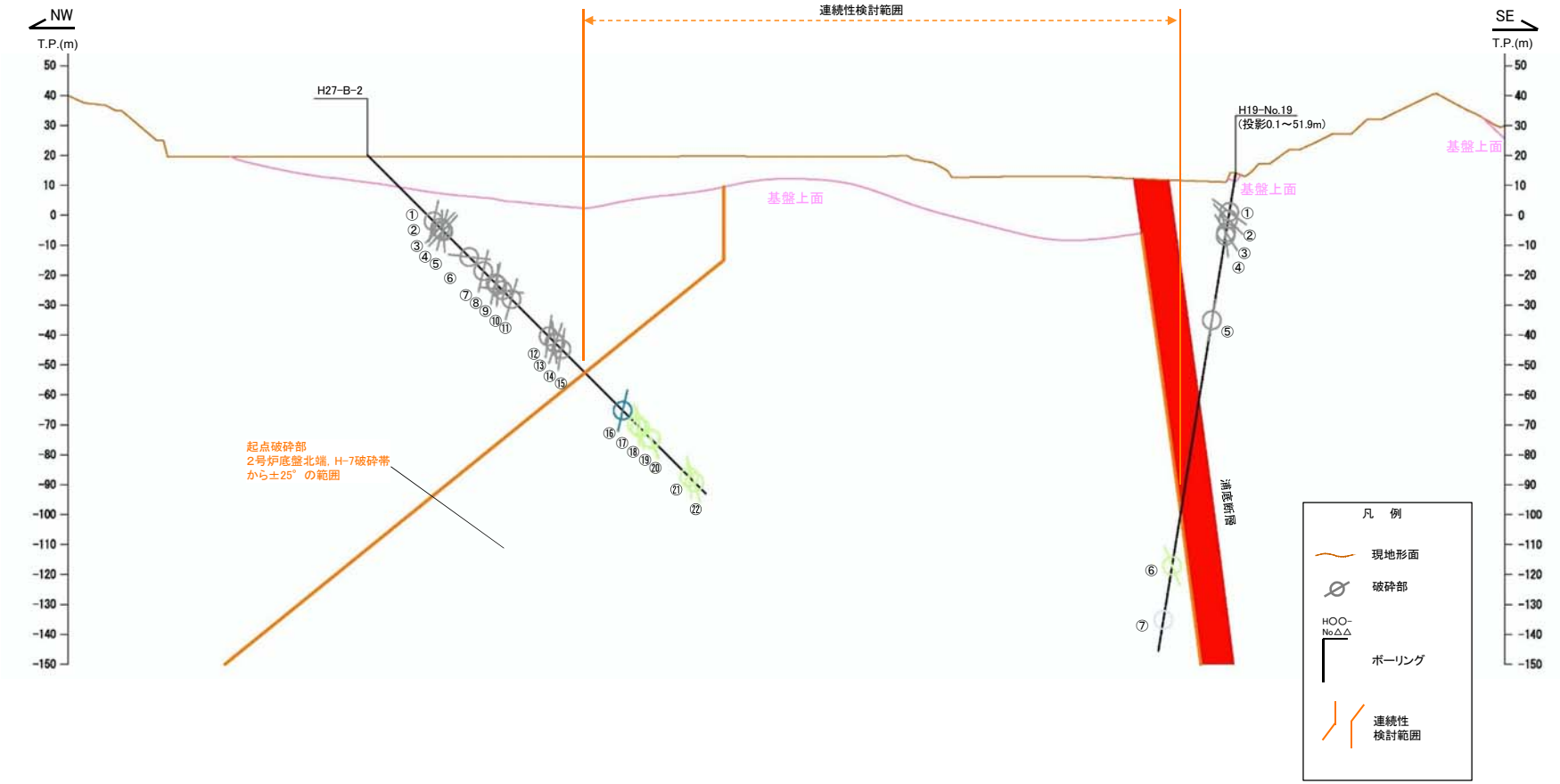
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E		77W		有	有	6L	LL		H-7	参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	0	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	54	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	3	有	① 有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

169(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，
転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

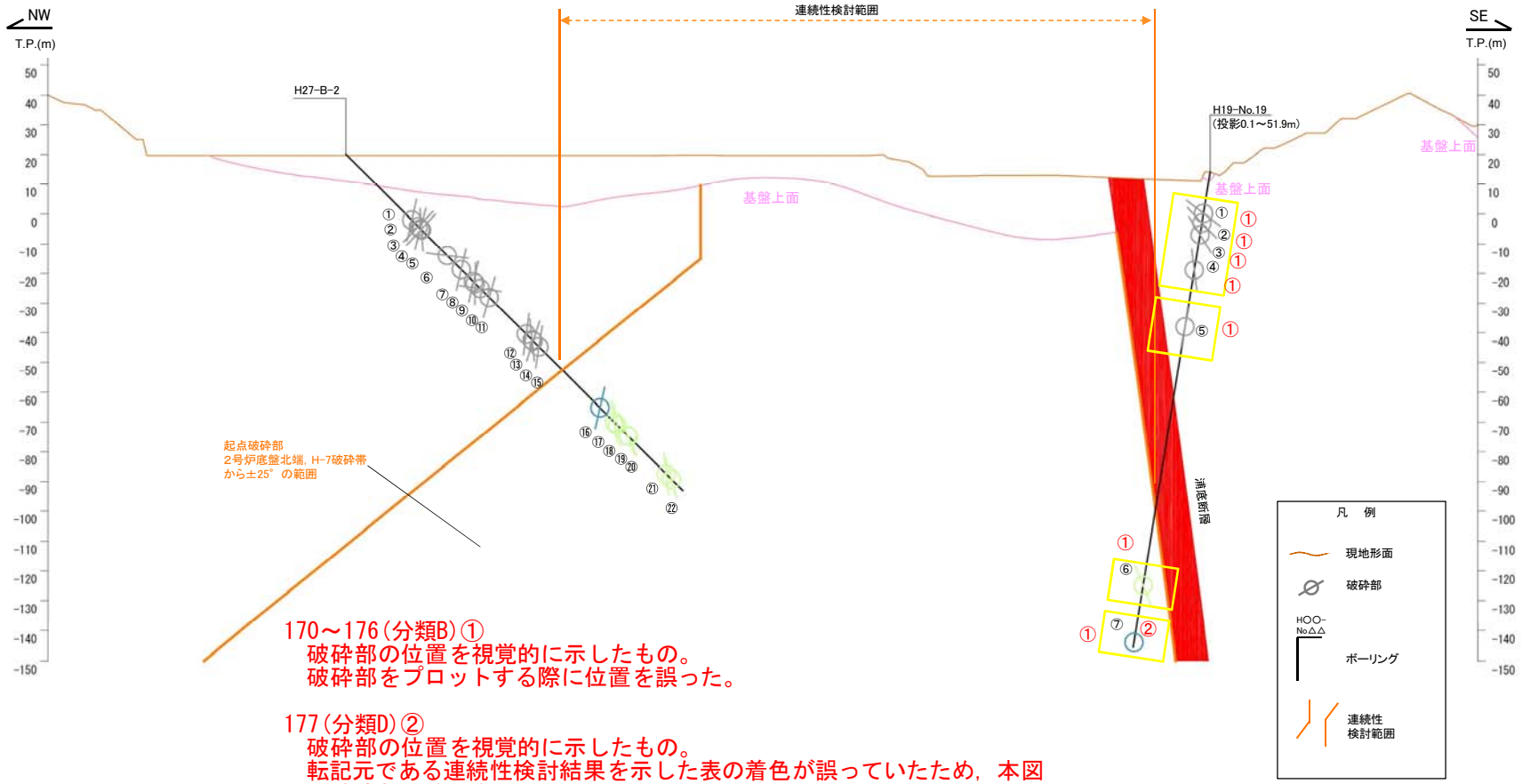


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



170～176（分類B）①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
破砕部をプロットする際に位置を誤った。

177（分類D）②
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-	-	-	-		H-7		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有	無	80L	N		非モデル化	2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	24	有	無	0	LL		非モデル化	2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	31	有	無	10R	RL		非モデル化	2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有	無	70R	N		非モデル化	2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL		非モデル化	2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL		非モデル化	2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL		非モデル化	2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	R		非モデル化	2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	90	-		非モデル化	2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N		非モデル化	2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	N		非モデル化	2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	無	30R	RL		非モデル化	2-195	
		範囲内	⑯	120.63	120.65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	LL	×	非モデル化	2-195	※3
			⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	13	81E	29	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
			㉑	152.10	152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL		f-b-2-21	参考2-178	
			㉒	154.53	154.71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N		f-b-2-22	参考2-178	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-	-	-	-		H-7		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有	無	80L	N		非モデル化	①参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	24	有	無	0	LL		非モデル化	①参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	31	有	無	10R	RL		非モデル化	①参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有	無	70R	N		非モデル化	①参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL		非モデル化	①参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL		非モデル化	①参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL		非モデル化	①参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	②R,RL		非モデル化	①参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	③-	-		非モデル化	①参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N		非モデル化	①参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	②N,RL		非モデル化	①参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	有	30R	②R,RL		非モデル化	①参考2-195	
		範囲内	⑯	120.63	120.65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	②R,LL	×	非モデル化	①参考2-195	※3
			⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	13	81E	29	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	①参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
			㉑	152.10	152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL		f-b-2-21	参考2-178	
			㉒	154.53	154.71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N		f-b-2-22	参考2-178	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	⑤有	無	-	-	④×	非モデル化	参考2-187④	※2

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

178，179（分類E）①
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，記載元の性状一覧表から転記したが，「参考」を付け忘れたもの。

180～183（分類D）②
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

184（分類A）③
条線方向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

185，186（分類D）④
表の着色の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

187（分類E）⑤
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	×	M	参考2-175	※4
			⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑦	76.94	77.03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	48	88S	22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	×	M	参考2-175	※4
			⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑦	76.94	77.03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	48	88S	22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	有	無	40R	① R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

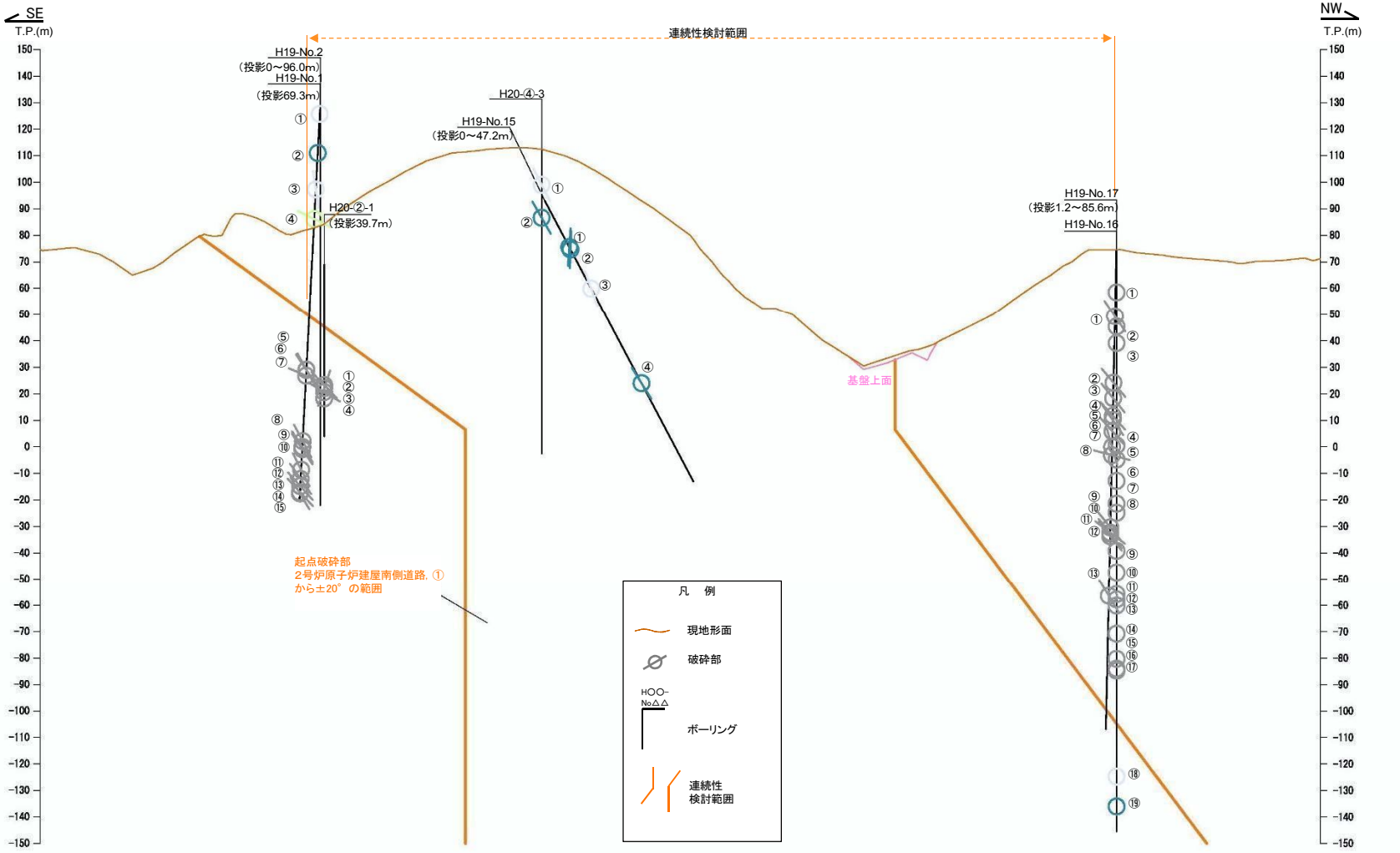
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

188（分類D）①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

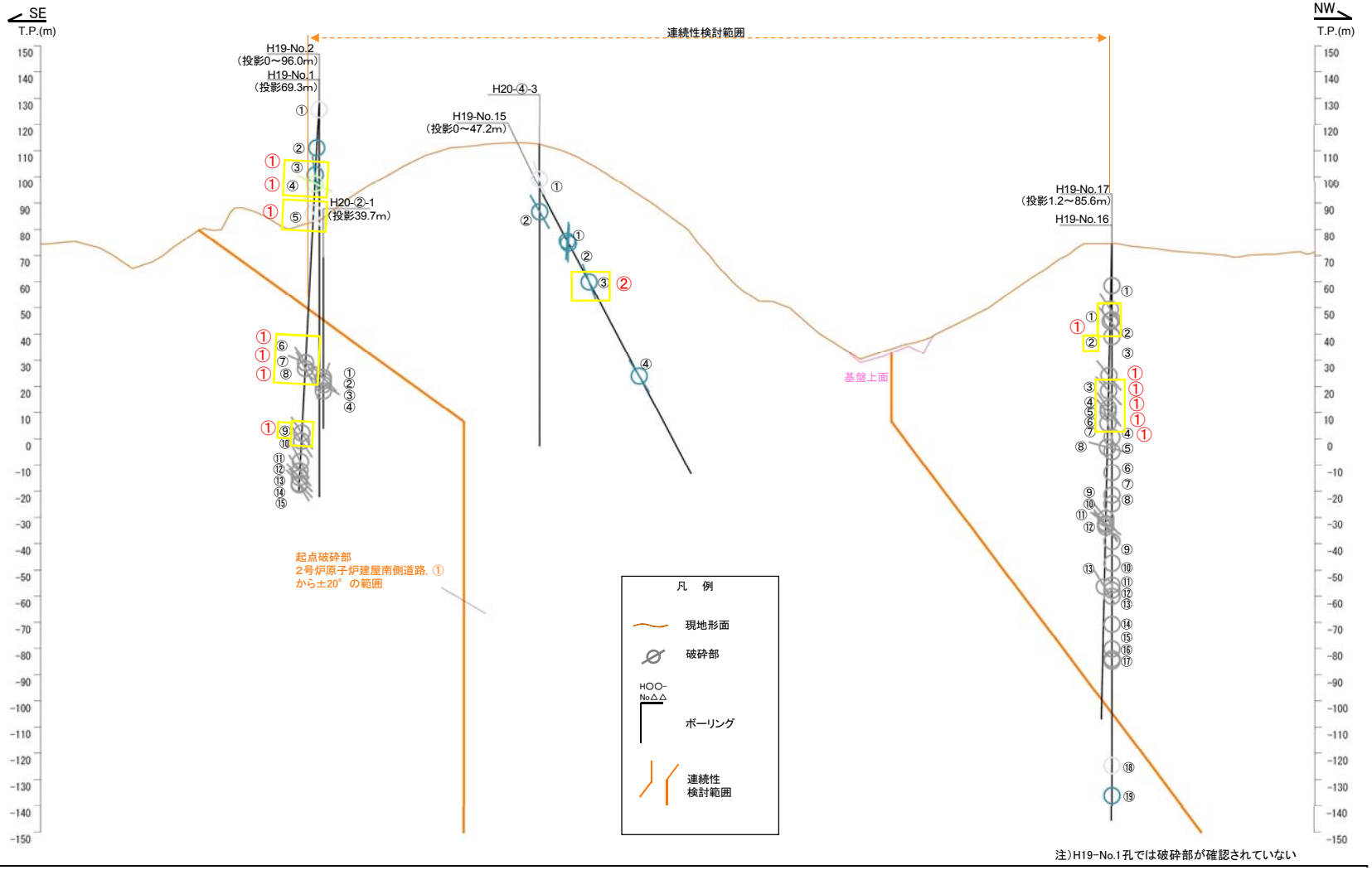


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，か
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，か
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，か
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，か
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，か

189～195，197～202（分類B）①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
破砕部をプロットする際に位置を誤った。

196（分類D）②
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	①	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	無	-	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	有	有	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
		範囲内	⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※2
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	30	36W	39	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	19	67W	8	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※2
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	49	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲外	⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	13	72W	3	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	4	61W	14	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	12	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	11	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	4	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5W	16	76W	1	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	×	f-④-3-1	参考2-143	※2

（　）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

203～208，210，212（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

209，211（分類D）②
当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

213～219，221（分類A）③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

220（分類E）④
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。

222（分類D）⑤
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより連続性検討範囲内の破砕部となったため，表の該当箇所の着色が変わったもの。

223，225（分類A）⑥
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

する ング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
-	-	①	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	① 有	③ 無	-	-		非モデル化	参考2-185	
		②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
		③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	① 有	③ 有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
		⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
		⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
		⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
		⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	① 有	③ 有	-	-		D-47	参考2-120	
		⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
lo.16		⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
		⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
		⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	① 無	③ -	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
		⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
		⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
		⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
		⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
		⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
	範囲内	⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
		⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	
	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
		②	32.54	32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		③	55.45	55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
		④	61.89	62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
		⑤	68.84	69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
		⑥	70.92	70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
lo.17		⑦	75.60	75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
		⑧	82.83	85.61	N19W	30	36W	39	① 有	③ 無	-	-		D-47	参考2-120	
		⑨	114.31	115.63	N8W	19	67W	8	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
		⑩	117.77	117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
		⑪	118.22	118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
		⑫	118.66	119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
		⑬	144.35	144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
lo.15		②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16 ①②	有	②③ 無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
		③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	② -		f-④-3-1	参考2-143	
		④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
		②	24.38	24.46	-	-	-	- ①②	有 ②③	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	
		③	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	有	無	59R	② -		f-15-1	参考2-131	
		④	44.90	45.75	N40E	29	26W	49	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
	⑤	⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	④ 無	35R	④ -		f-2-3	参考2-125	
		⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
No.2		⑧	149.71	149.84	⑤ N1E	⑦ 10	72W	3	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
		⑨	186.53	186.58	⑥ N21E	⑦ 10	⑧ 70W	⑨ 5	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
		⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	① 有	③ 無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
		⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
		⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
		⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	12	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
		⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	11	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
		⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
②-1		②	46.85	46.97	N63E	52	71S	4	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
		③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
		④	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL ⑫		D-1	参考2-37	
④-3	範囲内	①	13.41	13.45 ⑩	N5E	⑪ 6	76W	1	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
		②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	×	f-④-3-1	参考2-143	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

224，226（分類D）⑦
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

227（分類A）⑧
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

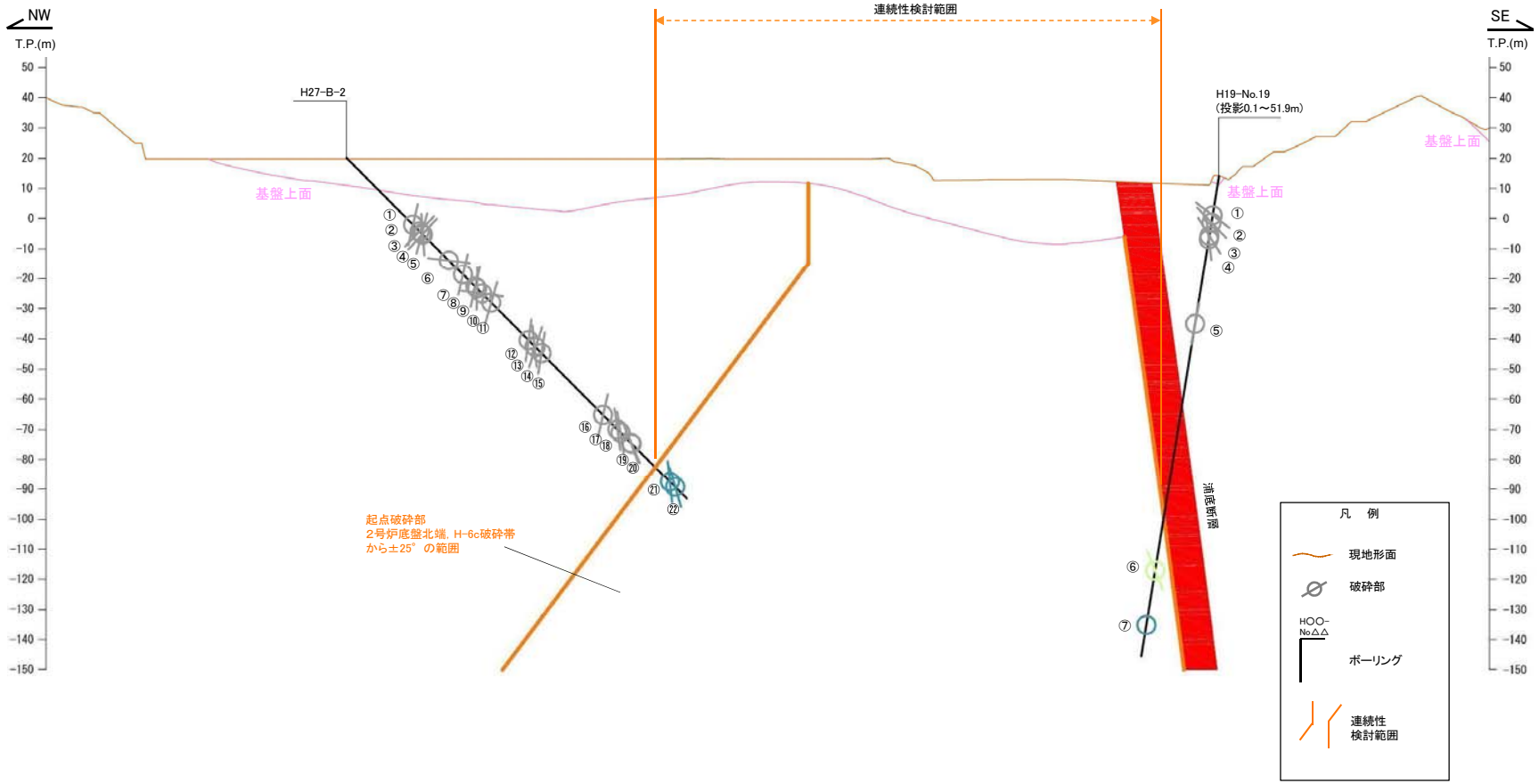
228（分類D）⑨
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

229（分類A）⑩
走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

230（分類D）⑪
当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

231（分類E）⑫
連続性検討結果について，記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）

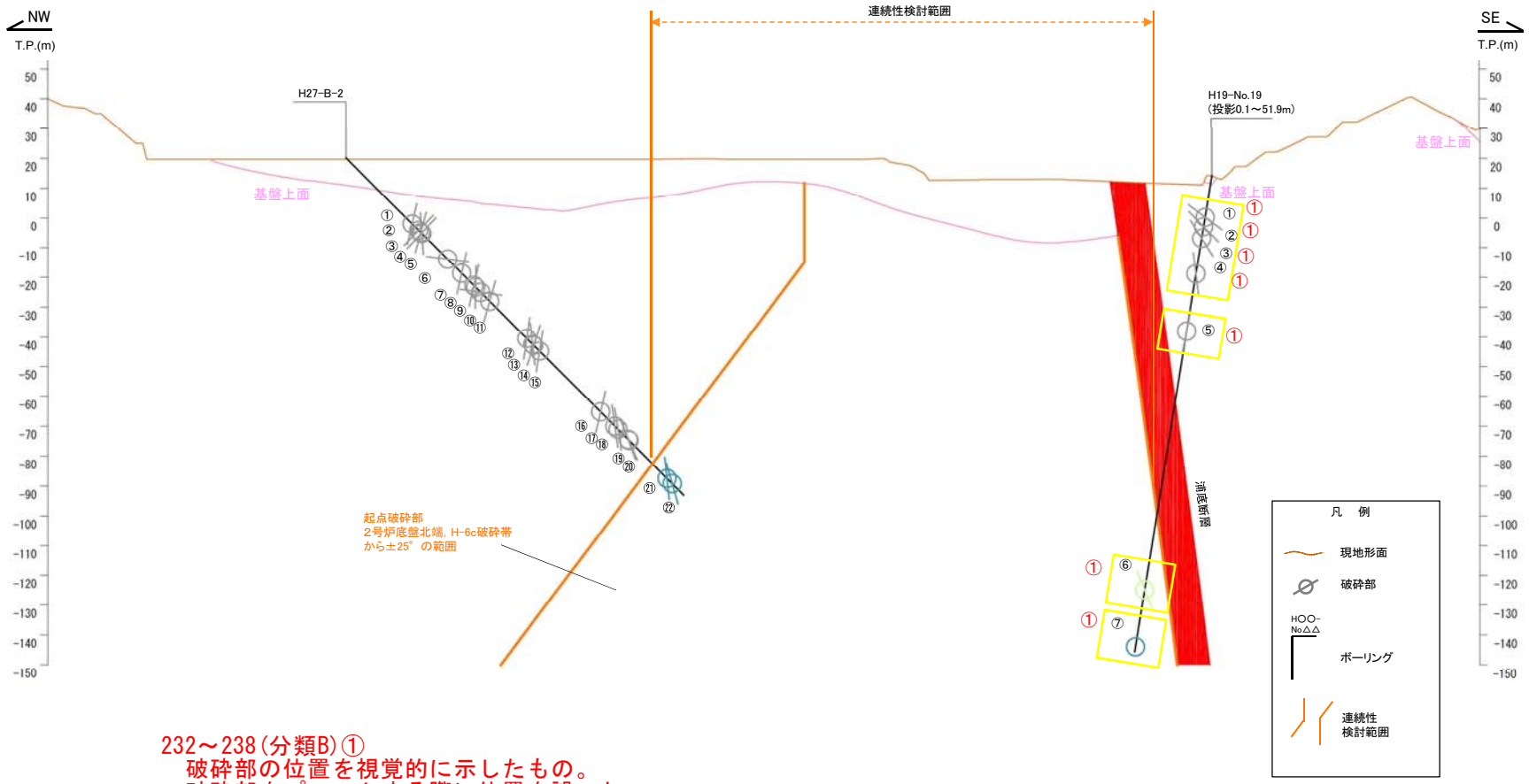


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



232～238（分類B）①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
破砕部をプロットする際に位置を誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-	-	-	-		H-6c		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	無	80L	N		非モデル化	参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	12	46W	34	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	39	79N	21	有	無	10R	RL		非モデル化	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-	50L	R,LL		非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無	0	RL		非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-	60R	R		非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-	90	-		非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無	90	N		非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無	60L	N		非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無	30R	RL		非モデル化	参考2-195	
			⑯	120.63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無	30L	LL		非モデル化	参考2-195	
			⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
		範囲内	㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無	30L	N,RL	×	f-b-2-21	参考2-178	※3
			㉒	154.53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有	75R	N	×	f-b-2-22	参考2-178	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-	-	-	-		H-6c		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	無	80L	N		非モデル化	参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	12	46W	34	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	39	79N	21	有	無	10R	RL		非モデル化	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-	50L	R,LL		非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無	0	RL		非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-	60R	① R,RL		非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-	② -	-		非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無	90	N		非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無	60L	① N,RL		非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無	30R	① R,RL		非モデル化	参考2-195	
			⑯	120.63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無	30L	① R,LL		非モデル化	参考2-195	
			⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
		範囲内	㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無	30L	N,RL	×	f-b-2-21	参考2-178	※3
			㉒	154.53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有	75R	N	×	f-b-2-22	参考2-178	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

239，241～243（分類D）①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

240（分類A）②
条線方向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10E	-	80W	-	-	-	-	-		D-2		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲内	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86	
		範囲外	②	58.41	58.43	N4W	14	70W	10	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	2	89W	9	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	2	71W	9	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	14	83W	3	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	27	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	30	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	11	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	4	85W	5	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99	
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10E	-	80W	-	-	-	-	-		D-2		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	○	D-2	参考2-86	
			①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	① 57L	-	○	D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	②	58.41	58.43	N4W	14	70W	10	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	2	89W	9	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	15	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	2	71W	9	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	14	83W	3	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	27	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	30	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	11	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	4	85W	5	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99	
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90	

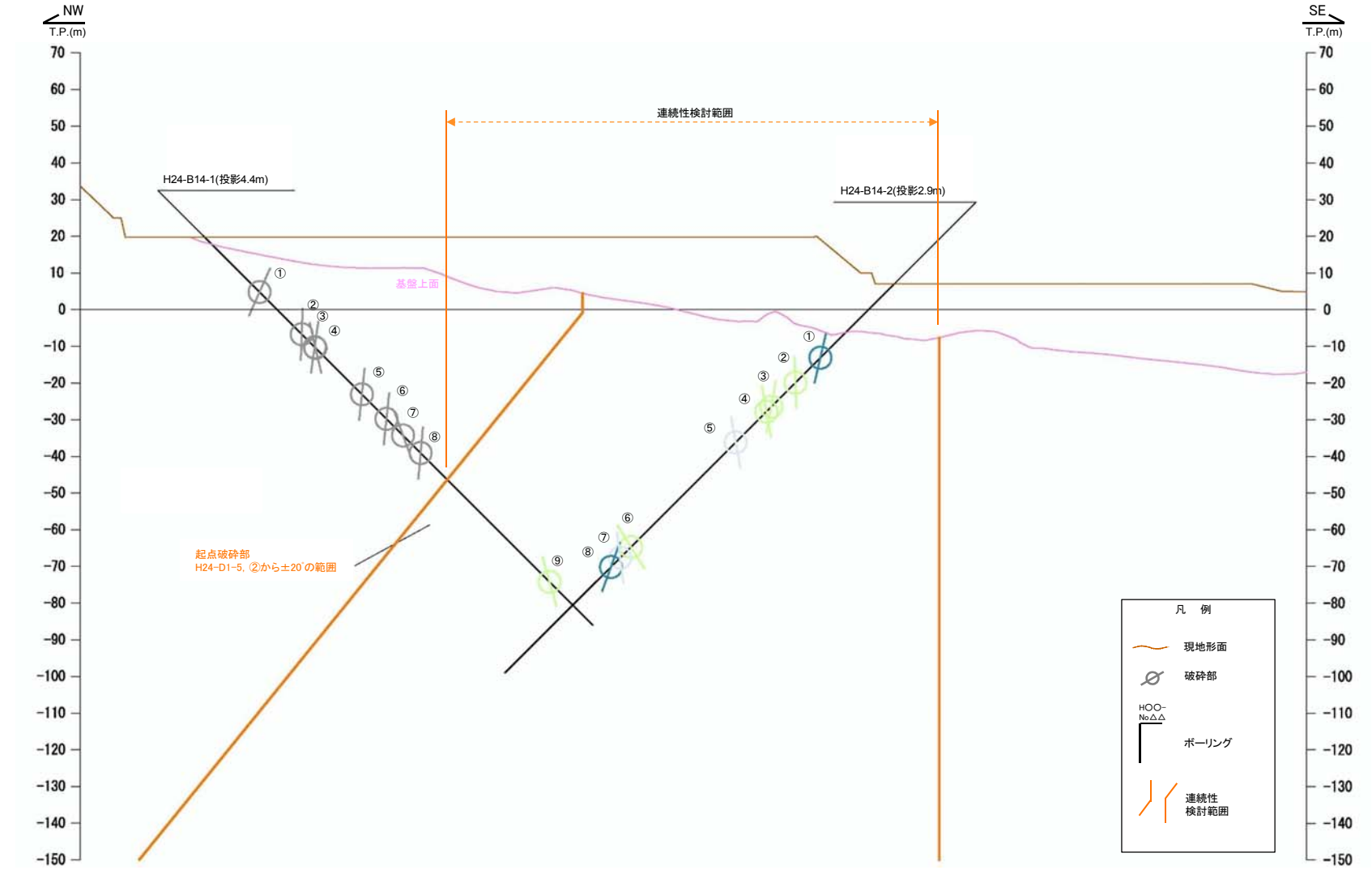
注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。
（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

244（分類A）①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった（H30年11月30日審査会合にて説明済）。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

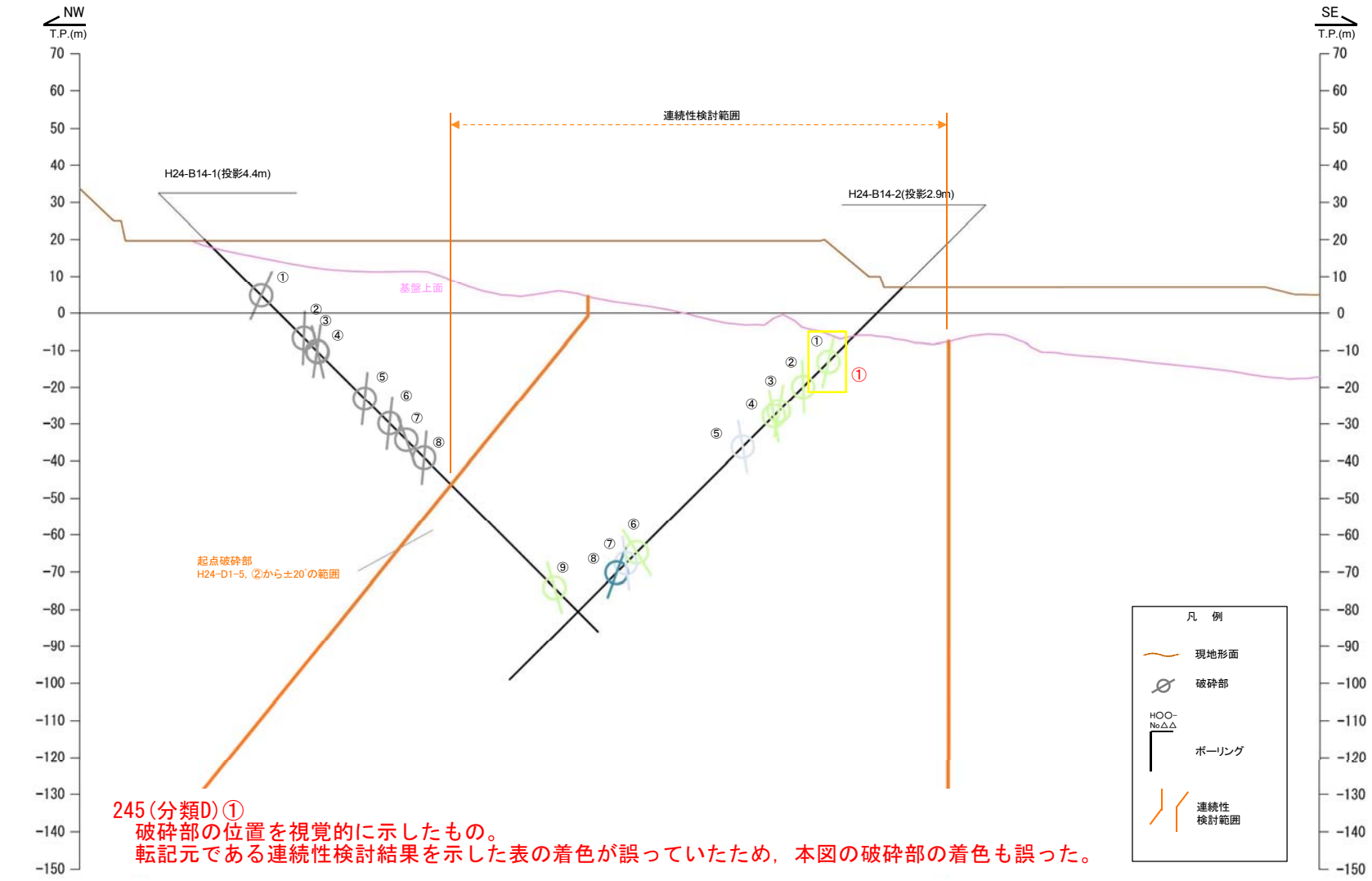
連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-5，②）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-5，②）



245(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-5，②）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL		H-3d	参考2-169	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-5，②）

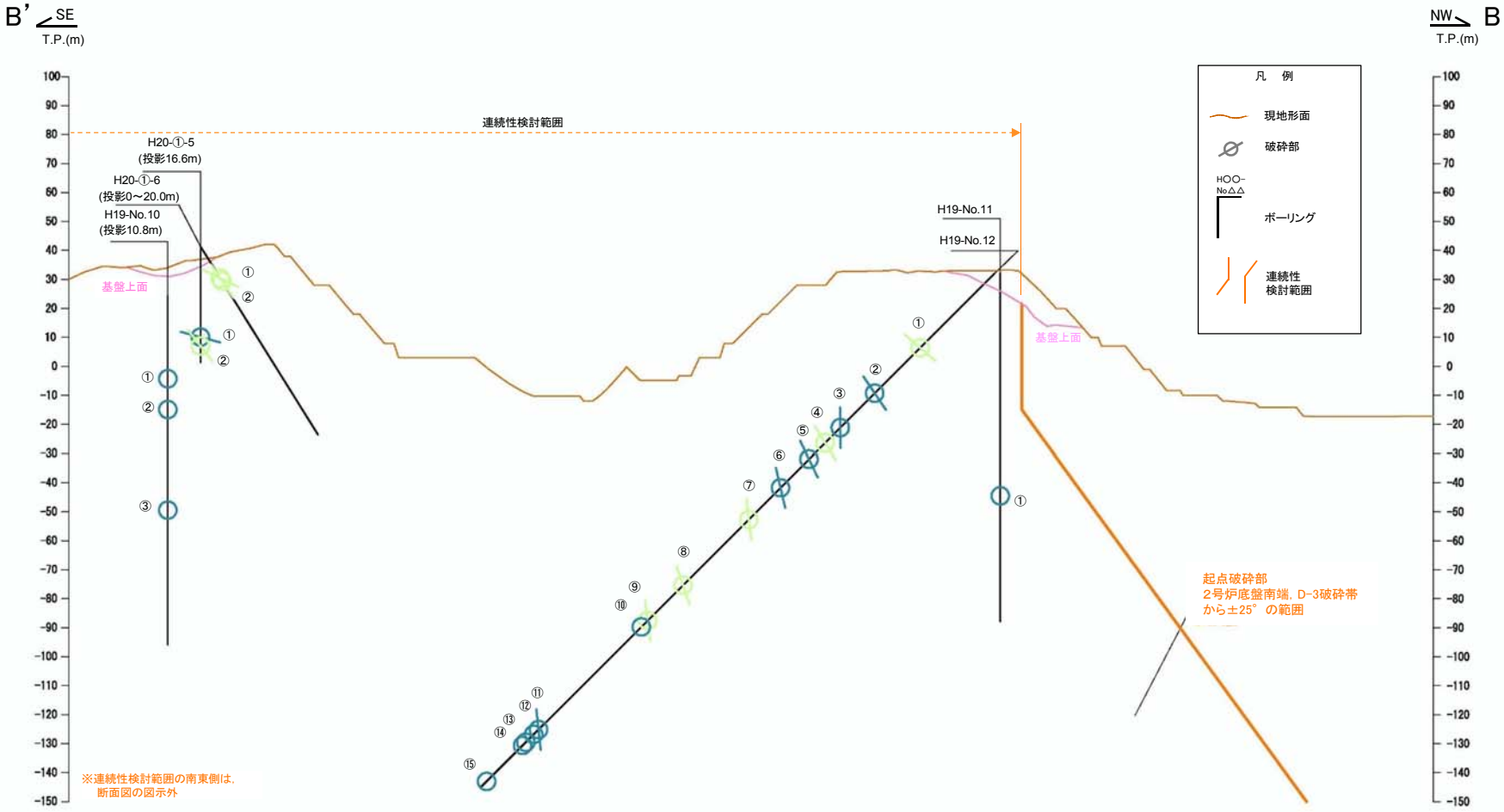
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL		H-3d	参考2-169	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66 ①	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	① N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	有	無	40R	② R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

246(分類E)①
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。

247(分類D)②
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

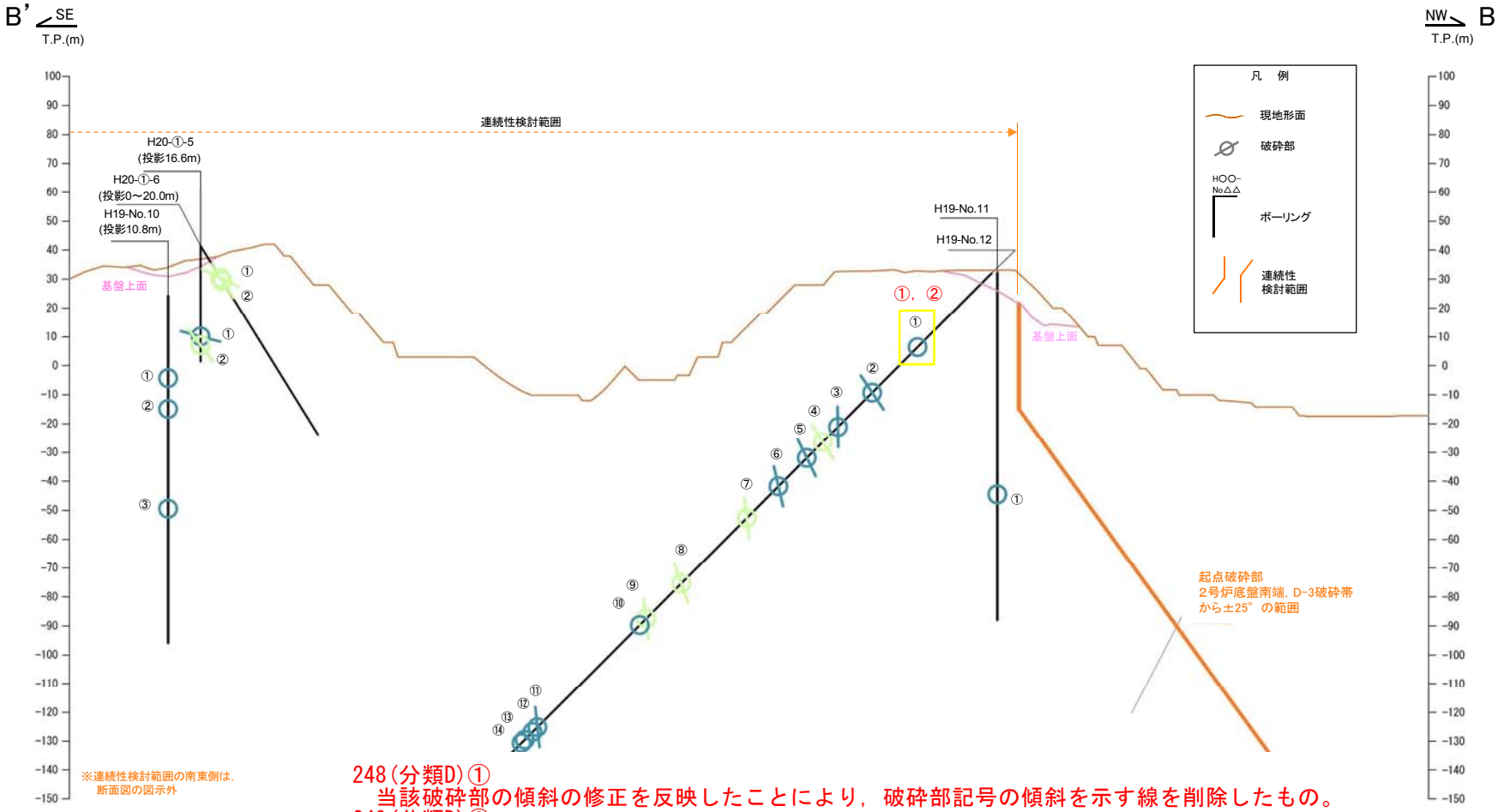
連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔B-B’断面〕



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔B-B’断面〕



248（分類D）①
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，破砕部記号の傾斜を示す線を削除したもの。
249（分類D）②
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，破砕部記号の着色が変わったもの。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	×	D-2	参考2-86	
	H19-No.12		①	36.35	36.58	N3E	13	53W	27	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有	有	75L	-	○	D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無	-	25L	-	×	f-13-3	参考2-130	※4
			④	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑥	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有	無	50L	N,RL	×	D-4	参考2-89	※4
			⑦	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	※4
			⑪	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	×	D-43	参考2-118	※3
			②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	43	60S	20	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	71	65S	14	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	7	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	⑤-	-	(74)	6	有	無	-	-	×	D-2	参考2-86	
	H19-No.12		①	36.35	36.58	①-	③ -	②-	④ -	有	無	57L	-	⑥ ×	D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有	有	75L	-	○	D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無	-	25L	-	×	f-13-3	参考2-130	※4
			④	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑥	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有	無	50L	N,RL	×	D-4	参考2-89	※4
			⑦	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	※4
			⑪	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	×	D-43	参考2-118	※3
			②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	43	60S	20	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	71	65S	14	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	7	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

250（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

251（分類A）②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

252（分類D）③
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

253（分類D）④
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

254（分類D）⑤
当該破砕部の走向・傾斜の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

255（分類D）⑥
当該破砕部の走向・傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，
連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W		80W		-	-	-			D-3		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※3
			⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W		80W		-	-	-	-		D-3		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	有	無	40R	① R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※3
			⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

256（分類D）①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	有	無	40R	RL	×	非モデル化	参考2-192	※1
			④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※1
			⑥	101.47	101.52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	×	D-41	参考2-117	※1
			⑧	109.16	109.46	N1W	16	76W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	有	無	40R	① R,RL	×	非モデル化	参考2-192	※1
			④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※1
			⑥	101.47	101.52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	×	D-41	参考2-117	※1
			⑧	109.16	109.46	N1W	16	76W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

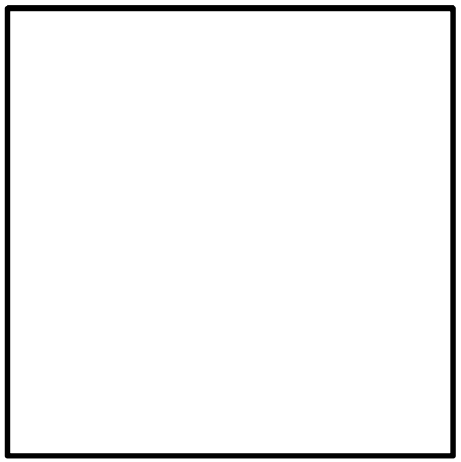
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

257(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

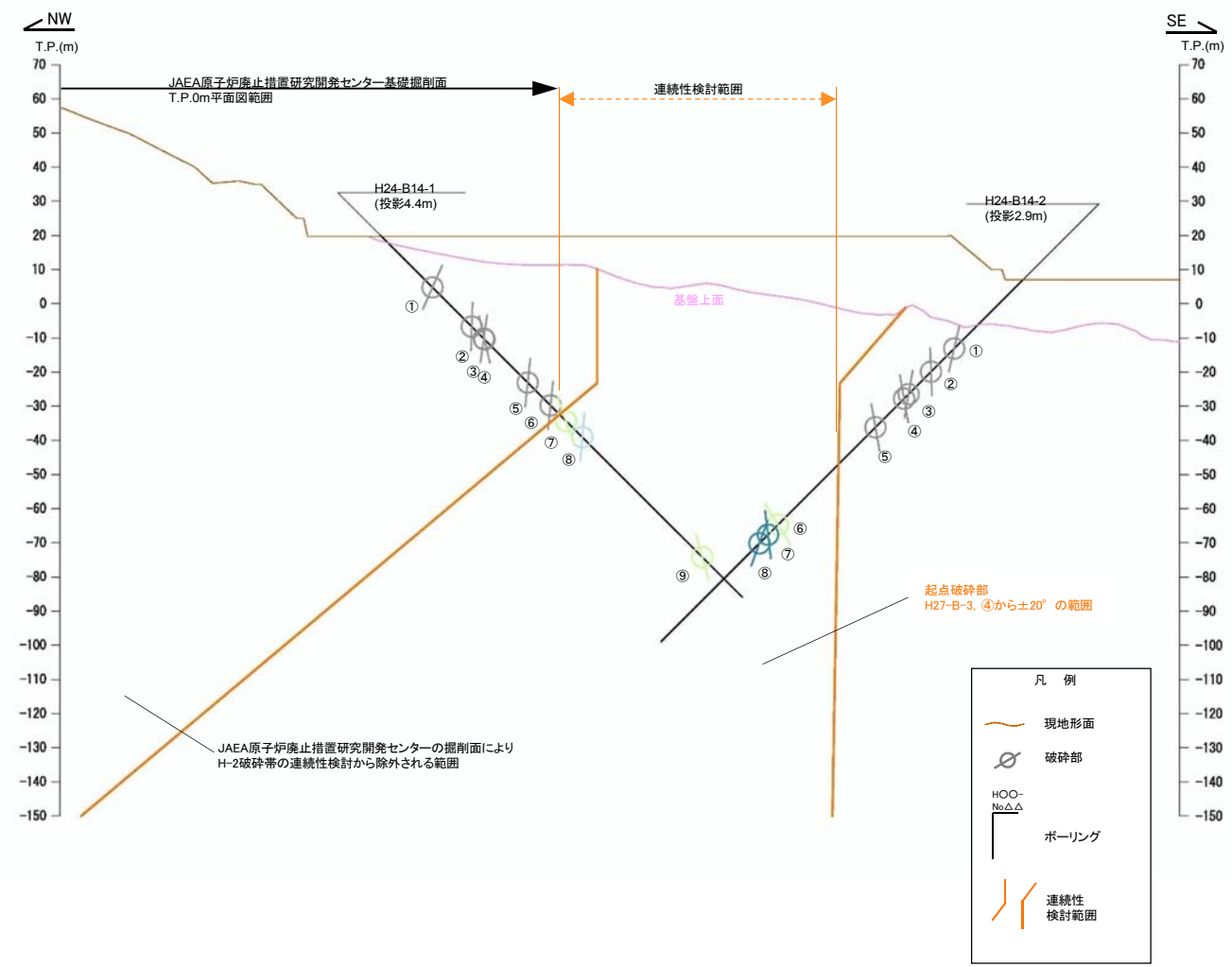
連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H27-B-3，④）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

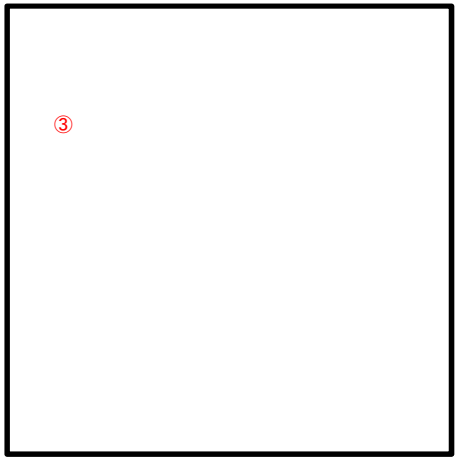
※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H27-B-3，④）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

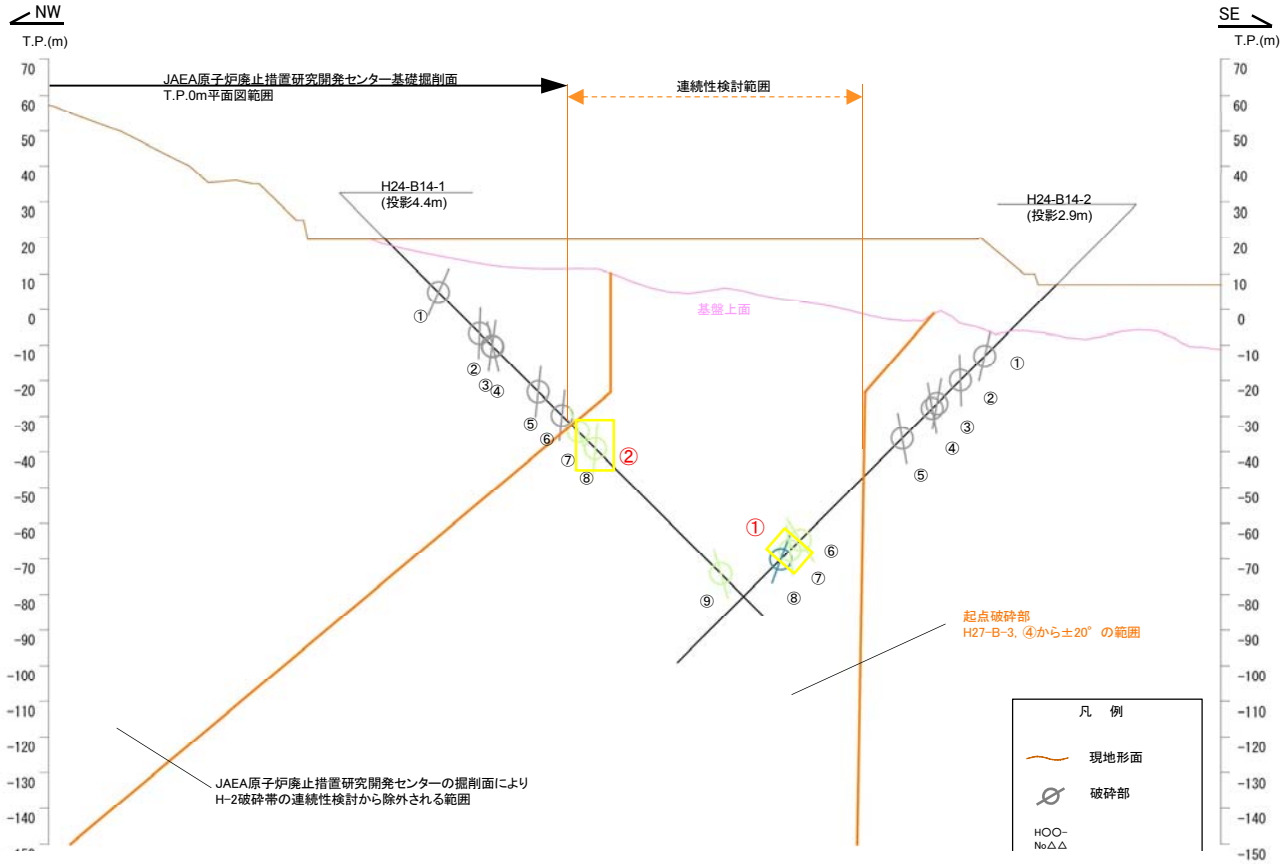
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤及びJAEA掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

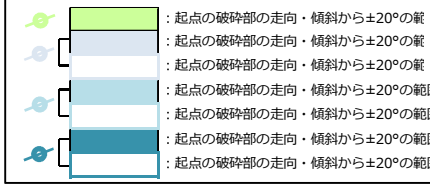
※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



258（分類A）①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，着色を誤った。

259（分類D）②
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

260（分類E）③
方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが，貼り付けを忘れたもの。



：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H27-B-3，④）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-B-3	-	-	④	42.85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	25	67W	4	無	-	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	38	85NW	14	有	無	40R	RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
		範囲内	⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H27-B-3，④）

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-B-3	-	-	④	42.85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	25	67W	4	① 有	② 無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71 ③	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	38	85NW	14	有	無	40R	④ R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
		範囲内	⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

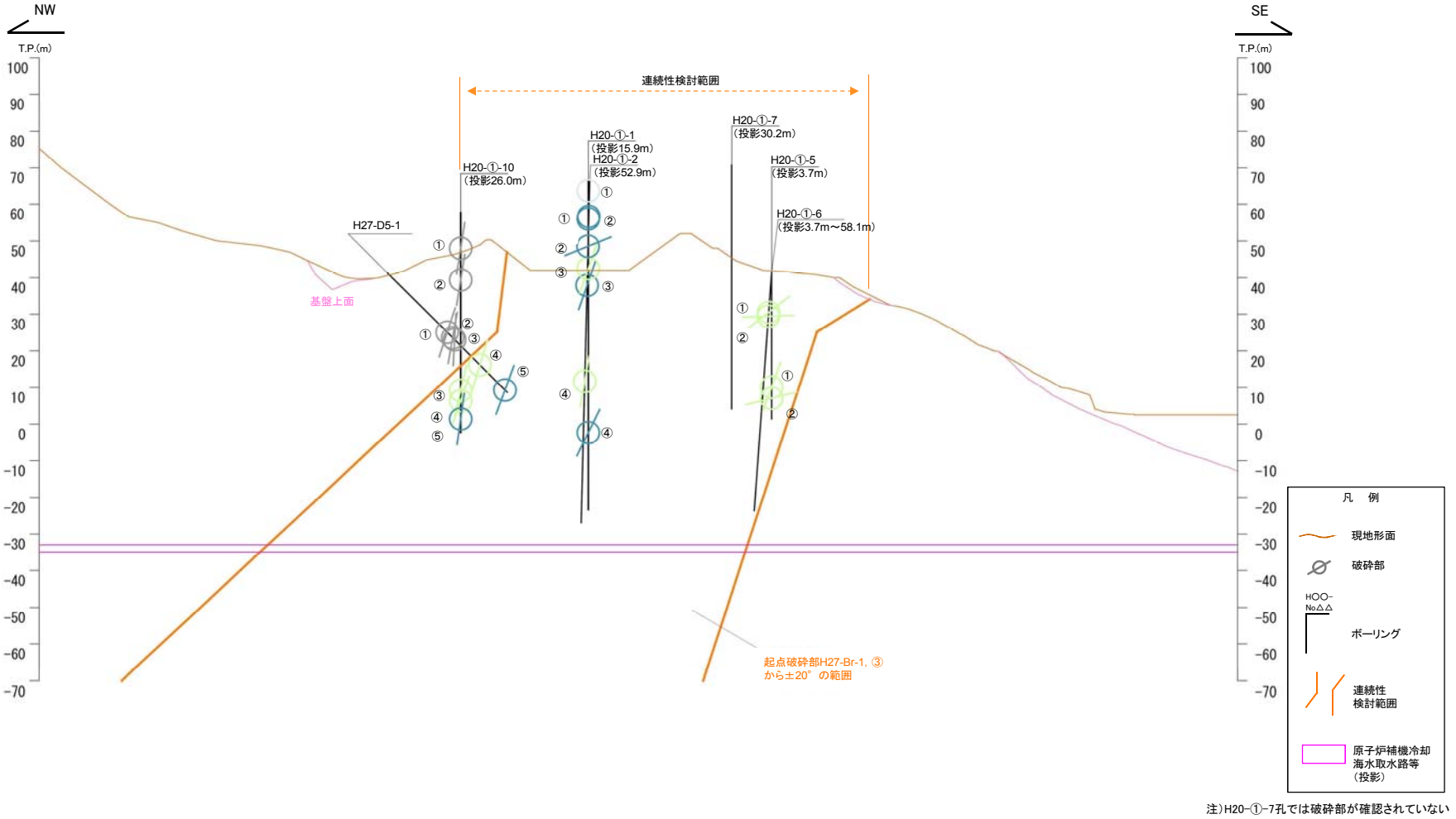
261（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した該当破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

262（分類A）②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

263（分類E）③
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，着色する必要がない箇所に着色してしまったもの。

264（分類D）④
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)



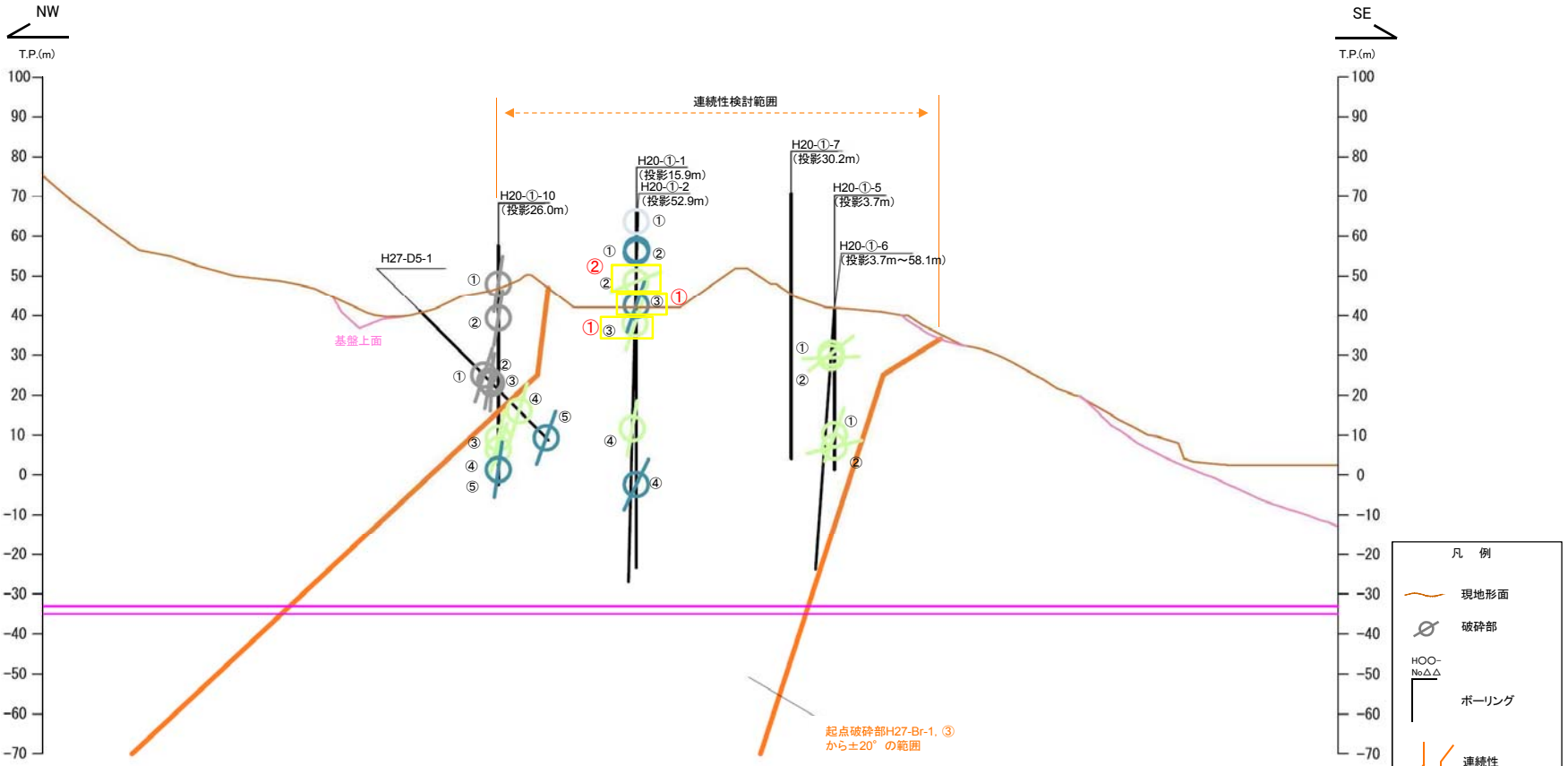
注）H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



265，267(分類A)①
　連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，破砕部の位置と着色を取り違えた。
266(分類A)②
　連続性評価結果に基づき破砕部を着色するものであるが，破砕部の着色を取り違えた。

注)H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	②	18.03	21.78	N31W		73W		有	無	65L	-		D-20	参考2-100	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有	無	56L	-	○	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	-	-	×	f-④-5-3	参考2-143	※2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	90	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	②	18.03	21.78	N31W		73W		有	無	65L	① N,RL		D-20	参考2-100	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有	無	56L	-	○	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	② 不明	-	×	f-④-5-3	参考2-143	※2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	90	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

268(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

269(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	④	44.90	45.75	N40E		26W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	48	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲内	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-	×	D-2	参考2-86	
		範囲内	②	58.41	58.43	N4W	44	70W	44	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲外	③	75.04	75.08	N12E	28	89W	63	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
		範囲外	④	82.48	82.50	N25E	15	61W	35	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
		範囲外	⑤	90.45	90.66	N8E	32	71W	45	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
		範囲外	⑥	104.12	104.22	N4W	44	83W	57	有	無	50L	-		D-4	参考2-89	
		範囲外	⑦	119.64	119.72	N37E	3	83W	57	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
		範囲外	⑧	152.06	152.09	N40E	0	71W	45	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
		範囲外	⑨	169.38	169.46	N21E	19	84W	58	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
		範囲外	⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
		範囲外	⑪	222.85	222.88	N14E	26	85W	59	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
		範囲外	⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57	
		範囲外	⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	
		範囲外	⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	④	44.90	45.75	N40E		26W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	48	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲内	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-	×	D-2	参考2-86	
		範囲内	②	58.41	58.43	N4W	44	70W	44	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲外	③	75.04	75.08	N12E	28	89W	63	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
		範囲外	④	82.48	82.50	N25E	15	61W	35	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
		範囲外	⑤	90.45	90.66	N8E	32	71W	45	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
		範囲外	⑥	104.12	104.22	N4W	44	83W	57	有	無	50L	① N,RL		D-4	参考2-89	
		範囲外	⑦	119.64	119.72	N37E	3	83W	57	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
		範囲外	⑧	152.06	152.09	N40E	0	71W	45	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
		範囲外	⑨	169.38	169.46	N21E	19	84W	58	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
		範囲外	⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-		D-5	参考2-70	
		範囲外	⑪	222.85	222.88	N14E	26	85W	59	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
		範囲外	⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-		D-6	参考2-57	
		範囲外	⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	
		範囲外	⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-		D-7	参考2-90	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

270(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W		78W		有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	36	82W	4	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	52	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	18	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有	無	76R	-	○	D-20	参考2-101	※3
			⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	8	60W	18	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	74	71S	7	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	7	70W	8	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

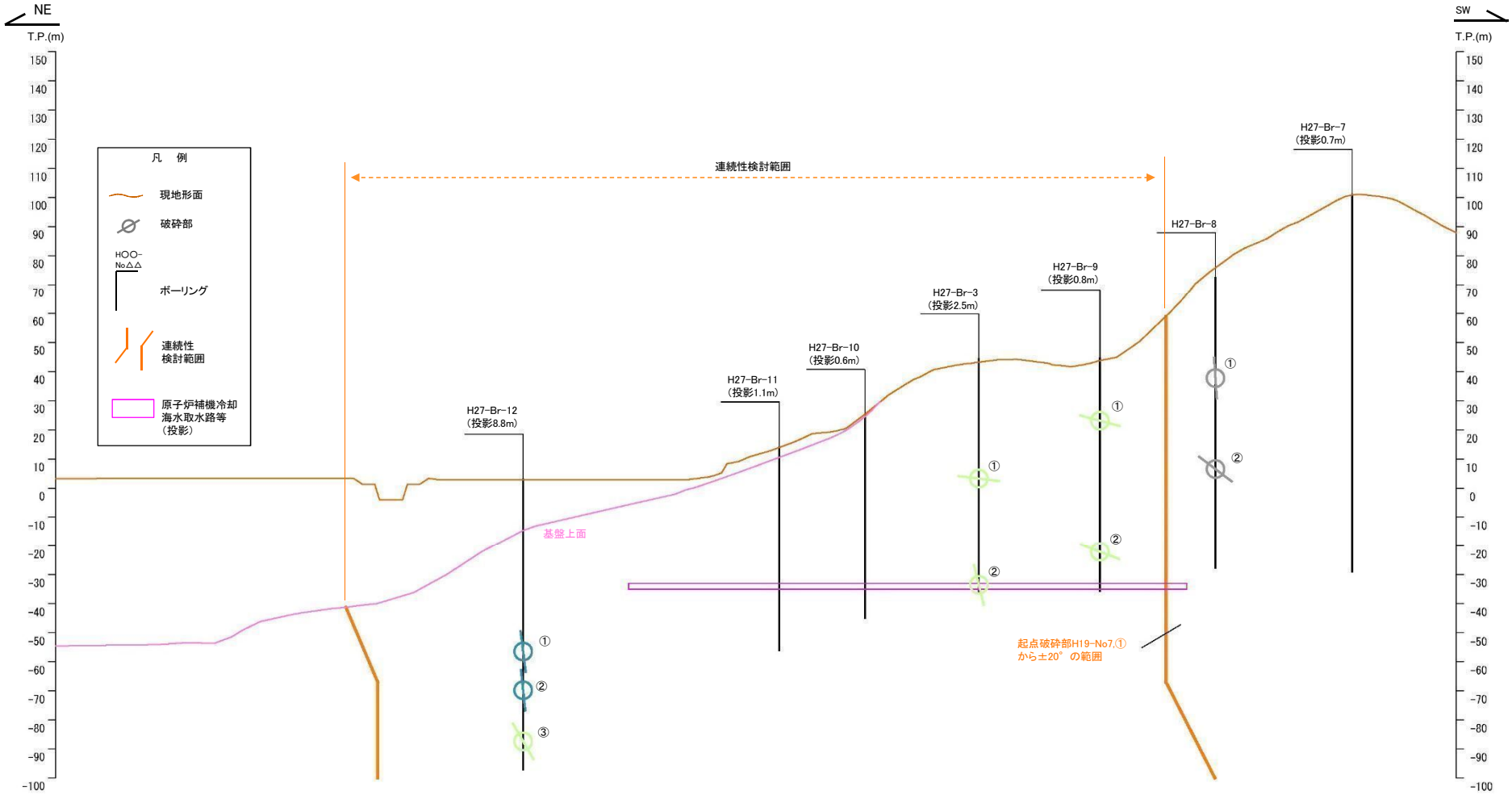
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W		78W		有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	36	82W	4	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	52	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	18	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有	無	76R	-	○	D-20	参考2-101	①
			⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	② 84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	8	60W	18	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	74	71S	7	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	7	70W	8	有	③ 有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

271(分類E)①
連続性検討結果について，記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。

272(分類E)②
表の行の高さが足りず，文字が見切れていたもの。

273(分類A)③
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)



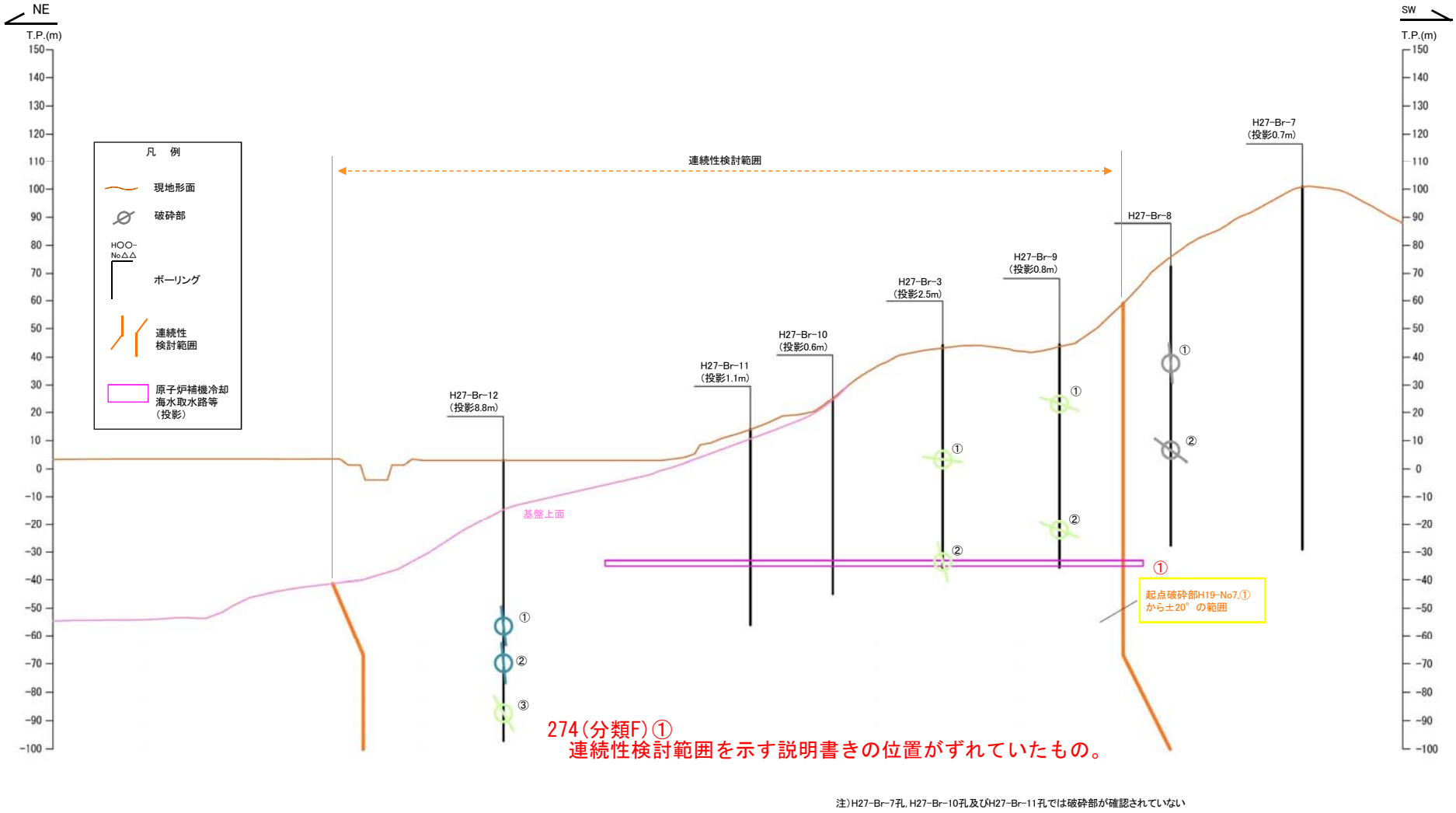
注）H27-Br-7孔，H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



注）H27-Br-7孔，H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	77SW	10	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	16	78SW	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	79SW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	41	80SW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	0	81SW	6	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13	82SW	5	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	24	83SW	4	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.7，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

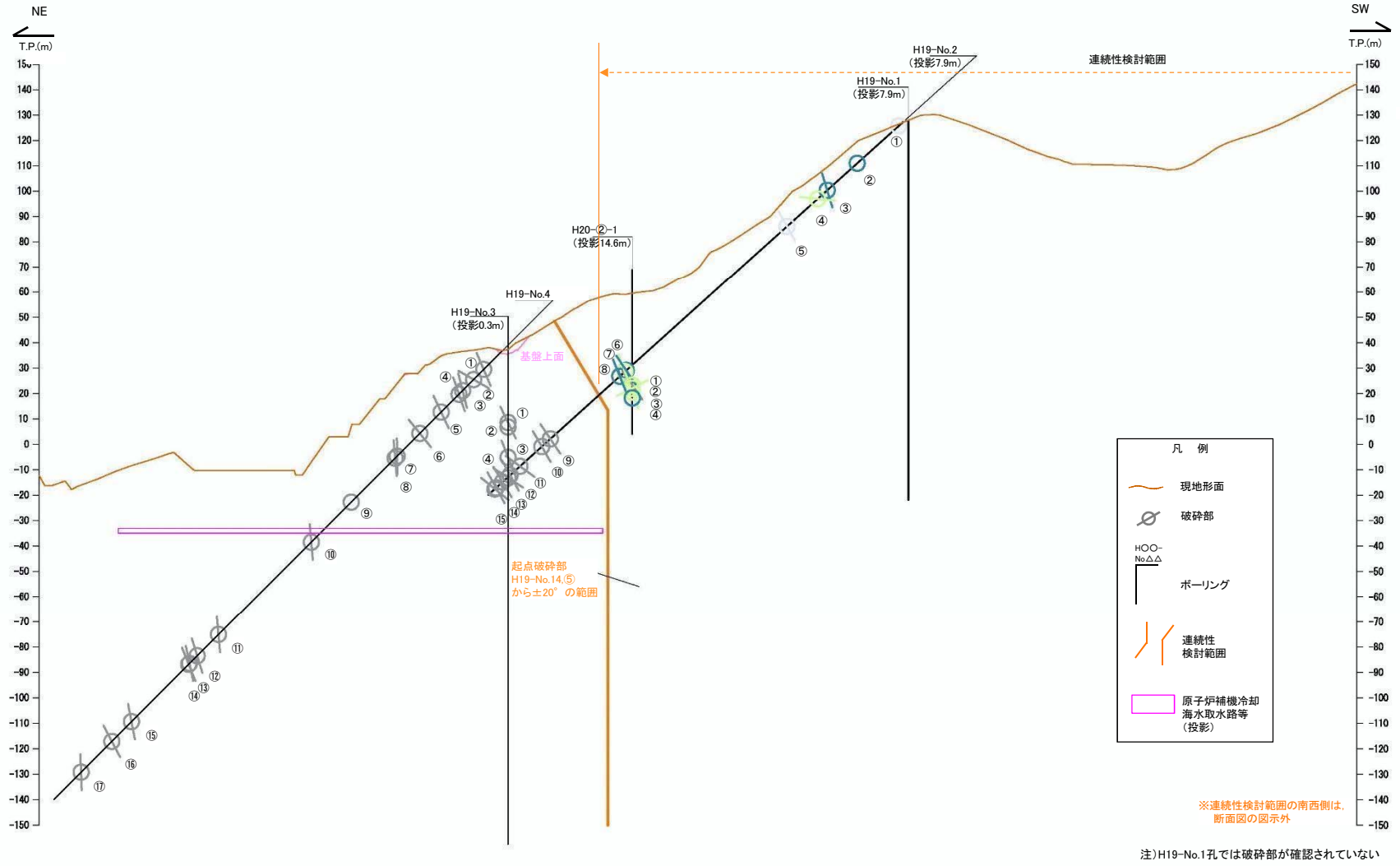
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2 ①	87W	② 0	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	16 ①	56W	② 31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38 ①	63NW	② 24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	41 ①	77NW	② 10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	0 ①	85W	② 2	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13 ①	85W	② 2	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	24 ①	78NW	② 9	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

275，277，279，281，283，285，287(分類A)①
傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

276，278，280，282，284，286，288(分類D)②
転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)



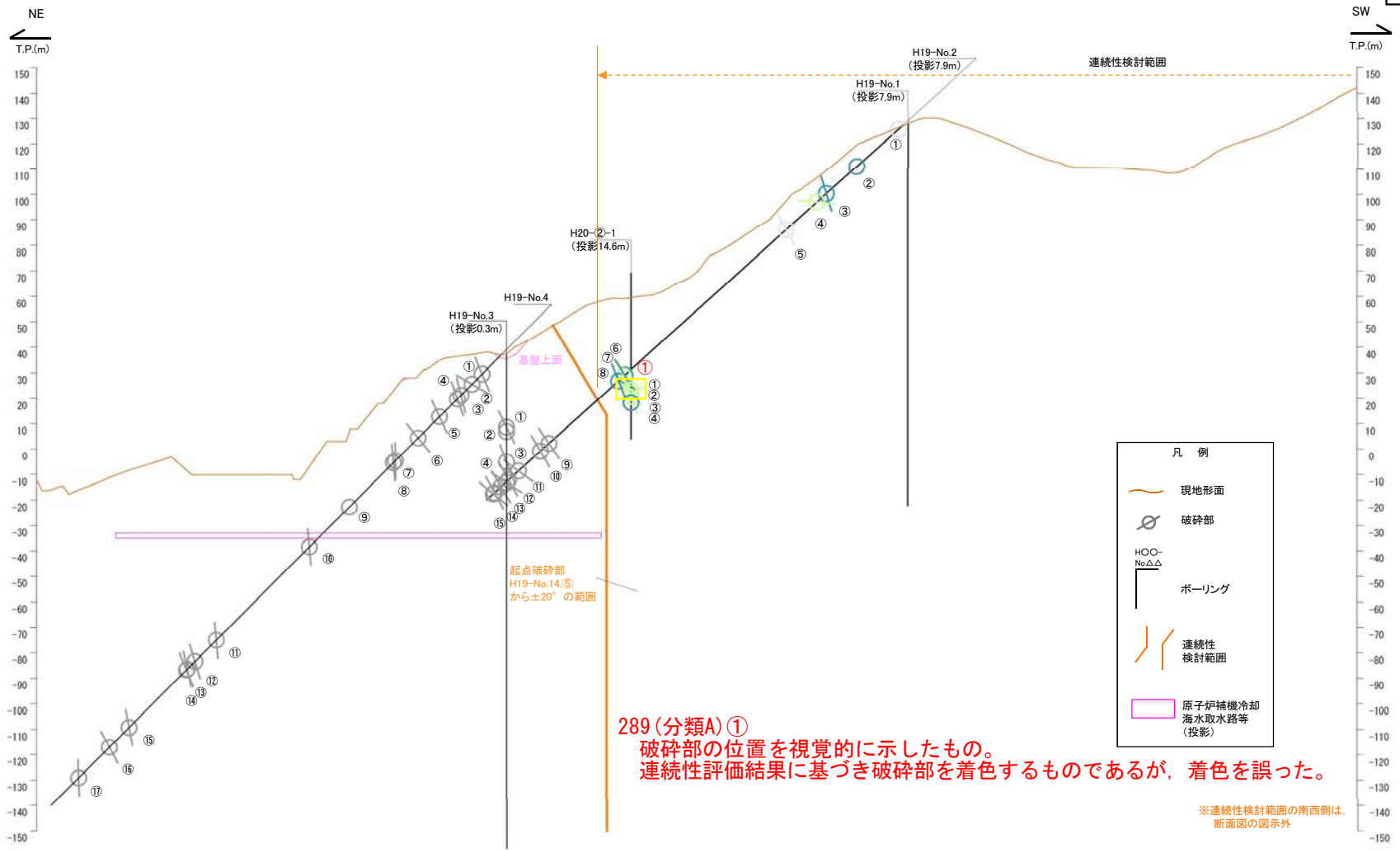
注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



注)H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E		81W		有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有	無	35R	-	×	f-2-3	参考2-125	※3
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N15E	5	61W	20	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	21	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	7	83W	2	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	0	74W	7	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	48	88W	7	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E		81W		有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有	無	35R	-	×	f-2-3	参考2-125	※3
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	①N21E	② 1	③70W	④ 11	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	21	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	⑤ 有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	

290(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

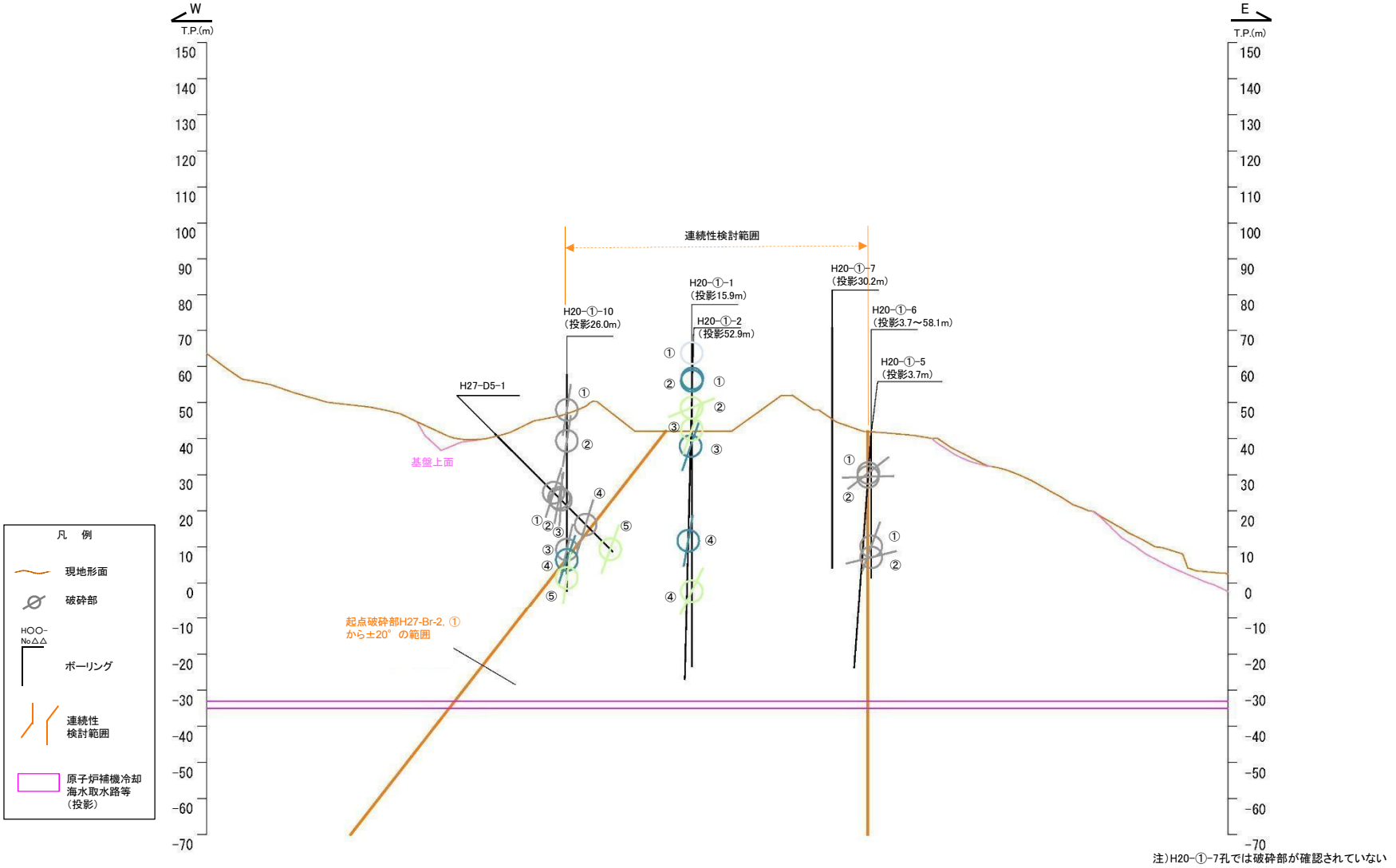
291(分類D)②
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

292(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

293(分類D)④
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

294(分類A)⑤
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-2，①)



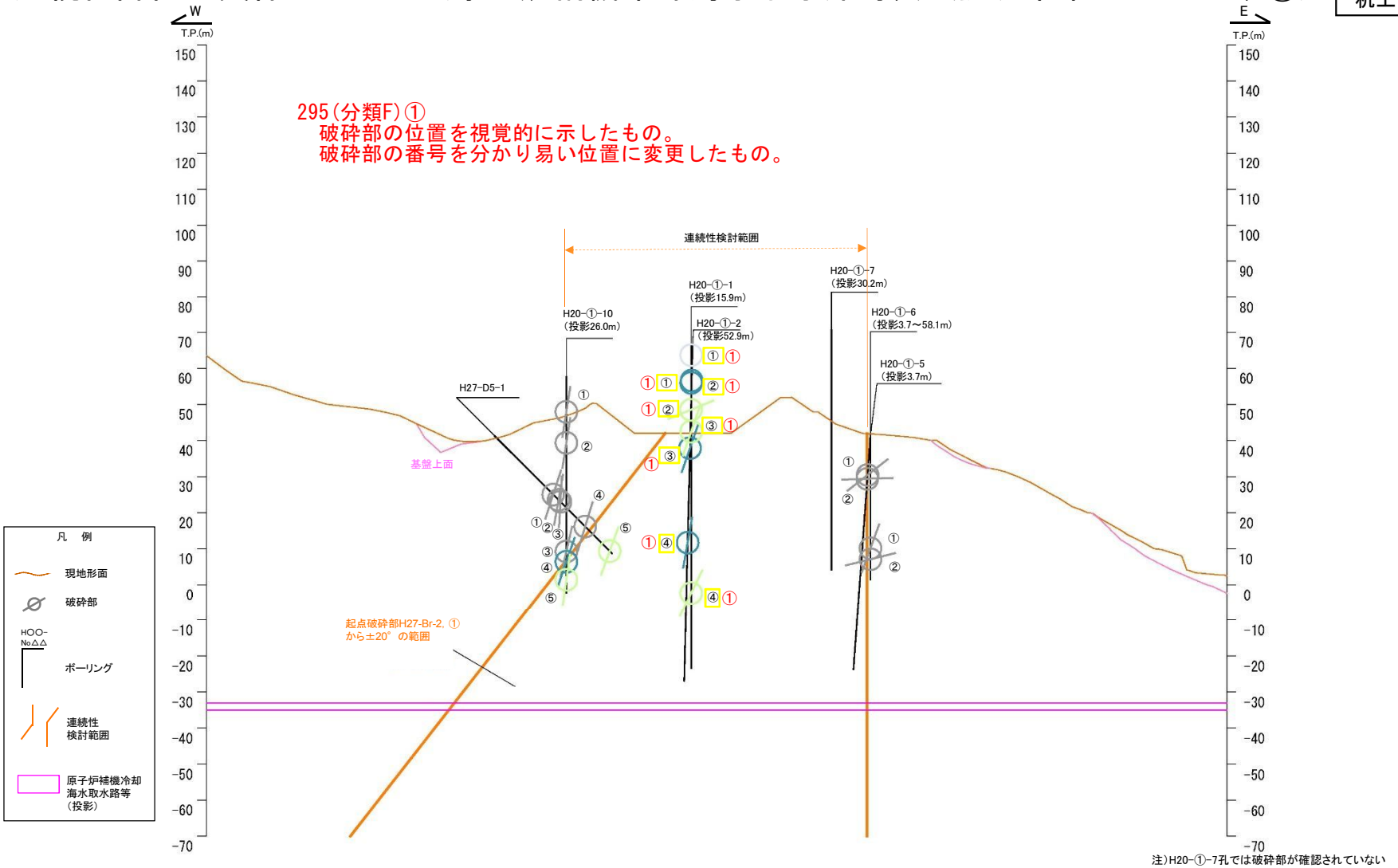
破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-2，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

295(分類F)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
破砕部の番号を分かり易い位置に変更したもの。



注）H20−①−7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	②	7.94	9.00	N71W		79S		有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-143	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	19	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	16	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	19	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※1
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	38	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	24	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	35	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	9	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	30	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	19	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	2	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	19	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	11	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	24	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	7	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	75	57W	22	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	74	51W	28	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	70	52W	27	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	81	50W	29	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	81	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	89	53W	26	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	85	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	52	36W	43	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	12	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	60	57W	22	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	82	59W	20	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	85	57W	22	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	81	65W	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

296(分類A)①
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	②	7.94	9.00	N71W		79S		有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	①
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	19	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	16	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	19	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※1
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	38	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	24	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	35	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	9	有	有	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	30	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	19	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	2	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	19	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	11	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	24	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	7	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	75	57W	22	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	74	51W	28	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	70	52W	27	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	81	50W	29	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	81	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	89	53W	26	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	85	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	52	36W	43	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	12	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	60	57W	22	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	82	59W	20	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	85	57W	22	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	81	65W	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	-	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

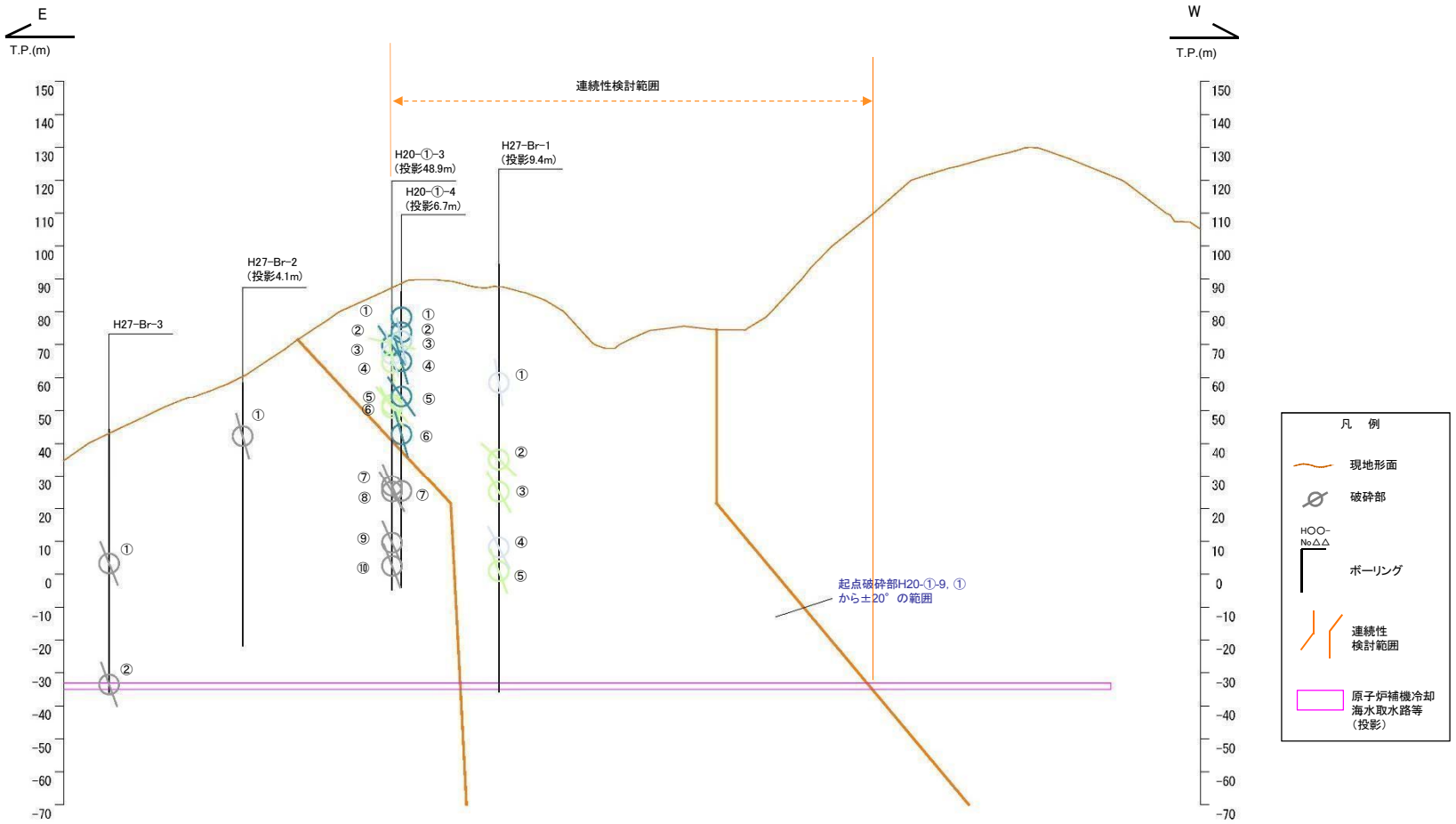
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	① 10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

297(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)

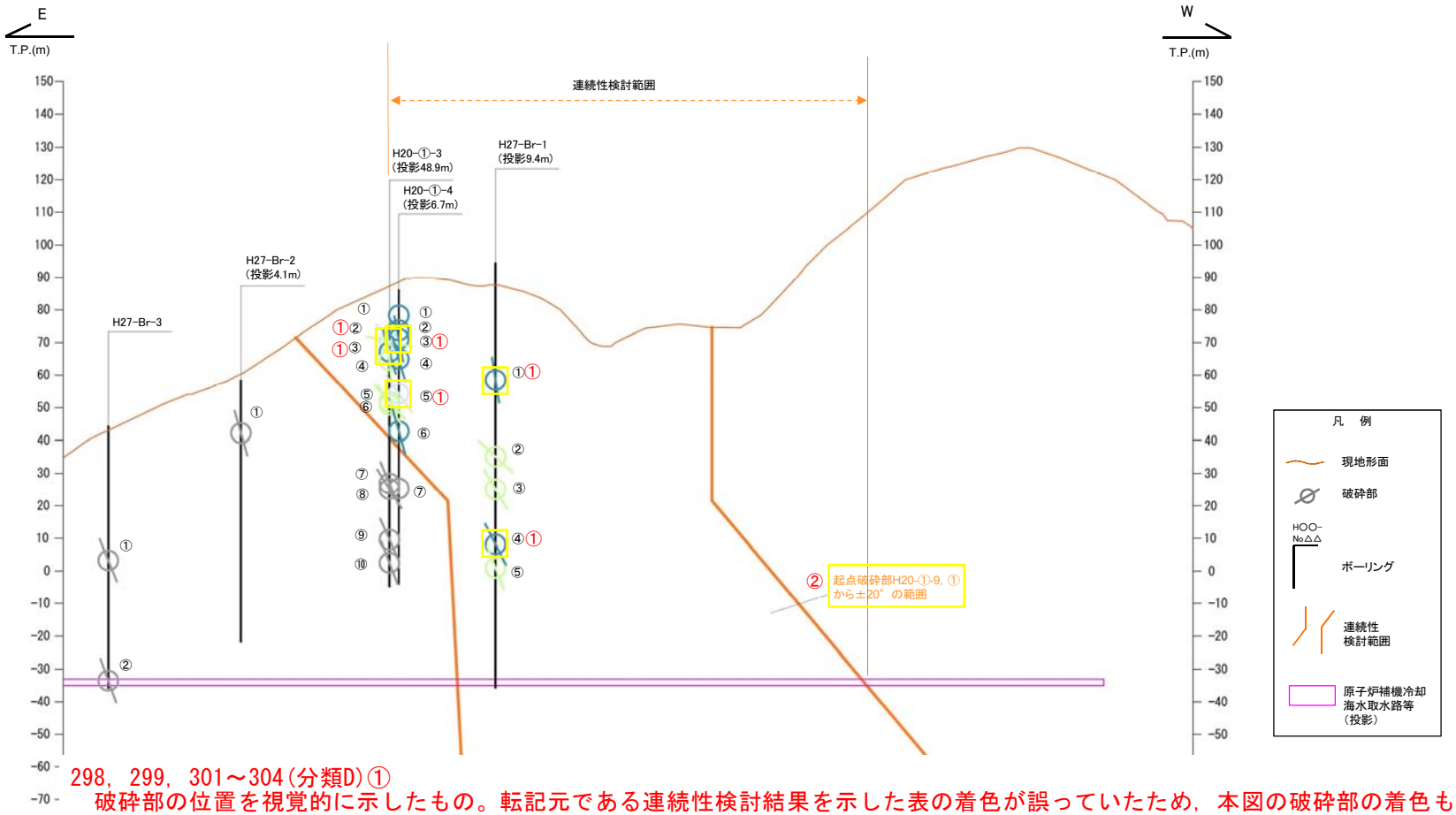


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



298，299，301～304(分類D)①
　破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

300(分類F)②
　連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-9	-	-	①	11.19	11.73	N21E		70W		無	-	48L	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	30	73NW	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	59	76SW	6	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	6	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-9，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-9	-	-	①	11.19	11.73	N21E		70W		① 有	② 有	48L	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11 ③	有	有	76R	③ N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5 ③	有	有	20L	RL	⑤ ×	f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	30	73NW	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	59	76SW	6	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15 ③	無	-	-	-	④	非モデル化	参考2-187	④
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4 ③	有	有	55L	N,RL	⑤ ×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	③ 有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	6	③ 有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有 ③	有	70L	N	⑤ ×	D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	③ 有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無 ③	-	45L	-	④	f-①-3-5	参考2-139	④
			⑥	41.41	43.24	N36E	15	76W	6	③ 有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

305(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

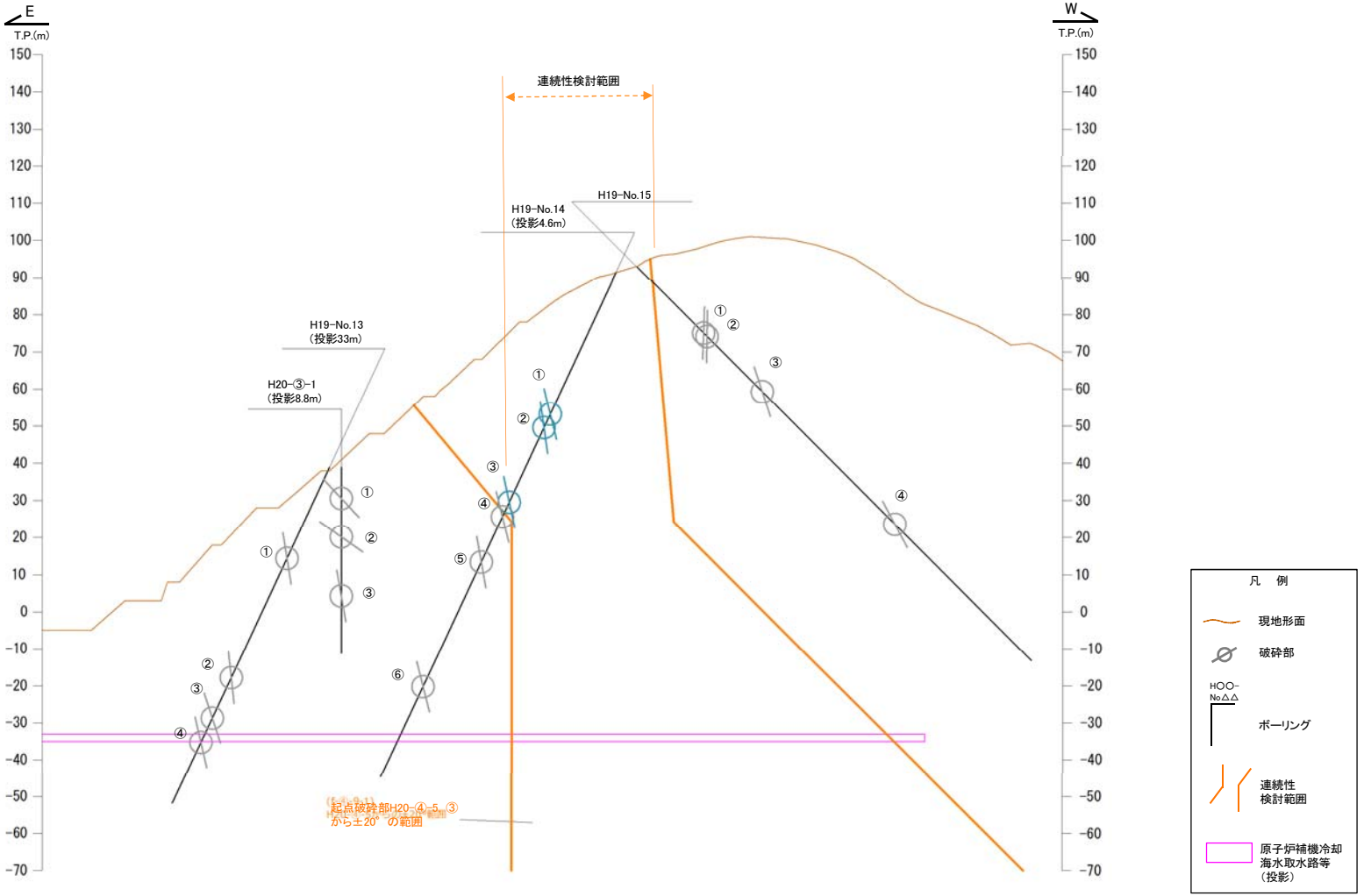
306(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

307，308，312，313，315～317，319，320，323(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

310，311，321，322(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。

309，314，318(分類D)⑤
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

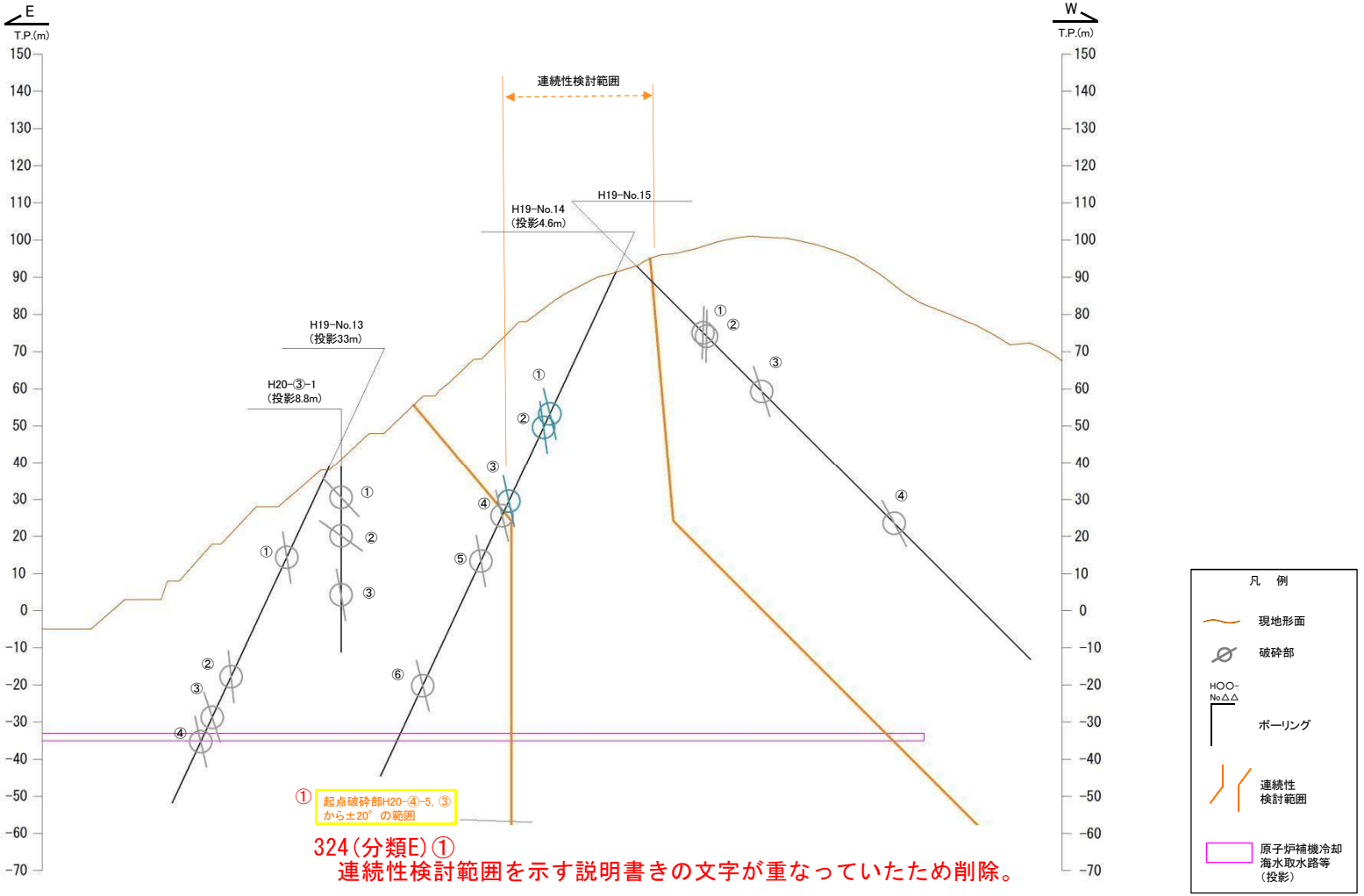


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



324(分類E)①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字が重なっていたため削除。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	88	73S	3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	49	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

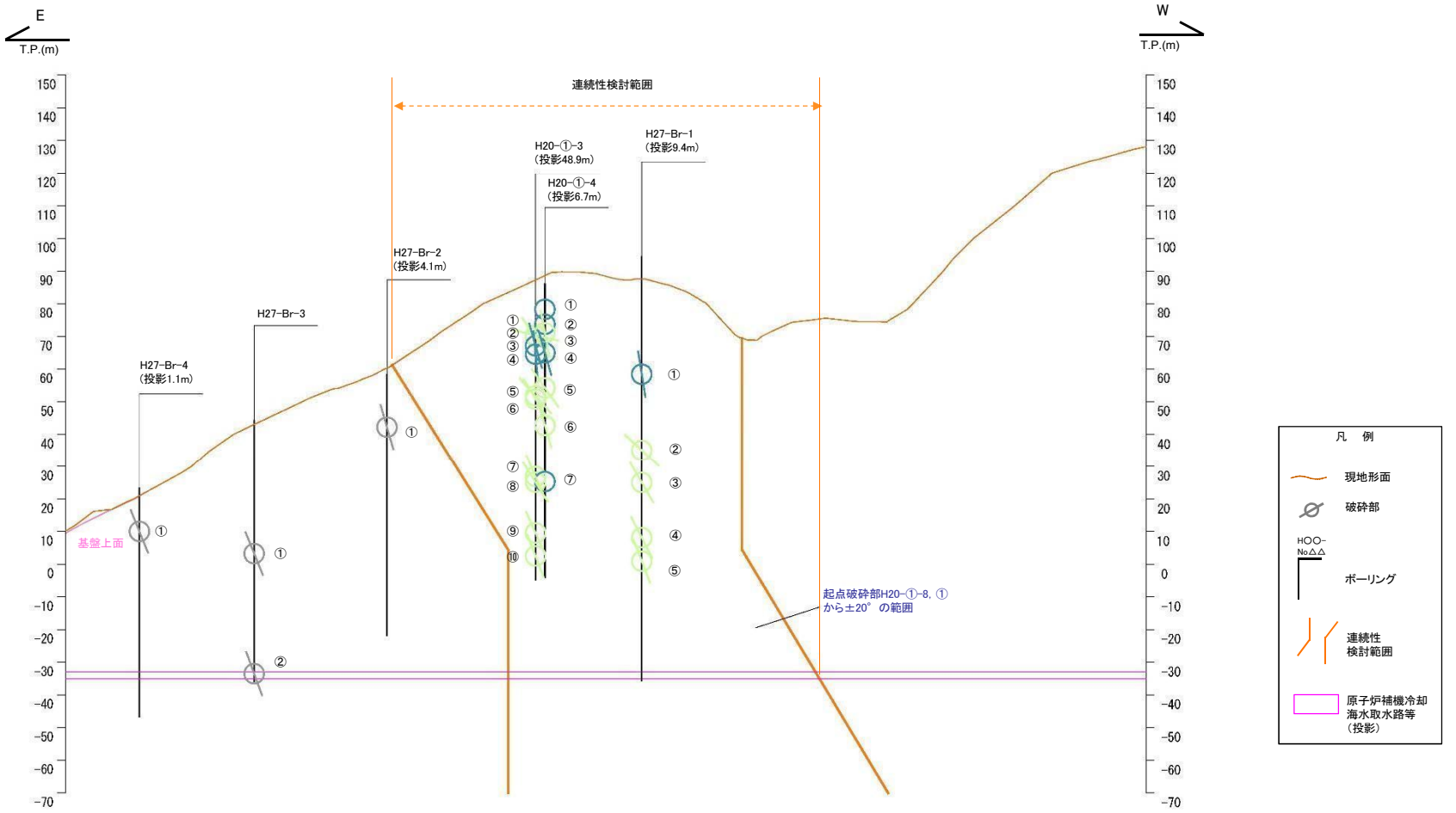
第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

325(分類A)①
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有	無	10L	-		f-④-9-1	① 参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	88	73S	3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	49	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

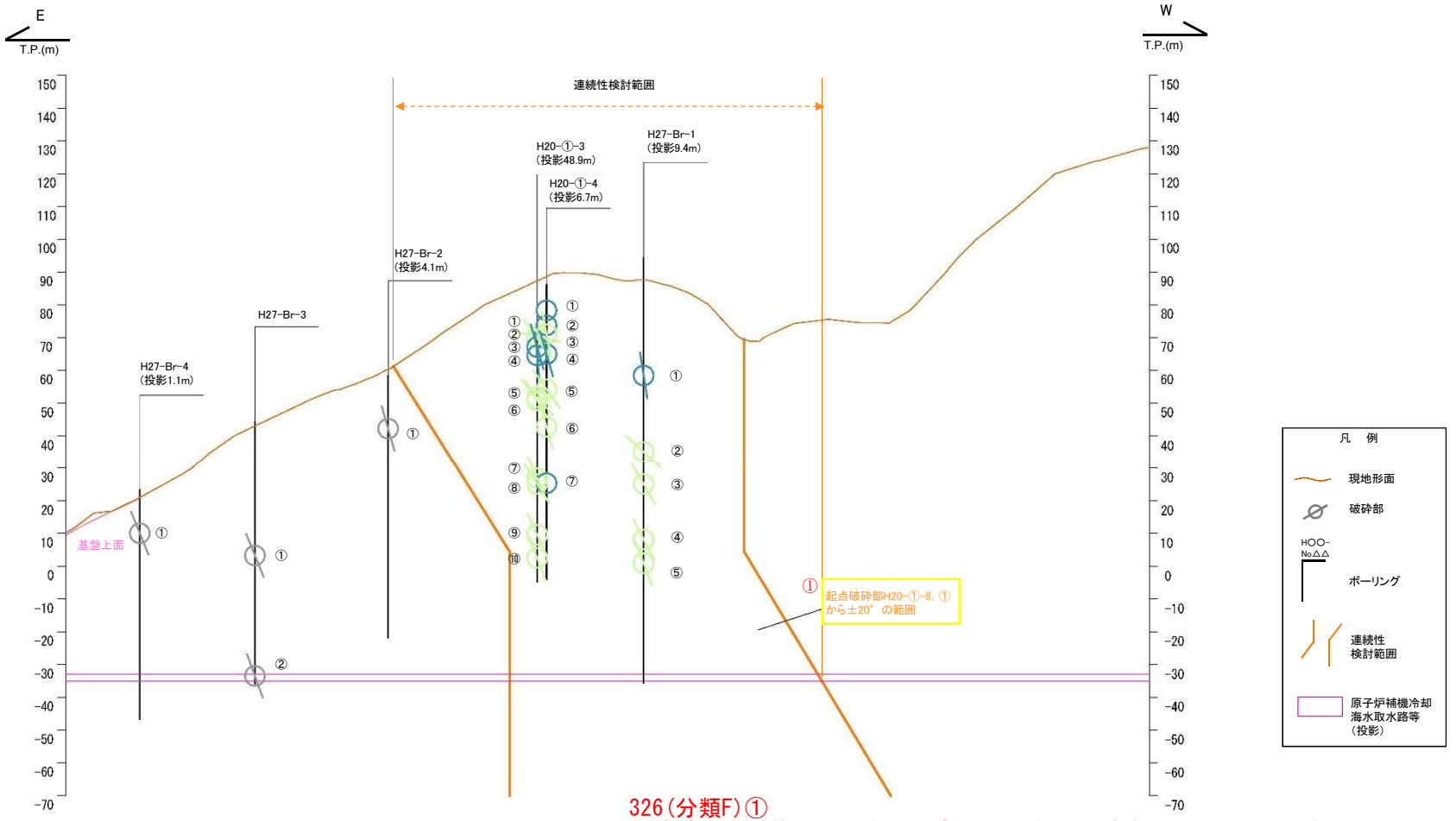


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



326(分類F)①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-8	-	-	①	24.96	25.54	N5E		79W		有	無	80R	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

327(分類A)①
下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-8	-	-	①	24.96	①26.15	N5E		79W		有	無	80R	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	16E	13	81W	9	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	17	74W	2	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	13	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
		範囲外	③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

328(分類A)①
走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	①N16E	13	81W	9	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	17	74W	2	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	13	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
		範囲外	③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	④	72.43	72.70	N32W		77W		無	-	-	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	57	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	72	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	39	68W	9	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	1	70W	7	有	無	76R	-	×	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	22	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	29	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	85	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	④	72.43	72.70	N32W		77W		無	-	① 不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	57	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	72	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	39	68W	9	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	1	70W	7	有	無	76R	-	×	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有	無	23L	② N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	22	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	29	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	85	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

329(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した条線方向を，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

330(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	88	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※4

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	88	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※4

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

331(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	66	82W	24	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	84	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	84	64W	6	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	58	70W	12	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	90	72W	14	有	有	70L	-		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	12	有	無	36L	-		D-2	参考2-87	
		範囲外	⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	59	64W	6	有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	89	66W	8	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	59	80W	22	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	59	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	4	無	-	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22.20	22.26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	86	60W	2	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	28	71S	13	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	66	82W	24	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	84	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	84	64W	6	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	58	70W	12	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	90	72W	14	有	有	70L	① N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	12	有	無	36L	① N,RL		D-2	参考2-87	
		範囲外	⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	59	64W	6	有	無	23L	① N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	89	66W	8	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	59	80W	22	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	59	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	4	② 有	③ 有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22.20	22.26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	86	60W	2	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	28	71S	13	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

332～334(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

335(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

336(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，
明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-5，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-5	-	-	①	50.48	51.16	N46E		78NW		有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	39	85W	7	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	52	85W	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	15	78W	0	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※1

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-5，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-5	-	-	①	50.48	51.16	N46E		78NW		有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	39	85W	7	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	52	85W	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	15 ①	78NW	0	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	※1

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

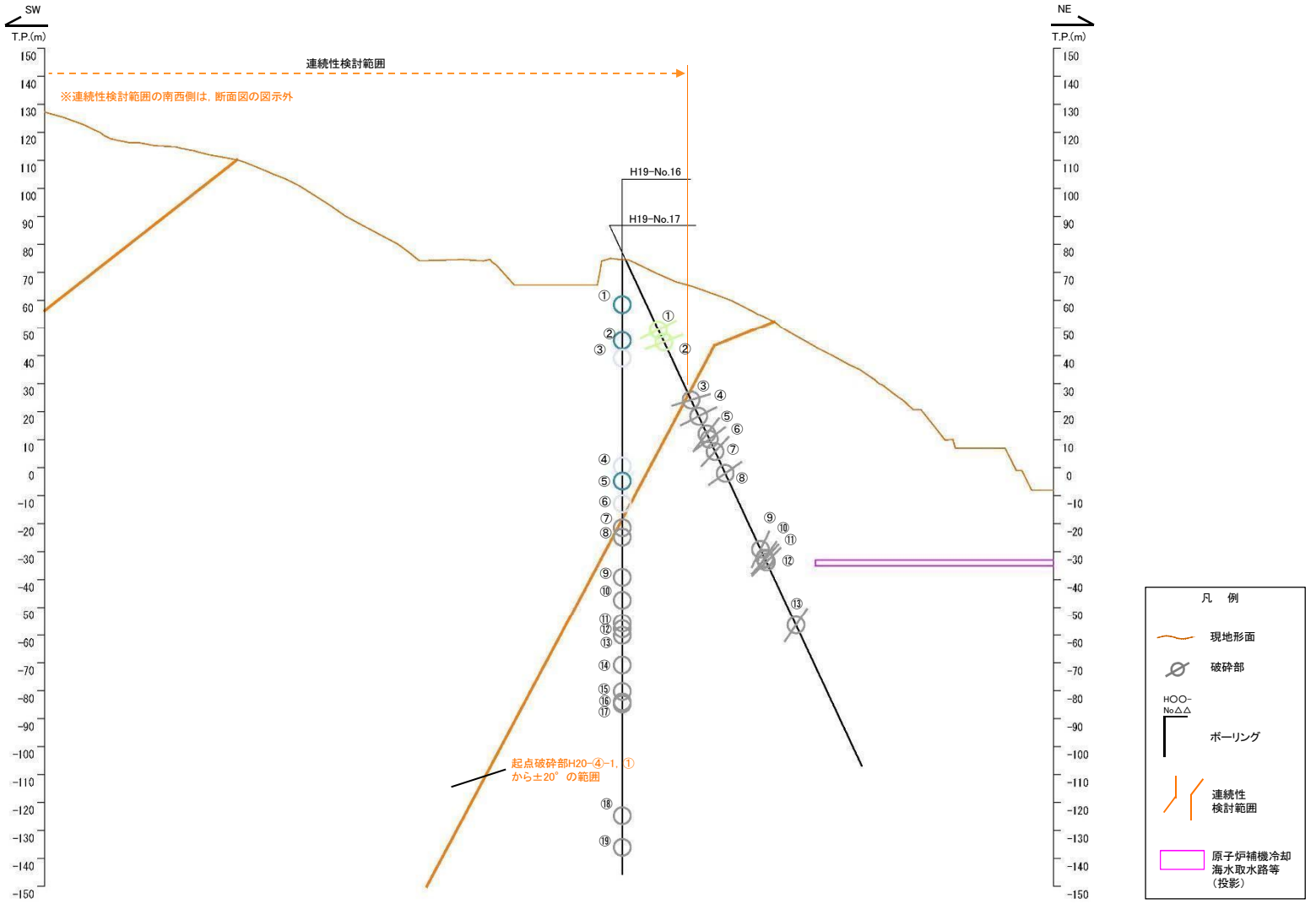
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

337(分類A)①
傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

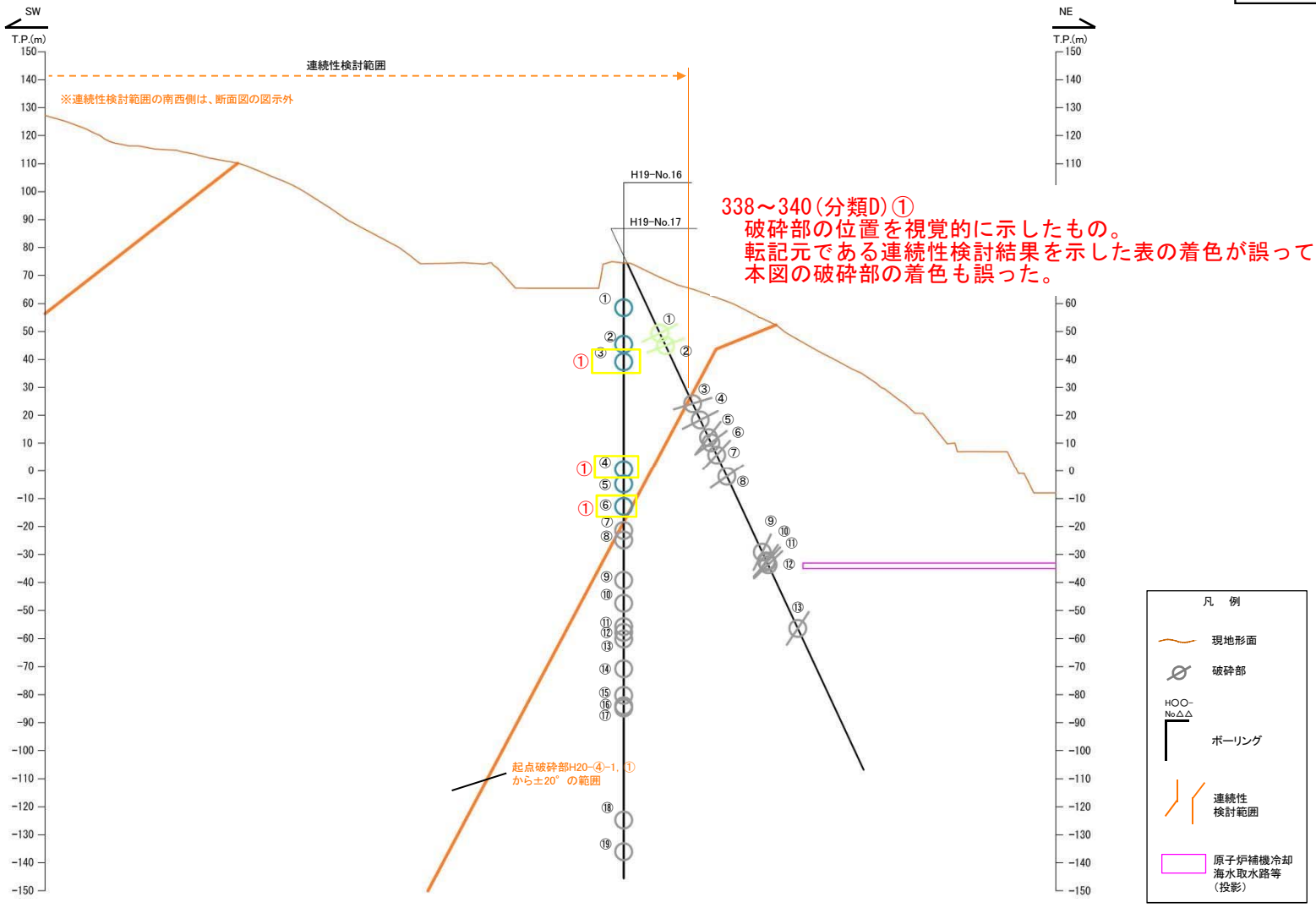


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



338～340(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	①	9.33	9.61	N82W		45S		無	-	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※4
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	10	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※3
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	1	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
		範囲外	⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	23	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	10	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	41	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	63	51W	6	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	①	9.33	9.61	N82W		45S		① 有	② 無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15 ③	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18 ③	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※4
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15 ③	有	有	-	-	④ ×	f-17-2	参考2-132	※3④
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4 ③	有	有	-	-	④ ×	D-11	参考2-91	※3④
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	10 ③	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※3
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	1 ③	有	有	-	-	④ ×	D-14	参考2-65	※3④
		範囲外	⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	23	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	10	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	41	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	63	51W	6	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

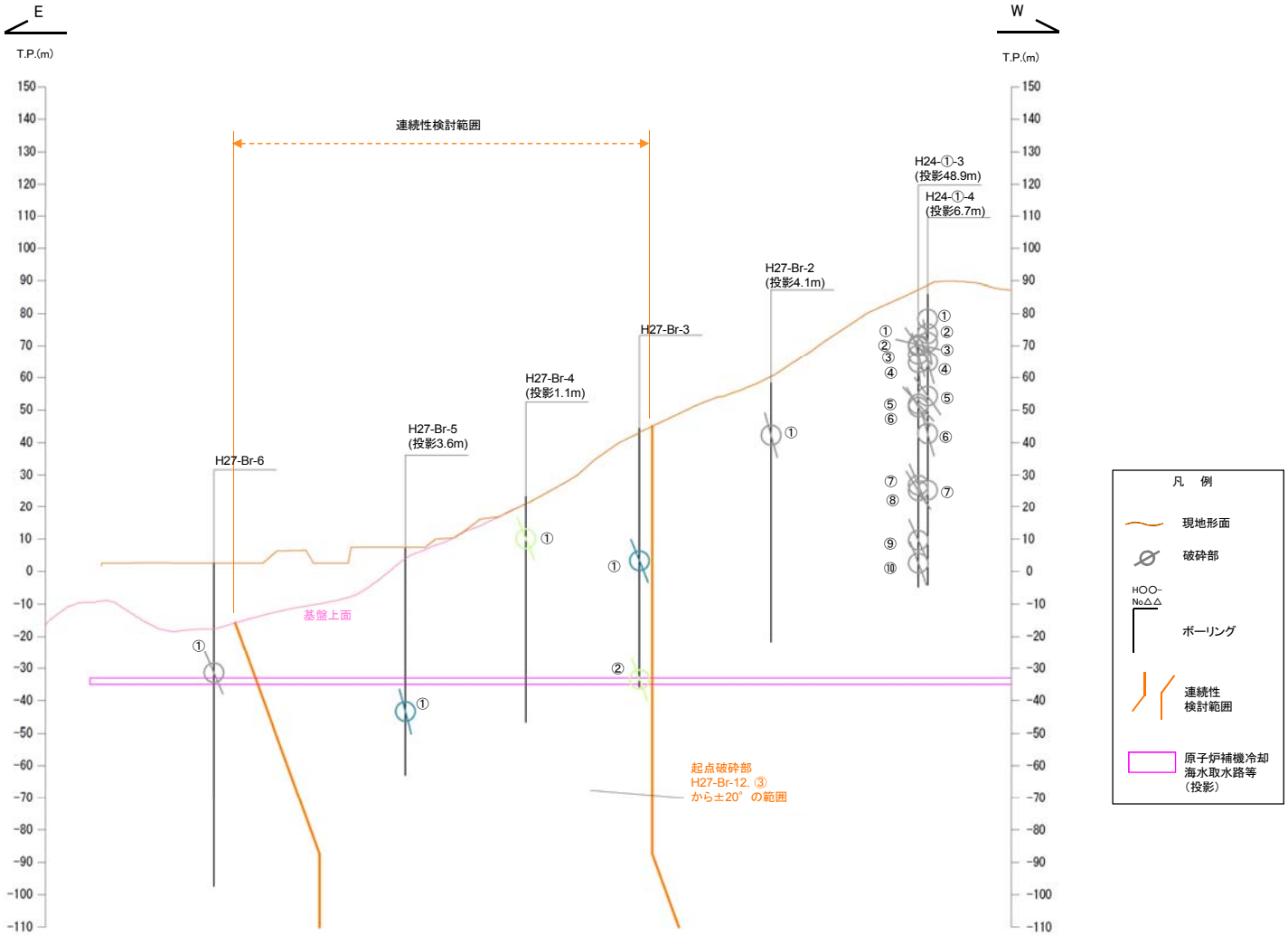
341(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

342(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

343～345，348，351，352(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

346，347，349，350，353，354(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

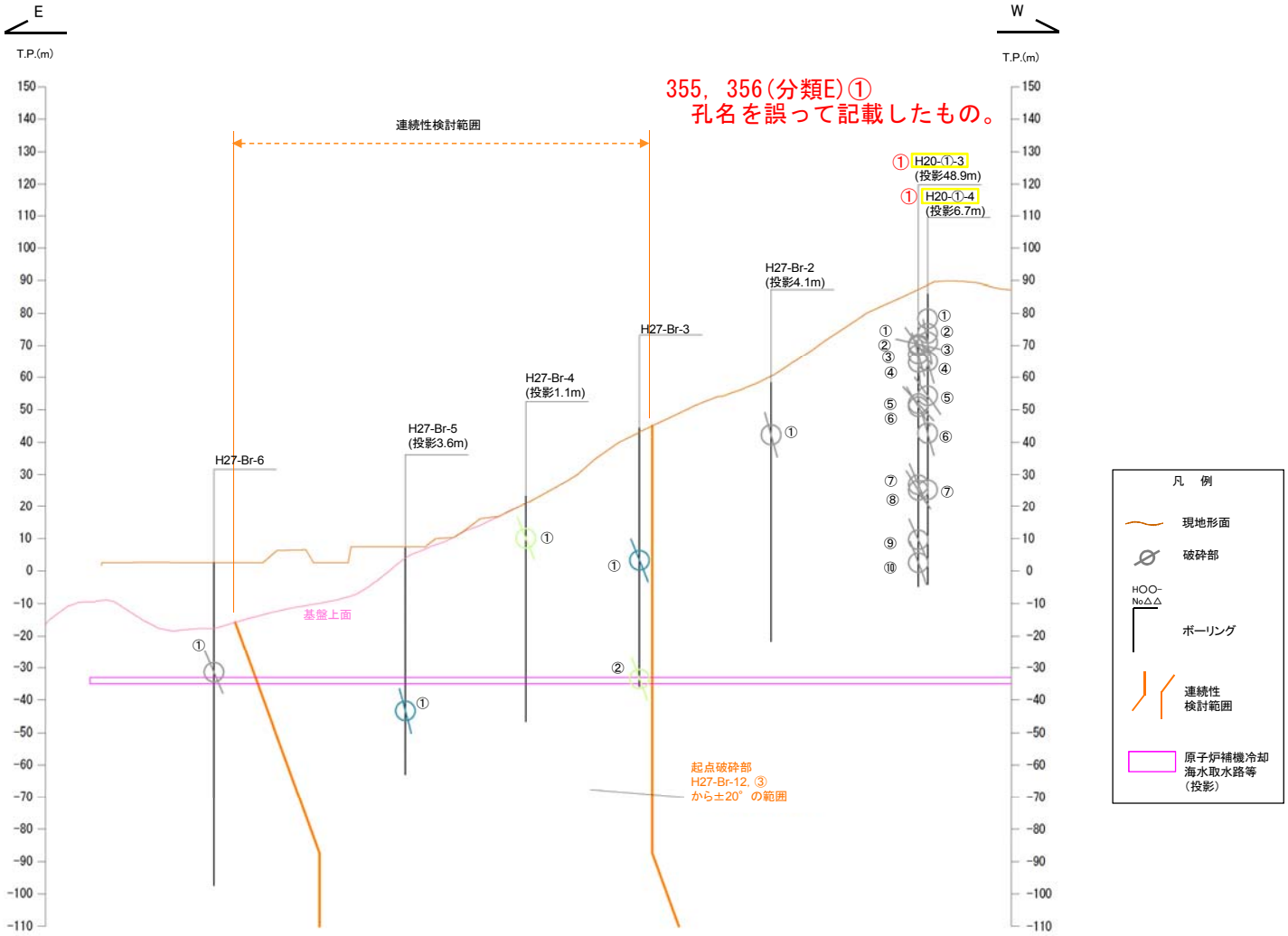
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

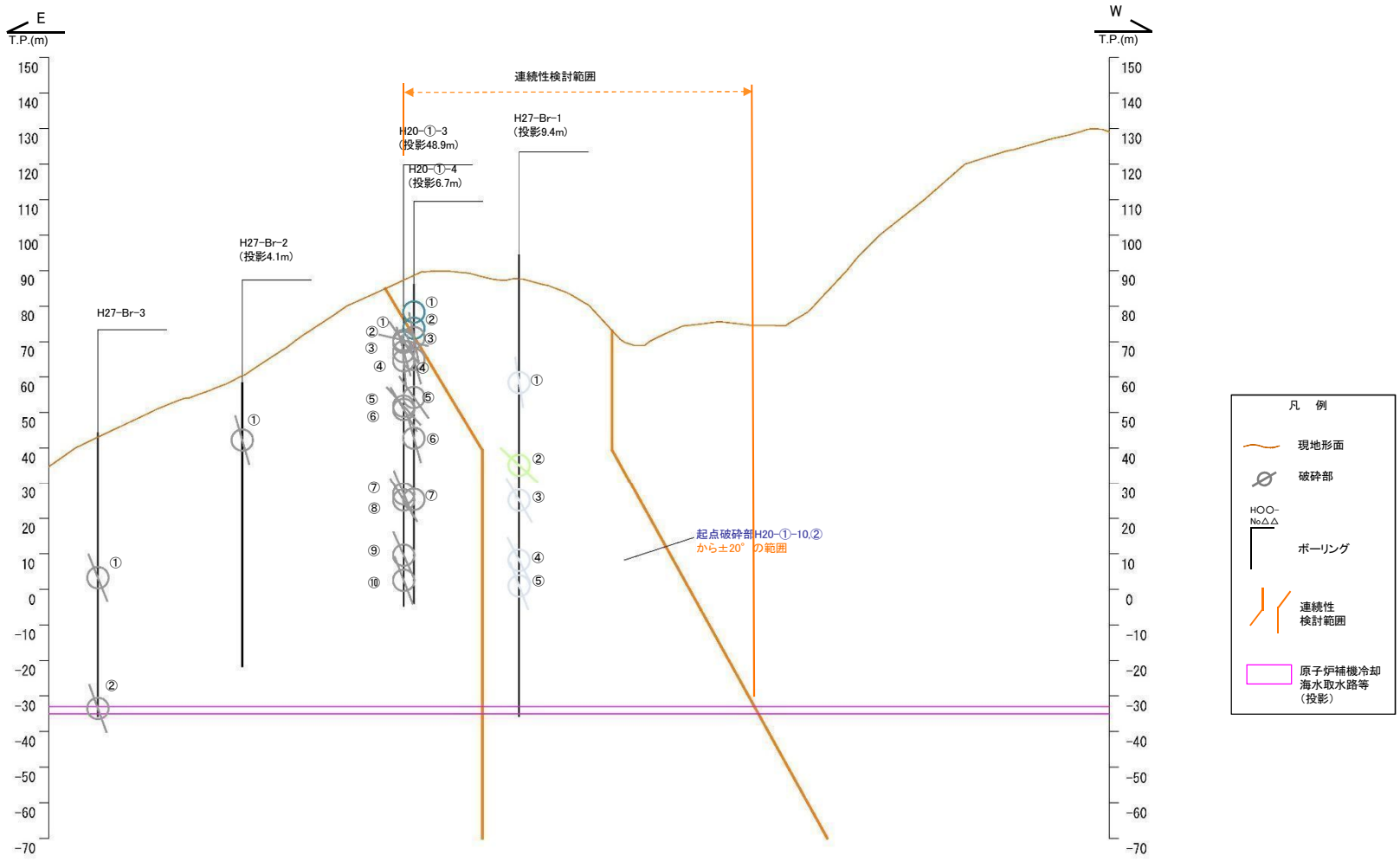
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

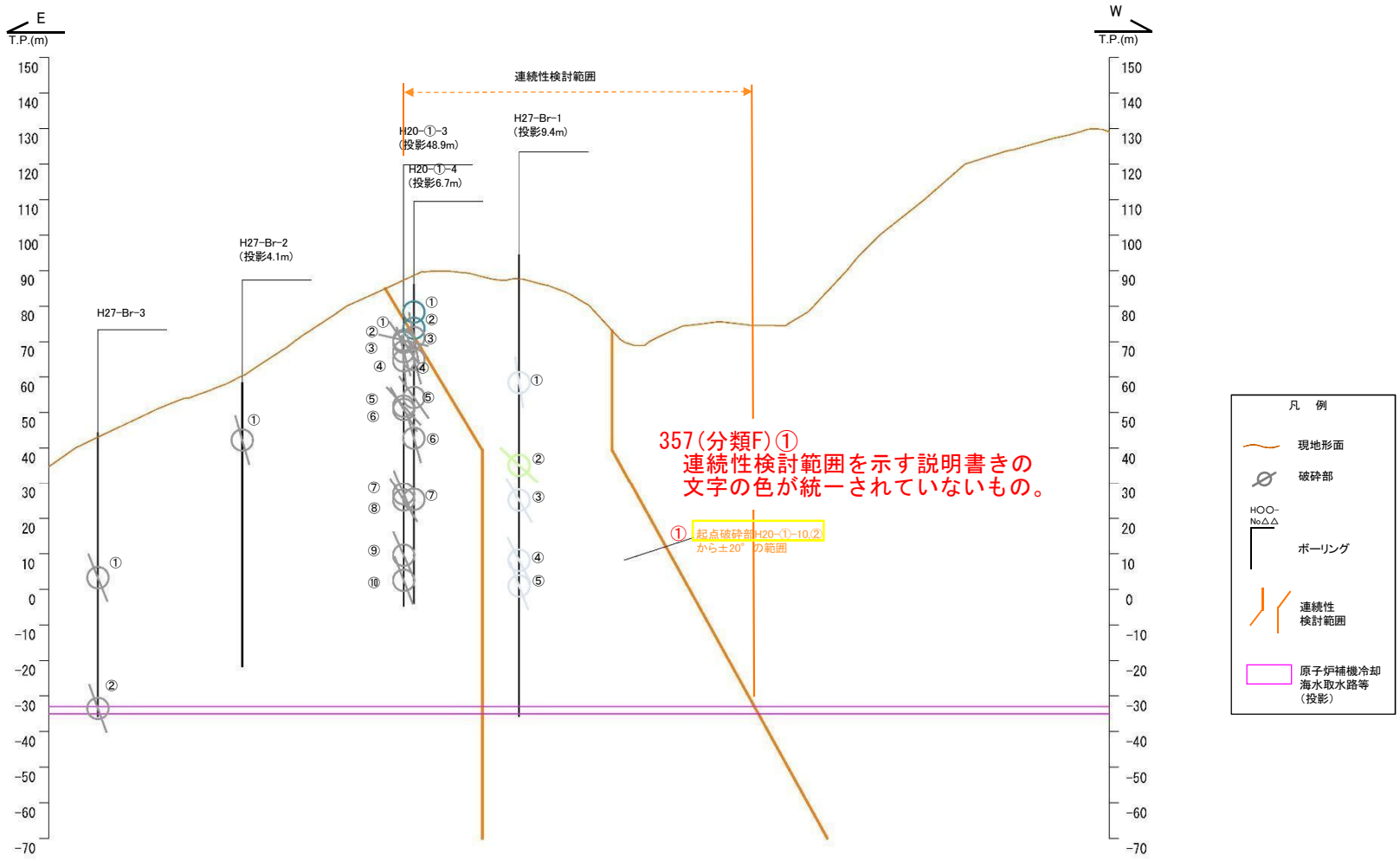
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	82	72W	7	有	有	70L	-		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	5	有	無	36L	-		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	64	62W	3	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	84	79W	14	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
		範囲外	④	24.12	24.41	N7W	74	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	87	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	70	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	71	89W	24	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	10	86N	29	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	84	87W	22	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	90	78W	13	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	13	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	85	76W	11	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	86	83W	18	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	79	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	53	88W	23	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	36	60W	5	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	36	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	82	72W	7	有	有	70L	① N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	5	有	無	36L	① N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有	無	23L	① N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	64	62W	3	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	84	79W	14	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
		範囲外	④	24.12	24.41	N7W	74	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	87	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	70	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	71	89W	24	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	10	86N	29	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	84	87W	22	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	90	78W	13	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	13	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	85	76W	11	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	86	83W	18	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	79	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	53	88W	23	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	36	60W	5	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	36	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリング

358～360(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有	無	90	-		D-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	19	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	11	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	15	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	21	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	90	73S	11	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	57	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	無	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有	無	90	-		D-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	19	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	11	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	15	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	21	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	90	73S	11	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	57	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	① 有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の

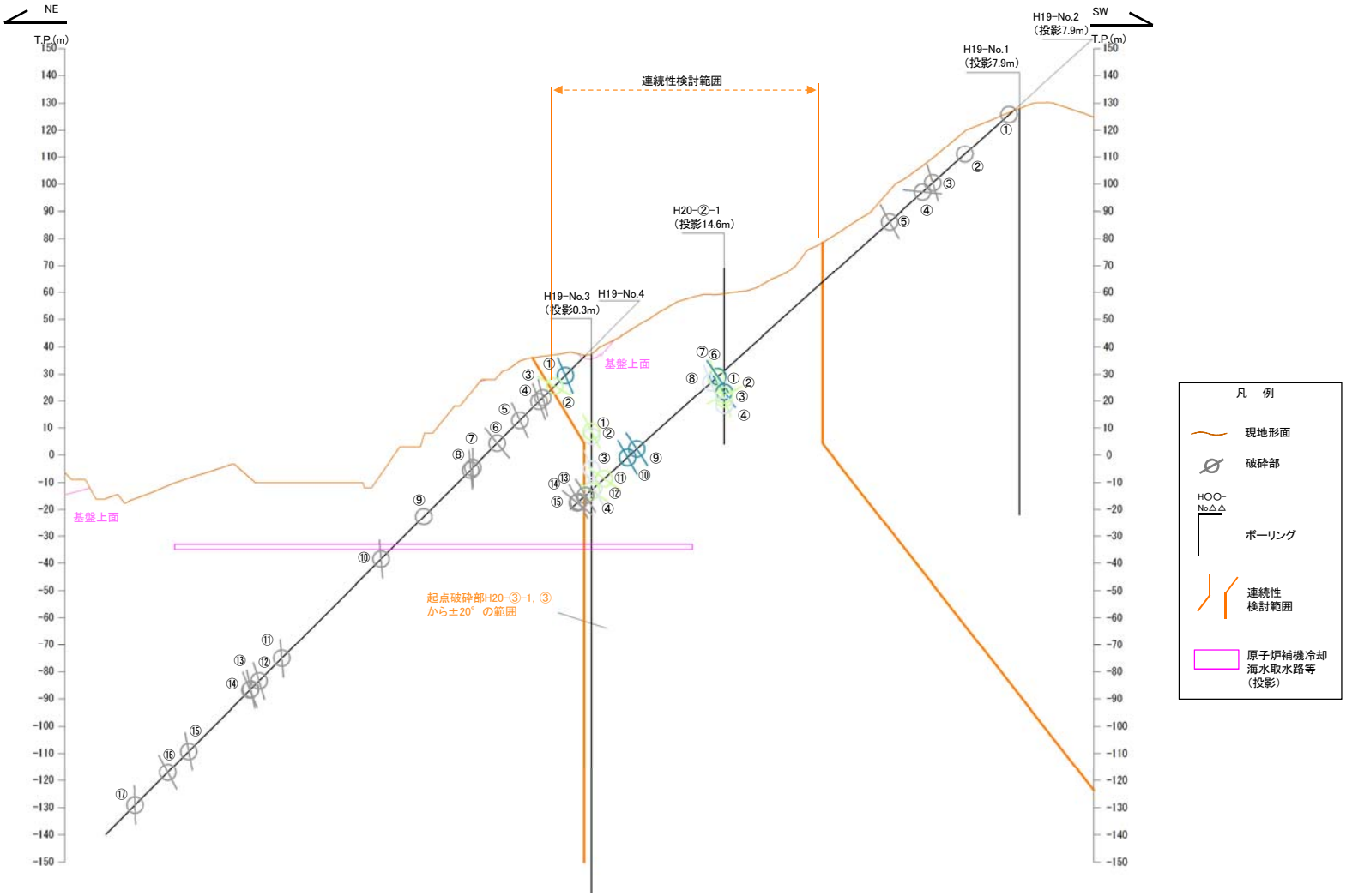
361(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，
転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)



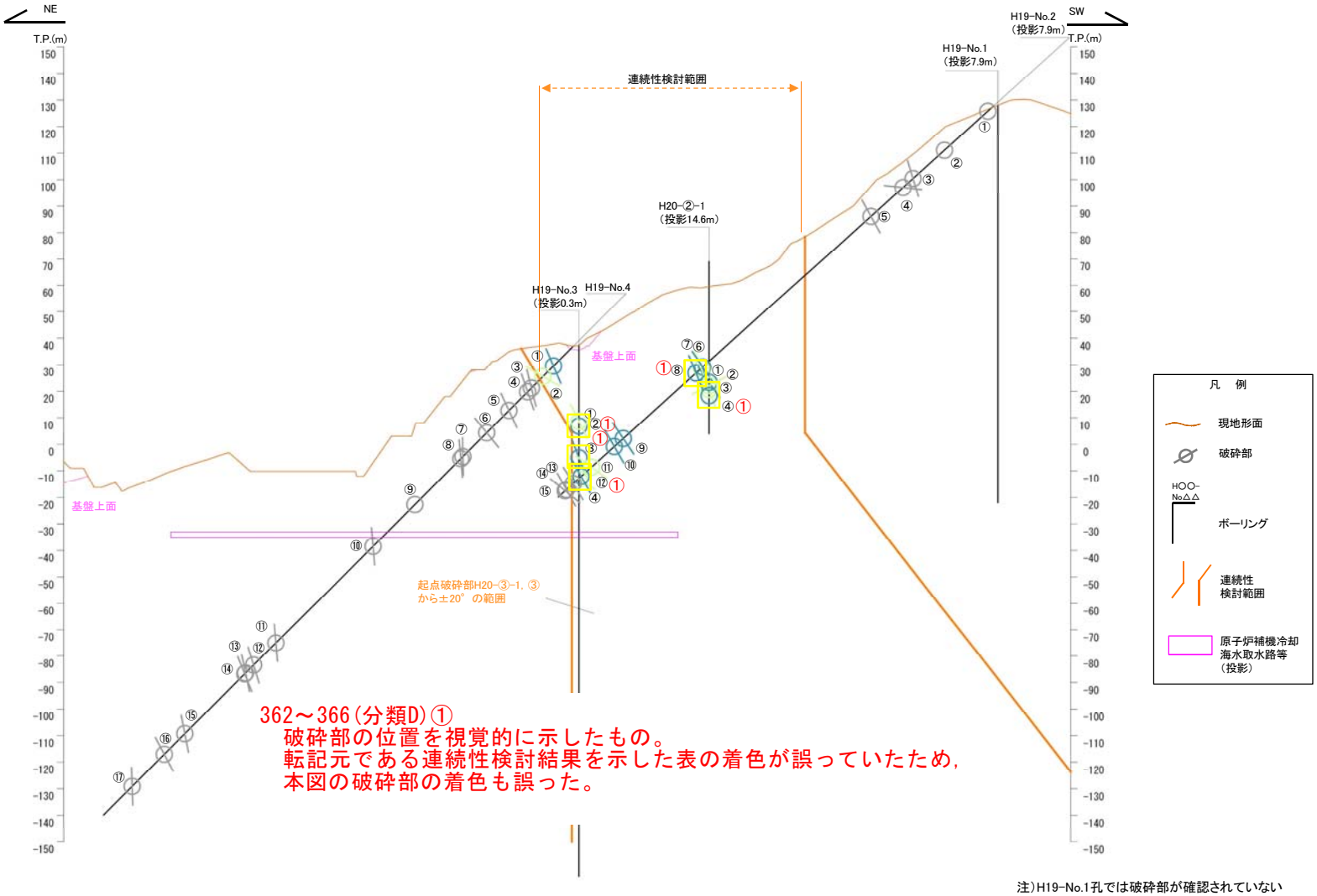
注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



362～366(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，
本図の破砕部の着色も誤った。

注)H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E		80W		無	-	85R	-		D-2	参考2-87	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	有	無	36L	N,RL	○	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※3
			⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
		範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※1
			②	46.85	46.97	N63E	62	71S	9	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	有	無	50L	-	×	D-3	参考2-88	※3
		範囲外	②	16.13	16.31	N35E	34	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	72	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	15	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	14	87W	7	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	8	78W	2	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	30	78W	2	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	13	76W	4	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	12	83W	3	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	19	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	29	88W	8	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

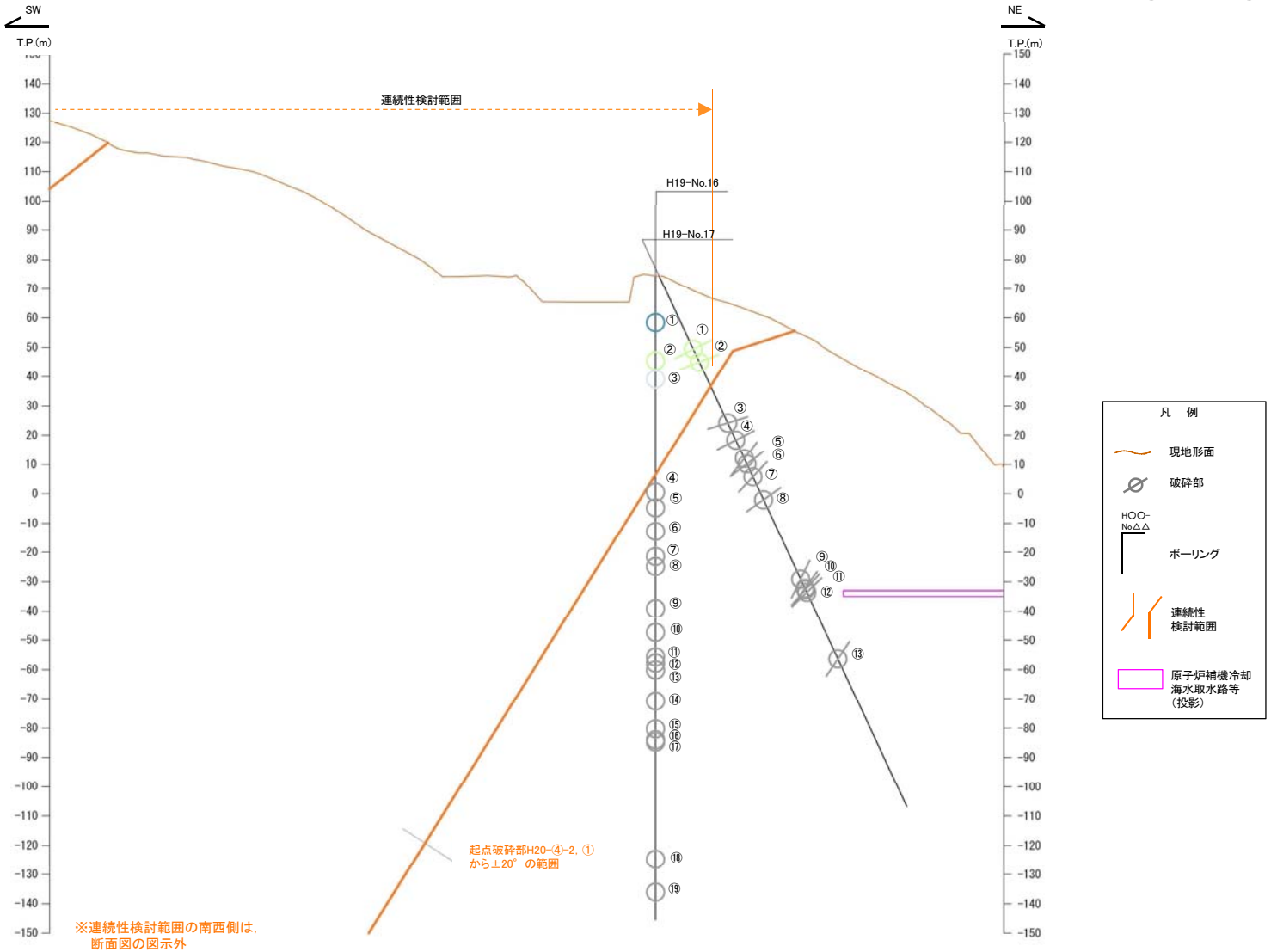
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E		80W		① 有	② 有	85R	-		D-2	参考2-87	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16	③ 有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	③ 有	③ 有	③ 70L	③ N	④ ×	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	③ 有	無	③ 36L	N,RL	○	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	③ 有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※3
			⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	③ 有	③ 有	③ 60L	③ -	④ ×	D-3	参考2-88	※3④
		範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	20	③ 有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※1
			②	46.85	46.97	N63E	62	71S	9	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	③ 有	③ 有	③ -	③ N,RL	④ ×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	③ 有	③ 有	③ -	③ -	④ ×	D-3	参考2-88	※3④
			③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	③ 有	③ 有	③ 75L	③ -	④ ×	f-2-10	参考2-125	※3④
			④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
			①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	③ 有	⑤⑥有	50L	-	×	D-3	参考2-88	※3
		⑦	②	⑦16.13	⑦16.31	N35E	34	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	

367(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
368(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
369，370，372，373，374，377，378，380，383，386(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
371，375，376，379，381，382，384，385(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
387(分類A)⑤
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
388(分類D)⑥
明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，表の当該箇所の着色が変わったもの。
389(分類E)⑦
断面図の連続性検討範囲内にある破砕部の着色を忘れたもの。

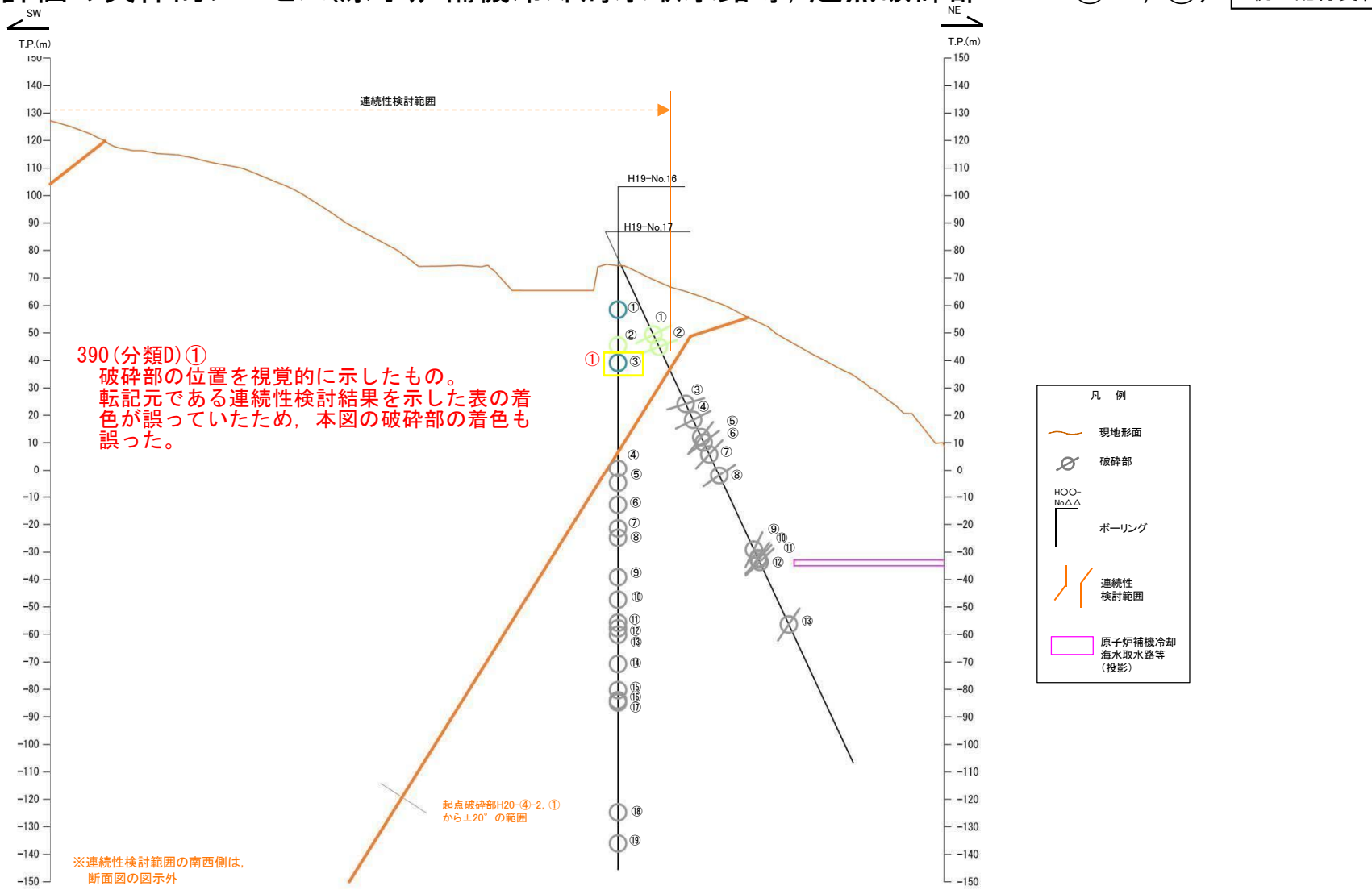
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-2	-	-	①	6.00	6.12	N86W		42S		無	-	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	18	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	21	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	18	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	④	73.91	73.93	-	-	(41)	1	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	13	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	2	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	28	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	7	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	39	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	18	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	26	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	13	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	42	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	60	57W	15	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	59	51W	9	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	55	52W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	66	50W	8	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	84	62W	20	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	76	53W	11	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	80	77W	35	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	67	36W	6	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	78	67W	25	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	75	57W	15	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	83	59W	17	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	80	57W	15	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	84	65W	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-2	-	-	①	6.00	6.12	N86W		42S		① 有	② 無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	18	有	③ 無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	21	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	18	③ 有	③ 有	③ -	③ -	④ ×	f-17-2	参考2-132	※3 ④
		範囲外	④	73.91	73.93	-	-	(41)	1	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	13	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	2	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	28	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	7	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	39	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	18	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	26	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	13	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	42	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	60	57W	15	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	59	51W	9	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	55	52W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	66	50W	8	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	84	62W	20	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	76	53W	11	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	80	77W	35	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	67	36W	6	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	78	67W	25	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	75	57W	15	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	83	59W	17	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	80	57W	15	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	84	65W	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

391(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

392(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

393，394(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

395，396(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E		83W		有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	21	60W	23	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	45	71S	12	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	20	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	3	87W	4	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	9	78W	5	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	47	78W	5	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	4	76W	7	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	0	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E		83W		有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	21	60W	23	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	45	71S	12	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	20	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	① 有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	3	87W	4	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	9	78W	5	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	47	78W	5	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	4	76W	7	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	0	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

397(分類A)①
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	①	24.58	24.67	N7W		88E		有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	75	45S	47	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21.78	N31W	24	73W	19	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	1	73W	19	有	有	47L	N,RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※3
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※3
			⑤	58.87	59.39	N17E	24	70W	22	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-		f-④-4-1		
	H20-④-5		①	7.85	9.71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲内	③	38.73	38.74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	64	79S	13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	62	69S	23	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)

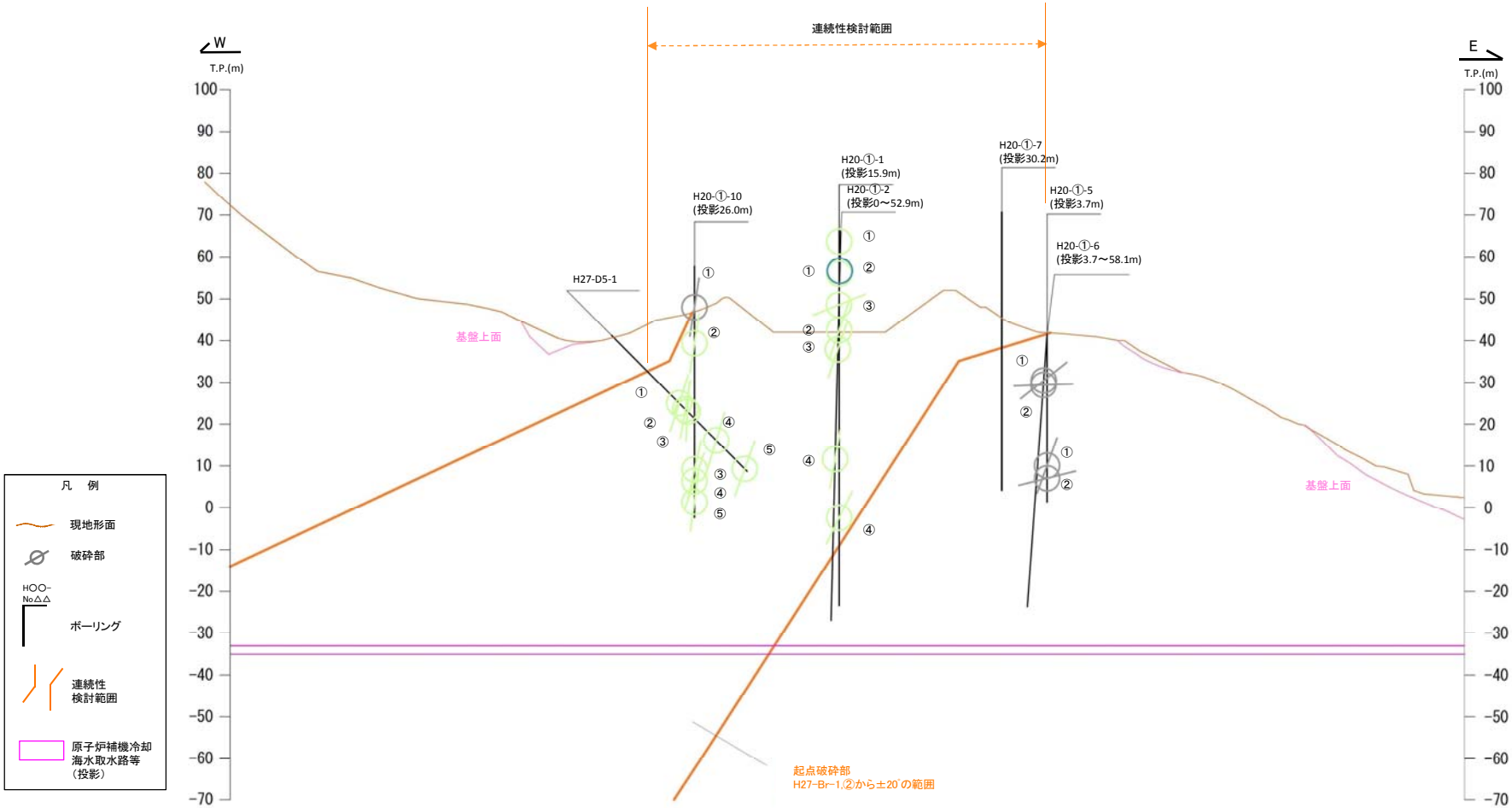
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	①	24.58	24.67	N7W		88E		有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	75	45S	47	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	24	73W	19	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	1	73W	19	有	有	47L	N,RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※3
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※3
			⑤	58.87	59.39	N17E	24	70W	22	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-	①	非モデル化 ②	参考2-188	
	H20-④-5		①	7.85	9.71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲内	③	38.73	38.74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-144	
			④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	64	79S	13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	62	69S	23	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

398(分類A)①
碎帯名について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

399(分類D)②
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，破砕帯名を修正したため，参照先を記載した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)



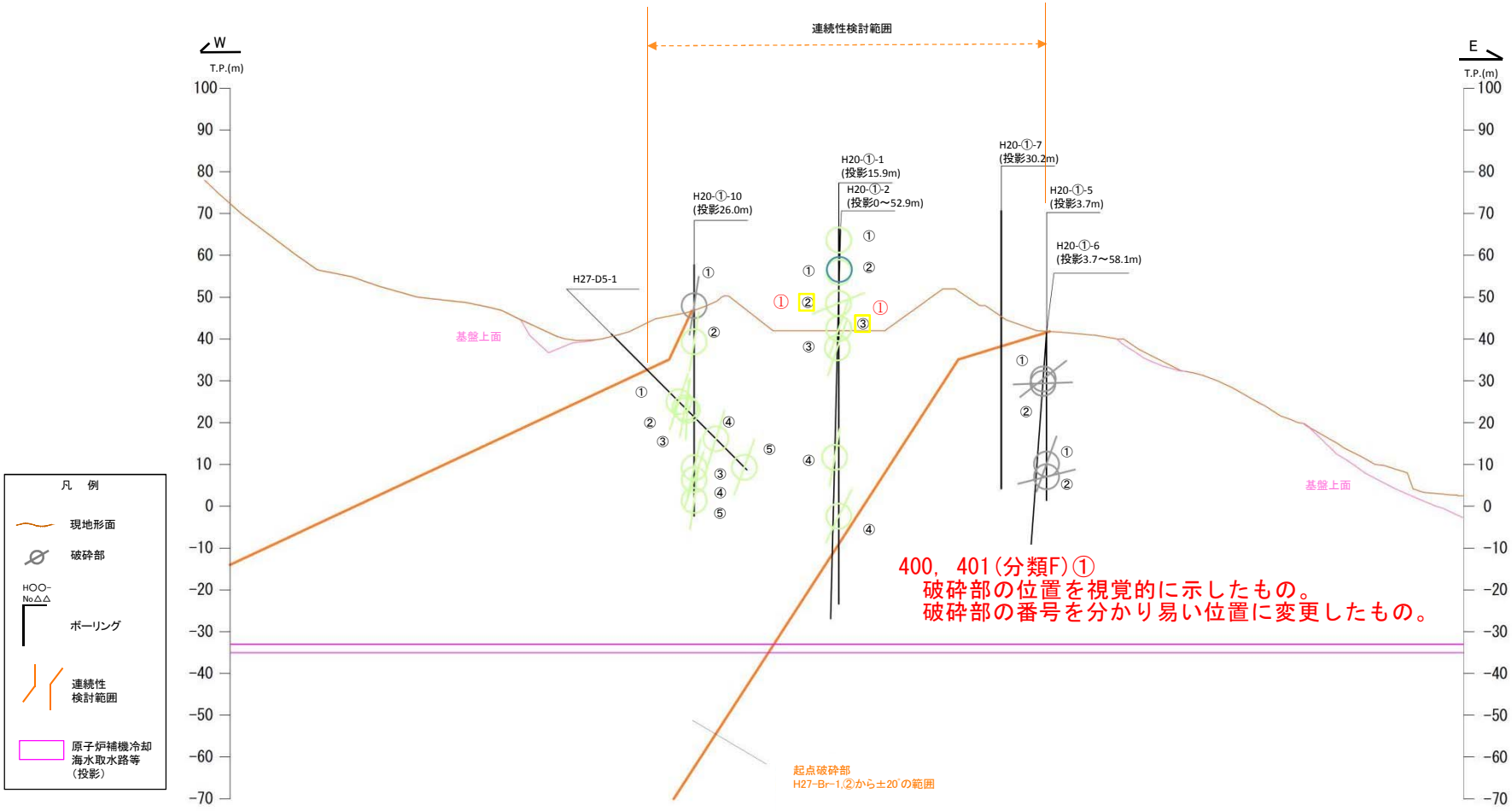
注）H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



注）H20-①-7孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	②	59.18	59.27	N31E		45W		有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲内	①	22.91	23.23	N35E	4	74W	29	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	0	81W	36	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	10	87W	42	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
			④	35.41	35.55	N2W	33	73W	28	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	7	72W	27	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	29	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	6	72W	27	有	無	60L	-		D-19	参考2-99	
			④	68.72	69.02	N36E	5	66W	21	有	無	30L	N,RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	31	33N	12	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	49	73W	28	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	27	80W	35	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	64	75W	30	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	120	58S	13	無	-	-	-		f-①-5-2	参考2-150	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	84	60S	15	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	112	65S	20	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10		①	9.01	10.28	N1W	32	81W	36	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
		範囲内	②	18.16	18.84	N26E	5	81W	36	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48.24	N6E	25	77W	32	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	31	71W	26	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	3	83W	38	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	②	59.18	59.27	N31E		45W		有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲内	①	22.91	23.23	N35E	4	74W	29	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	0	81W	36	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	10	87W	42	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
			④	35.41	35.55	N2W	33	73W	28	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	7	72W	27	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	29	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	6	72W	27	有	無	60L	-		D-19	参考2-99	
			④	68.72	69.02	N36E	5	66W	21	有	無	30L	N,RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	31	33N	12	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	49	73W	28	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	27	80W	35	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	64	75W	30	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W①	60	58S	13	無	-	-	-	②	非モデル化	参考2-188	③
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	84	60S	15	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W①	68	65S	20	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10		①	9.01	10.28	N1W	32	81W	36	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
		範囲内	②	18.16	18.84	N26E	5	81W	36	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48.24	N6E	25	77W	32	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	31	71W	26	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	3	83W	38	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

402，403(分類C)①
走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
404(分類E)②
破砕帯名について，仮名称を変更し忘れたもの。
405(分類D)③
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，破砕帯名を修正したため，参照先を記載した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-9	-	-	②	66.50	66.77	N48E		77NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	36	76W	1	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	48	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	39	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	42	82W	5	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	89	69W	8	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	41	85W	8	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	54	85W	8	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	17	78W	1	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，②)

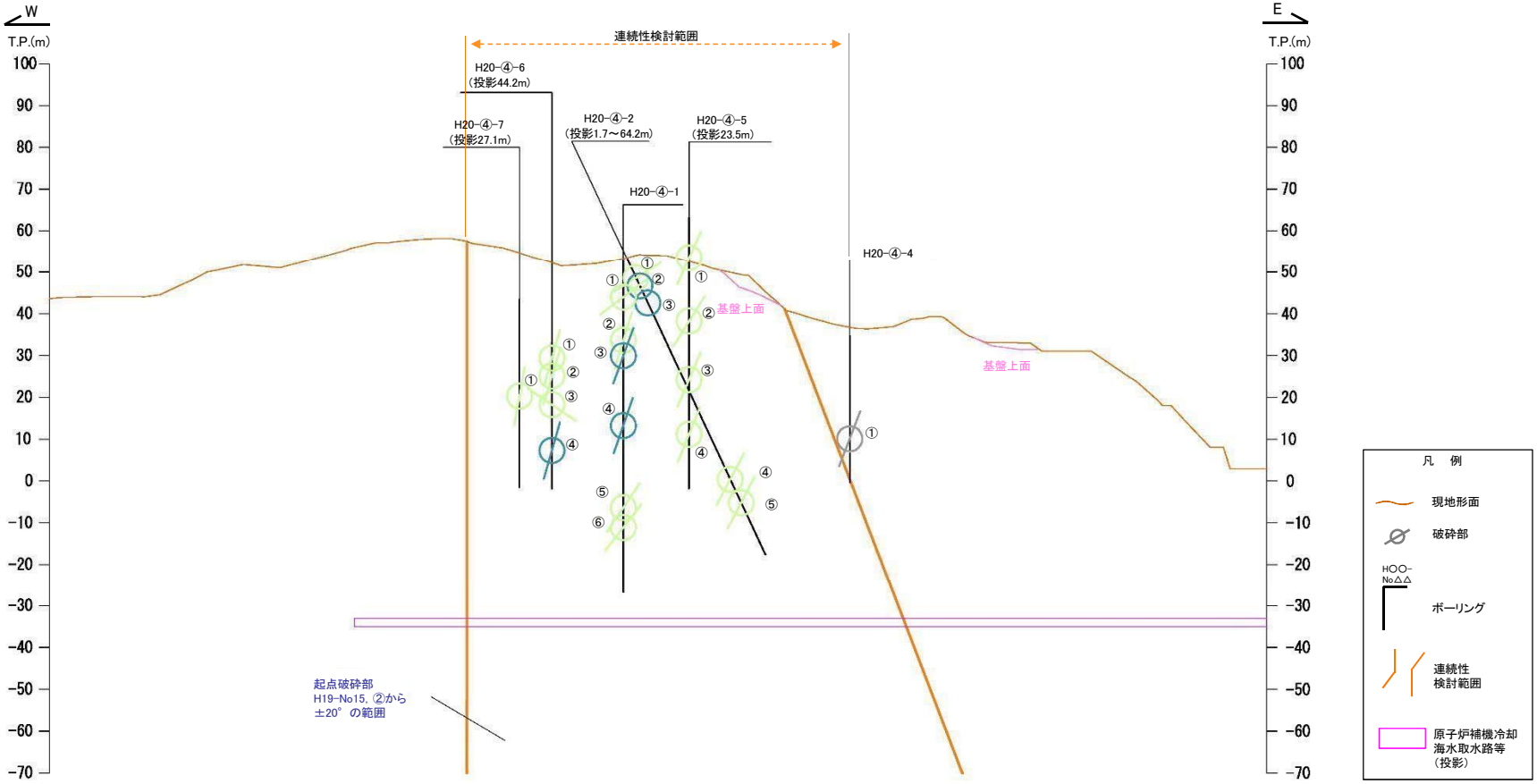
第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-9	-	-	②	66.50	66.77	N48E		77NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	36	76W	1	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	48	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	39	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	42	82W	5	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	89	69W	8	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	41	85W	8	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	54	85W	8	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	17 ②	78NW	1	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

406(分類A)①
　連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。
407(分類A)②
　傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)

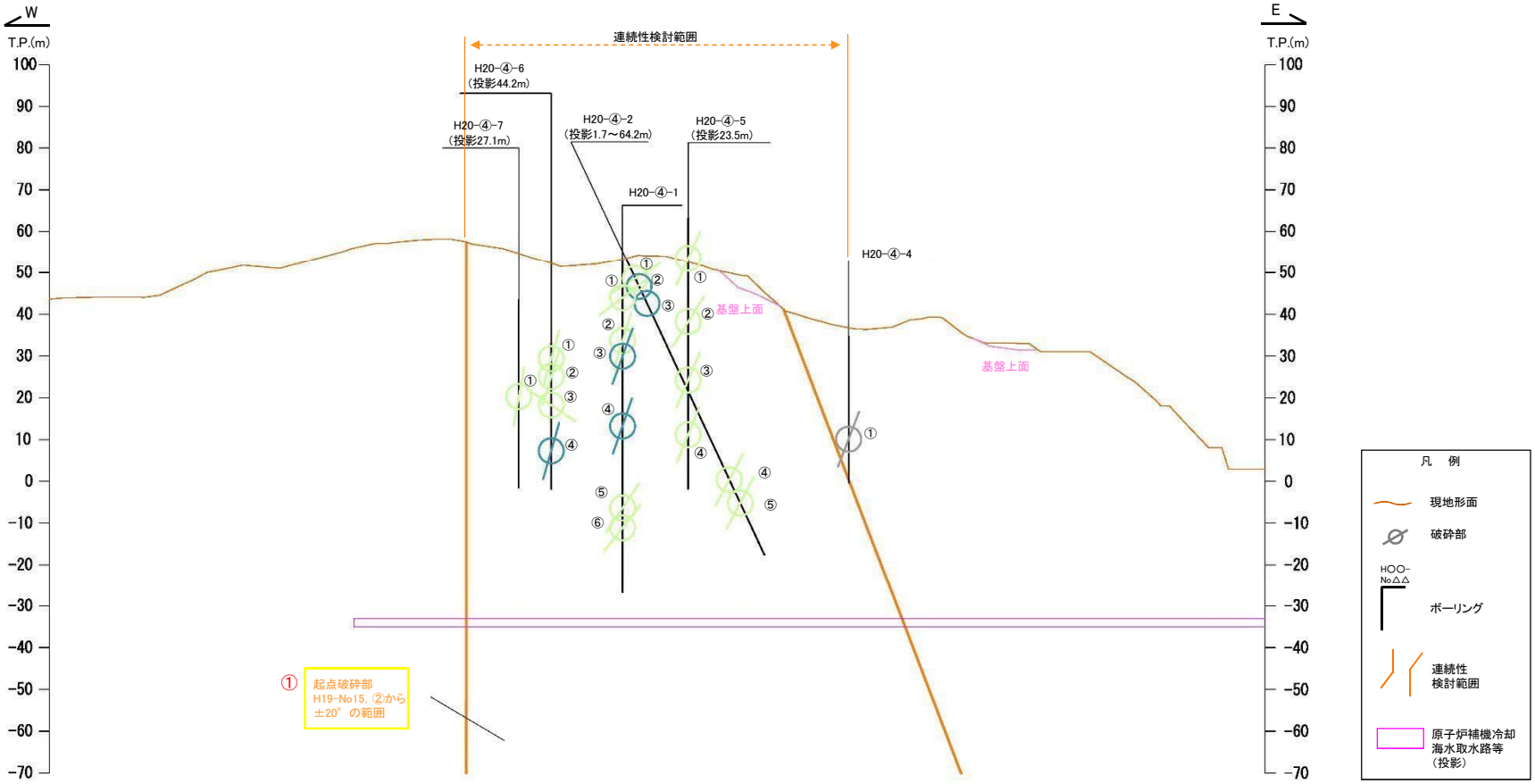


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



408(分類F)①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	②	25.83	25.93	N6E		89E		有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	88	45S	46	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21.78	N31W	37	73W	18	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	14	73W	18	有	有	47L	N.RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	39.78	39.98	N11E	5	78W	13	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59.39	N17E	11	70W	21	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	13	68W	23	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	88	42S	49	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	10	67W	24	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	10	67W	24	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	2	71W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	62	70S	21	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	5	62W	29	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
			③	38.73	38.74	N9E	3	70W	21	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	17	68W	23	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	66	78S	13	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	77	79S	12	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	49	69S	20	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	12	77W	14	有	無	90	-	×	f-④-6-4	参考2-144	※3
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	59	80S	11	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	②	25.83	25.93	N6E		89E		有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	88	45S	46	有	無	-	-		f-④-2-1①	参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	37	73W	18	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	14	73W	18	有	有	47L	N.RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	39.78	39.98	N11E	5	78W	13	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59.39	N17E	11	70W	21	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	13	68W	23	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	88	42S	49	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	10	67W	24	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	10	67W	24	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	2	71W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	62	70S	21	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	5	62W	29	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
			③	38.73	38.74	N9E	3	70W	21	有	無	10L	-		f-④-9-1①	参考2-144	
			④	51.86	52.16	N11W	17	68W	23	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	66	78S	13	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	77	79S	12	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	49	69S	20	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	12	77W	14	有	無	90	-	×	f-④-6-4	参考2-144	※3
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	59	80S	11	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

409，410(分類A)①
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34.38	N12E		73W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	19	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	30	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	22	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	無	-	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	無	-	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	0	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	1	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	1	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	24	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34.38	N12E		73W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	19	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	30	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	22	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	① 有	② 有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	① 有	② 無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	0	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	1	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	1	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	24	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

411，413(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

412，414(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N5E		85W		無	-	28L	N,RL		H-3c	参考2-167	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
		範囲外	②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※3
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	54	61N	34	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N5E		85W		① 有	② 無	28L	N,RL		H-3c	③参考2-168	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	④ 有	④ 無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
		範囲外	②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	④ 有	④ 無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	④ 有	④ 無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※3
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	④ 有	④ 無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	54	61N	34	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

415(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

416(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

417(分類A)③
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

418～421(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.2	-	-	⑨	186.53	186.58	N21E		70W		有	無	36L	-		D-2	参考2-87	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	6	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑨	186.53	186.58	N21E		70W		有	無	36L	① N,RL		D-2	参考2-87	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	11	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	10	45W	25	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	21	64NW	6	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	13	65W	5	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	25	73W	3	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	21	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	62	40N	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	10	55W	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	32	85W	15	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	22	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	47	64W	6	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	14	69W	1	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	17	61W	9	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	28	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	19	72W	2	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	15	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	6	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	11	80W	10	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	15	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	15	76W	6	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

422(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑭	215.42	215.46	N9W		64W		有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有	有	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	21	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	20	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑭	215.42	215.46	N9W		64W		有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有	有	80L	N	① ×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有	② 無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	21	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	20	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	③ 無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	③ 無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

423(分類E)①
連続性検討結果について，記載の必要な箇所に記載を忘れたもの。

424(分類A)②
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

425，426(分類E)③
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って違う色を着色したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	26	85W	18	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	18	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		① 有	② 無	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	26	85W	18	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	18	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

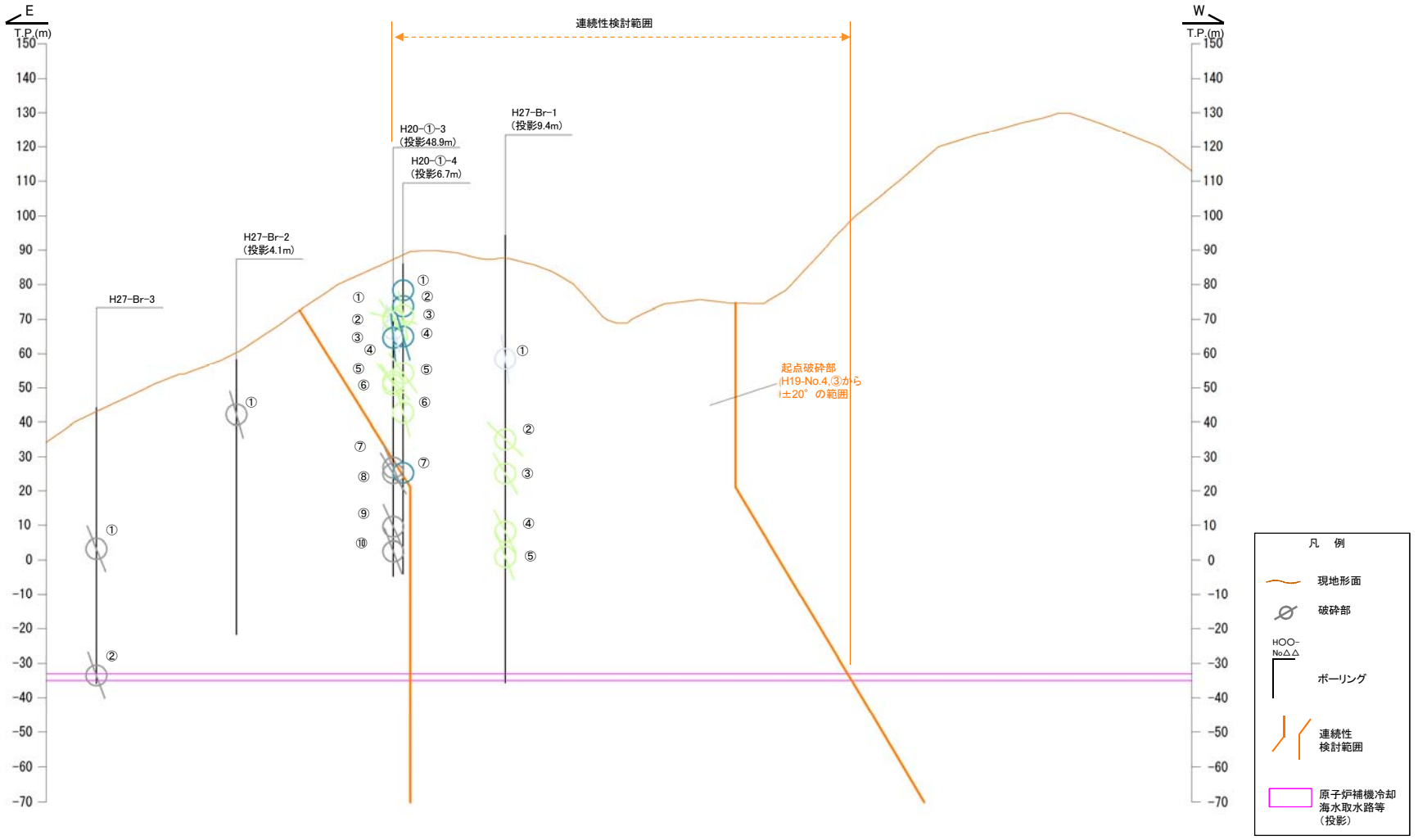
( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

427(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

428(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

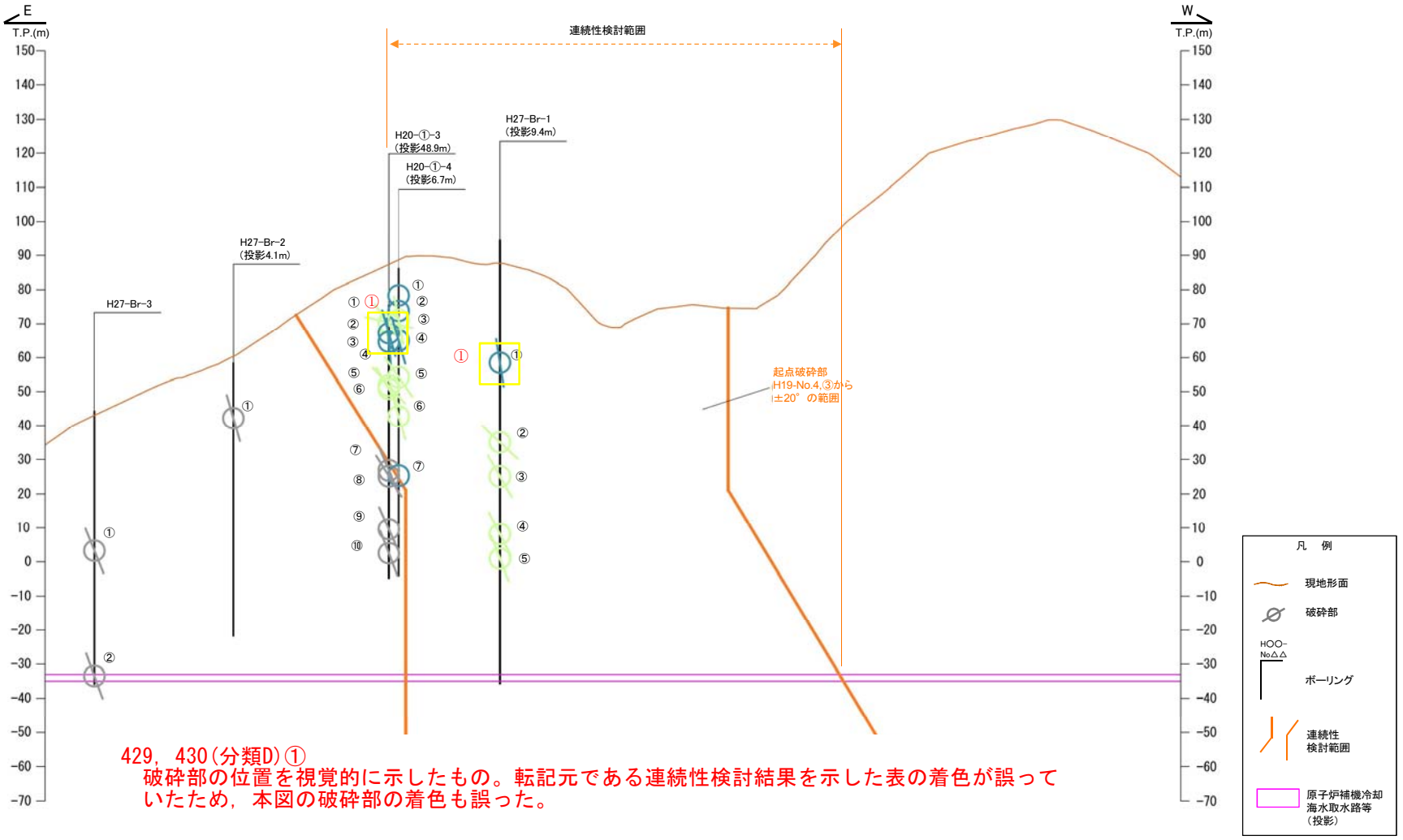


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



429，430(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		無	-	2L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	5	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	8	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		① 有	② 有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	③ 有	③ 有	76R	③ N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	5	③ 有	③ 有	55L	③ N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	8	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの ④
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

431(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

432(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

433～436(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

437(分類E)④
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路，起点破砕部：H20-①-5，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	①	31.28	31.44	N33W		75W		無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	84	73NW	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	5	76SW	1	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	42	77SW	2	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	56	78SW	3	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21.33	N45E	78	79SW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	81	80SW	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	40	81SW	6	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	27	82SW	7	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	64	83SW	8	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路，起点破砕部：H20-①-5，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	①	31.28	31.44	N33W		75W		無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	84	73NW	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	5	76SW	1	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	42 ①	87W	② 12	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	56 ①	56W	② 19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21.33	N45E	78 ①	63NW	② 12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	81 ①	77NW	② 2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	40 ①	85W	② 10	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	27 ①	85W	② 10	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	64 ①	78NW	② 3	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

438，440，442，444，446，448，450(分類A)①
　傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
439，441，443，445，447，449，451(分類D)②
　転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E		81W		有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	0	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有	有	45L	N,RL	×	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	2	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
		範囲外	④	21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

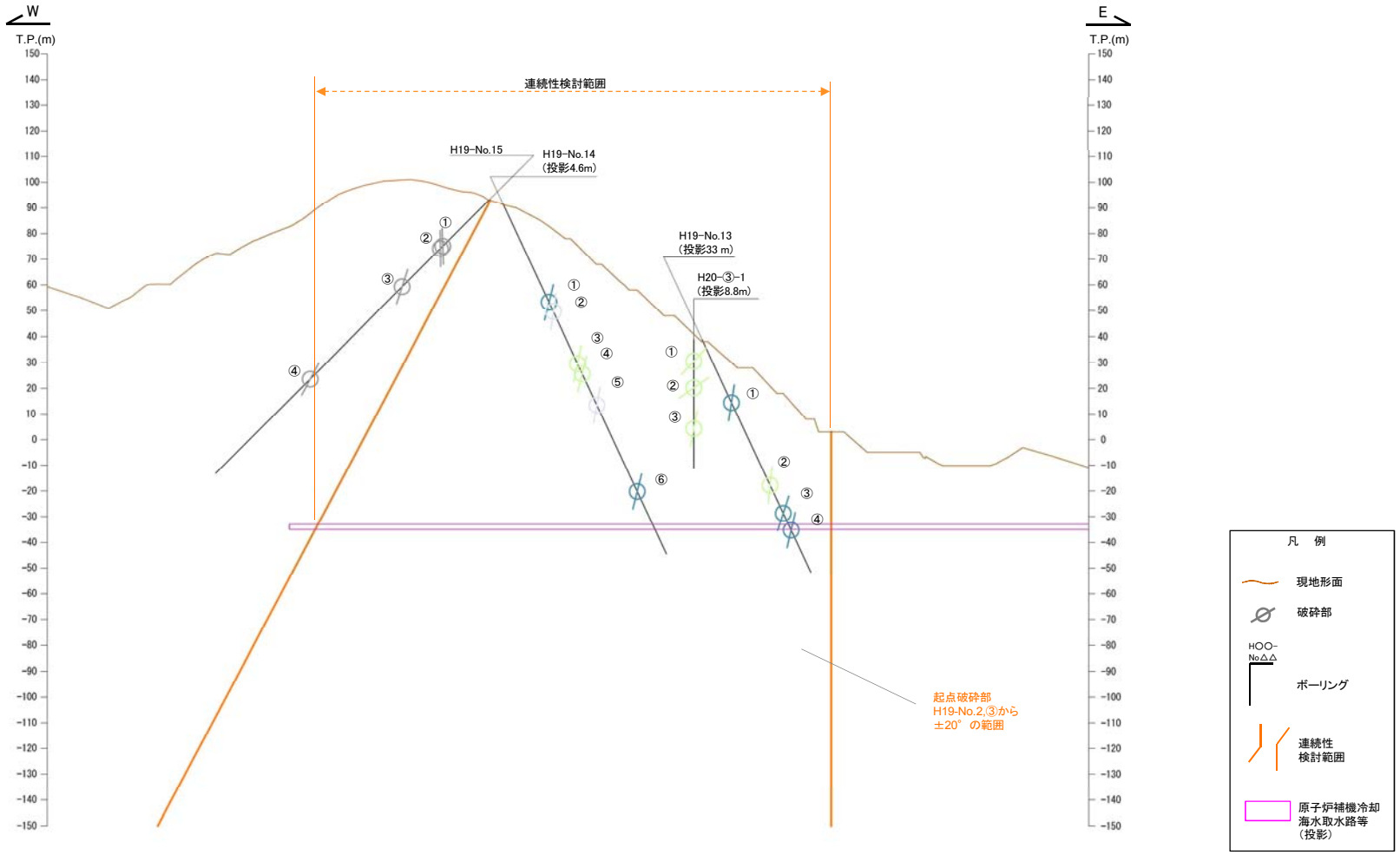
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E		81W		有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	0	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有	有	45L	N,RL	×	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	① 85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
		範囲外	④	21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

452(分類A)①
条線方向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)



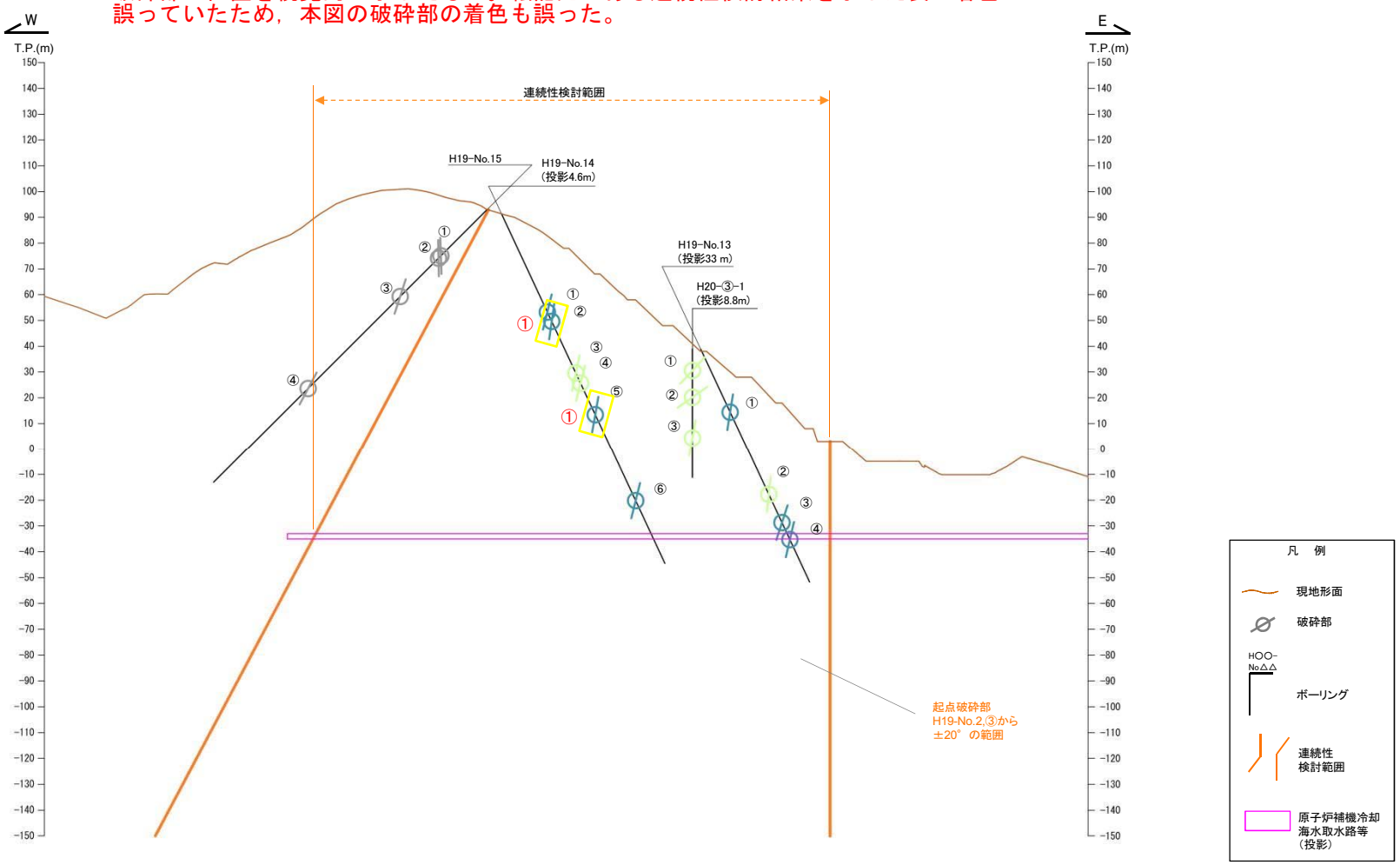
破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

453，454(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	③	39.83	39.88	N25E		82W		無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	20	81W	1	有	無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	25	84W	2	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	15	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	4	有	無	17R	-	×	f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	5	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	1	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	57	77W	5	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	5	81W	1	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	7	79W	3	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	34	61N	37	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	③	39.83	39.88	N25E		82W		① 有	② 無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	20	81W	1	③ 有	③ 無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	25	84W	2	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	15	73W	9	③ 有	③ 無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	4	③ 有	③ 無	17R	-	×	f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	5	③ 有	③ 無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	1	③ 有	③ 有	③ 80L	③ -	④ ×	f-14-2	参考2-131	※3 ④
			③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	57	77W	5	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	5	81W	1	③ 有	③ 有	③ -	③ N,RL	④ ×	D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	7	79W	3	③ 有	③ 無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	34	61N	37	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

455(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

456(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

457～461，464，466(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

462，463，465(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑪	202.81	202.85	N32E		64W		有	無	23L	-		f-2-8	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	1	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	10	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	14	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	32	74W	10	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	19	73NW	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	70	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲外	①	4.96	5.00	N83E	51	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	21	55W	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	20	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	43	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	20	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	3	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	6	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	0	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	26	55W	9	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑪	202.81	202.85	N32E		64W		有	無	23L	① N,RL		f-2-8	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	17	有	有	76R	② N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	1	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	10	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	14	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	32	74W	10	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	19	73NW	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	70	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲外	①	4.96	5.00	N83E	51	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	21	55W	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	20	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	43	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	20	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	3	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	6	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	0	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	26	55W	9	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

467(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

468(分類D)②
起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-9	-	-	①	21.26	21.33	N45E		63NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	45	79W	16	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	36	80W	17	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	39	82W	19	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	86	69W	6	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	38	85W	22	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	51	85W	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	14	78NW	15	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

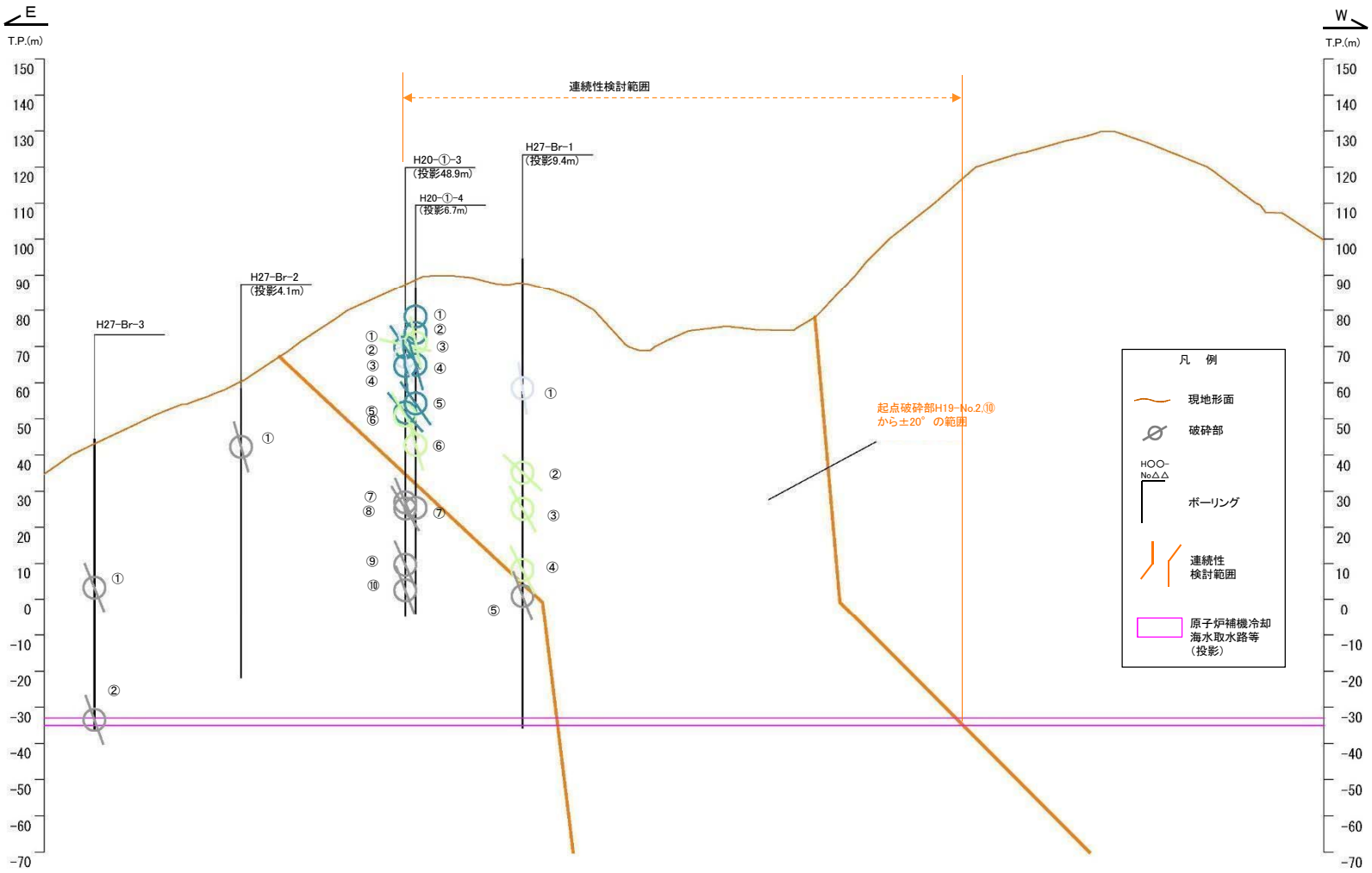
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-9，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-9	-	-	①	21.26	21.33	N45E		63NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	45	79W	16	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	36	80W	17	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	39	82W	19	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	86	69W	6	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	38	85W	22	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	51	85W	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	14	78NW	15	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

469(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)



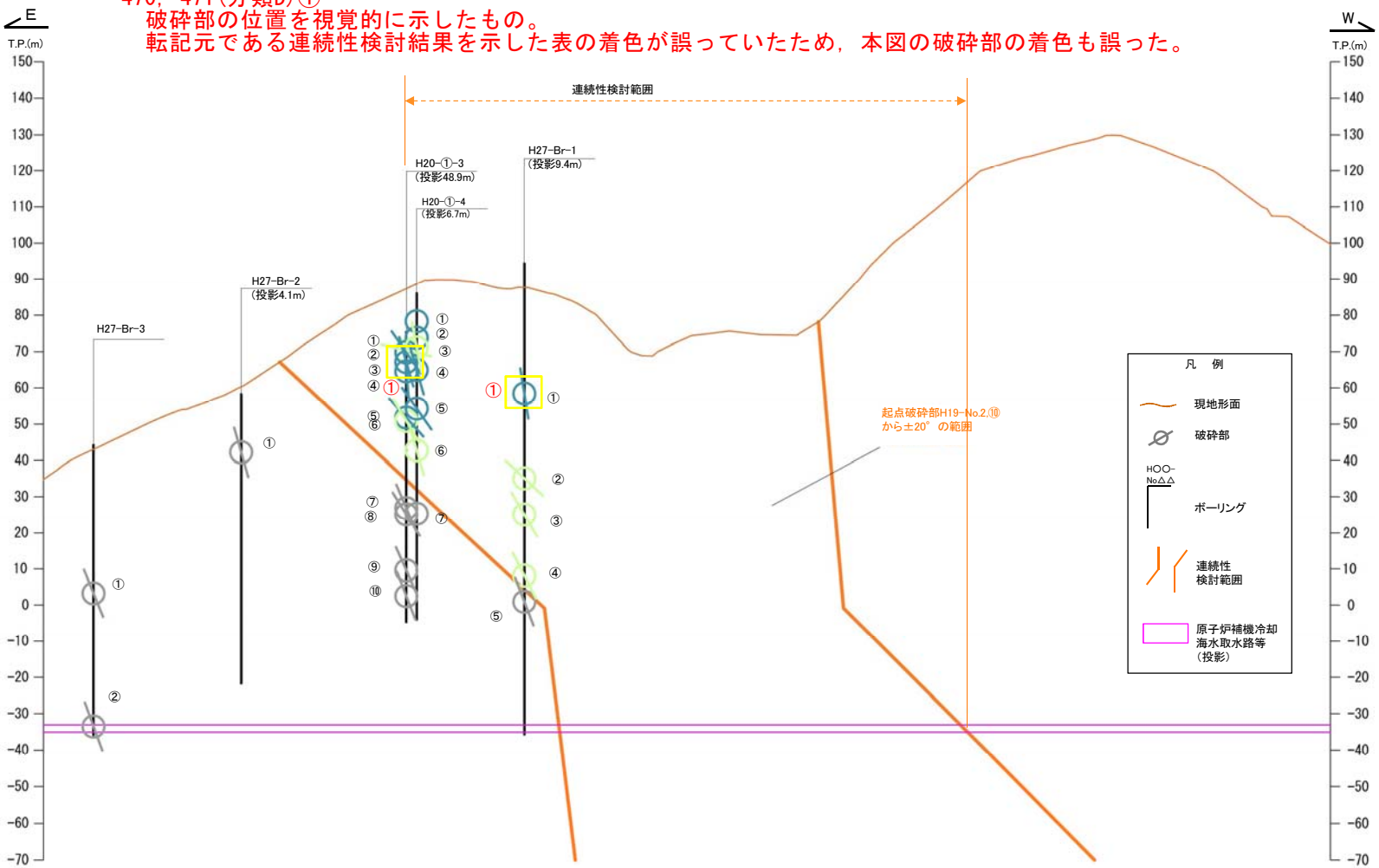
破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

470，471(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。



破砕部着色凡例

- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- : 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑩	191.10	191.14	N2E		66W		無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	14	81W	15	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	29	45W	21	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	40	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	32	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
		範囲外	⑤	93.36	93.45	N46E	44	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	2	74W	8	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	49	73NW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	40	76SW	10	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	81	40N	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	9	55W	11	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	10	74W	8	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	13	85W	19	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	10	48W	18	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	28	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	33	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	36	61W	5	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	47	71N	5	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	38	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	19	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	30	80W	14	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	17	74W	8	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	4	55W	11	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	34	76W	10	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	0	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑩	191.10	191.14	N2E		66W		① 有	② 無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	14	81W	15	③ 有	③ 有	③ 76R	③ N	④ ×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	29	45W	21	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	40	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	32	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
		範囲外	⑤	93.36	93.45	N46E	44	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	2	74W	8	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	49	73NW	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	40	76SW	10	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	81	40N	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	9	55W	11	③ 無	③ -	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	10	74W	8	③ 有	③ 有	③ 55L	③ N,RL	④ ×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	13	85W	19	③ 有	③ 無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	10	48W	18	③ 有	③ 無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	28	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	33	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	36	61W	5	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	47	71N	5	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	38	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	19	③ 有	③ 無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	③ 有	③ 無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	30	80W	14	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	17	74W	8	③ 有	③ 無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	4	55W	11	③ 無	③ -	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	34	76W	10	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	0	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

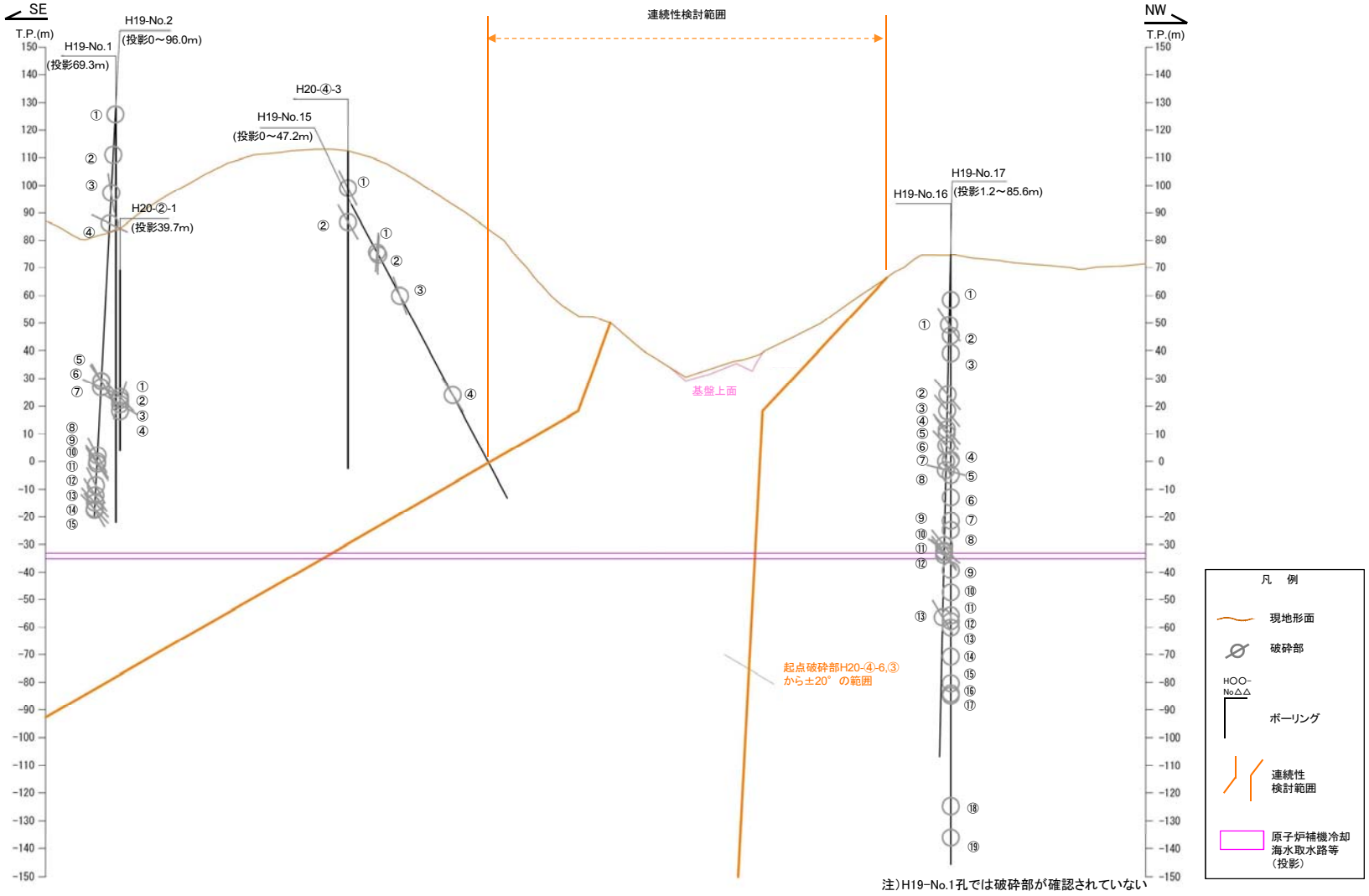
472(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

473(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

474，476，477，479～484(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

475，478(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)



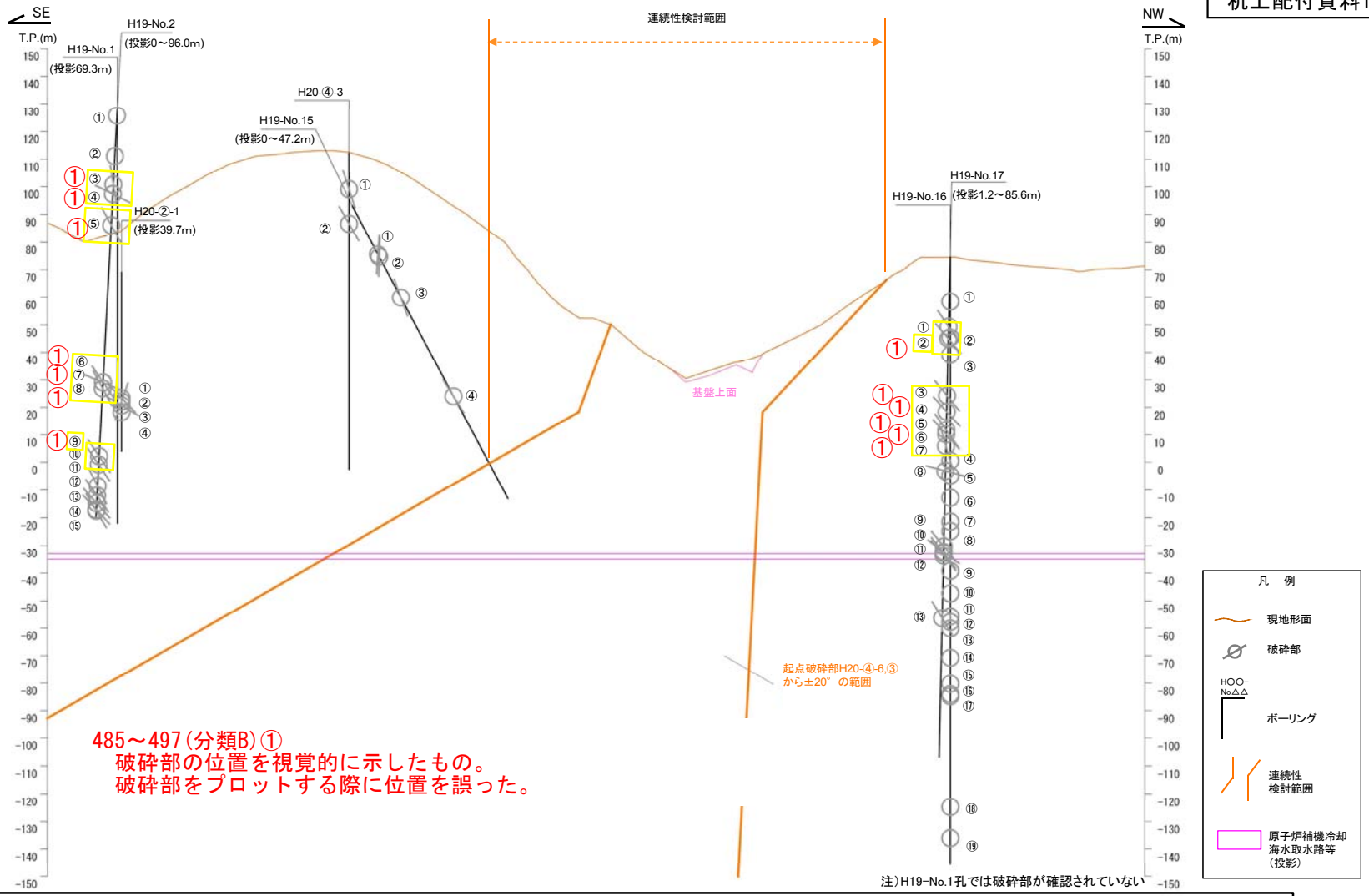
注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-6	-	-	③	14.94	14.98	N55E		69S		有	有	36R	-		f-④-6-3	参考2-144	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	無	-	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	有	有	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	20	51W	60	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	16	52W	59	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	27	50W	61	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	45	62W	49	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	37	53W	58	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	41	77W	34	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	74	36W	75	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	44	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	66	57W	54	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	44	59W	52	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	41	57W	54	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	45	65W	46	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	86	70W	41	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	57	72W	39	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	40	61W	50	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	58	60W	51	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	8	71S	40	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	-	-	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5W	5	76W	60	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	72	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-6	-	-	③	14.94	14.98	N55E		69S		有	有	36R	①N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	②有	③無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	②有	③有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	②有	③有						
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無						
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無						
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-						
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	②無	③-						
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有	無						
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無	-						
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無	-						
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無	-						
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無	-						
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無	-						
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有	無						
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無	-						
			②	32.54	32.75	N35E	20	51W	60	無	-						
			③	55.45	55.46	N39E	16	52W	59	無	-						
			④	61.89	62.22	N28E	27	50W	61	無	-						
			⑤	68.84	69.25	N10E	45	62W	49	有	有						
			⑥	70.92	70.94	N18E	37	53W	58	有	無						
			⑦	75.60	75.90	N14E	41	77W	34	有	無						
			⑧	82.83	85.61	N19W	74	36W	75	②有	③無						
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	44	有	有						
			⑩	117.77	117.79	N11W	66	57W	54	有	無						
			⑪	118.22	118.25	N11E	44	59W	52	有	無						
			⑫	118.66	119.29	N14E	41	57W	54	有	無						
			⑬	144.35	144.37	N10E	45	65W	46	有	無						
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無						
			②	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無						
			③	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	②有	③無						
			④	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無						
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-						
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無						
			③	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	②有	③無						
			④	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無						
			⑤	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-						
			⑥	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無						
			⑦	147.04	147.48	N31W	86	70W	41	有	無						
			⑧	149.71	149.84	④N1E	⑤54	72W	39	有	有						
			⑨	186.53	186.58	④N21E	⑤34	⑥70W	⑦41	有	無						
			⑩	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	②有	③無						
			⑪	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無						
			⑫	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有						
			⑬	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	(不明瞭)	-				
			⑭	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	58	60W	51	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	8	71S	40	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	-	-	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	⑧N5E	⑨50	76W	60	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	72	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

498(分類A)①
連続評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

499，501，503，505，507，509，511，519(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

500，502，504，506，508，510，512，520(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

513，515(分類A)④
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

514，516(分類D)⑤
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

517(分類A)⑥
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

518(分類D)⑦
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

521(分類A)⑧
走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

522(分類D)⑨
当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有	有	47L	-		f-④-1-2	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
		範囲外	⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	71	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	67	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有	有	47L	① N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
		範囲外	⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	71	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	67	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの ②

523(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

524(分類E)②
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-3	-	-	②	25.81	25.85	N23E		64W		有	無	50L	-		f-④-3-1	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	18	81W	17	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	12	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	5	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	9	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	36	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

525(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-3	-	-	②	25.81	25.85	N23E		64W		有	無	50L	① N,RL		f-④-3-1	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	18	81W	17	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	12	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	5	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	9	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	36	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	④	25.70	25.80	N18E		77W		有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	18	84W	7	無	-	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	8	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	3	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	7	77W	0	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	0	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	50	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※4
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	97	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	41	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N2E	16	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	④	25.70	25.80	N18E		77W		有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	18	84W	7	① 有	② 有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	8	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	3	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	7	77W	0	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	0	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	50	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※4
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	③ 83	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	41	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	④ N1E	⑤ 17	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±2
：起点の破砕部の走向・傾斜から±2
：起点の破砕部の走向・傾斜から±2
：起点の破砕部の走向・傾斜から±2
：起点の破砕部の走向・傾斜から±2
：起点の破砕部の走向・傾斜から±2
：起点の破砕部の走向・傾斜から±2

526(分類A)①
断層ガウジ・断層角礫の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

527(分類A)②
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

528(分類C)③
走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。

529(分類A)④
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

530(分類D)⑤
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑧	60.32	60.36	N71W		86N		無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	76	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	81	73W	21	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	82	77W	17	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	89	83W	11	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	77	89E	3	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	N,LL or R,RL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	8	73S	21	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	25	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)

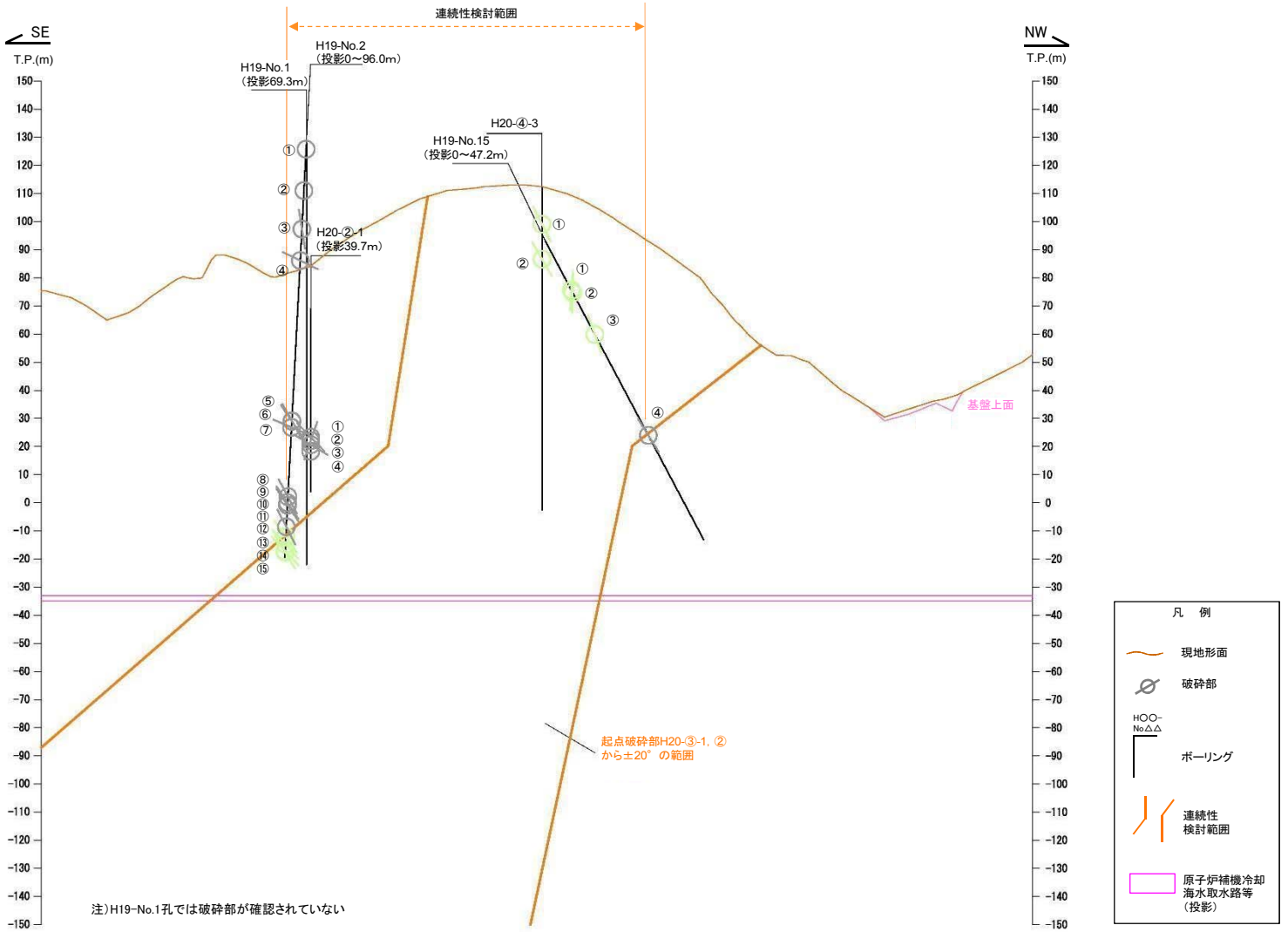
第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑧	60.32	60.36	N71W		86N		無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	76	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	81	73W	21	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	82	77W	17	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	89	83W	11	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	77	89E	3	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	① N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	8	73S	21	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	25	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

531(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

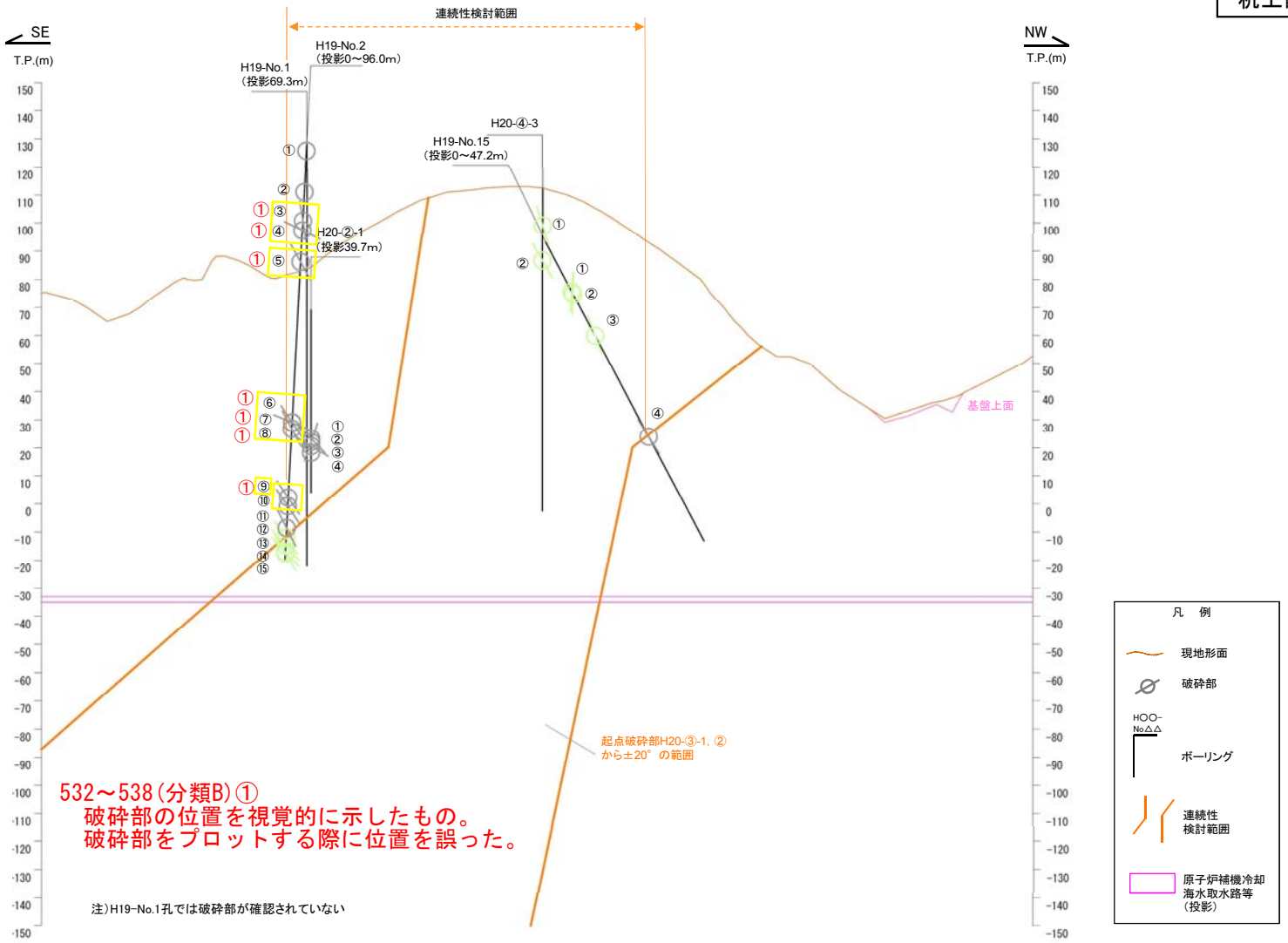


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
-	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	61	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	44	61W	0	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
		範囲内	⑫	207.94	208.69	NS	59	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	33	61W	0	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	62	60W	1	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	4	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5W	64	76W	15	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有	無	90					
-	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有	無	70L					
			②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有	無	71L					
			③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	① 有	② 無	73L					
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有	無	23R					
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-					
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-					
			③	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	① 有	② 無	59R					
			④	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有	無	-					
			⑤	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L					
			⑥	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R					
			⑦	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R					
			⑧	149.71	149.84	③ N1E	④ 58	72W	11	有	有	70L					
			⑨	186.53	186.58	③ N21E	④ 38	⑤ 70W	⑥ 9	有	無	36L					
			⑩	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	① 有	② 無	73L					
			⑪	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L					
		範囲内	⑫	207.94	208.69	NS	59	66W	5	有	有	60L					
			⑬	212.00	212.07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)					
			⑭	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L					
			⑮	216.15	216.24	N26E	33	61W	0	無	-	84R					
	H20-②-1	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	62	60W	1	有	無	80L					
			②	46.85	46.97	N63E	4	71S	10	有	無	36R					
			③	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L					
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-					
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	⑦ N5E	⑧ 54	76W	15	無	-	70R					
			②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L					

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの ⑨

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

539，541，549(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

540，542，550(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

543，545(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

544，546(分類D)④
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

547(分類A)⑤
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

548(分類D)⑥
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

551(分類A)⑦
走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

552(分類D)⑧
当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

553(分類E)⑨
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	④	97.82	97.85	N17E		64W		有	無	23R	-		f-15-3	参考2-132	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	81	45S	19	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21.78	N31W	48	73W	9	有	無	65L	-		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	25	73W	9	有	有	47L	-		f-④-1-2	参考2-141	
		範囲外	④	39.78	39.98	N11E	6	78W	14	無	-	75L	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	58.87	59.39	N17E	0	70W	6	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	2	68W	4	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	77	42S	22	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
		範囲外	④	74.45	74.50	N4W	21	67W	3	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	21	67W	3	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4		①	24.56	24.59	N4E	13	71W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	73	70S	6	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	6	62W	2	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲外	③	38.73	38.74	N9E	8	70W	6	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	28	68W	4	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6	範囲内	①	3.76	4.09	N60W	77	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	88	79S	15	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	38	69S	47	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	1	77W	13	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	70	80S	16	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

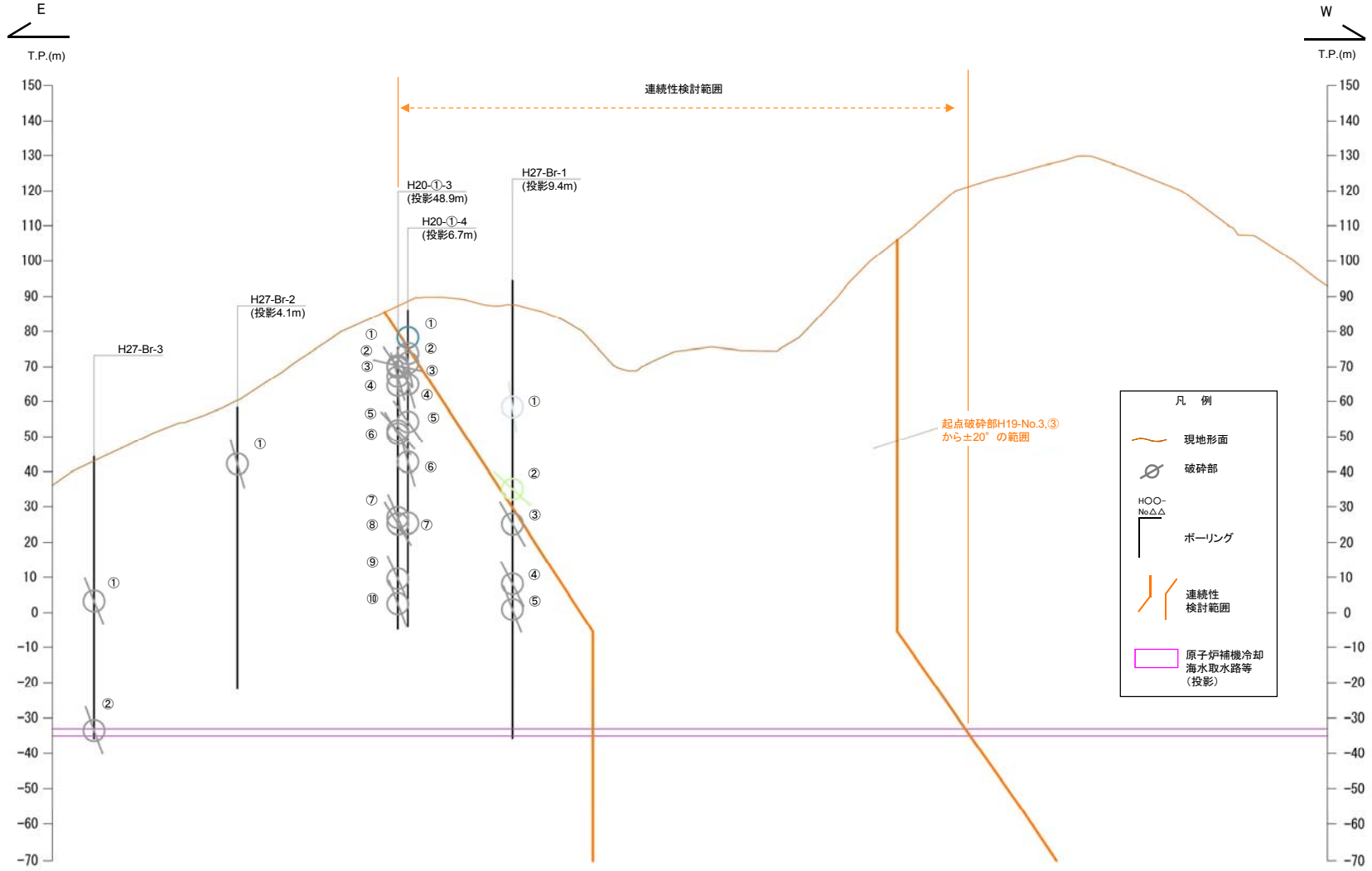
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	④	97.82	97.85	N17E		64W		有	無	23R	① N,LL		f-15-3	参考2-132	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	81	45S	19	有	無	-	-		f-④-2-1	②参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	48	73W	9	有	無	65L	① N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	25	73W	9	有	有	47L	① N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
		範囲外	④	39.78	39.98	N11E	6	78W	14	無	-	75L	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	58.87	59.39	N17E	0	70W	6	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	2	68W	4	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2	範囲内	①	6.00	6.12	N86W	77	42S	22	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
		範囲外	④	74.45	74.50	N4W	21	67W	3	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	21	67W	3	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4		①	24.56	24.59	N4E	13	71W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	73	70S	6	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	6	62W	2	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲外	③	38.73	38.74	N9E	8	70W	6	有	無	10L	-		f-④-9-1	②参考2-144	
			④	51.86	52.16	N11W	28	68W	4	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6	範囲内	①	3.76	4.09	N60W	77	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	88	79S	15	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	38	69S	47	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	1	77W	13	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	70	80S	16	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

554，556，557(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

555，558(分類A)②
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

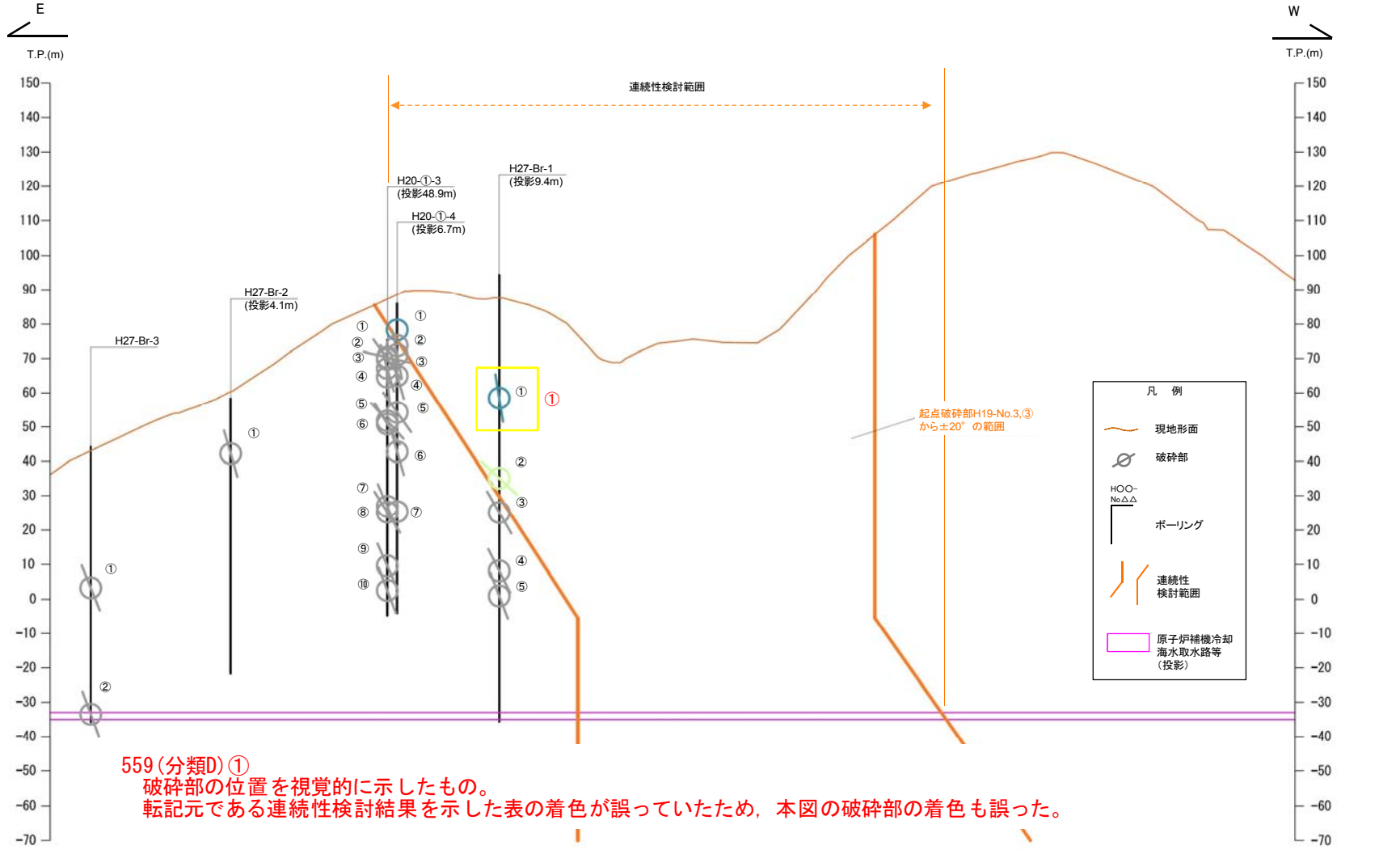


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



559(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		無	-	75L	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	5	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	6	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
		範囲外	②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	15	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	3	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	11	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	19	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		① 有	② 有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	③ 有	③ 有	③ 76R	③ N	④ ×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有							
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有							
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有							
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有							
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有							
			②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有							
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有							
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無							
			③	6.42	8.73	N12E	5	74W	3	有							
			④	11.06	11.17	N11W	6	85W	8	有							
			⑤	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有							
			⑥	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有							
			⑦	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有							
			⑧	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有							
			⑨	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有							
			⑩	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有							
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	③ 有							
		範囲外	②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有							
			③	12.70	15.25	N32E	15	80W	3	有							
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	3	有							
			⑤	31.63	31.87	N6E	11	55W	22	無							
			⑥	41.41	43.24	N36E	19	76W	1	有							
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有							

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察

560(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

561(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

562，564(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

563(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

565(分類E)⑤
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの ⑤

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	①	14.41	14.42	N53W		60S		無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
-	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	76	73NW	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
		範囲内	②	77.72	77.90	N38W	15	76SW	16	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	62	77SW	17	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	76	78SW	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21.33	N45E	82	79SW	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	79	80SW	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	60	81SW	21	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	47	82SW	22	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	84	83SW	23	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	①	14.41	14.42	N53W		60S		無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
-	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	76	73NW	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
		範囲内	②	77.72	77.90	N38W	15	76SW	16	有	無	90	-	○	D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	62	① 87W	② 27	有	有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	76	① 56W	② 4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9		①	21.26	21.33	N45E	82	① 63NW	② 3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	79	① 77NW	② 17	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	60	① 85W	② 25	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	47	① 85W	② 25	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	84	① 78NW	② 18	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・
：起点の破砕部の走向・
：起点の破砕部の走向・
：起点の破砕部の走向・
：起点の破砕部の走向・
：起点の破砕部の走向・
：起点の破砕部の走向・

566，568，570，572，574，576，578(分類A)①
傾斜について，転記元の性状一覧から転記したが，転記を誤ったもの。

567，569，571，573，575，577，579(分類D)②
転記ミスによって発生した傾斜の誤りを修正したことにより，
起点破砕部と対比破砕部の傾斜の差が変わったもの。

形構造の有無が一致するもの
形構造の有無が類似するもの
の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5W		76W		無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	16	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	2	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	16	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	21	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	10	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	8	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	39	57W	19	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	40	51W	25	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	③	55.45	55.46	N39E	44	52W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	33	50W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	15	62W	14	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	23	53W	23	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	19	77W	1	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	14	36W	40	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	3	67W	9	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	6	57W	19	有	無	81R	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑪	118.22	118.25	N11E	16	59W	17	有	無	87R	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑫	118.66	119.29	N14E	19	57W	19	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	15	65W	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5E		76W		無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	16	① 有	② 無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	2	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	16	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	21	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	10	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	8	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	39	57W	19	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	40	51W	25	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	③	55.45	55.46	N39E	44	52W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	33	50W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	15	62W	14	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	23	53W	23	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	19	77W	1	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	14	36W	40	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	3	67W	9	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	6	57W	19	有	無	81R	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑪	118.22	118.25	N11E	16	59W	17	有	無	87R	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑫	118.66	119.29	N14E	19	57W	19	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	15	65W	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの ③

580(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

581(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

582(分類E)③
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	⑤	55.99	56.05	N34E		83W		有	無	5L	-		D-46	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	18	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	3	45W	38	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	8	64NW	19	有	有	45L	N,RL	×	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	0	65W	18	有	有	20L	RL	×	f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	12	73W	10	有	有	20R	RL	×	f-br-1-5	参考2-176	※4
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	34	74W	9	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	17	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	72	76SW	7	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	49	40N	43	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	23	55W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	22	74W	9	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	45	85W	2	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
		範囲外	⑤	23.28	23.62	N12E	22	48W	35	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	60	64W	19	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	1	69W	14	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	4	61W	22	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	15	71N	12	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	6	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	2	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	19	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※4
			③	12.70	15.25	N32E	2	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	15	74W	9	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	28	55W	28	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
		範囲外	⑥	41.41	43.24	N36E	2	76W	7	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	17	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	⑤	55.99	56.05	N34E		83W		有	無	5L	① LL		D-46	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	18	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	3	45W	38	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	8	64NW	19	有	有	45L	② N,RL	③	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	0	65W	18	有	有	20L	② RL	③	f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	12	73W	10	有	有	20R	② RL	③	f-br-1-5	参考2-176	③
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	34	74W	9	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	17	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	72	76SW	7	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	49	40N	43	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	23	55W	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	22	74W	9	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	45	85W	2	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
		範囲外	⑤	23.28	23.62	N12E	22	48W	35	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	60	64W	19	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	1	69W	14	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	4	61W	22	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	15	71N	12	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	6	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	2	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	19	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※4
			③	12.70	15.25	N32E	2	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	15	74W	9	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	28	55W	28	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
		範囲外	⑥	41.41	43.24	N36E	2	76W	7	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	17	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

583(分類A)①
連続評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

584～586(分類D)②
起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

587～590(分類D)③
起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E		77W		無	-	5L	-		f-14-1	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	無	-	43L	-	○	f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	有	無	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

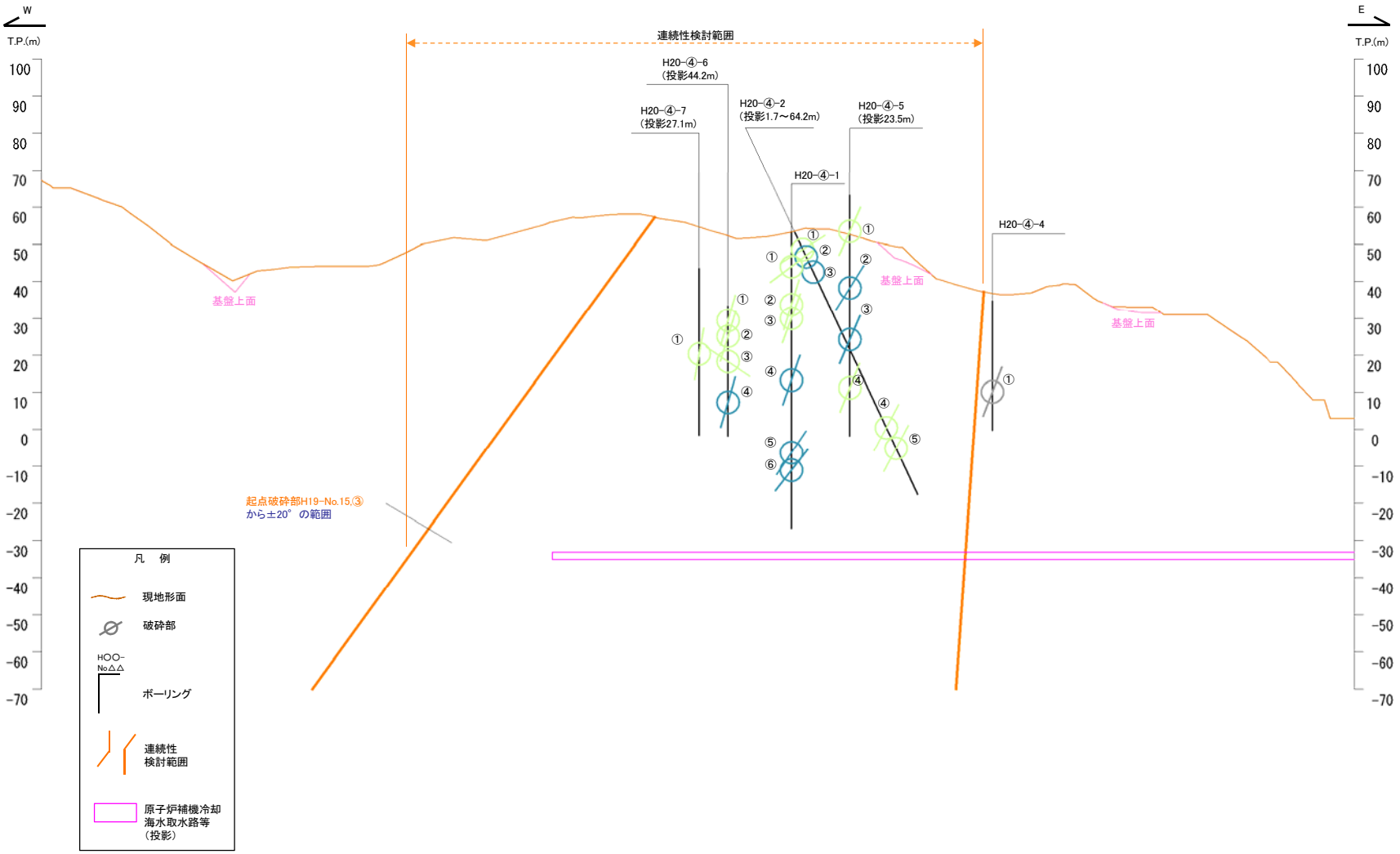
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E		77W		① 有	② 無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	③ 無	③ -	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	③ 有	③ 無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	③ 有	③ 無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	③ 無	③ -	43L	-	○	f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	有	④ 有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

591(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
592(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。
593～596(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
597(分類A)④
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)

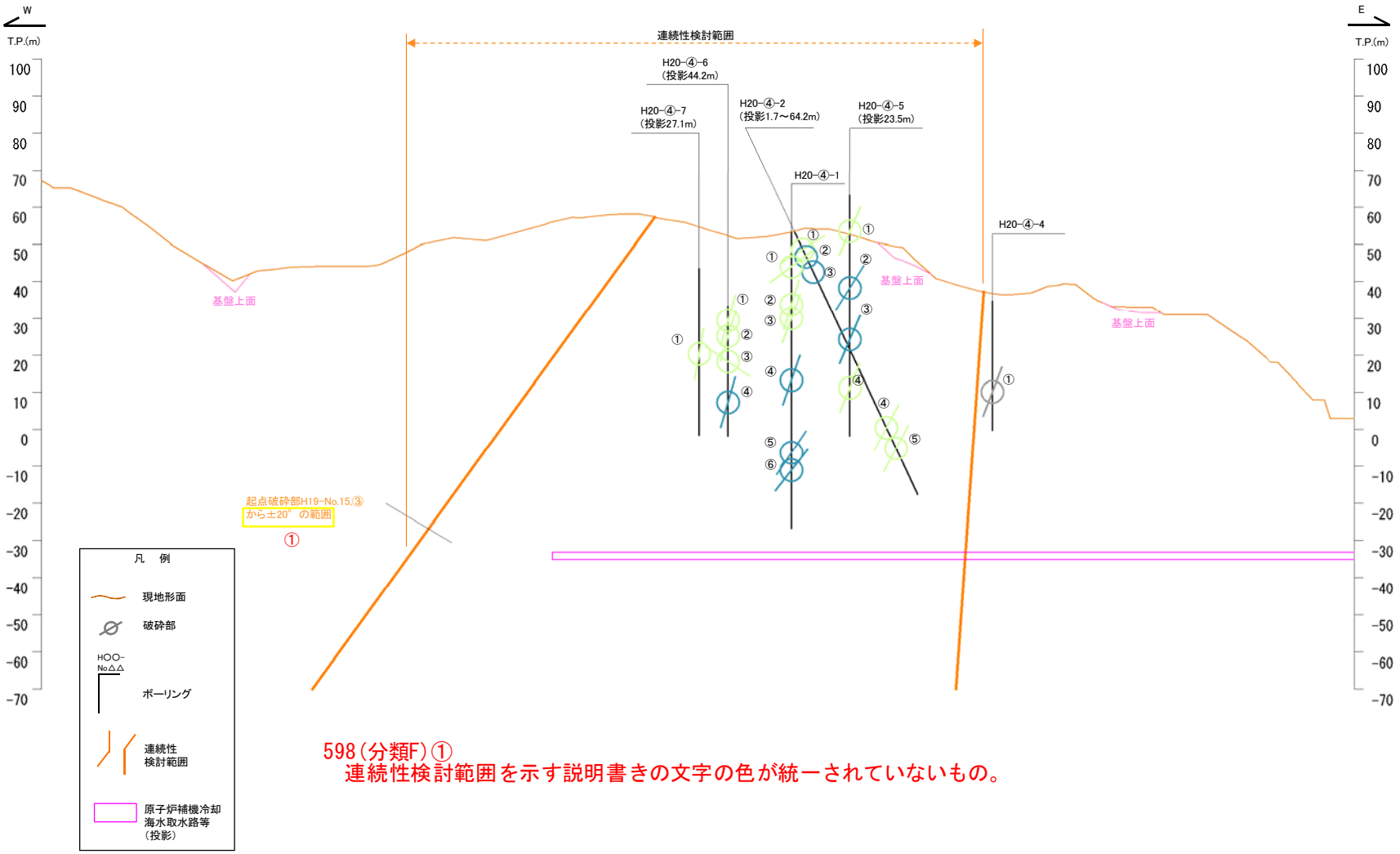


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



598(分類F)①
連続性検討範囲を示す説明書きの文字の色が統一されていないもの。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	③	46.92	46.93	N20E		74W		無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	78	45S	29	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-143	
			②	18.03	21.78	N31W	51	73W	1	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	28	73W	1	有	有	47L	N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
			④	39.78	39.98	N11E	9	78W	4	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59.39	N17E	3	70W	4	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	1	68W	6	有	無	80L	-	×	D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	74	42S	32	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	24	67W	7	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	24	67W	7	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	16	71W	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	76	70S	4	有	有	40L	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	9	62W	12	有	無	90	-	×	D-21	参考2-102	
			③	38.73	38.74	N9E	11	70W	4	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-143	
			④	51.86	52.16	N11W	31	68W	6	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	80	78S	4	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	89	79S	5	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	35	69S	37	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	2	77W	3	有	無	90	-	×	f-④-6-4	参考2-144	※4
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	73	80S	6	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	③	46.92	46.93	N20E		74W		① 有	② 無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	78	45S	29	有	無	-	-		f-④-2-1	⑤参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	51	73W	1	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	28	73W	1	有	有	47L	N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
			④	39.78	39.98	N11E	9	78W	4	③ 無	③ -	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※1
			⑤	58.87	59.39	N17E	3	70W	4	③ 有	③ 無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	1	68W	6	③ 有	③ 無	80L	-	×	D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	74	42S	32	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	③ 有	③ 無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	③ 有	③ 無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	24	67W	7	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	24	67W	7	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	16	71W	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5	範囲内	①	7.85	9.71	N56W	76	70S	4	有	有	④ 40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	9	62W	12	③ 有	③ 無	90	-	×	D-21	参考2-102	
			③	38.73	38.74	N9E	11	70W	4	③ 有	③ 無	10L	-		f-④-9-1	⑤参考2-144	
			④	51.86	52.16	N11W	31	68W	6	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	80	78S	4	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	89	79S	5	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	35	69S	37	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	2	77W	3	③ 有	③ 無	90	-	×	f-④-6-4	参考2-144	※4
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	73	80S	6	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

599(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

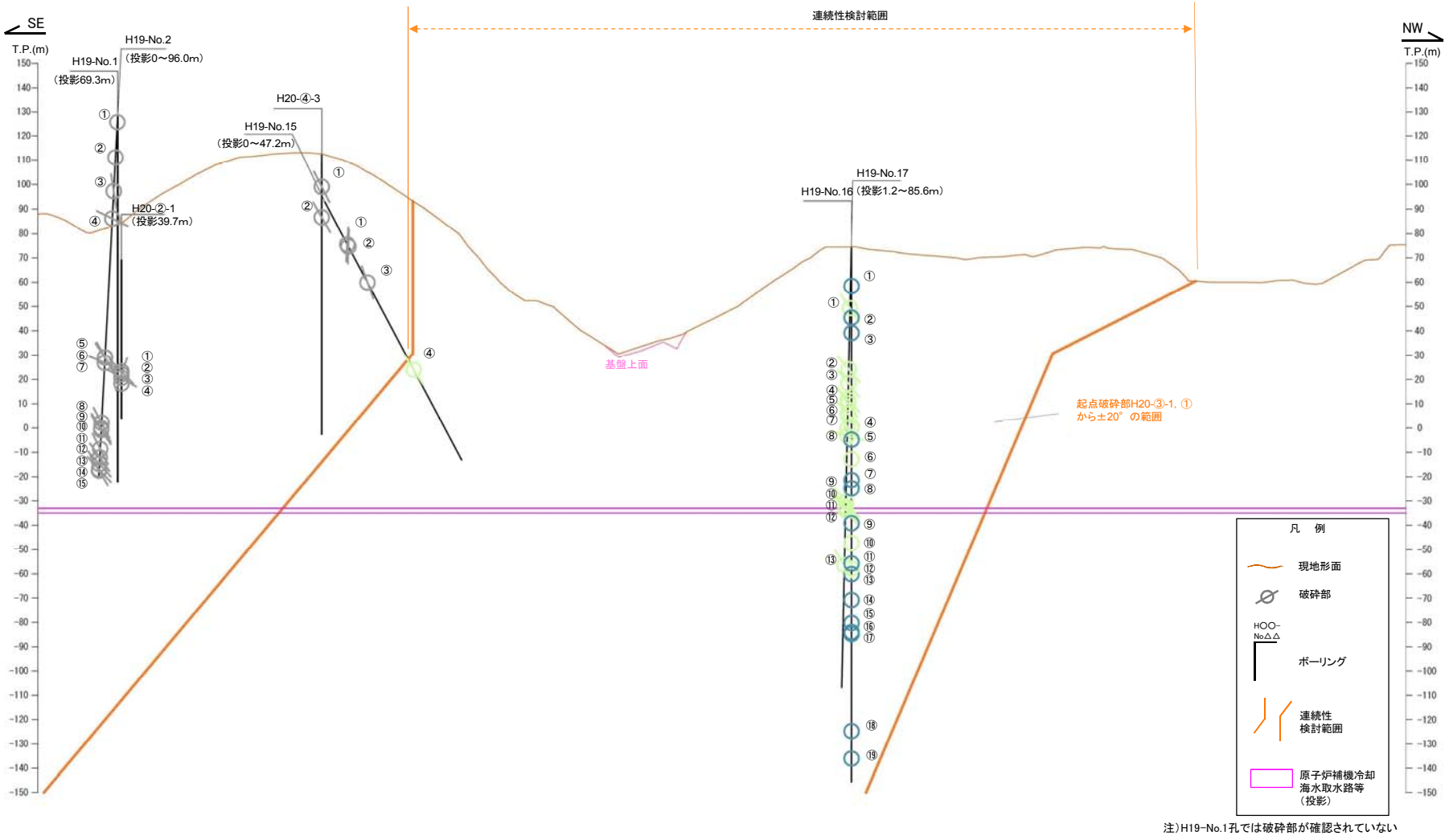
600(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

601～605，607～609(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

606(分類E)④
表の行の高さが足りず，文字が見切れていたもの。

610，611(分類A)⑤
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)



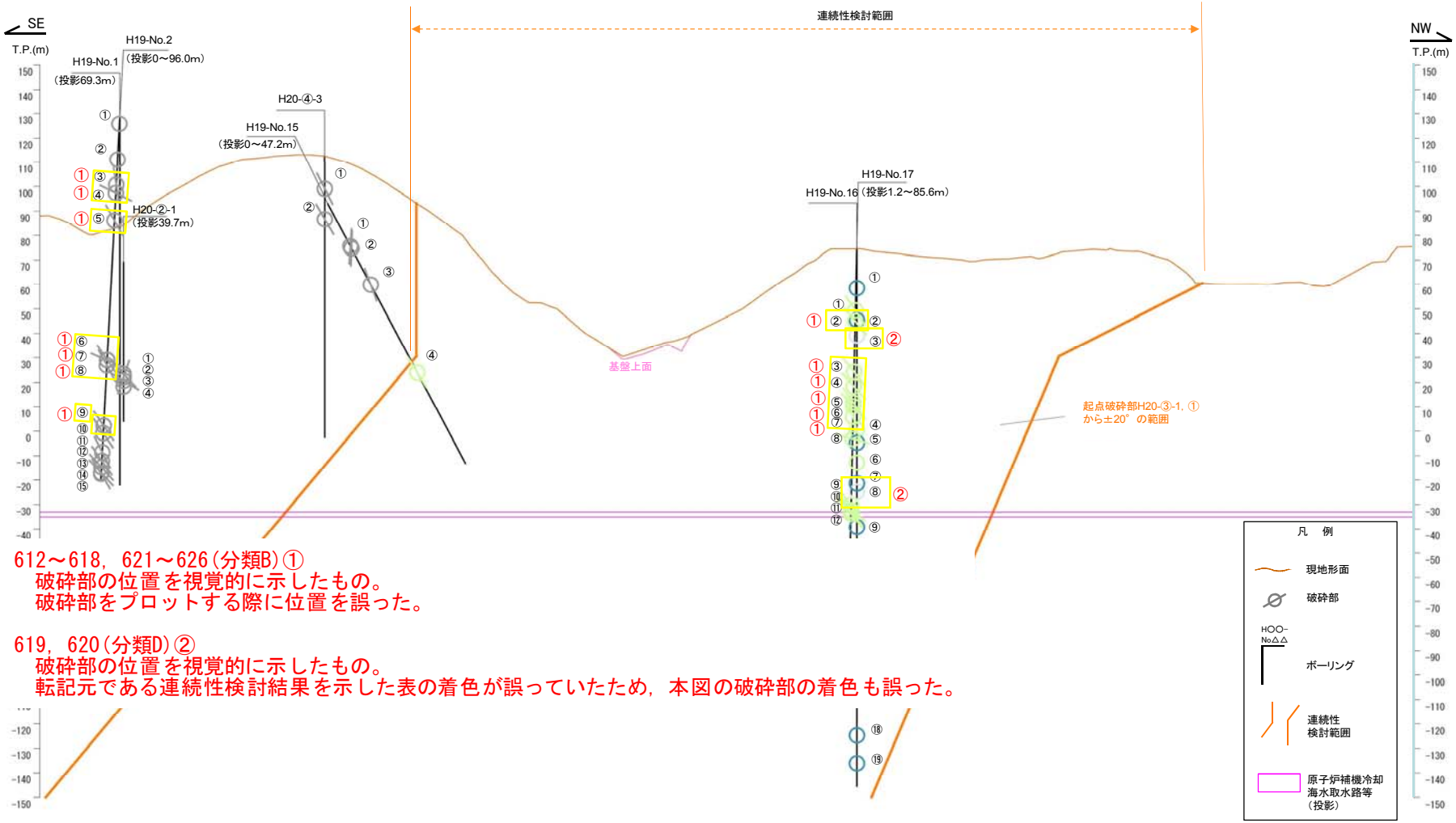
注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



612～618，621～626(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
破砕部をプロットする際に位置を誤った。

619，620(分類D)②
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

注)H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- c1：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- c2：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- c3：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- c4：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- c5：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- c6：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- c7：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W		73S		無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※1
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※1
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	3	無	-	-	-	×	D-47	参考2-120	※1
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	24	有	有	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-	-	-	×	D-18	参考2-98	※1
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	66	51W	22	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	62	52W	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	73	50W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	89	62W	11	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	83	53W	20	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	87	77W	4	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	60	36W	37	無	-	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	71	67W	6	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	68	57W	16	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	90	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	87	57W	16	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	89	65W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	85	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	無	-	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲内	④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	無	-	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N2W	77	72W	1	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N15E	86	61W	12	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	無	-	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	75	61W	12	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	38	71S	2	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5W	74	76W	32	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	20	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W		73S		無	-	50L	-		F-③-1-1	参考2-141	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	13	①②有	②③無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	-	-	-	×	F-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	13	①②有	②③有	② -	② -	④	f-17-2	参考2-132	④
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※1
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	3	①②有	②③有	② -	② -	④	D-47	参考2-120	④
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-	⑤	非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-						
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	24	①無	③-						
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無						
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-						
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-						
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-						
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-						
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-						
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無						
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-						
			②	32.54	32.75	N35E	66	51W	22	無	-						
			③	55.45	55.46	N39E	62	52W	21	無	-						
			④	61.89	62.22	N28E	73	50W	23	無	-						
			⑤	68.84	69.25	N10E	89	62W	11	有	有						
			⑥	70.92	70.94	N18E	83	53W	20	有	無						
			⑦	75.60	75.90	N14E	87	77W	4	有	無						
			⑧	82.83	85.61	N19W	60	36W	37	①有	③無						
			⑨	114.31	115.63	N8W	71	67W	6	有	有						
			⑩	117.77	117.79	N11W	68	57W	16	有	無						
			⑪	118.22	118.25	N11E	90	59W	14	有	無						
			⑫	118.66	119.29	N14E	87	57W	16	有	無						
			⑬	144.35	144.37	N10E	89	65W	8	有	無						
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無						
			②	25.83	25.93	N6E	85	89E	18	有	無						
			③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	①有	③無						
		範囲内	④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無						
	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-						
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無						
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	①有	③無						
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	無						
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	-						
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無						
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無						
			⑧	149.71	149.84	⑥N1E	⑦80	72W	1	有	有						
			⑨	186.53	186.58	⑥N21E	⑦80	⑧70W	⑨3	有	無						
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	①有	③無						
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無						
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有						
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無						
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無						
			⑮	216.15	216.24	N26E	75	61W	12	無	-						
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無						
			②	46.85	46.97	N63E	38	71S	2	有	無						
			③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有						
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有						
	H20-④-3		①	13.41	13.45	⑩N5E	⑪84	76W	32	無	-						
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	20	有	無						

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの ⑫
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

627，630，635，641，643，645，647，655(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

628，631，636(分類D)②
当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

629，632，637，642，644，646，648，656(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

633，634，638，639(分類D)④
当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。

640(分類E)⑤
連続性検討結果について，記載の必要のない箇所に誤って記載したもの。

649，651(分類A)⑥
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。

650，652(分類D)⑦
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

653(分類A)⑧
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。

654(分類D)⑨
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。

657(分類A)⑩
走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

658(分類D)⑪
当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。

659(分類E)⑫
凡例のテキストボックスの右端の幅が不足していたため，文字が切れていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑫)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑫	171.69	174.88	N9E		78W		有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※2
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	※2
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	※3
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL	○	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑫)

660(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑫	171.69	174.88	N9E		78W		有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※2
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	※2
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	※3
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL	○	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑩	107.54	109.94	N16E		87W		有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	①② N	③ ×	非モデル化	参考2-191	※3 ③
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※1
			③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

661(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

662(分類D)②
当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

663，664(分類D)③
当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，
連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W		88W		無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	4	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	36	84W	4	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	32	72W	16	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	36	87E	5	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	40	76W	12	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	28	79W	9	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	37	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	34	82W	6	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	13	69W	19	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔A-A’断面〕

665(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W		88W		無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	4	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	36	84W	4	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	32	72W	16	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	36	87E	5	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	40	76W	12	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	28	79W	9	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	37	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	34	82W	6	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	13	69W	19	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-15，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-15	-	-	①	34.65	35.72	N52E		72NW		無	-	-	-		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	60	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	44	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	48	81W	9	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	48	72W	0	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	44	87E	21	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	40	76W	4	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	52	79W	7	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	43	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-15，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-15	-	-	①	34.65	35.72	N52E		72NW		① 有	② 有	-	-		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	60	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	44	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	48	81W	9	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	48	72W	0	有	無	70R	③ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	44	87E	21	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	40	76W	4	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	52	79W	7	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	43	80W	8	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

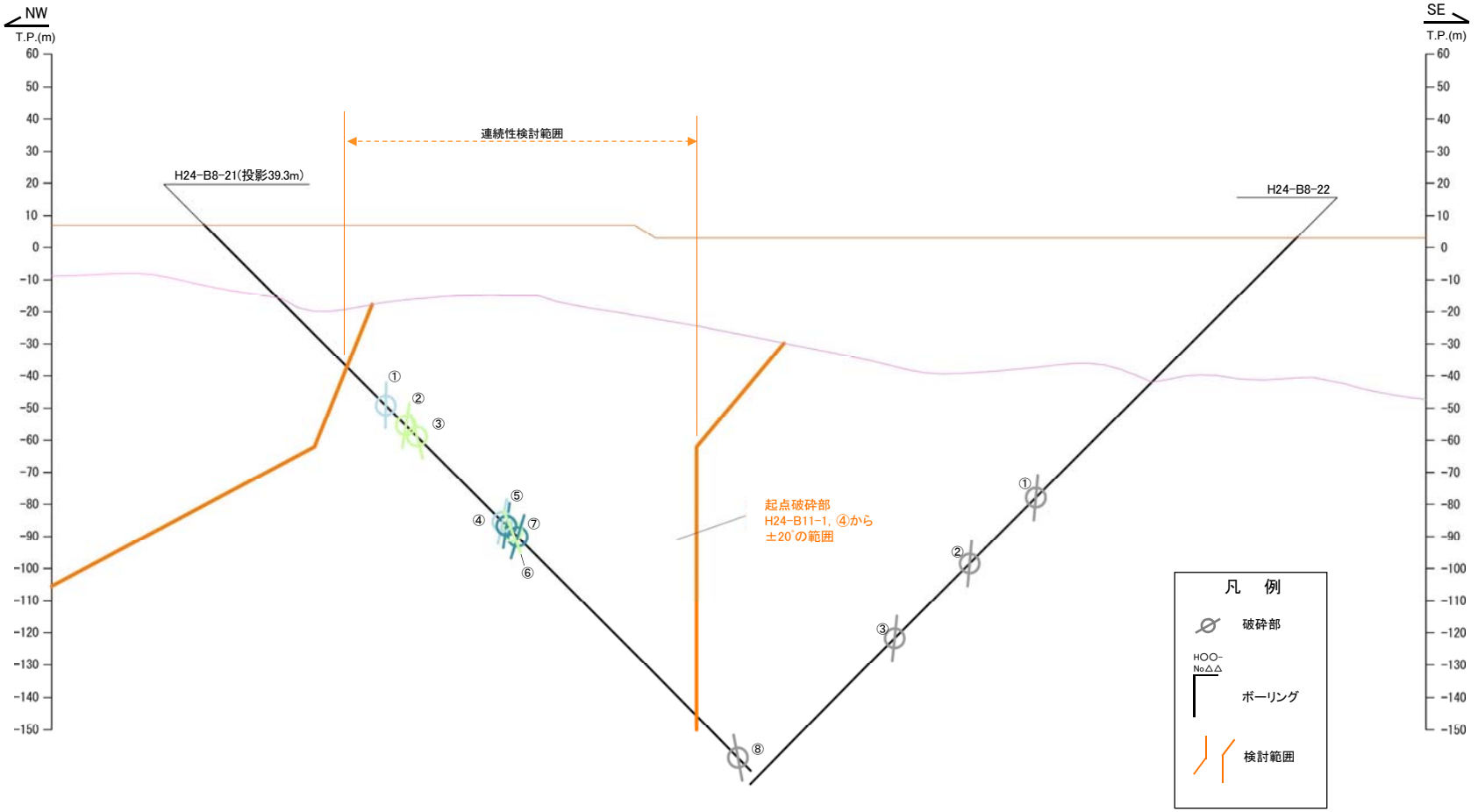
666(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

667(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

668(分類D)③
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)

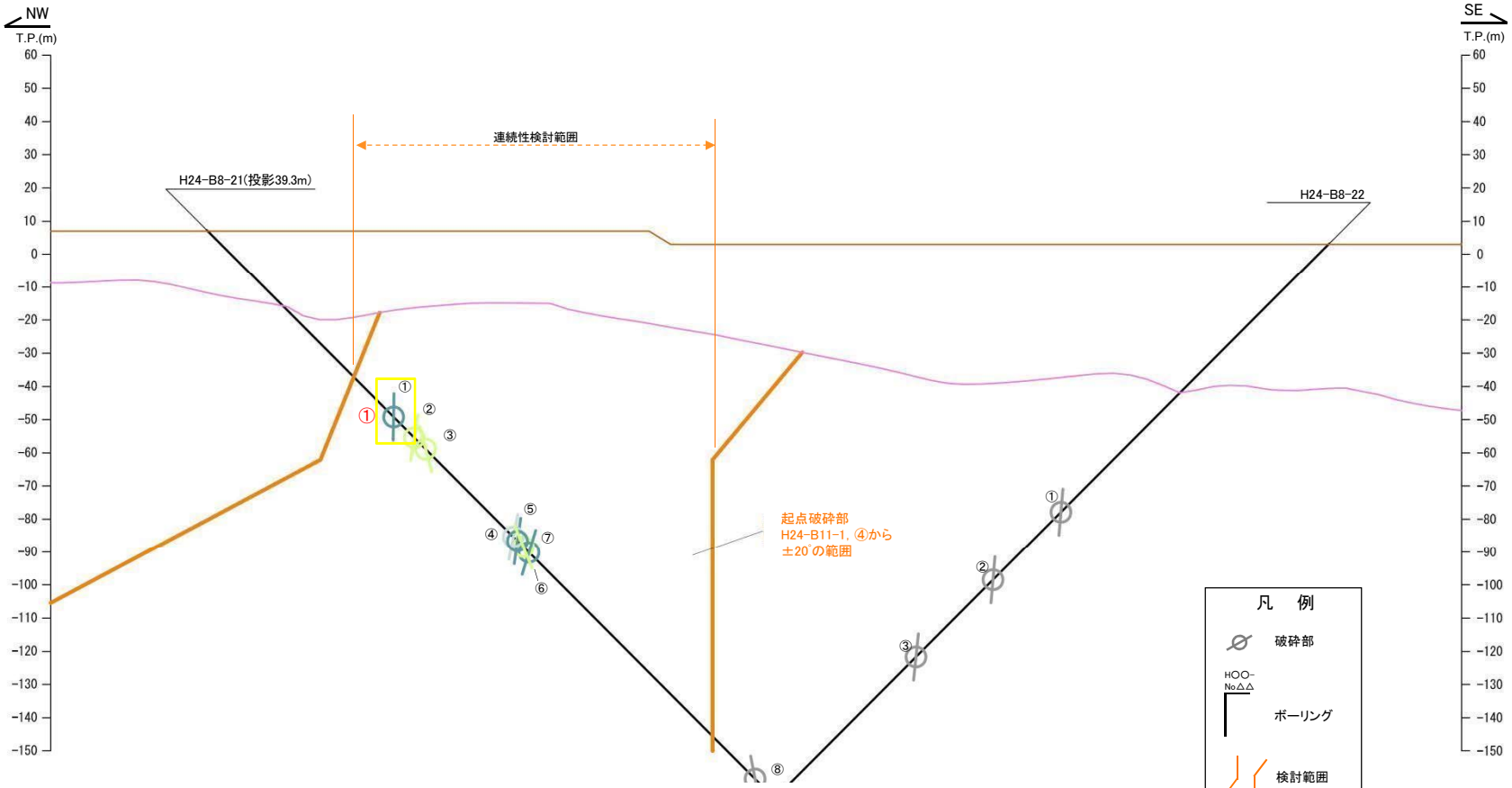


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



669(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	④	97.87	99.00	N4E		72W		有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	14	89W	17	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	37	81NW	9	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	9	82E	26	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	7	84W	12	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	3	85W	13	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	※3
			⑥	135.30	135.52	N58E	54	68S	40	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	0	79W	7	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	7	84E	24	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	1	87W	15	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	13	86W	14	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	15	85W	13	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	④	97.87	99.00	N4E		72W		有	無	70R	① N		非モデル化	②参考2-191	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	14	89W	17	有	有	35L	③ N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	37	81NW	9	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	9	82E	26	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	7	84W	12	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	3	85W	13	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	※3
			⑥	135.30	135.52	N58E	54	68S	40	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	0	79W	7	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	7	84E	24	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	1	87W	15	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	13	86W	14	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	15	85W	13	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

670(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

671(分類A)②
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

672(分類D)③
起点破砕部の変位センスの誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	無	-	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	87W	0	無	-	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	16	56W	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	63NW	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	41	77NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	0	85W	2	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13	85W	2	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	24	78NW	9	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.7，①)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.7	-	-	①	78.22	79.56	N7E		87W		有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
-	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	44	73NW	14	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	45	76SW	11	① 有	② 無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-8	範囲外	①	32.97	34.58	N9E	2	87W	0	① 有	② 有	70L	N		D-7	参考2-91	
			②	65.81	67.33	N23E	16	56W	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-9	範囲内	①	21.26	21.33	N45E	38	63NW	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	66.50	66.77	N48E	41	77NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	0	85W	2	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	13	85W	2	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	24	78NW	9	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

673，675(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

674，676(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	3	84W	14	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	19	84W	14	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	15	81W	17	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	15	72W	26	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	19	87E	5	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※2
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	23	76W	22	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	11	79W	19	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※3
			③	80.50	83.93	N9E	20	80W	18	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	3	84W	14	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	19	84W	14	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	15	81W	17	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	15	72W	26	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	19	87E	5	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※2
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	23	76W	22	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	11	79W	19	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	※3
			③	80.50	83.93	N9E	20	80W	18	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	② N	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

677(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

678(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	18	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	19	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	21	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	31	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	7	70W	28	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	36	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	19	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	25	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	25	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	26	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	4	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	11	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	11	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	20	有	有	79L	N	×	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	20	有	無	22R	-	×	f-4-9	参考2-127	※2
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	22	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	15	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	24	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	70	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	30	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	47	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7	範囲外	①	78.22	79.56	N7E	18	87W	11	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
		範囲内	②	151.35	151.38	N15E	26	86E	4	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，①)〔B-B'断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	①	31.76	33.24	N11W		82E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	18	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	19	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	21	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	31	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	7	70W	28	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	36	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	19	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	25	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	25	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	26	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	4	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	11	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	11	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	20	有	有	79L	N	×	D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	20	有	無	22R	-	×	f-4-9	参考2-127	※2
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	22	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	15	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	24	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	70	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	30	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	47	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	16	有	無	75R	① N	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	30	69W	29	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7	範囲外	①	78.22	79.56	N7E	18	87W	11	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
		範囲内	②	151.35	151.38	N15E	26	86E	4	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

679(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-36，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-36	-	-	①	24.19	27.68	N31E		88SE		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	39	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	27	81W	11	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	27	72W	20	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	1	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	19	76W	16	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	31	79W	13	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	22	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	25	82W	10	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	72	69W	23	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-36，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-36	-	-	①	24.19	27.68	N31E		88SE		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	39	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	27	81W	11	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	27	72W	20	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	1	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	19	76W	16	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	31	79W	13	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	22	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	25	82W	10	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	72	69W	23	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

680(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

681(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑤	131.88	132.82	N1E		85W		有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	3	81W	4	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	13	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	11	76W	9	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	5	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	3	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑤	131.88	132.82	N1E		85W		有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	3	81W	4	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	13	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	11	76W	9	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	5	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	3	有	無	75R	②③ N	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	16	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

682(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

683(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

684(分類D)③
当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-2	-	-	②	77.48	78.10	NS		79W		有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	18	89W	10	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
		範囲内	②	88.67	88.71	N41E	41	81W	2	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	5	82E	19	有	有	-	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	3	84W	5	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	1	85W	6	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	58	68S	33	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	0	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	3	84E	17	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	3	87W	8	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	17	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	③	176.68	177.31	N19E	19	85W	6	有	有	40L	N,RL	×	D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，② -N)

685(分類A)①
傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-2	-	-	②	77.48	78.10	NS		79W		有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	18	89W	10	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
		範囲内	②	88.67	88.71	N41E	41 ①	81NW	2	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	5	82E	19	有	有	-	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	3	84W	5	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	1	85W	6	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	58	68S	33	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	0	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	3	84E	17	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	3	87W	8	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	17	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
		範囲内	③	176.68	177.31	N19E	19	85W	6	有	有	40L	N,RL	×	D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑦)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑦	137.72	138.18	N4E		79W		有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	7	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	14	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	0	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	3	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	45	69W	10	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑦)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑦	137.72	138.18	N4E		79W		有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	7	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	14	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	0	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	3	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	45	69W	10	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

686(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

687(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-29	-	-	②	25.44	26.11	N4W		89W		無	-	90	N		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	16	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	10	82W	7	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	20	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-29	-	-	②	25.44	26.11	N4W		89W		無	-	90	N		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	16	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	10	82W	7	有	無	75R ②③	N	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	20	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

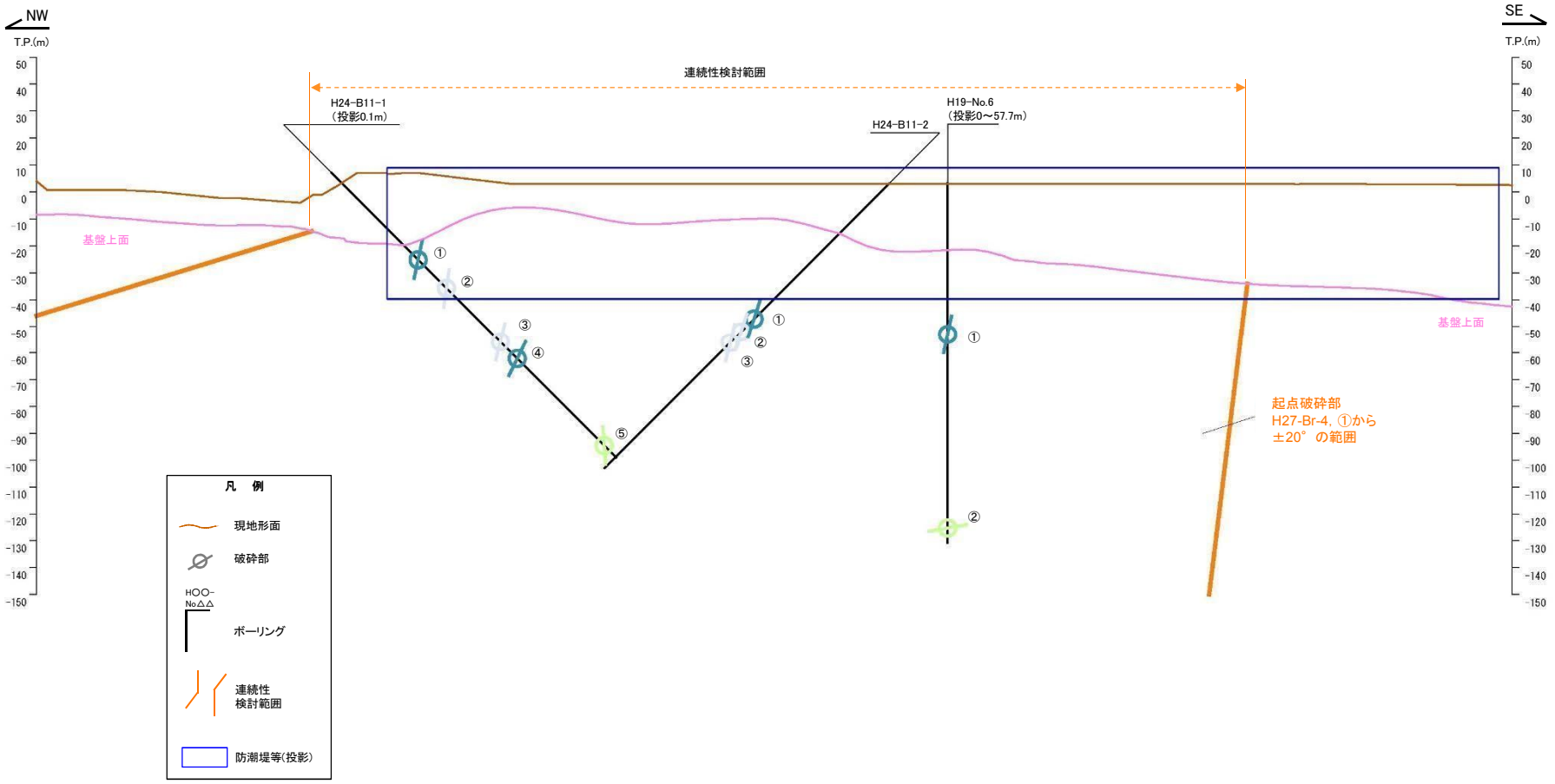
688(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

689(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

690(分類D)③
当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

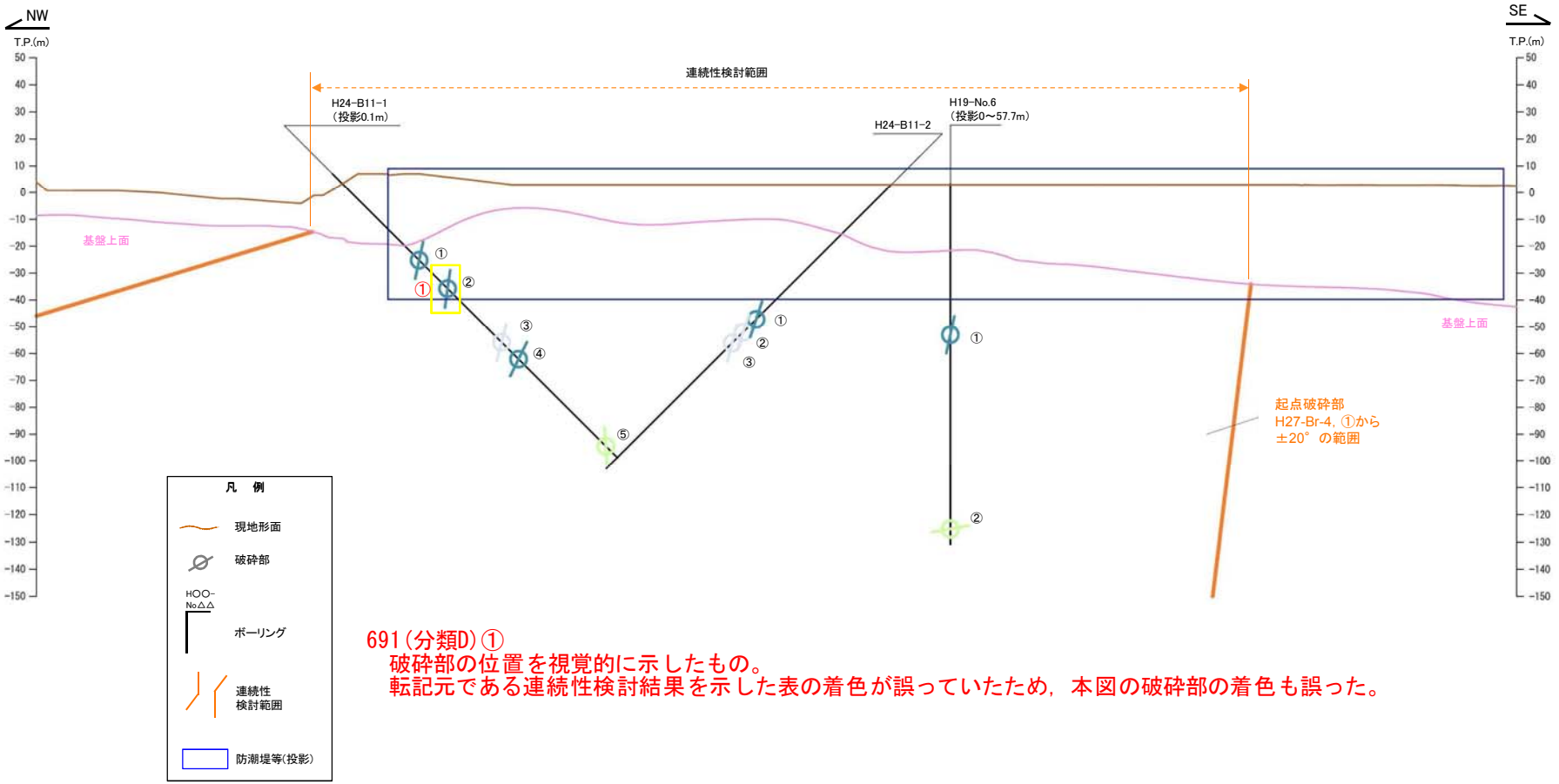
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)



691(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	16	有	有	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	※2
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	16	① 有	①② 無	① 62R	① N,LL	③ ×	D-39	参考2-117	※4 ③
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	④ N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	※2
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	⑤ N	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

692(分類D)①
当該破砕部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

693(分類A)②
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

694，695(分類D)③
当該破砕部の明瞭なせん断構造・変形構造の有無の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

696(分類D)④
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

697(分類A)⑤
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-23	-	-	②	30.87	31.32	N4W		81W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	0	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	9	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	16	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	2	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	1	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	10	82W	1	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-23	-	-	②	30.87	31.32	N4W		81W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲内	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	0	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	9	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	16	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	2	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	1	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	10	82W	1	有	無	75R	② N	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	37	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

698(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

699(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-30，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-30	-	-	①	24.60	25.04	N1E		81W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	3	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※2
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	9	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	11	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	1	有	無	75R	-	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-30，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-30	-	-	①	24.60	25.04	N1E		81W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	9	84W	3	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※2
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※3
			③	88.93	88.97	N4E	3	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	3	72W	9	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	12	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	11	76W	5	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	1	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	5	82W	1	有	無	75R	② N	×	D-38	参考2-116	※1
			②	167.53	168.54	N41W	42	69W	12	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

700(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

701(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	N3E	5	53W	31	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	12	70W	14	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲内	③	75.04	75.08	-	-	-	-	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	12	83W	1	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	29	83W	1	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	32	71W	13	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	×	f-12-8	参考2-130	※1
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	41	75W	9	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	97	58S	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	61	60S	24	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	89	65S	19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
		範囲外	③	73.62	73.63	-	-	(68)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	38	78NW	6	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

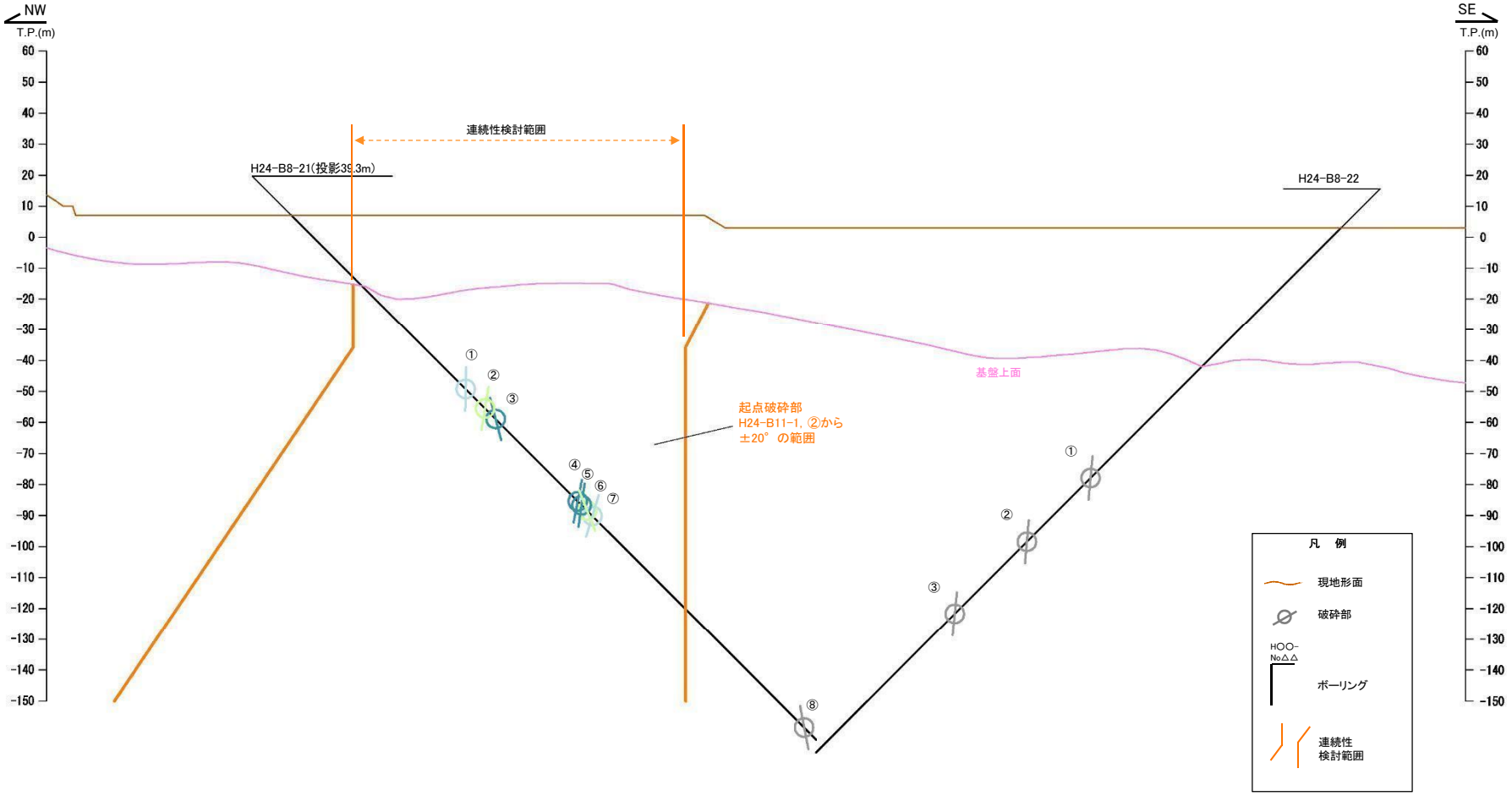
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	① -	② -	③ -	④ -	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	12	70W	14	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲内	③	75.04	75.08	⑤ N12E	⑥ 4	⑦ 89W	⑧ 5	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	12	83W	1	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	29	83W	1	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	32	71W	13	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	×	f-12-8	参考2-130	※1
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	⑨⑩ 有	⑩⑪ 無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	

702(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の走向を修正した結果を本表に反映していなかった。
703(分類D)②
当該破砕部の走向の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
704(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を修正した結果を本表に反映していなかった。
705(分類D)④
当該破砕部の傾斜の修正を反映したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
706(分類A)⑤
走向について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
707(分類D)⑥
当該破砕部の走向の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の走向の差が変わったもの。
708(分類A)⑦
傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。
709(分類D)⑧
当該破砕部の傾斜の誤りを修正したことにより，起点破砕部と当該破砕部の傾斜の差が変わったもの。
710(分類A)⑨
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。
711(分類D)⑩
当該破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
712(分類A)⑪
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

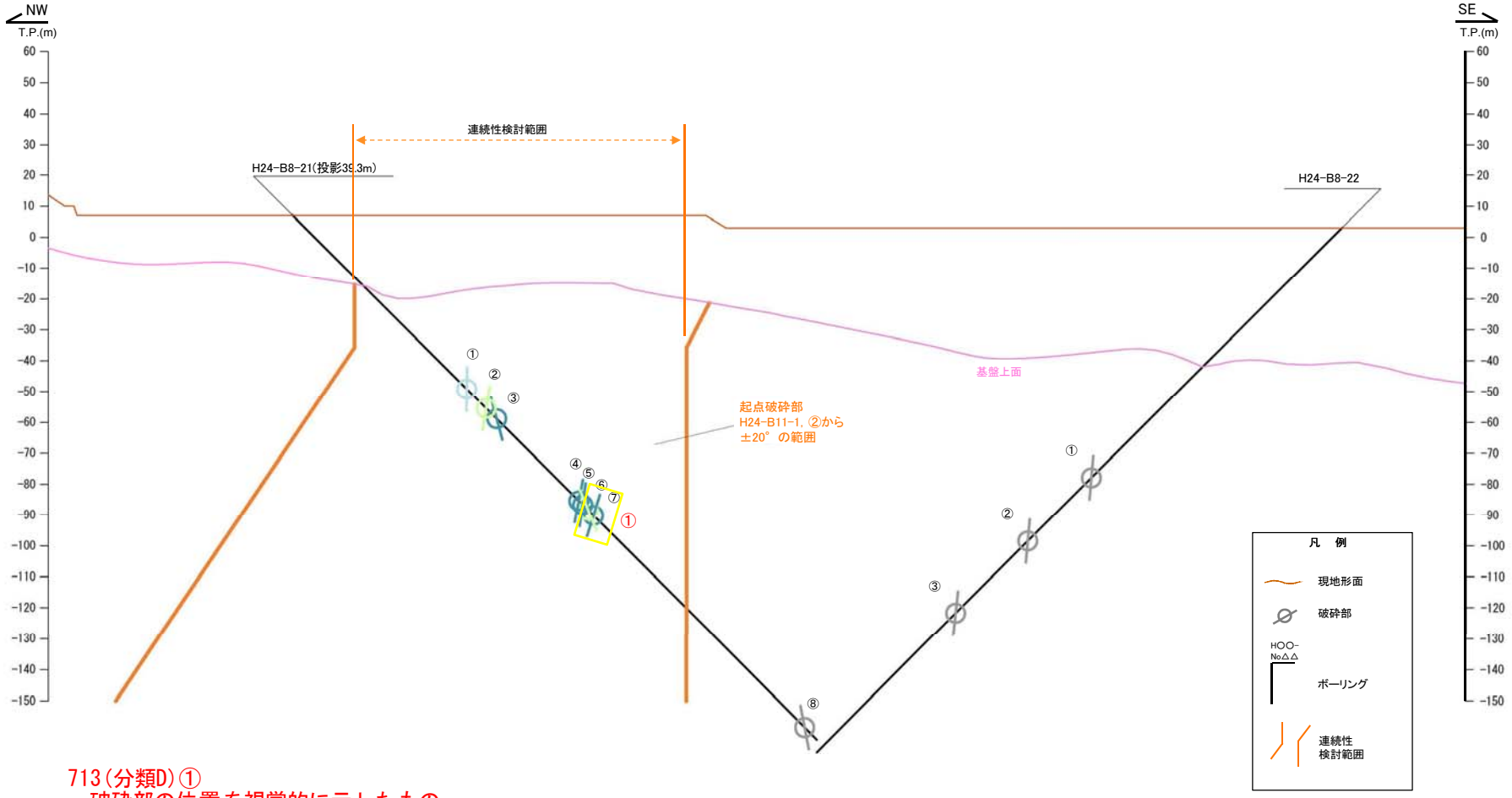
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)



713(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	11	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	1	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	5	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	9	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	11	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -N)

714(分類E)①
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	131.03	131.14	N3W	11	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	1	有	無	65R	N,LL	×	非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	5	有	無	0	① LL		非モデル化	参考2-189	
		範囲外	⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	5	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	9	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	11	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑩)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑩	172.20	172.45	(N16E)		(87W)		有	有	-	-		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	※4
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
		範囲内	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

():走向傾斜はH19-No.4における参考値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑩)

715(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑩	172.20	172.45	(N16E)		(87W)		有	有	-	-		D-5	参考2-70	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	24	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	8	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	12	81W	6	有	有	60L	N,RL	○	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	12	72W	15	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	※4
			⑤	143.67	143.77	N8E	8	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	4	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	16	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
		範囲内	③	80.50	83.93	N9E	7	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	10	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	57	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

():走向傾斜はH19-No.4における参考値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-27	-	-	③	88.55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	70	84W	64	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	86	84W	64	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	82	81W	61	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	④	97.87	99.00	N4E	82	72W	52	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	86	87E	73	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	90	76W	56	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	78	79W	59	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	87	80W	60	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	84	82W	62	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	37	69W	49	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-27	-	-	③	88.55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	70	84W	64	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	86	84W	64	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	82	81W	61	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	④	97.87	99.00	N4E	82	72W	52	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	86	87E	73	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	90	76W	56	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	78	79W	59	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	87	80W	60	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	84	82W	62	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	37	69W	49	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

716(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

717(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-22	-	-	①	114.71	115.13	N3E		87W		無	-	90	N		D-38	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	6	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	5	有	無	75R	N	○	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，①)

718(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-22	-	-	①	114.71	115.13	N3E		87W		無	-	90	N		D-38	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	6	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	15	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲内	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	5	有	無	75R	N	○	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	13	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	13	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	4	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	1	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

719(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	13	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	13	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	4	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	1	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.19，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.19	-	-	⑥	147.93	148.12	N13E		68E		有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	28	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	28	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	9	81W	31	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	9	72W	40	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	1	76W	36	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	13	79W	33	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	4	80W	32	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.19，⑥)

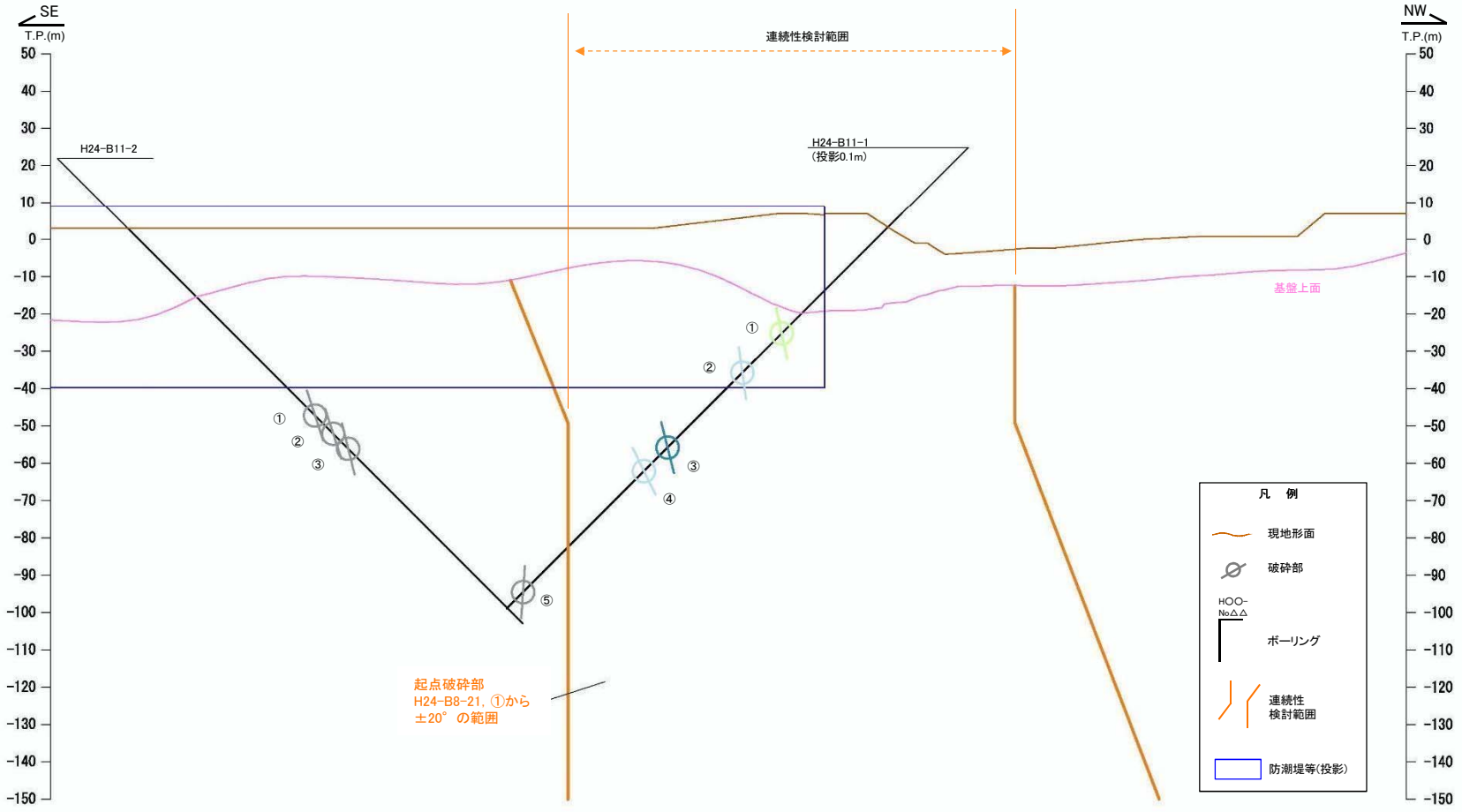
720(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.19	-	-	⑥	147.93	148.12	N13E		68E		有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	28	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	28	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	9	81W	31	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	9	72W	40	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	1	76W	36	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	13	79W	33	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	4	80W	32	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，①)

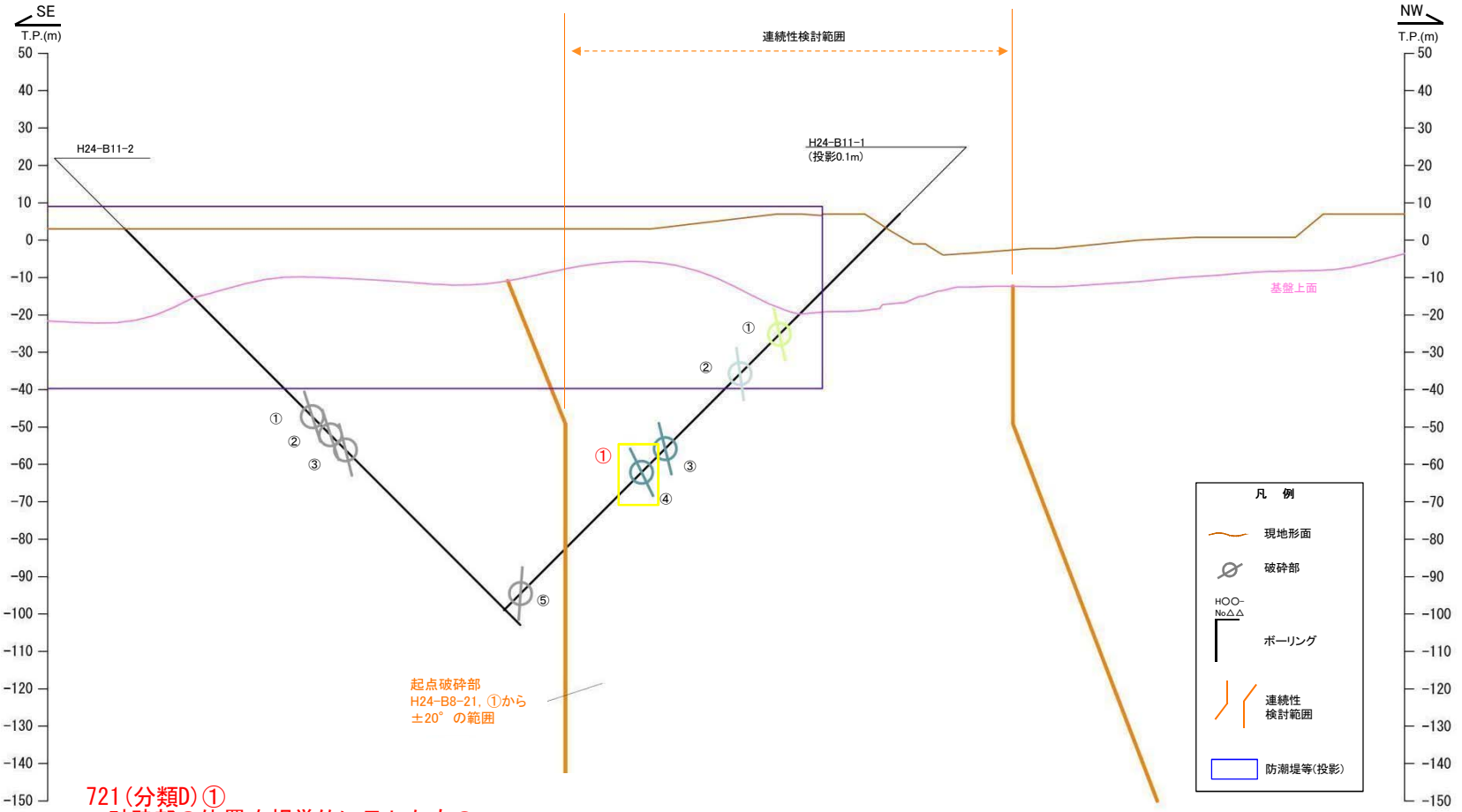


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



721(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	①	79.86	80.17	N18E		89W		有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	26	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	10	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	14	81W	8	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	14	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	10	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	18	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	9	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部:H24-B8-21，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	①	79.86	80.17	N18E		89W		有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	26	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	10	84W	5	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	14	81W	8	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	14	72W	17	有	無	70R ①②	N		非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	10	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	18	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	9	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

722(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

723(分類D)②
当該破砕部の変位センスの誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	13	84W	22	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	29	84W	22	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	25	81W	25	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	25	72W	34	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	29	87E	13	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	30	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	27	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	30	80W	26	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔A-A'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	13	84W	22	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	29	84W	22	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	25	81W	25	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	25	72W	34	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	29	87E	13	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	33	76W	30	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	27	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	30	80W	26	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

724(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

725(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	53	80W	26	湯	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	38	77W	29	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	58	67W	39	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	17	70W	36	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	44	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	24	79W	27	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	14	73W	33	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	33	73W	33	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	50	72W	34	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	17	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	50	86N	12	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	37	87W	19	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	36	87W	19	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	30	78W	28	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	8	78W	28	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	35	76W	30	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
		範囲内	⑮	207.69	207.72	N13E	34	83W	23	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	41	74W	32	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	7	88W	18	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5	範囲内	①	92.63	92.65	-	-	(12)	62	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	22	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	39	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	28	87W	19	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	36	86E	12	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，③)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	③	33.62	33.98	N21W		74E		有	無	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	53	80W	26	① 有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	38	77W	29	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	58	67W	39	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	17	70W	36	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	44	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	24	79W	27	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	14	73W	33	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	33	73W	33	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	50	72W	34	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	17	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	50	86N	12	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	37	87W	19	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	36	87W	19	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	30	78W	28	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	8	78W	28	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	35	76W	30	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
		範囲内	⑮	207.69	207.72	N13E	34	83W	23	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	41	74W	32	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	7	88W	18	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5	範囲内	①	92.63	92.65	-	-	(12)	62	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	22	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	39	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	27	82W	24	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	20	69W	37	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	28	87W	19	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	36	86E	12	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

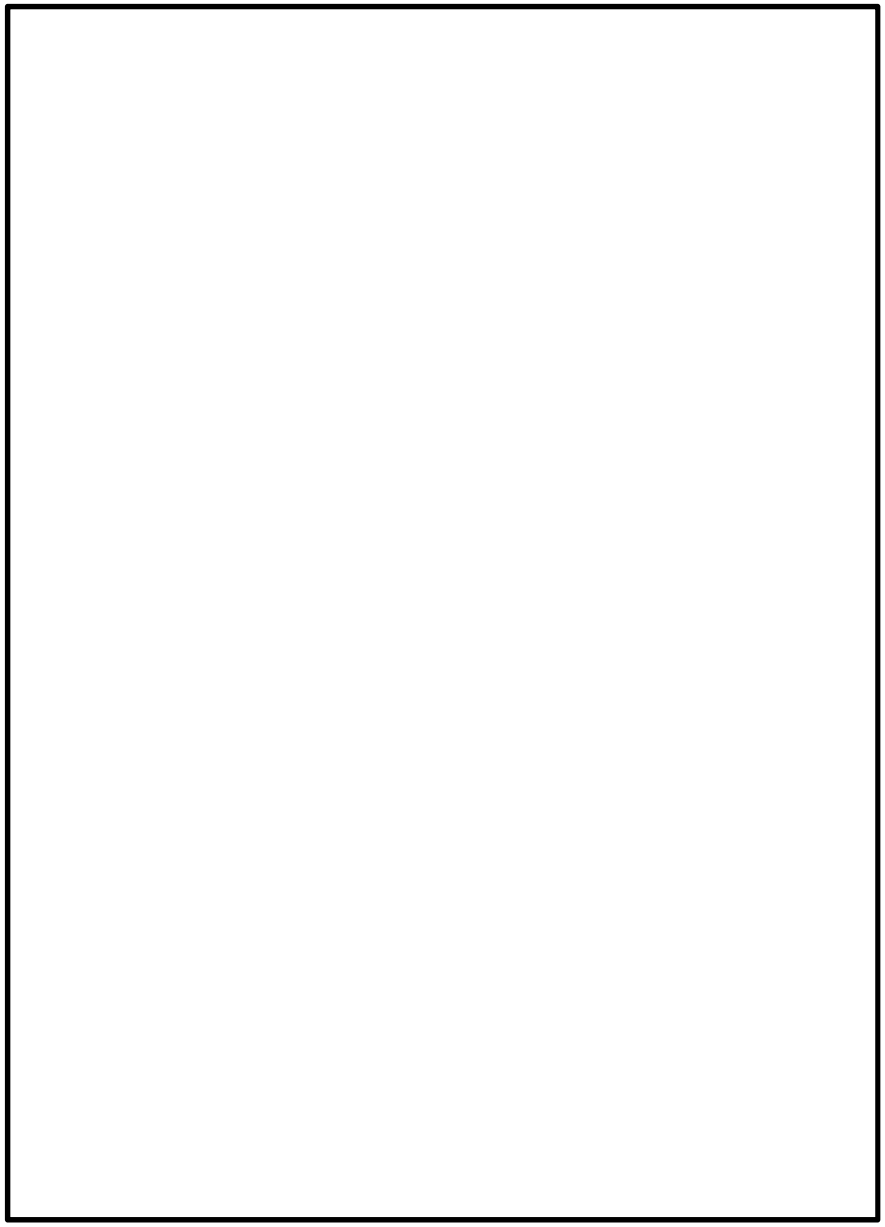
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

726(分類E)①
断層ガウジ・断層角礫の有無を入力した際にタイプミスしたもの。

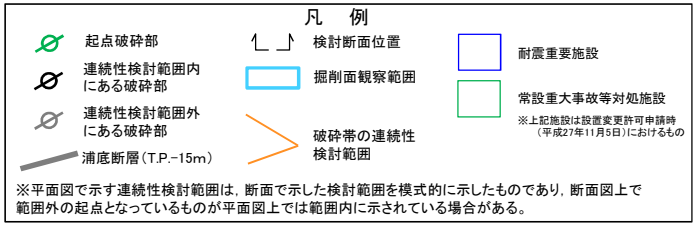
727(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前



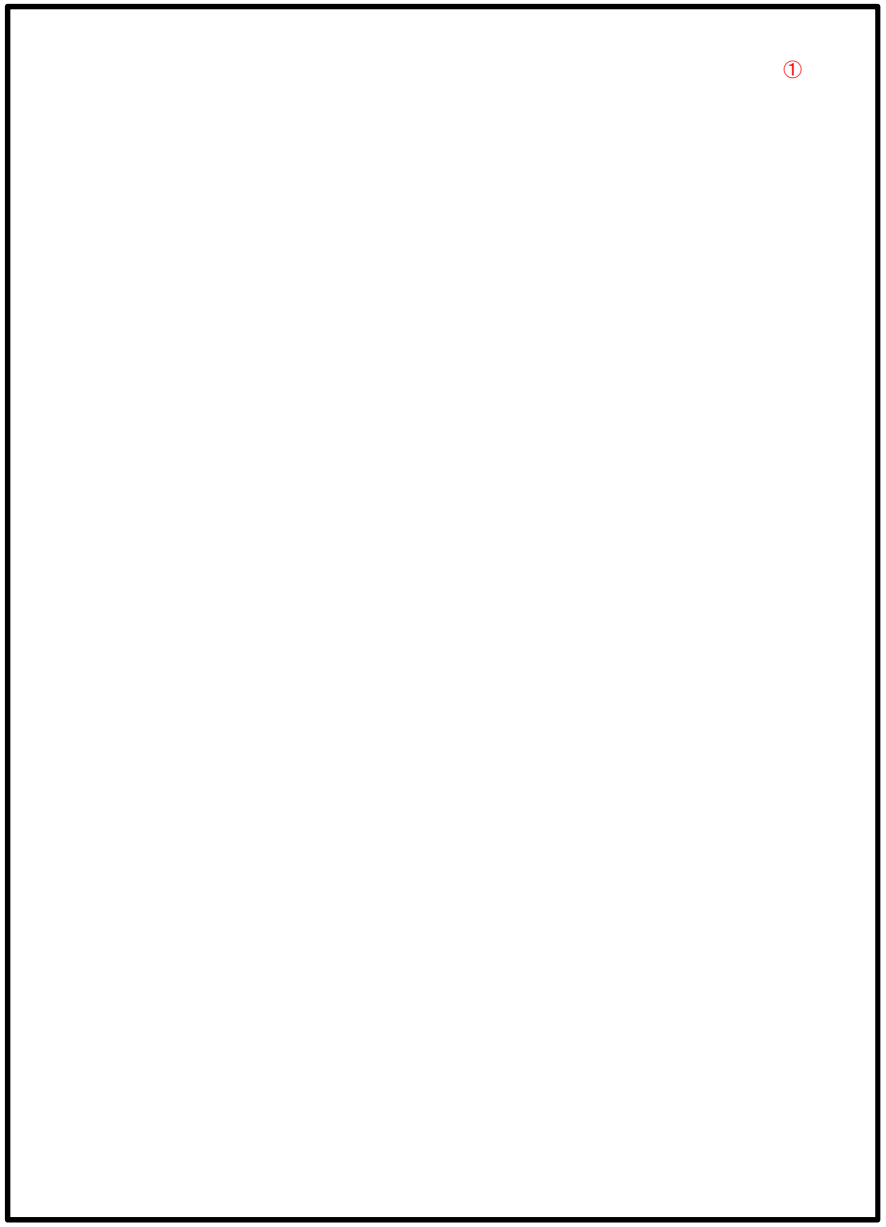
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）



枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



拡大範囲図(破砕帯及び破砕部分布)

728(分類E)①
方位記号は拡大範囲図とは別に作成して貼り付けていたが，
貼り付けを忘れたもの。

凡　例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 浦底断層(T.P.-15m)
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時(平成27年11月5日)におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度(m)	下端深度(m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	92	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

729(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	92	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-22	-	-	②	143.52	143.76	N17E		86W		有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	25	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	9	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	13	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	13	72W	14	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	9	87E	7	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	5	76W	10	有	無	25L	N,RL	○	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	17	79W	7	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	11	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167.53	168.54	N41W	58	69W	17	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-22，②)

730(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-22	-	-	②	143.52	143.76	N17E		86W		有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	25	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	9	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	13	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	13	72W	14	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	9	87E	7	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	5	76W	10	有	無	25L	N,RL	○	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	17	79W	7	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	8	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	11	82W	4	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167.53	168.54	N41W	58	69W	17	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-23	-	-	①	29.99	30.16	N3E		72E		有	有	18R	-		D-36	参考2-115	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	24	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	24	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	27	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	36	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	32	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	29	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	28	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	3	82W	26	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	39	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-23，①)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-23	-	-	①	29.99	30.16	N3E		72E		有	有	18R	-		D-36	参考2-115	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	11	84W	24	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	5	84W	24	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	1	81W	27	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	1	72W	36	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	5	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	32	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	29	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	28	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	3	82W	26	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	44	69W	39	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

731(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

732(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	②	122.16	122.35	N6E		87W		有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	15	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

733(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	②	122.16	122.35	N6E		87W		有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	3	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	15	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	11	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	④	131.03	131.14	N3W		84W		無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	0	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	7	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	12	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	9	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	2	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	④	131.03	131.14	N3W		84W		無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	0	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	7	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	12	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	9	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	76W	8	有	無	② 25L	N,RL	③ ×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	2	有	無	75R	④ N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

734(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

735(分類E)②
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。

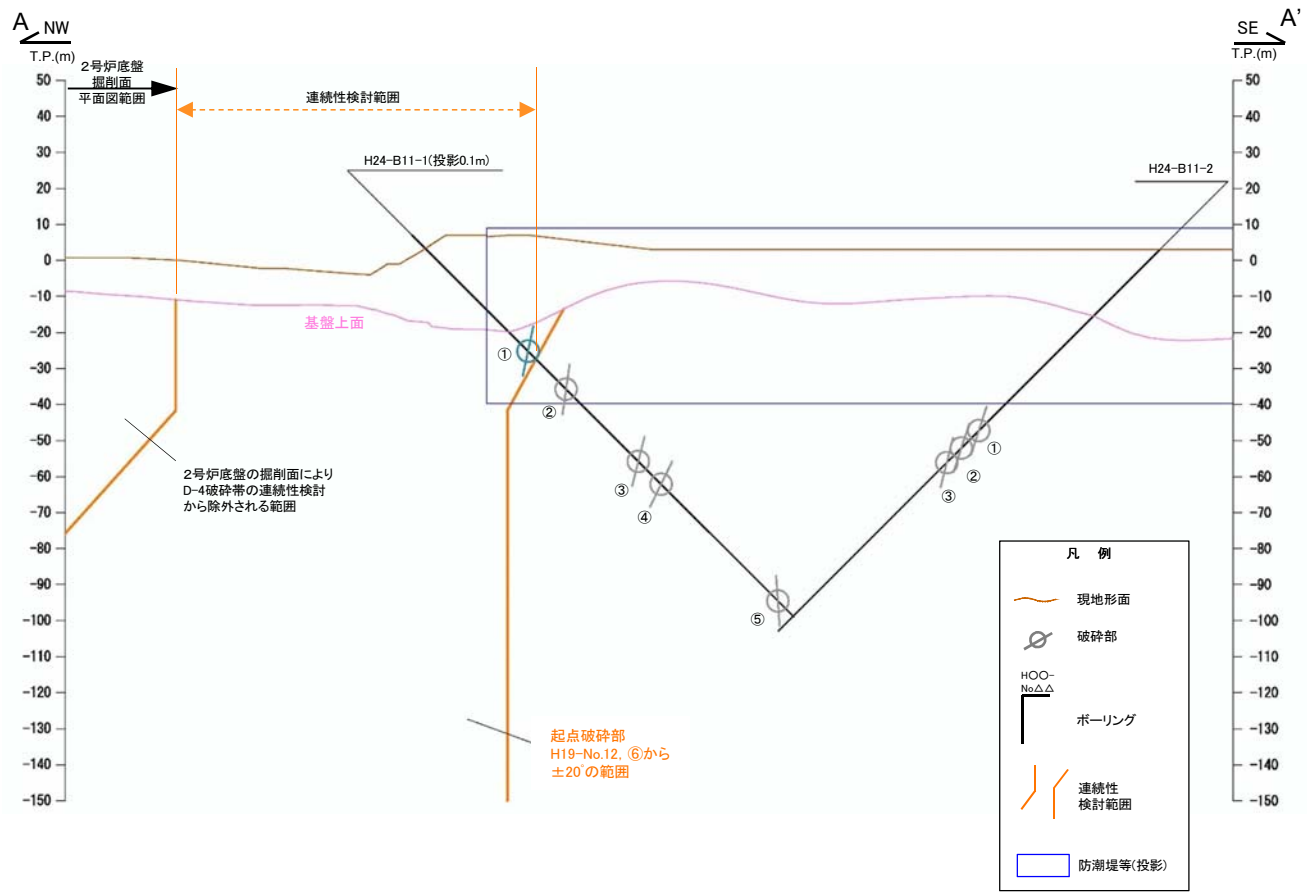
736(分類D)③
当該破砕部の条線方向の着色の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

737(分類A)④
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕

拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

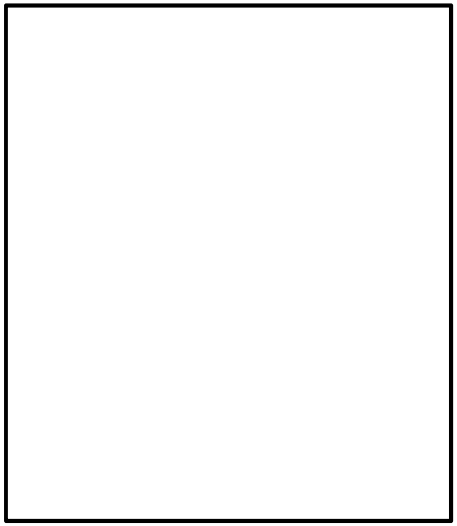
※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後



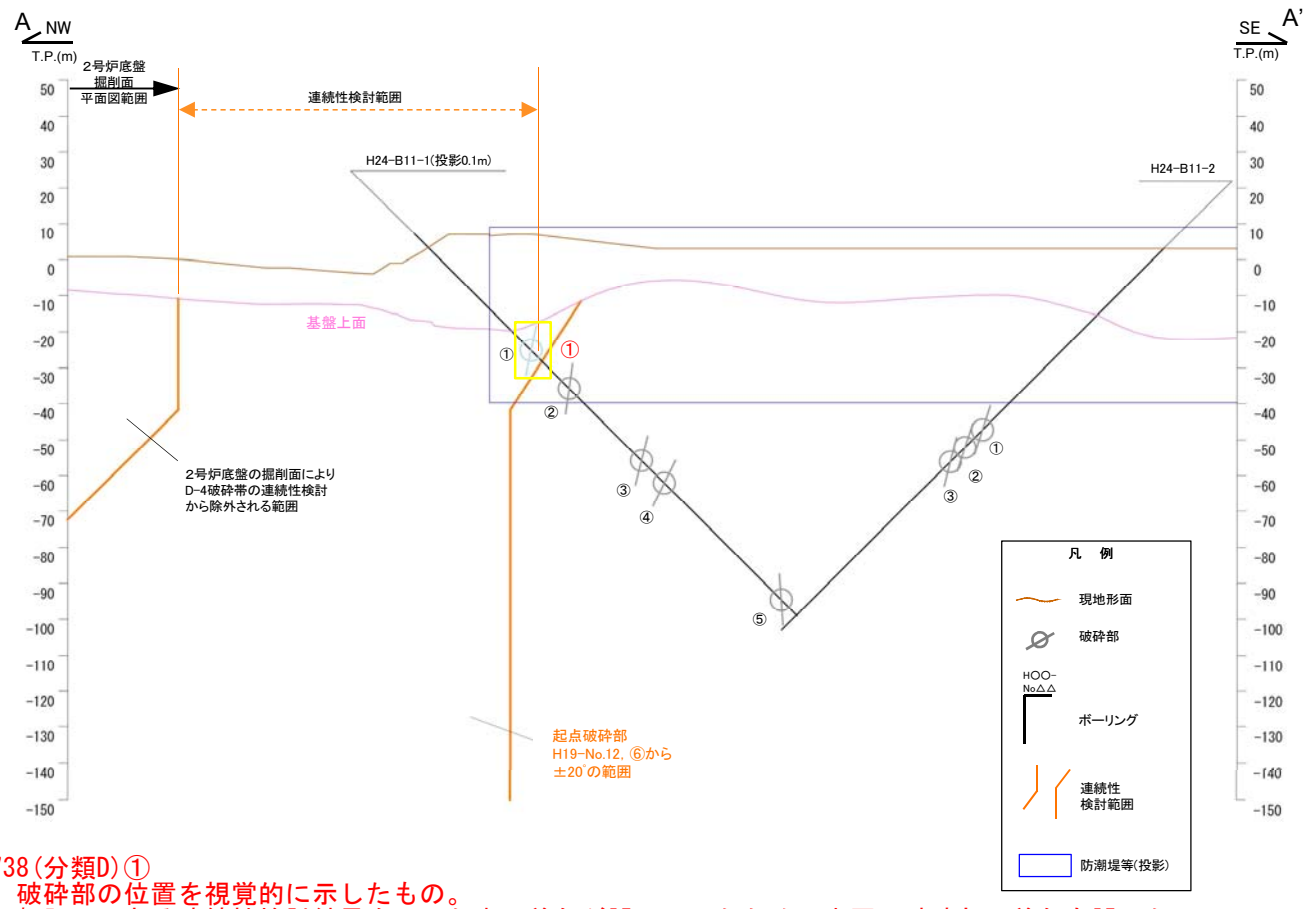
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



738(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	-		D-4	参考2-89	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	1	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲外	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	11	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	10	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	16	76W	7	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	4	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	① N,RL		D-4	参考2-89	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	4	84W	1	有	無	15R	② LL		f-b11-1-1	参考2-159	
		範囲外	②	60.36	60.60	N8E	12	84W	1	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	8	81W	2	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	11	有	無	70R	③ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	10	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	16	76W	7	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	4	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	13	80W	3	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

739(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

740(分類D)②
起点破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

741(分類D)③
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.18	-	-	⑤	164.15	164.25	N9E		78W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	⑤	164.15	164.25	N9E		78W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	17	84W	6	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	1	84W	6	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	5	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	5	72W	6	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	1	87E	15	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	9	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	0	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	3	82W	4	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	50	69W	9	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

742(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

743(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑨	169.38	169.46	N21E		84W		有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	29	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	13	84W	0	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	17	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	17	72W	12	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	13	87E	9	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	15	82W	2	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	62	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑨)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑨	169.38	169.46	N21E		84W		有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	29	84W	0	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	13	84W	0	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	17	81W	3	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	17	72W	12	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	13	87E	9	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	9	76W	8	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	21	79W	5	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	15	82W	2	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	62	69W	15	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

744(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

745(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑪)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑪	159.77	159.88	N15E		87W		有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	15	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	6	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	11	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑪)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

746(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑪	159.77	159.88	N15E		87W		有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	6	有	有	60L	N,RL	×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	15	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	6	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※4
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	11	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	8	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	7	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	9	82W	5	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	18	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	⑤	143.67	143.77	N8E		87E		無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-192	
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	4	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	12	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	5	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	④	131.03	131.14	N3W	11	84W	9	無	-	20R	RL	×	非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	8	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	19	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	14	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	3	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	6	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	9	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	11	85W	8	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，⑤)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

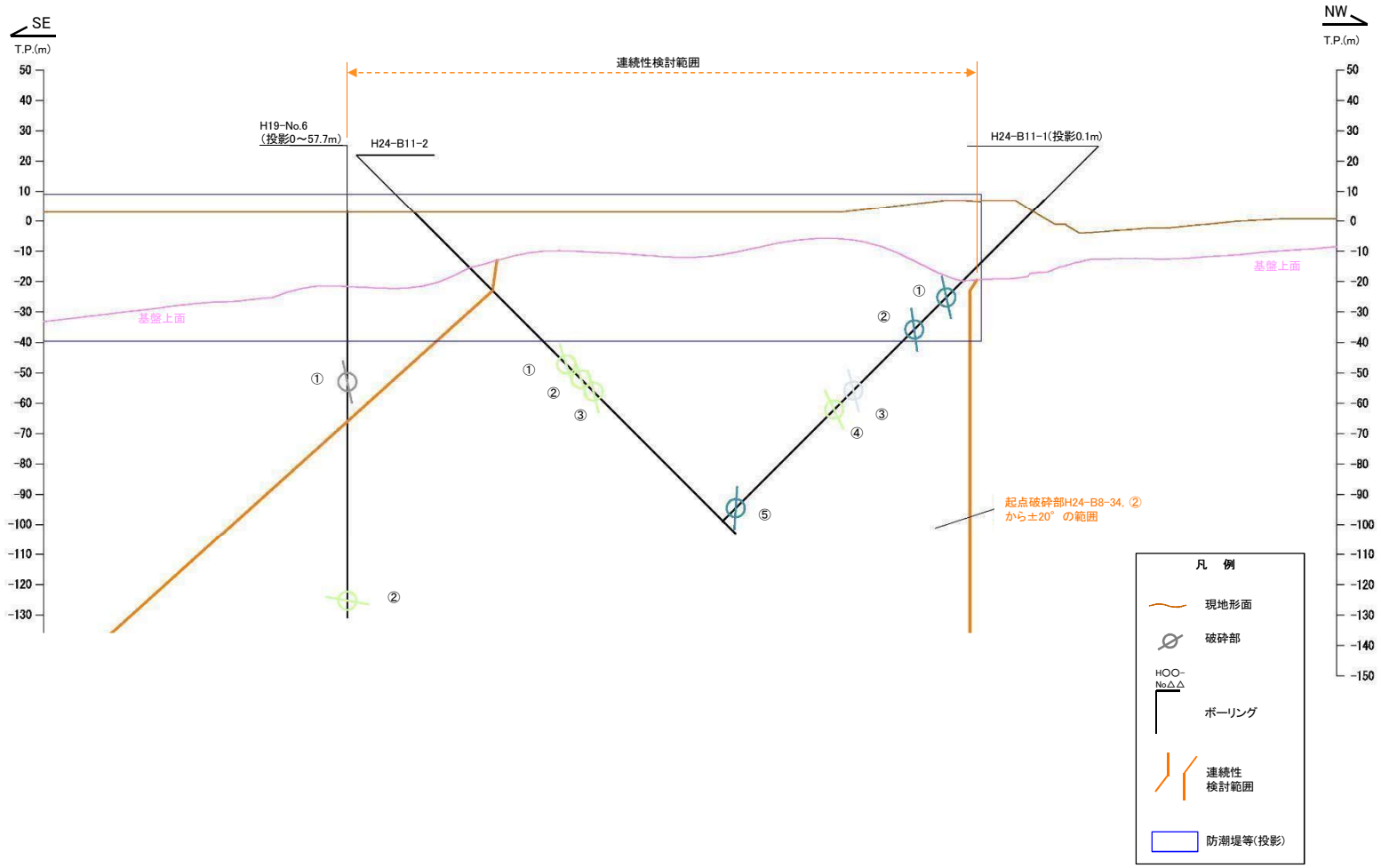
747(分類A)①
性状一覧表を参照するために記載したページ番号について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	⑤	143.67	143.77	N8E		87E		無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	①
-	H24-B8-21	範囲外	①	79.86	80.17	N18E	10	89W	4	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	33	81NW	12	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	13	82E	5	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	④	131.03	131.14	N3W	11	84W	9	無	-	20R	RL	×	非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	7	85W	8	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	50	68S	19	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	4	79W	14	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	11	84E	3	有	無	20L	RL	×	D-37	参考2-116	※3
	H24-B8-22	範囲外	①	114.71	115.13	N3E	5	87W	6	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	9	86W	7	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	11	85W	8	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)



破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

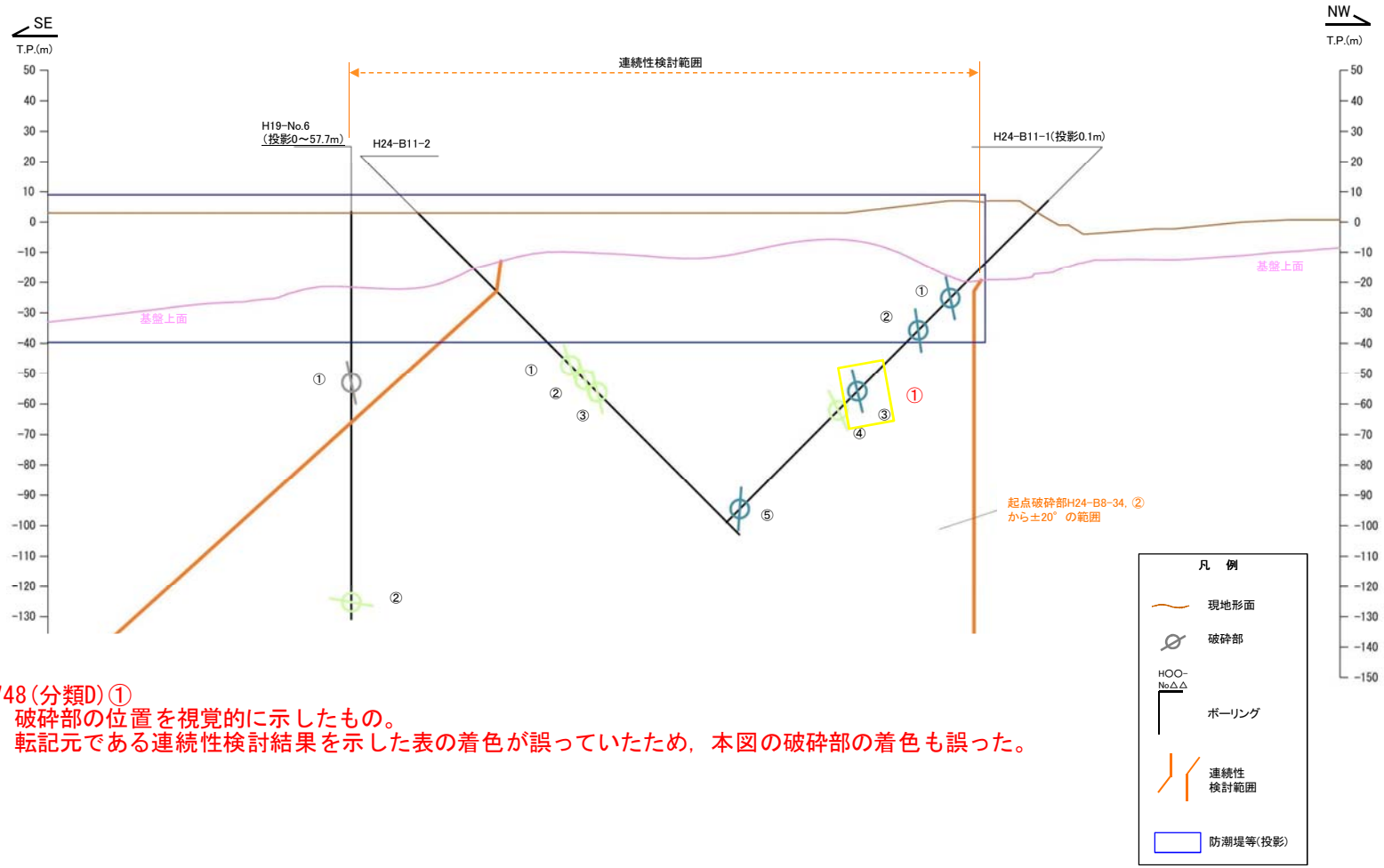
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



748(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	②	42.86	42.97	N4E		79E		無	-	75L	-		f-b8-34-2	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	17	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	17	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	20	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	29	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	8	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	25	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	22	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	21	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	2	82W	19	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	45	69W	32	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-34，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-34	-	-	②	42.86	42.97	N4E		79E		① 有	② 無	75L	-		f-b8-34-2	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	12	84W	17 ③	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	17 ③	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	0	81W	20 ③	有	有	60L	N,RL	④ ×	D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	0	72W	29	有	無	70R	⑤ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	8 ⑥	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	25	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	4	79W	22	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	21	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	2	82W	19	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	45	69W	32	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

749(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

750(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

751～753(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

754(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

755(分類D)⑤
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

756(分類D)⑥
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔A-A’断面〕

起点	対比する ボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		無	-	30L	-		f-8-11	参考2-128	
検討対象範囲に調査無し																	

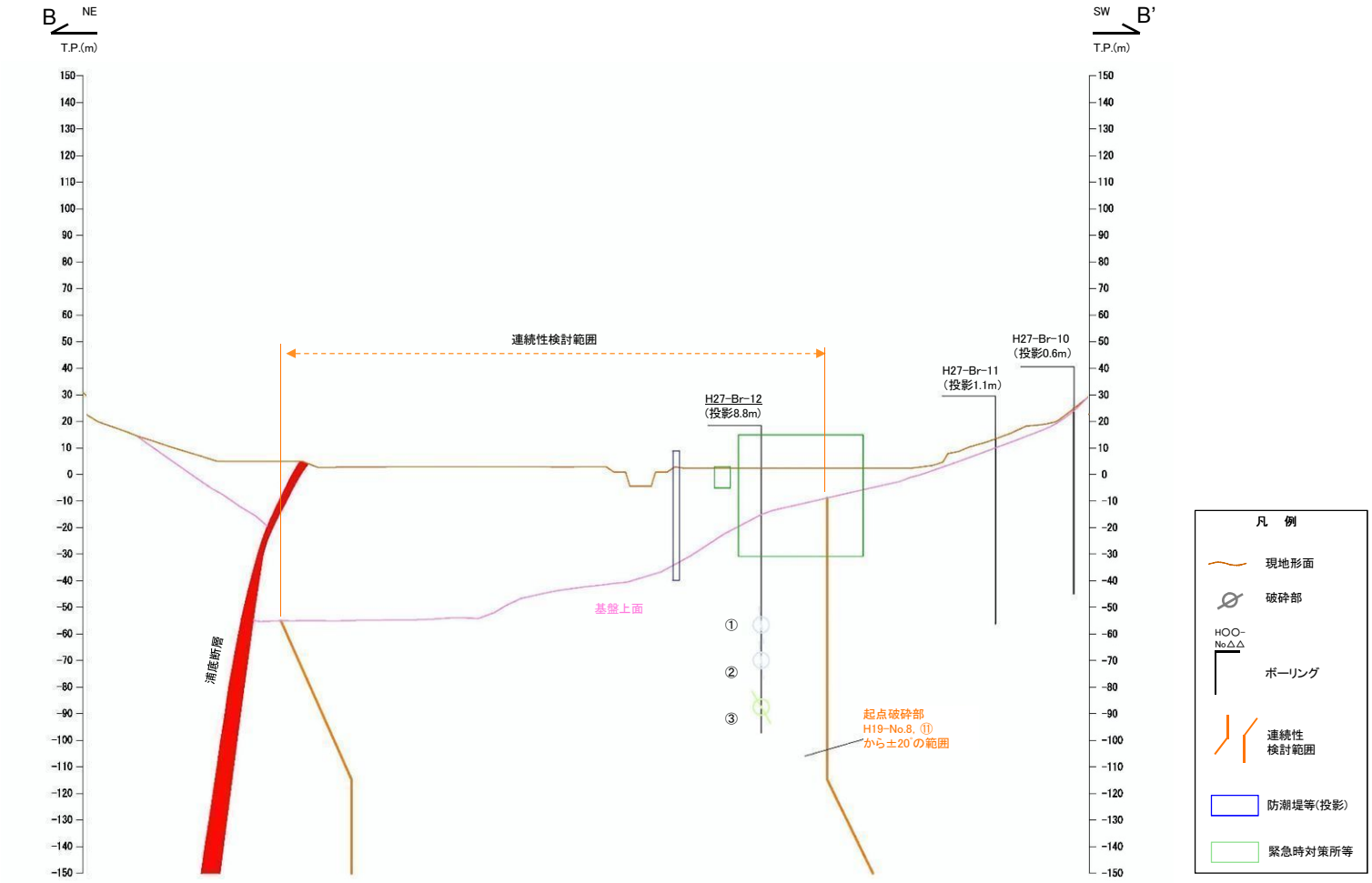
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		① 有	② 無	30L	-		f-8-11	参考2-128	
検討対象範囲に調査無し																	

757(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

758(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕



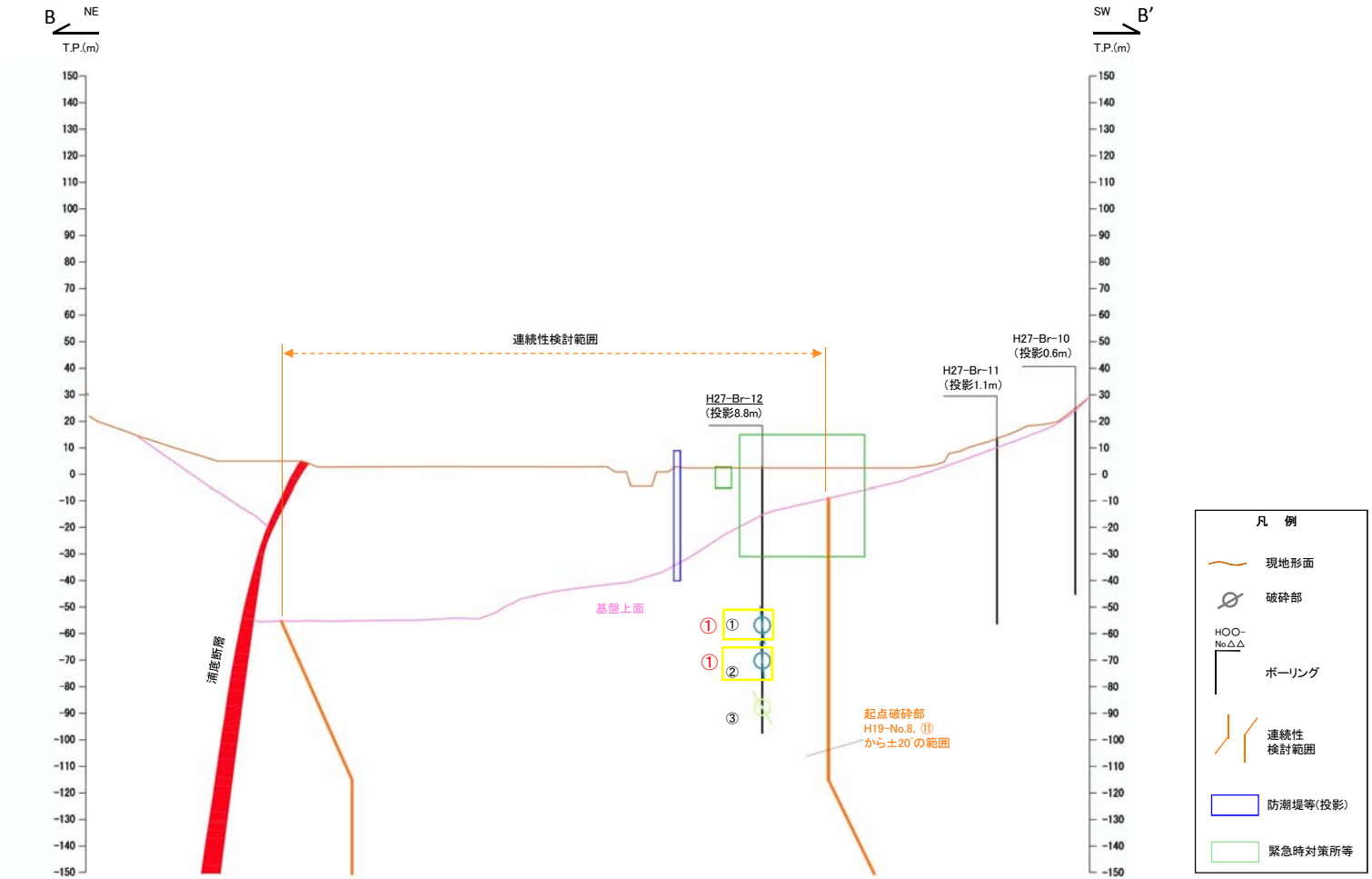
注)H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



759，760(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

注)H27-Br-10孔及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		無	-	30L	-		f-8-11	参考2-128	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	19	85W	1	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	6	85W	1	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	43	78NW	8	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.8，⑪)〔B-B’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.8	-	-	⑪	155.50	155.55	N12W		86W		① 有	② 無	30L	-		f-8-11	参考2-128	
-	H27-Br-12	範囲内	①	58.40	59.38	N7E	19	85W	1 ③	有	有	12L	RL	④ ×	f-br-12-1	参考2-177	※3④
			②	71.95	72.72	N6W	6	85W	1 ③	有	有	15L	RL	④ ×	f-br-12-2	参考2-177	※3④
			③	89.68	90.32	N31E	43	78NW	8	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

761(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

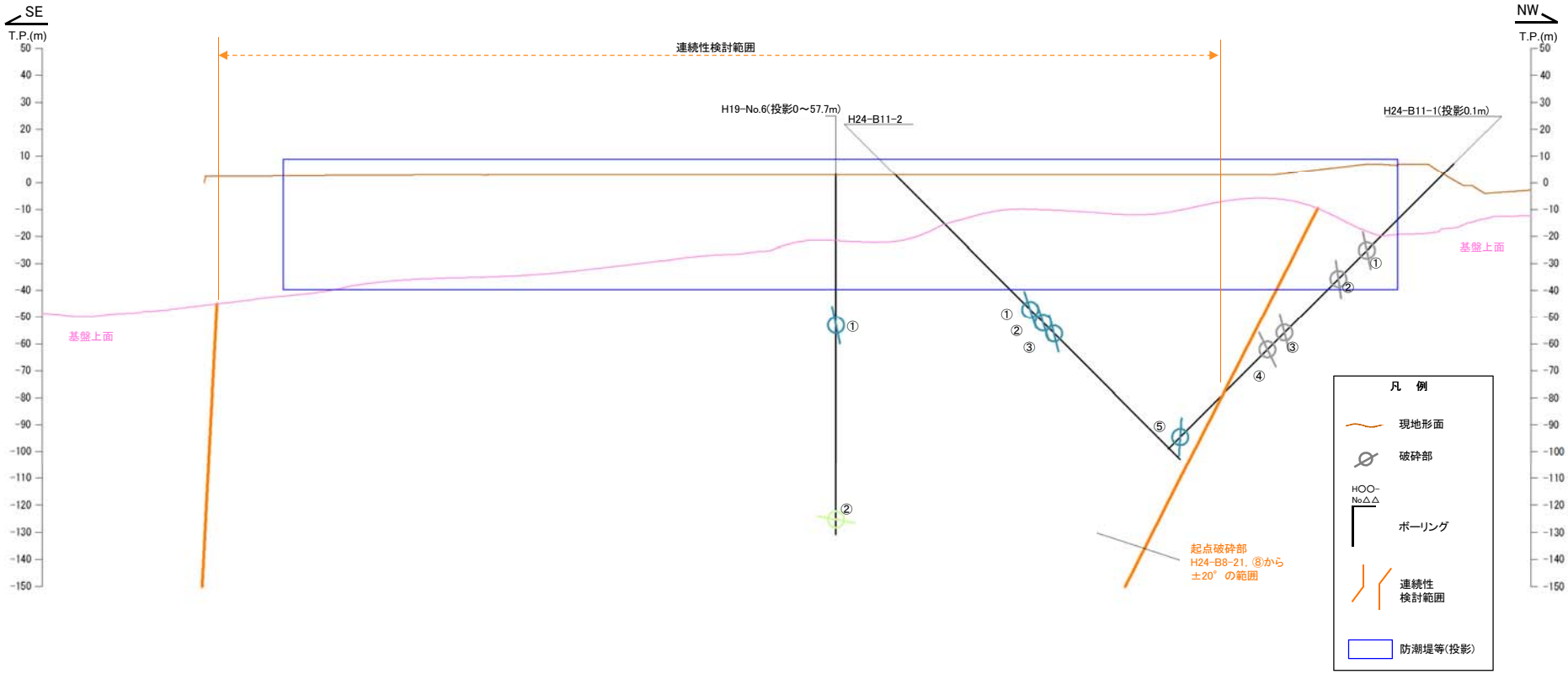
762(分類A)②
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

763，764(分類D)③
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

765～768(分類D)④
起点破砕部の断層ガウジ・断層角礫の有無及び明瞭なせん断構造・変形構造の有無の修正を反映したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑧)

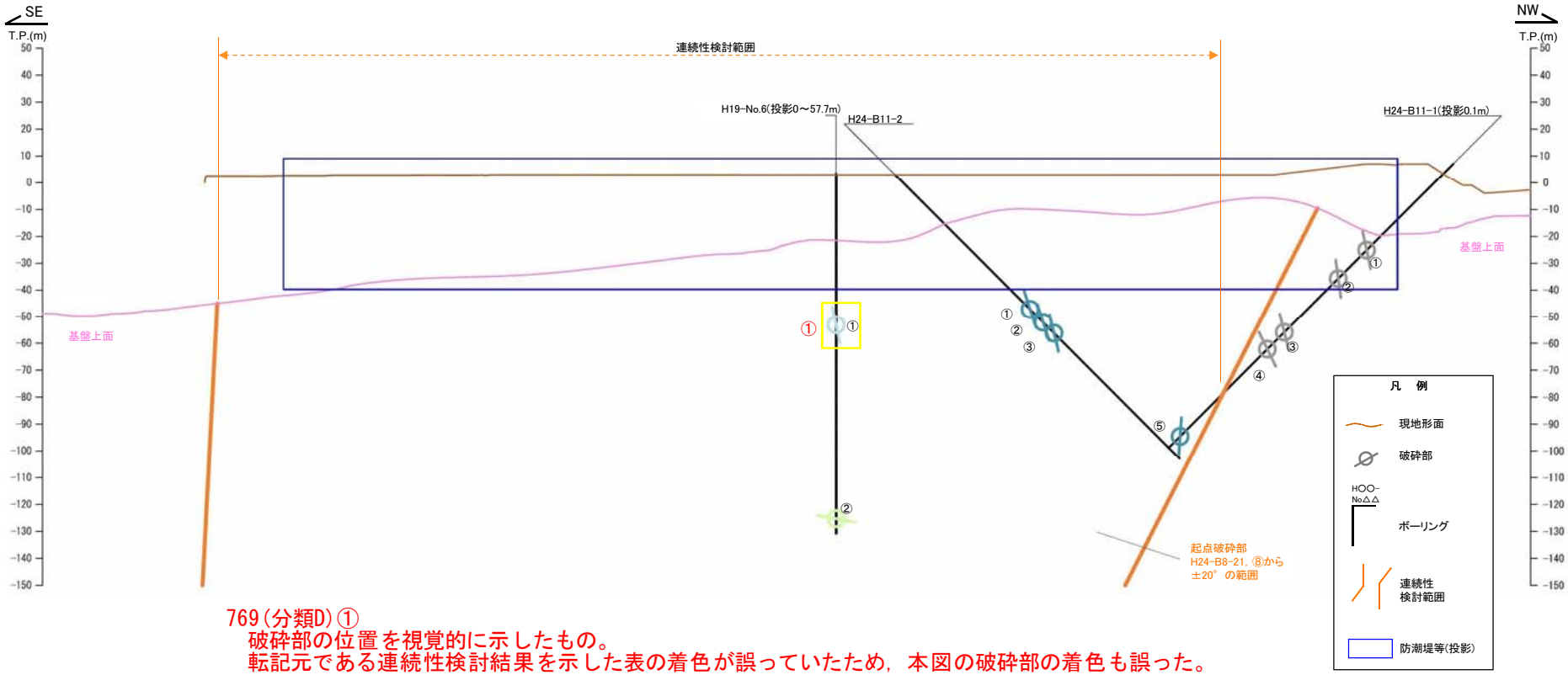


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑧)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



769(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑧	234.23	234.38	N3W		84E		有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	7	81W	15	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	24	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	3	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	76W	20	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	17	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	16	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	14	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	27	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部:H24-B8-21，⑧)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	⑧	234.23	234.38	N3W		84E		有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	5	84W	12	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	11	84W	12	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	7	81W	15	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	7	72W	24	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	11	87E	3	無	-	5L	RL	×	非モデル化	参考2-191	※3
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	15	76W	20	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	3	79W	17	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	12	80W	16	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	14	有	無	75R	②③ N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	38	69W	27	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

770(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

771(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済）。

772(分類D)③
当該破砕部の変位センスの追加を反映したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	②	88.67	88.71	N41E		81NW		有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	49	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	33	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	37	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	37	72W	9	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	33	87E	12	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	29	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	41	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	32	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-21，②)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-21	-	-	②	88.67	88.71	N41E		81NW		有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	49	84W	3	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	33	84W	3	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	37	81W	0	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	37	72W	9	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	33	87E	12	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	29	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	41	79W	2	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	32	80W	1	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

②

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

773(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

774(分類E)②
表の下端の一部にテキストボックスが干渉し，枠線が消えていたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑧	152.06	152.09	N40E		71W		有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	48	84W	13	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	32	84W	13	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	36	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	36	72W	1	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	32	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	28	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	40	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	31	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	34	82W	11	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	81	69W	2	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑧)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑧	152.06	152.09	N40E		71W		有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	48	84W	13	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	32	84W	13	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	36	81W	10	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	36	72W	1	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	32	87E	22	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	28	76W	5	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	40	79W	8	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	31	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	34	82W	11	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	81	69W	2	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

775(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

776(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	5	有	無	15R	-	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	-		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	0	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	12	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	20	84W	5	有	無	15R ①	② LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※3
			②	60.36	60.60	N8E	4	84W	5	有	無	62R	① N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	8	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	8	72W	17	有	無	70R	③ N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	4	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	0	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	12	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

777，779(分類A)①
変位センスについて，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

778(分類D)②
当該破砕部の変位センスの誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

780(分類D)③
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	26	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	49	81W	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	3	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	131.03	131.14	N3W	5	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	9	85W	1	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	66	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	12	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	5	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	11	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	25	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	27	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

781(分類A)①
傾斜について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記を誤ったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H24-B8-21	範囲内	①	79.86	80.17	N18E	26	89W	5	有	有	35L	N,RL		f-b8-21-1	参考2-160	
			②	88.67	88.71	N41E	49	① 81NW	3	有	無	-	-		f-b8-21-2	参考2-160	
			③	92.86	93.53	N5W	3	82E	14	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	131.03	131.14	N3W	5	84W	0	無	-	20R	RL		非モデル化	参考2-189	
			⑤	131.88	132.82	N1E	9	85W	1	有	無	65R	N,LL		非モデル化	参考2-189	
			⑥	135.30	135.52	N58E	66	68S	28	有	無	10L	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑦	137.72	138.18	N4E	12	79W	5	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-189	
			⑧	234.23	234.38	N3W	5	84E	12	有	無	20L	RL		D-37	参考2-116	
	H24-B8-22		①	114.71	115.13	N3E	11	87W	3	無	-	90	N		D-38	参考2-116	
			②	143.52	143.76	N17E	25	86W	2	有	無	40L	N,RL		D-7	参考2-90	
			③	176.68	177.31	N19E	27	85W	1	有	有	40L	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	④	82.48	82.50	N25E		61W		無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	33	84W	23	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	17	84W	23	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	21	81W	20	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	21	72W	11	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	17	87E	32	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	13	76W	15	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	25	79W	18	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	16	80W	19	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

782(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	④	82.48	82.50	N25E		61W		無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	33	84W	23	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	17	84W	23	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	21	81W	20	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	21	72W	11	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
		範囲外	⑤	143.67	143.77	N8E	17	87E	32	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	13	76W	15	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	25	79W	18	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	16	80W	19	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-29	-	-	③	29.51	29.61	N15E		45E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	51	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	51	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	54	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	63	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	42	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	59	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	56	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	55	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	53	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	66	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-29，③)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-29	-	-	③	29.51	29.61	N15E		45E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-190	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	23	84W	51	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	7	84W	51	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	11	81W	54	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	11	72W	63	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	7	87E	42	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	3	76W	59	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	56	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	6	80W	55	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	9	82W	53	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	56	69W	66	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

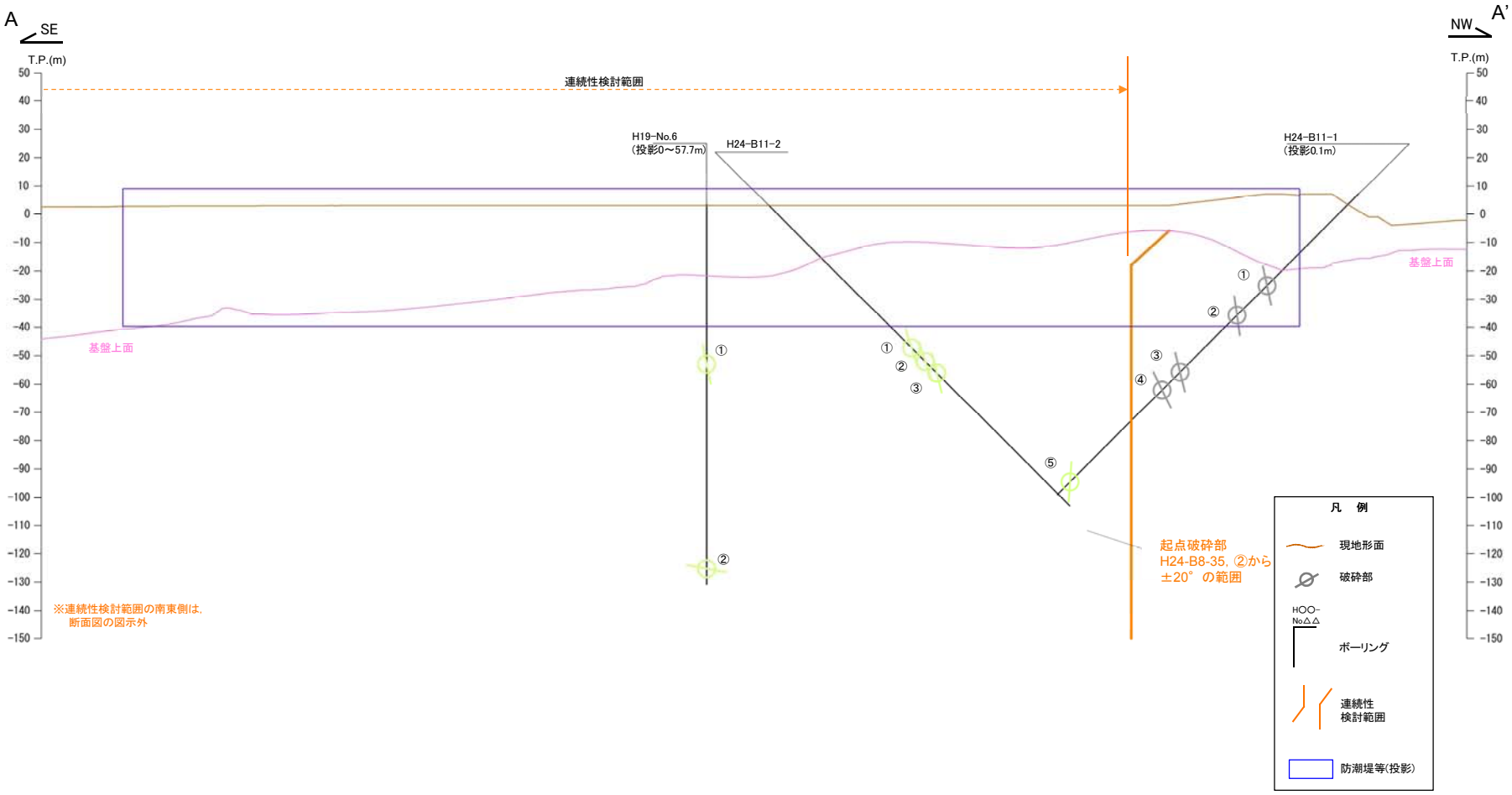
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

783(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

784(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A’断面〕

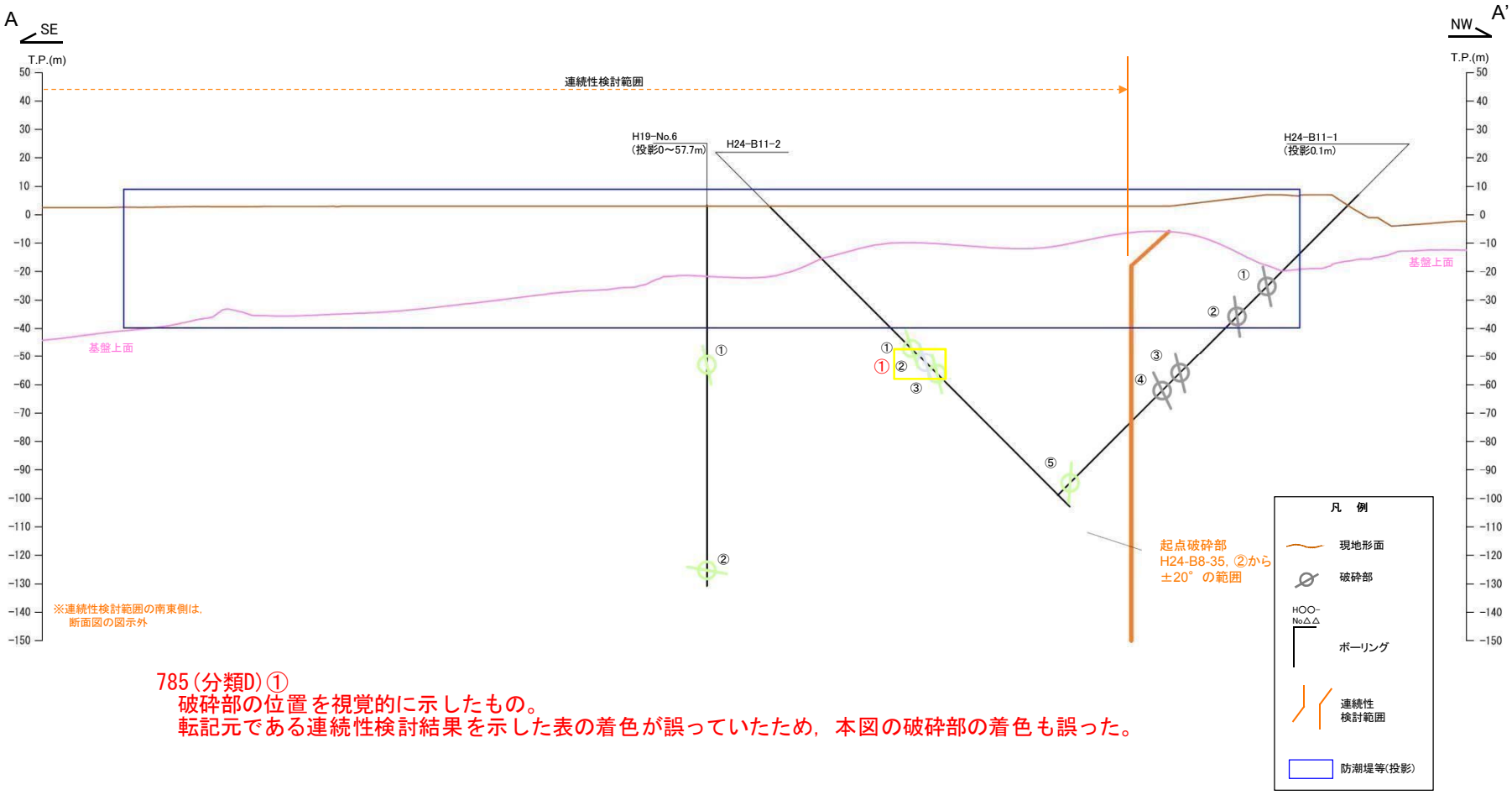


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



785(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	7	84W	15	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	15	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	19	81W	18	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	19	72W	27	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	27	76W	23	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	15	79W	20	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	24	80W	19	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	7	84W	15	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	23	84W	15	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	19	81W	18	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	19	72W	27	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
		範囲内	⑤	143.67	143.77	N8E	23	87E	6	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	27	76W	23	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10②	NS	15	79W	20	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	24	80W	19	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	③ N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

786(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

787(分類E)②
起点破砕部と対比破砕部の連続性検討の結果，手作業で表の該当箇所に着色する必要があったが，誤って着色し忘れた。

788(分類A)③
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	47	80W	19	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	32	77W	22	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	52	67W	32	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	11	70W	29	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	50	62W	37	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	18	79W	20	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	26	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	27	73W	26	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	44	72W	27	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	5	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	56	86N	5	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	31	87W	12	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	159.77	159.88	N15E	30	87W	12	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	24	78W	21	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	14	78W	21	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	29	76W	23	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	28	83W	16	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	35	74W	25	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	13	88W	11	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	69	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	29	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	46	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	22	87W	12	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	30	86E	5	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-35，②)〔B-B'断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-35	-	-	②	32.68	32.71	N15W		81E		無	-	-	-		非モデル化	参考2-191	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	47	80W	19	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	32	77W	22	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	52	67W	32	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	11	70W	29	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	50	62W	37	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	18	79W	20	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	26	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	27	73W	26	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	44	72W	27	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	5	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	56	86N	5	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	31	87W	12	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	159.77	159.88	N15E	30	87W	12	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	24	78W	21	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	14	78W	21	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	29	76W	23	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	28	83W	16	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	35	74W	25	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	13	88W	11	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	69	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	29	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	46	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	21	82W	17	有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	26	69W	30	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	22	87W	12	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	30	86E	5	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

789(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	④	155.72	155.75	N36E		76W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	44	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	28	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	32	72W	4	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	28	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	24	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	36	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	27	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，④)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	④	155.72	155.75	N36E		76W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	44	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	28	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	32	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲外	④	97.87	99.00	N4E	32	72W	4	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	28	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	24	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	36	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	27	80W	4	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

790(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169.63	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169.63	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

791(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.6	-	-	①	73.43	73.45	N6E		82W		有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	1	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	10	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	11	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	6	無	-	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.6	-	-	①	73.43	73.45	N6E		82W		有	無	75R	① N		D-38	参考2-116	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	14	84W	2	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	2	84W	2	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	2	81W	1	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	2	72W	10	有	無	70R	② N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	2	87E	11	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	6	76W	6	③ 有	④ 無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	6	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	3	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

792(分類A)①
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

793(分類D)②
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

794(分類A)③
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映していなかった。

795(分類A)④
H30年11月30日審査会合にて説明した起点破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を本表に反映したことによって，明瞭なせん断構造・変形構造の有無についても判断を加えたもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	37	84W	6	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	33	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	33	72W	6	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	37	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	41	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	29	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	38	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

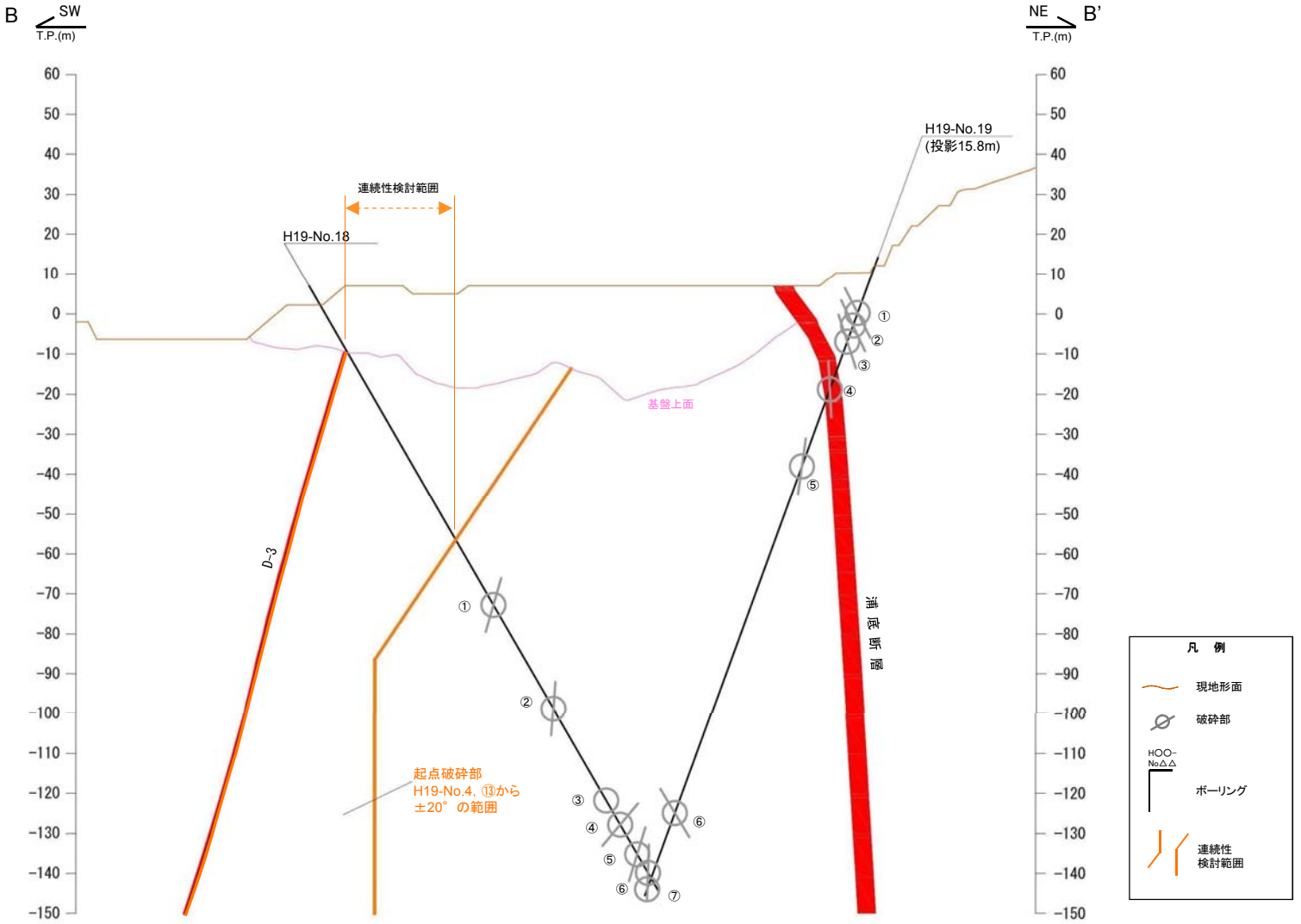
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	21	84W	6	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	37	84W	6	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	33	81W	3	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	33	72W	6	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	37	87E	15	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	41	76W	2	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	29	79W	1	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	38	80W	2	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

796(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

第657回審査会合
机上配付資料1 修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

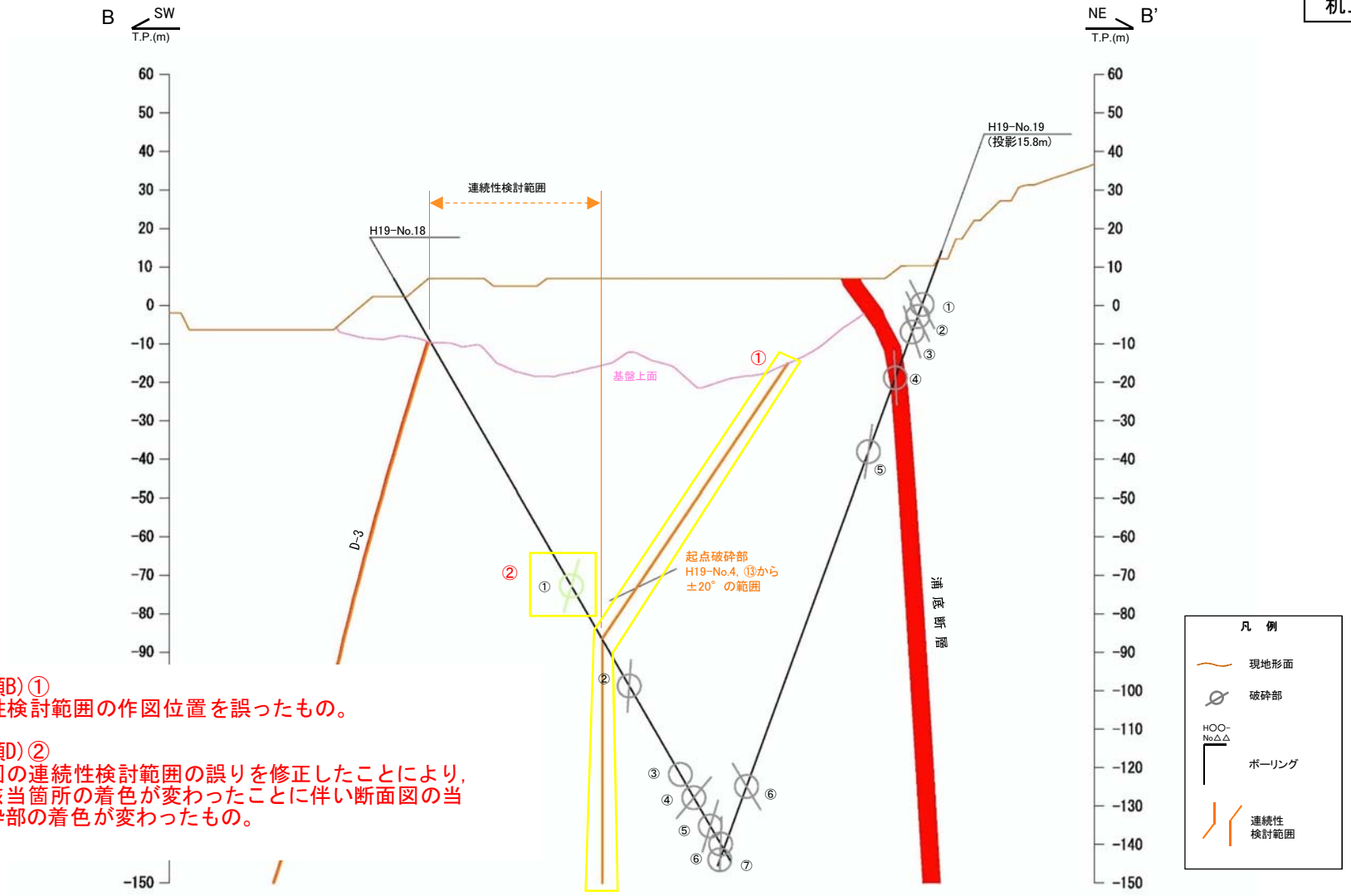


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後



797(分類B)①
連続性検討範囲の作図位置を誤ったもの。

798(分類D)②
断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったことに伴い断面図の当該破砕部の着色が変わったもの。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲外	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	49	89W	11	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

799(分類D)①
断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより，連続性検討範囲外であったものが，
連続性検討範囲内に変わったもの。
800(分類D)②
断面図の連続性検討範囲の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	② ⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H19-No.18	① 範囲内	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	49	89W	11	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑭	175.64	175.65	N14E		76W		有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	22	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	6	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	10	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	10	72W	4	有	無	70R	N,LL	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	6	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	2	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	14	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	8	82W	6	有	無	75R	-		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	55	69W	7	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑭)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑭	175.64	175.65	N14E		76W		有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	22	84W	8	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	6	84W	8	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
		範囲内	③	88.93	88.97	N4E	10	81W	5	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	10	72W	4	有	無	70R	① N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	6	87E	17	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	2	76W	0	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	14	79W	3	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	5	80W	4	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6	範囲外	①	73.43	73.45	N6E	8	82W	6	有	無	75R	② N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	55	69W	7	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

801(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

802(分類A)②
連続性評価に関するデータを拡充するために追加した変位センスを，本表に反映していなかった(H30年11月30日審査会合にて説明済)。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑯	218.73	218.74	N20E		74W		有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	10	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	10	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	16	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	2	有	無	70R	N,LL		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	5	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	14	82W	8	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167.53	168.54	N41W	61	69W	5	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑯)

第657回審査会合
机上配付資料1 修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑯	218.73	218.74	N20E		74W		有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
-	H24-B11-1	範囲外	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	10	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	10	有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
			③	88.93	88.97	N4E	16	81W	7	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	2	有	無	70R	① N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	19	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2	範囲内	①	71.21	71.24	N12E	8	76W	2	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	5	有	有	20L	RL	×	f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	6	有	有	-	N,RL	×	D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	14	82W	8	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	
		範囲外	②	167.53	168.54	N41W	61	69W	5	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

803(分類D)①
変位センスについて転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

目　次(参考資料2　性状一覧表)

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
1	浦底断層	参考2-5	浦底断層	参考2- 7
2	D-1破砕帯	参考2-27	D-1	参考2- 29
3	K断層	参考2-41	K断層	参考2- 42
4	D-6破砕帯	参考2-53	D-6	参考2- 56
5	D-14破砕帯	参考2-62	D-14	参考2- 64
6	D-5破砕帯	参考2-68	D-5	参考2- 70
7	H-3a破砕帯	参考2-76	H-3a	参考2- 78
8	D-2～D-16破砕帯	参考2-82	D-2	参考2- 86
			D-3	参考2- 87
			D-4	参考2- 89
			D-7	参考2- 90
			D-11	参考2- 91
			D-12	参考2- 91
			D-13	参考2- 92
			D-15	参考2- 92
			D-16	参考2- 93
9	D-17～D-28破砕帯	参考2-94	D-17	参考2- 98
			D-18	参考2- 98
			D-19	参考2- 99
			D-20	参考2- 100
			D-21	参考2- 102
			D-22	参考2- 102
			D-23	参考2- 103
			D-24	参考2- 103
			D-25	参考2- 104
			D-26	参考2- 105
			D-27	参考2- 106
			D-28	参考2- 106

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
10	D-29～D-47破砕帯	参考2-107	D-29	参考2- 111
			D-30	参考2- 111
			D-31	参考2- 111
			D-32	参考2- 112
			D-33	参考2- 112
			D-34	参考2- 113
			D-35	参考2- 114
			D-36	参考2- 115
			D-37	参考2- 116
			D-38	参考2- 116
			D-39	参考2- 117
			D-41	参考2- 117
			D-42	参考2- 118
			D-43	参考2- 118
			D-44	参考2- 119
			D-45	参考2- 119
			D-46	参考2- 119
			D-47	参考2- 120

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
11	f-2-3～f-20-11破砕帯	参考2-121	f-2-3	参考2- 125
			f-2-7	参考2- 125
			f-2-8	参考2- 125
			f-2-10	参考2- 125
			f-2-11	参考2- 126
			f-2-12	参考2- 126
			f-4-3	参考2- 126
			f-4-5	参考2- 126
			f-4-9	参考2- 127
			f-4-10	参考2- 127
			f-4-12	参考2- 127
			f-6-2	参考2- 127
			f-8-1	参考2- 128
			f-8-2	参考2- 128
			f-8-8	参考2- 128
			f-8-11	参考2- 128
			f-9-4	参考2- 128
			f-12-3	参考2- 129
			f-12-4	参考2- 129
			f-12-6	参考2- 129
			f-12-7	参考2- 129
			f-12-8	参考2- 130
			f-12-10	参考2- 130
			f-13-3	参考2- 130
			f-14-1	参考2- 131
			f-14-2	参考2- 131
			f-14-5	参考2- 131
			f-15-1	参考2- 131
			f-15-2	参考2- 131
			f-15-3	参考2- 132
			f-17-2	参考2- 132
			f-18-1	参考2- 132
			f-18-2	参考2- 132
			f-19-1	参考2- 133
			f-19-5	参考2- 133
			f-19-6	参考2- 133
			f-20-11	参考2- 133

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
12	f-①-1-3～f-④-13破砕帯	参考2-134	f-①-1-3	参考2- 138
			f-①-2-2	参考2- 138
			f-①-2-4	参考2- 138
			f-①-3-4	参考2- 139
			f-①-3-5	参考2- 139
			f-①-3-6	参考2- 139
			f-①-3-7	参考2- 139
			f-①-3-8	参考2- 139
			f-①-4-3	参考2- 140
			f-①-9-2	参考2- 140
			f-①-9-3	参考2- 140
			f-①-10-2	参考2- 140
			f-②-1-1	参考2- 140
			f-②-1-2	参考2- 140
			f-②-1-3	参考2- 140
			f-③-1-1	参考2- 141
			f-③-1-2	参考2- 141
			f-④-1-2	参考2- 141
			f-④-1-3	参考2- 141
			f-④-1-4	参考2- 142
			f-④-2-1	参考2- 142
			f-④-2-3	参考2- 142
			f-④-3-1	参考2- 143
			f-④-5-3	参考2- 143
			f-④-6-1	参考2- 143
			f-④-6-2	参考2- 144
			f-④-6-3	参考2- 144
			f-④-6-4	参考2- 144
			f-④-7-1	参考2- 144
			f-④-9-1	参考2- 144
			f-⑥-1-2	参考2- 145
			f-⑥-1-3	参考2- 145
			f-⑥-2-2	参考2- 145
			f-⑥-2-3	参考2- 145
			f-⑥-2-4	参考2- 146
			f-⑥-2-5	参考2- 146
			f-⑥-3-1	参考2- 147
			f-⑥-3-2	参考2- 147
			f-⑥-3-3	参考2- 147
			f-⑥-3-4	参考2- 147
			f-⑥-3-5	参考2- 147
			f-⑥-3-6	参考2- 148
			f-⑥-3-8	参考2- 148
			f-⑥-3-9	参考2- 148

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

目　次(参考資料2　性状一覧表)

804(分類A)①
性状一覧表の目次のページ番号について，転記元の性状一覧表の当該ページから転記したが，転記を誤ったもの。

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
1	浦底断層	参考2-5	浦底断層	参考2- 7
2	D-1破砕帯	参考2-27	D-1	参考2- 29
3	K断層	参考2-41	K断層	参考2- 42
4	D-6破砕帯 ①	参考2-54	D-6	参考2- 56
5	D-14破砕帯	参考2-62	D-14	参考2- 64
6	D-5破砕帯	参考2-68	D-5	参考2- 70
7	H-3a破砕帯	参考2-76	H-3a	参考2- 78
8	D-2～D-16破砕帯	参考2-82	D-2	参考2- 86
			D-3	参考2- 87
			D-4	参考2- 89
			D-7	参考2- 90
			D-11	参考2- 91
			D-12	参考2- 91
			D-13	参考2- 92
			D-15	参考2- 92
			D-16	参考2- 93
9	D-17～D-28破砕帯	参考2-94	D-17	参考2- 98
			D-18	参考2- 98
			D-19	参考2- 99
			D-20	参考2- 100
			D-21	参考2- 102
			D-22	参考2- 102
			D-23	参考2- 103
			D-24	参考2- 103
			D-25	参考2- 104
			D-26	参考2- 105
			D-27	参考2- 106
			D-28	参考2- 106

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
10	D-29～D-47破砕帯	参考2-107	D-29	参考2- 111
			D-30	参考2- 111
			D-31	参考2- 111
			D-32	参考2- 112
			D-33	参考2- 112
			D-34	参考2- 113
			D-35	参考2- 114
			D-36	参考2- 115
			D-37	参考2- 116
			D-38	参考2- 116
			D-39	参考2- 117
			D-41	参考2- 117
			D-42	参考2- 118
			D-43	参考2- 118
			D-44	参考2- 119
			D-45	参考2- 119
			D-46	参考2- 119
			D-47	参考2- 120

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
11	f-2-3～f-20-11 破砕帯	参考2-121	f-2-3	参考2- 125
			f-2-7	参考2- 125
			f-2-8	参考2- 125
			f-2-10	参考2- 125
			f-2-11	参考2- 126
			f-2-12	参考2- 126
			f-4-3	参考2- 126
			f-4-5	参考2- 126
			f-4-9	参考2- 127
			f-4-10	参考2- 127
			f-4-12	参考2- 127
			f-6-2	参考2- 127
			f-8-1	参考2- 128
			f-8-2	参考2- 128
			f-8-8	参考2- 128
			f-8-11	参考2- 128
			f-9-4	参考2- 128
			f-12-3	参考2- 129
			f-12-4	参考2- 129
			f-12-6	参考2- 129
			f-12-7	参考2- 129
			f-12-8	参考2- 130
			f-12-10	参考2- 130
			f-13-3	参考2- 130
			f-14-1	参考2- 131
			f-14-2	参考2- 131
			f-14-5	参考2- 131
			f-15-1	参考2- 131
			f-15-2	参考2- 131
			f-15-3	参考2- 132
			f-17-2	参考2- 132
			f-18-1	参考2- 132
			f-18-2	参考2- 132
			f-19-1	参考2- 133
			f-19-5	参考2- 133
			f-19-6	参考2- 133
			f-20-11	参考2- 133

No.	分類項目	頁	断層名及び破砕帯名	頁
12	f-①-1-3～f-④-13 破砕帯	参考2-134	f-①-1-3	参考2- 138
			f-①-2-2	参考2- 138
			f-①-2-4	参考2- 138
			f-①-3-4	参考2- 139
			f-①-3-5	参考2- 139
			f-①-3-6	参考2- 139
			f-①-3-7	参考2- 139
			f-①-3-8	参考2- 139
			f-①-4-3	参考2- 140
			f-①-9-2	参考2- 140
			f-①-9-3	参考2- 140
			f-①-10-2	参考2- 140
			f-②-1-1	参考2- 140
			f-②-1-2	参考2- 140
			f-②-1-3	参考2- 140
			f-③-1-1	参考2- 141
			f-③-1-2	参考2- 141
			f-④-1-2	参考2- 141
			f-④-1-3	参考2- 141
			f-④-1-4	参考2- 142
			f-④-2-1	参考2- 142
			f-④-2-3	参考2- 142
			f-④-3-1	参考2- 143
			f-④-5-3	参考2- 143
			f-④-6-1	参考2- 143
			f-④-6-2	参考2- 144
			f-④-6-3	参考2- 144
			f-④-6-4	参考2- 144
			f-④-7-1	参考2- 144
			f-④-9-1	参考2- 144
			f-⑥-1-2	参考2- 145
			f-⑥-1-3	参考2- 145
			f-⑥-2-2	参考2- 145
			f-⑥-2-3	参考2- 145
			f-⑥-2-4	参考2- 146
			f-⑥-2-5	参考2- 146
			f-⑥-3-1	参考2- 147
			f-⑥-3-2	参考2- 147
			f-⑥-3-3	参考2- 147
			f-⑥-3-4	参考2- 147
			f-⑥-3-5	参考2- 147
			f-⑥-3-6	参考2- 148
			f-⑥-3-8	参考2- 148
			f-⑥-3-9	参考2- 148

1. 浦底断層

性状一覧表(4/19)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
浦底断層	H24-B7-1 (傾斜45°)	63.20	69.46	N30W	80NE	385.4	1.2	有	平滑	31L	-	-	
	Bトレンチ	-	-	N20W	70E	135.0	2.0	有 *1	平滑 *1	27L	逆 *1	左 *1	

凡　例

:最新活動面　←→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　*1:露頭 *2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

1. 浦底断層

性状一覧表(4/19)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
浦底断層	H24-B7-1 (傾斜45°)	63.20	69.46	N30W	80NE	385.4	1.2	有	平滑	31L	-	-	
	Bトレンチ	-	- ①	N27W	69E	135.0	2.0	有 *1	平滑 *1 ②	28L	逆 *1	左 *1	

805(分類A)①
走向・傾斜について，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

806(分類A)②
条線方向について，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
:最新活動面　←→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　*1:露頭 *2:試掘坑

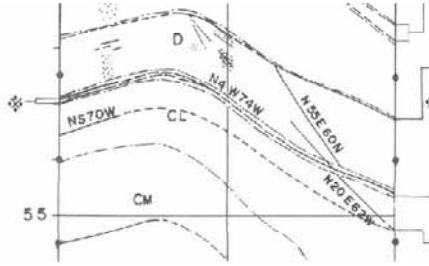
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D－1破砕帯

性状一覧表(7/12)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-1	H27-B-3 (傾斜45°)	119.11	119.25	N20E	87W	12.3	1.0	有	非平滑	60L	正	右	119 – 120
	H27-B-4 (傾斜45°)	15.91	16.36	N16W	83W	31.8	2.5	有	非平滑	60L	正	右	15 – 16 / 16 – 17 ※ボアホールカメラでの計測ができなかったため，走向傾斜・変位センス・試料分析等は堀直し孔のH27B-4'で得られたデータを表示。
	H27-B-4' (傾斜45°)	23.97	24.42	N16W	83W	34.0	0.2	有	平滑	60L	正	右	23 – 24 / 24 – 25
	H24-D1-5 (傾斜50°)	47.47	47.89	N1E	88W	17.7	2.0	有	平滑	80L	正	-	47 – 48
	2号炉試掘坑B坑	-	-	N4W	74W	15.0	2.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	幅2mm褐色粘土 幅約8cmの小角礫状部。上盤側端に幅3mm以内の黄褐色粘土が挟まれる。 下盤側に幅10～30mmの灰白色粘土が挟まれる。(D－1) 上盤側岩盤は比較的しっかりしているが，下盤側岩盤は熱水変質の幅5～10mmの淡黄褐色～灰白色粘土，両側岩盤はやや軟質化している。 白色で幅10mm以下の粘土付着。



凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D－1破砕帯

性状一覧表(7/12)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-1	H27-B-3 (傾斜45°)	119.11	119.25	N20E	87W	12.3	1.0	有	非平滑	60L	正	右	119～120
	H27-B-4 (傾斜45°)	15.91	16.36	N16W	83W	31.8	2.5	有	非平滑	60L	正	右	15～16, 16～17 ※ボアホールカメラでの計測ができなかったため，走向傾斜・変位センス・試料分析等は堀直し孔のH27B-4'で得られたデータを表示。
	H27-B-4' (傾斜45°)	23.97	24.42	N16W	83W	34.0	0.2	有	平滑	60L	正	右	23～24, 24～25
	H24-D1-5 (傾斜50°)	47.47	47.89	N1E	88W	17.7	2.0	有	平滑	80L	正	-	47～48
	2号炉試掘坑B坑	-	-	N4W	74W	15.0	2.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	D, N4W 74W, N35E 60W, N70W, CL, N20E 82W, CM, 55 ※幅約8cmの小角礫状部。上盤側端に幅3mm以内の黄褐色粘土が挟まれ，下盤側に幅10～30mmの灰白色粘土が挟まれる。(D－1) 上盤側岩盤は比較的しっかりしているが，下盤側岩盤は熱水変質の影響で軟質化している。 幅2mm褐色粘土 ① 幅5～10mmの淡黄褐色～灰白色粘土，両側岩盤はやや軟質化している。(D-1) 白色で幅10mm以下の粘土付着。

807(分類E)①
記載のテキストボックスの幅が不足していたため，体裁が崩れていたもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D－1破砕帯

性状一覧表(8/12)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-1	2号炉試掘坑A坑	－	－	N10E	75W	120.0	8.0	有 *2		非平滑 *2	－	－	－	幅5mmのやわらかい淡褐色(チョコレート色)～灰白色粘土 幅3～8mmの暗褐色(チョコレート色)粘土。 白色粘土フイルムが網目状に発達する。この部分は破砕を受けているが，C坑には延びていない。 幅120cm以内の主として砂状～角礫状部からなる破砕帯(D-1)。 上盤端には幅7cmの黄白色粘土があり，その中には幅10mmの黄 幅20～30mmの白色粘土と幅数mmの淡褐色(チョコレート色)粘土，幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。 幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。 条線N25° W/N45° P ※ 幅2mm淡桃色～灰白色粘土 節理間隔3～5cm。多少軟質化し，白色粘土のフィルム付着。
	2号炉試掘坑C坑	－	－	N35E	84W	80.0	4.0	有 *2		非平滑 *2	－	－	－	最大幅80cmの主として軟質砂状部からなる破砕帯。白色粘土のフイルムがネットワーク状に発達。中心部に幅5mmの灰黄色粘土を挟む。下盤側に幅3cm灰黄色粘土があり，中にチョコレート色の幅2～10mmの粘土を挟在。底盤より1.5m付近の熱水粘土と熱水ガマ粘土は淡緑灰色でリモナイトが周辺をとりかこんでいる。(D-1) ※ 幅60cmの破砕帯。上盤側から下盤側に向かって，10～30cmの小角礫状部，幅3～4cmの砂状部，幅8～12mmの黄橙色粘土，幅10～30cmの小角礫状部からなる。 左・右壁の黒色沈着物は乱されていない。
	2号炉原子炉建屋南側斜面	－	－	N21E	61W	20.0	3.0	有 *1		平滑 *1	68L	正	－	D-1 破砕帯

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

2. D－1破砕帯

性状一覧表(8/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

808(分類E)①
記載のテキストボックスの幅が不足していたため，体裁が崩れていたもの。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-1	2号炉試掘坑A坑	-	-	N10E	75W	120.0	8.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	幅120cm以内の主として砂状～角礫状部からなる破砕帯(D-1)。 ① 上盤端には幅7cmの黄白色粘土があり，その中には幅10mmの黄褐色粘土，幅2mmの暗褐色(チョコレート色)粘土を伴う。下盤には幅5mm以内の灰白色粘土を伴う。 幅20～30mmの白色粘土と幅数mmの淡褐色(チョコレート色)粘土。 条線N25° W/N45° P ※ 幅2mm淡桃色～灰白色粘土 節理間隔3～5cm。多少軟質化し，白色粘土のフィルム付着。
	2号炉試掘坑C坑	-	-	N35E	84W	80.0	4.0	有 *2	非平滑 *2	-	-	-	最大幅80cmの主として軟質砂状部からなる破砕帯。白色粘土のフィルムがネットワーク状に発達。中心部に幅5mmの灰黄色粘土を挟む。下盤側に幅3cm灰黄色粘土があり，中にチョコレート色の幅2～10mmの粘土を挟在。底盤より1.5m付近の熱水粘土と熱水ガマ粘土は淡緑灰色でリモナイトが周辺をとりかこんでいる。(D-1) ※ 幅60cmの破砕帯。上盤側から下盤側に向かって，10～30cmの小角礫状部，幅3～4cmの砂状部，幅8～12mmの黄橙色粘土，幅10～30cmの小角礫状部からなる。 左・右壁の黒色沈着物は乱されていない。
	2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	N21E	61W	20.0	3.0	有 *1	平滑 *1	68L	正	-	D-1 破砕帯

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

性状一覧表(4/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H24-B'-1(傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	1.0	有	非平滑	55L	-	-	
	H24-B'-2(傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	
	H24-H-2(傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	
	H24-B'-7(傾斜90°)	0.62		N28W	62W	-	-	-	-	30R	-	-	
	H24-B'-3(傾斜45°)	7.37	7.70	NS	84W	19.4	0.3	無	-	50L	逆	左	

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所

＊1:露頭
＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(4/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

809(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H24-B'-1(傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	1.0	有	非平滑	55L	逆	左	①
	H24-B'-2(傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	
	H24-H-2(傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	
	H24-B'-7(傾斜90°)	0.62		N28W	62W	-	-	-	-	30R	-	-	
	H24-B'-3(傾斜45°)	7.37	7.70	NS	84W	19.4	0.3	無	-	50L	逆	左	

凡　例
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所
＊1:露頭
＊2:試掘坑

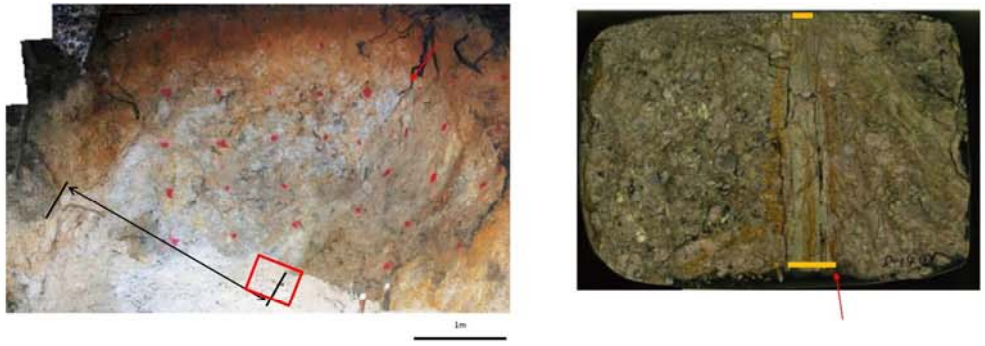
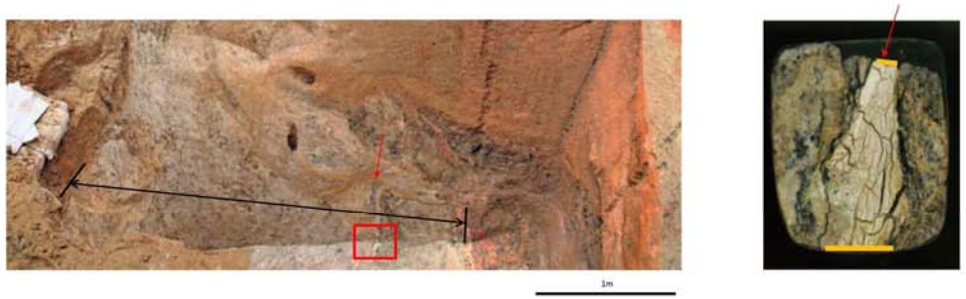
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

5. D－14破砕帯

性状一覧表(1/3)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-14	既往露頭(追加計測)	-	-	N6E	63W	255.0	2.0	有 *1	平滑 *1	20R	-	左	
	ピット①(追加計測)	-	-	N5E	68W	300.0	6.0	有 *1	非平滑 *1	20R	-	左	

：前回審査資料提出時に黄色枠を消し忘れた箇所

凡　例

：最新活動面　←　→　：破砕幅　　：断層ガウジ　　○　：粘土の狭在物が認められる箇所　　*1：露頭 *2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

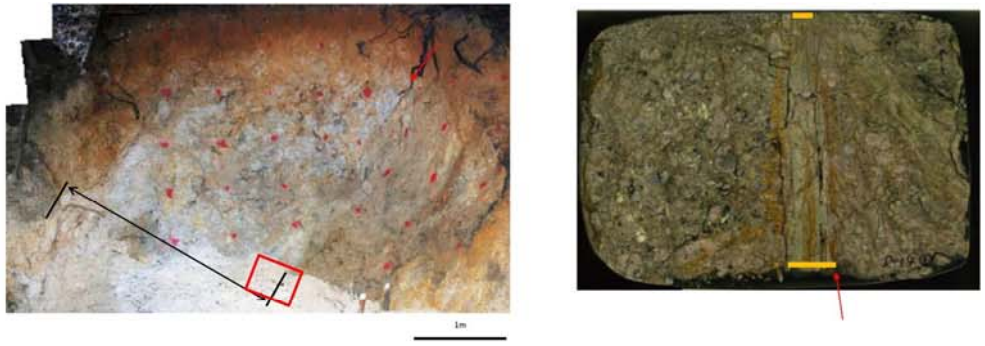
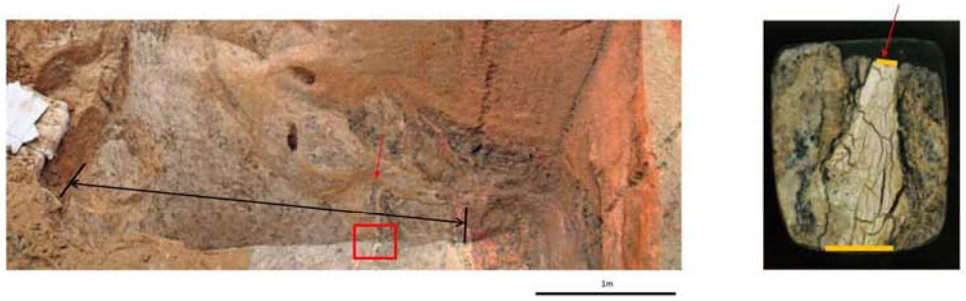
第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

5. D－14破砕帯

性状一覧表(1/3)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

①

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	① 断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-14	既往露頭(追加計測)	-	-	N6E	63W	255.0	2.0	有 *1	平滑 *1	20R	-	左	
	ピット①(追加計測)	-	-	N5E	68W	300.0	6.0	有 *1	非平滑 *1	20R	-	左	

810，811(分類E)①
審査資料の変更箇所を示す黄枠を消し忘れたもの。

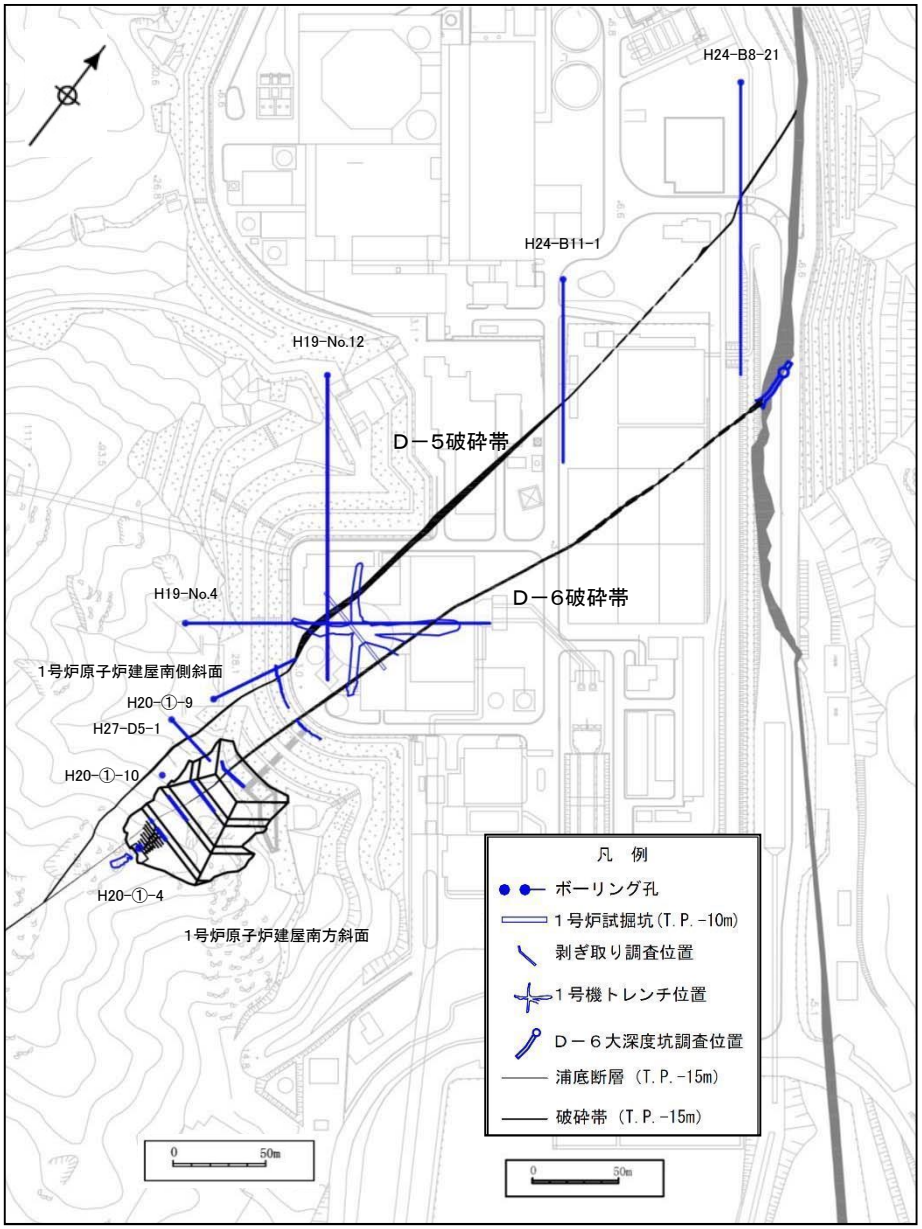
①
凡　例
：最新活動面　←　→　：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

6. D－5破砕帯

調査位置図

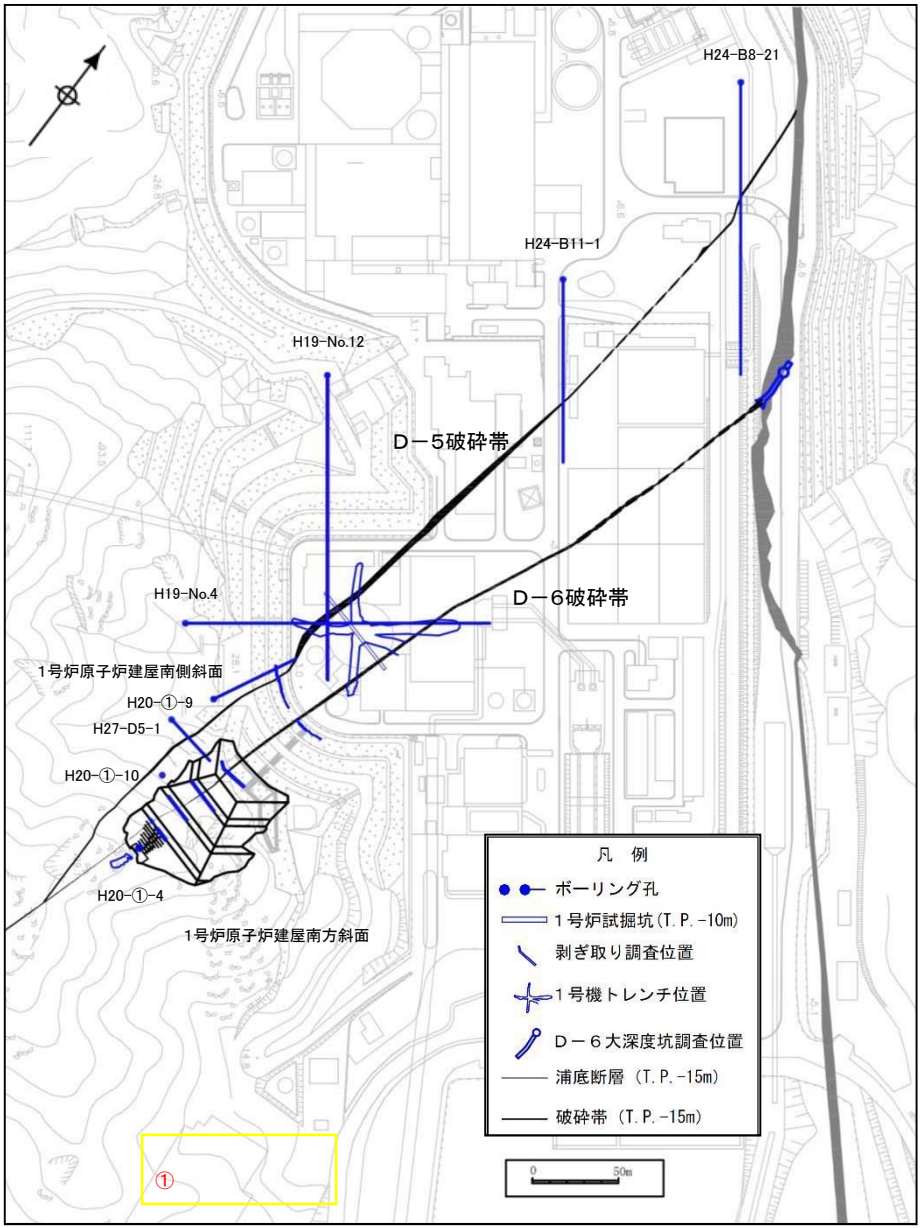


D－5破砕帯調査位置図

6. D－5破砕帯

調査位置図

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

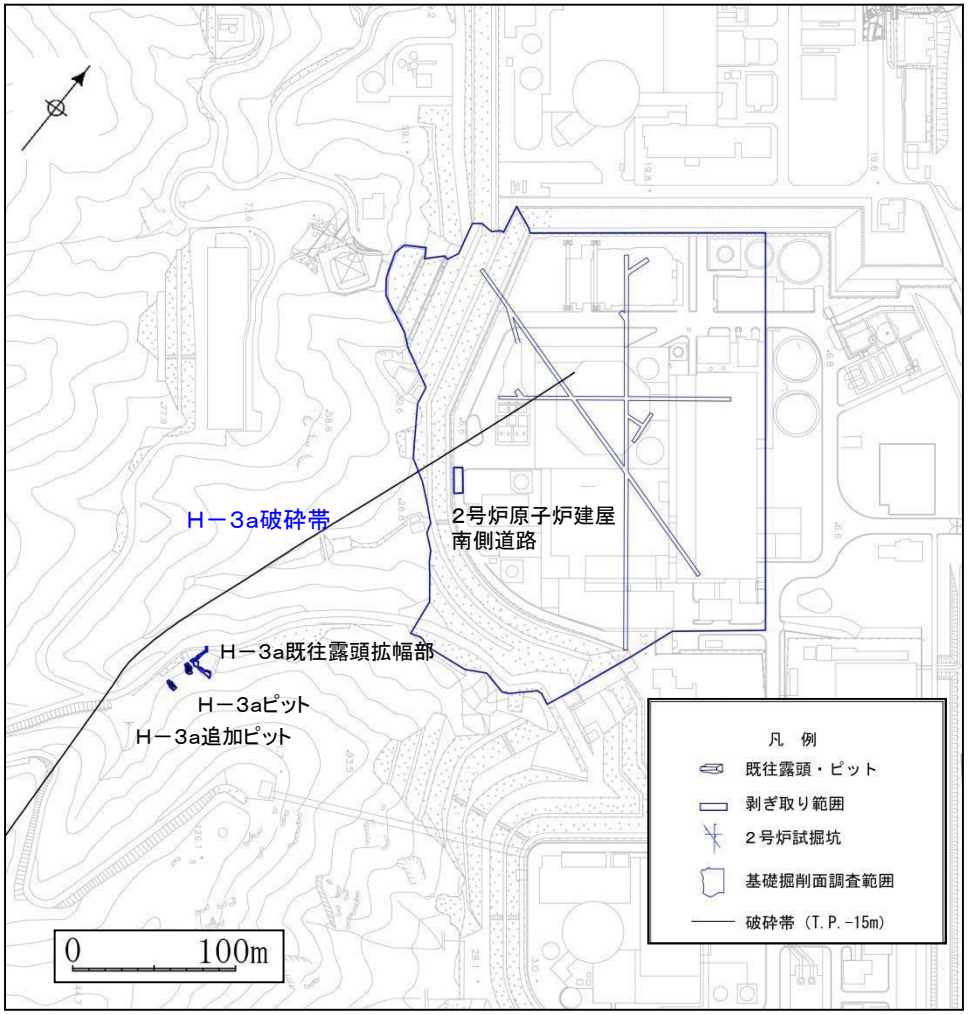


D－5破砕帯調査位置図

812(分類E)①
調査位置図の不要なスケールを消し忘れたもの。

調査位置図

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

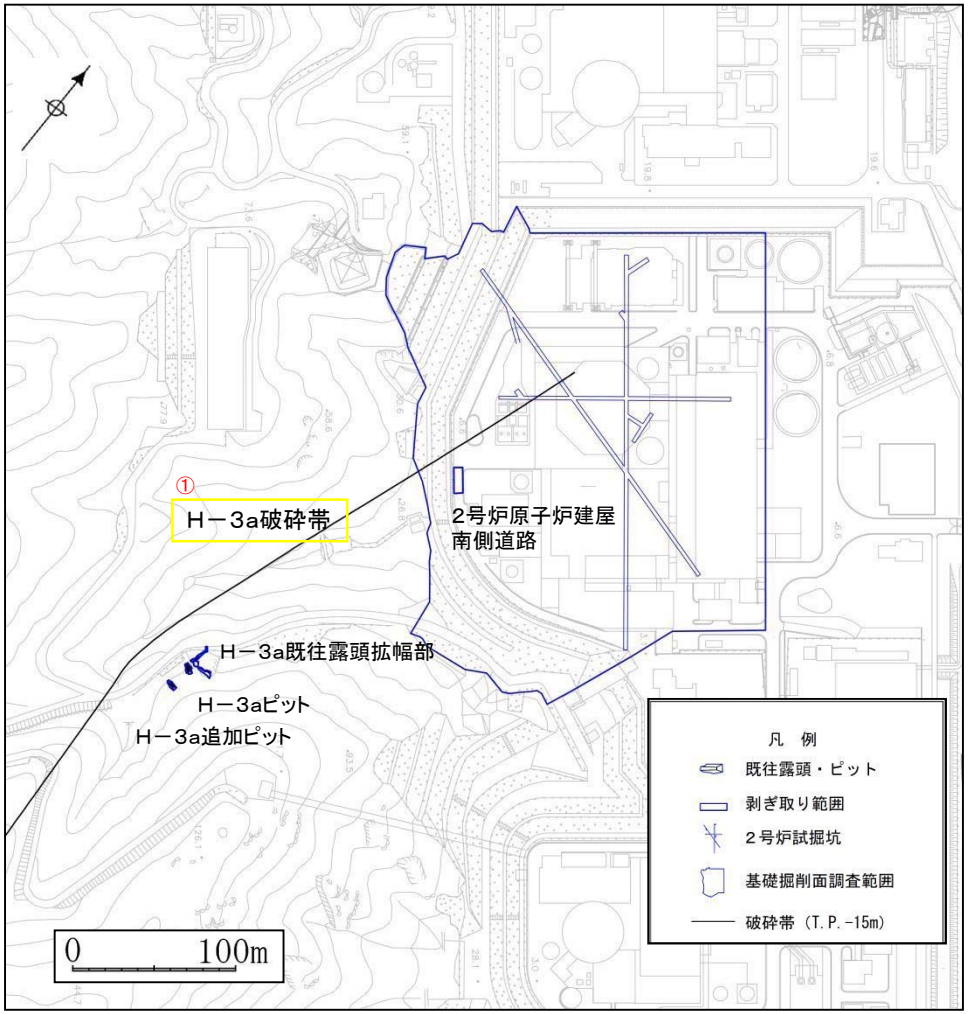


H－3a破砕帯調査位置図

7. H－3a破砕帯

調査位置図

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

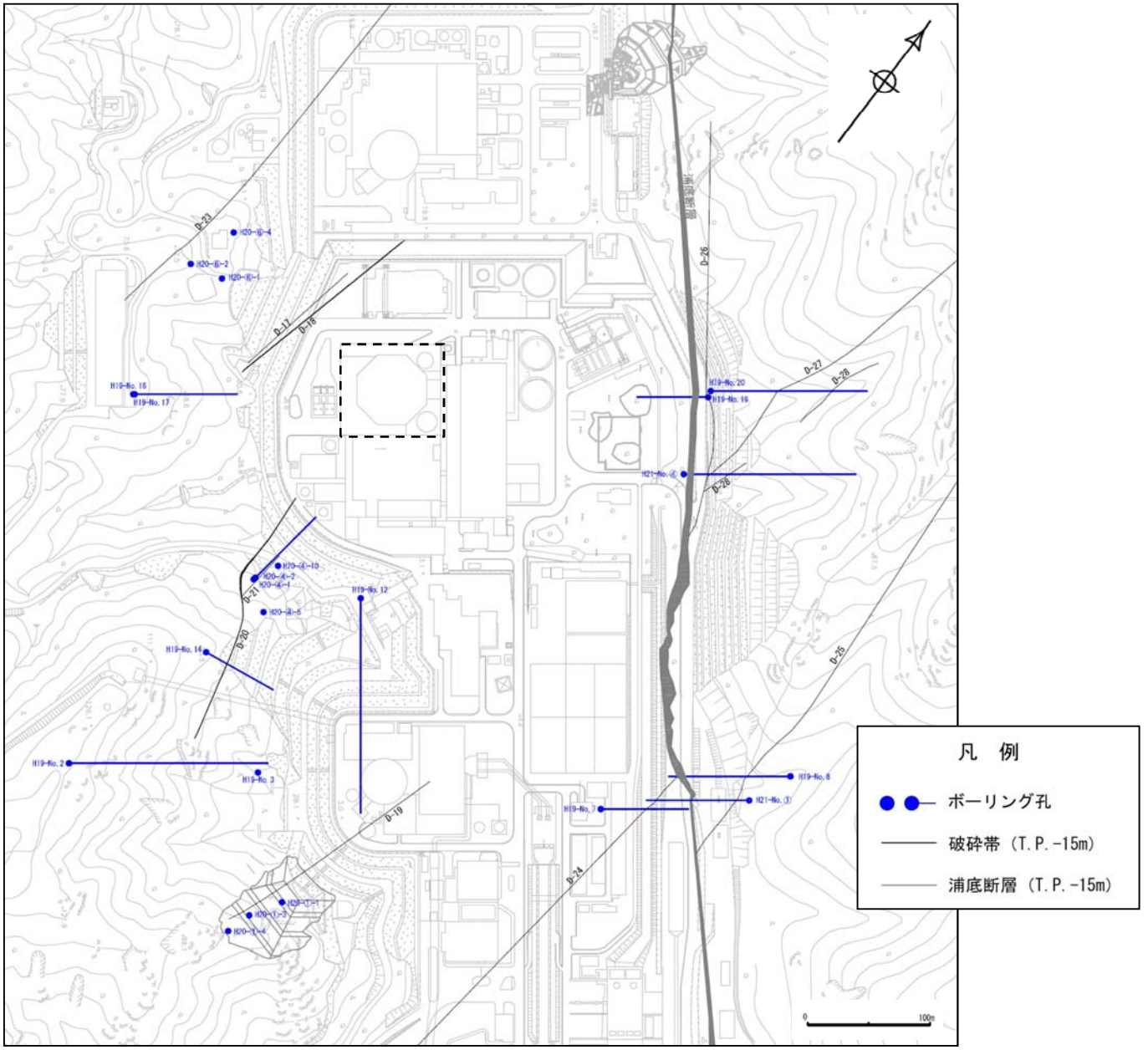


H－3a破砕帯調査位置図

813(分類F)①
調査位置図の破砕帯名の文字の色が統一されていないもの。

調査位置図

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

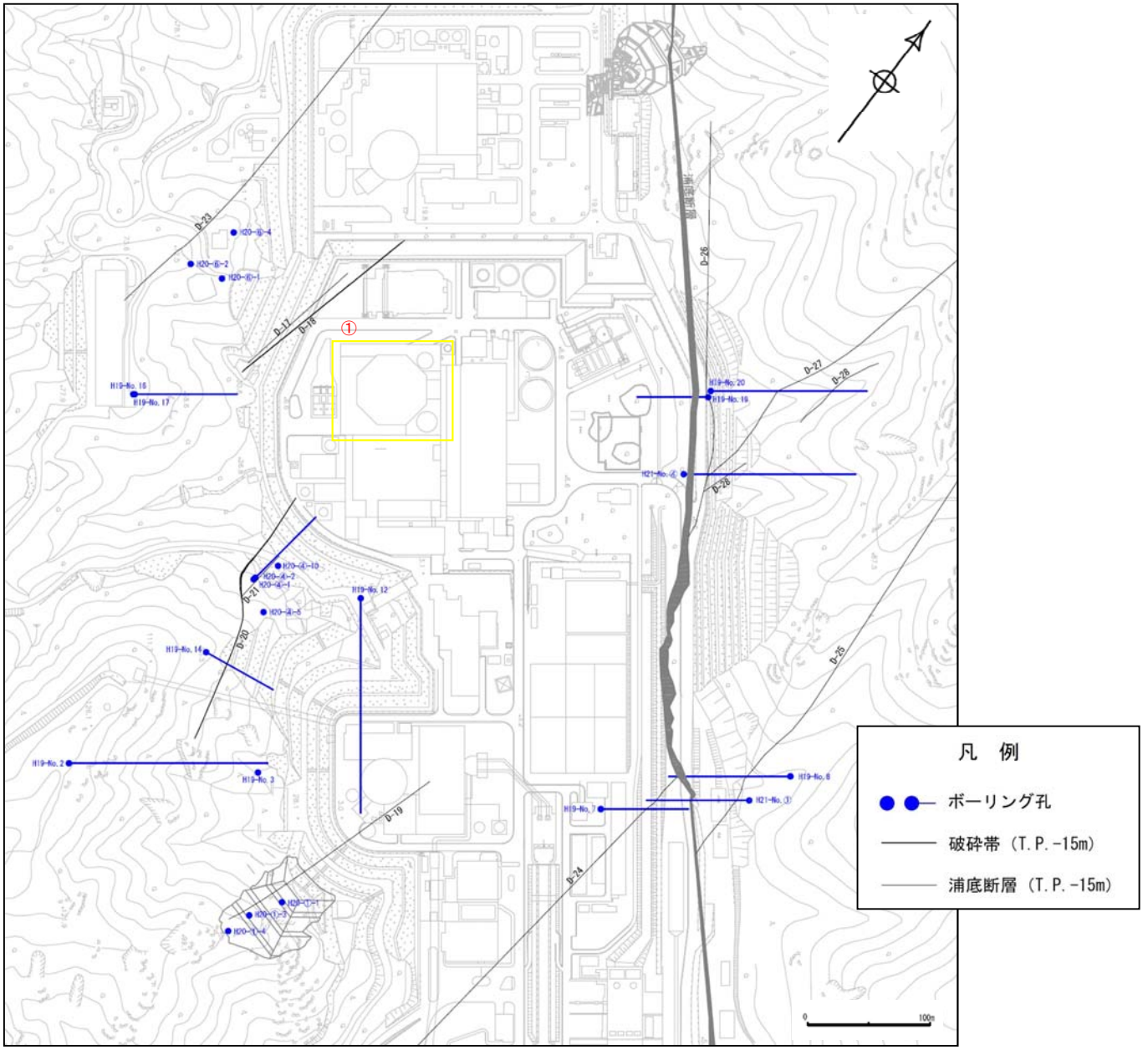


第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

9. D－17～D－28破砕帯

調査位置図

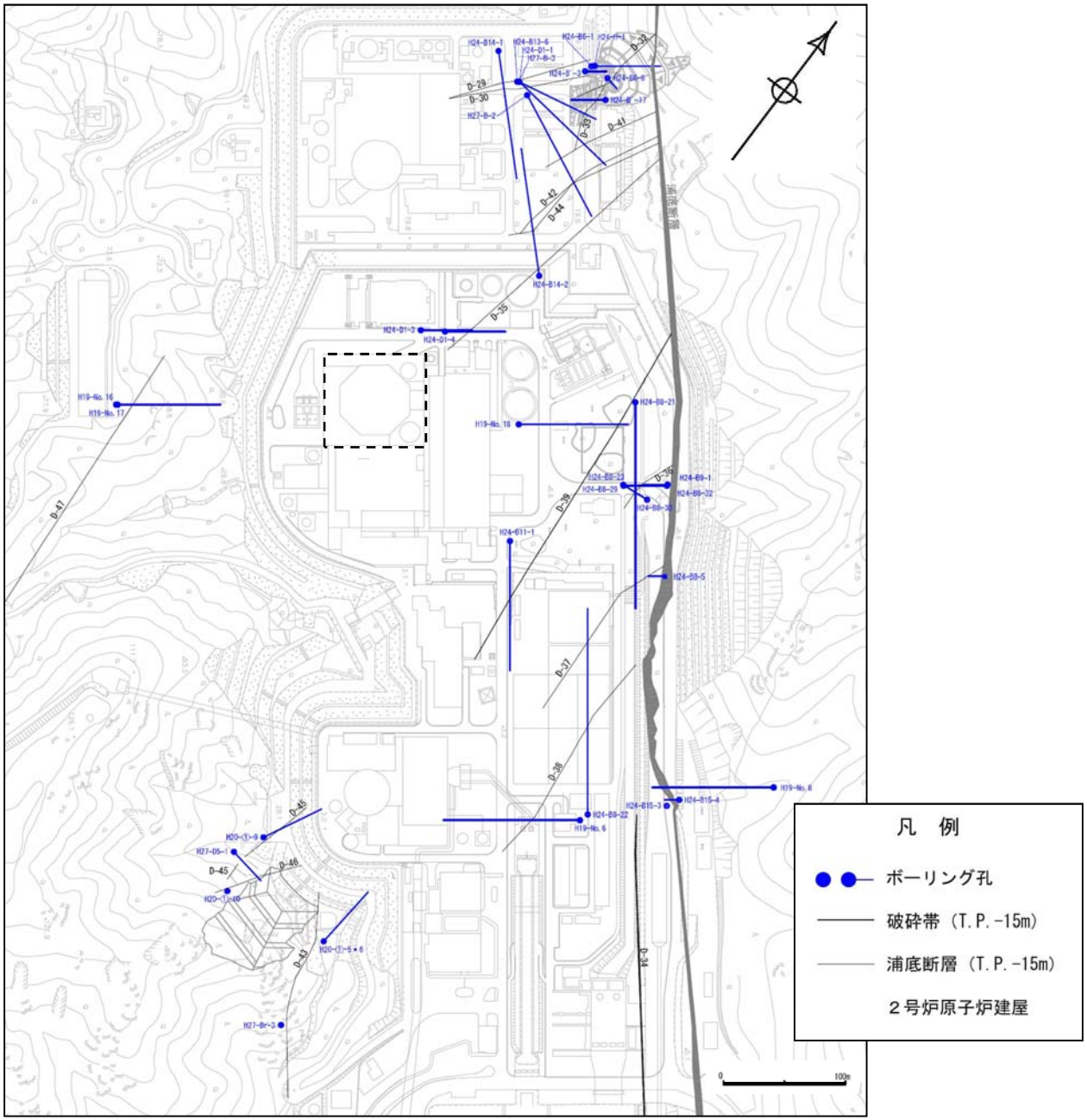
814(分類E)①
調査位置図の不要な破線を消し忘れたもの。



D－17～D－28破砕帯調査位置図

調査位置図

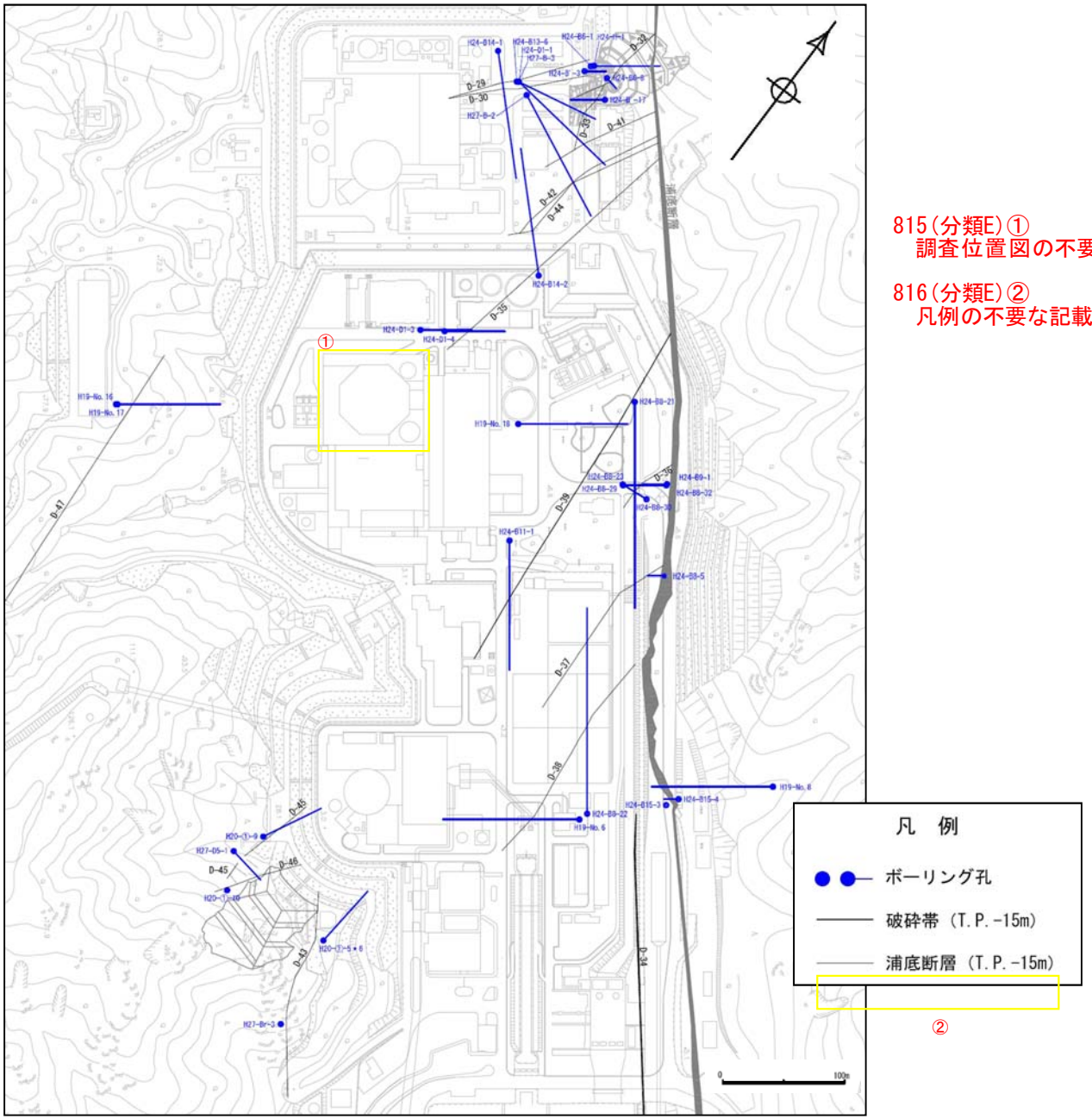
第657回審査会合
机上配付資料2 修正前



D－29～D－47破砕帯調査位置図

調査位置図

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後



D－29～D－47破砕帯調査位置図

815(分類E)①
調査位置図の不要な破線を消し忘れたもの。

816(分類E)②
凡例の不要な記載を消し忘れたもの。

12.f－①－1－3～f－④－13破砕帯

性状一覧表(17/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-④-9	H21-No.④(傾斜45°)	65.30	65.65	N16E	80E	8.7	フィルム状	無	－	11R	－	－	65 66
f-④-10	H21-No.④(傾斜45°)	68.18	68.24	N39W	78E	3.3	3.3	有	非平滑	33R	－	－	68 69
f-④-11	H21-No.④(傾斜45°)	109.57	110.65	N44W	76E	55.0	0.4	無	－	－	正	左	109 110 110 111
f-④-12	H21-No.④(傾斜45°)	166.29	167.39	N20E	90	41.7	0.4	有	非平滑	80R	西上り	右	166 167 167 168
f-④-13	H21-No.④(傾斜45°)	172.34	172.53	N19E	69W	10.0	フィルム状	有	非平滑	19R	－	－	172 173

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f－①－１－３～f－④－１３破砕帯

性状一覧表(17/17)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-④-9	H21-No.④(傾斜45°)	65.30	65.65	N16E	80E	8.7	フィルム状	無	-	11R	-	-	65 66
f-④-10	H21-No.④(傾斜45°)	68.18	68.24	N39W	78E	3.3	3.3	有	非平滑	33R	-	-	68 69
f-④-11	H21-No.④(傾斜45°)	109.57	110.65	N44W	76E	55.0	0.4	無	-	-	正	左	109 110 111
f-④-12	H21-No.④(傾斜45°)	166.29	167.39	N20E	90	41.7	0.4	有	非平滑	80R	① 西上り	-	166 167 168
f-④-13	H21-No.④(傾斜45°)	172.34	172.53	N19E	69W	10.0	フィルム状	有	非平滑	19R	-	-	172 173

817(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
:最新活動面　←→:破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

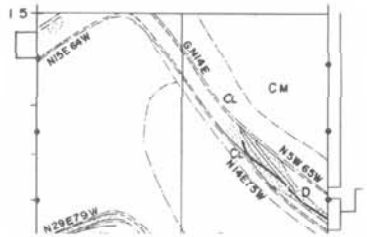
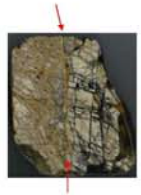
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(2/13)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-3b	試掘坑	－	－	N25E	65W	25.0	10.0	－	－	－	－	－	 幅 20～50 ㎜ の灰白～淡黄色粘土と幅 20～30 ㎜ の淡黄褐色粘土および暗褐色（チョコレート）粘土，ならびに灰白色砂状～小角礫状部とからなる幅 5 ～ 30 cm の破砕帯。条線の方向 N 30°W／N 54° P （H－3-b） 下盤側 ～中央部で，明瞭な幅 60 ㎜ の粘土を伴う。条線の方向 N 30°W／N54° P
H-3b(a)	2号機道路	－	－	N16E	75W	10.0	－	－	－	10L	－	左	

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

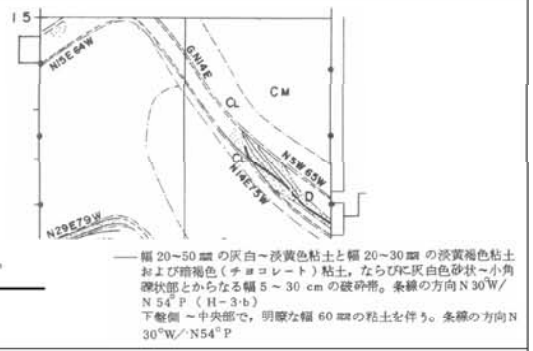
【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(2/13)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

818(分類E)①
破砕帯名について，仮名称を変更し忘れたもの。

	破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H-3b	試掘坑	-	-	N25E	65W	25.0	10.0	-	-	-	-	-	 幅 20～50 ㎜ の灰白～浅黄色粘土と幅 20～30 ㎜ の浅黄褐色粘土および暗褐色（チョコレート）粘土，ならびに灰白色砂状～小角礫状部とからなる幅 5 ～ 30 cm の破砕帯。条線の方向 N 30°W/N 54° P （H－3･b） 下盤側 ～中央部で，明瞭な幅 60 ㎜ の粘土を伴う。条線の方向 N 30°W/N54° P
		2号機道路	-	-	N16E	75W	10.0	-	-	-	10L	-	左	

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(3/13)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-3c	H27-B-3 (傾斜45°)	76.59	76.89	-	-	23.6	0.1	有	非平滑	35R	正	左	76 77
H-3c	試掘坑	-	-	N8E	70W	30.0	4.0	-	-	-	-	-	N20 E85W N 22E 72W N10E78W N15E75W 幅2.5～10cmの灰白色粘土が下盤側にあり，その上に幅50cm程度の角礫状部がある。(H-3-c) 幅15～40cmの小破砕帯。主として砂～小角礫状部からなり，下盤側に幅2～5mmの黄白色粘土および黒色粘土を伴う。(H-3-c) 上盤側の定盤の近くでは細かな節理の入った角礫状部がある。 0.5m
H-3c(s)	2号機道路	-	-	N5E	85W	5.0	フィルム状	無	-	28L	正	右	H-3c 1m

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(3/13)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

819(分類E)①
破砕帯名について，仮名称を変更し忘れたもの。

	破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H-3c	H27-B-3 (傾斜45°)	76.59	76.89	-	-	23.6	0.1	有	非平滑	35R	正	左	76 77
		試掘坑	-	-	N8E	70W	30.0	4.0	-	-	-	-	-	N20E85W N22E72W N10E76W N15E75W 0.5m 幅2.5～10cmの灰白色粘土が下盤側にあり，その上に幅50cm程度の角礫状部がある。(H-3-c) 幅15～40cmの小破砕帯。主として砂～小角礫状部からなり，下盤側に幅2～5mmの黄白色粘土および黒色粘土を伴う。(H-3-c) 上盤側の定盤の近くでは細かな節理の入った角礫状部がある。
		2号機道路	-	-	N5E	85W	5.0	フィルム状	無	-	28L	正	右	H-3c 1m

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(1/12)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	H19-No.2	24.38	24.46	-	-	6.5	0.2	無	-	-	-	-	24 25
④	H19-No.2	44.90	45.75	N40E	26W	78.8	0.3	無	-	-	-	-	44 45 45 46
⑨	H19-No.4	84.25	84.33	-	-	6.0	3.0	無	-	-	-	-	84 85
①	H19-No.5	92.63	92.65	(未測定)		1.5	-	-	-	-	-	-	92 93
②	H19-No.5	96.46	96.49	(未測定)		3.5	フィルム状	有	非平滑	-	-	-	96 97
③	H19-No.5	110.93	110.95	(未測定)		2.0	-	-	-	-	-	-	110 111
①	H19-No.10	28.46	28.53	(未測定)		2.0	0.1	無	-	-	-	-	28 29
②	H19-No.10	39.09	39.14	(未測定)		4.0	0.1	無	-	-	-	-	39 40

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(1/12)

820～827(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

828(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ②明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	① H19-No.2 (傾斜42°)	24.38	24.46	-	-	6.5	0.2	無	-	-	-	-	24 → 25
④	① H19-No.2 (傾斜42°)	44.90	45.75	N40E	26W	78.8	0.3	無	-	-	-	-	44 → 45 / 45 → 46
⑨	① H19-No.4 (傾斜45°)	84.25	84.33	-	-	6.0	3.0	無	-	-	-	-	84 → 85
①	① H19-No.5 (鉛直)	92.63	92.65	(未測定)		1.5	-	-	-	-	-	-	92 → 93
②	① H19-No.5 (鉛直)	96.46	96.49	(未測定)		3.5	フィルム状	有	非平滑	-	-	-	96 → 97
③	① H19-No.5 (鉛直)	110.93	110.95	(未測定)		2.0	-	-	-	-	-	-	110 → 111
①	① H19-No.10 (鉛直)	28.46	28.53	(未測定)		2.0	0.1	無	-	-	-	-	28 → 29
②	① H19-No.10 (鉛直)	39.09	39.14	(未測定)		4.0	0.1	無	-	-	-	-	39 → 40

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(2/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
③	H19-No.10	73.62	73.63	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	73 74
①	H19-No.16	16.01	17.82	(未測定)		116.0	フィルム状	無	-	-	-	-	16 17 17 18
⑦	H19-No.16	91.50	91.79	(未測定)		15.0	-	-	-	-	-	-	91 92
⑨	H19-No.16	113.66	113.77	(未測定)		3.9	1.5	無	-	-	-	-	113 114
⑩	H19-No.16	121.85	122.21	(未測定)		26.0	0.1	無	-	-	-	-	121 122 122 123
⑪	H19-No.16	130.20	131.28	(未測定)		59.0	-	-	-	-	-	-	130 131 131 132

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所

＊1:露頭
＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(2/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ②明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
③	① H19-No.10(鉛直)	73.62	73.63	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	73 - 74
①	① H19-No.16(鉛直)	16.01	17.82	(未測定)		116.0	フィルム状	無	-	-	-	-	16 - 17 / 17 - 18
⑦	① H19-No.16(鉛直)	91.50	91.79	(未測定)		15.0	-	-	-	-	-	-	91 - 92
⑨	① H19-No.16(鉛直)	113.66	113.77	(未測定)		3.9	1.5	無	-	-	-	-	113 - 114
⑩	① H19-No.16(鉛直)	121.85	122.21	(未測定)		26.0	0.1	無	-	-	-	-	121 - 122 / 122 - 123
⑪	① H19-No.16(鉛直)	130.20	131.28	(未測定)		59.0	-	-	-	-	-	-	130 - 131 / 131 - 132

829～834(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

835(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

性状一覧表(3/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑬	H19-No.16	133.70	136.00	(未測定)		115.0	0.2	無	-	-	-	-	133 134 135 134 135 136
⑭	H19-No.16	145.25	145.35	(未測定)		3.0	-	-	-	-	-	-	145 146
⑱	H19-No.16	199.22	200.00	(未測定)		14.0	-	-	-	-	-	-	199 200
⑲	H19-No.16	210.70	210.71	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	210 211
③	H19-No.17	55.45	55.46	N39E	52W	1.0	-	-	-	-	-	-	55 56
④	H19-No.17	61.89	62.22	N28E	50W	30.0	-	-	-	-	-	-	61 62 62 63
⑬	H19-No.17	144.35	144.37	N10E	65W	2.0	2.0	無	-	-	-	-	144 145

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(3/12)

836～842(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

843(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ②明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑬	① H19-No.16(鉛直)	133.70	136.00	(未測定)		115.0	0.2	無	-	-	-	-	133 134 135 134 135 136
⑭	① H19-No.16(鉛直)	145.25	145.35	(未測定)		3.0	-	-	-	-	-	-	145 146
⑱	① H19-No.16(鉛直)	199.22	200.00	(未測定)		14.0	-	-	-	-	-	-	199 200
⑲	① H19-No.16(鉛直)	210.70	210.71	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	210 211
③	① H19-No.17(傾斜65°)	55.45	55.46	N39E	52W	1.0	-	-	-	-	-	-	55 56
④	① H19-No.17(傾斜65°)	61.89	62.22	N28E	50W	30.0	-	-	-	-	-	-	61 62 62 63
⑪	① H19-No.17(傾斜65°)	144.35	144.37	N10E	65W	2.0	2.0	無	-	-	-	-	144 145

凡　例

:最新活動面　←→:破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(4/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 せん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
④	H19-No.18	155.72	155.75	N36E	76W	1.5	0.3	無	-	-	-	-	155 156
⑤	H19-No.18	164.15	164.25	N9E	78W	6.7	-	-	-	-	-	-	164 165
⑥	H19-No.18	169.62	169.63	N20E	89W	1.5	1.5	無	-	-	-	-	169 170
③	H19-No.19	22.44	22.46	N34W	72E	2.0	2.0	無	-	-	-	-	22 23
⑦	H19-No.19	168.28	168.32	-	-	3.0	0.3	無	-	-	-	-	168 169
①	H20-①-1	2.66	2.95	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	2 3
①	H20-①-2	11.73	11.91	-	-	17.0	7.0	無	-	-	-	-	11 12
①	H20-①-3	4.96	5.00	N83E	40N	2.5	0.2	無	-	-	-	-	4 5
②	H20-①-3	5.53	5.81	N11E	55W	18.0	-	-	-	-	-	-	5 6

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(4/12)

844～852(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

853(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ②明瞭なせん断構造	最新活動面 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
④	① H19-No.18 (傾斜60°)	155.72	155.75	N36E	76W	1.5	0.3	無	-	-	-	-	-	155～156
⑤	① H19-No.18 (傾斜60°)	164.15	164.25	N9E	78W	6.7	-	-	-	-	-	-	-	164～165
⑥	① H19-No.18 (傾斜60°)	169.62	169.63	N20E	89W	1.5	1.5	無	-	-	-	-	-	169～170
③	① H19-No.19 (傾斜70°)	22.44	22.46	N34W	72E	2.0	2.0	無	-	-	-	-	-	22～23
⑦	① H19-No.19 (傾斜70°)	168.28	168.32	-	-	3.0	0.3	無	-	-	-	-	-	168～169
①	① H20-①-1 (鉛直)	2.66	2.95	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	2～3
①	① H20-①-2 (傾斜54°)	11.73	11.91	-	-	17.0	7.0	無	-	-	-	-	-	11～12
①	① H20-①-3 (鉛直)	4.96	5.00	N83E	40N	2.5	0.2	無	-	-	-	-	-	4～5
②	① H20-①-3 (鉛直)	5.53	5.81	N11E	55W	18.0	-	-	-	-	-	-	-	5～6

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(5/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 せん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	H20-①-5	34.37	34.70	N89W	58S	16.5	-	-	-	-	-	-	34 35
②	H20-①-6	14.78	15.13	N81W	65S	13.0	-	-	-	-	-	-	14 15 15 16
①	H20-④-4	24.56	24.59	N4E	71W	1.0	1.0	無	-	-	-	-	24 25

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(5/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造 ②	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	① H20-①-5(鉛直)	34.37	34.70	N89W	58S	16.5	-	-	-	-	-	-	34 35
②	① H20-①-6(傾斜50°)	14.78	15.13	N81W	65S	13.0	-	-	-	-	-	-	14 15 15 16
①	① H20-④-4(鉛直)	24.56	24.59	N4E	71W	1.0	1.0	無	-	-	-	-	24 25

854～856(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

857(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(6/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H24-B8-15	34.65	35.72	N52E	72NW	79.5	2.0	有	非平滑	-	-	-	34 35 35 36
④	H24-B8-21	131.03	131.14	N3W	84W	8.7	-	-	-	20R	-	右	131 132
⑤	H24-B8-21	131.88	132.82	N1E	85W	52.6	0.4	無	-	65R	正	左	131 132 132 133
⑥	H24-B8-21	135.30	135.52	N58E	68S	12.9	1.5	無	-	10L	-	左	135 136
⑦	H24-B8-21	137.72	138.18	N4E	79W	41.7	0.5	無	-	0	-	左	137 138 138 139
②	H24-B8-23	30.87	31.32	N4W	81W	25.3	2.5	無	-	-	-	-	30 31 31 32

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　○ :粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(6/12)

858～863(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

864(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	① H24-B8-15 (傾斜65°)	34.65	35.72	N52E	72NW	79.5	2.0	有	非平滑	-	-	-	34～35 / 35～36
④	① H24-B8-21 (傾斜45°)	131.03	131.14	N3W	84W	8.7	-	-	-	20R	-	右	131～132
⑤	① H24-B8-21 (傾斜45°)	131.88	132.82	N1E	85W	52.6	0.4	無	-	65R	正	左	131～132 / 132～133
⑥	① H24-B8-21 (傾斜45°)	135.30	135.52	N58E	68S	12.9	1.5	無	-	10L	-	左	135～136
⑦	① H24-B8-21 (傾斜45°)	137.72	138.18	N4E	79W	41.7	0.5	無	-	0	-	左	137～138 / 138～139
②	① H24-B8-23 (傾斜65°)	30.87	31.32	N4W	81W	25.3	2.5	無	-	-	-	-	30～31 / 31～32

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

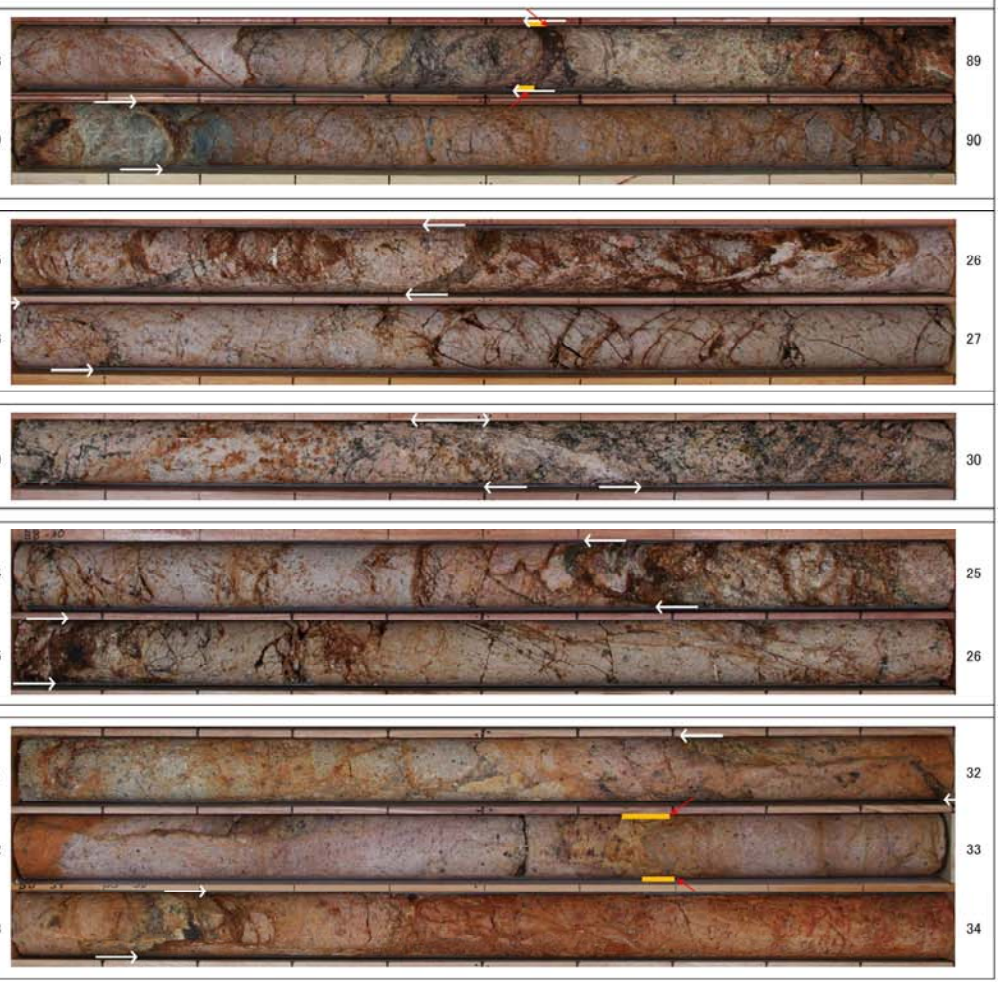
【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(7/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 せん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
③	H24-B8-27	88.55	89.17	N78W	20S	21.9	2.4	無	-	15L	-	右	
②	H24-B8-29	25.44	26.11	N4W	09W	34.5	-	-	-	90	正	-	
③	H24-B8-29	29.51	29.61	N15E	45E	2.0	-	-	-	-	-	-	
①	H24-B8-30	24.60	25.04	N1E	81W	24.9	-	-	-	-	-	-	
①	H24-B8-34	31.76	33.24	N11W	82E	62.6	4.0	無	-	-	-	-	



凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(7/12)

865～869(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

870(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ②明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
③	① H24-B8-27 (傾斜45°)	88.55	89.17	N78W	20S	21.9	2.4	無	-	15L	-	右	88 89 89 90
②	① H24-B8-29 (傾斜60°)	25.44	26.11	N4W	89W	34.5	-	-	-	90	正	-	25 26 26 27
③	① H24-B8-29 (傾斜60°)	29.51	29.61	N15E	45E	2.0	-	-	-	-	-	-	29 30
①	① H24-B8-30 (傾斜65°)	24.60	25.04	N1E	81W	24.9	-	-	-	-	-	-	24 25 25 26
①	① H24-B8-34 (傾斜45°)	31.76	33.24	N11W	82E	62.6	4.0	無	-	-	-	-	31 32 32 33 33 34

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(8/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 せん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	H24-B8-35	32.68	32.71	N15W	81E	1.8	-	-	-	-	-	-	32 – 33
③	H24-B8-35	33.62	33.98	N21W	74E	18.0	6.1	無	-	-	-	-	33 – 34
①	H24-B8-36	24.19	27.68	N31E	88SE	60.6	0.5	無	-	-	-	-	24 – 25 – 26 – 27 – 28
④	H24-B11-1	97.87	99.00	N4E	72W	77.1	2.5	無	-	70R	正	左	97 – 98 – 99
⑤	H24-B11-1	143.67	143.77	N8E	87E	5.3	-	-	-	5L	-	右	143 – 144

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(8/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ②明瞭な せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	① H24-B8-35 (傾斜50°)	32.68	32.71	N15W	81E	1.8	-	-	-	-	-	-	32 33
③	① H24-B8-35 (傾斜50°)	33.62	33.98	N21W	74E	18.0	6.1	無	-	-	-	-	33 34
①	① H24-B8-36 (傾斜70°)	24.19	27.68	N31E	88SE	60.6	0.5	無	-	-	-	-	24 25 26 27 25 26 27 28
④	① H24-B11-1 (傾斜45°)	97.87	99.00	N4E	72W	77.1	2.5	無	-	70R	正	③ -	97 98 98 99
⑤	① H24-B11-1 (傾斜45°)	143.67	143.77	N8E	87E	5.3	-	-	-	5L	-	右	143 144

871～875(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

876(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

877(分類A)③
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(9/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑥	H24-B14-1	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	-	-	-	40R	正	左	70 71 71 72
⑦	H24-B14-1	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	-	-	-	-	-	-	76 77 77 78
⑧	H24-B14-1	82.59	83.71	N25E	85W	65.8	-	-	-	60R	正	左	82 83 83 84
⑨	H24-B14-1	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	1.2	無	-	-	-	-	133 134 134 135
③	H24-B14-2	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	1.0	無	-	40R	-	右	47 48

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(9/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm) ②	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑥	① H24-B14-1(傾斜45°)	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	-	-	-	40R	正	左	70-71 / 71-72
⑦	① H24-B14-1(傾斜45°)	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	-	-	-	-	-	-	76-77 / 77-78
⑧	① H24-B14-1(傾斜45°)	82.59	83.71	N25E	85W	65.8	-	-	-	60R	正	左	82-83 / 83-84
⑨	① H24-B14-1(傾斜45°)	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	1.2	無	-	-	-	-	133-134 / 134-135
③	① H24-B14-2(傾斜45°)	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	1.0	無	-	40R	③ 逆	右	47-48

878～882(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

883(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

884(分類A)③
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(10/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 せん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H27-Br-3	40.53	41.10	N51E	73NW	16.7	4.1	無	-	-	-	-	40 / 41 / 41 / 42
①	H27-Br-4	12.91	13.24	N8E	68W	33.0	-	-	-	-	-	-	12 / 13 / 13 / 14
②	H27-Br-8	65.81	67.33	N23E	56W	85.0	-	-	-	-	-	-	65 / 66 / 66 / 67 / 67 / 68
①	H27-Br-9	21.26	21.33	N45E	63NW	3.2	0.9	無	-	-	-	-	21 / 22
②	H27-Br-9	66.50	66.77	N48E	77NW	6.1	0.9	無	-	-	-	-	66 / 67

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(10/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 ②	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	① H27-Br-3(鉛直)	40.53	41.10	N51E	73NW	16.7	4.1	無	-	-	-	-	40 41 41 42
①	① H27-Br-4(鉛直)	12.91	13.24	N8E	68W	33.0	-	-	-	-	-	-	12 13 13 14
②	① H27-Br-8(鉛直)	65.81	67.33	N23E	56W	85.0	-	-	-	-	-	-	65 66 66 67 67 68
①	① H27-Br-9(鉛直)	21.26	21.33	N45E	63NW	3.2	0.9	無	-	-	-	-	21 22
②	① H27-Br-9(鉛直)	66.50	66.77	N48E	77NW	6.1	0.9	無	-	-	-	-	66 67

885～889(分類E)①
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

890(分類E)②
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(11/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 せん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H27-B-2	31.15	31.66	N7E	78W	43.1	1.0	無	-	80L	正	-	31 32
②	H27-B-2	34.37	34.48	N18E	46W	10.8	0.6	無	-	0	-	左	34 35
③	H27-B-2	35.36	35.46	N69E	79N	8.7	1.5	無	-	10R	-	右	35 36
④	H27-B-2	35.68	35.73	N7W	52W	4.1	0.2	無	-	70R	正	-	35 36
⑤	H27-B-2	35.92	35.95	N4E	86E	2.3	-	-	-	50L	逆	左	35 36
⑥	H27-B-2	48.08	48.12	N38W	15NE	3.1	0.5	無	-	0	-	右	48 49
⑦	H27-B-2	54.72	54.77	N8W	79W	4.2	0.3	無	-	0	-	左	54 55
⑧	H27-B-2	60.26	60.69	N18E	77W	36.5	-	-	-	60R	逆	-	60 61
⑩	H27-B-2	63.75	63.85	N47W	24E	8.0	-	-	-	-	-	-	63 64

凡　例

:最新活動面　←→:破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(11/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

①

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm) ④	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	② H27-B-2 (傾斜45°)	31.15	31.66	N7E	78W	43.1	1.0	無	-	80L	正	-	31 32
②	② H27-B-2 (傾斜45°)	34.37	34.48	N18E	46W	10.8	0.6	無	-	0	-	左	34 35
③	② H27-B-2 (傾斜45°)	35.36	35.46	N69E	79N	8.7	1.5	無	-	10R	-	右	35 36
④	② H27-B-2 (傾斜45°)	35.68	35.73	N7W	52W	4.1	0.2	無	-	70R	正	-	35 36
⑤	② H27-B-2 (傾斜45°)	35.92	35.95	N4E	86E	2.3	-	-	-	50L	逆	左	35 36
⑥	② H27-B-2 (傾斜45°)	48.08	48.12	N38W	15NE	3.1	0.5	無	-	0	-	右	48 49
⑦	② H27-B-2 (傾斜45°)	54.72	54.77	N8W	79W	4.2	0.3	無	-	0	-	左	54 55
⑧	② H27-B-2 (傾斜45°)	60.26	60.69	N18E	77W	36.5	-	-	-	60R	逆	③ 右	60 61
⑨	② H27-B-2 (傾斜45°)	63.75											64

891(分類E)①
書式を転用した際に正しい項目名への修正を失念した。

892～899，901(分類E)②
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

900(分類A)③
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

902(分類E)④
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

：最新活動面

破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(12/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正前

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 せん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑪	H27-B-2	68.02	68.06	N23E	74W	3.5	0.2	無	-	90	正	-	68 69
⑫	H27-B-2	85.58	85.76	N15E	82W	14.4	0.5	無	-	60L	正	-	85 86
⑮	H27-B-2	91.69	91.76	N5W	82W	5.7	0.8	無	-	30R	-	右	91 92
⑯	H27-B-2	120.63	120.65	N34E	77NW	1.7	0.3	無	-	30L	-	左	120 121
⑱	H27-B-2	133.75	133.92	N1E	72E	15.4	0.1	無	-	-	-	-	133 134

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(12/12)

第657回審査会合
机上配付資料2 修正後

①

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 ④明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑪	② H27-B-2 (傾斜45°)	68.02	68.06	N23E	74W	3.5	0.2	無	-	90	正	-	68 – 69
⑫	② H27-B-2 (傾斜45°)	85.58	85.76	N15E	82W	14.4	0.5	無	-	60L	正	③ 右	85 – 86
⑮	② H27-B-2 (傾斜45°)	91.69	91.76	N5W	82W	5.7	0.8	無	-	30R	③ 逆	右	91 – 92
⑯	② H27-B-2 (傾斜45°)	120.63	120.65	N34E	77NW	1.7	0.3	無	-	30L	③ 逆	左	120 – 121
⑲	② H27-B-2 (傾斜45°)	133.75	133.92	N1E	72E	15.4	0.1	無	-	-	-	-	133 – 134

903(分類E)①
書式を転用した際に正しい項目名への修正を失念した。

904，905，907，909，911(分類E)②
ボーリングの傾斜角を記載すべきであったが，記載を忘れたもの。

906，908，910(分類A)③
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

912(分類E)④
項目名に「明瞭な」を記載し忘れたもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

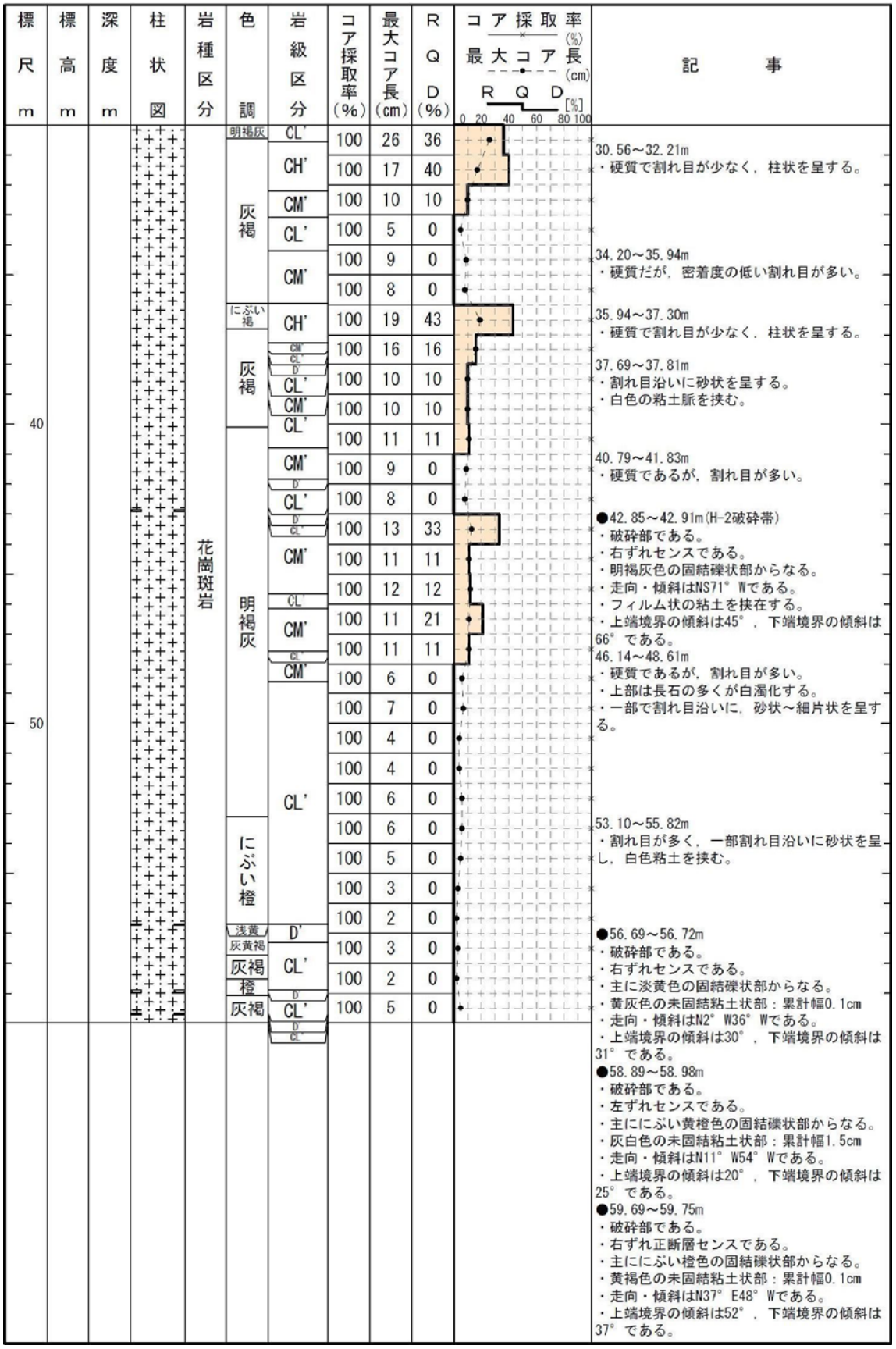
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

H27－B－3

柱状図(30.00m～60.00m)

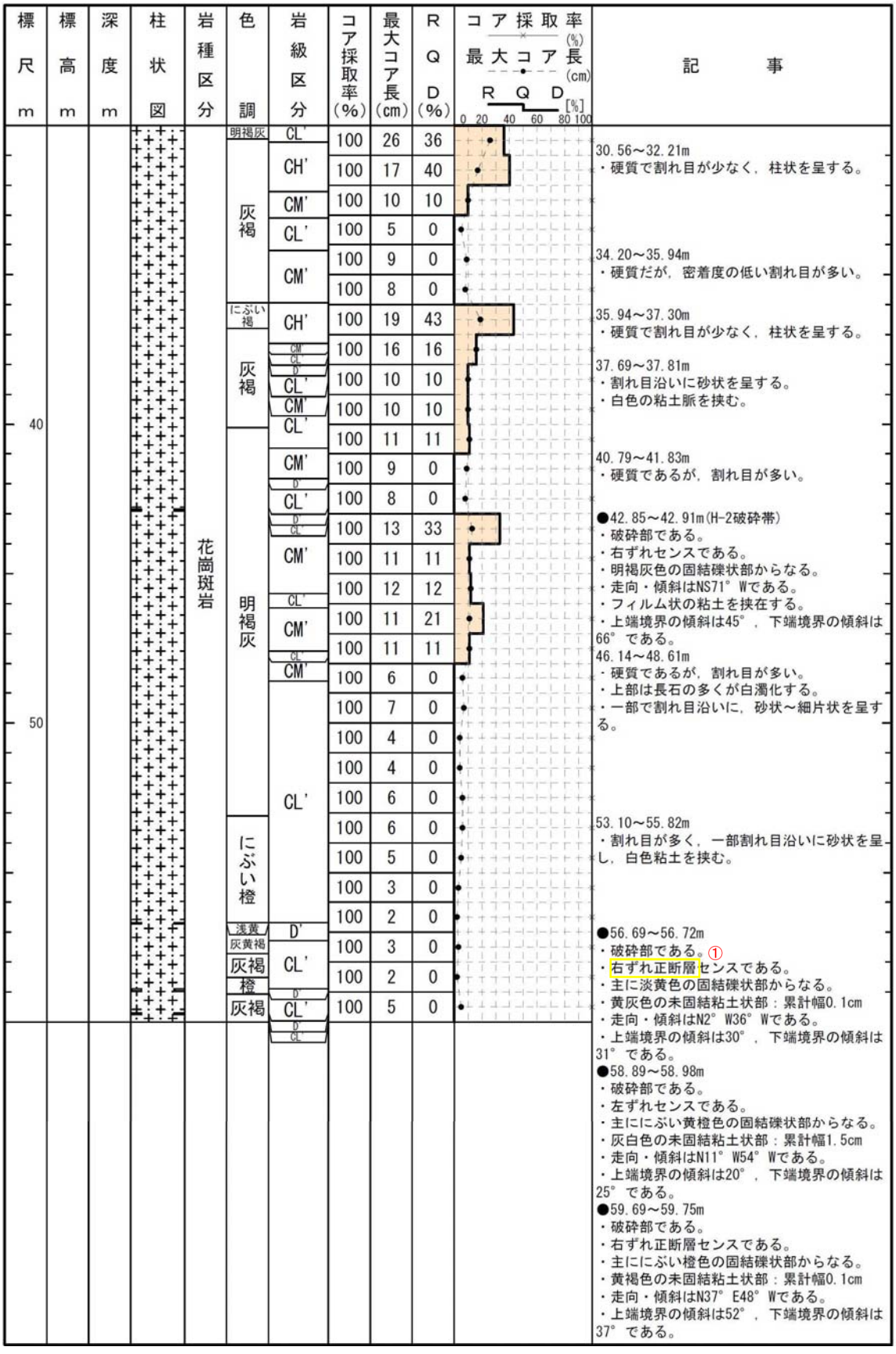
第657回審査会合
机上配付資料3 修正前



H27－B－3

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後



913(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H24－B14－2

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正前

H24－B14－2

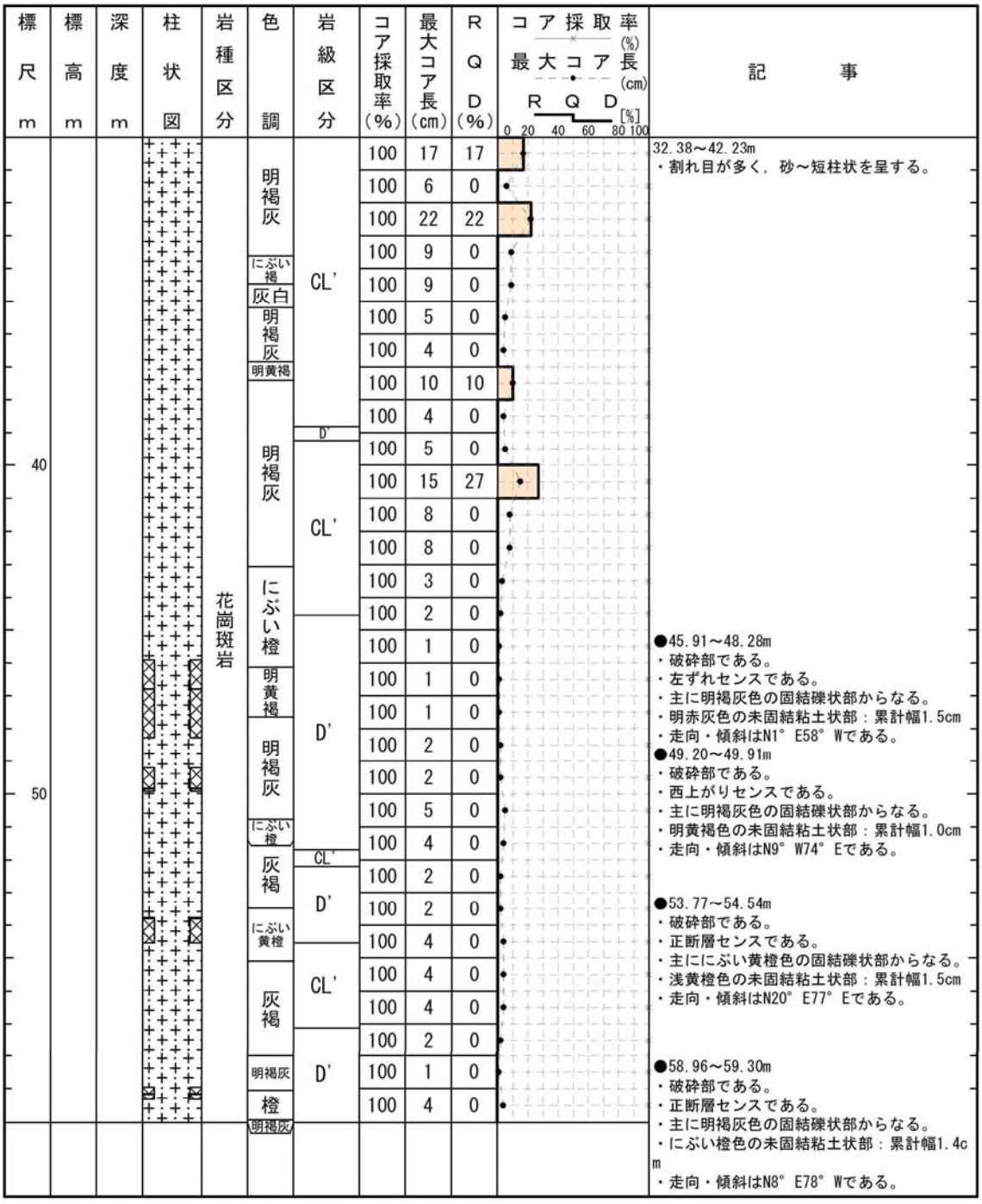
柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

914(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H24－D1－1

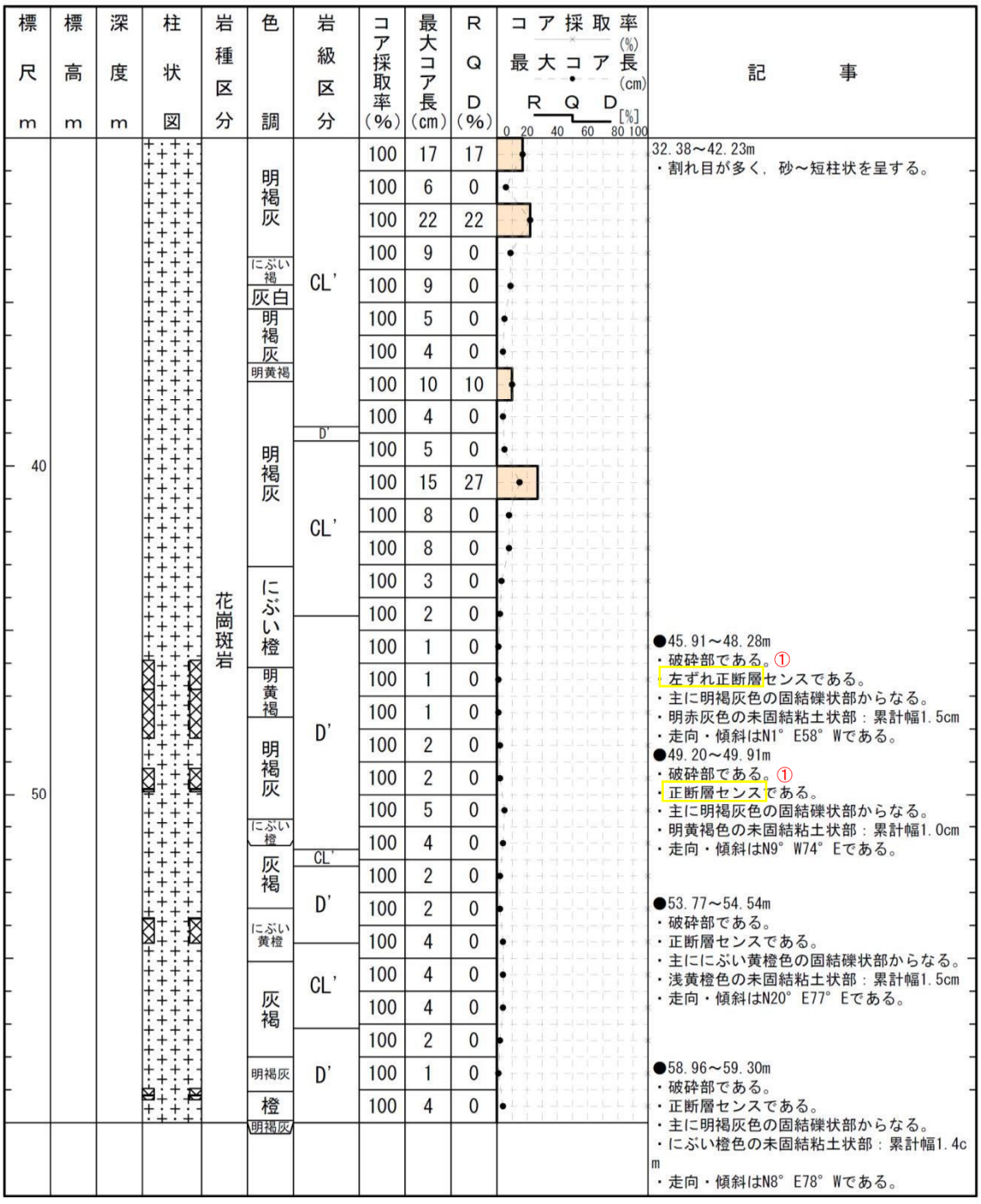
柱状図(30.00m～60.00m)



H24－D1－1

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

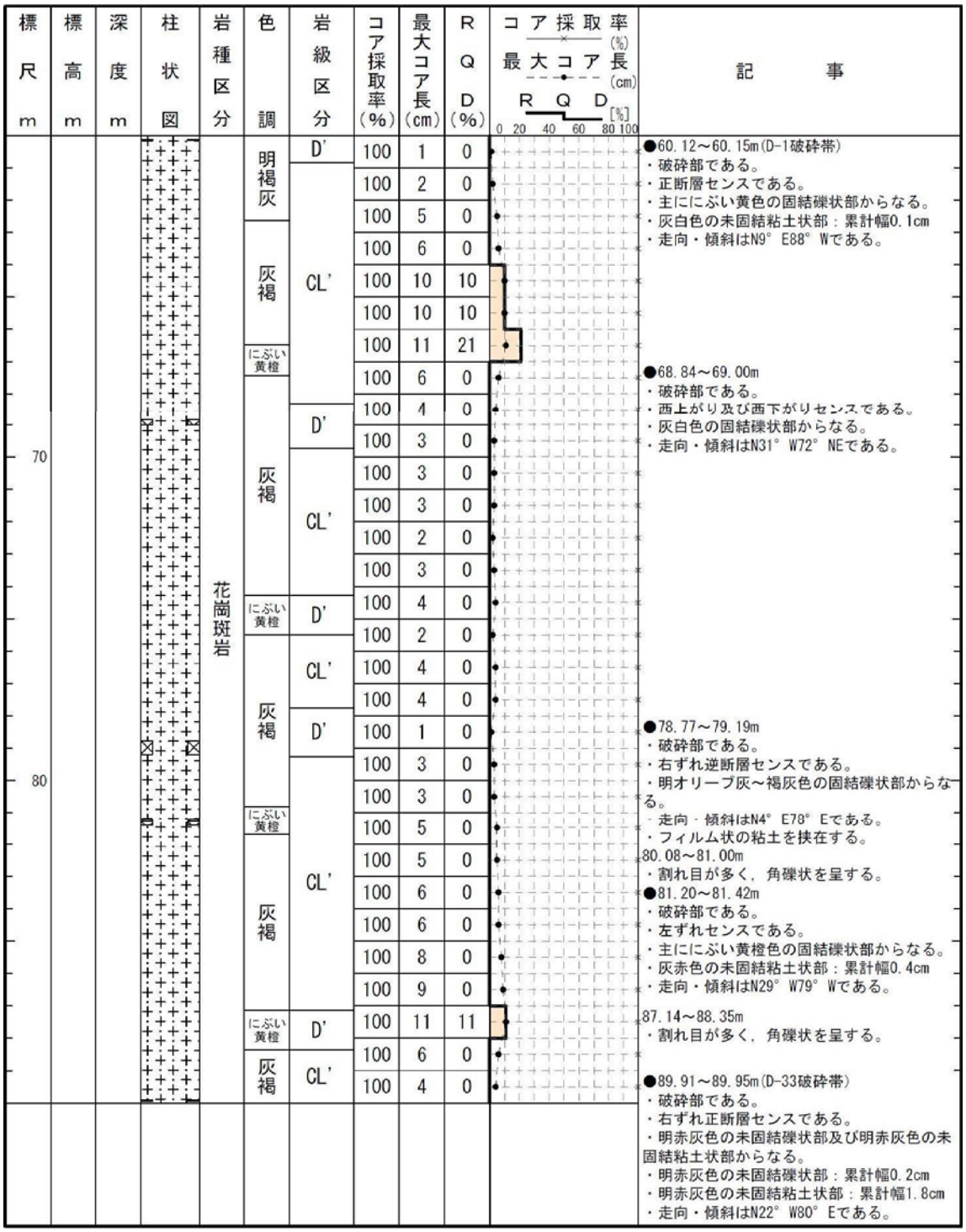


915，916(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H24－D1－1

柱状図(60.00m～90.00m)

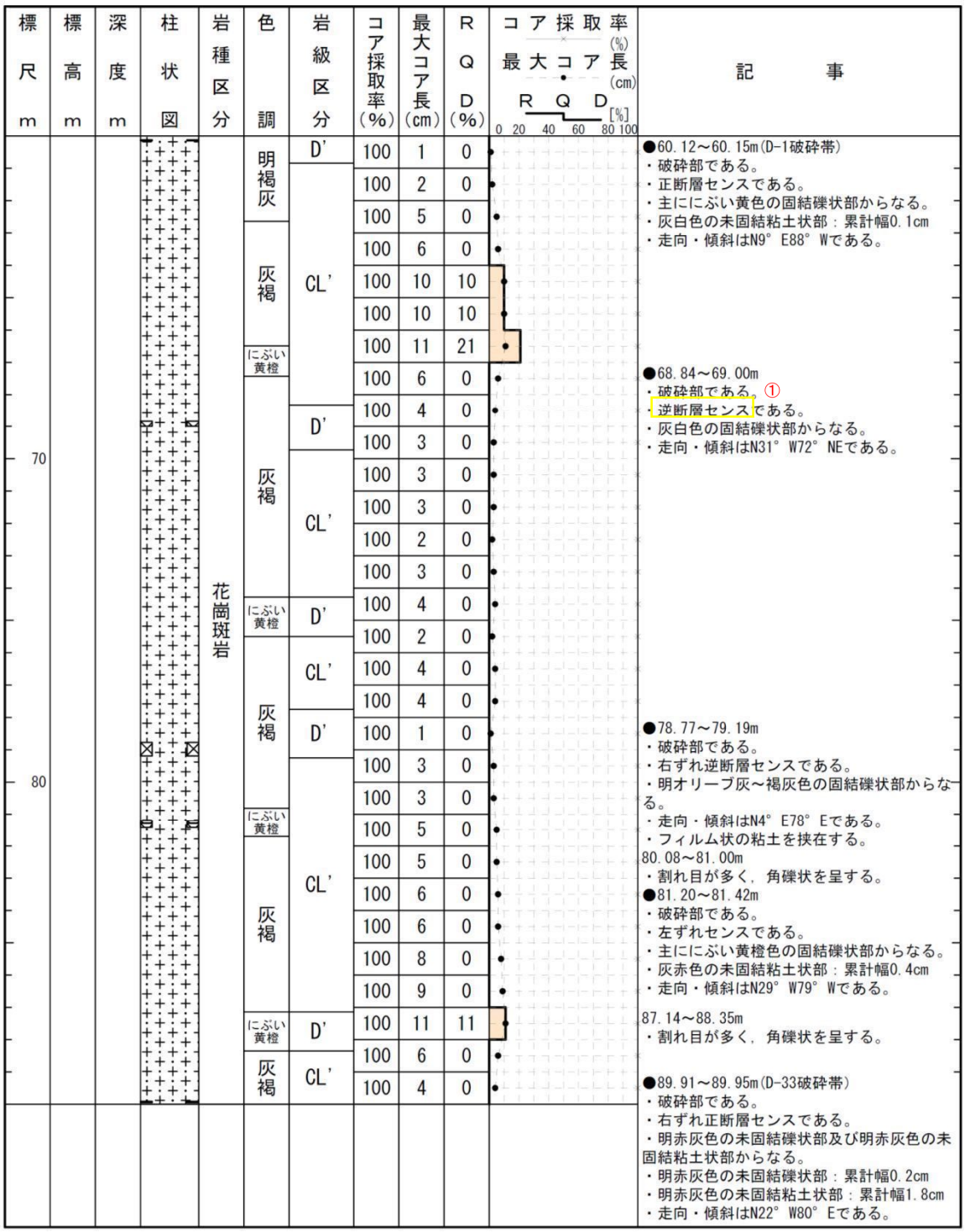
第657回審査会合
机上配付資料3 修正前



H24－D1－1

柱状図(60.00m～90.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後



917(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－B－1

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正前

H27－B－1

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

標尺 m
標高 m
深度 m
柱状図
岩種区分
色調
岩級区分
コア採取率(%)
最大コア長(cm)
RQD(%)
コア採取率(%)
最大コア長(cm)
RQD[%]
0 20 40 60 80 100
記事
花崗斑岩
明褐灰
黄褐
にぶい黄橙
明褐灰
にぶい黄橙
明褐灰
にぶい橙
にぶい黄橙
にぶい橙
灰褐
灰白
灰褐
にぶい橙
淡黄
にぶい褐
黄褐
にぶい黄橙
にぶい橙
灰褐
にぶい橙
にぶい褐
にぶい橙
D'
CL'
D'
CL'
D'
CL'

H27－B－1

柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正前

標尺 m
標高 m
深度 m
柱状図
岩種区分
色調
岩級区分
コア採取率(%)
最大コア長(cm)
RQD(%)
コア採取率(%)
最大コア長(cm)
RQD[%]
0 20 40 60 80 100
記事
40
50
花崗斑岩
明褐灰
黄褐
にぶい黄橙
明褐灰
にぶい黄橙
明褐灰
にぶい橙
にぶい黄橙
にぶい橙
灰褐
灰白
灰褐
にぶい橙
淡黄
にぶい褐
黄褐
にぶい黄橙
にぶい橙
灰褐
にぶい褐
にぶい橙
D'
CL'
D'
CL'
D'
CL'

H27－B－1

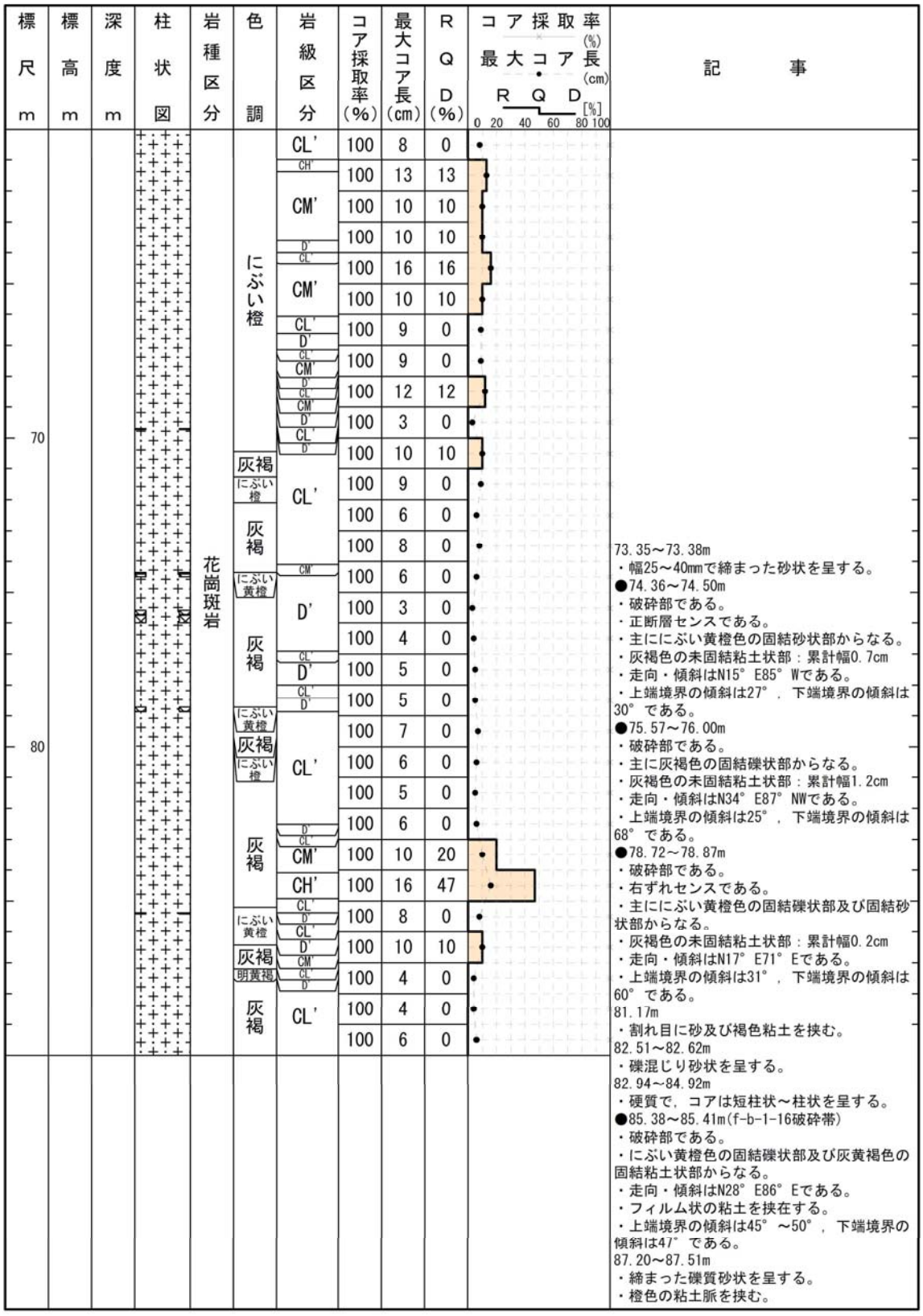
柱状図(30.00m～60.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

920(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－B－1

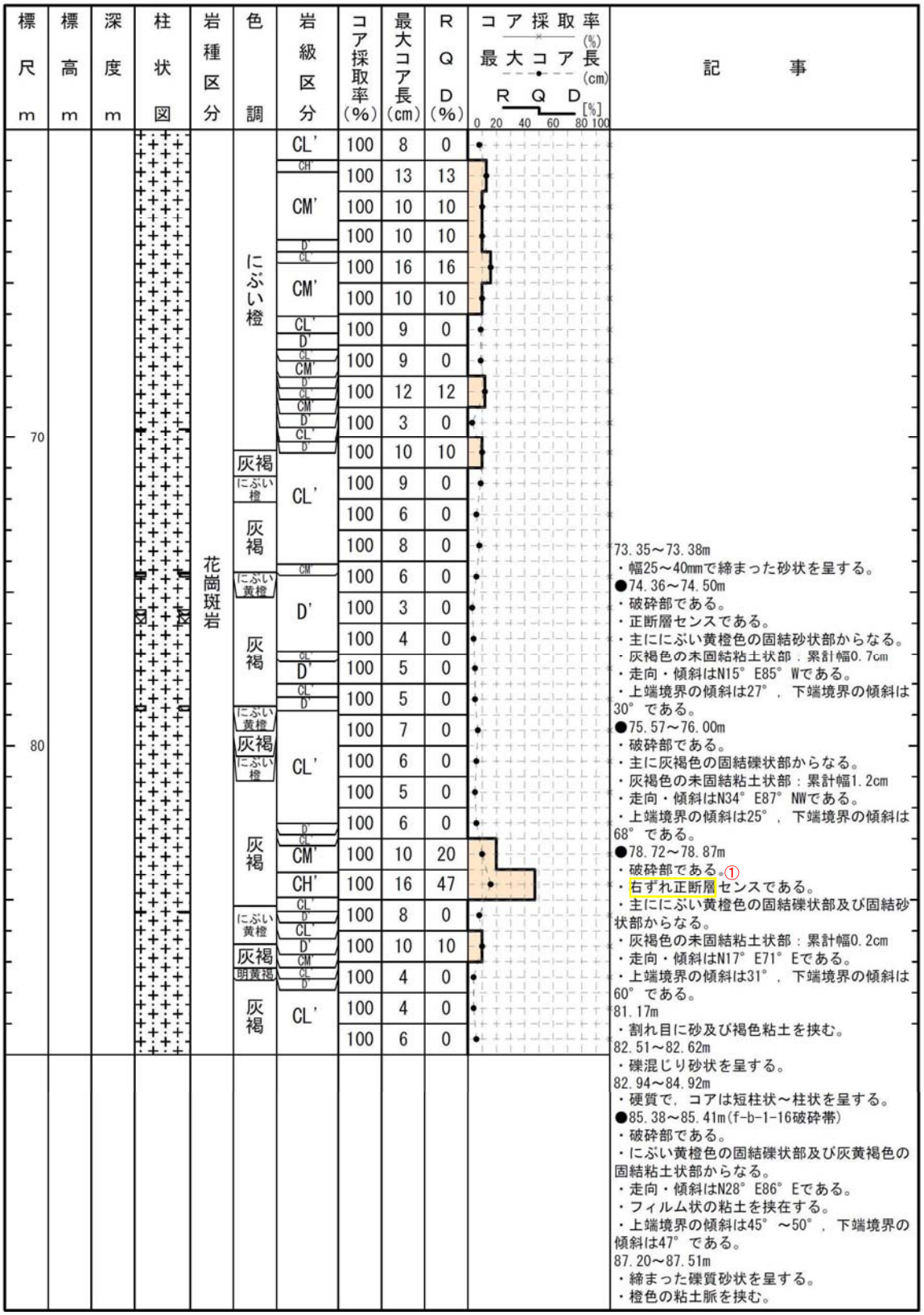
柱状図(60.00m～90.00m)



H27－B－1

柱状図(60.00m～90.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

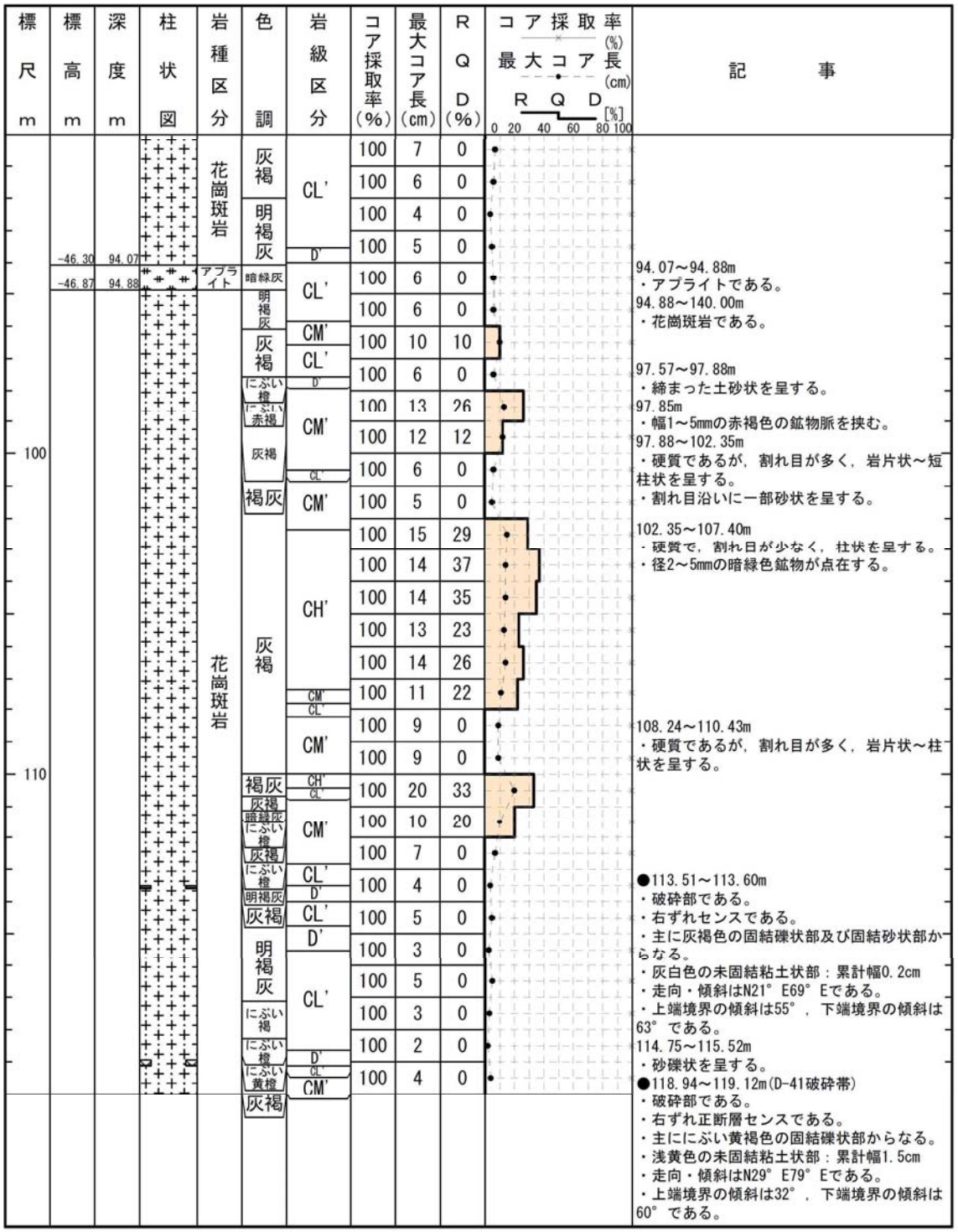


921(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－B－1

柱状図(90.00m～120.00m)

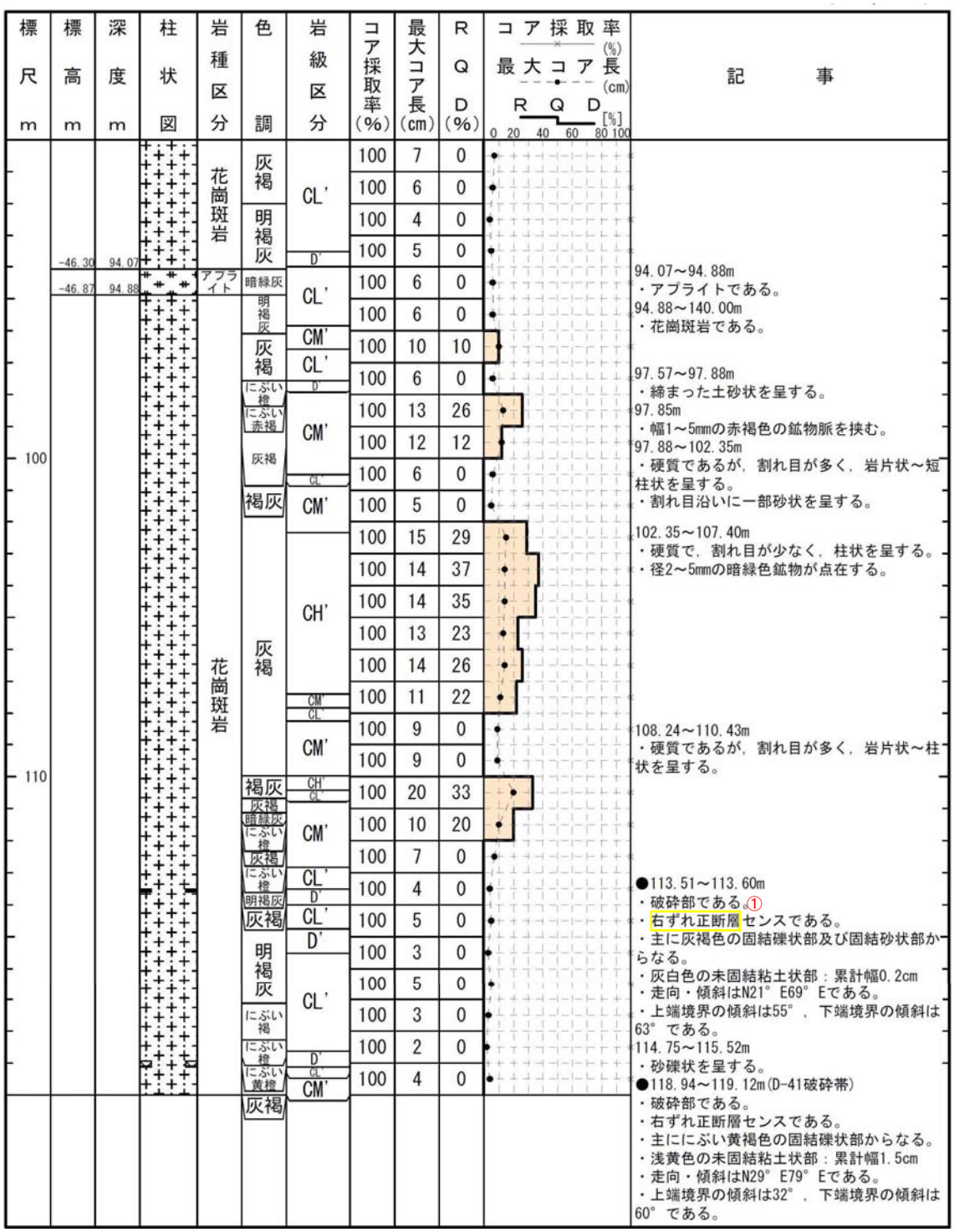
第657回審査会合
机上配付資料3 修正前



H27－B－1

柱状図(90.00m～120.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後



922(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－B－2

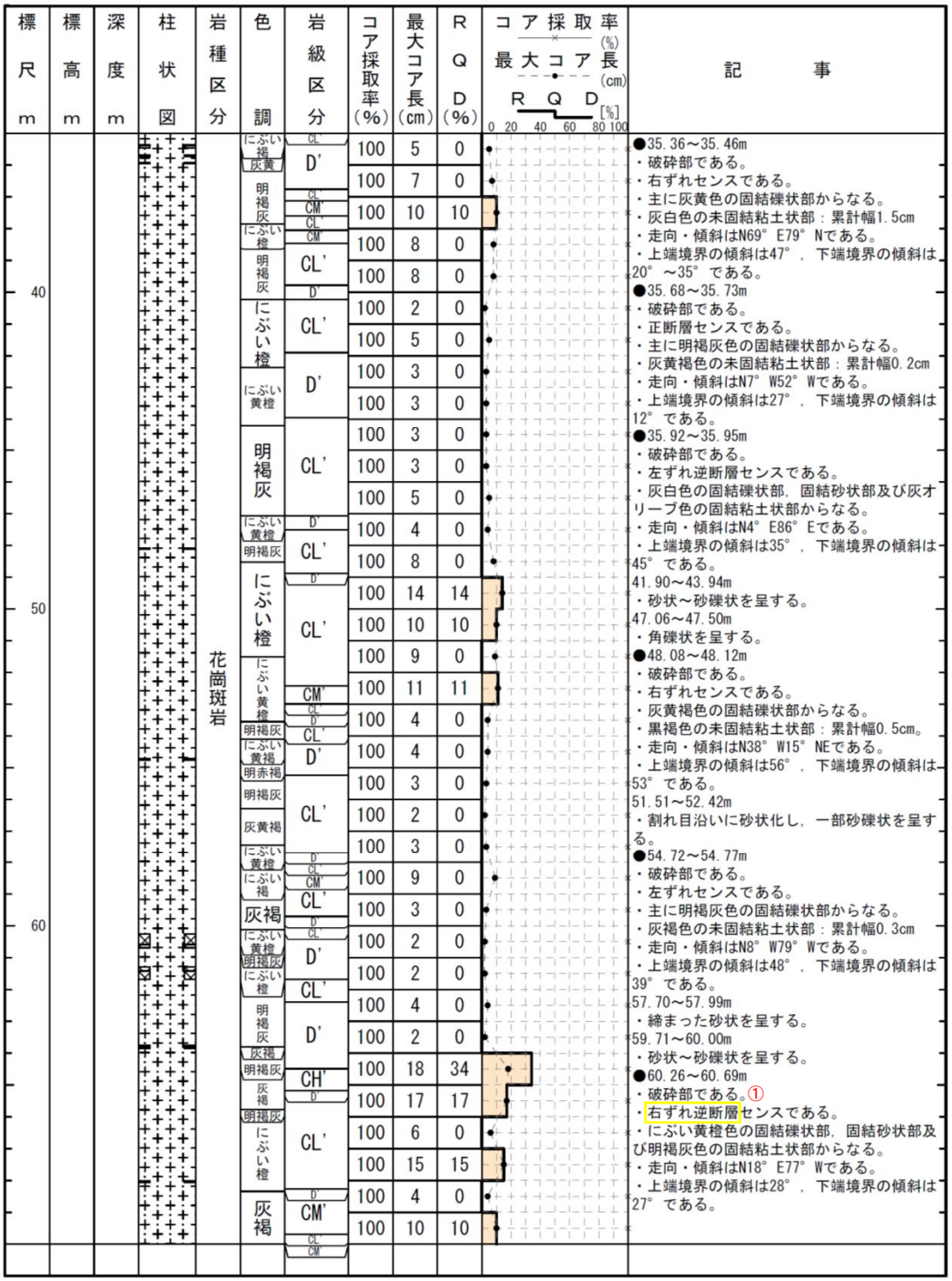
柱状図(35.00m～70.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正前

H27－B－2

柱状図(35.00m～70.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

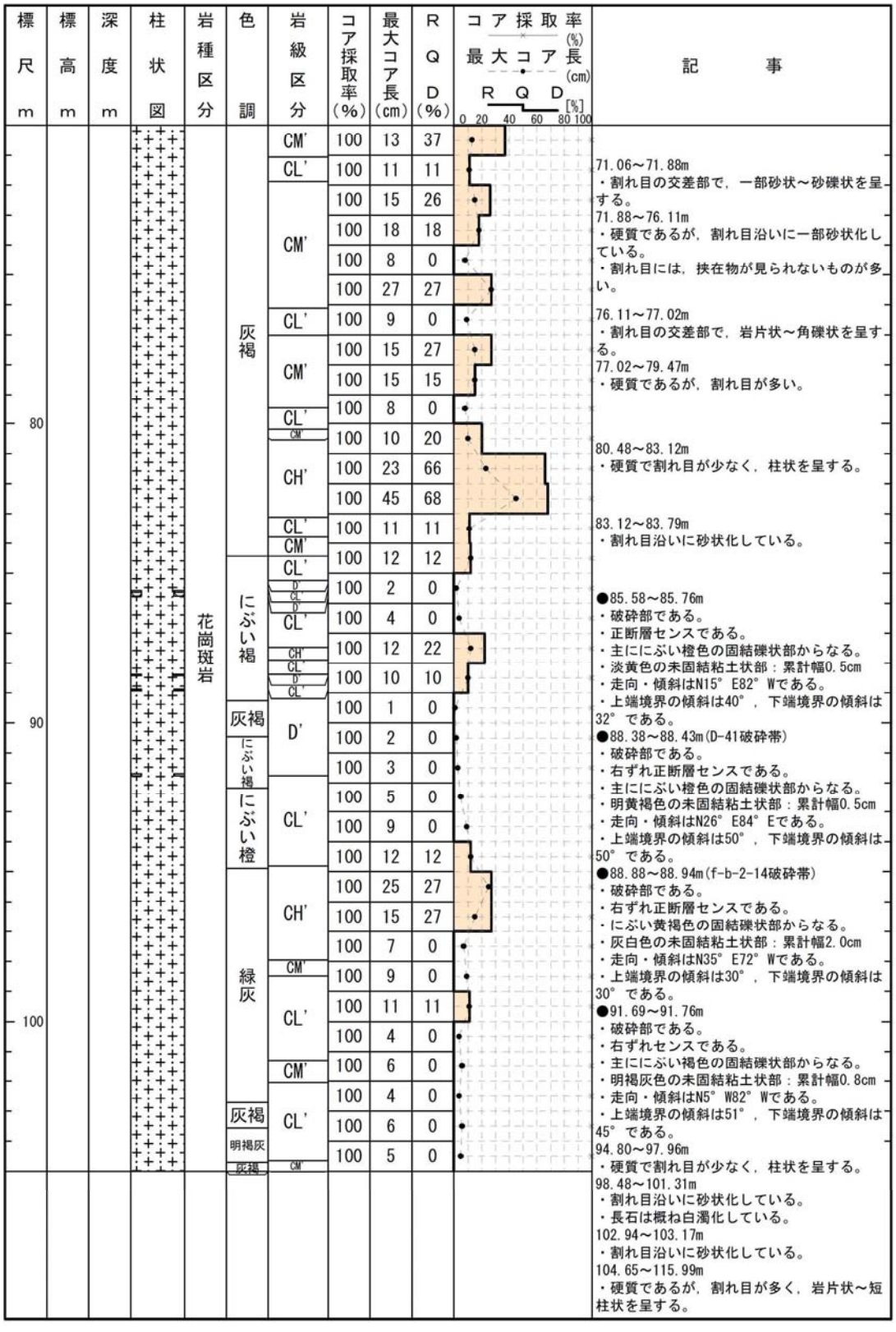


923(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－B－2

柱状図(70.00m～105.00m)

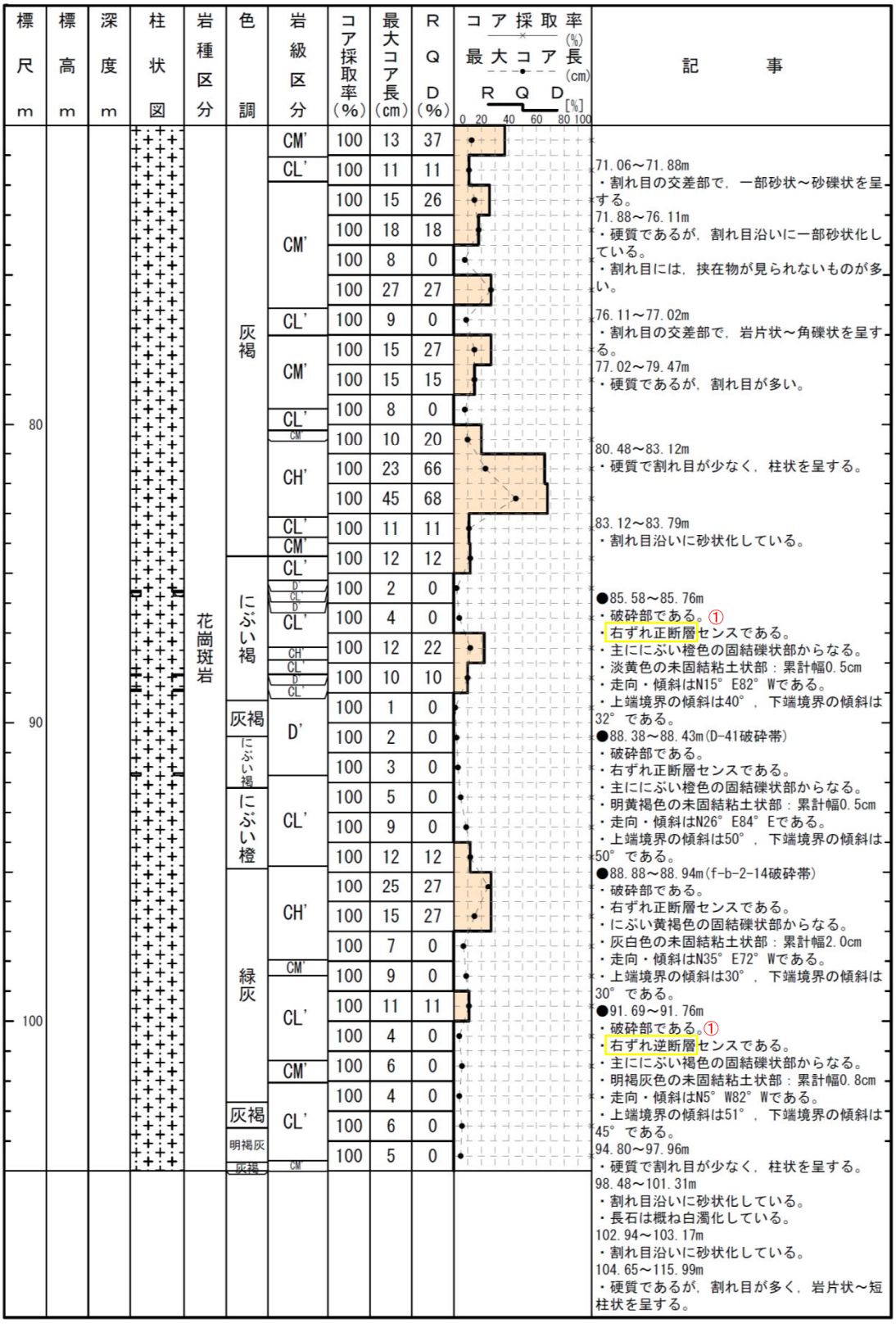
第657回審査会合
机上配付資料3 修正前



H27－B－2

柱状図(70.00m～105.00m)

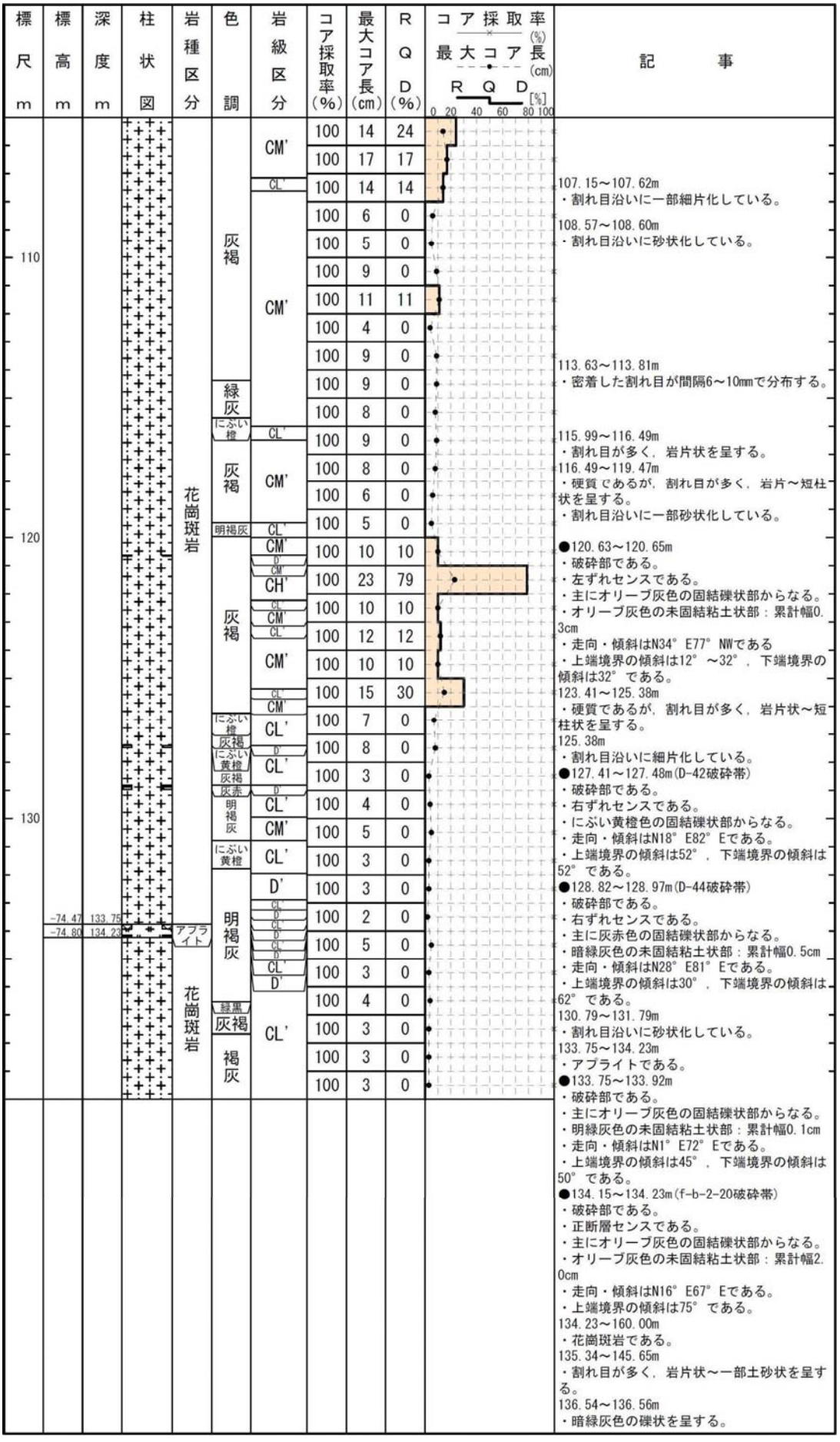
第657回審査会合
机上配付資料3 修正後



924，925(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－B－2

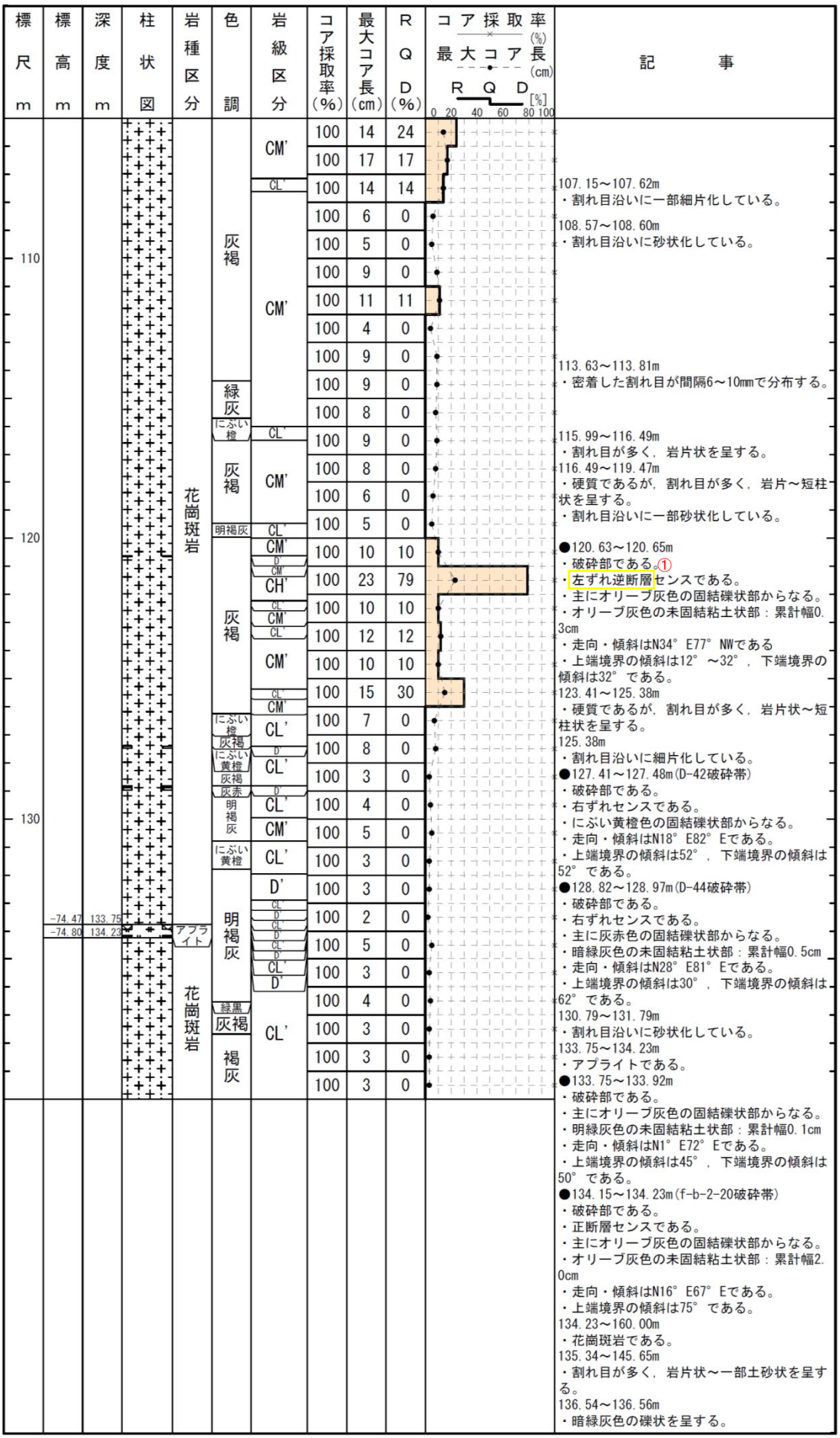
柱状図(105.00m～140.00m)



H27－B－2

柱状図(105.00m～140.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

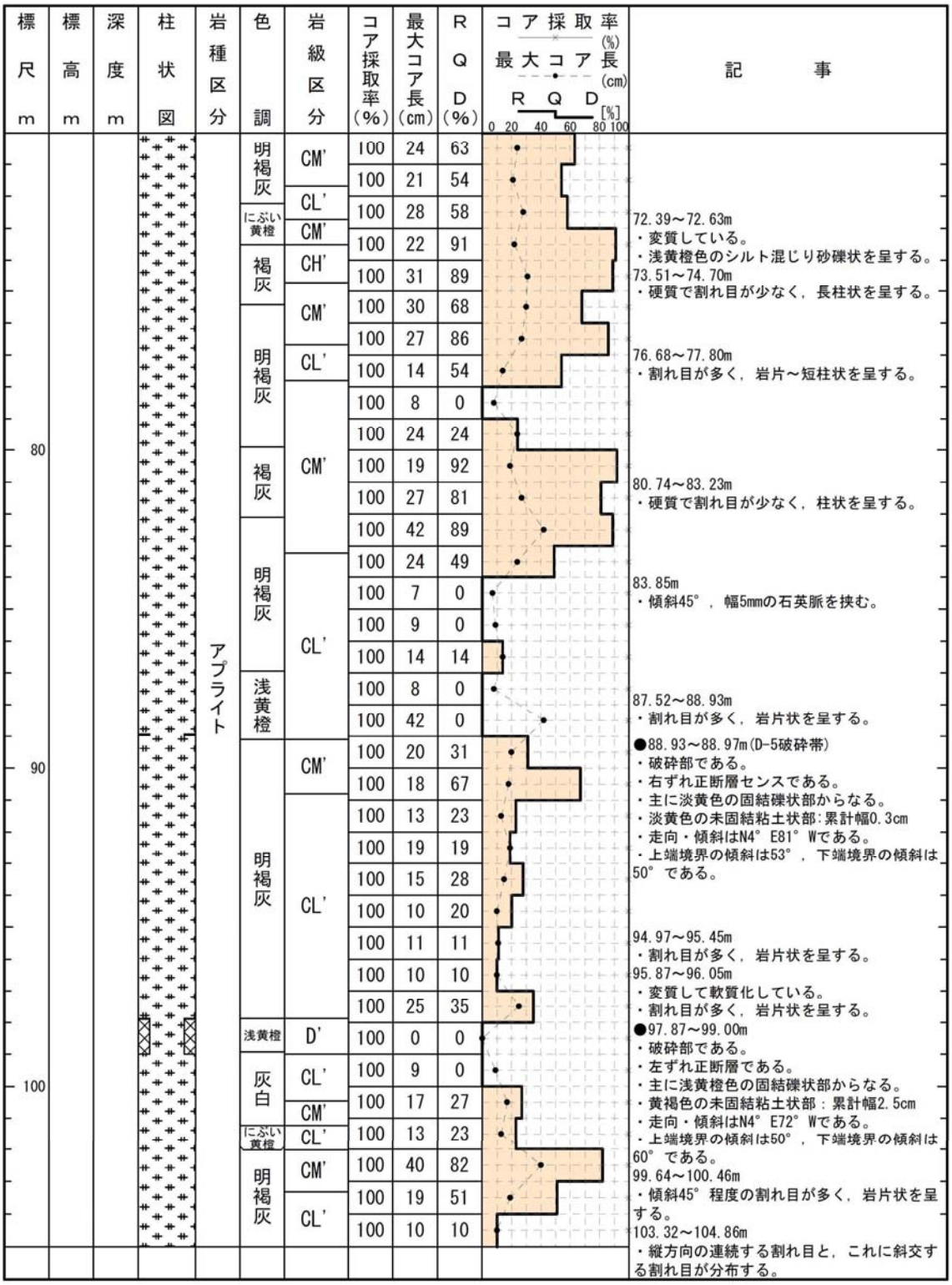


926(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H24－B11－1

柱状図(70.00m～105.00m)

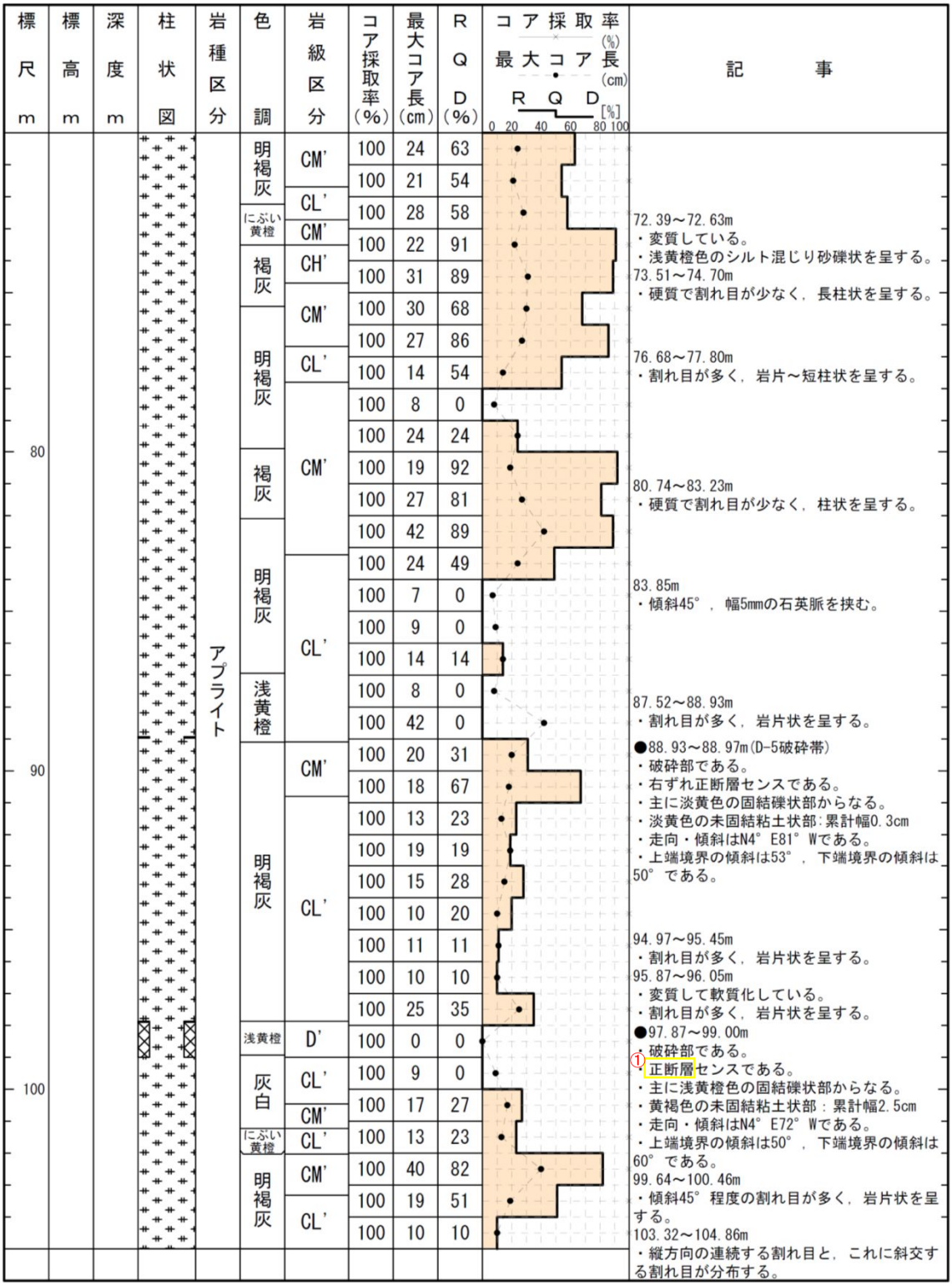
第657回審査会合
机上配付資料3 修正前



H24－B11－1

柱状図(70.00m～105.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後



927(分類A)①
変位センスについて，転記元の細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－Br－1

柱状図(0.00m～35.00m)

H27-Br-1

孔口標高	T.P. 94.37m	掘削長	130.00m

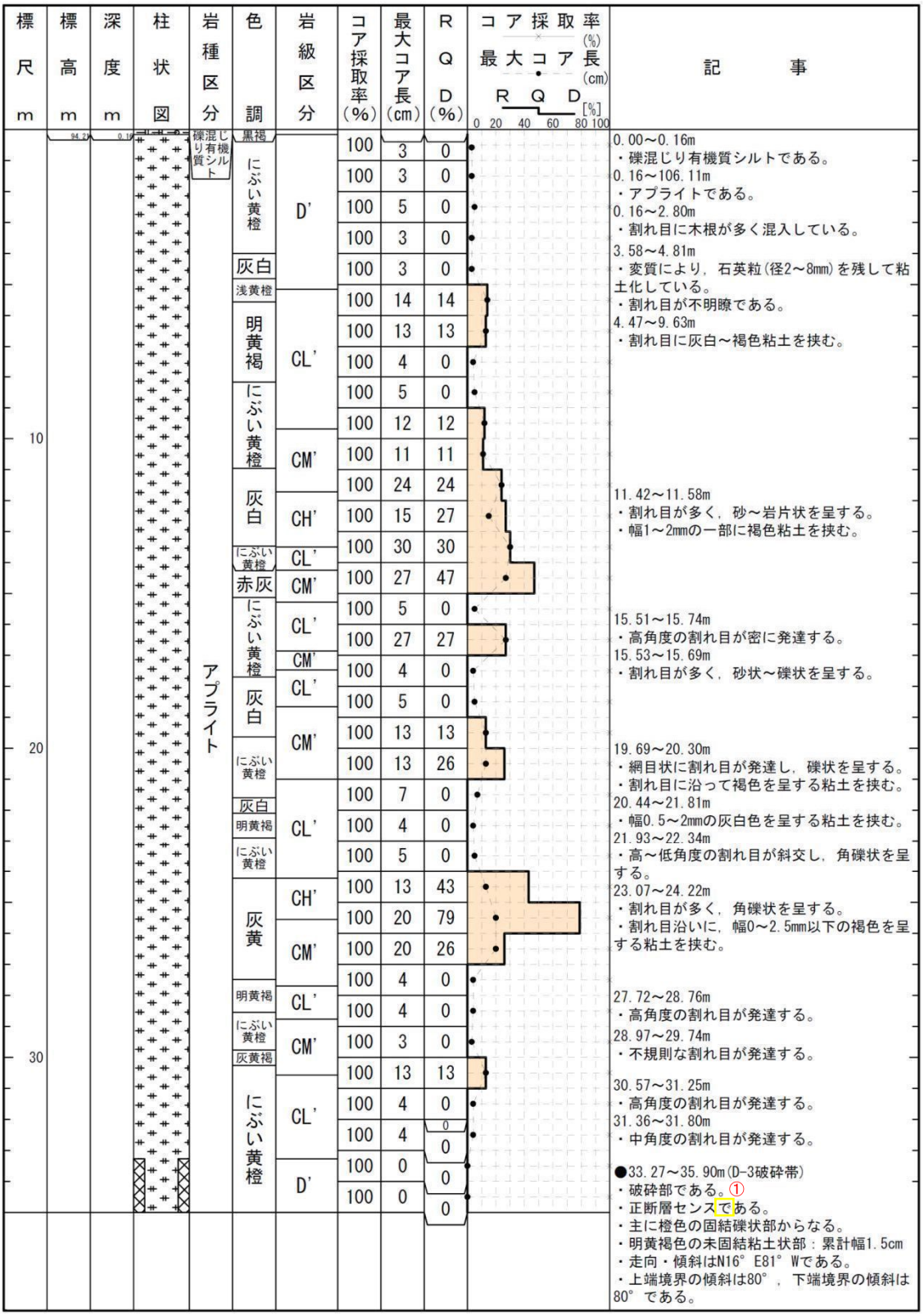
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD(%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm) RQD[%] 0 20 40 60 80 100	記事
	94.37	0.16		礫混じり有機質シルト	黒褐						
					にぶい黄橙	D'	100	3	0		0.00～0.16m ・礫混じり有機質シルトである。
							100	3	0		0.16～106.11m ・アプライトである。
							100	5	0		0.16～2.80m ・割れ目に木根が多く混入している。
							100	3	0		
					灰白		100	3	0		3.58～4.81m ・変質により，石英粒(径2～8mm)を残して粘土化している。 ・割れ目が不明瞭である。
					浅黄橙	CL'	100	14	14		4.47～9.63m ・割れ目に灰白～褐色粘土を挟む。
					明黄褐		100	13	13		
							100	4	0		
					にぶい黄橙		100	5	0		
10							100	12	12		
						CM'	100	11	11		
					灰白		100	24	24		
						CH'	100	15	27		11.42～11.58m ・割れ目が多く，砂～岩片状を呈する。 ・幅1～2mmの一部に褐色粘土を挟む。
							100	30	30		
					にぶい黄橙	CL'					
					赤灰	CM'	100	27	47		
					にぶい黄橙	CL'	100	5	0		
							100	27	27		15.51～15.74m ・高角度の割れ目が密に発達する。
						CM'					15.53～15.69m ・割れ目が多く，砂状～礫状を呈する。
						CL'	100	4	0		
					灰白		100	5	0		
						CM'	100	13	13		
20				アプライト			100	13	26		19.69～20.30m ・網目状に割れ目が発達し，礫状を呈する。 ・割れ目に沿って褐色を呈する粘土を挟む。
					にぶい黄橙						
							100	7	0		20.44～21.81m ・幅0.5～2mmの灰白色を呈する粘土を挟む。
					灰白	CL'	100	4	0		21.93～22.34m ・高～低角度の割れ目が斜交し，角礫状を呈する。
					明黄褐						
					にぶい黄橙		100	5	0		
							100	13	43		23.07～24.22m ・割れ目が多く，角礫状を呈する。 ・割れ目沿いに，幅0～2.5mm以下の褐色を呈する粘土を挟む。
					灰黄	CH'	100	20	79		
						CM'	100	20	26		
					明黄褐	CL'	100	4	0		27.72～28.76m ・高角度の割れ目が発達する。
							100	4	0		28.97～29.74m ・不規則な割れ目が発達する。
30					にぶい黄橙	CM'	100	3	0		
					灰黄褐		100	13	13		30.57～31.25m ・高角度の割れ目が発達する。
					にぶい黄橙	CL'	100	4	0		31.36～31.80m ・中角度の割れ目が発達する。
							100	4	0		
						D'	100	0	0		●33.27～35.90m(D-3破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスがある。 ・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN16° E81° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は80°である。
							100	0	0		

H27－Br－1

柱状図(0.00m～35.00m)

H27-Br-1

孔口標高	T.P. 94.37m	掘削長	130.00m



0.00～0.16m
・礫混じり有機質シルトである。
0.16～106.11m
・アプライトである。
0.16～2.80m
・割れ目に木根が多く混入している。
3.58～4.81m
・変質により，石英粒(径2～8mm)を残して粘土化している。
・割れ目が不明瞭である。
4.47～9.63m
・割れ目に灰白～褐色粘土を挟む。

11.42～11.58m
・割れ目が多く，砂～岩片状を呈する。
・幅1～2mmの一部に褐色粘土を挟む。

15.51～15.74m
・高角度の割れ目が密に発達する。
15.53～15.69m
・割れ目が多く，砂状～礫状を呈する。

19.69～20.30m
・網目状に割れ目が発達し，礫状を呈する。
・割れ目に沿って褐色を呈する粘土を挟む。
20.44～21.81m
・幅0.5～2mmの灰白色を呈する粘土を挟む。
21.93～22.34m
・高～低角度の割れ目が斜交し，角礫状を呈する。
23.07～24.22m
・割れ目が多く，角礫状を呈する。
・割れ目沿いに，幅0～2.5mm以下の褐色を呈する粘土を挟む。

27.72～28.76m
・高角度の割れ目が発達する。
28.97～29.74m
・不規則な割れ目が発達する。

30.57～31.25m
・高角度の割れ目が発達する。
31.36～31.80m
・中角度の割れ目が発達する。

●33.27～35.90m(D-3破砕帯)
・破砕部である。①
・正断層センスである。
・主に橙色の固結礫状部からなる。
・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm
・走向・傾斜はN16° E81° Wである。
・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は80°である。

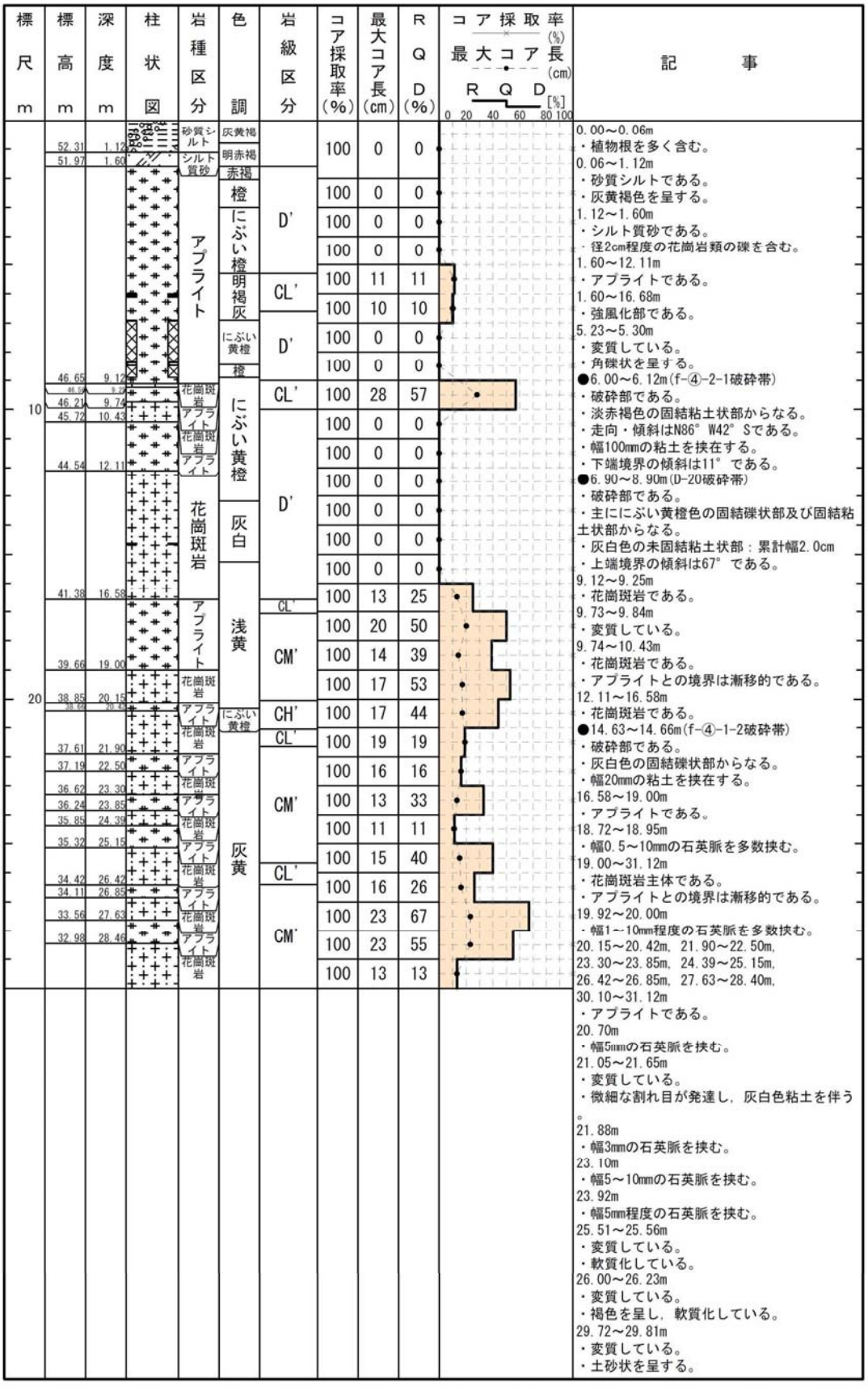
928(分類E)①
適切な助詞ではなかった。

H20－④－2

柱状図(0.00m～30.00m)

H20-④-2

孔口標高	T.P. 53.10m	掘削長	100.00m



0.00～0.06m
・植物根を多く含む。
0.06～1.12m
・砂質シルトである。
・灰黄褐色を呈する。
1.12～1.60m
・シルト質砂である。
・径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。
1.60～12.11m
・アプライトである。
1.60～16.68m
・強風化部である。
5.23～5.30m
・変質している。
・角礫状を呈する。
●6.00～6.12m(f-④-2-1破砕帯)
・破砕部である。
・淡赤褐色の固結粘土状部からなる。
・走向・傾斜はN86° W42° Sである。
・幅100mmの粘土を挟在する。
・下端境界の傾斜は11° である。
●6.90～8.90m(D-20破砕帯)
・破砕部である。
・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。
・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm
・上端境界の傾斜は67° である。
9.12～9.25m
・花崗斑岩である。
9.73～9.84m
・変質している。
9.74～10.43m
・花崗斑岩である。
・アプライトとの境界は漸移的である。
12.11～16.58m
・花崗斑岩である。
●14.63～14.66m(f-④-1-2破砕帯)
・破砕部である。
・灰白色の固結礫状部からなる。
・幅20mmの粘土を挟在する。
16.58～19.00m
・アプライトである。
18.72～18.95m
・幅0.5～10mmの石英脈を多数挟む。
19.00～31.12m
・花崗斑岩主体である。
・アプライトとの境界は漸移的である。
19.92～20.00m
・幅1～10mm程度の石英脈を多数挟む。
20.15～20.42m，21.90～22.50m，
23.30～23.85m，24.39～25.15m，
26.42～26.85m，27.63～28.40m，
30.10～31.12m
・アプライトである。
20.70m
・幅5mmの石英脈を挟む。
21.05～21.65m
・変質している。
・微細な割れ目が発達し，灰白色粘土を伴う。
21.88m
・幅3mmの石英脈を挟む。
23.10m
・幅5～10mmの石英脈を挟む。
23.92m
・幅5mm程度の石英脈を挟む。
25.51～25.56m
・変質している。
・軟質化している。
26.00～26.23m
・変質している。
・褐色を呈し，軟質化している。
29.72～29.81m
・変質している。
・土砂状を呈する。

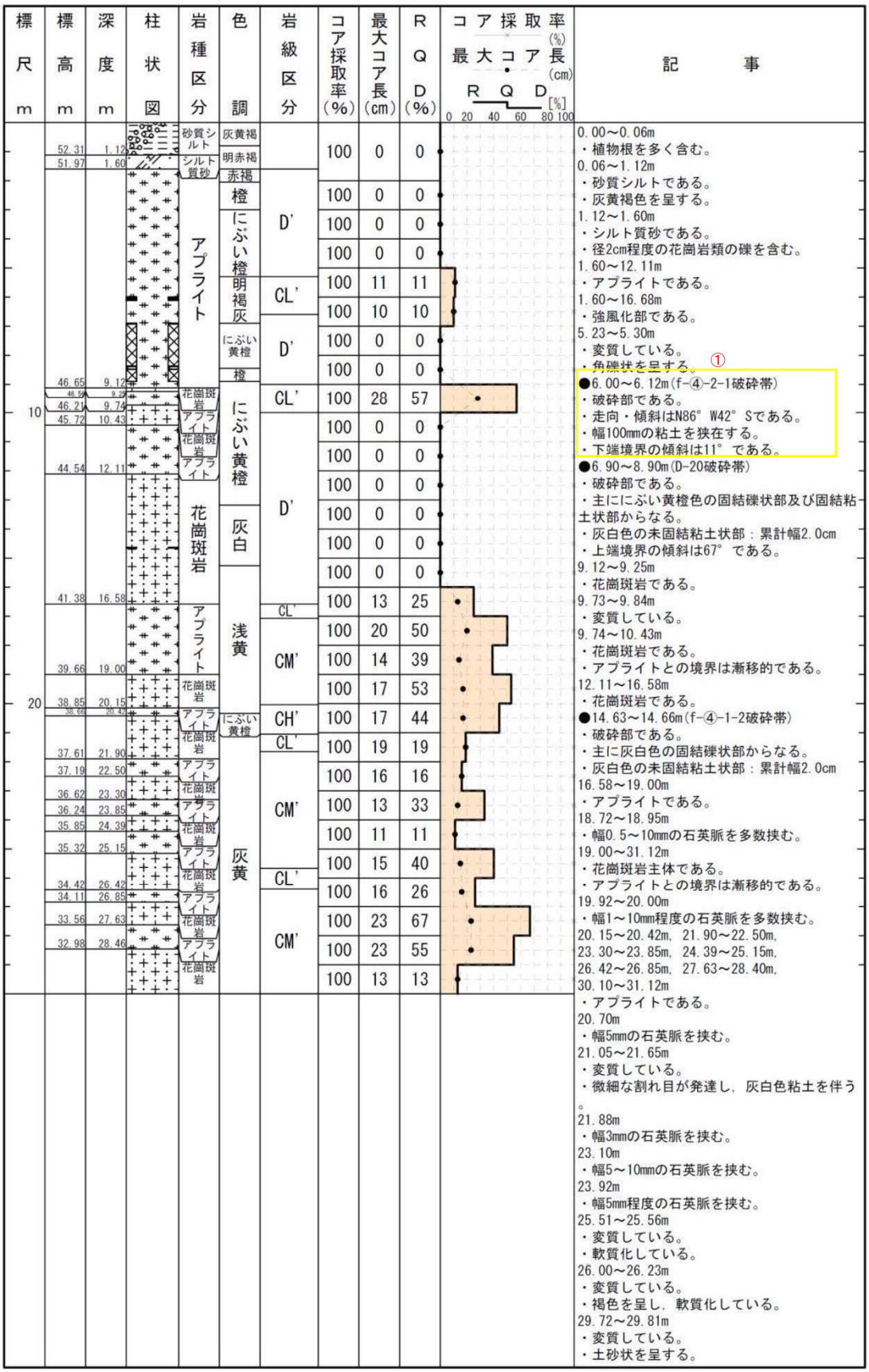
H20－④－2

柱状図(0.00m～30.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

H20-④-2

孔口標高	T.P. 53.10m	掘削長	100.00m



929(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の断層ガウジの有無について，保守的に修正した結果を柱状図の記事に反映していなかった。

H24－B8－29

コア写真(20.00m～30.00m)

第657回審査会合
机上配付資料3 修正前

0m~20mまで
ノンコア

H24－B8－29

①

コア写真(21.00m～30.00m)

930，931(分類E)①
ノンコア区間を勘違いしたもの。

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

① 0m~21mまで

ノンコア

余白